Syllabus

アニメーション文化学部
アニメーション文化学科

2022 年度入学生

授業科目名	きびこく学 アニメ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SR-1-001

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１１．住み続けられるまちづくりを／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本学の教育目標である「地域創成に実践的に役立つ人材の養成」を達成するための導入的教育として位置づけられる科目である。テーマとしては、順正学園及び大学が、立地する地元地域社会の中で発展を遂げてきた歴史、ならびに地域の歴史や文化、人々の生活等について理解を深めるとともに、地域社会の現状を理解し、地域創成に向けて取り組むべき課題について学ぶことがあげられる。 到達目標としては次の2点があげられる。 ①順正学園及び大学の歴史ならびに地域社会の歴史的特性や現状を理解し、地域創成のための取り組むべき課題を理解できる。 ②地域創成に向けて、学生としてどのような貢献ができるか考え、チャレンジする態度を涵養できる。
授業概要	順正学園及び大学が、立地する地域の中で発展を遂げてきた歩み(歴史)を概観するとともに、地元地域で様々な活動を展開されている方々を講師に招き、地域の歴史や文化、人々の生活ならびに地域社会の現状や課題等についてご講演いただき、地域の特性や課題について理解を深める。また、毎回の講義の中で、学生の立場で地域の課題解決や発展にどのような貢献ができるのか考え、生活の主体者として地域創生に向けて取り組む姿勢を涵養することができるよう、レポート課題に取り組む。
アクティブラーニングの内容	PBL／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	毎回授業時提出のレポート評価(70%)、第8回目に行う学修成果確認レポート作成の評価(30%)により、総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回の授業でレポート提出を課すが、次回の授業時までに内容を評価し返却する。
履修条件・注意事項	地域の様々な立場にある外部講師による有益な講義を多く導入しているので、受講態度に十分留意して毎回必ず出席すること。 受講内容に関するレポート課題には、単に感想を述べるのではなく、真摯に、積極的に取り組むこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　授業を担当する複数の講師は、いずれも学園や大学の創設に中心的役割を担い尽力した講師や、地域社会の中で様々な活動を展開している実務経験の豊富な講師である。
事前学習・事後学習とその時間	１）事前にユニパを通じて配布する資料に十分目を通すとともに、インターネット等を通じて授業内容に関する情報を収集するなど、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。 ２）授業後には、学修内容を振り返り、不明な点や確認したいことなどを各自で調べるなど、毎回2時間以上の事後学修を行うこと。
オフィスアワー	個人研究室にて、木曜日4限、金曜日5限に実施するが、必要に応じて他の曜日時間を調整して随時対応する。

授業計画	担当者

第１回	オリエンテーション 地域創成と何かー吉備国際大学の学生として「きびこく学」を学ぶ意義と授業計画について	大西正泰(経営社会学科) (各学科担当教員)
第２回	順正学園及び吉備国際大学の歴史について	加計美也子 順正学園副総長
第３回	高梁市の歴史と文化及び政策課題と今後の方向性について	近藤隆則 高梁市長
第４回	高梁基督教会堂(岡山県指定史跡)をめぐる歴史と人物	高梁基督教会牧師　八木橋康広
第５回	日本遺産「備中吹屋」	吹屋ふるさと村村長　戸田誠
第６回	「未来につなぐ図書館」としての活動	高梁市図書館統括マネージャー　宮地 康志
第７回	宇治地域住民総働のまちづくり	宇治地域市民センター長 中曽 まゆみ
第８回	「山田方谷紹介用DVD視聴」によるレポート作成、ならびに全授業の学修成果振り返りレポート作成	各学科担当教員
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	毎回授業用資料をTeamsで配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	「備中高梁」に学ぶ	参・出版社名１	吉備人出版
参・著者名１	吉備国際大学「備中高梁学」研究会	参・ＩＳＢＮ１	9784860691967
参・書籍名２	留岡幸助と備中高梁	参・出版社名2	吉備人出版
参・著者名2	倉田 和四生	参・ＩＳＢＮ2	9784860690991

授業科目名	SDGs概論 アニメ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SR-1-002

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	15時間	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	△	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「地球環境システムと人間社会システムの現状とSDGsの必要性と意義の理解」をテーマとし、SDGsの概要について学びます。 到達目標は下記の通りです。 ・地球環境システムと人間社会システムの現状とSDGs策定の背景が理解できる ・SDGsについて全体像を把握し、その概要を説明できる ・SDGsの各目標を自分事として捉えることができる ・SDGsの達成に向けて必要な取り組みを実行することができる
授業概要	2030年までの国際目標である「持続可能な開発目標SDGs」について、その背景や目的を学ぶと共に、SDGsの17の目標について概要を学ぶ。また、SDGs達成に向けて実際にどのような取り組みが行われているかを学ぶ。そして、学生自らがその実現に向け、何ができるか、また何をしなければならないかを考え、実行しようとする能力を身につける。 授業は全学科の学生が受講する合同授業と各学科の授業で構成されている。合同授業は、地球環境システムと人間社会システムの現状とSDGs策定の経緯およびSDGsの概要について講義形式で教授する。各学科の授業ではグループに分かれてSDGs達成に向けた施策をまとめ、グループ毎に発表をおこない課題解決能力を養う。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	グループでの活動及び発表を評価する（50%）。最後に筆記試験を行いSDGsの理解度を評価する（50%）。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	振り返りレポートを評価して次回授業で返却する。
履修条件・注意事項	１）初回の授業には、必ず出席すること ２）学科別授業ではグループワークを行うことから、授業を欠席しないこと ３）合同授業日と各学科授業日があるので注意すること
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ユニバーサルパスポートで配付する資料を基に事前学習をすること。また、授業終了後は必ず復習を行うこと。予習及び復習は各2時間程度行うこと。
オフィスアワー	月曜日2時限と火曜日2時限、2号館6階263研究室にて

	授業計画	担当者
第１回	SDGsとは何か－なぜ学ぶのか（オリエンテーションを含む	井勝久喜、清水光二
第２回	2030アジェンダ採択までの経緯	井勝久喜、清水光二

第３回	SDGsが目指している世界	井勝久喜、清水光二
第４回	SDGsの17の目標	井勝久喜、清水光二
第５回	グループ分けと検討課題の設定	清水光二
第６回	グループ別発表1回目	清水光二
第７回	グループ別発表2回目	清水光二
第８回	試験	清水光二
第９回		
第１０回		
第１１回		
第１２回		
第１３回		
第１４回		
第１５回		
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	使用しない（プリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	SDGsとは何か？	参・出版社名１	三和書籍
参・著者名１	安藤顯	参・ＩＳＢＮ１	ISBN：978-4-86251-398-4
参・書籍名２	SDGsワークブック	参・出版社名2	日経ＢＰ
参・著者名2	山崎　紅	参・ＩＳＢＮ2	978-4-296-07020-6

授業科目名	グローバルスタディーズ入門 保健医療福祉学部以外	担当者	吉備国際大学未定教員、畝　伊智朗
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-SR-1-003

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１３．気候変動に具体的な対策を／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ： Think Globally Act Locally.グローバルに物事を見る、グローバルに考える。実践はローカルに。 到達目標： ヒト、モノ、カネ、情報が自由に世界を飛び回る時代。グローバル化、国際化が進展する現代では、グローバルな視点で、日本を見直す必要がある。日本の事情・都合だけで、政治・外交、経済、企業経営などを行なうことはできない。そのため、グローバルな視点で事象を観察、評価、判断できる能力が求められる。社会科学分野の基本概念を学ぶことを通じて、グローバルな視点を学び、世界の常識を学びながら、グローバル人材としての基本的思考を確立することを目指す。学生は、グローバルな視点で物事を判断できるようになる。
授業概要	将来、社会で活躍する学生は、国際関係、国際経済、難民問題、その他多くのグローバル事象を複眼的に検討し、日本の事情を理解した上で、自分の意見が言える必要がある。そして、それを踏まえつつ、地域社会で実践する。それがグローバル人材。そのため、社会科学の多くの視点、手法を学びつつ、それを通じて世界の常識を認識できるようになる。グローバル人材として当然知っておくべき基本的な内容を学べる授業である。 具体的なイッシューを題材として、講義を行なう。その際、経験的方法、量的論証、批判的思考方法の手法・視点を取り入れる。自己教育力を身につけてもらうため、問題解決型学習の実践も取り入れる。グループに課題を与え、実態を調査し解決策を検討する。その成果は、授業で発表を行なってもらう。 この科目が、他の教養科目の学修深化の一助となると共に、海外留学での学びや専門科目を履修する上での基礎を築くものとしたい。 なお、履修者の興味、関心などに基づき、ディスカッションのやり方、テーマなどは適宜調整する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業への参加度・コメント（40%）、グループ・プレゼンテーション（20%）、最終レポートの成績（40%）により、総合評価をおこなう。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	グループ・プレゼンテーションの結果は、各プレゼンテーションの後で、それぞれ講評を行う。最終レポートに関しては、コメントを付し、授業または事務室を経由して、返却する。
履修条件・注意事項	ワールドニュースを必ず観ること。チェックすること。世界で起こっていることに関して、興味関心を持つこと。

実務経験のある教員	該当する	内容	本講義の担当教員は、米国に通算2ヶ年留学し、国際協力機構JICAで長年勤務し、その間、コートジボアール日本大使館、JICAケニア事務所、フランスにある国際機関経済協力開発機構（OECD）に勤務した経験があるほか、多くの外国要人の接遇経験もある。 それらの実務経験で学んだ暗黙知（本、論文、ネット記事などになっていないもの）を、授業の節目節目で共有し、講義にリアリティを持たせる。
事前学習・事後学習とその時間	毎日、新聞を読む。ネットニュースなどをチェックする。参考図書などを読んで特定テーマに関し調べることなど、授業1回当たり、事前学習90分、復習90分の自己学修を必要とする。		
オフィスアワー	2号館附属図書館内で、毎週月曜日3限目、5限目をオフィス・アワーとします。		

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション　グローバル・スタディーズで学ぶこと	畝
第２回	国境とは何か？	畝
第３回	人はなぜ移動するのか？	畝
第４回	なぜ、自衛隊を軍隊と呼ばないのか？	畝
第５回	国連憲章と日本国憲法	畝
第６回	ジェンダー、LBGT、少数民族	畝
第７回	グループ・プレゼンテーション	畝
第８回	価値、価格はどのように決まるのか？	畝
第９回	自由貿易は本当に世界を豊かにするのか？	畝
第１０回	産業の空洞化、技術流出とは何か？何が問題なのか？	畝
第１１回	多国籍企業とは何だろうか？	畝
第１２回	高齢化社会の課題	畝
第１３回	世界の教育問題、日本の教育問題。	畝
第１４回	なぜ、Liberal Artsを学ぶのか？	畝
第１５回	グループ・プレゼンテーションと総括	畝
第１６回	最終試験（レポート）	畝

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	国際関係論　同時代史への羅針盤	参・出版社名１	中公新書
参・著者名１	中島嶺雄	参・ＩＳＢＮ１	4-12-101106-6
参・書籍名２	経済学を味わう　東大1、2年生に大人気の授業	参・出版社名2	日本評論社
参・著者名2	市村英彦ほか	参・ＩＳＢＮ2	978-4-535-55955-4

授業科目名	グローバルスタディーズ入門 留学生(１クラス)	担当者	日笠　恵美子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-SR-1-003

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・AL
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。
授業概要	主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業態度を平常点として２０点、ノートやレポート課題の提出を５０点、そして単位認定試験を３０点とし、これらを１００点満点で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業内にてフィードバック
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。 履修上の条件・注意点：履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。本科目は、プレイスメントテストの結果で、２クラスに編成する。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が修得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上予習することと、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	日笠
第２回	世界の中の日本、岡山、高梁	日笠
第３回	日本人の行動様式	日笠
第４回	日本の食文化	日笠
第５回	日本の伝統文化	日笠

第６回	健康法	日笠	
第７回	教育と学び	日笠	
第８回	余暇と娯楽	日笠	
第９回	現代の社会	日笠	
第１０回	報道とマスコミ	日笠	
第１１回	ITと情報社会	日笠	
第１２回	科学と技術	日笠	
第１３回	日本の歴史	日笠	
第１４回	岡山の祭り	日笠	
第１５回	異文化理解	日笠	
第１６回	単位認定試験	日笠	
教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じてプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	漢字マスターN2	参・出版社名１	三修社
参・著者名１	アークアカデミー	参・ＩＳＢＮ１	978-4-384-05632-7
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	グローバルスタディーズ入門 留学生（２クラス）	担当者	井上　光惠
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-SR-1-003

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。
授業概要	日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を身につける。掲げたテーマごとにグループディスカッション行ったり、プレゼンテーションを行い、総合的で多角的な日本語力を身を養成する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業態度を平常点として２０点、プレゼンテーション・小テスト・課題の提出などを３０点、そして単位認定試験５０点とし、これらを１００点満点で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	① テキストで新しく学習した語彙・文型の練習問題を毎回の課題とし、翌週その答えのチェックとフィードバックを行う。 ② 初中級レベルの「漢字」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストをしフィードバックを行う。 ③テーマごとにプレゼンテーションを行い、フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも平常点として考慮する。単位認定試験に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎週の授業内容を踏まえて、事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間、教室にて

授業計画	担当者

第１回	１．オリエンテーション　自己紹介	井上光惠
第２回	２．トピック２（食文化）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光惠
第３回	３．トピック２（食文化）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠
第４回	４．トピック２（食文化）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第５回	５．トピック３（観光）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光惠
第６回	６．トピック３（観光）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠
第７回	７．トピック３（観光）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第８回	８．トピック５（行事）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光惠
第９回	９．トピック５（行事）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠
第１０回	１０．トピック５（行事）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第１１回	１１．トピック７（歴史）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光惠
第１２回	１２．トピック７（歴史）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠
第１３回	１３．トピック７（歴史）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第１４回	１４．振り返り	井上光惠
第１５回	１５．総括	井上光惠
第１６回	単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	まるごと　ことばと文化　初級２　A2　りかい	教・出版社名１	三修社
教・著者名１	来嶋洋美　柴原智代　八田直美　今井寿枝　木谷直之	教・ＩＳＢＮ１	978-4-384-05757-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	漢字たまご 初中級	参・出版社名１	凡人社
参・著者名１	嶋田和子 有山有樹 落合知春	参・ＩＳＢＮ１	978-4-89358-832-6
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	グローバルスタディーズ入門 （秋入学生）（１クラス）	担当者	日笠　恵美子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-SR-1-003

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・AL
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。
授業概要	主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業態度を平常点として２０点、ノートやレポート課題の提出を５０点、そして単位認定試験を３０点とし、これらを１００点満点で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業内にてフィードバック
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。 履修上の条件・注意点：履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。本科目は、プレイスメントテストの結果で、２クラスに編成する。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が修得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上予習することと、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	日笠
第２回	世界の中の日本、岡山、高梁	日笠
第３回	日本人の行動様式	日笠
第４回	日本の食文化	日笠

第５回	日本の伝統文化	日笠	
第６回	健康法	日笠	
第７回	教育と学び	日笠	
第８回	余暇と娯楽	日笠	
第９回	現代の社会	日笠	
第１０回	報道とマスコミ	日笠	
第１１回	ITと情報社会	日笠	
第１２回	科学と技術	日笠	
第１３回	日本の歴史	日笠	
第１４回	岡山の祭り	日笠	
第１５回	異文化理解	日笠	
第１６回	単位認定試験	日笠	
教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じてプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	漢字マスターN2	参・出版社名１	三修社
参・著者名１	アークアカデミー	参・ＩＳＢＮ１	978-4-384-05632-7
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	グローバルスタディーズ入門 （秋入学生）（２クラス）	担当者	井上　光恵
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-SR-1-003

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。
授業概要	日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を身につける。掲げたテーマごとにグループディスカッション行ったり、プレゼンテーションを行い、総合的で多角的な日本語力を身を養成する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業態度を平常点として２０点、プレゼンテーション・小テスト・課題の提出などを３０点、そして単位認定試験５０点とし、これらを１００点満点で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	① テキストで新しく学習した語彙・文型の練習問題を毎回の課題とし、翌週その答えのチェックとフィードバックを行う。 ② 初中級レベルの「漢字」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストをしフィードバックを行う。 ③テーマごとにプレゼンテーションを行い、フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも平常点として考慮する。単位認定試験に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎週の授業内容を踏まえて、事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間、教室にて

授業計画		担当者
第１回	１．オリエンテーション　自己紹介	井上光惠
第２回	２．トピック２（食文化）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光惠
第３回	３．トピック２（食文化）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠
第４回	４．トピック２（食文化）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第５回	５．トピック３（観光）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光惠
第６回	６．トピック３（観光）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠
第７回	７．トピック３（観光）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第８回	８．トピック５（行事）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光惠
第９回	９．トピック５（行事）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠
第１０回	１０．トピック５（行事）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第１１回	１１．トピック７（歴史）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光惠
第１２回	１２．トピック７（歴史）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠
第１３回	１３．トピック７（歴史）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第１４回	１４．振り返り	井上光惠
第１５回	１５．総括	井上光惠
第１６回	単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	まるごと　ことばと文化　初級２　A2　りかい	教・出版社名１	三修社
教・著者名１	来嶋洋美　柴原智代　八田直美　今井寿枝　木谷直之	教・ＩＳＢＮ１	978-4-384-05757-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

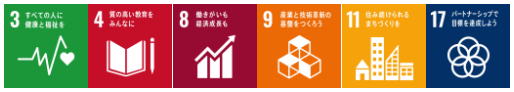
参考書			
参・書籍名１	漢字たまご 初中級	参・出版社名１	凡人社
参・著者名１	嶋田和子 有山有樹 落合知春	参・ＩＳＢＮ１	978-4-89358-832-6
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	課題解決演習 アニメ	担当者	大谷　卓史
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SR-1-004

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	△	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１１．住み続けられるまちづくりを／１７．パートナーシップで目標を達成しよう 
到達目標	テーマ：備中高梁でアニメーション文化学部が取り組む地域貢献活動を知り、多様な社会課題に関する知識を修得し、その課題解決のプロセスを経験する。 到達目標は、学生が次のことができるようになることである。 ①海外を含む学生の出身国（日本を含む）・地域が有する社会課題について知り、説明ができるようになる。 ②備中高梁でアニメーション文化学部が取り組む地域貢献活動やその他地域の地域振興活動とその目標・目的について知り、説明できるようになる。 ③上記②の地域貢献活動をさらに発展させる方法や、より効果的に目標・目的を達成する方法について提案ができる。 ④グループでの演習活動を通じて、多様な考え方やそれぞれの価値観の違いを知る。 ⑤学習成果の発表機会を通じ、プレゼンテーション力が身に着く。
授業概要	既習の他の必修科目（人間力育成科目：きびこく学、SDGs概論）でアニメーション作品等を通じて学んだ各地域の現状・課題の知識をもとに、さまざまな地域の社会課題解決のためにアニメーション文化学部やほかの組織が取り組む事例を学び、さらにこれらの活動を発展させる方法や、より効果的に目標・目的を達成する方法についてグループで検討し、提案ができるようになることを目指す。大学が位置する備中高梁を含む岡山県や中山間地の社会課題について、アニメーション文化学部が取り組む事例とともに、ほかの地域の社会課題に取り組む事例などを紹介する。グループワークを通じて、これらの事例をもとによりそれらの活動を発展させる方法や、より効果的に目標・目的を達成する方法を提案し、各チームごとにプレゼンテーションして発表する。そのうえで、グループで話し合って海外を含む自らの出身地域や居住地の社会課題を取り出し（出身国・出身地域が異なるグループメンバーにとって共通の課題でもよいし、グループメンバー誰かの出身国・出身地域の社会課題でもよい）、授業で紹介された事例やその事例を改善した問題解決方法を応用して、どのようにその社会課題に取り組むかグループで考察を行い、その結果について提案する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	プレゼンテーション（60%）・ポートフォリオ内容（40%）　授業ポートフォリオは、いわゆる「大福帳」（シャトルカード）を利用する。各回の授業終了までにその回で学んだこと、その学んだことに関する自分自身の意見や感想、質問等を書くこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	「大福帳」に書いた内容に関しては、担当者が閲覧し、受講者の意見・感想・質問に対するコメントを付して返却する。
履修条件・注意事項	留学生（N2合格者以外）については、原則、2年次以降の履修とする。理由としては、グループでのディスカッションや発表機会が多くあるためである。
実務経験のある教員	該当する　内容　地域貢献活動に実際に従事する教員および、外部講師が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回発表機会があるので、その準備のために2時間程度の予習・復習時間を要する。

オフィスアワー	担当教員（大谷）のオフィスアワーは下記のとおりである。 春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	授業オリエンテーション	大谷
第２回	演習グループ、チームづくり（自己紹介等含む）	大谷
第３回	地方に広がるアニメスタジオ・ゲーム関連企業：コンテンツ産業立地論	井上・大谷
第４回	「米子映画事変」と地域振興活動	外部講師（米子ガイナックス）・大谷卓史
第５回	半農・半アニの地域に根差したアニメスタジオを目指して	外部講師（えかきや）・大谷卓史
第６回	児島で3Dキャラクターをつくる	外部講師（株式会社なのです）・大谷卓史
第７回	課題解決ワーク:各地の事例から見るコンテンツ産業と地域振興	大谷
第８回	成果発表:各地の事例から見るコンテンツ産業と地域振興	大谷
第９回	ゲームジャム高梁：ゲームジャムと若手クリエイター育成	外部講師・大谷卓史
第１０回	ICTを通じて地域住民の交流を促す：ICTクラブ高梁	外部講師・大谷卓史
第１１回	クリエイティブフェスティバル：eスポーツと地域振興	外部講師・大谷卓史
第１２回	課題解決ワーク:アニメーション文化学部の地域貢献活動をアップデートする	大谷
第１３回	成果発表:アニメーション文化学部の地域貢献活動をアップデートする	大谷
第１４回	課題解決ワーク：自分の出身地域や居住地の社会課題をコンテンツで解決できるか	大谷
第１５回	成果発表：自分の出身地域や居住地の社会課題をコンテンツで解決できるか	大谷
第１６回	学習成果ポートフォリオまとめ	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ローカルコンテンツと地域再生 観光創出から産業振興へ	参・出版社名１	水曜社
参・著者名１	増淵敏之	参・ＩＳＢＮ１	978-4880654515
参・書籍名２	コンテンツツーリズム メディアを横断するコンテンツと越境するファンダム	参・出版社名2	北海道大学出版会
参・著者名2	山村高淑、フィリップ・シートン	参・ＩＳＢＮ2	978-4832968677

授業科目名	キャリアデザインⅠ アニメ	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CE-1-005

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	８．働きがいも経済成長も
到達目標	【到達目標】社会的自立と職業的自立にむけて、自分の生き方・働き方を計画（キャリアデザイン）し、実行できる人間力と社会人意識の基礎を身につける。 キャリアとは、生涯にわたる様々な立場や役割における自己と働くこととの関係づけや価値づけで、人生そのものである。そして、キャリアデザインとは、卒業後の将来を見据えて自らの生き方・働き方を考え、計画することである。大学生活を充実させ、社会で生きていくためには、自立的・主体的に考えて行動し、問題や課題に直面したときに自分で対処し解決する力が必要となる。そのためには、社会が求める人間像（自主性、責任感、教養、分別、コミュニケーション力）について考え、自分自身を知り目標をもって実行していくことが必要である。 したがって、この科目の具体的な到達目標として、以下の3点を設定する。 ①学生は自分自身を知り、社会を知ることで、自らの将来をイメージしながら、社会に出て働く意味や自分の目標を明確化できる。 ②学生はその目標や社会的自立に向けて、自身のキャリアをデザインし、大学生活をどのように過ごすか考え、実践できる。 ③学生は社会人としての基礎力であるコミュニケーション能力、社会人意識、職業選択能力を向上できる。
授業概要	授業は、合同授業と学科別授業で構成されている。合同授業では、キャリアとは何か、キャリアをデザインするとはどのようなことか、大学生活における心身の健康やキャリア実践活動、一般的学力（自己理解）について講義や演習を行う。また、マイステップを使用する「キャリアデザインノート」の意義や作成方法についても説明し、個人の記録として卒業まで活用していく。 授業全体を通して、「自分を知る」「社会を知る」「社会とつながる」「生き方を考える（大学生活を含む）」「働き方を考える」という5つのテーマで構成し、ワークシートやキャリアデザインノートへの記入、グループワークやディスカッションといった演習活動を行って自分の人生を考えることができるようにする。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	授業時間内の活動や発言（30%）、ワークシートやキャリアデザインノートへの記入（30%）、基礎学習（kiuiドリル）実施状況（20%）、最終試験あるいはレポート（20%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィード	ワークシートやキャリアデザインノートの記入内容については、授業内でフィードバックする。

バック方法			
履修条件・注意事項	毎回、資料やプリントを配布するので、第1回目授業からファイルを持参すること。		
実務経験のある教員	該当する	内容	第2回、5回、14回は、キャリア形成や就職支援の実務経験のある外部講師を招き、キャリアデザインの基礎となる自己理解の演習を行う。
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、授業内で配布された資料や参考図書を読んでおく。 事後学習として、授業内で配布された資料を読み、次回までの課題が提示された回はその課題に取り組む。随時、自身のキャリア実践やプランについて「キャリアデザインノート」に記載していく。 各２時間の学修時間を目安とする。		
オフィスアワー	14号館6階の個人研究室にて、毎週月曜日4限目をオフィスアワーの時間とする。		

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・キャリアとは何か	今村
第２回	自分を知る・社会を知る：興味検査（VPI）or適正検査（GATB）	外部講師：マイナビ
第３回	自分を知る・生き方を考える：メンタルヘルス	森信
第４回	生き方を考える：キャリアデザインとは何か、大学生活の意義	藤原
第５回	自分を知る：基礎学力（1回目）、大学生活の基礎	外部講師（ラインズ・マイナビ）
第６回	社会とつながる：対人コミュニケーション	今村
第７回	社会を知る・つながる：キャリア実践となる課外活動	藤原、外部講師（ボランティアセンター）
第８回	自分を知る・社会を知る：社会人基礎力	今村
第９回	自分を知る：自分の強みと弱み	今村
第１０回	社会とつながる：対人関係力	今村
第１１回	生き方を考える：これまでの振り返りとライフプラン	今村
第１２回	社会を知る・働き方を考える：学科の専門性や資格を活かす仕事	今村
第１３回	社会を知る・働き方を考える：興味関心や能力を活かす仕事	学科
第１４回	自分を知る：基礎学力（２回目）、将来に向けて	外部講師：ラインズ・マイナビ
第１５回	まとめ：キャリアデザインノートの作成	今村
第１６回	レポート（キャリアデザインノートの提出）	今村

教科書			
教・書籍名１	教科書は指定しない。毎回、資料やワークシートを配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	キャリアデザインⅠ 留学生（アニメ）	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-CE-1-005

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	卒業後の社会人としての人生に向け、４年間の大学生生活（授業、ボランティア、アルバイト、クラブ活動など全般）でいかにキャリアを積み上げるかを考え、卒業までの過ごし方を計画（自己のキャリアデザイン）し、実行を始める。社会が求める人間像を学びつつ、自己分析力を身につけ、卒業までの各節目に常に自己分析をし、その時点で何を身につけるべきか、何をすべきかを考えることができるようになる。
授業概要	社会が求める人間像を学びつつ、特に自己分析力を身につけ、キャリアデザインを考え実行出来るようになるための授業である。 合同授業と、各学科単位での授業の２形態とする。合同授業は、学生生活と卒後の就職などについての授業である。学科単位の授業は、各学科の特性を考慮し、教員の経験や実績を活かした内容とする。 全授業を、ワークシートや配布資料をファイルし、キャリアポートフォリオとして整理し、個人の成長の記録として卒業まで活用する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	評価の内訳は、毎回のレポート内容60％、ポートフォリオ整理20％、授業態度20％とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	レポートはフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	合同授業は指定した教室で行う。各学科で行う授業は各学科の指示に従うこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　この授業では一部講義において、実務経験のある企業の方を招き、日本に暮らす留学生としてのマナーなどについて講義を行い、学生の理解を深める。
事前学習・事後学習とその時間	学生のこれからのキャリアを考える場合、社会のニーズと自分の適正とのマッチングを図ることが重要で、そのためにはその両方に関する普段の省察が必要である。新聞やニュースを通じて、社会の情勢（学科の特性を考えれば、特にアニメ文化やアニメ業界のこと）に敏感になろう。と同時に、自分自身への振り返りも行おう。毎日新聞やニュースに接する時間を各自が確実に設けること、これをこの授業の普段の予習・復習とする。なお、予習・復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜１限目と水曜４限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	１年生の学び　キャリアとは何か	ｃｓｃ
第２回	社会を知る：日本の法律、社会におけるルールとマナー	ｃｓｃ
第３回	社会を知る：地域での生活、日常生活の基礎知識	ｃｓｃ
第４回	日本での生活　マナー　３年後に向けて	ｃｓｃ
第５回	社会を知る・社会とつながる：日本語を使う・遊ぶ	清水光二
第６回	自分を知る・社会とつながる：日本語能力・コミュニケーション	清水光二
第７回	自分を知る・社会とつながる：自己紹介・短文作り	清水光二
第８回	社会を知る・つながる：キャリア実践となる課外活動	ｃｓｃ
第９回	社会とつながる：会話（聞く、話す）	清水光二

第１０回	社会とつながる：文章理解・問題読解	清水光二	
第１１回	社会とつながる：対人関係・会話力	清水光二	
第１２回	自分を知る：自分の強みと弱み	清水光二	
第１３回	自分を知る・生き方を考える：興味関心や能力を活かす仕事	清水光二	
第１４回	社会を知る・生き方を考える：学科の専門性を活かす仕事	清水光二	
第１５回	まとめ：キャリアデザインノートの作成	清水光二	
第１６回	レポート試験	清水光二	
教科書			
教・書籍名１	プリント等を適宜配布。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	大学生のためのキャリア開発入門	参・出版社名１	中央経済社
参・著者名１	渡辺 峻	参・ＩＳＢＮ１	4502397709
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報活用 アニメ	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-AI-1-009

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	全学共通の基礎教育科目として、高校までに習得したコンピュータリテラシーをもとに、入学してから半期の間で、大学生に必要とされる必要最低限の一般教養としてのコンピュータスキルを身につけることを到達目標とする。 学生はコンピュータ基本操作および基礎的アプリケーションソフトの利用をおこなえるように学習し、学科のディプロマポリシーに従って、大学でITを活用した効率的な学習を行うための基礎知識を習得することができる。
授業概要	情報モラルとセキュリティ、情報システムの利用と社会問題、OSの基本操作、インターネットの閲覧とブラウザの基本操作、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトの活用、ネットワーク、インターネットによる情報検索、コンピュータによる問題解決、ハードウェアとソフトウェア、デジタルデータのしくみなどについて学習する。 講義の内容に対応して、パソコンを使用し適宜演習が行われる。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	「コンピュータスキル」の定着を確認するため、講義内で用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30％の重みづけで評価される。また、課題等の提出物30％、試験の成績を40％として最終的に総合評価が行われる。これらの３つの評価をバランスよく得ていることが単位認定（到達目標）の判断基準とされる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	教科書は必ず初回の講義から持参すること。 講義は指定されたクラス・講義室で受講すること（受講者数はパソコン教室の定員以内とする）。 オリエンテーション等で、講義が始まる前までにコンピュータリテラシーのスキルを調べる「技能確認シート」が実施される場合がある。このシート未受験者の履修はその理由によっては認められないこともある。 高校までで習得したコンピュータリテラシーを踏まえた講義であるため、受講前までに高校で得た知見を十分復習しておくこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：担当教員は、前職で専門学校のコンピュータ・インストラクターとして5年間従事し、パソコンとソフトウェアのトレーニングを行った経験を持つ。その他企業または専門職を対象として個別レッスン及びシステム構築のサポートを担当した経験を持つ。
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。

オフィスアワー	14号館6階研究室にて月曜4限に実施。 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション（クラス・教科書、ログイン等確認、Teamsの操作）	今村
第２回	パソコンのハードウェアと周辺機器	今村
第３回	デジタルデータのしくみ（ビット/バイト・標本化・コード）	今村
第４回	OSとアプリケーション	今村
第５回	ファイルシステム操作	今村
第６回	文書作成（ワープロソフト）操作	今村
第７回	文書作成（ワープロソフト）課題	今村
第８回	表計算ソフト操作	今村
第９回	表計算ソフト課題	今村
第１０回	プレゼンテーションソフト操作	今村
第１１回	プレゼンテーションソフト課題	今村
第１２回	ネットワークとインターネット	今村
第１３回	インターネットによる情報検索・情報セキュリティ	今村
第１４回	コンピュータの歴史・コンピュータによる問題解決	今村
第１５回	情報モラルと社会問題、まとめ・質疑	今村
第１６回	単位認定試験	今村

教科書			
教・書籍名１	情報リテラシー 入門編 Windows 11 / Office 2021対応（FPT2117）	教・出版社名１	FOM出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	978-4-938927-54-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数理・データサイエンス・AI基礎	担当者	佐藤　匡
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-AI-1-010

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	政府の「AI戦略2019」（2019年6月策定）にて、リテラシー教育として、文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得する、とされたことを踏まえ、各大学・高専にて参照可能な「モデルカリキュラム」が数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムにおいて検討・策定された。本講義はそのリテラシーレベルのモデルカリキュラムに従ったものである。 到達目標は、今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付けること。そして、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能をもとに、これらを扱う際には、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意志でAI等の恩恵を享受し、これらを説明し、活用できるようになること。である。 （数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム ～ データ思考の涵養～ 2020年４月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム 2枚目）
授業概要	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速している。そういった現代では、文系・理系を問わず、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、自身で適切に判断し行動することが、よりよく生きる上で求められている。また、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見のため、データから新しい価値を創造できる人材が強く求められている。そのため、この講義では、様々な分野のデータを分析するための数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶ。 前半では、数理・データサイエンス・AIが必要とされる背景やその仕組みを学習、理解する。後半では、実際に手を動かして、プログラミングを行う。
アクティブラーニングの内容	実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「数理・データサイエンス・AI基礎」の予習復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30％の重みづけで評価される。また、課題等の提出物50％、データの形式を中心とした理解度を問う試験の成績を20％として最終的に総合評価が行われる。　これらの３つの評価をバランスよく得ていることが単位認定（到達目標）の判断基準となる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	受講者数は、30人以内とする。そのため抽選となることがある。 抽選は第2回目の講義の中で担当教員が実施する。他の講義と履修を迷っている場合は注意すること。 指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 第１回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがあるので十分注意すること。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。
		担当教員が理事を務めているNPO全国要約筆記問題研究会（会員数約1,300人）では、全国の自治体に対して要約筆記者養成の現状調査を行っている。また、パソコン要約筆記全体投

実務経験のある教員	該当する	内容	影の読みやすさについて、首都圏の聴覚障がい者にアンケートや読みやすさの調査を行っている。その分析では本講義のデータサイエンスの知識が活用されている。

事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。
オフィスアワー	春学期： 岡山キャンパス131研究室水曜日３時限目 高梁キャンパス254研究室火曜日４時限目 秋学期： 岡山キャンパス131研究室火曜日２時限目 高梁キャンパス254研究室金曜日３時限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・スキル確認テスト 導入とAIの定義とAIリテラシー	佐藤 匡
第２回	ビッグデータと社会の変化	佐藤 匡
第３回	社会で活用されているデータ	佐藤 匡
第４回	データ・AIの活用領域の広がり	佐藤 匡
第５回	データ・AIの技術	佐藤 匡
第６回	データサイエンス	佐藤 匡
第７回	データ・AIを活用するときの負の側面	佐藤 匡
第８回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（考え方）	佐藤 匡
第９回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（事例）	佐藤 匡
第１０回	AIとアルゴリズム	佐藤 匡
第１１回	データの構造とプログラミング	佐藤 匡
第１２回	データの利活用方法	佐藤 匡
第１３回	時系列データと文章データの分析例	佐藤 匡
第１４回	教師あり学習と教師なし学習	佐藤 匡
第１５回	データ・AI利活用における留意事項	佐藤 匡
第１６回	まとめと筆記試験・評価	佐藤 匡

教科書			
教・書籍名１	はじめてのAIリテラシー	教・出版社名１	技術評論社
教・著者名１	岡嶋裕史、吉田雅裕 著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-297-12038-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数理・データサイエンス・AI基礎	担当者	大谷　卓史
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-AI-1-010

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	政府の「AI戦略2019」（2019年6月策定）にて、リテラシー教育として、文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得する、とされたことを踏まえ、各大学・高専にて参照可能な「モデルカリキュラム」が数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムにおいて検討・策定された。本講義はそのリテラシーレベルのモデルカリキュラムに従ったものである。 到達目標は、今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付けること。そして、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能をもとに、これらを扱う際には、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意志でAI等の恩恵を享受し、これらを説明し、活用できるようになること。である。 （数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム ～ データ思考の涵養～ 2020年４月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム 2枚目）
授業概要	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速している。そういった現代では、文系・理系を問わず、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、自身で適切に判断し行動することが、よりよく生きる上で求められている。また、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見のため、データから新しい価値を創造できる人材が強く求められている。そのため、この講義では、様々な分野のデータを分析するための数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶ。 前半では、数理・データサイエンス・AIが必要とされる背景やその仕組みを学習、理解する。後半では、実際に手を動かして、プログラミングを行う。
アクティブラーニングの内容	実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「数理・データサイエンス・AI基礎」の予習復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30％の重みづけで評価される。また、課題等の提出物50％、データの形式を中心とした理解度を問う試験の成績を20％として最終的に総合評価が行われる。　これらの３つの評価をバランスよく得ていることが単位認定（到達目標）の判断基準となる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	受講者数は、30人以内とする。そのため抽選となることがある。 抽選は第2回目の講義の中で担当教員が実施する。他の講義と履修を迷っている場合は注意すること。 指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 第１回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがあるので十分注意すること。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。
		担当教員が理事を務めているNPO全国要約筆記問題研究会（会員数約1,300人）では、全国の自治体に対して要約筆記者養成の現状調査を行っている。また、パソコン要約筆記全体投

実務経験のある教員	該当する	内容	影の読みやすさについて、首都圏の聴覚障がい者にアンケートや読みやすさの調査を行っている。その分析では本講義のデータサイエンスの知識が活用されている。

事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 春学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室） 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・スキル確認テスト 導入とAIの定義とAIリテラシー	佐藤 匡
第２回	ビッグデータと社会の変化	佐藤 匡
第３回	社会で活用されているデータ	佐藤 匡
第４回	データ・AIの活用領域の広がり	佐藤 匡
第５回	データ・AIの技術	佐藤 匡
第６回	データサイエンス	佐藤 匡
第７回	データ・AIを活用するときの負の側面	佐藤 匡
第８回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（考え方）	佐藤 匡
第９回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（事例）	佐藤 匡
第１０回	AIとアルゴリズム	佐藤 匡
第１１回	データの構造とプログラミング	佐藤 匡
第１２回	データの利活用方法	佐藤 匡
第１３回	時系列データと文章データの分析例	佐藤 匡
第１４回	教師あり学習と教師なし学習	佐藤 匡
第１５回	データ・AI利活用における留意事項	佐藤 匡
第１６回	まとめと筆記試験・評価	佐藤 匡

教科書			
教・書籍名１	はじめてのAIリテラシー	教・出版社名１	技術評論社
教・著者名１	岡嶋裕史、吉田雅裕 著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-297-12038-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数理・データサイエンス・AI基礎	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-AI-1-010

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	膨大なデータを適切に処理することが様々な分野で求められていることを理解し、基本的なデータに対する知識、および、データの扱い方を学習する。 ・なぜデータサイエンスを学ぶのか、社会でどのように活用されているのかを知る。 ・データの処理、集計、可視化、分析を行うためのデータサイエンスの基礎的事項を学習する。 ・社会における事象を適切に捉え、分析・説明できる力を修得する。 ・データが重要視されるようになった社会背景を理解する。 ・データとは何かを説明できる。 ・データの基本的な分析手法を理解する。 ・データサイエンティストに求められるスキルを理解する。
授業概要	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速している。 この時代においては、文系・理系を問わず、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、自身で適切に判断し行動することがこれからをよりよく生きる上で求められている。 さらに、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見、および、データから新しい価値を創造できる人材が強く求められている。 この講義では、様々な分野のデータを分析するための数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶことを目的とする。 前半では、数理・データサイエンス・AIが必要とされる背景やその仕組みを学習、理解する。 後半では、実際に手を動かして、プログラミングを行う。 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」リテラシーレベルの導入・基礎・心得分野
アクティブラーニングの内容	グループワーク／実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「数理・データサイエンス・AI基礎」の予習・復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。 それに対する返答、 あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が「30%」の重みづけで評価される。 また、課題等の提出物「50%」、 データの形式を中心とした理解度を問う試験の成績を「20%」として最終的に総合評価が行われる。 これらの3つの評価をバランスよく得ていることが単位認定(到達目標)の判断基準となる。

ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	【受講者数】 ・学部で30人以内とする。そのため抽選となることがある。 ・抽選は第2回目の講義の中で担当教員が実施する。他の講義と履修を迷っている場合は注意すること。 【持参物】 ・指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 ・ 第1回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト【これは、学科によって実施・非実施をきめられますか？】未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがある ので十分注意すること。 【授業計画】 進捗の状況に応じて変更することがある。

実務経験のある教員	該当する	内容	担当教員は、情報系科目の講義担当経験、ならびに、研究活動への使用経験を有している。

事前学習・事後学習とその時間	【予習】 ・各回の講義に先立ち、予習として教科書の該当箇所を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。 【復習】 ・復習として、その回で学習した用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 【全体】 ・授業の進度と同程度の予習量・復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 ・予習・復習の確認については、課題やタスクにおいて知識・技術の使用が求められ、その達成度ならびに積極的な参加態度が成績評価として考慮される。
オフィスアワー	・講義終了時間の直後 ・事前に学生と教員で相談して決めた時間帯

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・スキル確認テスト 導入とAIの定義とAIリテラシー	今村
第２回	ビッグデータと社会の変化	今村
第３回	社会で活用されているデータ1	今村
第４回	社会で活用されているデータ2	今村
第５回	データ・AIの技術	今村
第６回	データサイエンス	今村
第７回	データ・AIを活用するときの負の側面	今村
第８回	データ・AIにまつわるセキュリティ1	今村
第９回	データ・AIにまつわるセキュリティ2	今村
第１０回	AIとアルゴリズム	今村
第１１回	データの構造とプログラミング	今村
第１２回	データの利活用方法	今村
第１３回	時系列データと文章データの分析例	今村
第１４回	教師あり学習と教師なし学習	今村
第１５回	データ・AI利活用における留意事項	今村
第１６回	まとめと試験・評価	今村

教科書			
教・書籍名１	はじめてのAIリテラシー	教・出版社名１	技術評論社
教・著者名１	岡嶋裕史，吉田雅裕　著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-297-12038-2
教・書籍名２		教・出版社名2	

教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語基礎Ⅰ 看護B・アニメ	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-012

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	大学生としての読解力、会話力、リスニングとバランスの取れた英語力を養うことを到達目標とします。同時に高校までの文法の復習も行いますが、コミュニケーションに必要な最低限の文法を中心に、実際に使うことを軸に文法の授業を進めます。したがってこの授業を受ければ学生は、生きた英語を、ごく基本的な文法を理解したうえで使うことができるようになります。また英会話に応用できるリスニングも行います。この授業を受ければ学生は、あるシチュエーションで使われる単語や言い回しを知ることができ聞き取りはもちろんのこと、簡単な意思疎通もネイティブの人とできるようになります。
授業概要	しばしば中学、高校で英語を勉強しても実際の英語は使えないという批判がこれまでもありましたが、単なる知識を積み上げるだけでは使えるようにならないことから、内容ある英語を使う練習、覚えると役に立つ意味あるやり取りを設定して、同時に文法の復習を行います。時間が限られていることから、文法の説明は行いながらも、不得意な学生のために、必要最低限の文法の解説に絞っています。ユニットごとにテーマを設定し、そのテーマに関連する知識を広げたり考えを深めたりして身近な話題や関心の持てるものを授業で行います。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	授業での発表と定期試験とを半々の５０％で査定し評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業は試験を含めて１６回行いますが、１５回目に試験を行い、最後の１６回目の授業時間に試験についての詳しい解説を行うことで学生の英語習得の定着を図ります。
履修条件・注意事項	この授業は必修です。国際大学の学生にふさわしい最低限の知識と実力をつけてもらいたいと考えていますので、是非とも予習、復習をしっかり行ってください。教科書の販売については他の講義とは異なり、最初の授業で行いますのでその指示に従って下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習、復習が大切です。できれば毎日１０～１５分でよいので次の週までに合計９０分程度の時間になるように、声に出して教科書を読んできて下さい。予習して授業に臨むのとしないとのとでは身に付くレベルに大きな差が生まれます。復習も同じで、講義で行ったことを一日１５分前後でよいので毎日自分で声に出して一週あたり９０分程度になるよう英文を読む習慣をつけてください。
オフィスアワー	水曜日の３限です。研究室に来て下さい。授業が重なって都合が悪い人はあらかじめアポイントメントを取って下さい。時間の調整をします。２号館６Ｆの研究室です。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション　春学期の授業に関しての説明と２回目の授業のさわり	平見勇雄
第２回	Profile　自分を知ろう　BE動詞	平見勇雄
第３回	Sports　多彩だね、スポーツの世界　一般動詞：自動詞・他動詞	平見勇雄
第４回	Special Occasions　特別な日は誰に何をしてあげる？　二重目的語、目的語をとる動詞	平見勇雄
第５回	Families　家族を知ろう　人称代名詞	平見勇雄
第６回	Japan Quiz　日本クイズに挑戦　WH疑問文	平見勇雄
第７回	Love and Marriage　恋愛はいつの時代も人々の関心事？　過去形	平見勇雄

第８回	Life History　今までの自分を語ろう　現在完了形　継続		平見勇雄
第９回	Leisure　自分の経験を語ろう　現在完了形　経験・完了		平見勇雄
第１０回	College Life　学生生活を楽しもう　進行形		平見勇雄
第１１回	On Vacation　休暇の計画をたてよう　未来表現		平見勇雄
第１２回	Out and About　自分の気持ちを上手に伝えるには　助動詞　CAN,MAY		平見勇雄
第１３回	春学期の総復習（１）　BE動詞　一般動詞　人称代名詞　疑問		平見勇雄
第１４回	春学期の総復習（２）　現在完了形　進行形　助動詞		平見勇雄
第１５回	春学期の試験		平見勇雄
第１６回	春学期の総復習、フィードバック		平見勇雄
教科書			
教・書籍名１	コミュニケーションのためのベーシック・グラマー　Living Grammar	教・出版社名１	成美堂　SEIBIDO
教・著者名１	Atsuko Yamamoto・Naoko Osuka・Chikako Mano・Kyoko Okamoto・Benedict Rowlett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-7919-7227-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語基礎Ⅱ アニメ	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-013

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	大学生としての読解力、会話力、リスニングとバランスの取れた英語力を養うことを到達目標とします。同時に高校までの文法の復習も行いますが、コミュニケーションに必要な最低限の文法を中心に、実際に使うことを軸に文法の授業を進めます。したがってこの授業を受ければ学生は、生きた英語を、ごく基本的な文法を理解したうえで使えるようになります。また英会話に応用できるリスニングも行います。この授業を受ければ学生は、あるシチュエーションで使われる単語や言い回しを知ることができ聞き取りはもちろんのこと、簡単な意思疎通もネイティブの人とできるようになります。
授業概要	しばしば中学、高校で英語を勉強しても実際の英語は使えないという批判がこれまでもありましたが、単なる知識を積み上げるだけでは使えるようにならないことから、内容ある英語を使う練習、覚えると役に立つ意味あるやり取りを設定して、同時に文法の復習を行います。時間が限られていることから、文法の説明は行いながらも、不得意な学生のために、必要最低限の文法の解説に絞っています。ユニットごとにテーマを設定し、そのテーマに関連する知識を広げたり考えを深めたりして身近な話題や関心の持てるものを授業で行います。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク
評価方法と割合	授業での発表と定期試験とを半々の５０％で査定し評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業は試験を含めて１６回行いますが、１５回目に試験を行い、最後の１６回目の授業時間に試験についての詳しい解説を行うことで学生の英語習得の定着を図ります。
履修条件・注意事項	この授業は必修です。国際大学の学生にふさわしい最低限の知識と実力をつけてもらいたいと考えていますので、是非とも予習、復習をしっかり行ってください。教科書の販売については他の講義とは異なり、最初の授業で行いますのでその指示に従って下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習、復習が大切です。できれば毎日１０～１５分でもよいので次の週までに合計９０分程度の時間になるように、声に出して教科書を読んできて下さい。予習して授業に臨むのとしないとのとでは身に付くレベルに大きな差が生まれます。復習も同じで、講義で行ったことを一日１０～１５分でよいので毎日自分で声に出して次の週までに９０分程度、英文を読む習慣をつけてください。
オフィスアワー	水曜日の３限です。研究室に来て下さい。授業が重なって都合が悪い人はあらかじめアポイントメントを取って下さい。時間の調整をします。２号館６Ｆです。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　秋学期の授業に関しての説明と２回目の授業のさわり	平見勇雄
第２回	Rules　しきたりは難しい　助動詞 must should	平見勇雄
第３回	Folk Tales　昔話に思わぬ教訓を発見　　接続詞　and but or so	平見勇雄
第４回	News & Events　ニュースに敏感になろう　受動態	平見勇雄
第５回	Amazing Animals 動物の世界は驚きでいっぱい　頻度を表す副詞	平見勇雄
第６回	Feelings 人間は感情の生き物だね　　ing edで終わる形容詞	平見勇雄
第７回	World Quiz 世界クイズに挑戦　　原級　比較級　最上級	平見勇雄

第８回	Business この大企業の創始者は？　基本的な前置詞 at on in		平見勇雄
第９回	Environment 環境問題を解決するには？　接続詞(2) when because although if		平見勇雄
第１０回	Old Sayings ことわざは面白い　不定詞と動名詞		平見勇雄
第１１回	Professions 将来の職業について考えよう　関係詞　who which where		平見勇雄
第１２回	What If？ 仮定の話は途方もない　仮定法		平見勇雄
第１３回	秋学期の総復習（１）　接続詞　受動態　比較級　基本的な前置詞		平見勇雄
第１４回	秋学期の総復習（２）　不定詞と動名詞　関係詞　仮定法		平見勇雄
第１５回	秋学期の試験		平見勇雄
第１６回	秋学期の総復習、フィードバック		平見勇雄
教科書			
教・書籍名１	コミュニケーションのためのベーシック・グラマー　Living Grammar	教・出版社名１	成美堂　SEIBIDO
教・著者名１	Atsuko Yamamoto・Naoko Osuka・Chikako Mano・Kyoko Okamoto・Benedict Rowlett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-7919-7227-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アクティブ英語Ⅰ 看護B・アニメ	担当者	グレン　サムナー
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2020～2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-014

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	インタラクティブ演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	英会話の様々な場面で自信を持って話せるようになることを目的としています。 学生は、フレーズ、文法、語彙を使用して、各ユニットで学習したトピックについて話すことができます。 学生は、英語での日常会話において、学習した語彙やフレーズを使って自分の経験について話すことができる。
授業概要	初級者向けのやさしい英会話のフレーズでペア・ワークやグループ・ワークやロールプレイで会話力を養成します。 各ユニットでは、基本フレーズと語彙を学習し、そのフレーズと語彙を使ってペアワークを中心に会話を練習、英会話の場面に沿った実践的なリーディングとリスニングの問題に挑戦。 学生全員参加の活気溢れる授業を提供します。 見やすく書きやすいレイアウトと楽しく学べる工夫が一杯です。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	講義に取り組む姿勢を重要視し、宿題提出、小テスト、期末テストで評価を行う。 評価は授業態度 (予習を含む)(20 %) (到達目標1・2)、宿題 (10 %) (到達目標1)、小テスト/研究課題 (20 %) (到達目標2)、定期試験 (50 %) (到達目標1)で判定する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題の後、答えと理由の解説をして、理解の定着を図る。
履修条件・注意事項	授業には英和・和英辞書または電子辞書を持参すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レッスン前予習2時間程度　巻末の文法、語彙、Notes レッスン後復習2時間程度　前の授業にしたユニットについての巻末の文法、語彙、Notes
オフィスアワー	金曜日09：30～12：40

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、コースのガイダンス、発音	
第２回	Unit 1: Pleased to meet you | Unit 2: I'm from Nagoya	
第３回	Unit 3: I'm retired now | Unit 4: This is my family	
第４回	Unit 5: How are you? | Unit 6: Could you say that again, please?	
第５回	Unit 7: I live in an apartment | Unit 8: Do you have a garden?	
第６回	Unit 9: Do you have any hobbies? | Unit 10: I have rice and miso soup for breakfast	
第７回	Units 1–-10のまとめ	
第８回	Open topic | Interview test	
第９回	Unit 11: Let's go to an Italian restaurant | Unit 12: Thank you for the chocolates	

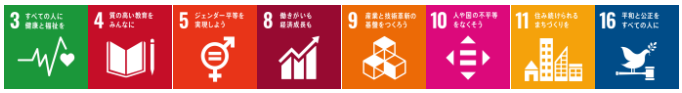
第１０回	Unit 13: I like to watch variety shows｜Unit 14: How was your weekend?	
第１１回	Unit 15: These pancakes are delicious!｜Unit 16: How do you celebrate?	
第１２回	Unit 17: How do you keep in shape?｜Unit 18: How much is this sweater?	
第１３回	Unit 19: I'm looking for some souvenirs｜Unit 20: See you soon!	
第１４回	Units 11-–20のまとめ	
第１５回	Units 1-–20 Full review	
第１６回	Final Test	

教科書			
教・書籍名１	Making friends 1	教・出版社名１	Macmillan Languagehouse
教・著者名１	ウィリアムソン デービッド/ウィリアムソン マデレン	教・ＩＳＢＮ１	ISBN: 978–4–7773–6125–0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アクティブ英語Ⅱ アニメ・スポ社	担当者	イアン・ウォーナー
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LE-1-015

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に 
到達目標	この授業を受ければ、アクティブ英語Iで学んだ基本的なパターンに加え、簡単な日常会話のより多くの基本的なパターンをマスターすることができます。 By the end of this course, students will be more familiar Engish language conversational expressions, as compared to at the end of the Active English I course. Students will therefore have more confidence vis-a-vis speaking in English.
授業概要	Throughout each weekly lesson, students will do activities and receive instruction, training and advice intended to assist and guide them in their efforts to expand and enhance their English language speaking skills and articulateness. Students will have opportunity to i) practice and thereby improve existing key skills; ii) learn various new key and / or important skills; and iii) expand vocabulary knowledge in order to raise their overall ability to understand, enter into and maintain authentic, real-life, everyday English language conversation. Students will necessarily study numerous topics including pronunciation, intonation and diction etc and be encouraged and advised at every stage about how best to express themselves clearly, efficiently and confidently. Whenever necessary therefore, major emphasis will be placed on overcoming shyness, reticence and any other presently constraining deficiencies / shortcomings that presently impede or prevent oral communication competency.
アクティブラーニングの内容	PBL／反転授業／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	60% = Coursework (Including homework and mini-tests) 40% = Final 'Term' Test Exam. (Interview) [Students will be continuously appraised regarding coursework.] Coursework = Direct verbal instruction combined with use of worksheets, audio and video files, texts and photos, etc, often delivered and collected via CALL system and / or e-mail.
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	I communicate with - and provide feedback to - all students in the following ways. Firstly, I return marked, commented on and corrected (printed and / or digital) course-work and homework worksheets and question papers to students. Secondly, I provide students with Correct / Model Answer (printed and / or digital) handout documents. Thirdly, I brief students accordingly, in writing, as and when necessary, via KIU e-mail. Fourthly, I brief students, verbally, as and when necessary / whenever I deem it to be necessary or preferable before

	during and after lessons. Fifthly, I additionally regularly encourage all students to liaise with me verbally, as much as possible, primarily, though not exclusively during lesson time, above all if / when they think that they do not fully or well enough understand a particular topic or technical point that has just been taught, is being taught currently, or seems to be directly or indirectly related / associated to what has been taught / is being taught. Finally, I also regularly encourage and urge all students to contact me via e-mail, Microsoft TEAMS, Microsoft Skype, LINE and / or Apple FaceTime.
履修条件・注意事項	This course will be conducted solely in English. Students should prepare BEFORE each lesson but not worry if they don't immediately understand things and / or make mistakes. Not understanding and making mistakes are natural and central to learning. Learning how to do things well and / or correctly requires us to discover and remember what to do and what not to do. If students are able to understand and master lesson materials and activities immediately with little or no effort, those lesson materials and activities are simply too easy and less than optimally educational. Student learning goals and thus learning materials and activities must not be too easy or too difficult. They must be appropriate. Students should be mature, adequately / sufficiently interested and engaged, and 'PROACTIVE' at all times, and therefore: 01) be - and remain - alert, focussed and highly motivated throughout each and every lesson; 02) come to each lesson ready and eager to speak / communicate with their teacher and classmates in English; 03) come to each lesson ready and eager to listen to their teacher(s) and classmates in English; 04) try to fully understand - and successfully master - all the main topics and activities mentioned in lesson time, especially those that the teacher tells them are important and / or likely to be tested in (end-of-term) examinations; 05) study (relevant) textbook pages and all teacher-distributed materials, before during and after each lesson, thoroughly and as much and frequently as possible; 06) be ready and eager to speak English in front of their classmates at least once during each lesson, ideally and / or often at some length; 07) be ready and eager to make more formal oral presentations in front of their teacher and classmates, in English; 08) come to each lesson ready and eager to write / type as required, in English; 09) try hard to communicate in English clearly, logically and expansively; 10) bring all required textbooks, log-in codes and dictionaries etc to each lesson; 11) study (relevant) textbook pages - and all teacher-distributed materials - as much as possible before, during and after each lesson; 12) strive to finish / complete and submit all required classroom and homework assignments properly, thoroughly, correctly and sufficiently well and 'on time', before specified deadlines; 13) finish / submit all required classroom and homework assignments 'on time', before specified deadlines; 14) aim to fully understand - and 'master' - everything that their teacher tells them, especially those things that they are told they will likely to be tested on during (end-of-term) examinations, etc; 15) REGULARLY discuss text-book and lesson content with their teacher face-to-face and / or by e-mail; 16) communicate with - and request help from - their teacher frequently, especially when they don't understand a lesson-related topic and require assistance; 17) try to maximize the amount of time that they practice English language Listening, Speaking and Oral Communication (OC) with their teacher and one another; 18) tell the teacher immediately if they think that any textbook or lesson-related activity is / was too easy or difficult; 19) communicate with their teacher frequently, especially if they feel confused about a lesson-related topic; 20) request help from their teacher whenever they think that they would benefit from such; 21) generally try to maximize the amount of time that they practice English language oral communication with their teacher and one another; 22) use the internet only for valid, course-work related purposes during each lesson and NOT use smartphones during lesson times

	during lesson times. 23) do an adequate / sufficient amount of revision prior to all tests and - above all - the final, end-of-term exam.		
実務経験のある教員	該当する	内容	I am a native (British) English speaker with a London accent that is close to Received Pronunciation (RP). I have travelled widely in western Europe and Japan. I was a full-time Assistant Language Teacher / Instructor (ALT) at numerous elementary, junior and especially senior high schools (throughout Chiba Prefecture) from 07/2003 until 03/2014.
事前学習・事後学習とその時間	1) Students should self-study all LESSON-TIME and HOMEWORK related Listening, Reading, Writing and / or Speaking materials that are given to them by the instructor. 2) Students are expected to do and complete all LESSON-TIME self-study assignments within the (lengths of) time specified / allocated by the instructor. Students who finish such assignments early or decide that they require additional time in which to complete them should inform the instructor immediately or as soon as possible, in person / face-to-face. 3) Students should spend a minimum of 30 minutes on any and all HOMEWORK assignments. In addition to completing all LESSON-TIME and HOMEWORK assignments, students should: a) Study the textbook(s) and / or all teacher-distributed materials regularly and frequently; b) Study the textbook(s) and / or all teacher-distributed materials 'as much as possible'; c) Try to expand vocabulary knowledge very regularly and as much as possible; d) LISTEN to appropriate English listening materials very regularly and as much as possible; e) READ appropriate English reading materials very regularly and as much as possible; f) SPEAK English very regularly and as much as possible with teachers, classmates and other people, no matter what their first language is; g) Practice WRITING English sentences with pen, pencil or PC very regularly and as much as possible; The more time students spend studying the textbook(s) and / or all teacher-distributed materials, the better. Students SHOULD aim to fully understand - and 'master' - all topics that their teacher tells them are important / and or likely to be tested on during (end-of-term) examinations. Students can and should ask the teacher to recommend additional textbooks and materials at any time.		

オフィスアワー	Students can e-mail Ian WARNER at any time: warner@kiui.ac.jp

授業計画		担当者
第１回	Talk about your summer holiday / what did you do?	Warner
第２回	Talk about seasons / expressions which describe seasons and tempreture changes	Warner
第３回	Talk about Internet / media report	Warner
第４回	Talk about daily routine / club activities	Warner
第５回	Talk about your family members	Warner
第６回	Talk about your home town	Warner
第７回	Talk about your friends / pets	Warner
第８回	Talk about your favorite cultural spots (music halls, musiums, movie theater, etc)	Warner
第９回	Various topics (decided by students)	Warner
第１０回	Various topics (decided by students)	Warner
第１１回	Various topics (decided by students)	Warner
第１２回	How can you express your feelings?	Warner
第１３回	Talk about Takahashi City (your favorite spot, city planning, etc.)	Warner
第１４回	Talk about nature	Warner
第１５回	Talk about the future	Warner
第１６回	Final EXAM. TEST	Warner

教科書			
教・書籍名１	English Listening and Speaking Patterns 1 (2017)	教・出版社名１	Nan'un-do
教・著者名１	Andrew E. Bennett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN: 9784523178422
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語と中国文化Ⅰ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LC-1-018

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能の習得（入門編）。 到達目標： 学生は中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を読んだり聞き取ったりすることができるようになる。
授業概要	中国語での読む・書く・話す力を伸ばすためには、まず発音を完全にマスターする必要がある。中国語には日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、2ヶ月近く徹底的に練習を繰り返す。その後、初級文法や簡単な日常会話を練習することにより、前期終了時には挨拶や自己紹介ができるようになる。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を読んだり聞き取ったりすることができるようになる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	1、中国語の声調に関する解説及び発声リズムの練習 2、単母音の発声練習	孫基然
第２回	1、声調発声リズムの復習 2、単母音の発声復習 3、複合母音の発声練習	孫基然
第３回	1、声調発声リズムの復習 2、単母音の発声復習 3、複合母音の発声復習 4、鼻音の発声練習	孫基然
	1、発音の復習	

第４回	2、そり舌音の発声練習	孫基然
第５回	1、発音の復習 2、子音の発声練習	孫基然
第６回	1、発音総合復習 2、発音小テス 3、実施した小テストをフィードバックする。	孫基然
第７回	1、声調符号をつける位置 2、声調の変化 3、よく使うフレーズ	孫基然
第８回	1、人称代名詞 2、判断文 3、普通疑問文	孫基然
第９回	1、副詞「也」 2、副詞「的」 3、普通疑問文	孫基然
第１０回	1、「喜歓」の使い方 2、形容詞述語文	孫基然
第１１回	1、省略疑問文 2、年齢の聞き方と使い分け	孫基然
第１２回	1、所有を表す「有」 2、完了を表す「了」 3、推測表現	孫基然
第１３回	1、時刻の言い方 2、量詞の使い方	孫基然
第１４回	1、省略疑問文 2、進行表現	孫基然
第１５回	1、提案や勧誘の使い方 2、二重目的語を取る動詞	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	中国への旅	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	山下輝彦、黄漢青	教・ＩＳＢＮ１	978-4-255-45332-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語と中国文化Ⅱ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LC-1-019

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能の習得（基礎編）。 到達目標： 学生は前期で学習した中国語の基礎を基に、やや高度な文法事項、表現等を習得し、読解力と会話力を養い、総合的な中国語力の基礎をつくり中国語検定準４級の獲得へつなげていくことができるようになる。
授業概要	中国語には、日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、２ヵ月近く徹底的に練習を繰り返す必要がある。その後、初級文法や簡単な日常会話を練習し、Ⅱの終了時には挨拶や自己紹介ができるようになる。基礎的な文法事項、表現等を会話や筆記練習等で理解を深め、会話力、読解力、応用力を高める。担当教員は毎回必ず課題として出された単語や基本構文の暗唱をチェックする。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「前期で学習した中国語の基礎を基に、やや高度な文法事項、表現等を習得し、読解力と会話力を養い、総合的な中国語力の基礎をつくり中国語検定準４級の獲得へつなげていくことができるようになる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	1、助動詞「会」と「能」 2、選択疑問文	孫基然
第２回	1、助動詞「想」 2、反復疑問文	孫基然
第３回	1、経験表現 2、連動文	孫基然
第４回	1、時量補語	孫基然

	2、存在表現	
第５回	1、助動詞「会」と「能」 2、選択疑問文 3、比較表現	孫基然
第６回	1、介詞「離」、「従」と「往」の使い方 2、動作の方式を表す「着」 3、比較表現	孫基然
第７回	1、逆接を表す「雖然……、但是」 2、「的」の使い方 3、結果補語	孫基然
第８回	中間テスト	孫基然
第９回	中間テストをフィードバックする。	孫基然
第１０回	1、逆接を表す「雖然……、但是」 2、「的」の使い方	孫基然
第１１回	1、未来を表す表現 2、方法や方式を訪ねる表現	孫基然
第１２回	1、介詞「給」 2、仮定表現	孫基然
第１３回	1、「太……了」の文型 2、人民元の数え方 3、割引の言い方	孫基然
第１４回	1、動詞の重ね型 2、「一辺」と「一点」	孫基然
第１５回	1、程度補語 2、介詞「為了」 3、方向補語と兼語文	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	中国への旅	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	山下輝彦、黄漢青	教・ＩＳＢＮ１	978-4-255-45332-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	フランス語とフランス文化Ⅰ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LF-1-020

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランスの文化を理解し、かんたんなフランス語を話す」 到達目標：学生はフランスの文化について教養として語れるようになる。それらをフランス語で読み・発音できるようになる。フランスを旅行したときなどに、あいさつやかんたんな会話ができるようになる。
授業概要	この講義は、一方向のレクチャーではなく、参加型双方向の授業で、フランス語のスキル習得のため、できるだけ大きな声を出して繰り返し発音することが求められる。フランス語の音節を正しく発音するための方法を知り、綴り字を正しく読むための理論と基礎文法を理解し、初歩的かつ日常的なフランス語会話に必要な語彙と例文を、フランスの歴史・地理・文化のなかから代表的なものを繰り返し発音して、暗唱できるようにする。初心者対象で、ABCと発音／つづり字の読み方から始められ、名詞・形容詞の性・数や冠詞などの基本文法が文化を学ぶなかで理解できるよう説明される。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランスの文化について教養として語れるようになる」という目標に対して、各自作成した報告書を提出する。「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業で質問に答えたり発表したりする。それらで総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることか ら、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験（６０％）、単位認定試験（４０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている部分について事前に黒板に板書されたキーワードを読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また事後学習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各２時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。各２時間の学修時間を目安とする。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

授業計画		担当者
第１回	スポーツ①ツール・ド・フランス	加藤健次
第２回	映画①ヌーヴェル・ヴァーグから最強の二人まで	加藤健次
第３回	音楽①サガンとブラームスはお好き？	加藤健次
第４回	建築①ロマネスク様式	加藤健次

第５回	食①パン	加藤健次
第６回	旅①ブルターニュとモンサンミシェル	加藤健次
第７回	歴史①マリーアントワネット	加藤健次
第８回	スポーツ②その他の自転車ロードレースとル・マン24時間耐久レース	加藤健次
第９回	美術②ピカソ、マチス、キュビズムと現代アート	加藤健次
第１０回	音楽②ピアフとシャンソンの世界	加藤健次
第１１回	建築②ゴシック様式	加藤健次
第１２回	食②お菓子とショコラ	加藤健次
第１３回	旅②ロワール川と城	加藤健次
第１４回	文学①詩：ボードレールからコクトーまで	加藤健次
第１５回	旅③ブルゴーニュとヴェズレー教会	加藤健次
第１６回	筆記試験	加藤健次

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	はじめて学ぶフランスの歴史と文化	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	上垣 豊（編）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4623087786 ISBN-13 ： 978-4623087785
参・書籍名２	ゼロからスタート　フランス語　会話編	参・出版社名2	Jリサーチ出版
参・著者名2	鈴木文恵(著)	参・ＩＳＢＮ2	ＩＳＢＮ１978-4-86392-103-0

授業科目名	フランス語とフランス文化Ⅱ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LF-1-021

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランスの文化を理解し、日常的なフランス語を話すことができるようになる」 到達目標：学生はフランスの文化について理解する。それらをフランス語で読み・発音できるようになる。フランスを旅行した時などに、あいさつやその場に応じた会話ができるようになる。
授業概要	これまでに習った文法や基本構文を復習しながら、フランス文化に関する練習問題をていねいに解いていく。フランス文化に関係した会話例文を正確に音読する指導を受ける。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その例文を暗唱する。これを繰り返すことでフランスに精通し、フランス語の語彙力や発話力を身につけよう。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランスの文化について教養として語れるようになる」という目標に対して、各自作成した報告書を提出する。「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業で質問に答えたり発表したりする。それらで総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることか ら、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験（６０％）、単位認定試験（４０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題を教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている部分について事前に黒板に板書されたキーワードを読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また事後学習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各２時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。各２時間の学修時間を目安とする。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	スポーツ③サッカー・リーグ・アン	加藤健次
第２回	美術③マグリットとシュールレアリスム	加藤健次
第３回	音楽③サティとミニマルミュージック	加藤健次
第４回	建築③ルネサンス・バロック様式	加藤健次
第５回	食③チーズ	加藤健次

第６回	旅④プロヴァンスとアルル	加藤健次
第７回	文学②文学②サンテグジュペリ『星の王子さま』	加藤健次
第８回	スポーツ④ペタンク	加藤健次
第９回	美術④スーラージュ、クラインに見る現代アート	加藤健次
第１０回	音楽④ジプシー音楽とジャズマヌーシュ	加藤健次
第１１回	食④ワイン	加藤健次
第１２回	旅⑤サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路	加藤健次
第１３回	哲学①デカルトと主体の哲学	加藤健次
第１４回	文学②文学③小説：ユゴーからル・クレジオまで	加藤健次
第１５回	食⑤Menuとコース料理	加藤健次
第１６回	筆記試験	加藤健次

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	はじめて学ぶフランスの歴史と文化	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	上垣 豊（編）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4623087786 ISBN-13 ： 978-4623087785
参・書籍名２	ゼロからスタート　フランス語　会話編	参・出版社名2	Jリサーチ出版
参・著者名2	鈴木文恵(著)	参・ＩＳＢＮ2	ＩＳＢＮ１978-4-86392-103-0

授業科目名	ドイツ語とドイツ文化Ⅰ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LG-1-022

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は「ドイツ語Ⅰ」の終了時には、初歩的かつ日常的なドイツ語会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。それに向けての個別目標だが、ドイツ語を正しく発音するためのルールを知り、併せて動詞や名詞を中心とした基礎的な文法を段階的に習得することになる。
授業概要	この講義は、ドイツ語の初学者を対象にしている。春学期を通して学修する項目は、大体以下のような内容である。つづりと発音の関係、挨拶等の定型表現、自己紹介と他者紹介、辞書の案内と使い方、人称代名詞、規則動詞と不規則動詞の現在人称変化、名詞の性・数・格、前置詞、定冠詞、不定冠詞など。それに加え、定型的な日常口語表現を通して、コミュニケーションの初歩も学ぶ。なお、今回この授業で使うテキストはドイツ語の総合的な文法読本であり、ドイツの社会・文化・歴史などについても学ぶことができ、異質な文化や社会にたいする理解を深めることにもなる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえないことである。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　ドイツおよびドイツ語とは　アルファベット　ドイツ語の発音（母音）	清水光二
第２回	ドイツ語の発音（子音）　挨拶表現	清水光二
第３回	ドイツ語の発音（まとめ）　挨拶表現の復習	清水光二
第４回	Lektion 1　Was lernst du?　動詞の現在人称変化	清水光二
第５回	Lektion 1　Was lernst du?　定動詞第2位の原則　seinの現在人称変化	清水光二
第６回	Lektion 2　Hast du Geschwister?　名詞の性と格　定冠詞の格変化	清水光二

第７回	Lektion 2　Hast du Geschwister?　不定冠詞の格変化　habenの現在人称変化	清水光二
第８回	Lektion 3　Wann fährst du nach München?　不規則な現在人称変化	清水光二
第９回	Lektion 3　Wann fährst du nach München?　命令形	清水光二
第１０回	Lektion 4　Welche Uhr kaufst du?　定冠詞類	清水光二
第１１回	Lektion 4　Welche Uhr kaufst du?　不定冠詞類　所有冠詞	清水光二
第１２回	Lektion 5　Kaufst du diese Bücher?　複数形	清水光二
第１３回	Lektion 5　Kaufst du diese Bücher?　人称代名詞	清水光二
第１４回	Lektion 6　Was machst du an diesem Wochenende?　前置詞の格支配　2格支配／3格支配	清水光二
第１５回	Lektion 6　Was machst du an diesem Wochenende?　前置詞の格支配　4格支配／3・4格支配	清水光二
第１６回	筆記試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	パノラマ　初級ドイツ語ゼミナール[三改版]	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	上野成利、本田雅也	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-560-06420-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	文法からマスター!　はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10: 481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語とドイツ文化Ⅱ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-LG-1-023

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は「ドイツ語Ⅱ」の終了時には、日常的な会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。それに向けての個別目標だが、ドイツ語の基礎的な文法を学びながら（英語との比較も行いつつ）、ドイツ語特有の語法を品詞別あるいは時制別に段階的に理解することになる。
授業概要	この講義は、「ドイツ語Ⅰ」を終了した学生を対象にしている。秋学期を通して学習する主な文法項目は、大体以下のようなものになっている。分離動詞・非分離動詞、接続詞、副文、再帰代名詞、再帰動詞、動詞の過去形と現在完了形、接続法など。文法事項については教師によって説明がなされるが、その後の練習問題や会話・読本部分については毎回学生の積極的な取り組みが求められる。そのためには、授業以外での予習や復習がどうしても必要となる。なお、今回この授業で使うテキストは総合的な文法読本であり、ドイツ語圏の習慣や日常といった文化一般、社会問題等にも触れながら楽しく初級ドイツ語を学べる内容となっている。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえないことである。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	Lektion 7　Was liest du gren?　形容詞の格変化	清水光二
第２回	Lektion 8 Wohin willst du gehen?　話法の助動詞	清水光二
第３回	Lektion 8 Wohin willst du gehen?　未来形	清水光二
第４回	Lektion 9 Ich weiß nicht, wann der Zug abfährt?　分離動詞	清水光二
第５回	Lektion 9 Ich weiß nicht, wann der Zug abfährt?　接続詞と副文	清水光二
第６回	Lektion 10 Hast du vor, München zu besuchen?　zu不定詞	清水光二

第７回	Lektion 10 Hast du vor, München zu besuchen?　再帰代名詞		清水光二
第８回	Lektion 11 Als ich das Museum besuchte, …　動詞の３基本形		清水光二
第９回	Lektion 11 Als ich das Museum besuchte, …　過去形		清水光二
第１０回	Lektion 12 Hast du Weimar besucht?　現在完了形		清水光二
第１１回	Lektion 12 Hast du Weimar besucht?　非人称表現		清水光二
第１２回	Lektion 13 Es wird gesagt, dass …　受動態		清水光二
第１３回	Lektion 13 Es wird gesagt, dass …　比較表現		清水光二
第１４回	Lektion 14 Was ist das beste Buch, das du je gelesen hast?　関係代名詞		清水光二
第１５回	Lektion 14 Was ist das beste Buch, das du je gelesen hast?　不定関係代名詞		清水光二
第１６回	筆記試験		清水光二
教科書			
教・書籍名１	パノラマ　初級ドイツ語ゼミナール[三改版]	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	上野成利、本田雅也	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-560-06420-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	文法からマスター! はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＡ(文法) １クラス	担当者	磯　永二
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-024

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生はこの科目を学修することにより、初級レベルの日本語力を確実なものにすることができる。そのうえで、より上のレベルの文法や文字・語彙を学んでいく。そうすることにより日本語能力試験N2合格をめざす。日本語力の向上が学力向上につながり、日本人学生との交流が進み、本学の様々な教育活動の理解や参加の促進につながり、実りある学生生活を送ることができるようになる。
授業概要	まずは日本語能力試験Ｎ３レベルの日本語力を確実なものにするため、Ｎ３レベルの文法や文字・語彙等を振り返る。その過程で、課題を課したり、小テストを実施し日本語力の伸長を図る。一方、Ｎ２のレベルの文法や文字・語彙を織り込んでいき、力を徐々にＮ２レベルに導いていく。また、日本での学生生活を円滑に送ることができるようにするため、授業の中で、日本人のあいだでかわされる挨拶や応答などをとりあげ、日本社会で暮らすための知恵を身につけさせていく。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 単位認定試験、小テストには聴解のみならず、文法、文字・語彙の分野からも出題する。 課題に対する取り組み、授業中の態度も評価の対象となるので、1時間1時間の授業を大切にしてほしい。 最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、N２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題として課したものを小テストや単位認定試験で出題する。 小テストについては授業で解説し、いくつかは単位認定試験にも出題する。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更してはならない。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること ②　日本語ＩＡ/日本語ＩＡ（文法）、応用日本語ＩＡ/日本語ＩＡ（読解）、日本語研究ＩＡ/日本語ＩＡ（聴解）の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 　なお、授業以外にも、様々な機会をうまく使って実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容

事前学習・事後学習とその時間	日本語の修得には多くの時間が必要であるし、反復も必要である。授業前には授業内容を予習し、疑問点などは整理しておく。 授業後は必ず復習し知識の定着を図る。また、自分でＪＬＰＴ対策の問題演習に取り組むなど積極的な態度が必要。 予習・復習にはそれぞれ２時間以上の学習が必要。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間に教室、講師控室にて

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション、プロフィール作成、初級文法演習、初級漢字演習	磯
第２回	初級文字語彙演習、文法テキスト学習　場面6①	磯
第３回	文法テキスト学習　場面6②	磯
第４回	文法テキスト学習　場面7①	磯
第５回	文法テキスト学習　場面7②	磯
第６回	Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習①	磯
第７回	Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習②	磯
第８回	Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習③	磯
第９回	第１回～第８回授業　総まとめテスト	磯
第１０回	文法テキスト学習　場面8①	磯
第１１回	文法テキスト学習　場面8②、Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習④	磯
第１２回	文法テキスト学習　場面9①	磯
第１３回	文法テキスト学習　場面9②、Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習⑤	磯
第１４回	文法テキスト学習　敬語、副詞、接続詞等①	磯
第１５回	文法テキスト学習　敬語、副詞、接続詞等②	磯
第１６回	単位認定試験	磯

教科書			
教・書籍名１	日本語能力試験問題集　Ｎ３文法　スピードマスター	教・出版社名１	Ｊリサーチ出版
教・著者名１	清水知子、大場理恵子、鈴木美希	教・ＩＳＢＮ１	978-4-86392-036-1
教・書籍名２	ドリル＆ドリル日本語能力試験Ｎ２　文字語彙	教・出版社名2	ＵＮＩＣＯＭ
教・著者名2	星野恵子、辻和子	教・ＩＳＢＮ2	978-4-89689-478-3
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＡ(文法) ２クラス			担当者	井上　光惠		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-LJ-1-024		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	充実した大学生活のためには日本語の力が必要である。また本学では在学中に日本語能力試験Ｎ２の取得を必須としている。そのようなことから、授業においては、まず初級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能の基礎力を養成し、次の中級レベルの技能確立につなげられるようにする。
授業概要	日本語能力試験Ｎ２合格を目指し、文法・文字・語彙を中心に学ぶ。Ｎ２レベルの言語知識（文字・語彙・文法など）の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また中級レベルの日本語表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、Ｎ２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①テキストで新しく学習した文型の練習問題を毎回課題とし、翌週その答えのチェックとフィードバックを行う。 ②Ｎ３レベル「文字語彙」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックをする。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語ＩＡ・応用日本語Ｉ秋A・日本語研究Ｉ秋Aの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とそ	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習

の時間	し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。文字の習得は絶対に必要である。「漢字」や「かな」は何度も繰り返し書いて覚えてほしい。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間

授業計画		担当者
第１回	１．オリエンテーション	井上光惠
第２回	２．第25課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第３回	３．第25課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第４回	４．第28課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第５回	５．第28課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第６回	６．第31課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第７回	７．第31課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第８回	８．第34課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第９回	９．第34課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第１０回	１０．第37課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第１１回	１１．第37課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第１２回	１２．まとめ７　３３課～３７課の復習	井上光惠
第１３回	１３．第40課-１ 漢字・語彙　　文型１-導入・練習	井上光惠
第１４回	１４．第40課-２ 文型２-導入・練習　会話	井上光惠
第１５回	１５．まとめ８　３８課～４２課の復習	井上光惠
第１６回	単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	日本語初級（2）大地　メインテキスト	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	山崎佳子・石井怜子・佐々木薫・高橋美和子・町田恵子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-89358-507-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	ドリル＆ドリル 日本語能力試験 N3 文字語彙	参・出版社名１	ユニコム
参・著者名１	星野恵子　辻和子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-89689-487-5
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＡ(読解) １クラス	担当者	小西　真弓
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-025

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	日本語能力試験N２合格を目指し、読解を中心に学ぶ。Ｎ２レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また、中級レベルの日本語表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、N２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の予習・復習として、指示された文字・語彙、文法、文型を使っての文作などの課題を提出してもらう。 採点し、フィードバックする。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1~3クラスに編成される。履修登録は教務で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 　なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。

実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。		
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間、教室にて		

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション レベル確認テスト	小西真弓
第２回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第３回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第４回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第５回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第６回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第７回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第８回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第９回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１０回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１１回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１２回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１３回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１４回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１５回	総括、確認テスト	小西真弓
第１６回	単位認定筆記試験	小西真弓

教科書			
教・書籍名１	ドリル＆ドリルＮ２文字・語彙	教・出版社名１	ユニコムUNICOM
教・著者名１	星野恵子・辻和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-89689-478-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			

参・書籍名１	日本語総まとめN3　読解	参・出版社名１	アスク出版
参・著者名１	佐々木仁子・松本紀子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-766-4
参・書籍名２	日本語総まとめN3　語彙	参・出版社名2	アスク出版
参・著者名2	佐々木仁子・松本紀子	参・ＩＳＢＮ2	978-4-87217-731-2

授業科目名	日本語ＩＡ(読解) ２クラス					担当者	久保田　雅子	
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年					ナンバリング	GE-LJ-1-025	
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義	
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限			

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。このクラスでは、まず、基礎的な日本語の文法、初級の文章読解を中心に扱う。 目標は日本語能力試験Ｎ２相当の実力を身につけることであるが、日本語の基礎レベルの文法知識を習得すること、文章表現を正確に理解することから行う。最終目標は、専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が、円滑に使えることである。
授業概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目Ｉの3科目（日本語ＩＡ、応用日本語ＩＡ、日本語研究ＩＡ）で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。 中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得するため、基礎的な文法、語彙、また読解の運用力を高めることを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業評価は、試験（５０％）、小テスト及び課題提出(３０％)、学習意欲・態度(２0%)で評価する。 このクラスは基礎の日本語クラスなので基本的な文法事項、語彙、文章読解を中心に扱う。ただし、単位認定については、日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プリント・課題についてのフィードバックは、おもに次回の授業で個別あるいは全体的に行う。
履修条件・注意事項	①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当する　内容　日本語教育
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、授業の中で自ら課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。 ２）指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。

	予習と復習に２時間以上は必要である。
オフィスアワー	教室・及びオープンスペースにて授業前後に実施

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション（授業の進め方について） 1.２３課　文法１	久保田
第２回	２．２３課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第３回	３．２７課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第４回	４．２７課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第５回	５．３０課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第６回	６．３０課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第７回	７．３３課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第８回	８．３３課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第９回	９．３６課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１０回	１０．３６課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１１回	１１．３９課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１２回	１２．３９課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１３回	１３．４２課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１４回	１４．４２課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１５回	１５．　総まとめ	久保田
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	日本語初級2・大地　メインテキスト	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-507-7
教・書籍名２	ドリル＆ドリル 日本語能力試験（文字・語彙）	教・出版社名2	株式会社ユニコム
教・著者名2	星野　恵子・辻和子	教・ＩＳＢＮ2	978-4-89689-487-5

参考書			
参・書籍名１	ことばでおぼえるやさしい漢字ワーク　初級２	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	中村　かおり他著	参・ＩＳＢＮ１	978-488-319-7828
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＡ(聴解) １クラス			担当者	井上　光惠		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-LJ-1-026		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの｢話 す｣･｢読む｣･｢聞く｣･｢書く｣の４技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、大学での学びが充実したものになることである。
授業概要	日本語能力試験Ｎ２合格を目指し、読解を中心に学ぶ。Ｎ２レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また中級レベルの日本語表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。　ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試 験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。Ｎ２に合格してはじ めて日本語関連科目Ⅱを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①毎回「音声の聞き分け」の小テストを行い、フィードバックをする。 ②Ｎ２レベル「文法」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックを行う。
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベル以上の日本語能力は必須であり、N2をまだ取っていない学生は、原則として本科目履修中に、Ｎ２試験に合格しなければならない。 　Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２レベルを強化する学習を継続しなければならない。また、N２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語Ｉ春・応用日本語Ｉ春・日本語研究Ｉ春の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めること。

実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。		
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。		

	授業計画	担当者
第１回	1．オリエンテーション	井上光惠
第２回	２．第１章（準備）-１　発音・文法	井上光惠
第３回	３．第１章（準備）-２　会話表現	井上光惠
第４回	４．第２章（問題のパターンに慣れる）-１発話表現　２即時応答	井上光惠
第５回	５．第２章（問題のパターンに慣れる）-３課題理解　４ポイント理解	井上光惠
第６回	６．第２章（問題のパターンに慣れる）-５概要理解	井上光惠
第７回	７．第３章（いろいろな場所で聞く）-１町で	井上光惠
第８回	８．第３章（いろいろな場所で聞く）-２天気予報・交通情報	井上光惠
第９回	９．第３章（いろいろな場所で聞く）-3学校で	井上光惠
第１０回	１０．第3章（いろいろな場所で聞く）-４職場で	井上光惠
第１１回	１１．第3章（いろいろな場所で聞く）-５病院・いろいろな店で	井上光惠
第１２回	１２．第4章（いろいろな内容を聞く）-１人や物のようす	井上光惠
第１３回	１３．第4章（いろいろな内容を聞く）-２場所・方向・位置	井上光惠
第１４回	１４．第4章（いろいろな内容を聞く）-３数・方向・計算	井上光惠
第１５回	１５．第4章（いろいろな内容を聞く）-４順序・比較	井上光惠
第１６回	１６．単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	日本語総まとめＮ３聴解	教・出版社名１	アスク
教・著者名１	佐々木仁子・松本紀子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-792-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	新完全マスター 語彙 Ｎ２	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	伊能裕晃　本田ゆかり　来栖里美	参・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-574-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＡ(聴解) ２クラス	担当者	久保田　雅子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-026

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することを目指す。 まずは基本的な文法・語彙・聴解の運用力を中心に身につける。最終の目標は日本語能力試験Ｎ２相当の実力を身につけることである。
授業概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目Ｉの3科目（日本語ＩＢ、応用日本語ＩＢ 、日本語研究ＩＢ）で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。基本的な文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。授業では、基礎的な文法・語彙の運用力、聴解の力を伸ばすことを中心に行う。N2合格への橋渡しとなる科目である。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業評価は、試験（５０％)、小テスト及び課題提出(３０％)、学習意欲・態度(２０％)で評価する。この授業では、基礎の文法・語彙・聴解を中心に扱う。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プリント・課題についてのフィードバックは、おもに次回の授業で個別あるいは全体的に行う。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～3クラスに編成される。 ②日本語Ｉ・応用日本語Ｉ・日本語研究Ｉの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。(社会情勢に応じてＪＬＰＴの試験に代わる措置の学内テストを行う場合もある。) ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 また、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用することもできる。
実務経験のある教員	該当する　内容　日本語教育
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについての発表を行いながら授業を進める。参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。 予習と復習に２時間以上は必要である。
オフィスアワー	授業前、終了後、休憩時間

授業計画	担当者

第１回	1.オリエンテーション（授業の進め方について） 第２４課　文法１	久保田
第２回	2. 第２４課　文法２及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第３回	3. 第２７課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第４回	4. 第２７課　文法2 及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第５回	５. 第30課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第６回	6. 第30課　文法2 及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第７回	７. 第33課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第８回	8. 第33課　文法２及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第９回	９. 第３６課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１０回	10. 第３６課　文法2及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１１回	10. 第３９課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１２回	12. 第３９課　文法2及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１３回	13. 第41課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１４回	14. 第41課　文法2及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１５回	総まとめ	久保田
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	日本語初級2・大地　メインテキスト	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4883195077
教・書籍名２	ドリル＆ドリル 日本語能力試験（文字・語彙）	教・出版社名2	株式会社ユニコム
教・著者名2	星野　恵子・辻和子	教・ＩＳＢＮ2	978-4-89689-487-5

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＢ（文法）クラス１					担当者	磯　永二	
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2021～ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年					ナンバリング	GE-LJ-1-027	
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習	
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限			
ディプロマポリシー対応項目								
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目		
ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう							
到達目標	学生はこの科目を学修することにより、初級レベルの日本語力を確実なものにすることができる。そのうえで、より上のレベルの文法や文字・語彙を学んでいく。そうすることにより日本語能力試験N2合格をめざす。日本語力の向上が学力向上につながり、日本人学生との交流が進み、本学の様々な教育活動の理解や参加の促進につながり、実りある学生生活を送ることができるようになる。							
授業概要	まずは日本語能力試験Ｎ３レベルの日本語力を確実なものにするため、Ｎ３レベルの文法や文字・語彙等を振り返る。その過程で、課題を課したり、小テストを実施し日本語力の伸長を図る。一方、Ｎ２のレベルの文法や文字・語彙を織り込んでいき、力を徐々にＮ２レベルに導いていく。また、日本での学生生活を円滑に送ることができるようにするため、授業の中で、日本人のあいだでかわされる挨拶や応答などをとりあげ、日本社会で暮らすための知恵を身につけさせていく。							
アクティブラーニングの内容	PBL							
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 単位認定試験、小テストには聴解のみならず、文法、文字・語彙の分野からも出題する。 課題に対する取り組み、授業中の態度も評価の対象となるので、1時間1時間の授業を大切にしてほしい。 最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、N２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。							
ルーブリック評価								
課題や試験のフィードバック方法	課題として課したものを小テストや単位認定試験で出題する。 小テストについては授業で解説し、いくつかは単位認定試験にも出題する。							
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に編成される。履修登録は教務課で一括登録する。 　登録されたクラスを勝手に変更してはならない。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること ②　日本語ＩＡ/日本語ＩＡ（文法）、応用日本語ＩＡ/日本語ＩＡ（読解）、日本語研究ＩＡ/日本語ＩＡ（聴解）の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 　なお、授業以外にも、様々な機会をうまく使って実力の涵養に努めてほしい。							

実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	日本語の修得には多くの時間が必要であるし、反復も必要である。授業前には授業内容を予習し、疑問点などは整理しておく。 授業後は必ず復習し知識の定着を図る。また、自分でＪＬＰＴ対策の問題演習に取り組むなど積極的な態度が必要。 予習・復習にはそれぞれ２時間以上の学習が必要。		
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間に教室、講師控室にて		

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション、プロフィール作成、初級文法演習、初級漢字演習	磯
第２回	初級文字語彙演習、文法テキスト学習　場面１①	磯
第３回	文法テキスト学習　場面１②	磯
第４回	文法テキスト学習　場面２①	磯
第５回	文法テキスト学習　場面２②	磯
第６回	Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習①	磯
第７回	Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習②	磯
第８回	Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習③	磯
第９回	第１回～第８回授業　総まとめテスト	磯
第１０回	文法テキスト学習　場面３①	磯
第１１回	文法テキスト学習　場面３②、Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習④	磯
第１２回	文法テキスト学習　場面４①	磯
第１３回	文法テキスト学習　場面４②、Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習⑤	磯
第１４回	文法テキスト学習　場面５①	磯
第１５回	文法テキスト学習　場面５②、Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習⑥	磯
第１６回	単位認定試験	磯

教科書			
教・書籍名１	日本語能力試験問題集　Ｎ３文法　スピードマスター	教・出版社名１	Ｊリサーチ出版
教・著者名１	清水知子、大場理恵子、鈴木美希	教・ＩＳＢＮ１	978-4-86392-036-1
教・書籍名２	ドリル＆ドリル日本語能力試験Ｎ２　文字語彙	教・出版社名2	ＵＮＩＣＯＭ
教・著者名2	星野恵子、辻和子	教・ＩＳＢＮ2	978-4-89689-478-3

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＢ（文法）クラス２			担当者	井上　光惠		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2021～ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-LJ-1-027		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	充実した大学生活のためには日本語の力が必要である。また本学では在学中に日本語能力試験Ｎ２の取得を必須としている。そのようなことから、授業においては、まず初級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能の基礎力を養成し、次の中級レベルの技能確立につなげられるようにする。
授業概要	日本語能力試験Ｎ２合格を目指し、文法・文字・語彙を中心に学ぶ。Ｎ２レベルの言語知識（文字・語彙・文法など）の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また中級レベルの日本語表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、Ｎ２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①テキストで新しく学習した文型の練習問題を毎回課題とし、翌週その答えのチェックとフィードバックを行う。 ②Ｎ３レベル「文字語彙」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックをする。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語ＩＡ・応用日本語Ｉ秋A・日本語研究Ｉ秋Aの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とそ	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習

の時間	し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。文字の習得は絶対に必要である。「漢字」や「かな」は何度も繰り返し書いて覚えてほしい。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間

授業計画		担当者
第１回	１．オリエンテーション	井上光惠
第２回	２．第25課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第３回	３．第25課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第４回	４．第28課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第５回	５．第28課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第６回	６．第31課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第７回	７．第31課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第８回	８．第34課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第９回	９．第34課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第１０回	１０．第37課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第１１回	１１．第37課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第１２回	１２．まとめ７　３３課～３７課の復習	井上光惠
第１３回	１３．第40課-１ 漢字・語彙　　文型１-導入・練習	井上光惠
第１４回	１４．第40課-２ 文型２-導入・練習　会話	井上光惠
第１５回	１５．まとめ８　３８課～４２課の復習	井上光惠
第１６回	単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	日本語初級（2）大地　メインテキスト	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	山崎佳子・石井怜子・佐々木薫・高橋美和子・町田恵子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-89358-507-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	ドリル＆ドリル 日本語能力試験 N3 文字語彙	参・出版社名１	ユニコム
参・著者名１	星野恵子　辻和子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-89689-487-5
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＢ（読解）クラス１			担当者	小西　真弓		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2021～ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-LJ-1-028		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	日本語能力試験N２合格を目指し、読解を中心に学ぶ。Ｎ２レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また、中級レベルの日本語表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、N２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の予習・復習として、指示された文字・語彙、文法、文型を使っての文作などの課題を提出してもらう。 採点し、フィードバックする。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1~3クラスに編成される。履修登録は教務で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＢ・応用日本語ＩＢ・日本語研究ＩＢの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 　なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。

オフィスアワー	授業終了後、休憩時間、教室にて	
	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション レベル確認テスト	小西真弓
第２回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第３回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第４回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第５回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第６回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第７回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第８回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第９回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１０回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１１回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１２回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１３回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１４回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１５回	総括、確認テスト	小西真弓
第１６回	単位認定筆記試験	小西真弓

教科書			
教・書籍名１	ドリル＆ドリルＮ２文字・語彙	教・出版社名１	ユニコムUNICOM
教・著者名１	星野恵子・辻　和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-89689-478-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本語総まとめN3　読解	参・出版社名１	アスク出版
参・著者名１	佐々木仁子・松本紀子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-766-4
参・書籍名２	日本語総まとめN3　語彙	参・出版社名2	アスク出版

参・著者名2	佐々木仁子・松本紀子	参・ＩＳＢＮ2	978-4-87217-731-2

授業科目名	日本語ＩＢ（読解）クラス２			担当者	久保田　雅子		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2021～ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-LJ-1-028		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。このクラスでは、まず、基礎的な日本語の文法、初級の文章読解を中心に扱う。 目標は日本語能力試験Ｎ２相当の実力を身につけることであるが、日本語の基礎レベルの文法知識を習得すること、文章表現を正確に理解することから行う。最終目標は、専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が、円滑に使えることである。
授業概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目Ｉの3科目（日本語ＩＡ、応用日本語ＩＡ、日本語研究ＩＡ）で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。 中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得するため、基礎的な文法、語彙、また読解の運用力を高めることを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業評価は、試験（５０％）、小テスト及び課題提出(３０％)、学習意欲・態度(２0%)で評価する。 このクラスは基礎の日本語クラスなので基本的な文法事項、語彙、文章読解を中心に扱う。ただし、単位認定については、日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プリント・課題についてのフィードバックは、おもに次回の授業で個別あるいは全体的に行う。
履修条件・注意事項	①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当する　内容　日本語教育
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、授業の中で自ら課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。 ２）指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。

	予習と復習に２時間以上は必要である。
オフィスアワー	教室・及びオープンスペースにて授業前後に実施

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション（授業の進め方について） 1.２３課　文法１	久保田
第２回	２．２３課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第３回	３．２７課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第４回	４．２７課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第５回	５．３０課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第６回	６．３０課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第７回	７．３３課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第８回	８．３３課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第９回	９．３６課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１０回	１０．３６課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１１回	１１．３９課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１２回	１２．３９課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１３回	１３．４２課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１４回	１４．４２課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１５回	１５．　総まとめ	久保田
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	日本語初級2・大地　メインテキスト	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-507-7
教・書籍名２	ドリル＆ドリル 日本語能力試験（文字・語彙）	教・出版社名2	株式会社ユニコム
教・著者名2	星野　恵子・辻和子	教・ＩＳＢＮ2	978-4-89689-487-5

参考書			
参・書籍名１	ことばでおぼえるやさしい漢字ワーク　初級２	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	中村　かおり他著	参・ＩＳＢＮ１	978-488-319-7828
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＢ(聴解) クラス１					担当者	井上　光惠	
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年					ナンバリング	GE-LJ-1-029	
必修・選択	必修	単位数	2単位		時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期			曜日・時限	金曜2限	

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話 す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、大学での学びが充実したものになることである。
授業概要	日本語能力試験Ｎ２合格を目指し、読解を中心に学ぶ。Ｎ２レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また中級レベルの日本語表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。　ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試 験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。Ｎ２に合格してはじ めて日本語関連科目IIを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①毎回「音声の聞き分け」の小テストを行い、フィードバックをする。 ②Ｎ２レベル「文法」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックを行う。
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベル以上の日本語能力は必須であり、N2をまだ取っていない学生は、原則として本科目履修中に、Ｎ２試験に合格しなければならない。 　Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２レベルを強化する学習を継続しなければならない。また、Ｎ２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語Ｉ春・応用日本語Ｉ春・日本語研究Ｉ春の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めること。

実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。		
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。		

	授業計画	担当者
第１回	1．オリエンテーション	井上光惠
第２回	２．第１章（準備）-１　発音・文法	井上光惠
第３回	３．第１章（準備）-２　会話表現	井上光惠
第４回	４．第２章（問題のパターンに慣れる）-１発話表現　２即時応答	井上光惠
第５回	５．第２章（問題のパターンに慣れる）-３課題理解　４ポイント理解	井上光惠
第６回	６．第２章（問題のパターンに慣れる）-５概要理解	井上光惠
第７回	７．第３章（いろいろな場所で聞く）-１町で	井上光惠
第８回	８．第３章（いろいろな場所で聞く）-２天気予報・交通情報	井上光惠
第９回	９．第３章（いろいろな場所で聞く）-3学校で	井上光惠
第１０回	１０．第3章（いろいろな場所で聞く）-４職場で	井上光惠
第１１回	１１．第3章（いろいろな場所で聞く）-５病院・いろいろな店で	井上光惠
第１２回	１２．第4章（いろいろな内容を聞く）-１人や物のようす	井上光惠
第１３回	１３．第4章（いろいろな内容を聞く）-２場所・方向・位置	井上光惠
第１４回	１４．第4章（いろいろな内容を聞く）-３数・方向・計算	井上光惠
第１５回	１５．第4章（いろいろな内容を聞く）-４順序・比較	井上光惠
第１６回	１６．単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	日本語総まとめＮ３聴解	教・出版社名１	アスク
教・著者名１	佐々木仁子・松本紀子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-792-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	新完全マスター 語彙 Ｎ２	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	伊能裕晃　本田ゆかり　来栖里美	参・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-574-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＢ(聴解) クラス２			担当者	久保田　雅子		
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-LJ-1-029		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することを目指す。 まずは基本的な文法・語彙・聴解の運用力を中心に身につける。最終の目標は日本語能力試験Ｎ２相当の実力を身につけることである。
授業概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目Ｉの3科目（日本語ＩＢ、応用日本語ＩＢ 、日本語研究ＩＢ）で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。基本的な文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。授業では、基礎的な文法・語彙の運用力、聴解の力を伸ばすことを中心に行う。N2合格への橋渡しとなる科目である。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業評価は、試験（５０％)、小テスト及び課題提出(３０％)、学習意欲・態度(２０％)で評価する。この授業では、基礎の文法・語彙・聴解を中心に扱う。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プリント・課題についてのフィードバックは、おもに次回の授業で個別あるいは全体的に行う。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～3クラスに編成される。 ②日本語Ｉ・応用日本語Ｉ・日本語研究Ｉの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。(社会情勢に応じてＪＬＰＴの試験に代わる措置の学内テストを行う場合もある。) ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 また、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用することもできる。
実務経験のある教員	該当する　内容　日本語教育
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについての発表を行いながら授業を進める。参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。 予習と復習に２時間以上は必要である。
オフィスアワー	授業前、終了後、休憩時間

授業計画	担当者

第１回	1.オリエンテーション（授業の進め方について） 第２４課　文法１	久保田
第２回	2. 第２４課　文法２及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第３回	3. 第２７課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第４回	4. 第２７課　文法2 及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第５回	５. 第30課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第６回	6. 第30課　文法2 及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第７回	７. 第33課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第８回	8. 第33課　文法２及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第９回	９. 第３６課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１０回	10. 第３６課　文法2及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１１回	10. 第３９課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１２回	12. 第３９課　文法2及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１３回	13. 第41課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１４回	14. 第41課　文法2及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１５回	総まとめ	久保田
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	日本語初級2・大地　メインテキスト	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4883195077
教・書籍名２	ドリル＆ドリル 日本語能力試験（文字・語彙）	教・出版社名2	株式会社ユニコム
教・著者名2	星野　恵子・辻和子	教・ＩＳＢＮ2	978-4-89689-487-5

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本国憲法	担当者	入江　祥子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SU-1-036

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	＜到達目標＞ 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることができることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。 ＜テーマ＞ 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。
授業概要	法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。 ＊実務経験のある教員による授業 　本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度及び取組姿勢３０％、各講義の最後に実施する理解度を問う小テストの評価３０％、定期試験４０％の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	国内外で起きている様々な社会問題を自らとらえ、それらの問題について自発的に考え、解決策を模索することを習慣づける。
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。 注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること（特に私語、授業途中の許可のない入退室等）は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。 出席状況の把握は各自で行ってください。 原則として、配布物の再配布は行いません。

実務経験のある教員	該当する	内容	司法書士

事前学習・事後学習とその時間	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。 本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させること。
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。

授業計画		担当者
第１回	なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか	入江　祥子
第２回	法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い	入江　祥子
第３回	法源とは何か、法の種類	入江　祥子
第４回	憲法とは何か、立憲主義	入江　祥子
第５回	憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法	入江　祥子
第６回	国民主権の意味、その役割	入江　祥子
第７回	戦争の放棄、日本国憲法第９条	入江　祥子
第８回	人権とは何か、その役割	入江　祥子
第９回	人権の効果	入江　祥子
第１０回	人権の限界、公共の福祉	入江　祥子
第１１回	統治制度について、権力分立	入江　祥子
第１２回	立法権、国会の役割	入江　祥子
第１３回	行政権、内閣の役割	入江　祥子
第１４回	司法権、裁判所の役割	入江　祥子
第１５回	地方自治について	入江　祥子
第１６回	筆記試験	入江　祥子

教科書			
教・書籍名１	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	六法	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本国憲法	担当者	入江　祥子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SU-1-036

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	＜到達目標＞ 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることができることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。 ＜テーマ＞ 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。
授業概要	法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。 ＊実務経験のある教員による授業 　本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度及び取組姿勢３０％、各講義の最後に実施する理解度を問う小テストの評価３０％、定期試験４０％の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	国内外で起きている様々な社会問題を自らとらえ、それらの問題について自発的に考え、解決策を模索することを習慣づける。
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。 注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること（特に私語、授業途中の許可のない入退室等）は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。 出席状況の把握は各自で行ってください。 原則として、配布物の再配布は行いません。

実務経験のある教員	該当する	内容	司法書士

事前学習・事後学習とその時間	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。 本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させること。
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。

授業計画		担当者
第１回	なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか	入江　祥子
第２回	法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い	入江　祥子
第３回	法源とは何か、法の種類	入江　祥子
第４回	憲法とは何か、立憲主義	入江　祥子
第５回	憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法	入江　祥子
第６回	国民主権の意味、その役割	入江　祥子
第７回	戦争の放棄、日本国憲法第９条	入江　祥子
第８回	人権とは何か、その役割	入江　祥子
第９回	人権の効果	入江　祥子
第１０回	人権の限界、公共の福祉	入江　祥子
第１１回	統治制度について、権力分立	入江　祥子
第１２回	立法権、国会の役割	入江　祥子
第１３回	行政権、内閣の役割	入江　祥子
第１４回	司法権、裁判所の役割	入江　祥子
第１５回	地方自治について	入江　祥子
第１６回	筆記試験	入江　祥子

教科書			
教・書籍名１	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	六法	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	経済学	担当者	張　秉煥
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SU-1-037

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	重要な経済問題について科学的にそして論理的に理解するための基本的スキルを修得することができる。
授業概要	すべての社会が直面する根本的な経済問題は希少性である。経済学は、社会がその希少な資源をいかに管理するのかを研究する学問である。資源の配分は、膨大な数の家計と企業の行動を総合した結果として決定される。講座の前半は、個別の家計や企業が様々な決定をどのように行うか、それらが市場でどのように相互作用しあうのかを分析する。後半では、経済全体に影響するような様々な要因や傾向を考察する。なお、所得分配や所得格差問題、所得機会の変容とそのインプリケーションについて検討する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	「定期筆記試験（70%）＋途中の形成的評価（30%）」をもとに合計100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	途中の形成的評価のために実施する「課題や試験」へのフィードバックは、授業中の総括的単位で行うことによって、個別学生に学習方法への含意や定期筆記試験への対策に資するものとする
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	本講座の独自教材（ワークブック兼用）に基づき、自主的な事前学習を行って授業を受けること。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	講座の概要や評価方法、教材の構成、主な内容と使い方など。科学的方法論としての経済モデル	張秉煥
第２回	経済学の主要原理（１）トレードオフ、機会費用、限界分析、インセンティブ等	張秉煥
第３回	経済学の主要原理（２）市場経済、市場の失敗、GDP、インフレなど（現実の事例を含む）	張秉煥
第４回	市場と競争（市場構造）、需要・供給の仕組み、両面市場	張秉煥
第５回	市場構造と社会的厚生、完全競争市場、現実の経済問題への応用（インセンティブ）	張秉煥
第６回	独占市場の特性と参入障壁の源泉、現実の経済問題への応用、小テスト１	張秉煥
第７回	独占的市場と寡占市場の特性、囚人のジレンマモデルと現実の経済問題への応用	張秉煥
第８回	現実における様々な価格類型、価格弾力性と価格差別モデル、現実の経済問題への応用	張秉煥
第９回	価格規制の基礎モデル、最低賃金制度による労働市場への影響分析、外部効果の諸例	張秉煥
第１０回	公共財の諸例、フリーライダー問題、共有地の悲劇モデルと現実への応用、小テスト２	張秉煥
第１１回	情報の非対称性問題、モラル・ハザード、逆選択、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１２回	経済循環図、国民所得の測定と国際比較、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１３回	経済成長と公共政策、７２の法則とその応用、景気変動	張秉煥
第１４回	所得分布と所得格差、所得機会の変容（定量的分析を踏まえて）、小テスト３	張秉煥
第１５回	経済政策の類型と具体的手法、経済安定化政策の逆効果（ジレンマ）	張秉煥

第１６回	定期筆記試験		張秉煥
教科書			
教・書籍名１	独自教材（ワークブック兼用）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	マンキュー入門経済学	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	N・グレゴリー・マンキュー	参・ＩＳＢＮ１	978-4492315217
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	経済学	担当者	張　秉煥
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SU-1-037

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	重要な経済問題について科学的にそして論理的に理解するための基本的スキルを修得することができる。
授業概要	すべての社会が直面する根本的な経済問題は希少性である。経済学は、社会がその希少な資源をいかに管理するのかを研究する学問である。資源の配分は、膨大な数の家計と企業の行動を総合した結果として決定される。講座の前半は、個別の家計や企業が様々な決定をどのように行うか、それらが市場でどのように相互作用しあうのかを分析する。後半では、経済全体に影響するような様々な要因や傾向を考察する。なお、所得分配や所得格差問題、所得機会の変容とそのインプリケーションについて検討する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	「定期筆記試験（70%）＋途中の形成的評価（30%）」をもとに合計100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	途中の形成的評価のために実施する「課題や試験」へのフィードバックは、授業中の総括的単位で行うことによって、個別学生に学習方法への含意や定期筆記試験への対策に資するものとする
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	本講座の独自教材（ワークブック兼用）に基づき、自主的な事前学習を行って授業を受けること。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	講座の概要や評価方法、教材の構成、主な内容と使い方など。科学的方法論としての経済モデル	張秉煥
第２回	経済学の主要原理（１）トレードオフ、機会費用、限界分析、インセンティブ等	張秉煥
第３回	経済学の主要原理（２）市場経済、市場の失敗、GDP、インフレなど（現実の事例を含む）	張秉煥
第４回	市場と競争（市場構造）、需要・供給の仕組み、両面市場	張秉煥
第５回	市場構造と社会的厚生、完全競争市場、現実の経済問題への応用（インセンティブ）	張秉煥
第６回	独占市場の特性と参入障壁の源泉、現実の経済問題への応用、小テスト１	張秉煥
第７回	独占的市場と寡占市場の特性、囚人のジレンマモデルと現実の経済問題への応用	張秉煥
第８回	現実における様々な価格類型、価格弾力性と価格差別モデル、現実の経済問題への応用	張秉煥
第９回	価格規制の基礎モデル、最低賃金制度による労働市場への影響分析、外部効果の諸例	張秉煥
第１０回	公共財の諸例、フリーライダー問題、共有地の悲劇モデルと現実への応用、小テスト２	張秉煥
第１１回	情報の非対称性問題、モラル・ハザード、逆選択、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１２回	経済循環図、国民所得の測定と国際比較、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１３回	経済成長と公共政策、７２の法則とその応用、景気変動	張秉煥
第１４回	所得分布と所得格差、所得機会の変容（定量的分析を踏まえて）、小テスト３	張秉煥
第１５回	経済政策の類型と具体的手法、経済安定化政策の逆効果（ジレンマ）	張秉煥

第１６回	定期筆記試験		張秉煥
教科書			
教・書籍名１	独自教材（ワークブック兼用）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	マンキュー入門経済学	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	N・グレゴリー・マンキュー	参・ＩＳＢＮ１	978-4492315217
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	社会学	担当者	黒宮　亜希子、稲元　洋輔
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SU-1-038

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	テーマ：基礎社会学を学ぶ（社会学とは何か？、労働・教育・地域・家族等の視点より） 到達目標：社会学の基本的な定義・考え方、具体的な社会問題、人口問題と環境、現代家族、教育、産業・労働の領域における現状と問題を理解し、その解決法を考えることとする。 受講生らが生きている現代社会の仕組みや出来事に関する理解を深める。 この講義を通じて、現代社会の様々な制度と問題を理解すること、また、自分の考えを文章で言語化し、記述する能力を向上することも併せて目標とする。
授業概要	この講義の目的は、社会学という学問がどのような学問であるかを理解し、講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、受講生の周囲で起こっている実際の出来事について考えることが出来るようにすることである。 具体的には、現代家族の変化、教育問題、非正規社員の増加と経済的格差、人口構造の変化などを取り上げる。 それによって学生たちは問題を理解し、社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業中課題（40%）・定期試験（60%）によって評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題はコメントを入れ返却を行う。
履修条件・注意事項	・2名の教員がオムニバス形式で進行する。 ・毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。ファイル等で各自保管しておくこと。 ・日本語で自身の考えを記述する力が求められるため、日本語の力がまだ十分ではない留学生の受講に際してはやや注意を要する。 ・授業計画の内容は、進捗状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	黒宮：月曜4限（14625） 稲元：火曜3限（14611）

	授業計画	担当者
第１回	授業オリエンテーション	黒宮・稲元
第２回	身近な社会学（1）地位と役割	黒宮

第３回	身近な社会学（2）ラベリング・スティグマ	黒宮
第４回	教育の社会学（1）学校とはなにか	稲元
第５回	教育の社会学（2）教育をめぐる諸問題	稲元
第６回	家族の社会学（1）家族とその変化	黒宮
第７回	家族の社会学（2）家族とジェンダー	黒宮
第８回	労働の社会学（1）学校から職場へ	稲元
第９回	労働の社会学（2）働くことの社会的な位置づけ	稲元
第１０回	地域の社会学（1）地域、コミュニティとは	黒宮
第１１回	地域の社会学（2）地域社会の今	黒宮
第１２回	自己と他者の社会学（1）他者のまなざし	稲元
第１３回	自己と他者の社会学（2）コミュニケーション	稲元
第１４回	社会問題を社会学する（講義、小括）	黒宮
第１５回	社会問題を社会学する（講義、小括）	稲元
第１６回	筆記試験	黒宮・稲元

教科書			
教・書籍名１	資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	授業内容に応じて適宜、文献を紹介する。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	社会学	担当者	赤坂　真人
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-SU-1-038

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ 社会学入門（社会学とは何か・人口論・家族・教育・産業と労働） 到達目標 社会学の定義と考え方を学び、そのうえで現代社会の人口、現代家族、教育、産業と労働の現状について述べる。次に、明確に意識されていない現代社会の様々な制度と問題を明確に認識させ、毎回実施する小テスト（記述式）で社会問題に対する自分自身の考えをまとめ、文章で記述・説明する能力を鍛える。この講義によって学生たちは現代社会の諸問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
授業概要	この講義の目的は、社会学という学問がどのような学問であるかを理解し、次に講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、学生の周囲で起こっている日常の出来事について考えさせることである。具体的には人口減少に伴って起こる様々な問題、人口高齢化と年金・医療保険の問題、現代家族の変化、晩婚化・非婚化、教育の社会的意義、AI 化とこれからの教育、Society5.0における産業と労働、経済的格差、日本の経済不況と対策などを取り上げる。この講義によって学生たちは現代社会の諸問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業中の小テスト（50%）・定期試験（50%）によって評価する。小テストは採点し、コメントつけて返却するので必ず復習すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義の最後20分間を使って、毎回論述式の小試験を行う。メールにより解答し教員の授業用メールボックスに返送する。教員は学生一人一人の論述に対し400～500字のコメントを書いて学生に返却する。教員からのコメントに対してさらに意見を述べた場合、それに対して再びコメント書いて返却する。
履修条件・注意事項	講義時間が減少するので学生の名前を読み上げて出席を取ることはしない。カードによる出席チェックの不正をしない。日本語が分からないと講義についてゆけないので留学生は履修の際、十分留意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	火曜4限（15：10～16：40）に、研究室（9309）にて実施する。

授業計画		担当者
第１回	1.人間が社会を作るまで。2群れ（社会）で生きる人間。3.人間社会の大変動。	赤坂
第２回	1.社会学とは何か。2.社会のわかりにくさ。3.他の人間科学との相違。4.社会学の利用法。	赤坂
第３回	1.世界の人口動向。2.人口転換理論。3.日本の人口推移。4.少子高齢化。5.晩婚化と非婚化。	赤坂
第４回	1.生涯未婚率の推移。2.世界最速の高齢化。3.少子高齢化と経済の縮小・社会保障の危機。	赤坂

第５回	1.家族とは何か。2.家族の類型。３.世帯・親族・親戚。4.社会制度としての結婚。	赤坂
第６回	1.結婚の社会的規制。2.非婚社会：日本。3.非婚化の経済的原因。4.非婚化の生物学的原因	赤坂
第７回	1.解体する家族。２.現代家族の問題。3.下流化する中高年。4.現代家族の病理と法的問題。	赤坂
第８回	1.液状化する社会。２.避けられぬ人口減少。3.男性未婚者。4.職業と未婚。5.世代間の不平等。	赤坂
第９回	1.教育の機能。2.メリトクラシーの崩壊と階層の固定化。3.学力低下論争。4.学力の二極化	赤坂
第１０回	1.教師の多忙化と燃え尽き。２.いじめ問題。3.校内暴力。4.不登校。5.学校は魅力を失ったか？	赤坂
第１１回	1.教育と職業。2.大学教育は仕事の役に立つか？3.中間集団としての学校。4.ニートの人々	赤坂
第１２回	1.産業の分類。2.賃金と労働。3.日本人の労働時間と失業率。4.日本的経営の終わりと没落。	赤坂
第１３回	1.日本経済の矛盾。2.生産性の低さ。3.日本経済没落の原因。4.経済再生の課題	赤坂
第１４回	1.職業とジェンダー。2.職業と階層。3.階層間格差。4.AI化と労働の未来	赤坂
第１５回	1.AI の進化と社会変動　2.インフォテック。3.フードテック。4.画像認識。5.拡張現実・その他	赤坂
第１６回	筆記試験	赤坂

教科書			
教・書籍名１	基礎社会学	教・出版社名１	ふくろう出版
教・著者名１	赤坂真人	教・ＩＳＢＮ１	978-4861864278
教・書籍名２	毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。	教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	講義中に約30冊の文献を紹介する。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	哲学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-039

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。
授業概要	古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜５限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	1.「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり	山本
第２回	初期の「哲学者」たち	山本
第３回	エレア派とその影響	山本
第４回	ソクラテスとその影響	山本
第５回	プラトン	山本
第６回	アリストテレスの哲学	山本
第７回	アリストテレスの第一哲学	山本
第８回	ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況	山本
第９回	西欧文明の成立	山本
第１０回	盛期中世の学問状況と14世紀の大変革	山本

第１１回	ルネサンスと科学革命	山本
第１２回	科学革命と政治哲学	山本
第１３回	19世紀における諸科学の成立と哲学	山本
第１４回	科学的心理学の成立と哲学の変容	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	西洋哲学史〈古代から中世へ〉	参・出版社名１	岩波新書
参・著者名１	熊野純彦	参・ＩＳＢＮ１	9784004310075
参・書籍名２	西洋哲学史〈近代から現代へ〉	参・出版社名2	岩波新書
参・著者名2	9784004310082	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	哲学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-039

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。
授業概要	古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜５限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	1.「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり	山本
第２回	初期の「哲学者」たち	山本
第３回	エレア派とその影響	山本
第４回	ソクラテスとその影響	山本
第５回	プラトン	山本
第６回	アリストテレスの哲学	山本
第７回	アリストテレスの第一哲学	山本
第８回	ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況	山本
第９回	西欧文明の成立	山本
第１０回	盛期中世の学問状況と14世紀の大変革	山本

第１１回	ルネサンスと科学革命	山本
第１２回	科学革命と政治哲学	山本
第１３回	19世紀における諸科学の成立と哲学	山本
第１４回	科学的心理学の成立と哲学の変容	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	西洋哲学史〈古代から中世へ〉	参・出版社名１	岩波新書
参・著者名１	熊野純彦	参・ＩＳＢＮ１	9784004310075
参・書籍名２	西洋哲学史〈近代から現代へ〉	参・出版社名2	岩波新書
参・著者名2	9784004310082	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	心理学 （看護・理学・作業・アニメ）	担当者	津川　秀夫、藤原　直子、土居　正人、橋本　翠、村上　勝典、若森　孝彰、森井　康幸、宇都宮　真輝
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-040

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	心理学とはどんな学問かを知ることがテーマである。心理学は心の働きについて科学的に研究していく学問である。学生は，人が生活している環境からいかに情報を取り入れ，蓄積し，利用するのか，あるいは，いかに人間関係のなかで適応的に生きているのかなどについての学びを通して，心理学のおもしろさに触れることができる。
授業概要	心理学は知覚、認知、発達、社会、パーソナリティーなどさまざまな領域において様々な研究が行われている。本講義では，いくつかの領域における研究対象，方法，得られた知見等の解説をオムニバス形式で行う。 ☒
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	小テスト(50%) と定期テスト(50%) の成績により評価する。 ただし、受講態度の悪い学生（私語、飲食、内職等・・・）については，この限りではない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストについては、授業中にフィードバックするので、定期試験に向けて、見直すこと。
履修条件・注意事項	テキストは使用しないので，集中して講義に参加すること。 授業担当者ごとに，2回に１回くらいの割合で小テストを行うので，特に復習には力を入れること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	基本的には、講義内で配布された資料をもとに復習すること。（2時間） テキストは使用しないが、一般的な心理学の本で該当箇所を対照させながら学ぶことが重要である（2時間）。体験的に学びを深めたい学生には、心理学実験への参加・協力をお願いする。
オフィスアワー	森井：月４　津川：月4　藤原：月2　橋本：月5　宇都宮：火4　土居：月2　村上：木3　各教員研究室

授業計画		担当者
第１回	(1) オリエンテーション	全員
第２回	(2) 外界を探るこころの働き	橋本
第３回	(3) 感覚と知覚	橋本
第４回	(4) 記憶のふしぎ	森井
第５回	(5) 本能と学習	森井
第６回	(6) 性格とは	土居
第７回	(7) 心理検査について	土居

第８回	(8) 乳幼児期～青年期の発達	宇都宮
第９回	(9) 青年期の人間関係と心理	宇都宮
第１０回	(10) 対人認知	村上
第１１回	(11) 態度変容	村上
第１２回	(12) ストレス	藤原
第１３回	(13) ストレスと考え方	藤原
第１４回	(14) カウンセリング	津川
第１５回	(15) カウンセリングの実際	津川
第１６回	(16) 定期試験(筆記)	全員

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	心理学 (New Liberal Arts Selection)	参・出版社名１	有斐閣
参・著者名１	無藤・遠藤・玉瀬・森	参・ＩＳＢＮ１	978-4641053694
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	多様性の理解	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-041

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本講義は「世界の文化の多様性を理解する」をテーマに、私たち日本人にはあまり馴染みのないアラブ・イスラーム社会をとりあげる。具体的には、①イスラームの理解に不可欠なアラビア語の基礎、②西アジア史、③イスラーム文化、④近・現代のアラブ社会について理解を深める。その結果、世界の文化の多様性について興味がもてるようになる。
授業概要	世界の多文化を理解するためには、まず文化相対主義（Cultural relativism）の立場、すなわち異なる文化の間には優劣はなく、それぞれの文化の価値を認めようとする視点が重要である。本講義は、世界の関心が高く、また世界の安定にとってきわめて重要な位置にある中東地域を例に、古代オリエントから現代までの中東の歴史、アラビア語の基礎、イスラームの意味するところから、アラブ・イスラーム文化を理解するとともに、世界の文化の多様性を理解するための端緒とする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（60%）、授業態度/積極性（20%）、課題レポート（20%）により総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートの返却時に講評する。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習として、日ごろからアラブ社会の情勢に関心をもつこと、復習として、分からないことは授業で質問し、分からないことをそのままにしないこと。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	古代オリエント	末吉秀二
第３回	アラブ・イスラーム世界の形成	末吉秀二
第４回	オスマン帝国とアラブ	末吉秀二
第５回	近・現代のアラブ社会	末吉秀二
第６回	アラビア語の基礎（文字と発音）	末吉秀二
第７回	アラビア語の基礎（文法）	末吉秀二
第８回	預言者ムハンマド	末吉秀二
第９回	コーラン	末吉秀二
第１０回	イスラーム法（シャリーア）	末吉秀二
第１１回	イスラーム文化（衣・食・住）	末吉秀二
第１２回	イスラーム文化（スーク/メディナ）	末吉秀二
第１３回	パレスチナ問題	末吉秀二

第１４回	事例研究（ヨルダン）	末吉秀二	
第１５回	多文化理解（論文輪読）	末吉秀二	
第１６回	単位認定試験	末吉秀二	
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	イスラーム文化	参・出版社名１	岩波文庫
参・著者名１	井筒俊彦	参・ＩＳＢＮ１	4-00-331851-X
参・書籍名２	イスラーム世界の論じ方	参・出版社名2	中央公論社
参・著者名2	池内　恵	参・ＩＳＢＮ2	978-412-003990-4

授業科目名	多様性の理解	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-041

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本講義は「世界の文化の多様性を理解する」をテーマに、私たち日本人にはあまり馴染みのないアラブ・イスラーム社会をとりあげる。具体的には、①イスラームの理解に不可欠なアラビア語の基礎、②西アジア史、③イスラーム文化、④近・現代のアラブ社会について理解を深める。その結果、世界の文化の多様性について興味がもてるようになる。
授業概要	世界の多文化を理解するためには、まず文化相対主義（Cultural relativism）の立場、すなわち異なる文化の間には優劣はなく、それぞれの文化の価値を認めようとする視点が重要である。本講義は、世界の関心が高く、また世界の安定にとってきわめて重要な位置にある中東地域を例に、古代オリエントから現代までの中東の歴史、アラビア語の基礎、イスラームの意味するところから、アラブ・イスラーム文化を理解するとともに、世界の文化の多様性を理解するための端緒とする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（60%）、授業態度/積極性（20%）、課題レポート（20%）により総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートの返却時に講評する。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	課題レポートの返却時に講評する。 予習として、日ごろからアラブ社会の情勢に関心をもつこと、復習として、分からないことは授業で質問し、分からないことをそのままにしないこと。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	古代オリエント	末吉秀二
第３回	アラブ・イスラーム世界の形成	末吉秀二
第４回	オスマン帝国とアラブ	末吉秀二
第５回	近・現代のアラブ社会	末吉秀二
第６回	アラビア語の基礎（文字と発音）	末吉秀二
第７回	アラビア語の基礎（文法）	末吉秀二
第８回	預言者ムハンマド	末吉秀二
第９回	コーラン	末吉秀二
第１０回	イスラーム法（シャリーア）	末吉秀二

第１１回	イスラーム文化（衣・食・住）		末吉秀二
第１２回	イスラーム文化（スーク/メディナ）		末吉秀二
第１３回	パレスチナ問題		末吉秀二
第１４回	事例研究（ヨルダン）		末吉秀二
第１５回	多文化理解（論文輪読）		末吉秀二
第１６回	単位認定試験		末吉秀二
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	イスラーム文化	参・出版社名１	岩波文庫
参・著者名１	井筒俊彦	参・ＩＳＢＮ１	4-00-331851-X
参・書籍名２	イスラーム世界の論じ方	参・出版社名2	中央公論社
参・著者名2	池内　恵	参・ＩＳＢＮ2	978-412-003990-4

授業科目名	文章力の基礎	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-042

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。 大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。 本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。
授業概要	講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の６つ領域で構成している。 学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一歩一歩着実に高めていくことができる。 毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。 さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（70%）、授業態度（15%）、小テスト・復習テスト（15%）によって総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のＮ２（２級）以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は，高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が，小論文指導（表記法、文章表現等の指導）の経験を活かし，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週火曜日3限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	「日本語検定３級」に挑戦	雲津 英子
第２回	はじめに	雲津 英子
第３回	敬語の種類と使い分け	雲津 英子
第４回	注意すべき敬語	雲津 英子

第５回	配慮を示す言葉		雲津 英子
第６回	品詞・活用の種類		雲津 英子
第７回	ら抜き言葉・さ入れ言葉		雲津 英子
第８回	文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文		雲津 英子
第９回	接続後・指示語と文章		雲津 英子
第１０回	類義語・対義語		雲津 英子
第１１回	動詞の自他・視点		雲津 英子
第１２回	文体、話し言葉・書き言葉		雲津 英子
第１３回	コロケーション		雲津 英子
第１４回	部首・音訓・熟語		雲津 英子
第１５回	仮名遣い・送り仮名		雲津 英子
第１６回	単位認定試験（筆記試験）		雲津 英子
教科書			
教・書籍名１	スキルアップ！ 日本語力―大学生のための日本語練習帳―	教・出版社名１	東京書籍
教・著者名１	名古屋大学日本語研究会ＧＫ７	教・ＩＳＢＮ１	978-4-487-80364-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文章力の基礎	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-042

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。 大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。 本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。
授業概要	講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の６つ領域で構成している。 学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一歩一歩着実に高めていくことができる。 毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。 さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（70%）、授業態度（15%）、小テスト・復習テスト（15%）によって総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のＮ２（２級）以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は，高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が，小論文指導（表記法、文章表現等の指導）の経験を活かし，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週水曜日5限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	「日本語検定３級」に挑戦	雲津 英子
第２回	はじめに	雲津 英子
第３回	敬語の種類と使い分け	雲津 英子
第４回	注意すべき敬語	雲津 英子

第５回	配慮を示す言葉		雲津 英子
第６回	品詞・活用の種類		雲津 英子
第７回	ら抜き言葉・さ入れ言葉		雲津 英子
第８回	文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文		雲津 英子
第９回	接続後・指示語と文章		雲津 英子
第１０回	類義語・対義語		雲津 英子
第１１回	動詞の自他・視点		雲津 英子
第１２回	文体、話し言葉・書き言葉		雲津 英子
第１３回	コロケーション		雲津 英子
第１４回	部首・音訓・熟語		雲津 英子
第１５回	仮名遣い・送り仮名		雲津 英子
第１６回	単位認定試験（筆記試験）		雲津 英子
教科書			
教・書籍名１	スキルアップ！ 日本語力―大学生のための日本語練習帳―	教・出版社名１	東京書籍
教・著者名１	名古屋大学日本語研究会ＧＫ７	教・ＩＳＢＮ１	978-4-487-80364-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	美術の見方	担当者	前嶋　英輝
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-043

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は、「自分なりの美術の見方を確立する」ことをテーマとして、美術作品について広い知識を持ち、自分の言葉で語ることができる能力を身につける。美術作品の「見方」の２つの可能性を考えてみる。１つめは、美術作品について客観的に知識として学習する見方であり、２つ目は、主観的に興味を持ち疑問を投げかけてみるような見方である。前者にはある程度の答えがあり、後者には答えは無い。この授業では、２つの見方を組み合わせて対話型鑑賞を行う。学生は、美術の見方を考えることで、自分の美術の見方ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	毎回映像資料による対話型鑑賞を行う。毎回、先行研究として示されている各時代の作品の属性や意味、時代背景などについて学問的な検討を行う。　鑑賞の仕方を学ぶことが目的であるから、とにかく多くの美術作品にふれ、授業で紹介される作品について、自分なりに調べてみることが大切である。自分で考えた疑問などについて、授業内の対話や毎回の小レポートの中で深める事が大切である。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート（６0点）、 到達目標達成度を見る期末試験（40％）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回の小レポートについては、代表的なものを次回取り挙げてコメントしディスカッションの題材とすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、美術作品について興味を持ち検索などで予習を行うことが必要である。また積極的に討論に参加するためにノートなどをもとに復習を行うことが重要である。対話型鑑賞では、自分の視点で意見を述べることが重要である。できれば自主的に美術館を訪れることを薦める。期末試験では、到達目標の理解度を見るため十分な復習が必 要である。 初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。 中学校・高等学校での美術科教員および短期大学での美術担当教員、全国公募展審査員、彫刻家
事前学習・事後学習とその時間	美術に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。　1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	対話型鑑賞と美術の見方	前嶋英輝
第２回	世界の美術館散歩	前嶋英輝
第３回	美術教育と人間形成・現代美術	前嶋英輝
第４回	古代オリエント	前嶋英輝
第５回	ギリシャ・ローマ・中世	前嶋英輝
第６回	ルネサンス・バロック・ロココ	前嶋英輝
第７回	新古典主義・印象派	前嶋英輝
第８回	後期印象派以降・セザンヌとキュービズム	前嶋英輝
第９回	インド美術とイスラム美術・東南アジアの美術	前嶋英輝
第１０回	仏教美術の誕生とシルクロードの美術	前嶋英輝
第１１回	飛鳥～平安・韓国美術の影響	前嶋英輝
第１２回	鎌倉～室町・仏教彫刻・絵巻物・水墨画	前嶋英輝
第１３回	安土桃山・障屏画	前嶋英輝
第１４回	江戸・浮世絵・町人の美術	前嶋英輝
第１５回	明治以降の美術・西洋美術の影響	前嶋英輝
第１６回	単位認定試験	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	テキスト名：絵画をいかに味わうか	参・出版社名１	平凡社
参・著者名１	著者：ヴィクトル・I・ストイキツァ	参・ＩＳＢＮ１	978-4582206371
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生涯スポーツ論 経社・心理・アニメ	担当者	羽野　真哉
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-044

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：年齢に応じたスポーツとの関わり方について理解する。 到達目標：学生が年齢に応じた「スポーツ」に参加することの意味を理解し、グループワークやディスカッションすることによって自らの言葉で伝えられるようになる。
授業概要	少子高齢社会を生きる現代人にとって「健康」がもつ意味は多様化していることを踏まえ、「スポーツ」が果たす役割に着目し、「健康づくり」「健康増進」の視点から論ずる。具体的には、①生涯スポーツの概念や歴史、現状についての基礎的理解、②幼少年のスポーツ、新しいスポーツ、地域総合型スポーツクラブの現状と課題、スポーツと環境問題、スポーツ少年団の将来像について取り上げる。 これらを踏まえ、各年代に応じたスポーツのあり方、また生涯を通したスポーツへの親しみ方を理解した上で、生涯にわたって豊かな生活を送るための取り組みについて講義する。 なお、本演習は学校教員（保健体育）の実務経験者が担当し、学校現場の実態などを踏まえた討議などを行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	定期試験とレポートおよび授業態度にて評価する。定期試験を５０％とし、レポートの記述内容30％、授業での積極的発言など授業態度を２０％とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業内に行う課題については、授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業内で配布される資料は各自でファイルにまとめ予習復習を行うこと。 授業内容を自分なりの考察も含めノートにまとめること。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、本学硬式野球部で監督経験を持つ教員が、その経験を活かし、指導現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように、テキストの指定されたページをまとめるなど予習してくること。また、配布した資料や、講義内容を踏まえて学期末の定期試験を出題するので、授業終了後にノートをまとめ、復習しておくこと。なお、予習復習についてはそれぞれ2時間程度行うこと。
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室において、毎週金曜日２時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	スポーツ本来の姿	羽野
第２回	スポーツ観の返遷	羽野
第３回	スポーツする身体	羽野
第４回	運動・スポーツとメンタルヘルス	羽野
第５回	スポーツの技術	羽野

第６回	体力について	羽野
第７回	心とスポーツ	羽野
第８回	発育・発達とスポーツ	羽野
第９回	現代社会とスポーツ	羽野
第１０回	スポーツの上達法	羽野
第１１回	健康のためのスポーツ	羽野
第１２回	スポーツと教育	羽野
第１３回	スポーツと経済	羽野
第１４回	スポーツ動作の分析	羽野
第１５回	競技スポーツと生涯スポーツ	羽野
第１６回	試験	筆記試験

教科書			
教・書籍名１	生涯スポーツの理論と実際	教・出版社名１	大修館書店
教・著者名１	日下 裕弘（著), 加納 弘二（著）	教・ＩＳＢＮ１	978-4469266986
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	生涯スポーツ実践論	参・出版社名１	市村出版
参・著者名１	野川春夫 (著), 川西正志 (著)	参・ＩＳＢＮ１	978-4902109290
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生涯スポーツ実習 （アニメ・心理・経社）	担当者	天岡　寛
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-PD-1-045

必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	実習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	△	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	学生は実習通して、スポーツの楽しさを理解し、好きになってもらう。スポーツの楽しさである、人と関わる楽しさ、極める楽しさ、協力する楽しさ、創意工夫する楽しさ、考える楽しさ、勝敗の楽しさを理解することができる。 近年、社会環境の変化による、外遊びの減少、運動経験不足、基礎運動能力の低下が挙げられる。自分自身の体を自由自在に動かすことができるように、全身のコーディネーションと体幹の安定化を高める事ができる。全身持久力を高める事ができるようにボールを使った球技の中で、たくさんのボールにさわり、たくさんプレーすることによって高めることができる。 ☒
授業概要	球技（バスケットボール、フットサル、卓球、バトミントン）を通してルールを守り、仲間と助けあうことを体感する。 気軽にできる体幹トレーニングにより、基礎筋力、全身コーディネーションを高める。 ストレッチを学び、怪我予防を学ぶことができる。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	受講態度（50%）及び理解度（50%） 全力で取り組み、技術習得に努めてたか。 仲間と協力して、目的にむかってプレーしているか。 授業のマナー・ルールを守っているか。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために競技のルール等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	体育館シューズを準備。 運動できる服装の準備（ジーンズ等は認めない） 水分（水、スポーツ飲料、お茶）の準備 競技に関する競技規則等について、復習及び指示された予習を行うこと.
実務経験のある教員	該当する　内容　健康運動指導士
事前学習・事後学習とその時間	日ごろからスポーツや健康に興味関心を持つこと.
オフィスアワー	水曜日4時限目　9号館4階研究室

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	天岡
第２回	卓球	天岡
第３回	卓球	天岡

第４回	バスケットボール	天岡
第５回	バスケットボール	天岡
第６回	フットサル	天岡
第７回	フットサル	天岡
第８回	バトミントン	天岡
第９回	バトミントン	天岡
第１０回	器具を使用しての筋力トレーニング	天岡
第１１回	器具を使用しての筋力トレーニング　２	天岡
第１２回	自体重でできる筋力トレーニング	天岡
第１３回	自体重でできる筋力トレーニング　２	天岡
第１４回	フットサル　ゲーム１	天岡
第１５回	フットサル　ゲーム２	天岡
第１６回	単位認定試験	天岡

教科書			
教・書籍名１	実習科目につき教科書は使用しない	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	適宜指示する.	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数的理解	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NS-1-046

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	迅速かつ的確な数的理解力の育成をテーマとして、課題に含まれる諸要素と関係性を捉え、適宜情報収集しながら課題解決の方針を見つけ、結果を導き出す力を身につける。
授業概要	数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握に関する課題を数学的かつ論理的に理解する力を身につける。具体的には、方程式や確率等の数的推理、データやグラフ等の資料解釈、論証や対応関係等の判断推理、立体図形や展開図等の空間把握に関する比較的身近な問題について考え、自ら解法を見つけ出し答えを導き出す。必要に応じて、解法を見つけ出すために必要な情報を収集する。更には、助言を適宜得ながら学生同士が教えあい学びあい、課題に対する数的理解を深める。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	数的理解力を把握するための単位認定試験（80%）、授業への積極的な参加態度（20%）をもとに総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	内容に応じて適宜指示する。
履修条件・注意事項	やむを得ず遅刻・欠席する場合は予め連絡すること。他の受講生らが迷惑に感じる言動は控えること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習と復習には各2時間を要する。時間をかけて問題に向き合い、多角的な視点や柔軟な思考を意識して予習・復習に取り組むこと。
オフィスアワー	月曜5限

	授業計画	担当者
第１回	数的推理：濃度	山本
第２回	数的推理：速さ・距離・時間	山本
第３回	数的推理：ものの値段と個数	山本
第４回	数的推理：定価・原価・利益	山本
第５回	数的推理：割合と値段	山本
第６回	数的推理：仕事算	山本
第７回	資料解釈：表の読み取り＆資料の読み取り	山本
第８回	数的推理：順列と組み合わせ	山本
第９回	数的推理：確率のとらえ方	山本
第１０回	判断推理：集合	山本
第１１回	判断推理：推論	山本

第１２回	判断推理：ものの流れと比率＆ブラックボックス	山本
第１３回	資料解釈：グラフの領域	山本
第１４回	判断推理：論証	山本
第１５回	空間把握：立体の展開図・断面	山本
第１６回	単位認定試験	山本

教科書			
教・書籍名１	2024年度版 ドリル式 SPI問題集	教・出版社名１	永岡書店
教・著者名１	柳本新二	教・ＩＳＢＮ１	9784522460122
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数的理解	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NS-1-046

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	迅速かつ的確な数的理解力の育成をテーマとして、課題に含まれる諸要素と関係性を捉え、適宜情報収集しながら課題解決の方針を見つけ、結果を導き出す力を身につける。
授業概要	数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握に関する課題を数学的かつ論理的に理解する力を身につける。具体的には、方程式や確率等の数的推理、データやグラフ等の資料解釈、論証や対応関係等の判断推理、立体図形や展開図等の空間把握に関する比較的身近な問題について考え、自ら解法を見つけ出し答えを導き出す。必要に応じて、解法を見つけ出すために必要な情報を収集する。更には、助言を適宜得ながら学生同士が教えあい学びあい、課題に対する数的理解を深める。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	数的理解力を把握するための単位認定試験（80%）、授業への積極的な参加態度（20%）をもとに総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	内容に応じて適宜指示する。
履修条件・注意事項	やむを得ず遅刻・欠席する場合は予め連絡すること。他の受講生らが迷惑に感じる言動は控えること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習と復習には各2時間を要する。時間をかけて問題に向き合い、多角的な視点や柔軟な思考を意識して予習・復習に取り組むこと。
オフィスアワー	月曜5限

	授業計画	担当者
第１回	数的推理：濃度	山本
第２回	数的推理：速さ・距離・時間	山本
第３回	数的推理：ものの値段と個数	山本
第４回	数的推理：定価・原価・利益	山本
第５回	数的推理：割合と値段	山本
第６回	数的推理：仕事算	山本
第７回	資料解釈：表の読み取り＆資料の読み取り	山本
第８回	数的推理：順列と組み合わせ	山本
第９回	数的推理：確率のとらえ方	山本
第１０回	判断推理：集合	山本
第１１回	判断推理：推論	山本

第１２回	判断推理：ものの流れと比率＆ブラックボックス	山本
第１３回	資料解釈：グラフの領域	山本
第１４回	判断推理：論証	山本
第１５回	空間把握：立体の展開図・断面	山本
第１６回	単位認定試験	山本

教科書			
教・書籍名１	2024年度版 ドリル式 SPI問題集	教・出版社名１	永岡書店
教・著者名１	柳本新二	教・ＩＳＢＮ１	9784522460122
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	化学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NS-1-047

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	本講義で学生は無機化学や有機化学全般の基礎的な知識の習得に重点をおき学習することができる。また、後半の講義で学生は生命活動に関連の深い天然物質やプラスチックの分類、生活に必要な薬品や化粧品等に関連する界面化学を学習することができる。学生は本講義を通じて将来の種々の職業や日常生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用することができる。
授業概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく，現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は，物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし，それらの性質，構造，反応性などを実証的に解き明かす。１８世紀後半から学問として体系付けられ，幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら，現代化学へと発展してきた。今日では，複雑で有用な物質を簡単な物質（分子）から合成するなど，私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ，暮らしを豊かに，快適にしてくれている。一方，分子という考えの導入により，生命現象を化学的に解釈できるようになり，また生命現象を遺伝しのレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では，地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は香粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学習課題の終了毎および授業の終了時に都度の問いかけし、質問を受け付けてフィードバックを実施する。試験実施実施後の質問を受け付けてフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容：担当教員の公的機関や民間企業での試験や研究開発部門での勤務経験を生かし、幅広い知識や技術を授業内容に取り入れる。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。

授業計画		担当者
第１回	原子・分子の構造	秋山純一
第２回	化学結合	秋山純一

第３回	同位体と放射能	秋山純一
第４回	周期律表	秋山純一
第５回	化学反応、結合	秋山純一
第６回	酸化と還元（反応物質）	秋山純一
第７回	酸化と還元（燃料電池他）	秋山純一
第８回	物質の分類（金属、非金属）	秋山純一
第９回	水の化学（特性、硬度、pH）	秋山純一
第１０回	有機化合物の構造分類	秋山純一
第１１回	有機化合物の置換基分類	秋山純一
第１２回	有機合成の反応分類	秋山純一
第１３回	高分子化合物（天然）	秋山純一
第１４回	高分子化合物（合成）	秋山純一
第１５回	界面の化学（洗剤、乳化）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリント配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	教養の現代化学	参・出版社名１	三共出版
参・著者名１	多賀　光彦／共著　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	化学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NS-1-047

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	本講義で学生は無機化学や有機化学全般の基礎的な知識の習得に重点をおき学習することができる。また、後半の講義で学生は生命活動に関連の深い天然物質やプラスチックの分類、生活に必要な薬品や化粧品等に関連する界面化学を学習することができる。学生は本講義を通じて将来の種々の職業や日常生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用することができる。
授業概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく，現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は，物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし，それらの性質，構造，反応性などを実証的に解き明かす。１８世紀後半から学問として体系付けられ，幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら，現代化学へと発展してきた。今日では，複雑で有用な物質を簡単な物質（分子）から合成するなど，私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ，暮らしを豊かに，快適にしてくれている。一方，分子という考えの導入により，生命現象を化学的に解釈できるようになり，また生命現象を遺伝しのレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では，地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は香粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学習課題の終了毎および授業の終了時に都度の問いかけし、質問を受け付けてフィードバックを実施する。試験実施実施後の質問を受け付けてフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容：担当教員の公的機関や民間企業での試験や研究開発部門での勤務経験を生かし、幅広い知識や技術を授業内容に取り入れる。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。

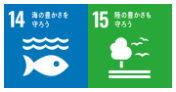
授業計画		担当者
第１回	原子・分子の構造	秋山純一
第２回	化学結合	秋山純一

第３回	同位体と放射能	秋山純一
第４回	周期律表	秋山純一
第５回	化学反応、結合	秋山純一
第６回	酸化と還元（反応物質）	秋山純一
第７回	酸化と還元（燃料電池他）	秋山純一
第８回	物質の分類（金属、非金属）	秋山純一
第９回	水の化学（特性、硬度、pH）	秋山純一
第１０回	有機化合物の構造分類	秋山純一
第１１回	有機化合物の置換基分類	秋山純一
第１２回	有機合成の反応分類	秋山純一
第１３回	高分子化合物（天然）	秋山純一
第１４回	高分子化合物（合成）	秋山純一
第１５回	界面の化学（洗剤、乳化）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリント配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	教養の現代化学	参・出版社名１	三共出版
参・著者名１	多賀　光彦／共著　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生物学					担当者	香田　康年	
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年					ナンバリング	GE-NS-1-048	
必修・選択	選択	単位数	2単位			時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期			曜日・時限	木曜3限	

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう 
到達目標	【テーマ】 学生が 、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、様々な生物の特徴について学びながら、なせそのような特徴がシンカしたのかを考え、ヒトや様々な生物について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。 【到達目標】 まず生物のシンカが「進化」と呼ばれるようになった経緯を理解し、生物のシンカとはどのような現象なのかを理解すると同時に、一般用語の「進化」とやや意味がことなることを理解する。さらに生物のシンカがどのうような仕組みで起こるのかを学び理解する。そのことによって現在のヒトや様々な生物がなぜそのような特徴を持っているのかを考え、人間の特徴や様々な生物現象について丸暗記するのではなく、「考え理解する力」を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用して考え、まとめ、他者に説明する力を養う。
授業概要	○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義と、Q&Aにグループディスカッションを組み合わせたアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容，範囲などは受講生の了解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は，講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば，次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点（80%）とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数（20%）で評価する。 ただし、授業態度が悪ければ（授業にまじめに取り組まない場合）10点の範囲で減点する。 各小テストは，論述記述式である。 講義の内容から，重要な内容について説明記述させる問題を出題する予定である。 授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていることが，採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の授業内容について度々Ｑ＆Ａを行うことによって、授業内容に対するフィードバックをはかる。 複数回の小テストのうち途中の小テストは、採点結果を返却すると同時にフィードバックをはかり、再試験追試験を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。

履修条件・注意事項	受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。 教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名されてから発言すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	【復習】 授業内容は常識と異なることが多く，授業は前回までの理解を前提に進めるので，毎回必ず復習し，理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。 復習には二時間程度かけて、いつ小テストがあっても対応できるように，充分理解し，ノート整理しておくこと。 【予習】 過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、予習にも二時間程度かけて、次回の授業内容について、参考書などを利用し、現時点での自分なりの理解をしておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので、授業後に教室、または非常勤講師室で行う。

授業計画		担当者
第１回	クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか？	香田康年
第２回	生物のシンカと一般用語としての「進化」	香田康年
第３回	生物のシンカの起こる仕組み	香田康年
第４回	なぜたくさんの生物がいるのか？　なぜ人間がいるのか？	香田康年
第５回	ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか？	香田康年
第６回	科学とはどのような学問か？	香田康年
第７回	生物とは？	香田康年
第８回	どんな生物、どんな動物がいるのか？	香田康年
第９回	遺伝子と遺伝子の発現	香田康年
第１０回	本能と学習と理性の関係	香田康年
第１１回	利己的行動と利他的行動	香田康年
第１２回	非血縁者間の利他行動のシンカ	香田康年
第１３回	ゲーム理論とシンカ	香田康年
第１４回	様々な対人関係心理のシンカ	香田康年
第１５回	言葉のシンカと神や幽霊を信じる心のシンカ	香田康年
第１６回	最終試験（記述式筆記試験）	香田康年

教科書			
教・書籍名１	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

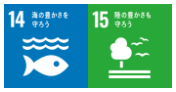
参考書			
参・書籍名１	「進化と人間行動」	参・出版社名１	東京大学出版会
参・著者名１	長谷川寿一、長谷川眞理子	参・ＩＳＢＮ１	4－13－012032－8
参・書籍名２	「面白くて眠れなくなる生物学」	参・出版社名2	PHP文庫
参・著者名2	長谷川英祐	参・ＩＳＢＮ2	978-4-569-76860-1

授業科目名	生物学	担当者	香田　康年
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NS-1-048

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう 
到達目標	【テーマ】 学生が 、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、様々な生物の特徴について学びながら、なせそのような特徴がシンカしたのかを考え、ヒトや様々な生物について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。 【到達目標】 まず生物のシンカが「進化」と呼ばれるようになった経緯を理解し、生物のシンカとはどのような現象なのかを理解すると同時に、一般用語の「進化」とやや意味がことなることを理解する。さらに生物のシンカがどのうような仕組みで起こるのかを学び理解する。そのことによって現在のヒトや様々な生物がなぜそのような特徴を持っているのかを考え、人間の特徴や様々な生物現象について丸暗記するのではなく、「考え理解する力」を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用して考え、まとめ、他者に説明する力を養う。
授業概要	○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義と、Q&Aにグループディスカッションを組み合わせたアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容，範囲などは受講生の了解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は，講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば，次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点（80%）とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数（20%）で評価する。 ただし、授業態度が悪ければ（授業にまじめに取り組まない場合）10点の範囲で減点する。 各小テストは，論述記述式である。 講義の内容から，重要な内容について説明記述させる問題を出題する予定である。 授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていることが，採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の授業内容について度々Ｑ＆Ａを行うことによって、授業内容に対するフィードバックをはかる。 複数回の小テストのうち途中の小テストは、採点結果を返却すると同時にフィードバックをはかり、再試験追試験を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。

履修条件・注意事項	受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。 教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名されてから発言すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	【復習】 授業内容は常識と異なることが多く，授業は前回までの理解を前提に進めるので，毎回必ず復習し，理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。 復習には二時間程度かけて、いつ小テストがあっても対応できるように，充分理解し，ノート整理しておくこと。 【予習】 過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、予習にも二時間程度かけて、次回の授業内容について、参考書などを利用し、現時点での自分なりの理解をしておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので、授業後に教室、または非常勤講師室で行う。

授業計画		担当者
第１回	クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか？	香田康年
第２回	生物のシンカと一般用語としての「進化」	香田康年
第３回	生物のシンカの起こる仕組み	香田康年
第４回	なぜたくさんの生物がいるのか？　なぜ人間がいるのか？	香田康年
第５回	ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか？	香田康年
第６回	科学とはどのような学問か？	香田康年
第７回	生物とは？	香田康年
第８回	どんな生物、どんな動物がいるのか？	香田康年
第９回	遺伝子と遺伝子の発現	香田康年
第１０回	本能と学習と理性の関係	香田康年
第１１回	利己的行動と利他的行動	香田康年
第１２回	非血縁者間の利他行動のシンカ	香田康年
第１３回	ゲーム理論とシンカ	香田康年
第１４回	様々な対人関係心理のシンカ	香田康年
第１５回	言葉のシンカと神や幽霊を信じる心のシンカ	香田康年
第１６回	最終試験（記述式筆記試験）	香田康年

教科書			
教・書籍名１	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	「進化と人間行動」	参・出版社名１	東京大学出版会
参・著者名１	長谷川寿一、長谷川眞理子	参・ＩＳＢＮ１	4－13－012032－8
参・書籍名２	「面白くて眠れなくなる生物学」	参・出版社名2	PHP文庫
参・著者名2	長谷川英祐	参・ＩＳＢＮ2	978-4-569-76860-1

授業科目名	環境科学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NS-1-049

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	学生は環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得することができる。学生はその基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「環境ホルモン」、「地球温暖化」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得することができる。また、学生は現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、行動できることを到達目標とする。
授業概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見的な問題意識を持ちどの様に対処すべきるかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	マークシート形式主体の筆記試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。　試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学授業中の課題提示毎に問いかけを行い、質疑。応答での知識確認のためのフィードバックを実施する。また、試験実施後の質問を受け付け、未理解項目のフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習（1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施する。

授業計画		担当者
第１回	環境と人間のかかわりあい	秋山純一

第２回	環境における人類危機要因	秋山純一
第３回	生態系と人間	秋山純一
第４回	食物連鎖	秋山純一
第５回	物質循環	秋山純一
第６回	紫外線（作用と分類）	秋山純一
第７回	紫外線と皮膚（臨床）	秋山純一
第８回	紫外線と皮膚（防御）	秋山純一
第９回	オゾン層の破壊（原因）	秋山純一
第１０回	オゾン層の破壊（対策）	秋山純一
第１１回	環境ホルモン（作用）	秋山純一
第１２回	環境ホルモン（分類）	秋山純一
第１３回	環境ホルモン（影響）	秋山純一
第１４回	地球温暖化（原因）	秋山純一
第１５回	地球温暖化（対策）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	環境科学入門	参・出版社名１	化学同人
参・著者名１	川合　真一郎　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	環境科学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2022年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2022年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	GE-NS-1-049

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	学生は環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得することができる。学生はその基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「環境ホルモン」、「地球温暖化」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得することができる。また、学生は現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、行動できることを到達目標とする。
授業概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見的な問題意識を持ちどの様に対処すべきるかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	マークシート形式主体の筆記試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。　試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学授業中の課題提示毎に問いかけを行い、質疑。応答での知識確認のためのフィードバックを実施する。また、試験実施後の質問を受け付け、未理解項目のフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習（1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施する。

授業計画		担当者
第１回	環境と人間のかかわりあい	秋山純一

第２回	環境における人類危機要因	秋山純一
第３回	生態系と人間	秋山純一
第４回	食物連鎖	秋山純一
第５回	物質循環	秋山純一
第６回	紫外線（作用と分類）	秋山純一
第７回	紫外線と皮膚（臨床）	秋山純一
第８回	紫外線と皮膚（防御）	秋山純一
第９回	オゾン層の破壊（原因）	秋山純一
第１０回	オゾン層の破壊（対策）	秋山純一
第１１回	環境ホルモン（作用）	秋山純一
第１２回	環境ホルモン（分類）	秋山純一
第１３回	環境ホルモン（影響）	秋山純一
第１４回	地球温暖化（原因）	秋山純一
第１５回	地球温暖化（対策）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	環境科学入門	参・出版社名１	化学同人
参・著者名１	川合　真一郎　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	美術史A	担当者	前嶋　英輝
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化3年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他3年	ナンバリング	AN-AN-3-101

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は、「美術史について広く学ぶ」をテーマとして、自分なりの考えを持ち芸術について語ることができるようになる。日本や世界の伝統文化を学ぶことは、同時に日本の歴史文化及び地域の歴史文化を学ぶことであり、日本美術と、中国、韓国や西洋の芸術作品や文化を比較しながら、広く芸術の意味について学習する。またアニメーションと美術史の関係について考察する。 学生は、美術史上の具体的な例を挙げながら、芸術作品に対する考えを発表できるようになることを到達目標とする。
授業概要	具体的な芸術作品を例に挙げながら、作品の意味と時代背景について考察し、日本美術と東洋や西洋の芸術について概観する。また自分で選んだ芸術作品について考えをま とめ発表し、討論の中で深める。特にアニメーションに関わる文化について理解を深める。芸術の世界は広いので、積極的に授業での討論に参加することで様々な意見を理解することが重要である。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート（６0点）、 到達目標達成度を見る期末試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、芸術作品について検索などで予習を行うことが必要である。また積極的に討論に参加するために前回のノートなどをもとに復習を行うことが重要である。中間発表では、自分の視点で作品を解説できることが重要である。期末試験では、到達目標の理解度を見るため十分な復習が必 要である。 初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　内容　高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	美術に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	アニメーションと北斎漫画	前嶋英輝
第２回	縄文・弥生・古墳時代の美術	前嶋英輝
第３回	日本とシルクロードの美術	前嶋英輝
第４回	飛鳥時代と渡来美術	前嶋英輝
第５回	白鵬・天平時代と仏教美術	前嶋英輝
第６回	平安～鎌倉時代の美術	前嶋英輝
第７回	室町～安土桃山時代の美術	前嶋英輝
第８回	日本とギリシャ・ローマの美術	前嶋英輝
第９回	日本とルネッサンスの美術	前嶋英輝
第１０回	日本美術と黄金比・遠近法	前嶋英輝
第１１回	美術史とアニメーションの設定	前嶋英輝
第１２回	美術史とアニメーションのデザイン	前嶋英輝

第１３回	美術史とアニメーションの背景美術	前嶋英輝	
第１４回	近代日本美術とアニメーション	前嶋英輝	
第１５回	芸術とアニメーション	前嶋英輝	
第１６回	単位認定試験	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１	概説日本美術史	参・出版社名１	吉川弘文館
参・著者名１	町田甲一	参・ＩＳＢＮ１	978-4642072229
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	美術史B			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-102		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は、「美術史について広く学ぶ」をテーマとして、自分なりの考えを持ち芸術について語ることができるようになる。世界の伝統的な美術を学ぶことは、同時に日本の歴史文化及び地域の歴史文化を学ぶことである。世界の芸術作品や文化を比較しながら、広く芸術の意味について学習する。アニメーションと美術史の関係についても考察する。 学生は、美術史上の具体的な例を挙げながら、芸術作品に対する考えをまとめることを到達目標とする。
授業概要	具体的な芸術作品を例に挙げながら、作品の意味と時代背景について考察し、西洋美術と東洋美術について概観する。また自分で選んだ芸術作品について考えをま とめ発表し、討論の中で深める。特にアニメーションに関わる文化について理解を深める。芸術の世界は広いので、積極的に授業での討論に参加することで様々な意見を 理解することが重要である。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート（６0点）、 到達目標達成度を見る期末試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、芸術作品について検索などで予習を行うことが必要である。また積極的に討論に参加するために前回のノートなどをもとに復習を行うことが重要である。中間発表では、自分の視点で作品を解説できることが重要である。期末試験では、到達目標の理解度を見るため十分な復習が必 要である。 初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	美術に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。　1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	アニメーションと美術	前嶋英輝
第２回	北斎漫画	前嶋英輝
第３回	浮世絵	前嶋英輝
第４回	水墨画	前嶋英輝
第５回	中国と韓国の絵画	前嶋英輝
第６回	シルクロード美術	前嶋英輝
第７回	オリエント美術	前嶋英輝
第８回	ギリシャ・ローマ美術	前嶋英輝
第９回	ヨーロッパの中世	前嶋英輝
第１０回	ルネッサンス	前嶋英輝
第１１回	バロック・古典主義	前嶋英輝
第１２回	印象派	前嶋英輝
第１３回	西洋と日本の近代	前嶋英輝

第１４回	現代美術	前嶋英輝	
第１５回	芸術とアニメーション	前嶋英輝	
第１６回	単位認定試験	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	概説日本美術史	参・出版社名１	吉川弘文館
参・著者名１	町田甲一	参・ＩＳＢＮ１	978-4642072229
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	古代西洋文藝講読	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	AN-AN-2-103

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	古代ギリシャのホメロス以来の西洋文藝は長い伝統をもち、古くから読み継がれてきた。のみならず絵画や映画など他のジャンルにも題材を提供してきた。この講義ではホメロス作品以降の古代ギリシャ、ローマのいくつかの作品を日本語訳を通じて読みながら解説する。これにより学生は将来の作品制作や批評に資する豊富な文藝の資源を所有することができる。
授業概要	古代ギリシャではホメロス作品のイリアス、オデュッセイア、悲劇詩人アイスキュロスのオレステイア三部作、ソフォクレスのエレクトラとフィロクテテス、エウリピデスのエレクトラを読む。古代ローマではウェルギリウスのアエネイスとオウィディウスの変身物語を読む。また可能な限り、絵画や映画の題材となっている例を紹介する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題(50%)、定期試験(50%)。毎回、復習用に課題を出すので次回授業で講評する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す
履修条件・注意事項	テクストは購入するか図書館で借りてきちんと読むこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	授業中に扱う範囲はテクストのさわりに限られるので、必ず予習で指定された範囲全部を読んでくること(90分)。また授業での解説を聞いた後の復習で、範囲全部を読み直すこと(90分)。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	『イリアス』第1-6巻	山本
第２回	『イリアス』第7-12巻	山本
第３回	『イリアス』第13-18巻	山本
第４回	『イリアス』第19-24巻	山本
第５回	『オデュッセイア』第1-6巻	山本
第６回	『オデュッセイア』第7-12巻	山本
第７回	『オデュッセイア』第13-18巻	山本
第８回	『オデュッセイア』第19-24巻	山本
第９回	アイスキュロス『アガメムノン』	山本
第１０回	アイスキュロス『コエフォロイ』と『エウメニデス』	山本
第１１回	ソフォクレス『エレクトラ』	山本
第１２回	ソフォクレス『フィロクテテス』	山本
第１３回	エウリピデス『エレクトラ』	山本
第１４回	ウェルギリウス『アエネイス』1-6	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	

教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	近代西洋文藝講読			担当者	山本　敦之		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-104		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	近代西洋文藝は古代西洋文藝の伝統を受け継ぎながら、新たな伝統となり、読み継がれてきた。また映画など他のジャンルにも題材を提供してきた。この講義では古典中の古典であるセルバンテスやシェークスピアの作品の一部、その後19世紀までのいくつかの古典的作品を日本語訳を読みながら解説する。これにより学生は将来の作品制作や批評に資する豊富な文藝の資源を所有することができる。
授業概要	セルヴァンテス、シェークスピアからミルトン、スウィフト、ゲーテ、ホフマン、ユーゴー、メリメ、ディケンズ、ドストエフスキー、メルヴィルといったスペイン、イギリス、ドイツ、フランス、アメリカの作家の代表的作品の一部または全部を読む。その際、厖大なこれらの作品についての研究から選択したいくつかのものを参考にする。また、映像作品にかかわりのあるものについては特に言及する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題(50%)、定期試験(50%)。復習用に課題を提示するので、これに対して講評をおこなう。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	復習用に課題を提示するので、これに対して講評をおこなう。
履修条件・注意事項	テクストは購入するか図書館で借りてきちんと読むこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	授業中に扱う範囲はテクストのさわりに限られるので、必ず予習で指定された範囲全部を読んでくること(90分)。また授業での解説を聞いた後の復習で、範囲全部を読み直すこと(90分)。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	セルバンテス『ドン・キホーテ』緒言と第1巻	山本
第２回	シェークスピア『ハムレット』	山本
第３回	シェークスピア『真夏の夜の夢』	山本
第４回	ミルトン『失楽園』第1巻	山本
第５回	スウィフト『ガリヴァー旅行記』第3篇	山本

第６回	ゲーテ『ファウスト』第1部	山本
第７回	ホフマン『黄金の壺』	山本
第８回	ユーゴー『ノートルダム・ド・パリ』第1-6篇	山本
第９回	ユーゴー『ノートルダム・ド・パリ』第7-12篇	山本
第１０回	ユーゴー『レ・ミゼラブル』第1部	山本
第１１回	メリメ『カルメン』	山本
第１２回	メリメ『イールのヴィーナス』	山本
第１３回	ディケンズ『デイヴィッド・コッパーフィールド』	山本
第１４回	ドストエフスキー『カラマーゾフの兄弟』	山本
第１５回	メルヴィル『白鯨』	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	産業と技術の歴史			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-107		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	技術と社会・経済・規範などが相互作用して、どのように私たちの生きる世界を形成してきたか、人物を中心にして学び、今後の自 分自身の職業選択や将来の生き方を考察できる知識と基礎的能力を習得する。とくに、今年度は、コンピュータと、インターネット、コンピュータグラフィクス（CG)の歴史に焦点を当てて、現代の私たちが活用するテクノロジーがどのように社会・経済・規範などと相互作用しつつ登場したかを理解する。 到達目標は、学生が次の３つのことができるようになることである。 １．技術者という人物を中心に見ることで、現代社会における産業・技術とそれを取り巻く制度のあり方が、いかにして歴史的に生 成してきたものか理解できる。 ２．コンピュータの誕生から現代のインターネットや映像技術に至るICTおよびICT産業の歴史を概括的に把握できる。とくに、世界史・日本史上の出来事と連関させて理解できる。 ３．上記の２点を踏まえ、現代の科学・技術・産業の変化について、　自分自身の職業選択や将来の生き方と関連させて考察できる。
授業概要	コンピュータと、インターネット、コンピュータグラフィクス（CG)の産業と技術の歴史について、代表的な企業家・技術者などの活躍を通して、その成り立ちを学ぶ。技術の歴史は、ある社会的・技術的文脈の中で人々が創造し、つくりあげてきたものである。どのような社会や技術の状態があってある人物の人間形成や科学技術的知識の習得が行われ、彼らのどのような活躍によって、産業や技術が構築されてきたのか学ぶ。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえでの意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度を30%の重みづけで評価する（受講態度）。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの３つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式ですが、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業内で指定する参考書および配布資料の指定部分を読んできてください。約2時間。 復習：授業終了後にアップロードするスライドを見て、授業内容を再度振り返ってください。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	ケータイ・スマホサービスと携帯電話産業の歴史（日本編）	大谷
第３回	ケータイ・スマホサービスと携帯電話産業の歴史（世界編）	大谷
第４回	誰がコンピュータを発明したか	大谷

第５回	コンピューティングの歴史概説：ENIACからiPadまで	大谷	
第６回	真空管・トランジスタからICまで：コンピュータの要素技術の発展	大谷	
第７回	パーソナルコンピュータの誕生（１）マイクロプロセッサ登場	大谷	
第８回	コンピュータの誕生からインターネット勃興期まで（視聴覚教材）	大谷	
第９回	パーソナルコンピュータの誕生（２）パーソナルコンピュータ産業の誕生	大谷	
第１０回	パーソナルコンピュータの誕生（３）MacintoshとPCの発展	大谷	
第１１回	インターネットの歴史概説：ARPANETからソーシャルネットワーキングサービスまで	大谷	
第１２回	インターネットビジネスの興亡：サーチエンジン・EC・ソーシャルネットワーキングサービス	大谷	
第１３回	映像とコンピュータの技術史	大谷	
第１４回	映像とコンピュータの産業史	大谷	
第１５回	まとめ	大谷	
第１６回	筆記試験（オンライン試験も検討中）	大谷	
教科書			
教・書籍名１	適宜レジュメを配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	コンピュータって: 機械式計算機からスマホまで	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	ポール・E.セルージ	参・ＩＳＢＮ１	978-4492762134
参・書籍名２	コンピューティング史：人間は情報をいかに取り扱ってきたか	参・出版社名2	共立出版
参・著者名2	Martin Campbell Kelly, William Aspray, Nathan Ensmenger, Jeff rey R Yost著、杉本舞監訳,喜多千草・宇田理訳	参・ＩＳＢＮ2	978-4320124691

授業科目名	デジタルメディアと社会			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-108		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	映像をもとに、現代の情報技術とコミュニケーションをめぐる倫理的問題について学ぶ。 現代は、情報技術が広く社会に浸透し、人びとのコミュニケーションと行為を媒介する情報社会である。また、現代の情報技術はデジタルコンピューティングをベースとしているので、現代の社会はデジタル技術とデジタルメディアを行為とコミュニケーションの基盤とする社会と見ることができる。 本講義は、デジタルメディアを媒介とする行為・コミュニケーションの性質を理解し、これらの行為･コミュニケーションにおける規範がどのようなものであるべきか構想するために必要な情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。 到達目標は、学生が次の３つのことができるようになることである。 １．デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションの性質を理解できるようになる。 ２．倫理学の基本的な考え方とその枠組みを理解できるようになる。 ３．デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションにおいて、どのような法的・倫理的問題が生じる可能性があるか理解できるようになる。 ラーニングアウトカムは、「デジタルメディアと情報社会の理解」および「デジタル社会への参加態度」である。
授業概要	現代において、デジタルメディアが媒介する私たちの行為とコミュニケーションにかかわる諸問題について、仮想的事例や現実の事例から学ぶ。これらの諸問題に対する基本的なアプローチには、1980年代以降に発展してきた情報倫理学の考え方と枠組みを活用する。 具体的実例を通して、現代の生活や社会のさまざまな局面における情報技術の働きを知るとともに、情報技術が基盤となる現代社会における情報とコミュニケーションの倫理的問題について考察する。授業では適宜映像作品やドキュメンタリー、講演・シンポジウムの映像記録などを活用して、現代的問題を考察できるようにする。 講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえでの意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する（受講態度）。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの３つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式の場合も、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対して、次のように予習・復習をおこなうこと。 予習：レジュメ等の資料を配布するので、指示に従って予習すること。約2時間。

	復習：授業内容と資料を要約し、授業内で提示された課題について自分自身で考え回答する。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	なぜ情報倫理が必要なのか	大谷
第３回	倫理とは何だろうか（１）倫理学と倫理・倫理学で使われる言葉	大谷
第４回	倫理とは何だろうか（２）倫理学の基本的な立場	大谷
第５回	グーグル革命（ビデオ教材）視聴と解説	大谷
第６回	サーチエンジンの倫理	大谷
第７回	ソーシャルネットワーキングサービス	大谷
第８回	フェイクニュースと情報の信頼	大谷
第９回	プライバシーの基礎	大谷
第１０回	個人情報保護制度とその思想	大谷
第１１回	監視と見守り	大谷
第１２回	著作権の法・技術・ビジネス	大谷
第１３回	AI・ロボットの倫理	大谷
第１４回	バーチャルリアリティー	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	筆記試験（オンライン試験機能利用も）	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	改訂新版　情報倫理入門	参・出版社名１	アイ・ケイコーポレーション
参・著者名１	土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著	参・ＩＳＢＮ１	4874923240
参・書籍名２	AIの倫理学	参・出版社名2	丸善出版
参・著者名2	クーケルバーグ著、直江清隆訳者代表	参・ＩＳＢＮ2	978-4621305881

授業科目名	広告原理			担当者	伊藤　博則		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-109		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ：広告＝マーケティング・コミュニケーション、さらにその上位の経営戦略・マーケティング戦略に関する基本的で実践的な知識を身につける。 到達目標：学生は、マーケティング戦略を理解することで、各種広告＝マーケティング・コミュニケーションの企画立案が出来る。
授業概要	広告＝マーケティング・コミュニケーションは、経済活動の潤滑油です。各企業・団体の活動において欠かせない事業活動です。しかし、広告＝マーケティング・コミュニケーション活動は、メディア環境や経済環境、消費者意識の変遷により、日々変化してきています。 また、広告＝マーケティング・コミュニケーションには、経済的な側面だけではなく、エンターテイメントとしての文化的側面、さらにはその影響力の大きさから社会的側面も有しています。 この講義では、広告＝マーケティング・コミュニケーションの変遷を振り返るとともに、経営戦略（事業戦略）・マーケティング戦略のあり方と、それに基づく広告＝マーケティング・コミュニケーションの企画制作の実作業について、事例を用いながら解説いたします。 毎回実際のテレビコマーシャルや各種広告、動画コミュニケーションの実例を用いながら解説し、その理解を深めていきます。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	メディアの位置づけを理解した上で、マーケティング戦略からコミュニケーション計画、表現制作に至るプロセスの習得度・理解度・発想力を評価する最終レポートウェイト50%、毎回授業の理解度と授業レポートにより評価する提出物ウェイト40%、授業態度ウェイト１０％
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎授業の課題レポートについては、質問欄を設け、次回授業にて質問への回答を行うとともに、レポート内容についてもコメントを行う。
履修条件・注意事項	日常的にインターネット広告・動画広告・テレビコマーシャルや新聞・雑誌広告に意識して接し授業に臨む。毎回授業レポートに各自で学んだポイントとそこから気づいたことをまとめ、質問事項等を記載の上提出する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この授業は広告会社、出版会社、さらには企業の広告広報セクションにて、広告・出版実務を経験さらには現在実践している教員が実例に基づき実践的な授業を実施するものです。
事前学習・事後学習とその時間	１）毎回次回までの課題を出し、予習復習については各2時間程度行うこと。 ２）毎回授業で学んだこと気づいたこと、授業内容への質問を作成する。 ３）全般知識確認のための筆記試験 を行う。
オフィスアワー	授業終了後に、教室にて行う。

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス～広告とは何か	伊藤
第２回	日本の広告の歴史（江戸時代～戦前）	伊藤
第３回	日本 の広告の歴史（戦後～昭和40年代）	伊藤
第４回	日本の広告の歴史（昭和50年代 ～現在）	伊藤
第５回	広告と広報	伊藤

第６回	広告とマーケ ティングの関係（マーケティング戦略）	伊藤	
第７回	ブランディングとは（企業ブランディングと商品ブランディング）	伊藤	
第８回	広告メディア-マス・メ ディアの特性	伊藤	
第９回	新たなメディア-ITメディアの台頭	伊藤	
第１０回	広告ビジネスに関わる会社と仕事	伊藤	
第１１回	実践に学ぶ広告計画の立案	伊藤	
第１２回	実践に学ぶ広告制作の流れ	伊藤	
第１３回	広告効果測定と広告に関する規制	伊藤	
第１４回	広告の周辺業務-プロモーション・商品開発など	伊藤	
第１５回	これからの広告（デザイン思考の重要性）	伊藤	
第１６回	最終レポート提出	伊藤	
教科書			
教・書籍名１	毎回授業資料をアップ	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	この1冊ですべてわかる 新版 広告の基本	参・出版社名１	日本実業出版社
参・著者名１	波田浩之	参・ＩＳＢＮ１	978-4534055804
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ジャーナリズム論			担当者	竹内　健		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-110		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	メディア環境が急速に多様化する中、主に新聞を中心とする伝統的ジャーナリズムの役割について基礎的な理解を深める。達意の文章と言われる新聞記事の特徴を知り、文章を書くこつを学ぶ。就職活動のエントリーシートづくりや、社会人になって企画書を担当する際にも役立てられるようにする。
授業概要	新型コロナウイルス感染拡大や、京都アニメーション事件を巡る報道など、今日的なジャーナリズムの話題を提供するが、できるだけ肩の凝らない授業にしたい。自分自身がジャーナリストになったと仮定し、報道の現場でどのような行動を取るかを話し合う。作家らの文章、詩を読んで感想文を書き、文章力を磨く。授業担当者は大学でジャーナリズムを専攻した。山陽新聞社に勤務し、30年以上、取材・執筆をしてきた。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	授業に対する態度が積極的かどうか（30%）、レポートの取り組みはどうか（40%）、他人に迷惑を掛けずに受講しているかどうか（30%）ーなどで評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業で課したレポートの結果は、後日の授業で示す。
履修条件・注意事項	新聞に関わらずインターネット、テレビ、ラジオ、映画、アニメ、雑誌、音楽などメディア全般に興味関心のある人を対象とする。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	SNS以外のツール（例えば新聞を読む）からも、情報を得る習慣を付けてみて下さい。大学の図書館などを利用して新聞を読み、テレビなどのニュース番組にも接して下さい。予習・復習には各2時間程度を当てて下さい。
オフィスアワー	授業終了後に教室にて。

	授業計画	担当者
第１回	ジャーナリズムの定義について。鶴見俊輔の「ジャーナリズムの思想」を参考に。	竹内
第２回	文章の書き方。新聞記事の特徴。社会人になって企画書を書くときに新聞記事を利用する。	竹内
第３回	地方紙について、その１。東日本大震災と岩手県・大槌新聞の取り組み。	竹内
第４回	地方紙について、その２。秋田魁新報社のスクープ。	竹内
第５回	地方紙について、その３。沖縄県の新聞記者たち。	竹内
第６回	京都アニメーション事件を巡る報道について、その１。	竹内
第７回	京都アニメーション事件を巡る報道について、その２。	竹内
第８回	津波を撮ったカメラマンについて。	竹内
第９回	ユージン・スミスとＭＩＮＡＭＡＴＡ、その１。	竹内
第１０回	ユージン・スミスとＭＩＮＡＭＡＴＡ、その２。	竹内
第１１回	中村哲とアフガニスタン、その１。	竹内
第１２回	中村哲とアフガニスタン、その２。	竹内
第１３回	中村哲とアフガニスタン、その３。	竹内
第１４回	オバマ氏の広島訪問。	竹内
第１５回	近藤宏一と青い鳥楽団の活動。	竹内
第１６回	レポート試験。	竹内

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じてプリントを配布します）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	

教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	メディア用語基本事典	参・出版社名１	世界思想社
参・著者名１	渡辺武達・金山勉・野原仁	参・ＩＳＢＮ１	9784790717324
参・書籍名２	天、共に在り　アフガニスタン三十年の闘い	参・出版社名2	ＮＨＫ出版
参・著者名2	中村哲	参・ＩＳＢＮ2	9784140816158

授業科目名	メディア倫理学			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-111		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	情報通信技術（ICT）にもとづくサービス提供者として、また、情報社会を構築・維持する市民・国民として必要とされる情報倫理学に関する知識と考え方を身につけることが、本授業のテーマである。 プライバシーバイデフォルト（PbD）など、ICTに関しては、設計・企画段階から価値や倫理に配慮した設計（VSD: Value Sensitive Design）を行い、サービス提供することが常識となりつつある。また、ICTが広く浸透した社会、すなわち情報社会においては、たえず進歩を続けるICTによって既存の法・慣習では判断できない「指針の空白」が常に生じる可能性があり、社会・政治・経済活動に取り組む市民・国民には情報倫理学的思考が求められる。 本授業においては、とくにメディアの発信者（アニメ制作者・ゲームクリエイター・ウェブデザイナーなど）およびメディアの受け手の立場から、ICTとメディアのかかわる倫理的問題について考察する。 本授業の到達目標は、学生が下記のことをできるようになることである。 １．情報倫理学の思考の前提となる倫理学の基本的な枠組み・考え方を理解できるようになる。 ２．現代から近未来における情報倫理学の重要な論点が何であるか理解できるようになる。 ３．具体的な問題に対して、情報倫理学的志向を適用し、自分なりの意見を述べることができるようになる。 ４．情報社会のあり方を考察しルールを形成する議論に参加できる知識と考え方の基本を理解できる。 本授業のアウトカムは、「ICTまたはメディアと法・倫理に関する基本的な知識」と「自ら考え論理的思考に基づいて判断する能力」、「合意形成による問題解決の基本的能力」である。
授業概要	講義とディスカッションを通じて、倫理学の基本的な枠組み・考え方を理解したうえで、現代から近未来にかけて重要な課題となる情報倫理学の論点について、具体的な問題を通じて考察し、情報社会のルール構築への見通しを得ることを目標とする。 授業においては、倫理学・情報倫理学の基本的な概念、枠組みに関して講義によって解説を行ってから、具体的問題について、ディスカッションと解説を通じて、情報社会のルール構築のための基本的な知識と技能を磨く。 また、毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえでの意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。 拙著『情報倫理』で取り上げるトピックスや論点も紹介・解説し、理解を深める。 教科書は指定しないが、配布するプリントや参考書等を読み、予習することを求める。 また、授業内容とあわせて配布プリントと参考書を読み直すことで復習をすること。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度・授業における発言と応答（30点）＋課題提出状況（10点）＋試験（60点）。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式の場合も、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：指定する文献や配布資料等を読んできてください。約2時間。 復習：ディスカッションの振り返りに加えて、レポートの作成を求めます。レポートの講評を必ず読み返し、講義

	と併せて、次回以降のディスカッションとレポート作成に備えて、振り返りを行ってください。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	倫理とは何か	大谷
第３回	倫理学の基本的な考え方：功利主義・義務論・徳倫理学・四原則アプローチなど	大谷
第４回	表現・言論の自由の倫理学的基礎：ミル『自由論』を読む	大谷
第５回	他者危害原則を考える	大谷
第６回	ジャーナリズムの規範	大谷
第７回	名誉権の保護	大谷
第８回	犯罪報道と報道被害	大谷
第９回	プライバシーの基礎	大谷
第１０回	個人情報保護法の基礎	大谷
第１１回	現代社会のメディア倫理１：サーチエンジンと法・倫理	大谷
第１２回	現代社会のメディア倫理２：パーソナライゼーションとフィルターバブル	大谷
第１３回	現代社会のメディア倫理３：スコア化／ブラックボックス化する社会	大谷
第１４回	現代社会のメディア倫理３：ヴァーチャルリアリティの倫理学	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	筆記試験（オンライン試験を活用する）	大谷

教科書			
教・書籍名１	特に指定しない。予習復習に役立つプリント等を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	改訂新版　情報倫理入門	参・出版社名１	アイ・ケイコーポレーション
参・著者名１	土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡・喜多千草・永崎研宣・村上祐子・川口嘉奈子・坪井雅史・川口由起子・吉永敦征著	参・ＩＳＢＮ１	4874923240
参・書籍名２	情報倫理　技術・プライバシー・著作権	参・出版社名2	みすず書房
参・著者名2	大谷卓史	参・ＩＳＢＮ2	978-4622085621

授業科目名	レビューライティング			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年			ナンバリング	AN-AN-2-112		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本授業のテーマは、批判的観点から映画・アニメ・書籍・音楽・ゲーム等の紹介を書くことで、多くの人々に意図および内容が伝わる文章表現を身につけることである。 批判というと、否定や悪口、非難という意味と受け取るかもしれない。しかし、批判的観点をとれる人とは、自分の思い込みを離れ、さまざまな視点から検討をしたうえで、他者の情報や意見を判断するとともに、自らの意見や自分の見聞・学修した情報を表現できる人のことを言う。 本授業の到達目標は、学生が次のことをできるようになることである。 １．自分の紹介したいコンテンツについて、他者の視点を踏まえて、そのおもしろさや魅力を理解し、表現することができるようになる。 ２．他者にわかりやすい文章表現を行うことができるようになる。 ３．論文・レポートの書き方の初歩を身につけ、テキストクリティーク型の論文・レポートを書けるようになる。 授業のアウトカムは、合理的な思考とコミュニケーション能力、他者の立場を理解したうえでの問題解決である。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、編集者・サイエンスライターとしての実務経験を持つ
授業概要	自分の好きな映画・アニメ・マンガ・音楽・ゲームなどのコンテンツについて、独りよがりな文章表現ではなく、他者に伝わる表現で文章を書くことができるように、他者の視点を意識した批判的思考と文章表現を鍛える。 客観的な批判的文章の典型は、論文・レポートである。他者の視点を意識して紹介文・レビューを書くことを通じて、最終的には、論文・レポートを書けるようにする。 授業に当たっては、各受講者がレビュー・紹介文を書きたいコンテンツを選択し、そのコンテンツに関して教員と議論することを通じて、レビュー・紹介文を書くための方針と表現を決める。そのうえで、各受講者がレビューや紹介文を執筆し、さらに教員がそのレビューや紹介文の修正を加える。このサイクルを繰り返すことで、よりすぐれたレビュー・紹介文を書けるようにしていく。 これと併せて、論文・レポートの書き方の初歩について、教科書を通じて学ぶ。 なお、担当者は、編集者・サイエンスライターの実務経験を有することから、この経験をもとに、内容が伝わる・わかりやすい文章の書き方を指導する。 レビューおよび紹介文を書くにあたっては、教室（7号館情報処理室を利用する）において執筆するだけでは完成しないので、授業外での作業が相当量要求されることを覚悟してほしい。データのやりとりのために、インターネットストレージを利用するか、USBメモリ等の媒体の利用を必要とする。
アクティブラーニングの内容	実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	受講態度20%+提出レポート（レビュー・紹介文）40%+レポート試験40%。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題（提出レポート）に関しては、次回授業でMicrosoft Teamsの課題コメント機能や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、編集者・サイエンスライターとしての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、出版等の現場において実践的に役立つ授業を実施する。

事前学習・事後学習とその時間	予習：自分の紹介したいコンテンツに関してそのおもしろさをまとめておきましょう。ときには、教科書の指定部分を事前に読んでおくことが求められます。2時間程度。 復習：授業での教員とのやり取りをもとに、レビューを仕上げてください。2時間程度。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 春学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション・批判的に読み・考える	大谷
第２回	レビューの書き方入門	大谷
第３回	レビューを読んでみよう：書籍・マンガ編	大谷
第４回	映画評を読んでみよう	大谷
第５回	レビューを読んでみよう：映画・アニメ編	大谷
第６回	レビューを分析してみよう	大谷
第７回	レビューを書く前に：読みやすい文章とはどんな文 章だろうか	大谷
第８回	レビューを書いてみよう：おすすめのアニメやゲームについて（200-600字ライティング）	大谷
第９回	レビューを書いてみよう：おすすめのマンガや小説について（200-600字ライティング）	大谷
第１０回	文章を推敲・校正する	大谷
第１１回	レビューを書いてみよう：おすすめの映画・アニメのレビュー（400文字以上で書いてみよう）	大谷
第１２回	レビューを書いてみよう：おすすめの映画・アニメ２（600文字以上で書いてみよう）	大谷
第１３回	レビューを書いてみよう：おすすめの本・マンガのレビュー（ 400文字以上で書いてみよう）	大谷
第１４回	レビューを書いてみよう：おすすめの本・マンガのレビュー（ 600文字以上で書いてみよう）	大谷
第１５回	レビューを書いてみよう：おすすめの本・マンガのレビュー（800文字以上で書いてみよう）	大谷
第１６回	レポート試験800-2000字ライティング）	大谷

教科書			
教・書籍名１	適宜参考となるレビュー等を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	論文・レポートの基本	参・出版社名１	日本実業出版社
参・著者名１	石黒圭	参・ＩＳＢＮ１	978-4534049278
参・書籍名２	批評の教室	参・出版社名2	筑摩書房
参・著者名2	北村紗衣	参・ＩＳＢＮ2	978-4480074256

授業科目名	ブランド戦略と知的財産 （集中C）	担当者	隅藏　康一
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-113

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	知的財産に関する基礎から最近のトピックまでを学ぶ。学生は、企業や大学等の知的財産戦略について、必要事項の概要を把握し、理解を深めることができる。
授業概要	主に、知的財産の基本（知的財産と知的財産権の使い分け、知的財産の具現化の方法、営業秘密の保護、知的財産権の保護、発明は誰のものか、大学と産業との関係、知的財産政策など）、知的財産をめぐる法律（特許法、商標法、著作権法、意匠法など）、デジタルコンテンツと著作権（デジタルライツ・マネジメント、著作権保護のためのテクノロジー、P2Pの課題、など）、先端科学技術と知的財産（ソフトウェアの保護、オープンソース、標準化、パテント・プール、医薬品アクセス、生物の特許可能性、生物多様性条約、リサーチツール特許、など）、知的財産権の国際的イシュー（米国、中国、欧州など）、企業経営における知的財産戦略（知的財産部門の役割、企業のブランド戦略、など）、知的財産戦略と会計（無形資産のオンバランス化、知的財産の評価、など）、知的財産戦略と契約（ライセンス契約、特許訴訟、知財紛争、など）、知的財産に関する職業（弁理士、産学技術移転に関する職業、地方自治体における知的財産関連職種、など）、について講義を行う。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	授業への出席と、授業における真摯な受講態度を前提としたうえで、 授業の中で行う小テストの点数やプレゼンテーションにより、評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プレゼンテーションについては、各自に対して、講評を行う。 小テストの解答は後日配布する。
履修条件・注意事項	予習・復習を各自で行うこと。復習により授業内容を理解したかどうかを確かめるための小テストを、授業の中で行う。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	講義内容を復習し、理解を深めること。
オフィスアワー	授業終了後、教室にて

授業計画		担当者
第１回	知的財産制度の全体像	隅藏康一
第２回	ブランドとは	隅藏康一
第３回	商標法の概要	隅藏康一
第４回	地域団体商標と地域ブランド	隅藏康一
第５回	デザインと意匠法	隅藏康一
第６回	イノベーションと特許法	隅藏康一
第７回	不正競争防止法と営業秘密	隅藏康一
第８回	デジタルコンテンツと著作権	隅藏康一
第９回	種苗法とブランド戦略	隅藏康一
第１０回	独占禁止法	隅藏康一
第１１回	米国における特許の裁判例	隅藏康一
第１２回	米国における著作権の裁判例	隅藏康一
第１３回	WTOとTRIPS協定	隅藏康一
第１４回	プレゼンテーション	隅藏康一
第１５回	プレゼンテーション	隅藏康一

第１６回	試験		隅藏康一
教科書			
教・書籍名１	適宜、資料配布	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	出版・マンガの著作権			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-114		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	出版・マンガビジネスのしくみと、そこで必要となる著作権法の知識、およびさまざまな関連する慣行について講義を行う。この授業は、学生が次のことができるようになることを到達目標とする。 １．出版・マンガビジネスのしくみおよび市場状況を説明できるようになる。 ２．出版・マンガビジネスで必要な著作権法および判例に関する知識を理解できるようになる。 ３．出版・マンガビジネスにおける出版契約・著作権の実務慣行の現状と課題について理解できるようになる。
授業概要	出版・マンガビジネスのしくみと、そこで必要となる著作権法の知識、およびさまざまな関連する慣行について講義を行う。出版ビジネスにおいて、著作者・著作権者と出版社の関係には、さまざまな慣行が存在し、著作権法の条文を読むだけでは実務を十分に理解できない。また、現場の編集者や著者などが著作権法の知識に欠けるため、トラブルを引き起こしたり、自分自身の利益を損なうケースもある。講義では、出版・マンガ市場の概況とその問題点、出版契約・著作権の慣行、出版・マンガにかかわる著作権紛争の事例等を論じ、受講者が出版・マンガビジネスにおける著作権の実際を理解できるようにする。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえでの意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を20%の重みづけで評価する（受講態度）。また、課題等の提出物10%、小テスト2回（10%）、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの３つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題（提出レポート）に関しては、授業内での言及・コメント（原則課題回答者名は匿名）、および各受講者のシャトルカードへのなどによって、フィードバックする。また、小テストは、同じ時間内に答え合わせを兼ねて解説を行うことで、フィードバックする。
履修条件・注意事項	積極的に授業に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式ですが、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：指定した配布資料や教科書・参考書の該当箇所を事前に読んで要約すること。約2時間。 復習：授業内容についてノートを整理すること（定期試験は、自筆ノート持ち込み可）。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

	授業計画	担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	出版業界の市況と構造	大谷
第３回	著作権法の基礎（１）著作権法の目的と構造・国際条約	大谷
第４回	著作権法の基礎（２） 著作物	大谷
第５回	著作権法の基礎（３）その他の著作物・著作者（創作者主義とその例外）	大谷
第６回	著作権法の基礎（４）著作者の権利・著作者人格権	大谷

第７回	著作権の基礎知識（５）著作権の種類（支分権）と著作物の利用行為	大谷
第８回	著作権の基礎知識（６）著作権の制限／著作権の保護期間　30条～36条	大谷
第９回	著作権の基礎知識（７）著作権の制限／著作権の保護期間　37条～50条、保護期間	大谷
第１０回	小テストと解説	大谷
第１１回	著作権の基礎知識（８）出版権と利用許諾・著作権譲渡契約	大谷
第１２回	著作権の基礎知識（９）著作権の侵害と救済	大谷
第１３回	出版とマンガの著作権の事件・裁判例（引用の問題）	大谷
第１４回	出版とマンガの著作権の事件・裁判例（キャラクターの権利など）	大谷
第１５回	小テストと解説	大谷
第１６回	筆記試験（オンライン試験の活用も）	大谷

教科書			
教・書籍名１	著作権テキスト（令和4年版）（インターネットから無料で入手可能。第1回目授業で説明します）	教・出版社名１	文化庁
教・著者名１	文化庁	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	出版・マンガビジネスの著作権　　第2版	参・出版社名１	著作権情報センター
参・著者名１	桑野雄一郎・赤松健	参・ＩＳＢＮ１	978-4885260865
参・書籍名２	著作権法入門 (2021-2022)	参・出版社名2	著作権情報センター
参・著者名2	文化庁編著	参・ＩＳＢＮ2	978-4885260933

授業科目名	アニメ・ゲームの著作権			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-115		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	現代社会においては、デジタルメディアの発達と普及によって、万人が著作者となる創作活動が盛んになるとともに、動画共有サイトやドラマ・映画等のインターネット配信のように、新しい形のコンテンツ流通と消費が登場している。アニメやゲームの制作や龍柱も大きく変わっている。本講義においては、デジタルメディアによる創作と流通にかかわるクリエイターやビジネスマンがデジタルメディアによる創作活動やビジネスを活発に行って文化の発展に寄与できるよう、そして、ユーザーがデジタルメディアによって創作・流通される著作物を享受し、さらに自らクリエイターとして活躍するために必要となる著作権の知識を理解する。 到達目標は、学生が下記のことができるようになることである。 １．著作権法・著作権制度に関する基本的知識を説明できる。 ２．著作権法を遵守しながらデジタルメディアで著作物を創作・流通するための基礎知識を理解できるようになる。 ３．ユーザーとして著作権法を遵守しながら著作物の利活用を行うとともに、他者の広い意味での著作権に配慮しながら自らクリエイターやプロシューマ―（消費者兼クリエイター）として創作活動を行うことができるようになる。
授業概要	デジタルメディアを活用する著作物の創作活動や流通、利活用に関して、創作と流通にかかわる著作権法および著作権制度を総合的に理解する。著作権制度は、活版印刷技術の登場とともにその原型となる制度が登場し、その後新しいメディアの勃興と普及に伴って、その姿を変容させてきた。メディアの変遷と著作権制度の変容に関して理解したうえで、現代のデジタルメディアの利活用にかかわる著作権法・著作権制度の知識を習得する。デジタルメディアの大きな特徴は次のようなものだ。まず、パーソナルコンピュータなどの情報機器を使うことで情報の加工・編集が容易であるうえ、そのまま劣化なく元の情報を複製できる。そして、このように加工・編集・複製した情報は、インターネットを介して地球規模の射程で特定の人または多数の人々に向けて情報伝達・情報発信ができる。さらには、これらのテクノロジーは十分低価格化し、利用方法がどんどん容易になっているので、先進国においては相当多数の人々が使うことができるようになっている。これらの特徴は、従来の著作権の保護とは異なる特別の保護が必要になる。デジタルメディアは、著作物の創作活動や流通にも大きな変化をもたらした。これらの創作活動や流通の変化と併せて、現代の著作権法・著作権制度に関して理解し、クリエイターや著作物流通に携わるビジネスマンとして活躍するための基礎的知識を身に着ける。また、この基礎知識は、今後のデジタルメディアの利活用を進めるためにどのような著作権制度が望ましいのか、市民として考察するための基礎知識でもある。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	平常点（受講態度20%と課題10%）＋小テスト（10%）+定期試験（60%）。授業課題（提出レポート）に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。また、小テストは、同じ時間内に答え合わせを兼ねて解説を行うことで、フィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題（提出レポート）に関しては、授業内での言及・コメント（原則課題回答者名は匿名）、および各受講者のシャトルカードへのなどによって、フィードバックする。また、小テストは、同じ時間内に答え合わせを兼ねて解説を行うことで、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式ですが、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。

	授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。		
実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	予習：教科書・配布資料の指定個所を読んで要約してください。約2時間。 復習：小テストを行いますので、毎回授業ノートをまとめ、講義内容を整理しておきましょう。約2時間。		
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期　14号館6階14617号研究室にて毎週水曜日3時限目。 変更ある場合は、授業やユニパ等でお知らせします。		

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	著作権制度のアウトライン（１）：著作物と著作者の権利	大谷
第３回	著作権制度のアウトライン（２）：著作権	大谷
第４回	著作権制度のアウトライン（３）：著作権の制限その１　30条から３5条まで	大谷
第５回	著作権制度のアウトライン（４）：著作権の制限その２　36条から50条まで	大谷
第６回	著作権制度のアウトライン（５）：デジタルテクノロジーと著作権	大谷
第７回	著作隣接権、著作権侵害とその救済	大谷
第８回	知識確認テストと解説	大谷
第９回	著作物・著作権に関するワークショップ	外部講師
第１０回	映画・アニメの著作権１　映画の著作物・著作者、さまざまな権利	大谷
第１１回	映画・アニメの著作権２　映画の著作者・著作権をめぐる紛争	大谷
第１２回	ゲームの著作権その１　デジタルゲームの著作権の考え方	大谷
第１３回	ゲームの著作権その２　デジタルゲームの著作物の同一性保持権侵害問題	大谷
第１４回	ゲームの著作権その３　中古ゲームソフトの販売問題	大谷
第１５回	知識確認テストとまとめ	大谷
第１６回	筆記試験（オンライン試験を活用する場合があります）	大谷

教科書			
教・書籍名１	著作権テキスト（令和4年版）（インターネットから無料で入手可能。第1回目授業で説明します）	教・出版社名１	文化庁
教・著者名１	文化庁	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	メディアとICTの知的財産権　第2版	参・出版社名１	共立出版
参・著者名１	菅野政孝・大谷卓史・山本順一	参・ＩＳＢＮ１	978-4320124325
参・書籍名２	著作権法入門2021-2022	参・出版社名2	著作権情報センター
参・著者名2	文化庁	参・ＩＳＢＮ2	978-4885260933

授業科目名	アニメーション文化論A			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-201		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	現代日本を代表する文化の一つとまで言われるようになった「日本のアニメーション文化を理解する事」をテーマに、その技術と表現手法に焦点を当てながら、草創期から現代まで歴史的・文化的に概観する。その際、学生がアニメーションの社会的位置づけや経済活動を理解する事で、それぞれの時代の中で社会に対しどのような影響を与えてきたかを考え行動する事を目指す。また、学生が海外のアニメーションと日本のアニメーションとの対比を行うことで、広がりゆく文化としてのアニメーションを学生自身が理解する技術を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての実務経験を元に、（地）この科目は、文化研究としての現代日本を代表する文化の一つであるアニメーションの技術と表現手法がどの様な経緯で発達して来たかを知り、アニメーションの社会的位置づけや経済活動を理解する事で、社会・地域に対しどのような影響を与えてきたかを考える。また、海外のアニメーションと日本のアニメーションとの対比を行うことで、広がりゆく日本文化としてのアニメーションの特異性を理解し、地域発のアニメーションで地域と係りの問題点を知り、合わせて地域貢献ボランティア活動を通じて文化研究を行う。また講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「日本のアニメーション文化を理解する事」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（５０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。

オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。		
授業計画			担当者
第１回	日本アニメーションの成り立ち		井上
第２回	日本アニメーションの歴史１（創世記から東映動画設立）		井上
第３回	日本アニメーションの歴史２（TV放送開始から70年代）		井上
第４回	日本アニメーションの歴史３（80年代OVA時代）		井上
第５回	日本アニメーションの歴史４（90年代からオタク時代）及び歴史に関する小レポート		井上
第６回	海外進出の歴史		井上
第７回	海外での日本アニメーションブーム		井上
第８回	漫画とアニメーションの関係		井上
第９回	アニメーション製作システム１(日本)		井上
第１０回	アニメーション製作システム２（海外）		井上
第１１回	アニメーションの社会における立ち位置１（子供）		井上
第１２回	アニメーションの社会における立ち位置２（オタク）		井上
第１３回	アニメーションの社会における立ち位置３（一般）及び社会における立ち位置に関する小レポート		井上
第１４回	アニメーションの地域における影響１（事前調査）		井上
第１５回	アニメーションの地域における影響２（発表）及び全体のまとめ		井上
第１６回	単位認定試験		井上
教科書			
教・書籍名１	新版 アニメーション学入門	教・出版社名１	平凡社
教・著者名１	津堅 信之	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4582858368
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション文化論B					担当者	井上　博明	
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年／ 2021～ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年					ナンバリング	AN-AN-1-202	
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習	
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜5限			

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「日本のアニメーション文化を理解する事をできる。」をテーマに、社会において派生する個々の具体的な事象を通して考察する。例えば、マンガ、ゲーム、キャラクター、玩具、ホビー、ファッション、音楽、出版、イベントといった個々のカテゴリー毎に、文化としてのアニメーションがどのように発現していったかを確認し、学生がそれぞれの領域でのアニメーションの意味を考える。さらに、アニメーションが国の成長戦略のひとつであるクールジャパンの重要なコンテンツと認識をされ、海外で高く評価されている事例を個別に検証しながら、世界におけるアニメーション文化の今後を学生自身が理解する能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての実務経験を元に、（地）この科目は、アニメーション文化について、社会・地域において派生する個々の具体的な事象を通して考察する。いわゆるオタク文化としてのアニメーションがどのように発現していったかを確認し、またアニメーションと親密な関係を持つ各産業を理解し、さらに、海外で新しい文化として高く評価されているオタクやカワイイと言う様な事例を個別に検証しながら、国のクールジャパン戦略の重要なコンテンツのひとつとして世界に広がっている日本のアニメーション文化の今後を考える。　また、地域発のオタク文化としてのアニメーションで地域と係りの問題点を知り、合わせて地域貢献ボランティア活動を通じて文化研究を行う。また講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「日本のアニメーション文化を理解する事をできる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（５０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。

実務経験のある教員	該当する	内容	井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）

事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。		
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。		

授業計画		担当者
第１回	オタクの成り立ち１（創生から80年代）	井上
第２回	オタクの成り立ち２（90年代以降）	井上
第３回	日本アニメーションと漫画	井上
第４回	日本アニメーションと出版（ライトノベル）	井上
第５回	日本アニメーションとキャラクター展開	井上
第６回	日本アニメーションと音楽、ＣＤドラマ、声優	井上
第７回	日本アニメーションとゲーム	井上
第８回	日本アニメーションとファッション、イベント	井上
第９回	日本アニメーションと同人活動及びメディアに関する小レポート	井上
第１０回	日本アニメーションと地方活性	井上
第１１回	海外での日本アニメーション展開の歴史	井上
第１２回	クールジャパンとしての日本アニメーション１（アジア）	井上
第１３回	クールジャパンとしての日本アニメーション２（アジア以外）及びクールジャパンに関する小レポート	井上
第１４回	日本アニメーションの今後１（事前調査）	井上
第１５回	日本アニメーションの今後２（発表）及び全体のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	新版 アニメーション学入門	教・出版社名１	平凡社
教・著者名１	津堅 信之	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4582858368
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	マンガ文化論				担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年				ナンバリング	AN-AN-2-203		
必修・選択	選択	単位数	2単位		時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期		曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「日本を代表する文化の一つとまで言われるようになったマンガについて、草創期から現代まで歴史的・文化的に概観すること」をテーマとする。それぞれの時代の中で社会に対しどのような影響を与えてきたかを考える。また、学生が実体験を基にマンガの社会的位置づけや経済活動にも注目し、海外にも広がりゆく文化としてのマンガをを学生自身が理解する能力を持てる事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての実務経験を元に、現代日本を代表する文化の一つであるマンガの技術と表現手法がどの様な経緯で発達して来たかを知り、マンガの社会的位置づけや経済活動を理解する事で、社会に対しどのような影響を与えてきたかを考える。また、国のクールジャパン戦略にも組み込まれているマンガの海外での広がりを認識し、海外での日本マンガの特異性を理解する。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	テーマ「日本を代表する文化の一つとまで言われるようになったマンガについて、草創期から現代まで歴史的・文化的に概観すること」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（５０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	マンガの成り立ち	井上
第２回	マンガの歴史１（戦前～60年代）	井上

第３回	マンガの歴史２（60年代～70年代）	井上
第４回	マンガの歴史３（70年代～90年代そして海外へ）	井上
第５回	マンガの歴史４（90年代～00年代）	井上
第６回	マンガの歴史５（00年代～今）及び歴史に関す小レポート	井上
第７回	少年マンガ	井上
第８回	少女マンガ	井上
第９回	青年マンガ	井上
第１０回	大人マンガ	井上
第１１回	メディアミックスマンガ	井上
第１２回	同人マンガ及びマンガジャンルに関する小レポート	井上
第１３回	マンガの商品化とカルチャー	井上
第１４回	マンガの海外展開	井上
第１５回	マンガ文化のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	日本マンガ全史:「鳥獣戯画」から「鬼滅の刃」まで	教・出版社名１	平凡社新書
教・著者名１	澤村 修治	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4582859445
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	コンテンツ文化・産業論			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-204		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「コンテンツ産業の文化的、経済的な側面を理解すること」をテーマとし、漫画、出版、アニメーション、ゲーム、映画、玩具、ファッション、芸能、広告、イベント等、コンテンツの産業一般としての成り立ちと現状について理解を持ち、運用する技術の習得を目指し。その上で、今後の展開を考察しながら、産業論として学生自らの考えをまとめる。最終的には、学生が国内外の状況ついて、具体的なイベントや新設の施設などに着目しながら、経済的側面を押さえた状況を学生自身が理解し行動できる能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての実務経験を元に、文化研究としての現代の文化の一つであるコンテンツがどの様な経緯で発達して来たかを知り、コンテンツの社会的位置づけや経済活動を理解する事で、学生が社会に対しコンテンツがどのような影響を与えてきたかを考え、グループ・ディスカッションを行う事で理解度を深める。講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	テーマ「コンテンツ産業の文化的、経済的な側面を理解ができる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（５０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画	担当者

第１回	コンテンツの経済的側面と影響（映画、アニメ）	井上
第２回	コンテンツの経済的側面と影響（マンガ、出版）	井上
第３回	コンテンツの経済的側面と影響（ラジオ、テレビ）	井上
第４回	コンテンツの経済的側面と影響（新聞、広告）	井上
第５回	コンテンツの経済的側面と影響（玩具、ファッション）	井上
第６回	コンテンツの経済的側面と影響（玩具、ファッション）	井上
第７回	コンテンツの経済的側面と影響（音楽、Web）及びメディアに関する小レポート	井上
第８回	海外コンテンツの日本展開	井上
第９回	コンテンツと地方活性	井上
第１０回	コンテンツの今後	井上
第１１回	コンテンツ文化の地域における影響　キャラクター（事前調査）	井上
第１２回	コンテンツ文化の地域における影響　イベント（事前調査）	井上
第１３回	コンテンツ文化の地域における影響　物産（事前調査）	井上
第１４回	コンテンツ文化の地域における影響（発表）と小レポート	井上
第１５回	全体のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	図解入門業界研究 最新コンテンツ業界の動向とカラクリがよくわかる本 [第4版] (How-nual図解入門業界研究)	教・出版社名１	秀和システム
教・著者名１	中野明	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4798063584
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本マンガ史概論	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	AN-AN-2-205

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	日本で人気のあった作品をできる限り年代順に紹介し、それぞれの作品が時代や世相を反映していることを知ることが重要なテーマです。有名な漫画家の名前くらいは学生のみなさんも知っているでしょうが、５０年以上前の白黒のアニメは実際に観る機会はあまりなかったと思います。そこで当時のアニメ等を鑑賞し、制作の舞台裏などを解説することによって、現代までの流れをおよそ知ってもらいたいと思います。それによって学生のみなさんは、日本のアニメがどのように発展してきたのか、その流れを知ることができ、自分のアニメ制作に活かす知識を増やすことができます。
授業概要	日本アニメの歴史を概観します。１９６０年代からテレビに登場した鉄腕アトムをはじめ、当時の少年少女ならほとんどの子供が知っていた有名なアニメを鑑賞していきます。今では名前を聞かなくなったような漫画やアニメもありますが、この授業ではできる限り当時人気のあった作品を紹介し解説します。また日本のアニメではないですが、海外のアニメの吹き替えなども途中取り上げて、日本と海外の違いなども解説します。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	時々で感想をレポートしてもらい（５０％）、最後に提出してもらうレポートの点数（５０％）との総合で評価します。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	レポートは授業の終わる前の授業（第１５回目）に提出してもらい、提出してもらったレポートの内容を匿名で紹介してみなさんと漫画、アニメの歴史を１６回目に総括します。
履修条件・注意事項	授業中に紹介する漫画やアニメは時間の関係上、ごく一部です。興味ある学生は大学に置いてある、あるいは漫画を揃えてある図書館に行って貪欲にアニメや漫画を読んでもらい、その幅を広げていって欲しいと思います。自分の知識を広げることにより、さまざまなアニメや漫画の評価が相対的にできるようになります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	注意事項のところにも書きましたが、昭和の巨匠と呼ばれる人たちの作品が多くあります。自分の引き出しを増やすためにも、また古典を知っておくためにもできるだけ多くの漫画家の世界を授業をきっかけに知るよう努力して下さい。復習として２時間程度、予習としても２時間程度、授業でやる（やった）アニメを図書館やネット上で捜して授業以外で扱うものを補足的に見るようにして作品の内容をより詳しく知るようにしてください。
オフィスアワー	水曜日の３限目。２号館６Ｆの研究室で。

授業計画		担当者
第１回	鉄腕アトム　おそ松くん	平見勇雄
第２回	ジャングル大帝　リボンの騎士	平見勇雄
第３回	パーマン　オバケのQ太郎	平見勇雄
第４回	冒険ガボテン島	平見勇雄
第５回	ひみつのアッコちゃん　魔法使いサリー	平見勇雄
第６回	鉄人２８号　スーパージェッター	平見勇雄
第７回	遊星仮面　わんぱく探偵団	平見勇雄
第８回	ハリスの風　黄金バット	平見勇雄
第９回	猫目小僧	平見勇雄
第１０回	タイガーマスク	平見勇雄
第１１回	巨人の星	平見勇雄
第１２回	アタックNo.1	平見勇雄
第１３回	海外のアニメ　チキチキマシン猛レース	平見勇雄

第１４回	里中満智子の作品、　一条ゆかりの作品		平見勇雄
第１５回	春学期のまとめ		平見勇雄
第１６回	総括　レポートの考察（フィードバック）		平見勇雄
教科書			
教・書籍名１	適時関連するプリントを配布いたします。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション作画基礎A			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-206		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	アニメーションの原理を理解することをテーマに、ドローイングアニメーション制作を通してアニメーション制作に係る基礎知識を学習する。1年次科目として受講者が作画撮影機材・ソフトウェアの使い方を習得し、アニメーション映像を制作することを到達目標とする。
授業概要	物理法則に基づく動きの基礎を「コマ撮りアニメーション」と「ボールの動き」作画で学習した後、「走る人」の課題制作で中割りアニメーション制作方法を学ぶ。「フェナキストスコープ」（驚き盤）制作で発想したアイデアをアニメーション映像化することができる。ドローイングアニメーション制作とPhotoshop、After Effectsの学習を兼ねて各課題制作時、ツールの使い方を適宜指導する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では課題制作過程と提出物の完成度などを指標に授業態度（15%）課題提出（35%）課題評価点（50%）の割合によって評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題はユニバーサルパスポートを活用する形でフィードバックし、制作過程を見返り次の課題制作に役立てることを目標とする。
履修条件・注意事項	14号館14301教室
実務経験のある教員	該当する　内容　この授業は、フリーランスのアニメーターとしてアニメーション技法によるプロモーション映像等の制作を行った実務経験のある教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	授業の事前学習・事後学習として放課後の時間帯に課題を制作する必要があり、14号館3F140301教室の他に2号館2F221教室を利用することが可能。
オフィスアワー	木曜日5限・14号館14301教室

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス	金叡媛
第２回	ミニチュアのコマ撮り	金叡媛
第３回	「加速・等速・減速するボール」作画	金叡媛
第４回	「加速・等速・減速するボール」作画（撮影）	金叡媛
第５回	「弾むボールの作画」とタイムシートの読み方	金叡媛
第６回	弾むボールの作画（撮影）	金叡媛
第７回	「お辞儀」作画	金叡媛
第８回	「お辞儀」作画（撮影）	金叡媛
第９回	「走り」作画	金叡媛
第１０回	「走り」作画（撮影）	金叡媛
第１１回	「旗、炎」作画	金叡媛
第１２回	「旗、炎」作画（撮影）	金叡媛
第１３回	「フェナキストスコープ」（驚き盤）作画	金叡媛
第１４回	「フェナキストスコープ」（驚き盤）着彩	金叡媛
第１５回	「フェナキストスコープ」（驚き盤）映像編集	金叡媛
第１６回	単位認定試験	金叡媛

教科書

教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーションの本　動く絵を描く基礎知識と作画の実際	参・出版社名１	合同出版
参・著者名１	アニメ6人の会	参・ＩＳＢＮ１	978-4772604611
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション作画基礎B			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-207		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	身体の動きに注目し、「アニメーションの基礎知識を学習する」ことをテーマとする。学生が、映像機材やソフトウェアの使い方を学び、アニメーション表現への関心を高め、自分のイメージを表現できる知識と基礎的な技術を身につけることを到達目標とする。
授業概要	ロトスコープ技法を用いて実写素材をアニメーション映像として制作することにより、動きの分析を行うとともにPhotoshop、Aftereffectsの使い方を学ぶ。続いて歩きの作画課題制作を通じ、人体デッサンと重心表現の重要性を学ぶ。更に、プリップブックの課題制作を通じ、アニメーションのアイデアを表現できるようになる。映像ソフトウェアの使い方を身につけるために、全ての制作課題は映像データ化の作業を行い提出する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	この科目では、アニメーションの基礎について理解し、自分の表現として制作できる能力を身につけることを目的としていることから、授業態度（１５％）、課題提出（３５％）、課題評価点（５０％）の割合によって評価を行う。自然法則に準じて作画されているかを課題評価の主な基準とする。学生が提出した課題は、授業期間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題を添削する形で個別のフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、ソフトの使い方などについて予習を行うことが必要である。授業内容のメモとアイデアスケッチのために、筆記道具とノートを持参する。配布されたプリント資料は、ファイルなどに整理し、授業に持参する。課題提出の締め切りを守る。初回の授業で調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。予習・復習はPCルームで行うことができる。
実務経験のある教員	該当する　内容　この授業は、フリーランスのアニメーターとしてアニメーション技法によるプロモーション映像等の制作を行った実務経験のある教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	制作の前に資料を調べたり、自らの身体を動かし研究をしたりするなどの進め方で、表現したい動きのイメージを具体化する習慣を身につける。Photoshop、Aftereffectsなど、制作ソフトは繰り返し自己学習し、今後の作品制作で活用できるようにする。アニメーションを含む多彩な作品鑑賞を通じ、これから表現したいテーマの発想を広げる。
オフィスアワー	毎週木曜日5限（14号館6階14604研究室）

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス	金叡媛
第２回	ロトスコープ、素材撮影、データ取込	金叡媛
第３回	ロトスコープ、プリントアウト、トレース	金叡媛
第４回	ロトスコープ、スキャン、ムービー化	金叡媛
第５回	「歩き」作画制作	金叡媛
第６回	「歩き」ムービー化	金叡媛
第７回	「顔の振り向き」作画制作	金叡媛
第８回	「顔の振り向き」ムービー化	金叡媛
第９回	「手を振る」作画制作	金叡媛
第１０回	「手を振る」ムービー化	金叡媛

第１１回	「その場でジャンプ」作画制作	金叡媛
第１２回	「その場でジャンプ」ムービー化	金叡媛
第１３回	フリップブック、アイデア構想、作画	金叡媛
第１４回	フリップブック、スキャン、彩色	金叡媛
第１５回	フリップブック、印刷ファイル作成、カッティング	金叡媛
第１６回	単位認定試験	金叡媛

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション作画演習A			担当者	兼高　里圭、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年／ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他2年			ナンバリング	AN-AN-2-208		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「アニメーションの原理を理解し、基本的な動きを作画できる」ことをテーマにし、自分が考えた動きのアイデアを映像化できるようになる。学生が、アニメーション作品の制作に必要な原画や中割り動画の作画技術を身につけ、自然な動きを表現できるようになり、「自主制作映像の制作ができるようになる」ことを到達目標とする。
授業概要	動画の基礎に加えて、タイムシートに対応した作画を学ぶ。人体の動きの表現に重点を置いた課題制作を通じ、人体デッッサンの重要性とタイミングの工夫を学ぶ。さらに自らの人体を動かし、仕草と演技研究をしながらアニメーションキャラクターの内面表現に注目した制作ができるようになる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、アニメーションの基礎について理解し、自分の表現として制作できる能力を身につけることを目的としていることから、課題提出（60%）、最終課題評価点（40%）の割合によって評価を行う。アニメーションにふさわしい線で自然な動きの作画ができているかを評価の主な基準とする。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業期間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、作画の予習を行うことが必要である。授業内容のメモとアイデアスケッチのために、筆記用具とノートを持参する。配布されたプリント資料は、ファイルなどに整理し、授業に持参する。課題提出の締め切りを守る。初回の授業で調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。予習・復習は作画室、PC室で行うことができる。
実務経験のある教員	該当する　内容　現在も様々なTVアニメーションの作画監督を実践している教員が担当している。
事前学習・事後学習とその時間	物理法則に準じた重さや速度の表現を重視し、課題制作を行う。自主制作作品の参考資料を見つけることを重視し、様々な芸術表現に触れる。授業外の時間にも、学校の機材や用紙を使って自由に学習する。Photoshop、Aftereffect、Clip Studio Paintなど、制作ソフトは繰り返し自己学習することで、今後の作品制作で有効に活用できるようにする。TVや、インターネット及び展覧会での作品鑑賞で、様々な芸術表現に関心を持ち、表現したい作品への構想を深める。予習２時間、復習２時間を必要とする。
オフィスアワー	毎週月曜日４時限目の授業後をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	アニメ制作の作画の概要	前嶋英輝・兼高里圭
第２回	トレスのポイント	前嶋英輝・兼高里圭
第３回	色トレスの実践	前嶋英輝・兼高里圭
第４回	なびき（送り）	前嶋英輝・兼高里圭
第５回	なびきの編集	前嶋英輝・兼高里圭
第６回	目パチ、口パク	前嶋英輝・兼高里圭
第７回	目パチ、口パクの編集	前嶋英輝・兼高里圭
第８回	歩き	前嶋英輝・兼高里圭
第９回	歩きの編集	前嶋英輝・兼高里圭
第１０回	走り	前嶋英輝・兼高里圭
第１１回	走りの編集	前嶋英輝・兼高里圭
第１２回	振り向き	前嶋英輝・兼高里圭

第１３回	振り向きの編集	前嶋英輝・兼高里圭	
第１４回	実践動画	前嶋英輝・兼高里圭	
第１５回	実践動画の編集	前嶋英輝・兼高里圭	
第１６回	最終課題提出	前嶋英輝・兼高里圭	
教科書			
教・書籍名１	授業内で配布する原画などの資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション作画演習B			担当者	兼高　里圭、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-209		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「アニメーションの原理を理解し、応用する」ことをテーマにし、自分が考えた動きのアイデアを映像化できるようになる。学生が、アニメーション作品の制作に必要な原画や中割り動画の作画技術を身につけ、表現の新たな発見ができるようになり、「自主制作映像の制作ができるようになる」ことを到達目標とする。
授業概要	動画の基礎に加えて、キャラクターデザイン作成や原画作成を学ぶ。実践的作画に重点を置いた課題制作を通じ、背景やキャラクターデザインの重要性を学ぶ。さらに自らの人体を動かし、仕草と演技研究をしながらアニメーションキャラクターの内面表現に注目した制作ができるようになる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、アニメーションの基礎について理解し、自分の表現として制作できる能力を身につけることを目的としていることから、課題提出（60%）、最終課題評価点（40%）の割合によって評価を行う。アニメーションにふさわしい線で自然な動きの作画ができているかを評価の主な基準とする。学生が提出した課題は、授業期間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業期間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、作画の予習を行うことが必要である。授業内容のメモとアイデアスケッチのために、筆記用具とノートを持参する。配布されたプリント資料は、ファイルなどに整理し、授業に持参する。課題提出の締め切りを守る。初回の授業で調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。予習・復習は作画室、PC室で行うことができる。
実務経験のある教員	該当する　内容　現在も様々なTVアニメーションの作画監督を実践している教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	物理法則に準じた重さや速度の表現を重視し、課題制作を行う。自主制作作品の参考資料を見つけることを重視し、様々な芸術表現に触れる。授業外の時間にも、学校の機材や用紙を使って自由に学習する。Photoshop、Aftereffect、Clip Studio Paintなど、制作ソフトは繰り返し自己学習することで、今後の作品制作で有効に活用できるようにする。TVや、インターネット及び展覧会での作品鑑賞で、様々な芸術表現に関心を持ち、表現したい作品への構想を深める。予習２時間、復習２時間を必要とする。
オフィスアワー	毎週月曜日４時限目の授業後をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	原画とタイムシート	前嶋英輝・兼高里圭
第２回	模写の学習方法	前嶋英輝・兼高里圭
第３回	キャラクターの模写	前嶋英輝・兼高里圭
第４回	背景の描き方（パース）	前嶋英輝・兼高里圭
第５回	背景の実践的描画	前嶋英輝・兼高里圭
第６回	特殊撮影の説明	前嶋英輝・兼高里圭
第７回	キャラクターについて	前嶋英輝・兼高里圭
第８回	キャラクターデザイン	前嶋英輝・兼高里圭
第９回	アニメの絵コンテ	前嶋英輝・兼高里圭
第１０回	絵コンテ作成	前嶋英輝・兼高里圭
第１１回	原画作成の説明	前嶋英輝・兼高里圭

第１２回	実践的原画について	前嶋英輝・兼高里圭	
第１３回	実践原画のアイデア	前嶋英輝・兼高里圭	
第１４回	実践原画の注意点	前嶋英輝・兼高里圭	
第１５回	実践原画の制作	前嶋英輝・兼高里圭	
第１６回	課題提出	前嶋英輝・兼高里圭	
教科書			
教・書籍名１	授業内で配布する原画などの資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション制作演習A			担当者	今村　俊介、山本　敦之、清水　光二、平見　勇雄、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-210		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	アニメーション制作演習Bと連携する形で1年間の授業期間中、2D平面アニメーション制作に取り組む。授業に参加するすべての学生がアニメーション制作に興味を持ち、個別の作品制作計画を完遂することで達成感を感じることを授業の一つのねらいとして設定したい。ショートアニメーション制作における物語の発想法を授業課題を通して学生と共有し、受講者の3・4年次作品制作が充実することを授業の到達目標とする。
授業概要	学生はアニメーション制作を始める前にPC・ペンタブレット、水彩絵具、コマ撮り素材などを使ってイメージボード制作研究を行う。画像制作を通してアニメーション制作ツールと画材の活用方法を模索した後、映像のモチーフまたは登場人物が一つのフェーズから次のフェーズに移行・変化する内容のアニメーションを自由発想し、アニメーション制作演習A・B（計32回）の授業で制作する。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	この科目では課題制作過程と提出物の完成度などを指標に授業態度（15%）課題提出（35%）課題評価点（50%）の割合によって評価する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題はユニバーサルパスポートを活用する形でフィードバックし、制作過程を見返り次の課題制作に役立てることを目標とする。
履修条件・注意事項	14号館14301教室
実務経験のある教員	該当する　内容：この授業は、フリーランスのアニメーターとしてアニメーション技法によるプロモーション映像等の制作を行った実務経験のある教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	授業の事前学習・事後学習として放課後の時間帯に課題を制作する必要があり、14号館3F140301教室の他に2号館2F221教室を利用することが可能。
オフィスアワー	木曜日5限・14号館14301教室

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第２回	「パスアニメーション」ツールの使い方	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第３回	「パスアニメーション」線画トレース	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第４回	「コマ撮りアニメーション」ツールの使い方	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第５回	「コマ撮りアニメーション」平面素材撮影	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第６回	「ドローイングアニメーション」水彩絵具	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第７回	画像素材編集	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第８回	ラフイメージ制作「感情・状態がAからBに変化する」	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄

第９回	テキスト作成	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１０回	ムードボード制作	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１１回	レイアウトから伝わる情報の例／イメージボードサムネイル制作	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１２回	イメージボードサムネイル撮影・スキャン、トレース	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１３回	イメージボード制作と画像処理ツールの使い方	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１４回	ラフコンテ制作(1)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１５回	ラフコンテ制作(2)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１６回	ラフコンテ制作(3)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	After Effects for アニメーション	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ新社
参・著者名１	大平幸輝	参・ＩＳＢＮ１	978-4-86100-699-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション制作演習B			担当者	今村　俊介、山本　敦之、清水　光二、平見　勇雄、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-211		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	アニメーション制作演習Aと連携する形で1年間の授業期間中、学生が選択した画材で2D平面アニメーションを制作する。授業に参加するすべての学生が積極的にアニメーション制作に取り組むことと、個別またはグループワークによる作品制作を通して受講者が自身の研究分野にさらに関心を持つことを授業のねらいとして設定する。アニメーション制作方法の基礎を学生と共有し、受講者の3・4年次作品制作が充実することを授業の到達目標とする。
授業概要	学生が制作したラフコンテを基にアニメーション制作を始める。必要に応じて個人制作・グループワークで制作することとし、教師が積極的に作品制作の過程に参加して制作スケジュール管理と指導を行う予定。学期末の作品完成を目標にアニメーション素材を制作し、デジタル画像処理ツールを活用して作品完成度を高くする。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	この科目では課題制作過程と提出物の完成度などを指標に授業態度（15%）課題提出（35%）課題評価点（50%）の割合によって評価する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題はユニバーサルパスポートを活用する形でフィードバックし、制作過程を見返り次の課題制作に役立てることを目標とする。
履修条件・注意事項	14号館14301教室
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この授業は、フリーランスのアニメーターとしてアニメーション技法によるプロモーション映像等の制作を行った実務経験のある教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	授業の事前学習・事後学習として放課後の時間帯に課題を制作する必要があり、14号館3F140301教室の他に2号館2F221教室を利用することが可能。
オフィスアワー	木曜日5限・14号館14301教室

	授業計画	担当者
第１回	ラフコンテ添削	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第２回	絵コンテ制作	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第３回	レイアウト制作	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第４回	アニメーション素材制作(1)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第５回	アニメーション素材制作(2)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第６回	アニメーション作画・撮影(1)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第７回	アニメーション作画・撮影(2)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第８回	アニメーション作画・撮影(3)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄

第９回	アニメーション作画・撮影(4)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１０回	アニメーション作画・撮影(5)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１１回	アニメーション作画・撮影(6)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１２回	映像編集(1)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１３回	映像編集(2)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１４回	映像編集(3)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１５回	映像編集(4)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１６回	単位認定試験	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	After Effects for アニメーション	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ新社
参・著者名１	大平幸輝	参・ＩＳＢＮ１	978-4-86100-699-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション企画Ａ			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-212		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「実践的なアニメーション企画」をテーマとし、プロデューサーからのアニメーション制作の現場で行われている企画から社会への提供、その後の対応までを実践を通して、応用的な技術を使える能力を身につける。そのために必要な知識をアニメーションに関する概要として学修する。またSNSの利用方法を学生が検討し演習を行うことで、プロジェクトを企画できる能力を身につける事が出来る。自分が表現したい内容を盛り込んだプロジェクト企画を完成させる事が出来る。。
授業概要	アニメーションプロジェクト企画の制作を行う。企画書を作り、イメージボードを描き、絵コンテを作成する。そのために必要なアニメーションに関する情報について概論の形で学修する。 具体的には、キャラクター企画を考案し、コンテンツを作成する。またネット上での展開やキャラクターの個性を作っていくための企画について学ぶ。最終的に自主制作作品をプロデュースすることができるための知識と技術を身につけることを目標にする。
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	プロデュースの基礎を固める授業であるため、授業の前後以外にも毎日研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、アニメーションに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。授業に必要になるキャラクター、その他資料になるものは、予習の中で授業前に各自用意をし、また復習時間をもち完成度を高めた企画を完成することが必要である。予習復習に各２時間程度が必要となる。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	プロデュースの基礎を固める授業であるため、授業の前後以外にも毎日研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、アニメーションに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。授業に必要になるキャラクター、その他資料になるものは、予習の中で授業前に各自用意をし、また復習時間をもち完成度を高めた企画を完成することが必要である。予習復習に各２時間程度が必要となる。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	アニメーション概論	井上

第２回	企画の考え方	井上
第３回	ビジネス構造	井上
第４回	製作体制	井上
第５回	構成、イメージボード	井上
第６回	シナリオ、設定	井上
第７回	絵コンテ	井上
第８回	作画	井上
第９回	仕上げ、美術	井上
第１０回	撮影、CGI	井上
第１１回	音響、音楽	井上
第１２回	プリプロ、納品	井上
第１３回	販売、プロモーション	井上
第１４回	SNSへの対応	井上
第１５回	コンテンツノの利用と全体まとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	アニメプロデューサーになろう! アニメ「製作(ビジネス)」の仕組み	教・出版社名１	星海社
教・著者名１	福原 慶匡（著）	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 406511439X
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション企画Ｂ			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-213		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「実践的なアニメーション企画」をテーマとし、アニメーション制作の現場で行われている企画から社会への提供、その後の対応までを実践を通して、応用的な技術を使える能力を身につける。そのために必要な知識をアニメーションに関する概要として学修する。プロジェクトを企画できる能力を身につける事が出来る。自分が表現したい内容を盛り込んだプロジェクト企画を完成させる事が出来る。
授業概要	アニメーションプロジェクト企画の制作を行う。企画書を作り、スタッフ編成から始まり構成やイメージボードを描き、絵コンテを作成する。そのために必要なアニメーション制作に関する情報について概論の形で学修する。 具体的には、企画を考案し、コンテンツを作成する。またネット上での展開やキャラクターの個性を作っていくための企画について学ぶ。最終的に自主制作作品をプロデュースすることができるための知識と技術を身につけることを目標にする。
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	プロデュースの基礎を固める授業であるため、授業の前後以外にも毎日研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、アニメーションに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。授業に必要になるキャラクター、その他資料になるものは、予習の中で授業前に各自用意をし、また復習時間をもち完成度を高めた企画を完成することが必要である。予習復習に各２時間程度が必要となる。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	プロデュースの基礎を固める授業であるため、授業の前後以外にも毎日研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、アニメーションに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。授業に必要になるキャラクター、その他資料になるものは、予習の中で授業前に各自用意をし、また復習時間をもち完成度を高めた企画を完成することが必要である。予習復習に各２時間程度が必要となる。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	アニメーション概論	井上
第２回	企画の作り方	井上

第３回	ビジネス構造の構築	井上
第４回	製作体制の構築	井上
第５回	構成、イメージボードの発注	井上
第６回	シナリオ、設定の発注	井上
第７回	絵コンテの発注	井上
第８回	作画スタッフ編成	井上
第９回	仕上げ・美術スタッフ編成	井上
第１０回	撮影・CGIスタッフ編成	井上
第１１回	音響スタッフ編成、音楽発注	井上
第１２回	プリプロ発注、納品	井上
第１３回	販売体制構築	井上
第１４回	プロモーション体制構築	井上
第１５回	コンテンツの利用と全体まとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	アニメを仕事に! トリガー流アニメ制作進行読本	教・出版社名１	星海社
教・著者名１	舛本 和也 (著)	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 : 4061385496
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション制作基礎Ａ			担当者	今村　俊介、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-214		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限 水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	デジタル作画ツールCLIPSTUDIO EXを活用し、3～4人のグループワークで1分以内のアニメーション映像を制作する。絵コンテの描き方と2Dデジタルアニメーション制作における基礎知識を習得することを授業の到達目標とする。
授業概要	学生はAdobe After Effectsと写真素材を活用した映像編集課題を通してツールの使い方と映像の編集効果を体験し、与えられるテーマに沿って"1 cut animation"を制作する。複数の受講者が制作したアニメーション映像を一つなぎの映像として編集し、グループワーク作品として完成させる。作品制作時、主に使うツールとしているCLIP STUDIO EX、Adobe After Effectsの他に、作品データの共有・管理のためGoogle Driveなどのデータストレージを活用する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では課題制作過程と提出物の完成度などを指標に課題提出（60%）、最終課題（40%）の割合によって評価する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題はユニバーサルパスポートを活用する形でフィードバックし、制作過程を見返り次の課題制作に役立てることを目標とする。
履修条件・注意事項	14号館14301教室
実務経験のある教員	該当する　内容　この授業は、アニメーション技法による映像制作の授業担当を行った実務経験のある教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	授業の事前学習・事後学習として放課後の時間帯に課題を制作する必要があり、14号館3F140301教室の他に2号館2F221教室を利用することが可能。
オフィスアワー	月曜日5限研究室

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス	前嶋英輝
第２回	「クレショフ効果」映像編集・コメント作成	前嶋英輝
第３回	アニメーションレイアウト制作	前嶋英輝
第４回	グループワーク課題・ツールの使い方説明	前嶋英輝
第５回	Vコンテ制作	前嶋英輝
第６回	Vコンテ修正	前嶋英輝
第７回	Vコンテ課題コメント・作業分担	前嶋英輝
第８回	アニメーションレイアウト修正	前嶋英輝
第９回	アニメーション作画	前嶋英輝
第１０回	アニメーション作画修正	前嶋英輝
第１１回	アニメーション着彩	前嶋英輝
第１２回	アニメーション背景制作	前嶋英輝
第１３回	アニメーション書き出し	前嶋英輝
第１４回	タイトル・クレジット制作	前嶋英輝
第１５回	全体編集・映像書き出し	前嶋英輝

第１６回	最終課題提出		前嶋英輝
教科書			
教・書籍名１	ショートアニメーション　メイキング講座　吉邉尚希ｗｏｒｋｓ　ｂｙ　ＣＬＩＰ ＳＴＵＤＩＯ　ＰＡＩＮＴ　ＰＲＯ／ＥＸ　［増補改訂版］	教・出版社名１	技術評論社
教・著者名１	吉邉尚希	教・ＩＳＢＮ１	9784297125493
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション制作基礎Ｂ			担当者	今村　俊介、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-215		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限 水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	デジタル作画ツールCLIPSTUDIO EXを活用し、3～4人のグループワークで1分以内のアニメーション映像を制作する。絵コンテの描き方と2Dデジタルアニメーション制作における基礎知識を習得することを授業の到達目標とする。
授業概要	学生はAdobe After Effectsと写真素材を活用した映像編集課題を通してツールの使い方と映像の編集効果を体験し、与えられるテーマに沿って"1 cut animation"を制作する。複数の受講者が制作したアニメーション映像を一つなぎの映像として編集し、グループワーク作品として完成させる。作品制作時、主に使うツールとしているCLIP STUDIO EX、Adobe After Effectsの他に、作品データの共有・管理のためGoogle Driveなどのデータストレージを活用する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では課題制作過程と提出物の完成度などを指標に課題提出（60%）、最終課題（40%）の割合によって評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題はユニバーサルパスポートを活用する形でフィードバックし、制作過程を見返り次の課題制作に役立てることを目標とする。
履修条件・注意事項	14号館14301教室
実務経験のある教員	該当する　内容　この授業は、アニメーション技法による映像制作の授業担当を行った実務経験のある教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	授業の事前学習・事後学習として放課後の時間帯に課題を制作する必要があり、14号館3F140301教室の他に2号館2F221教室を利用することが可能。
オフィスアワー	月曜日5限・研究室

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス	前嶋英輝
第２回	「クレショフ効果」映像編集・コメント作成	前嶋英輝
第３回	アニメーションレイアウト制作	前嶋英輝
第４回	グループワーク課題・ツールの使い方説明	前嶋英輝
第５回	Vコンテ制作	前嶋英輝
第６回	Vコンテ修正	前嶋英輝
第７回	Vコンテ課題コメント・作業分担	前嶋英輝
第８回	アニメーションレイアウト修正	前嶋英輝
第９回	アニメーション作画	前嶋英輝
第１０回	アニメーション作画修正	前嶋英輝
第１１回	アニメーション着彩	前嶋英輝
第１２回	アニメーション背景制作	前嶋英輝
第１３回	アニメーション書き出し	前嶋英輝
第１４回	タイトル・クレジット制作	前嶋英輝
第１５回	全体編集・映像書き出し	前嶋英輝
第１６回	最終課題提出	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	ショートアニメーション　メイキング講座　吉邉尚希ｗｏｒｋｓ　ｂｙ　ＣＬＩＰ ＳＴＵＤＩＯ　ＰＡＩＮＴ　ＰＲＯ／ＥＸ　［増補改訂版］	教・出版社名１	技術評論社
教・著者名１	吉邉尚希	教・ＩＳＢＮ１	9784297125493
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	シナリオ講読Ａ			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-216		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	アニメーションにおいても他の映像表現と同様に、企画からシナリオ作りまでの、映像になる前の言語段階が極めて重要である。というのも、その段階で映像作品全体の基本設計がなされてしまうからである。 この科目のテーマは、映像作品制作におけるそうした言語段階での準備とその最終形であるシナリオを、アニメーションの制作過程全体の中で理解することである。 シナリオとは登場人物の感情の流れやそれに基づく行動を時間軸に沿って描いたものだが、そこには作り手の物語構成上の工夫が必ず潜んでいる。学生は物語の誕生以来培われてきたそうした物語の構成形式を学ぶことによって、映像作品をより深く理解することができるようになる。さらには、作中の様々な人物の生き様を追体験することにより、他者への共感力や理解力をより深めることも期待出来よう。
授業概要	様々なシナリオ作品を実際講読することによって、物語の構成法を理解すると共に、そこからさらに作品のテーマや制作意図などを考えてみよう。作品を読んで構成要素を取り出し、それを時系列に沿って並べながら物語の構造を捉えることは、この授業に参加した学生一人ひとりに課せられた課題である。学生はこうした物語構成に基づいた作品理解についてそれぞれプレゼンテーションを行い、その後は相互に自分の意見を述べあう。そこで得られた気付きや反省を基に、シナリオについての理解をさらに深めることになる。 シナリオは柱、ト書き、セリフの3つから成り立っており、小説とは書き方がかなり異なっている。そのため、シナリオの構成と並行して、シナリオの具体的な書き方についても学習することになる。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	この授業では、授業への積極的な参加態度（40%）、プレゼンテーション（30%）、レポート提出（30%）などを合計し、総合的に評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	レポートの提出や課題の発表がなされない場合は、評価不能となり単位認定ができないので特に注意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レポートの提出や課題発表のためには、当然のことながら予習・復習が必須である。予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス／シナリオとは何か	清水光二
第２回	シナリオと小説の違い	清水光二
第３回	シナリオの書き方	清水光二
第４回	シナリオの構成	清水光二
第５回	３幕構成の仕組み	清水光二
第６回	短編アニメのシナリオを読む	清水光二
第７回	短編アニメの構成の確認	清水光二
第８回	中編アニメのシナリオを読む	清水光二
第９回	中編アニメのシナリオを分析	清水光二
第１０回	中編アニメの構成の確認	清水光二
第１１回	長編アニメのシナリオを読む	清水光二
第１２回	長編アニメのシナリオを分析	清水光二

第１３回	長編アニメのハコ書き化	清水光二	
第１４回	長編アニメのシナリオの構成を考える	清水光二	
第１５回	主人公の葛藤の流れを追う	清水光二	
第１６回	レポート試験	清水光二	
教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜プリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメ・シナリオ入門	参・出版社名１	映人社
参・著者名１	鳥海　尽三	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87100-215-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	シナリオ講読Ｂ			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-217		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	アニメーションにおいても他の映像表現と同様に、企画からシナリオ作りまでの、映像になる前の言語段階が極めて重要である。というのも、その段階で映像作品全体の基本設計がなされてしまうからである。 この科目のテーマは、映像作品制作におけるそうした言語段階での準備とその最終形であるシナリオを、アニメーションの制作過程全体の中で理解することである。 シナリオとは登場人物の感情の流れやそれに基づく行動を時間軸に沿って描いたものだが、そこには作り手の物語構成上の工夫が必ず潜んでいる。学生は物語の誕生以来培われてきたそうした物語の構成形式を学ぶことによって、映像作品をより深く理解することができるようになる。さらには、作中の様々な人物の生き様を追体験することにより、他者への共感力や理解力をより深めることも期待出来よう。
授業概要	様々なシナリオ作品を実際講読することによって、物語の構成法を理解すると共に、そこからさらに作品のテーマや制作意図などを考えてみよう。作品を読んで構成要素を取り出し、それを時系列に沿って並べながら物語の構造を捉えることは、この授業に参加した学生一人ひとりに課せられた課題である。学生はこうした物語構成に基づいた作品理解についてそれぞれプレゼンテーションを行い、その後は相互に自分の意見を述べあう。そこで得られた気付きや反省を基に、シナリオについての理解をさらに深めることになる。 シナリオは柱、ト書き、セリフの3つから成り立っており、小説とは書き方がかなり異なっている。そのため、シナリオの構成と並行して、シナリオの具体的な書き方についても学習することになる。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	この授業では、授業への積極的な参加態度（40%）、プレゼンテーション（30%）、レポート提出（30%）などを合計し、総合的に評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	レポートの提出や課題の発表がなされない場合は、評価不能となり単位認定ができないので特に注意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レポートの提出や課題発表のためには、当然のことながら予習・復習が必須である。予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	シナリオの構成	清水光二
第２回	作品（映像）のテーマ	清水光二
第３回	シナリオの表現方法	清水光二
第４回	クライマックスについて	清水光二
第５回	キャラクターの重要性について	清水光二
第６回	短編アニメのシナリオを読む	清水光二
第７回	短編アニメの構成の確認	清水光二
第８回	中編アニメのシナリオを読む	清水光二
第９回	中編アニメのシナリオを分析	清水光二
第１０回	中編アニメの構成の確認	清水光二
第１１回	中編アニメの企画	清水光二

第１２回	中編アニメの構想	清水光二	
第１３回	中編アニメのハコ書き化	清水光二	
第１４回	中編アニメのシナリオを書く	清水光二	
第１５回	主人公の葛藤の流れを追う	清水光二	
第１６回	レポート試験	清水光二	
教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜プリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメ・シナリオ入門	参・出版社名１	映人社
参・著者名１	鳥海　尽三	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87100-215-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	シナリオ制作Ａ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-218

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	アニメーションにおいても他の映像表現と同様に、企画からシナリオ作りまでの、映像になる前の言語段階が極めて重要である。というのも、その段階で映像作品全体の基本設計がなされてしまうからである。 この科目のテーマは、映像作品制作におけるそうした言語段階での準備とその最終形であるシナリオを描く技法を理解することである。 シナリオとは登場人物の感情の流れやそれに基づく行動を時間軸に沿って描いたものだが、そこには作り手の物語構成上の工夫が必ず潜んでいる。学生は物語の誕生以来培われてきたそうした物語の構成形式を学ぶことによって、映像作品をより深く理解することができるようになる。さらには、作中の様々な人物の生き様を追体験することにより、他者への共感力や理解力をより深めることも期待出来よう。
授業概要	３幕ものの構成を改めて学習した上で、実際にシナリオを書いてみる。その際、プロットとキャラクターをどう一致・連動させるかが重要になってくる。つまり、キャラクターの心の変化をストーリーの中でうまく構成する必要があるのである。短編や中編のシナリオを複数回書くことで、そのあたりのことを実践的に学ぶ。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	この授業では、授業への積極的な参加態度（40%）、プレゼンテーション（30%）、レポート提出（30%）などを合計し、総合的に評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	レポートの提出や課題の発表がなされない場合は、評価不能となり単位認定ができないので特に注意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レポートの提出や課題発表のためには、当然のことながら予習・復習が必須である。予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	３幕構成とは	清水光二
第２回	第１幕	清水光二
第３回	状況設定	清水光二
第４回	プロットポイント１	清水光二
第５回	第２幕の前半	清水光二
第６回	葛藤	清水光二
第７回	ミッドポイント	清水光二
第８回	第２幕の後半	清水光二
第９回	プロットポイント２	清水光二
第１０回	第３幕	清水光二
第１１回	クライマックス	清水光二
第１２回	解決	清水光二
第１３回	目に見えるゴール	清水光二
第１４回	目に見えないゴール	清水光二
第１５回	人物とテーマ	清水光二
第１６回	レポート試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントを配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメ・シナリオ入門	参・出版社名１	映人社
参・著者名１	鳥海　尽三	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87100-215-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	シナリオ制作Ｂ			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-219		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	アニメーションにおいても他の映像表現と同様に、企画からシナリオ作りまでの、映像になる前の言語段階が極めて重要である。というのも、その段階で映像作品全体の基本設計がなされてしまうからである。 この科目のテーマは、映像作品制作におけるそうした言語段階での準備とその最終形であるシナリオを描く技法を理解することである。 シナリオとは登場人物の感情の流れやそれに基づく行動を時間軸に沿って描いたものだが、そこには作り手の物語構成上の工夫が必ず潜んでいる。学生は物語の誕生以来培われてきたそうした物語の構成形式を学ぶことによって、映像作品をより深く理解することができるようになる。さらには、作中の様々な人物の生き様を追体験することにより、他者への共感力や理解力をより深めることも期待出来よう。
授業概要	３幕ものの構成を改めて学習した上で、実際にシナリオを書いてみる。その際、プロットとキャラクターをどう一致・連動させるかが重要になってくる。つまり、キャラクターの心の変化をストーリーの中でうまく構成する必要があるのである。短編や中編のシナリオを複数回書くことで、そのあたりのことを実践的に学ぶ。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	この授業では、授業への積極的な参加態度（40%）、プレゼンテーション（30%）、レポート提出（30%）などを合計し、総合的に評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	レポートの提出や課題の発表がなされない場合は、評価不能となり単位認定ができないので特に注意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レポートの提出や課題発表のためには、当然のことながら予習・復習が必須である。予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施

授業計画		担当者
第１回	３幕構成とは	清水光二
第２回	第１幕の特徴	清水光二
第３回	登場人物の紹介	清水光二
第４回	舞台設定の紹介	清水光二
第５回	プロットポイント１	清水光二
第６回	第２幕の特徴	清水光二
第７回	第２幕の前半	清水光二
第８回	葛藤・対立	清水光二
第９回	ミッドポイント	清水光二
第１０回	第２幕の後半	清水光二
第１１回	プロットポイント２	清水光二
第１２回	第３幕の特徴	清水光二
第１３回	クライマックス	清水光二
第１４回	解決	清水光二
第１５回	エンディング	清水光二
第１６回	レポート試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントを配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメ・シナリオ入門	参・出版社名１	映人社
参・著者名１	鳥海　尽三	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87100-215-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	イラスト基礎Ａ			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-220		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	どんなに素晴らしイメージ、描きたい世界、人物があっても技術の壁に阻まれては作品として具現化することはできない。 そこから、本講のテーマは「技術的制約からの解放」であり、それを基礎演習の積み重ねによって実現することが目標となる。 これによって学生は曖昧なイメージを技術言語で具体的に平面上に再現できる。
授業概要	総合的な表現力の向上を目指す。個々の持つ方向性に合わせた指導と、基礎画力獲得の両立を目的とし、以下の三つの柱で授業う。 1）講義による基礎知識の習得 2）自由課題作品への講評による弱点指導 3）課題実習による基礎画力の向上
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、アートワークについて知識及び技術を身につけることを目的としていることから、 作品制作を通して修得した能力を計ることを目的として、２回に一度作品提出（60%）を行い、最終試験として自主制作作品提出（40%）を行う
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	一コマおきに講評と添削指導を行う 期末課題については15回目に講評する。
履修条件・注意事項	自由課題作品は常時描き続けていることが前提。受講ごとに随時提出のこと。 課題実習はこちらから指示した期間内の達成を求める。 授業用twitter、Pinterestアカウントの作成が必要。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	予習復習として毎日1時間、推奨クリエーターのSNS閲覧、有用な資料サイトPinterestの閲覧。
オフィスアワー	水曜5限 （2号館 267研究室）をオフィスアワーとする。 Teamsでも常時質問相談を受け付けている。

	授業計画	担当者
第１回	授業方針の説明 課題解説	佐々木 洋
第２回	基本デッサンの方法-2(箱と平面) 課題解説-講評	佐々木 洋
第３回	基本デッサンの方法-3(形状転写) 課題解説-講評	佐々木 洋
第４回	基本デッサンの方法-2(明暗構成) 課題解説-講評	佐々木 洋
第５回	人体解剖-概説 課題解説-講評	佐々木 洋

第６回	人体解剖-尻 課題解説-講評	佐々木 洋
第７回	人体解剖-骨盤 課題解説-講評	佐々木 洋
第８回	人体解剖-脚 課題解説-講評	佐々木 洋
第９回	人体解剖-腕の運動システム 課題解説-講評	佐々木 洋
第１０回	人体解剖-胴 課題解説-講評	佐々木 洋
第１１回	人体解剖-頭部-1 骨格 課題解説-講評	佐々木 洋
第１２回	人体解剖-頭部-2 表情筋 課題解説-講評	佐々木 洋
第１３回	人体解剖-顔面の流れ 課題解説-講評	佐々木 洋
第１４回	人体解剖-手/足の学び方 期末課題解説-講評	佐々木 洋
第１５回	期末総評 期末課題-講評	佐々木 洋
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	イラスト基礎Ｂ	担当者	佐々木　洋
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年／ 2021～ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	AN-AN-1-221

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	どんなに素晴らしイメージ、描きたい世界、人物があっても技術の壁に阻まれては作品として具現化することはできない。 そこから、本講のテーマは「技術的制約からの解放」であり、それを基礎演習の積み重ねによって実現することが目標となる。 これによって学生は曖昧なイメージを技術言語で具体的に平面上に再現できる。
授業概要	総合的な表現力の向上を目指す。個々の持つ方向性に合わせた指導と、基礎画力獲得の両立を目的とし、以下の三つの柱で授業う。 1）講義による基礎知識の習得 2）自由課題作品への講評による弱点指導 3）課題実習による基礎画力の向上
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、アートワークについて知識及び技術を身につけることを目的としていることから、 作品制作を通して修得した能力を計ることを目的として、２回に一度作品提出（60%）を行い、最終試験として自主制作作品提出（40%）を行う
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	一コマおきに講評と添削指導を行う 期末課題については15回目に講評する。
履修条件・注意事項	自由課題作品は常時描き続けていることが前提。受講ごとに随時提出のこと。 課題実習はこちらから指示した期間内の達成を求める。 授業用twitter、Pinterestアカウントの作成が必要。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	予習復習として毎日1時間、推奨クリエーターのSNS閲覧、有用な資料サイトPinterestの閲覧。
オフィスアワー	水曜5限 （2号館 267研究室）をオフィスアワーとする。 Teamsでも常時質問相談を受け付けている。

	授業計画	担当者
第１回	授業方針の説明 課題解説 明暗構成-1(重量比)	佐々木 洋
第２回	明暗構成-2(方向の明示) 課題解説-講評	佐々木 洋
第３回	明暗構成-3(複雑化) 課題解説-講評	佐々木 洋
第４回	色彩構成-1 明暗構成との連結	佐々木 洋

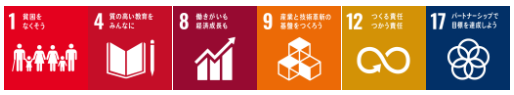
	課題解説-講評	
第５回	色彩構成-2 トーン/PCCSによる構成 課題解説-講評	佐々木 洋
第６回	色彩構成-3 構成模写 課題解説-講評	佐々木 洋
第７回	遠近法-1 遠近法の限界	佐々木 洋
第８回	遠近法-2 現実的な運用(クリスタ)	佐々木 洋
第９回	アイレベル	佐々木 洋
第１０回	高低差の配置 課題解説-講評	佐々木 洋
第１１回	広い部屋/狭い部屋 課題解説-講評	佐々木 洋
第１２回	イマジナリライン 課題解説-講評	佐々木 洋
第１３回	キャラの絡み合い 期末課題提示 課題解説-講評	佐々木 洋
第１４回	各種コンテスト紹介 コンテスト・メイクについて	佐々木 洋
第１５回	期末総評 期末課題-講評	佐々木 洋
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	イラスト演習Ａ （Aクラス）	担当者	佐々木　洋
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年／ 2020年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	AN-AN-2-222

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう 
到達目標	基礎の確認と技術の拡充を得ることをテーマとし、 学生はイラスト/キャラクターデザインに関わる実用的な技術を学び、運用できるようになる。 様々な作家の作品を参考にして自らの制作目標を確認し、自分にあった作風を知ることを到達目標とする。
授業概要	毎週の課題と講評によって成長の確認と、学生自身の目標の明確化を目指す。 幅広い表現の可能性を資料画像で具体的に示し、その技術構造の解説を行う。 技術理解に基づいた作品課題を続けることで学生は確信を持って創作を行うことができるようになる。 体系づけられた知見と課題により、学生は目指す表現のワークフローを構築することが出来る。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、基礎の確認と応用展開を目的としていることから、 毎週提出の課題作品(60%)期末課題作品(40%)によって能力の向上を評価する。 評価のための課題については次回授業で講評によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業でコメントすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	演習課題については、毎週提出となる。 示されたテーマに基づき常時制作を続ける必要がある。
実務経験のある教員	該当する　内容　1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、東洋美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	示されたテーマに沿っての作品制作が必要(２時間程度)である。 SNSやPintarestで資料収集することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上でも随時質問相談を受け付けている。

授業計画		担当者
第１回	基本デッサンの確認	佐々木洋
第２回	人体理解の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第３回	空間描写の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第４回	色彩理解の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第５回	遠近法の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第６回	面処理の確認 課題解説-講評	佐々木洋
	自然物処理の確認-1	

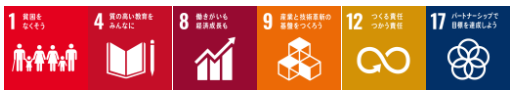
第７回	全体を捉える 課題解説-講評	佐々木洋
第８回	自然物処理の確認-2 細部の処理 課題解説-講評	佐々木洋
第９回	室内構造理解の確認-1(家屋-1) 外観 課題解説-講評	佐々木洋
第１０回	室内構造理解の確認-2(家屋-2) 内観 課題解説-講評	佐々木洋
第１１回	室内構造理解の確認-3(家具) 課題解説-講評	佐々木洋
第１２回	明暗構成の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第１３回	色彩構成の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第１４回	期末課題提示 課題解説-講評	佐々木洋
第１５回	期末総評	佐々木洋
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	イラスト演習Ａ （Bクラス）	担当者	佐々木　洋
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年／ 2020年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	AN-AN-2-222

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう 
到達目標	基礎の確認と技術の拡充を得ることをテーマとし、 学生はイラスト/キャラクターデザインに関わる実用的な技術を学び、運用できるようになる。 様々な作家の作品を参考にして自らの制作目標を確認し、自分にあった作風を知ることを到達目標とする。
授業概要	毎週の課題と講評によって成長の確認と、学生自身の目標の明確化を目指す。 幅広い表現の可能性を資料画像で具体的に示し、その技術構造の解説を行う。 技術理解に基づいた作品課題を続けることで学生は確信を持って創作を行うことができるようになる。 体系づけられた知見と課題により、学生は目指す表現のワークフローを構築することが出来る。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、基礎の確認と応用展開を目的としていることから、 毎週提出の課題作品(60%)期末課題作品(40%)によって能力の向上を評価する。 評価のための課題については次回授業で講評によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業でコメントすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	演習課題については、毎週提出となる。 示されたテーマに基づき常時制作を続ける必要がある。
実務経験のある教員	該当する　内容　1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、東洋美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	示されたテーマに沿っての作品制作が必要(２時間程度)である。 SNSやPintarestで資料収集することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上でも随時質問相談を受け付けている。

授業計画		担当者
第１回	基本デッサンの確認	佐々木洋
第２回	人体理解の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第３回	空間描写の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第４回	色彩理解の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第５回	遠近法の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第６回	面処理の確認 課題解説-講評	佐々木洋
	自然物処理の確認-1	

第７回	全体を捉える 課題解説-講評	佐々木洋
第８回	自然物処理の確認-2 細部の処理 課題解説-講評	佐々木洋
第９回	室内構造理解の確認-1(家屋-1) 外観 課題解説-講評	佐々木洋
第１０回	室内構造理解の確認-2(家屋-2) 内観 課題解説-講評	佐々木洋
第１１回	室内構造理解の確認-3(家具) 課題解説-講評	佐々木洋
第１２回	明暗構成の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第１３回	色彩構成の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第１４回	期末課題提示 課題解説-講評	佐々木洋
第１５回	期末総評	佐々木洋
第１６回		

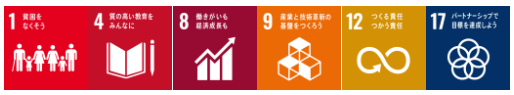
教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	イラスト演習Ｂ （Aクラス）	担当者	佐々木　洋
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-223

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう 
到達目標	基礎の確認と技術の拡充を得ることをテーマとし、 学生はイラスト/キャラクターデザインに関わる実用的な技術を学び、運用できるようになる。 様々な作家の作品を参考にして自らの制作目標を確認し、自分にあった作風を知ることができる。
授業概要	毎週の課題と講評によって成長の確認と、学生自身の目標の明確化を目指す。 幅広い表現の可能性を資料画像で具体的に示し、その技術構造の解説を行う。 学生は目指す表現のワークフローを構築することが出来る。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、基礎の確認と応用展開を目的としていることから、 毎週提出の課題作品(60%)期末課題作品(40%)によって能力の向上を評価する。 評価のための課題については次回授業で講評によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業でコメントすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	演習課題については、毎週提出となる。 示されたテーマに基づき常時制作を続ける必要がある。
実務経験のある教員	該当する　内容　1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、東洋美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	示されたテーマに沿っての作品制作が必要(２時間程度)である。 SNSやPintarestで資料収集することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上でも随時質問相談を受け付けている。

授業計画		担当者
第１回	授業方針の説明 パースペクティブ-1 透視図法の限界 課題説明	佐々木洋
第２回	パースペクティブ-2 透視図法の運用 課題説明-講評	佐々木洋
第３回	アイ・レベル 課題解説-講評	佐々木洋
第４回	ライティング 課題解説-講評	佐々木洋
第５回	バルール(色価)の運用	佐々木洋

	課題解説-講評	
第６回	反射面-1 視度角と反射率 課題解説-講評	佐々木洋
第７回	反射面-2 半透過と反射(葉) 課題解説-講評	佐々木洋
第８回	キャラクター設定-1 フォルム 課題解説-講評	佐々木洋
第９回	キャラクター設定-2 影割 課題解説-講評	佐々木洋
第１０回	キャラクター設定-3 色彩-制限されたパレットによる 課題解説-講評	佐々木洋
第１１回	キャラクター設定-4 表情集 課題解説-講評	佐々木洋
第１２回	キャラクター設定-5 性格の描き分け 課題解説-講評	佐々木洋
第１３回	期末課題提示 課題解説-講評	佐々木洋
第１４回	期末課題 進捗確認 課題解説-講評	佐々木洋
第１５回	期末総評 期末課題作品講評	佐々木洋
第１６回		

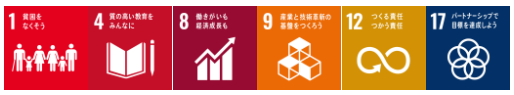
教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	イラスト演習Ｂ （Bクラス）	担当者	佐々木　洋
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-223

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう 
到達目標	基礎の確認と技術の拡充を得ることをテーマとし、 学生はイラスト/キャラクターデザインに関わる実用的な技術を学び、運用できるようになる。 様々な作家の作品を参考にして自らの制作目標を確認し、自分にあった作風を知ることができる。
授業概要	毎週の課題と講評によって成長の確認と、学生自身の目標の明確化を目指す。 幅広い表現の可能性を資料画像で具体的に示し、その技術構造の解説を行う。 学生は目指す表現のワークフローを構築することが出来る。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、基礎の確認と応用展開を目的としていることから、 毎週提出の課題作品(60%)期末課題作品(40%)によって能力の向上を評価する。 評価のための課題については次回授業で講評によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業でコメントすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	演習課題については、毎週提出となる。 示されたテーマに基づき常時制作を続ける必要がある。
実務経験のある教員	該当する　内容　1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、東洋美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	示されたテーマに沿っての作品制作が必要(２時間程度)である。 SNSやPintarestで資料収集することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上でも随時質問相談を受け付けている。

	授業計画	担当者
第１回	授業方針の説明 パースペクティブ-1 透視図法の限界 課題説明	佐々木洋
第２回	パースペクティブ-2 透視図法の運用 課題説明-講評	佐々木洋
第３回	アイ・レベル 課題解説-講評	佐々木洋
第４回	ライティング 課題解説-講評	佐々木洋
第５回	バルール(色価)の運用	佐々木洋

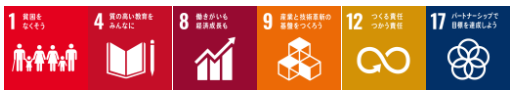
	課題解説-講評	
第６回	反射面-1 視度角と反射率 課題解説-講評	佐々木洋
第７回	反射面-2 半透過と反射(葉) 課題解説-講評	佐々木洋
第８回	キャラクター設定-1 フォルム 課題解説-講評	佐々木洋
第９回	キャラクター設定-2 影割 課題解説-講評	佐々木洋
第１０回	キャラクター設定-3 色彩-制限されたパレットによる 課題解説-講評	佐々木洋
第１１回	キャラクター設定-4 表情集 課題解説-講評	佐々木洋
第１２回	キャラクター設定-5 性格の描き分け 課題解説-講評	佐々木洋
第１３回	期末課題提示 課題解説-講評	佐々木洋
第１４回	期末課題 進捗確認 課題解説-講評	佐々木洋
第１５回	期末総評 期末課題作品講評	佐々木洋
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	イラスト実践Ａ （Aクラス）	担当者	佐々木　洋
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-224

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	実践
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう 
到達目標	イラストによる自己表現をテーマとする。 様々な主題の作品制作を経験し、表現の幅を広げ、自分に必要な表現の着地点を確保することが出来る。 内面の「曖昧な気分」を「具体的な表象」に昇華する力を身につける。 学生が独自の自己表現にたどり着くことを到達目標とする。
授業概要	隔週でテーマに沿った作品を提出し講評を行い表現の方向性を広げ確定していく。 様々な作家の作品作風を分析することによって構造的に理解する。 またイラスト制作に必要な技術を概観し、イラスト/キャラクターデザインに関わる実用的な技術を学び、運用できるようになる。 様々なコンテストに出品された受賞作などを参考にして自らの制作目標を確認する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、自己表現を確立することを目的としていることから、 隔週提出の課題作品(50%)と期末提出作品(50%)によって評価する。 評価のための課題については次回授業で講評によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業で講評/添削することでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	演習課題については、隔週提出となる。 示されたテーマに基づき常時制作を続ける必要がある。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	示されたテーマに沿っての作品制作が必要(２時間程度)である。 SNSやPintarestで資料収集することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上でも随時質問相談を受け付けている。

	授業計画	担当者
第１回	室内 光源による注目の制御 課題解説	佐々木洋
第２回	室内 ドラマティックなライティング 課題講評	佐々木洋
第３回	バストアップでの空間表現-1 枠外への誘導 課題解説	佐々木洋

第４回	バストアップでの空間表現-2 距離感の設計 課題講評	佐々木洋
第５回	パノラマ空間処理 パヴィリオンの配置 課題説明	佐々木洋
第６回	パノラマ空間処理 飛び石ライティング 課題講評	佐々木洋
第７回	ヴィネット-1 高密度空間 課題説明	佐々木洋
第８回	ヴィネット-1 ドラマの構成 課題説明	佐々木洋
第９回	ビル空間と人物-1 迷宮感 課題説明	佐々木洋
第１０回	ビル空間と人物-2 モニュメント 課題説明	佐々木洋
第１１回	イコン-1 シンメトリー 課題説明	佐々木洋
第１２回	イコン-2 シンボル 課題説明	佐々木洋
第１３回	複数人物配置-1 動線の交錯 課題説明	佐々木洋
第１４回	複数人物配置-2 会話 課題説明	佐々木洋
第１５回	期末総評 期末課題説明	佐々木洋
第１６回		

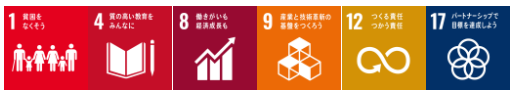
教科書			
教・書籍名１	風景画の描き方	教・出版社名１	建帛社
教・著者名１	ジャック・ハム（著), 島田照代(翻訳)	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4767985099 ISBN-13 ： 978-4767985091
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	イラスト実践Ａ （Bクラス）	担当者	佐々木　洋
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-224

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	15	授業形態	実践
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう 
到達目標	イラストによる自己表現をテーマとする。 内面の「曖昧な気分」を「具体的な表象」に昇華する力を身につける。 学生は様々な主題の作品制作を経験し、表現の幅を広げ、自分に必要な表現の着地点を確保することが出来る。 学生が独自の自己表現にたどり着くことを到達目標とする。
授業概要	隔週でテーマに沿った作品を提出し講評を行い表現の方向性を広げ確定していく。 様々な作家の作品作風を分析することによって構造的に理解する。 学制はイラスト制作に必要な技術を概観し、イラスト/キャラクターデザインに関わる実用的な技術を学び、運用できるようになる。 様々なコンテストに出品された受賞作などを参考にして自らの制作目標を確認する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、自己表現を確立することを目的としていることから、 隔週提出の課題作品(50%)と期末提出作品(50%)によって評価する。 評価のための課題については次回授業で講評によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業で講評/添削することでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	演習課題については、隔週提出となる。 示されたテーマに基づき常時制作を続ける必要がある。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	示されたテーマに沿っての作品制作が必要(２時間程度)である。 SNSやPintarestで資料収集することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上でも随時質問相談を受け付けている。

	授業計画	担当者
第１回	室内 光源による注目の制御 課題解説	佐々木洋
第２回	室内 ドラマティックなライティング 課題講評	佐々木洋
第３回	バストアップでの空間表現-1 枠外への誘導 課題解説	佐々木洋

第４回	バストアップでの空間表現-2 距離感の設計 課題講評	佐々木洋
第５回	パノラマ空間処理 パヴィリオンの配置 課題説明	佐々木洋
第６回	パノラマ空間処理 飛び石ライティング 課題講評	佐々木洋
第７回	ヴィネット-1 高密度空間 課題説明	佐々木洋
第８回	ヴィネット-1 ドラマの構成 課題説明	佐々木洋
第９回	ビル空間と人物-1 迷宮感 課題説明	佐々木洋
第１０回	ビル空間と人物-2 モニュメント 課題説明	佐々木洋
第１１回	イコン-1 シンメトリー 課題説明	佐々木洋
第１２回	イコン-2 シンボル 課題説明	佐々木洋
第１３回	複数人物配置-1 動線の交錯 課題説明	佐々木洋
第１４回	複数人物配置-2 会話 課題説明	佐々木洋
第１５回	期末総評 期末課題説明	佐々木洋
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	イラスト実践Ｂ （Aクラス）			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-225		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	実践
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	イラストによる自己表現をテーマとする。 内面の「曖昧な気分」を「具体的な表象」に昇華する力を身につける。 学生は様々な主題の作品制作を経験し、表現の幅を広げ、自分に必要な表現の着地点を確保することが出来る。 学生が独自の自己表現にたどり着くことを到達目標とする。
授業概要	隔週でテーマに沿った作品を提出し講評を行い表現の方向性を広げ確定していく。 様々な作家の作品作風を分析することによって構造的に理解する。 学制はイラスト制作に必要な技術を概観し、イラスト/キャラクターデザインに関わる実用的な技術を学び、運用できるようになる。 様々なコンテストに出品された受賞作などを参考にして自らの制作目標を確認する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、継続する作品制作によって自己表現を確立することを目的としていることから、 隔週提出の課題作品(60%)と期末自由作品(40%)によって能力の向上を評価する。 評価のための課題については隔週で講評/添削によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業でコメントすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	演習課題については、隔週提出となる。 示されたテーマに基づき常時制作を続ける必要がある。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、東洋美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	示されたテーマに沿っての作品制作が必要(２時間程度)である。 SNSやPintarestで資料収集することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上でも随時質問相談を受け付けている。

授業計画		担当者
第１回	授業方針の説明	佐々木洋
第２回	細密画	佐々木洋
第３回	コンテスト	佐々木洋
第４回	シュールレアリスム	佐々木洋
第５回	花	佐々木洋
第６回	宝飾	佐々木洋
第７回	紋章	佐々木洋
第８回	古道具	佐々木洋
第９回	小動物	佐々木洋
第１０回	カラーボード概説と作成	佐々木洋

第１１回	期末課題解説 カラーボードによるストーリー	佐々木洋
第１２回	カラーボード 全体の色感情	佐々木洋
第１３回	カラーボード レイアウト設計	佐々木洋
第１４回	カラーボード 全体の色調遷移設計	佐々木洋
第１５回	期末総評 期末課題説明	佐々木洋
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	イラスト実践Ｂ （Bクラス）			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-225		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	15	授業形態	実践
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	イラストによる自己表現をテーマとする。 内面の「曖昧な気分」を「具体的な表象」に昇華する力を身につける。 学生は様々な主題の作品制作を経験し、表現の幅を広げ、自分に必要な表現の着地点を確保することが出来る。 学生が独自の自己表現にたどり着くことを到達目標とする。
授業概要	隔週でテーマに沿った作品を提出し講評を行い表現の方向性を広げ確定していく。 様々な作家の作品作風を分析することによって構造的に理解する。 学制はイラスト制作に必要な技術を概観し、イラスト/キャラクターデザインに関わる実用的な技術を学び、運用できるようになる。 様々なコンテストに出品された受賞作などを参考にして自らの制作目標を確認する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、継続する作品制作によって自己表現を確立することを目的としていることから、 隔週提出の課題作品(60%)と期末自由作品(40%)によって能力の向上を評価する。 評価のための課題については隔週で講評/添削によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業でコメントすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	演習課題については、隔週提出となる。 示されたテーマに基づき常時制作を続ける必要がある。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、東洋美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	示されたテーマに沿っての作品制作が必要(２時間程度)である。 SNSやPintarestで資料収集することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上でも随時質問相談を受け付けている。

授業計画		担当者
第１回	授業方針の説明	佐々木洋
第２回	細密画	佐々木洋
第３回	コンテスト	佐々木洋
第４回	シュールレアリスム	佐々木洋
第５回	花	佐々木洋
第６回	宝飾	佐々木洋
第７回	紋章	佐々木洋
第８回	古道具	佐々木洋
第９回	小動物	佐々木洋
第１０回	カラーボード概説と作成	佐々木洋

第１１回	期末課題解説 カラーボードによるストーリー	佐々木洋
第１２回	カラーボード 全体の色感情	佐々木洋
第１３回	カラーボード レイアウト設計	佐々木洋
第１４回	カラーボード 全体の色調遷移設計	佐々木洋
第１５回	期末総評 期末課題説明	佐々木洋
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	マンガ基礎 （集中Ｄ）	担当者	加藤　礼次朗
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	AN-AN-1-217

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「マンガを創作する」ことをテーマとする。参考作品の鑑賞を行い、オリジナルのマンガが制作できるようになる。手描きに加えて、CLIP STUDIOなどのソフトの使用方法を学び、デジタル作画の技術を身につけてストーリー漫画を描く技術を身につける。学生は、短編マンガの制作ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	具体的なマンガの例を参照しながら描画の技術練習を行い、オリジナル作品の制作を行う。下描き、ペン入れ、ベタ、コマ割り、トーンなどマンガ制作に必要な知識や技術を学ぶ。学生は、人物キャラクターデザインや背景などを描くことができる力を身につけ、テーマを持った作品に取り組む。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、マンガ制作について知識及び技術を身につけることを目的としていることから、作品制作を通して修得した能力を計ることを目的として、課題作品提出（60%）を行い、最終試験として自主制作作品提出（40%）を行う。 なお、提出した作品は、授業内でフィードバックするので、最終試験までに習熟することとする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	この授業は漫画のネームを作るので、途中の提出ごとにペン入れをしてフィードバックする。
履修条件・注意事項	１）事前に次回の課題を示すので、必要な資料を揃え制作に必要な予習を行なっておくこと。２）毎回課題作品の制作を復習として行うこと。予習及び復習に少なくとも２時間程度を要する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、漫画家として活動している実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	イラストに関する内容を授業内容に沿って、書籍やネットによって予習復習を行う。必要に応じてプリントを配布するので、自分のスケッチなどと一緒にファイルに入れて学習を積み重ねることとする。
オフィスアワー	講義室にて授業時間後に質問等を受け付ける。

	授業計画	担当者
第１回	マンガの描き方と作品鑑賞	加藤礼次朗
第２回	手描き（下書きとペンの使い方）	加藤礼次朗
第３回	マンガのコマ割りと実例	加藤礼次朗
第４回	デジタル作画のラフの描き方	加藤礼次朗
第５回	ペデジタル作画のペン入れ	加藤礼次朗
第６回	レイヤーの使い方	加藤礼次朗
第７回	トーンとベタ	加藤礼次朗
第８回	写真の利用方法とラフ	加藤礼次朗
第９回	背景の描き方	加藤礼次朗
第１０回	主人公のキャラクター	加藤礼次朗
第１１回	キャラクターの描き込み	加藤礼次朗

第１２回	ポートレートの髪と眼の表現	加藤礼次朗	
第１３回	髪と眼の描き込み	加藤礼次朗	
第１４回	服の描き方	加藤礼次朗	
第１５回	テーマのあるマンガの構想	加藤礼次朗	
第１６回	作品提出	加藤礼次朗	
教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じてプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	クリスタ デジタルマンガ&イラスト道場 CLIP STUDIO PAINT PRO/EX対応	参・出版社名１	ソーテック社
参・著者名１	サイドランチ	参・ＩＳＢＮ１	978-4800711762
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	映像音響概論A	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-219

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	映像と音楽の関係を考察するのがテーマです。春学期は日本マンガ概論では扱わなかった実写のアニメを取り扱います。今のようにCGのなかった時代の実写がどのように制作され、音楽を担当していた作曲者を紹介し、二つの関係がどうであったかを１９８０年代以降と比較してみます。学生はアニメ創成期の作品を観ることによって、どのような作品があったかを知り、現代以上に質の高い音楽が制作されていた歴史を知ることができます。
授業概要	日本のアニメとほぼ並行して日本を初めとして海外でも子ども向けのテレビ番組が制作されました。それらを比較して当時の日本と海外の違いを考察してみます。春学期はもともとアニメだったものが実写化されたものや、特撮と言われた日本が誇る子ども向けの番組を紹介し、当時の作品を概観します。その背後には当時気鋭の作曲家がいました。その作品を観たり聴いたりすることで時代性を考察します。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	レポートを提出してもらい評価します。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	第１５回目にレポートを提出してもらい、最後になる１６回目の授業でレポートの結果を考察します。
履修条件・注意事項	You tubeで観られる作品もあるので、授業中に興味を持った作品は観て欲しい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	どんどんと関連ある作品を鑑賞し、創世記の実写アニメを鑑賞して下さい。
オフィスアワー	水曜日３限、２号館６Ｆの研究室です。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　春学期の作品紹介	平見勇雄
第２回	ひょっこりひょうたん島	平見勇雄
第３回	円谷プロ作品　第一回目　ウルトラQ	平見勇雄
第４回	円谷プロ作品　第二回目　ウルトラマン	平見勇雄
第５回	円谷プロ作品　第三回目　ウルトラセブン	平見勇雄
第６回	円谷プロ作品　第四回目　マイティジャック	平見勇雄
第７回	赤影参上	平見勇雄
第８回	コメットさん（九重祐実子版）	平見勇雄
第９回	海外の事情　サンダーバード	平見勇雄
第１０回	海外の事情　スティングレイ	平見勇雄
第１１回	サインはV	平見勇雄
第１２回	ガメラ	平見勇雄
第１３回	大魔神	平見勇雄
第１４回	おれは男だ！	平見勇雄
第１５回	春学期の総括	平見勇雄
第１６回	春学期のレポートの紹介	平見勇雄

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	

教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	講義ごとにプリントを配布します。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	映像音響概論B			担当者	平見　勇雄		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-220		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	映像と音楽の関係を考察するのがテーマです。秋学期は映画を取り扱います。日本の映画と海外の映画の両方を扱います。映画がどのように制作され、音楽を担当していた作曲者の映像も紹介し、どのように作られたのかを作曲者の発言から読み解きます。学生はそれぞれの作品を観て、その裏側を知ることによって、相互の関係を理解することができます。
授業概要	古い映画から比較的新しい映画まで幅広く扱います。日本と海外の違いを考察してみます。名作が生まれた背後には当時気鋭の作曲家がいました。それぞれの背景を探ります。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	レポートを提出してもらい評価します。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	第１５回目にレポートを提出してもらい、最後になる１６回目の授業でレポートの結果を考察します。
履修条件・注意事項	You tubeで観られる作品もあるので、授業中に興味を持った監督の作品は観て欲しいと思います。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	どんどんと関連ある作品を鑑賞し、音楽がどう映像につけられているかを日頃から気を付けて考えながら見るよう鑑賞する癖をつけて下さい。多くがYou Tubeに出ていますから、復習としてもう一度観てもらい、一度目では気付かなかったことを書き留めて映像と音楽の調和が自分でとれているとおもうところを書き留めて下さい。最後のレポートに役立ちます。音楽家の名前を検索するとそれぞれでさまざまな作品にかかわっていますから、どのような作品を生み出しているのか、作曲家の知識を広げて下さい。予習、復習に２時間程度使うことになると思います。
オフィスアワー	水曜日３限、２号館６Ｆの研究室です。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　秋学期の作品紹介　眉山	平見勇雄
第２回	眉山　後半　大島ミチル	平見勇雄
第３回	おくりびと　前半	平見勇雄
第４回	おくりびと　後半　久石譲	平見勇雄
第５回	二十四の瞳　前半	平見勇雄
第６回	二十四の瞳　後半　三枝成章	平見勇雄
第７回	ロッキー　前半	平見勇雄
第８回	ロッキー　後半　ビルコンティ	平見勇雄
第９回	哀愁　前半	平見勇雄
第１０回	哀愁　後半　蛍の光について	平見勇雄
第１１回	タイタニック　前半	平見勇雄
第１２回	タイタニック　後半	平見勇雄
第１３回	犬神家の一族　前半	平見勇雄
第１４回	犬神家の一族　後半　大野雄二	平見勇雄
第１５回	秋学期の総括	平見勇雄
第１６回	秋学期のレポートの紹介	平見勇雄

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	

教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	講義ごとにプリントを配布します。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	音響演習A （Aクラス）	担当者	相原　恒
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-221

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、既存楽曲のアレンジを行い、「自らイメージ通りの曲が作れるようになる」ことをテーマとし、参考作品を参照しながら、表現能力を身につける。各自の音楽表現ができるようになるために、基本的な知識と技術を学ぶ。その上で、コンピューターソフトを使った音楽創作を行い、イメージに合った独自の音楽を制作できるようになる。音楽制作を経験し、既存の音楽にない独自の音楽表現ができる技術を身につける。DAW（デジタルオーディオワークステーション）を使った短い楽曲制作及び編集ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	Steinberg社製のDAWソフト「Cubase」を使用し、具体的なテーマについて楽曲制作を行う。制作に必要なソフトの操作方法やテクニック、作曲に必要な音楽理論の基礎も学ぶ。一人一人が１台のPCを操作し、教員の机間巡視によって個別指導を行う。また既存楽曲のアレンジを行い、問題解決の能力が身につくような演習方式による授業を行う。 目的は、自身のイメージする楽曲を自由に創造することである。効果音制作や短い作品を完成させることを目標とする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、実務経験を持つ教員がその経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	この科目では、デジタルソフトの操作方法や音楽創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、授業の課題・作品評価(70%)、演習学修態度(30%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、ソフトの予習を行うことが必要である。また毎回の復習として自主的な作品づくりに応用することが重要である。日々の自分の制作に活かして、イメージを表現出来るよう練習を繰り返すことが重要である。 初回の授業で、参考作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：CMの楽曲制作 アーケード、コンシューマー、スマートフォンゲームの楽曲制作 他大学での非常勤講師及び岡山市の音楽教室講師
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	基本的には授業の前後に質問等を受け付ける。

	授業計画	担当者
第１回	Cubaseを使った制作・編集の流れ	相原
第２回	コンピュータの基本操作	相原
第３回	音楽基礎理論（楽譜の読み方等）	相原

第４回	Cubaseの基本操作	相原
第５回	各種設定・ショートカットキー	相原
第６回	楽器・音色	相原
第７回	MIDIステップ入力/リアルタイム入力	相原
第８回	クオンタイズ	相原
第９回	ミックスダウン	相原
第１０回	コード・スケール基礎	相原
第１１回	メロディの作り方	相原
第１２回	作品制作（テーマ・リファレンス）	相原
第１３回	13. 作品制作（作曲）	相原
第１４回	作品制作（アレンジ）	相原
第１５回	作品制作（添削）	相原
第１６回	課題提出	相原

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１	授業中に適宜資料を配布する。	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	音響演習A （Ｂクラス）	担当者	相原　恒
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-221

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、既存楽曲のアレンジを行い、「自らイメージ通りの曲が作れるようになる」ことをテーマとし、参考作品を参照しながら、表現能力を身につける。各自の音楽表現ができるようになるために、基本的な知識と技術を学ぶ。その上で、コンピューターソフトを使った音楽創作を行い、イメージに合った独自の音楽を制作できるようになる。音楽制作を経験し、既存の音楽にない独自の音楽表現ができる技術を身につける。DAW（デジタルオーディオワークステーション）を使った短い楽曲制作及び編集ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	Steinberg社製のDAWソフト「Cubase」を使用し、具体的なテーマについて楽曲制作を行う。制作に必要なソフトの操作方法やテクニック、作曲に必要な音楽理論の基礎も学ぶ。一人一人が１台のPCを操作し、教員の机間巡視によって個別指導を行う。また既存楽曲のアレンジを行い、問題解決の能力が身につくような演習方式による授業を行う。 目的は、自身のイメージする楽曲を自由に創造することである。効果音制作や短い作品を完成させることを目標とする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、実務経験を持つ教員がその経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	この科目では、デジタルソフトの操作方法や音楽創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、授業の課題・作品評価(70%)、演習学修態度(30%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、ソフトの予習を行うことが必要である。また毎回の復習として自主的な作品づくりに応用することが重要である。日々の自分の制作に活かして、イメージを表現出来るよう練習を繰り返すことが重要である。 初回の授業で、参考作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：CMの楽曲制作 アーケード、コンシューマー、スマートフォンゲームの楽曲制作 他大学での非常勤講師及び岡山市の音楽教室講師
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	基本的には授業の前後に質問等を受け付ける。

	授業計画	担当者
第１回	Cubaseを使った制作・編集の流れ	相原
第２回	コンピュータの基本操作	相原
第３回	音楽基礎理論（楽譜の読み方等）	相原

第４回	Cubaseの基本操作	相原
第５回	各種設定・ショートカットキー	相原
第６回	楽器・音色	相原
第７回	MIDIステップ入力/リアルタイム入力	相原
第８回	クオンタイズ	相原
第９回	ミックスダウン	相原
第１０回	コード・スケール基礎	相原
第１１回	メロディの作り方	相原
第１２回	作品制作（テーマ・リファレンス）	相原
第１３回	13. 作品制作（作曲）	相原
第１４回	作品制作（アレンジ）	相原
第１５回	作品制作（添削）	相原
第１６回	課題提出	相原

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１	授業中に適宜資料を配布する。	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	音響演習B （Aクラス）	担当者	相原　恒
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-222

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、既存楽曲のアレンジを行い、「自らイメージ通りの曲が作れるようになる」ことをテーマとし、参考作品を参照しながら、表現能力を身につける。各自の音楽表現ができるようになるために、基本的な知識と技術を学ぶ。その上で、コンピューターソフトを使った音楽創作を行い、イメージに合った独自の音楽を制作できるようになる。音楽制作を経験し、既存の音楽にない独自の音楽表現ができる技術を身につける。DAW（デジタルオーディオワークステーション）を使った短い楽曲制作及び編集ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	Steinberg社製のDAWソフト「Cubase」を使用し、具体的なテーマについて楽曲制作を行う。制作に必要なソフトの操作方法やテクニック、作曲に必要な音楽理論の基礎も学ぶ。一人一人が１台のPCを操作し、教員の机間巡視によって個別指導を行う。また既存楽曲のアレンジを行い、問題解決の能力が身につくような演習方式による授業を行う。 目的は、自身のイメージする楽曲を自由に創造することである。効果音制作や短い作品を完成させることを目標とする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、実務経験を持つ教員がその経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	この科目では、デジタルソフトの操作方法や音楽創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、授業の課題・作品評価(70%)、演習学修態度(30%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、ソフトの予習を行うことが必要である。また毎回の復習として自主的な作品づくりに応用することが重要である。日々の自分の制作に活かして、イメージを表現出来るよう練習を繰り返すことが重要である。 初回の授業で、参考作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：CMの楽曲制作 アーケード、コンシューマー、スマートフォンゲームの楽曲制作 他大学での非常勤講師及び岡山市の音楽教室講師
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	基本的には授業の前後に質問等を受け付ける。

授業計画		担当者
第１回	コードパッド・コードトラックの活用	相原
第２回	テンポトラックの活用	相原
第３回	VSTエフェクト/FXチャンネル	相原
第４回	ギター・ベースパート入力	相原
第５回	ドラム譜の読み方/ドラムパート入力	相原
第６回	オーディオデータの録音方法	相原

第７回	オーディオファイルの編集	相原
第８回	オーディオ・MIDIループ素材の活用	相原
第９回	既存楽曲のアレンジ（テーマ決め）	相原
第１０回	既存楽曲のアレンジ	相原
第１１回	既存楽曲のアレンジ（添削）	相原
第１２回	作品制作（テーマ・リファレンス）	相原
第１３回	作品制作（作曲）	相原
第１４回	作品制作（アレンジ）	相原
第１５回	作品制作（添削）	相原
第１６回	課題提出	相原

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１	授業中に適宜資料を配布する。	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	音響演習B （Bクラス）	担当者	相原　恒
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-222

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、既存楽曲のアレンジを行い、「自らイメージ通りの曲が作れるようになる」ことをテーマとし、参考作品を参照しながら、表現能力を身につける。各自の音楽表現ができるようになるために、基本的な知識と技術を学ぶ。その上で、コンピューターソフトを使った音楽創作を行い、イメージに合った独自の音楽を制作できるようになる。音楽制作を経験し、既存の音楽にない独自の音楽表現ができる技術を身につける。DAW（デジタルオーディオワークステーション）を使った短い楽曲制作及び編集ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	Steinberg社製のDAWソフト「Cubase」を使用し、具体的なテーマについて楽曲制作を行う。制作に必要なソフトの操作方法やテクニック、作曲に必要な音楽理論の基礎も学ぶ。一人一人が１台のPCを操作し、教員の机間巡視によって個別指導を行う。また既存楽曲のアレンジを行い、問題解決の能力が身につくような演習方式による授業を行う。 目的は、自身のイメージする楽曲を自由に創造することである。効果音制作や短い作品を完成させることを目標とする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、実務経験を持つ教員がその経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	この科目では、デジタルソフトの操作方法や音楽創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、授業の課題・作品評価(70%)、演習学修態度(30%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、ソフトの予習を行うことが必要である。また毎回の復習として自主的な作品づくりに応用することが重要である。日々の自分の制作に活かして、イメージを表現出来るよう練習を繰り返すことが重要である。 初回の授業で、参考作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：CMの楽曲制作 アーケード、コンシューマー、スマートフォンゲームの楽曲制作 他大学での非常勤講師及び岡山市の音楽教室講師
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	基本的には授業の前後に質問等を受け付ける。

	授業計画	担当者
第１回	コードパッド・コードトラックの活用	相原
第２回	テンポトラックの活用	相原
第３回	VSTエフェクト/FXチャンネル	相原
第４回	ギター・ベースパート入力	相原
第５回	ドラム譜の読み方/ドラムパート入力	相原
第６回	オーディオデータの録音方法	相原

第７回	オーディオファイルの編集	相原
第８回	オーディオ・MIDIループ素材の活用	相原
第９回	既存楽曲のアレンジ（テーマ決め）	相原
第１０回	既存楽曲のアレンジ	相原
第１１回	既存楽曲のアレンジ（添削）	相原
第１２回	作品制作（テーマ・リファレンス）	相原
第１３回	作品制作（作曲）	相原
第１４回	作品制作（アレンジ）	相原
第１５回	作品制作（添削）	相原
第１６回	課題提出	相原

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１	授業中に適宜資料を配布する。	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	音響デザインＡ （Aクラス）	担当者	相原　恒
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-223

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生はオリジナル曲を制作する。「自らイメージ通りの曲が作れるようになる」ことをテーマとし、既存曲や各ジャンルの特徴を参照しながら、表現能力を身につける。各自の音楽表現ができるようになるために、基本的な知識と技術を学ぶ。その上で、コンピューターソフトを使った音楽創作を行い、イメージに合った独自の音楽を制作できるようになる。音楽制作を経験し、既存の音楽にない独自の音楽表現ができる技術を身につける。DAW（デジタルオーディオワークステーション）を使った短い楽曲制作及び編集ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	Steinberg社製のDAWソフト「Cubase」を使用し、教員が指定した具体的なテーマについてオリジナル楽曲制作を行う。制作に必要なソフトの操作方法やテクニック、作曲に必要な音楽理論の基礎も学ぶ。一人一人が１台のPCを操作し、教員の机間巡視によって個別指導を行う。 目的は、自身のイメージする楽曲を自由に創造することである。効果音制作や短い作品を完成させることを目標とする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、実務経験を持つ教員がその経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	この科目では、デジタルソフトの操作方法や音楽創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、授業の課題・作品評価(70%)、演習学修態度(30%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
履修条件・注意事項	2年次の音響演習を履修していることが条件とする
実務経験のある教員	該当する　／　内容：CMの楽曲制作 アーケード、コンシューマー、スマートフォンゲームの楽曲制作 他大学での非常勤講師及び岡山市の音楽教室講師
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	基本的には授業の前後に質問等を受け付ける。

	授業計画	担当者
第１回	ピアノ曲制作①	相原
第２回	ピアノ曲制作②	相原
第３回	ピアノ曲制作③	相原
第４回	ピアノ曲制作④	相原

第５回	バンドサウンド制作①	相原
第６回	バンドサウンド制作②	相原
第７回	バンドサウンド制作③	相原
第８回	バンドサウンド制作④	相原
第９回	バンドサウンド制作⑤	相原
第１０回	バンドサウンド制作⑥	相原
第１１回	和風楽曲制作①	相原
第１２回	和風楽曲制作②	相原
第１３回	和風楽曲制作③	相原
第１４回	和風楽曲制作④	相原
第１５回	和風楽曲制作⑤	相原
第１６回	和風楽曲制作⑥	相原

教科書			
教・書籍名１	授業中に適宜資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	音響デザインA （Bクラス）	担当者	相原　恒
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-223

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生はオリジナル曲を制作する。「自らイメージ通りの曲が作れるようになる」ことをテーマとし、既存曲や各ジャンルの特徴を参照しながら、表現能力を身につける。各自の音楽表現ができるようになるために、基本的な知識と技術を学ぶ。その上で、コンピューターソフトを使った音楽創作を行い、イメージに合った独自の音楽を制作できるようになる。音楽制作を経験し、既存の音楽にない独自の音楽表現ができる技術を身につける。DAW（デジタルオーディオワークステーション）を使った短い楽曲制作及び編集ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	Steinberg社製のDAWソフト「Cubase」を使用し、教員が指定した具体的なテーマについてオリジナル楽曲制作を行う。制作に必要なソフトの操作方法やテクニック、作曲に必要な音楽理論の基礎も学ぶ。一人一人が１台のPCを操作し、教員の机間巡視によって個別指導を行う。 目的は、自身のイメージする楽曲を自由に創造することである。効果音制作や短い作品を完成させることを目標とする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、実務経験を持つ教員がその経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	この科目では、デジタルソフトの操作方法や音楽創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、授業の課題・作品評価(70%)、演習学修態度(30%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
履修条件・注意事項	2年次の音響演習を履修していることが条件とする
実務経験のある教員	該当する　／　内容：CMの楽曲制作 アーケード、コンシューマー、スマートフォンゲームの楽曲制作 他大学での非常勤講師及び岡山市の音楽教室講師
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	基本的には授業の前後に質問等を受け付ける。

	授業計画	担当者
第１回	ピアノ曲制作①	相原
第２回	ピアノ曲制作②	相原
第３回	ピアノ曲制作③	相原
第４回	ピアノ曲制作④	相原

第５回	バンドサウンド制作①	相原
第６回	バンドサウンド制作②	相原
第７回	バンドサウンド制作③	相原
第８回	バンドサウンド制作④	相原
第９回	バンドサウンド制作⑤	相原
第１０回	バンドサウンド制作⑥	相原
第１１回	和風楽曲制作①	相原
第１２回	和風楽曲制作②	相原
第１３回	和風楽曲制作③	相原
第１４回	和風楽曲制作④	相原
第１５回	和風楽曲制作⑤	相原
第１６回	和風楽曲制作⑥	相原

教科書			
教・書籍名１	授業中に適宜資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	音響デザインＢ （Aクラス）	担当者	相原　恒
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-224

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生はオリジナル曲を制作する。「自らイメージ通りの曲が作れるようになる」ことをテーマとし、既存曲や各ジャンルの特徴を参照しながら、表現能力を身につける。各自の音楽表現ができるようになるために、基本的な知識と技術を学ぶ。その上で、コンピューターソフトを使った音楽創作を行い、イメージに合った独自の音楽を制作できるようになる。音楽制作を経験し、既存の音楽にない独自の音楽表現ができる技術を身につける。DAW（デジタルオーディオワークステーション）を使った短い楽曲制作及び編集ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	Steinberg社製のDAWソフト「Cubase」を使用し、教員が指定した具体的なテーマについてオリジナル楽曲制作を行う。制作に必要なソフトの操作方法やテクニック、作曲に必要な音楽理論の基礎も学ぶ。一人一人が１台のPCを操作し、教員の机間巡視によって個別指導を行う。 目的は、自身のイメージする楽曲を自由に創造することである。効果音制作や短い作品を完成させることを目標とする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、実務経験を持つ教員がその経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	この科目では、デジタルソフトの操作方法や音楽創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、授業の課題・作品評価(70%)、演習学修態度(30%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
履修条件・注意事項	2年次の音響演習を履修していることが条件とする
実務経験のある教員	該当する　／　内容：CMの楽曲制作 アーケード、コンシューマー、スマートフォンゲームの楽曲制作 他大学での非常勤講師及び岡山市の音楽教室講師
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	基本的には授業の前後に質問等を受け付ける。

	授業計画	担当者
第１回	クラシック曲アレンジ①	相原
第２回	クラシック曲アレンジ②	相原
第３回	クラシック曲アレンジ③	相原
第４回	クラシック曲アレンジ④	相原
第５回	エレクトロミュージック制作①	相原
第６回	エレクトロミュージック制作②	相原

第７回	エレクトロミュージック制作③	相原
第８回	エレクトロミュージック制作④	相原
第９回	作品制作①	相原
第１０回	作品制作②	相原
第１１回	作品制作③	相原
第１２回	作品制作④	相原
第１３回	作品制作⑤	相原
第１４回	作品制作⑥	相原
第１５回	作品制作⑦	相原
第１６回	課題提出	相原

教科書			
教・書籍名１	授業中に適宜資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	音響デザインB （Bクラス）	担当者	相原　恒
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-224

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生はオリジナル曲を制作する。「自らイメージ通りの曲が作れるようになる」ことをテーマとし、既存曲や各ジャンルの特徴を参照しながら、表現能力を身につける。各自の音楽表現ができるようになるために、基本的な知識と技術を学ぶ。その上で、コンピューターソフトを使った音楽創作を行い、イメージに合った独自の音楽を制作できるようになる。音楽制作を経験し、既存の音楽にない独自の音楽表現ができる技術を身につける。DAW（デジタルオーディオワークステーション）を使った短い楽曲制作及び編集ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	Steinberg社製のDAWソフト「Cubase」を使用し、教員が指定した具体的なテーマについてオリジナル楽曲制作を行う。制作に必要なソフトの操作方法やテクニック、作曲に必要な音楽理論の基礎も学ぶ。一人一人が１台のPCを操作し、教員の机間巡視によって個別指導を行う。 目的は、自身のイメージする楽曲を自由に創造することである。効果音制作や短い作品を完成させることを目標とする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、実務経験を持つ教員がその経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	この科目では、デジタルソフトの操作方法や音楽創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、授業の課題・作品評価(70%)、演習学修態度(30%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
履修条件・注意事項	2年次の音響演習を履修していることが条件とする
実務経験のある教員	該当する　／　内容：CMの楽曲制作 アーケード、コンシューマー、スマートフォンゲームの楽曲制作 他大学での非常勤講師及び岡山市の音楽教室講師
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	基本的には授業の前後に質問等を受け付ける。

	授業計画	担当者
第１回	クラシック曲アレンジ①	相原
第２回	クラシック曲アレンジ②	相原
第３回	クラシック曲アレンジ③	相原
第４回	クラシック曲アレンジ④	相原
第５回	エレクトロミュージック制作①	相原
第６回	エレクトロミュージック制作②	相原

第７回	エレクトロミュージック制作③	相原
第８回	エレクトロミュージック制作④	相原
第９回	作品制作①	相原
第１０回	作品制作②	相原
第１１回	作品制作③	相原
第１２回	作品制作④	相原
第１３回	作品制作⑤	相原
第１４回	作品制作⑥	相原
第１５回	作品制作⑦	相原
第１６回	課題提出	相原

教科書			
教・書籍名１	授業中に適宜資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	CG基礎A （Bクラス）	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-225

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、コンピュータによるアニメ制作に関連した画像処理の基礎理論および基礎技法を修得することができる。 MacおよびWindowsソフトウェアの画像作成および画像処理の基礎スキルを身につけることができる。 具体的には、Macで画像処理系の基礎的アプリケーションソフトの利用を指導し、学生はCGを活用した効率的な作品作成を行うための基礎知識を修得でき、公益財団法人 画像情報教育振興協会のCGクリエイター検定ベーシック受験の力をつけることができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「画像処理におけるコンピュータリテラシー」と「課題理解能力」である。
授業概要	情報のデジタル化、CG開発の歴史、画像処理の要素と機構、画像処理系基礎アプリケーションの基本機能などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	制作工程の区切りごとに進捗と完成度を確認する。最終的な課題完成についてはコメントを付記する。
履修条件・注意事項	CG基礎理論の修得を重視して進める。 コンピュータ活用であるので、1年次に得た知見を十分復習しておくことが望ましい。さらに各回の講義に対して予習・復習を十分におこなうこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと（90分）。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと（90分）。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて、月曜4限をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	1 オリエンテーション	今村
第２回	2 画像処理の構成要素	今村
第３回	3 CG活用の歴史	今村
第４回	4 画像処理概論	今村
第５回	5 Mac系CG：2DCG	今村

第６回	6 Windoows系CG：3DCG	今村
第７回	7 CG作成技法　ペイント系	今村
第８回	8 CG作成技法　ドロー系	今村
第９回	9 ペイントとレタッチとは何か	今村
第１０回	10 ドローの座標指定とは何か	今村
第１１回	11 ペイントとドロー連携技法	今村
第１２回	12 デジタル編集とは何か	今村
第１３回	13 エフェクト構成と操作	今村
第１４回	14.簡易動画出力	今村
第１５回	15 CG練習課題作成	今村
第１６回	16 CG提出課題試験	今村

教科書			
教・書籍名１	授業内容に即したPDF資料を適宜配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	入門CGデザイン -CG制作の基礎- [改訂新版]	参・出版社名１	公益財団法人画像情報教育振興協会（CG-ARTS協会）
参・著者名１	［編集委員長］ 木村卓（株式会社 IMAGICA） ［執筆者］ 大口 孝之（映像ジャーナリスト） 川口 吾妻（女子美術大学） 木村 卓（株式会社 IMAGICA） 久保田 浩明（株式会社東芝） 源田 悦夫（九州大学大学院） 後藤 道子（九州大学大学院） 小林 昭世（武蔵野美術大学） 佐藤 皇太郎（サトリデザイン／関東学院大学） 鈴木 祐貴（日本コンピュータ学園東北電子専門学校） 西井 育生（株式会社ロボット） 原田 泰（公立はこだて未来大学） 松隈 浩之（九州大学大学院） 三上 浩司（東京工科大学） 山本 浩司（株式会社スタジオウォールナット）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-903474-47-2
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	CG基礎A （Aクラス）	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-225

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、コンピュータによるアニメ制作に関連した画像処理の基礎理論および基礎技法を修得することができる。 MacおよびWindowsソフトウェアの画像作成および画像処理の基礎スキルを身につけることができる。 具体的には、Macで画像処理系の基礎的アプリケーションソフトの利用を指導し、学生はCGを活用した効率的な作品作成を行うための基礎知識を修得でき、公益財団法人 画像情報教育振興協会のCGクリエイター検定ベーシック受験の力をつけることができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「画像処理におけるコンピュータリテラシー」と「課題理解能力」である。
授業概要	情報のデジタル化、CG開発の歴史、画像処理の要素と機構、画像処理系基礎アプリケーションの基本機能などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	制作工程の区切りごとに進捗と完成度を確認する。最終的な課題完成についてはコメントを付記する。
履修条件・注意事項	CG基礎理論の修得を重視して進める。 コンピュータ活用であるので、1年次に得た知見を十分復習しておくことが望ましい。さらに各回の講義に対して予習・復習を十分におこなうこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと（90分）。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと（90分）。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて、月曜4限をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	1 オリエンテーション	今村
第２回	2 画像処理の構成要素	今村
第３回	3 CG活用の歴史	今村
第４回	4 画像処理概論	今村
第５回	5 Mac系CG：2DCG	今村

第６回	6 Windoows系CG：3DCG	今村
第７回	7 CG作成技法　ペイント系	今村
第８回	8 CG作成技法　ドロー系	今村
第９回	9 ペイントとレタッチとは何か	今村
第１０回	10 ドローの座標指定とは何か	今村
第１１回	11 ペイントとドロー連携技法	今村
第１２回	12 デジタル編集とは何か	今村
第１３回	13 エフェクト構成と操作	今村
第１４回	14.簡易動画出力	今村
第１５回	15 CG練習課題作成	今村
第１６回	16 CG提出課題試験	今村

教科書			
教・書籍名１	授業内容に即したPDF資料を適宜配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	入門CGデザイン -CG制作の基礎- [改訂新版]	参・出版社名１	公益財団法人画像情報教育振興協会（CG-ARTS協会）
参・著者名１	［編集委員長］ 木村卓（株式会社 IMAGICA） ［執筆者］ 大口 孝之（映像ジャーナリスト） 川口 吾妻（女子美術大学） 木村 卓（株式会社 IMAGICA） 久保田 浩明（株式会社東芝） 源田 悦夫（九州大学大学院） 後藤 道子（九州大学大学院） 小林 昭世（武蔵野美術大学） 佐藤 皇太郎（サトリデザイン／関東学院大学） 鈴木 祐貴（日本コンピュータ学園東北電子専門学校） 西井 育生（株式会社ロボット） 原田 泰（公立はこだて未来大学） 松隈 浩之（九州大学大学院） 三上 浩司（東京工科大学） 山本 浩司（株式会社スタジオウォールナット）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-903474-47-2
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	CG基礎B （Bクラス）	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-226

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、CGについての応用概念を理解し、CGソフトウェアの応用技法を修得して、発展的なＣＧ制作ができることがテーマである。 秋期はＣＧの応用概念を理解し、説明できること、またそのための応用スキルを身につけることを到達目標とする。 学生は、CGソフトウェアを使用して、発展的なCG造形及びＣＧアニメーション作成を行うための応用知識と技能を学ぶことができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「CG制作におけるコンピュータリテラシー」と「課題作成能力」である。
授業概要	情報のデジタル化、CG開発の歴史、画像処理の要素と機構、画像処理系アプリケーションの応用機能などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	制作工程の区切りごとに進捗と完成度を確認する。最終的な課題完成についてはコメントを付記する。
履修条件・注意事項	CG基礎理論の修得を重視して進める。 コンピュータ活用であるので、1年次に得た知見を十分復習しておくことが望ましい。さらに各回の講義に対して予習・復習を十分におこなうこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと（90分）。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと（90分）。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて、火曜4限をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	1 オリエンテーション	今村
第２回	2 2DCGソフトウェアの３D表現	今村
第３回	3 LiLive2Dの概要	今村
第４回	4 Live2Dのサンプルキャラクター制作	今村
第５回	5 Live2Dのサンプルキャラクター編集	今村

第６回	6 Live2Dのサンプルキャラクターのアニメーション設定	今村
第７回	7 Live2Dのサンプルキャラクターの簡易動画出力	今村
第８回	8 Live2Dの人体キャラクター制作	今村
第９回	9 Live2Dの人体キャラクターの編集	今村
第１０回	10 Live2Dの人体キャラクターのアニメーション設定	今村
第１１回	11 Live2Dの人体キャラクターの動画出力	今村
第１２回	12 Live2Dのオリジナルキャラクターの設計	今村
第１３回	13 Live2Dのオリジナルキャラクターの編集	今村
第１４回	14.Live2Dのオリジナルキャラクターのアニメーション設定	今村
第１５回	15 Live2Dのオリジナルキャラクターの動画出力	今村
第１６回	16 Live2D提出課題試験	今村

教科書			
教・書籍名１	授業内容に即したPDF資料を適宜配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	たのしいLive2Dの入門教室	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ
参・著者名１	乃樹坂くしお	参・ＩＳＢＮ１	978-4802511971
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	CG基礎B （Aクラス）	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-226

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、CGについての応用概念を理解し、CGソフトウェアの応用技法を修得して、発展的なＣＧ制作ができることがテーマである。 秋期はＣＧの応用概念を理解し、説明できること、またそのための応用スキルを身につけることを到達目標とする。 学生は、CGソフトウェアを使用して、発展的なCG造形及びＣＧアニメーション作成を行うための応用知識と技能を学ぶことができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「CG制作におけるコンピュータリテラシー」と「課題作成能力」である。
授業概要	情報のデジタル化、CG開発の歴史、画像処理の要素と機構、画像処理系アプリケーションの応用機能などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30％、課題等の提出物30％、試験40％、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	制作工程の区切りごとに進捗と完成度を確認する。最終的な課題完成についてはコメントを付記する。
履修条件・注意事項	CG基礎理論の修得を重視して進める。 コンピュータ活用であるので、1年次に得た知見を十分復習しておくことが望ましい。さらに各回の講義に対して予習・復習を十分におこなうこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと（90分）。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと（90分）。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて、火曜4限をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	1 オリエンテーション	今村
第２回	2 2DCGソフトウェアの３D表現	今村
第３回	3 LiLive2Dの概要	今村
第４回	4 Live2Dのサンプルキャラクター制作	今村
第５回	5 Live2Dのサンプルキャラクター編集	今村

第６回	6 Live2Dのサンプルキャラクターのアニメーション設定	今村
第７回	7 Live2Dのサンプルキャラクターの簡易動画出力	今村
第８回	8 Live2Dの人体キャラクター制作	今村
第９回	9 Live2Dの人体キャラクターの編集	今村
第１０回	10 Live2Dの人体キャラクターのアニメーション設定	今村
第１１回	11 Live2Dの人体キャラクターの動画出力	今村
第１２回	12 Live2Dのオリジナルキャラクターの設計	今村
第１３回	13 Live2Dのオリジナルキャラクターの編集	今村
第１４回	14.Live2Dのオリジナルキャラクターのアニメーション設定	今村
第１５回	15 Live2Dのオリジナルキャラクターの動画出力	今村
第１６回	16 Live2D提出課題試験	今村

教科書			
教・書籍名１	授業内容に即したPDF資料を適宜配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	たのしいLive2Dの入門教室	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ
参・著者名１	乃樹坂くしお	参・ＩＳＢＮ１	978-4802511971
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	３Ｄ基礎A	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年／ 2020～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	AN-AN-1-227

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、コンピュータによるアニメ制作に関連した3DCG制作の基礎理論および基礎技法を修得することができる。 3DCG制作ソフトウェアによる造形および画像処理の基礎スキルを身につけることができる。 具体的には、代表的な3DCGソフトウェアの基礎概念を講義し、学生は初年次における3DCG作品作成過程の導入とすることができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「3DCG制作におけるコンピュータリテラシー」と「課題理解能力」である。
授業概要	情報のデジタル化、3DCG開発の歴史、3DCGの要素と機構、3DCG基礎アプリケーションの基本機能などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30％、課題等の提出物30％、試験40％、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	制作工程の区切りごとに進捗と完成度を確認する。最終的な課題完成についてはコメントを付記する。
履修条件・注意事項	実習が中心となるので、ある程度コンピュータ操作に習熟していることが望ましい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと（90分）。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと（90分）。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。
オフィスアワー	14号館６階研究室にて、月曜４限をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	1 オリエンテーション	今村
第２回	2 3DCGの構成要素	今村
第３回	3 3DCG活用の歴史	今村
第４回	4 3DCG処理概論	今村
第５回	5 3DCG;素材作成	今村
第６回	6 Blenderの概要	今村

第７回	7 Blenderの基本操作	今村
第８回	8 Blenderモデリングーブロックモデル	今村
第９回	9 Blenderテクスチャ設定	今村
第１０回	10 Blenderの簡易アニメーション	今村
第１１回	11 Blenderのカメラ設定	今村
第１２回	12 Blenderのレンダリング設定	今村
第１３回	13 Blenderモデリングー人物モデル	今村
第１４回	14.オブジェクトとアーマチュア（ボーン）	今村
第１５回	15 Blender練習課題作成	今村
第１６回	16 Blender提出課題試験	今村

教科書			
教・書籍名１	授業内容に即したPDF資料を適宜配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	３Ｄ基礎B			担当者	今村　俊介		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年／ 2021～ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	AN-AN-1-228		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、３ＤCGについての基礎概念を理解し、3DCGソフトウェアの基礎技法を修得して、基本的な3ＤＣＧ制作ができることがテーマである。 秋期は3ＤＣＧの応用概念を理解し、説明できること、またそのための応用スキルを身につけることを到達目標とする。 学生は、3DCGソフトウェアを使用して、より拡張的な3D造形及び3Dアニメーション作成を行うための応用知識と技能を学ぶことができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「3DCG制作におけるコンピュータリテラシー」と「課題作成能力」である。
授業概要	情報のデジタル化、3DCG開発の現況、3DCGの要素と機構、3DCGアプリケーションの応用機能などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30％、課題等の提出物30％、試験40％、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	制作工程の区切りごとに進捗と完成度を確認する。最終的な課題完成についてはコメントを付記する。
履修条件・注意事項	実習であるので、ある程度コンピュータの捜査に習熟していることが望ましい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと（90分）。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと（90分）。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて月曜4限に実施。

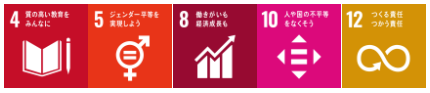
	授業計画	担当者
第１回	1 オリエンテーション	今村
第２回	2 Blenderの構成要素	今村
第３回	3 Blender活用の現在	今村
第４回	4 Blender人型モデリング	今村
第５回	5 Blender人型モデルテクスチャ設定	今村

第６回	6 Blenderオブジェクトとアーマチュア設定	今村
第７回	7 Blenderのアーマチュア設計詳細	今村
第８回	8 Blenderオブジェクトとアーマチュアの関連付け	今村
第９回	9 BlenderFKとIKについて	今村
第１０回	10 BlenderのIK設定	今村
第１１回	11 Blenderの詳細なカメラ設定	今村
第１２回	12 Blenderのアニメーション設定	今村
第１３回	13 Blenderアニメーション設定ー複数の動きを組み合わせる	今村
第１４回	14.Blenderアニメーション設定ー全体の動きを調整する	今村
第１５回	15 Blenderレンダリング出力	今村
第１６回	16 Blender提出課題試験	今村

教科書			
教・書籍名１	授業内容に即したPDF資料を適宜配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	３Ｄモデリング Ａ			担当者	今村　俊介、三宅　俊治、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-229		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任 
到達目標	学生は「３DCGモデリング技術の修得」をテーマとし、ソフトの使用方法の基礎を学び、オリジナルのキャラクターのモデリングができる能力を身につけることができる。目的に応じた3DCGソフトの的確な使い方を丁寧に学習し、確実にモデリングができることを大切にすることで、ネット上で活動できるVチューバーキャラクターや動画コンテンツを制作できるようになる。 自分が表現したいキャラクターをデザインし、モデリングして完成させることを到達目標とする。
授業概要	3DモデリングソフトBlenderを使用して、モデリングの演習を行う。まずソフトの使用方法を基礎から学び、簡単な立体造形を行うことで、基本的なソフトの機能を確認する。次の段階でやや複雑な立体のモデリングを行い、ソフト全体の操作方法を学修する。オリジナルキャラクターのデザインを行い、モデリングの過程を学習して細部を制作する。最終的に自主制作作品を完成できるための知識と技術を身につけることを目標にする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、３DCGモデリングの制作能力を身につけることを目的としているため、演習課題（50%）、作品提出（50%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	モデリングの基礎を固める授業であるため、授業の前後以外にも毎日制作研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、モデリングに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。
実務経験のある教員	該当する　内容　3DCGモデラー、Vチューバーデザイナーとして会社経営に関わる教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	授業に必要になるキャラクター、その他資料になるものは、予習の中で授業前に各自用意をし、また復習時間をもち完成度を高めた作品を完成することが必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	授業の前後に質問等を受け付ける。

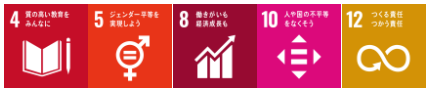
	授業計画	担当者
第１回	3DCGの学習方法と学修計画	今村俊介・前嶋英輝
第２回	Blenderの基本的な使い方	今村俊介・前嶋英輝
第３回	顔の平面の作成方法	今村俊介・前嶋英輝
第４回	顔の立体の基本	今村俊介・前嶋英輝
第５回	顔の立体の作成	今村俊介・前嶋英輝
第６回	髪の毛の基本	今村俊介・前嶋英輝
第７回	髪の毛の作成	今村俊介・前嶋英輝
第８回	素体ボディのモデリングの基本	今村俊介・前嶋英輝
第９回	素体ボディのモデリングの手順	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１０回	素体ボディのモデリングの実践	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝

第１１回	素体ボディのモデリングの完成	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１２回	ドレス衣装のモデリングの基本	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１３回	ドレス衣装のモデリングの手順	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１４回	ドレス衣装のモデリングの実践	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１５回	Blenderの使い方のまとめ	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１６回	課題提出	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	Blender標準テクニック ローポリキャラクター制作で学ぶ3DCG	教・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
教・著者名１	友	教・ＩＳＢＮ１	978-4844366379
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	授業で適宜指示します。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	３Ｄモデリング Ｂ			担当者	今村　俊介、三宅　俊治、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-230		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任 
到達目標	学生は「３DCGモデリング技術の修得と応用」をテーマとし、ソフトの使用方法の応用を学び、オリジナルのキャラクターのモデリングができる能力を身につけることができる。目的に応じた3DCGソフトの的確な使い方を丁寧に学習し、確実にモデリングができることを大切にすることで、ネット上で活動できるVチューバーキャラクターや動画コンテンツを制作できるようになる。 自分が表現したいキャラクターをモデリングして、動きをつけて完成させることを到達目標とする。
授業概要	3DモデリングソフトBlenderを使用して、モデリングの演習を行う。まずソフトの使用方法について事例をもとに学び立体造形を行うことで応用可能なソフトの機能を確認する。次の段階で具体的なオリジナルの3Dモデリングを学修する。オリジナルキャラクターのデザインを行い、モデリングの過程を学習して細部を制作する。最終的に自主制作作品がunityなどの３Dゲーム開発ソフトで活用できるための知識と技術を身につけることを目標にする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、３DCGモデリングの制作能力を身につけることを目的としているため、演習課題（50%）、作品提出（50%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	モデリングの基礎を固める授業であるため、授業の前後以外にも毎日制作研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、モデリングに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。
実務経験のある教員	該当する　内容　３Dキャラクター制作を中心とする会社勤務を行なっている教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	授業に必要になるキャラクター、その他資料になるものは、予習の中で授業前に各自用意をし、また復習時間をもち完成度を高めた作品を完成することが必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	授業の前後に質問等を受け付ける。

	授業計画	担当者
第１回	3DCGの学習方法と学修計画	今村俊介・前嶋英輝
第２回	Blenderの基本的な使い方の確認	今村俊介・前嶋英輝
第３回	キャラクターの顔の平面の確認	今村俊介・前嶋英輝
第４回	キャラクターの顔の立体の確認	今村俊介・前嶋英輝
第５回	キャラクターの顔の立体の応用	今村俊介・前嶋英輝
第６回	髪の毛の作成方法の確認	今村俊介・前嶋英輝
第７回	髪の毛の作成の応用方法	今村俊介・前嶋英輝
第８回	素体ボディのモデリング技術確認	今村俊介・前嶋英輝
第９回	素体ボディのモデリング応用方法	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１０回	素体ボディのモデリングの実践	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝

第１１回	素体ボディのモデリングの完成	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１２回	ドレス衣装のモデリング技術確認	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１３回	ドレス衣装のモデリング応用方法	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１４回	ドレス衣装のモデリングの実践	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１５回	ドレス衣装のモデリングの完成	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１６回	課題提出	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	Blender標準テクニック ローポリキャラクター制作で学ぶ3DCG	教・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
教・著者名１	友	教・ＩＳＢＮ１	978-4844366379
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	授業で適宜指示をします。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	デッサン基礎A			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年／ 2021～ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	AN-AN-1-231		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は「デッサンの基礎を身につける」ことをテーマとし、様々な材料や道具を使いながらデッサンの能力を身につける。ものの形や量を自分のイメージに合わせて描くことができるようになるために、基本的な形態を把握する力をつける。特に人体の観察を行い、クロッキーやデッサンによって正確に描写できるようになる。 学生は、イラストや絵コンテのあたりを柔らかい線ですばやく描けるようになることを到達目標とする。
授業概要	クロッキーを中心にデッサンの基礎を学ぶ。目的は、ものを見る力を高め、形態（フォルム）と動勢（ムーヴマン）を描くことができるようになることである。 具体的には、人物クロッキーを中心に、動物や静物を描く。木炭、鉛筆、色鉛筆、コンテ、パステルなどの素材を使い分けられるようにする。またプロポーショ ンと明暗を見るトレーニングを行う。さらにアニメーションや漫画、絵本作品の模写を行うことにより、フリーハンドでイメージを描写できるようにする。順番に前に立ってモデルをしたり、静物を描いたりしながら、一人ひとりが絵を描きためていく形態で授業を進める。DP（ディプロマポリシー）に対して「十分な描画力を有し、鉛筆や色材を使って完成度の高い作品を追求できる」能力を育むために「計画性を持って根気強く丁寧な研究や制作ができる」ことを重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、デッサンの能力を身につけることを目的としていることから、毎回のクロッキーなどの作品課題（60%）、到達目標達成度を見る実技試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については最初の授業で説明する。クロッキーや模写などの課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業期間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、実際に手を動かして予習を行うことが必要である。またクロッキー帳などをもとに復習としてドローイングを行うことが 重要である。最終課題では、到達目標の理解度を見るため積極的な取り組みが必要である。デッサン基礎Ｉで学ぶことを、日々の自分の制作に活かして、手描き でイメージを表現出来るよう練習を繰り返すことと、クロッキー課題では、少なくともスケッチブック1冊（100枚）を提出することが重要である。 初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　内容：岡山県立高校の美術授業でのデッサン指導、中学校での美術授業、短期大学での造形授業の経験があり、現在全国公募展審査員でもある教員が指導を行う。
事前学習・事後学習とその時間	クロッキー帳に学期ごとに１００枚以上の模写やスケッチを行い、ネットや書籍によって参考作品を鑑賞して、授業で学んだ描き方について予習復習を行う。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	1. デッサン・紙コップ	前嶋英輝

第２回	2. クロッキーの方法	前嶋英輝
第３回	3. フカンとアオリ	前嶋英輝
第４回	4. 石膏デッサン・比例	前嶋英輝
第５回	5. 石膏デッサン・色値	前嶋英輝
第６回	6. 人体の構造	前嶋英輝
第７回	7. 女性のポーズと構造	前嶋英輝
第８回	8. 男性のポーズと構造	前嶋英輝
第９回	9. 手と足	前嶋英輝
第１０回	10. 顔	前嶋英輝
第１１回	11. 人物クロッキー	前嶋英輝
第１２回	12. クロッキーの量感	前嶋英輝
第１３回	13. クロッキーの動勢	前嶋英輝
第１４回	14. デッサンの線と質感	前嶋英輝
第１５回	15. デッサンのパース表現	前嶋英輝
第１６回	16. 作品提出と講評	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	デッサン基礎B			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年／ 2021～ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	AN-AN-1-232		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は「自分のイメージをデッサンする」ことをテーマとして、見たものやイメージしたものをフリーハンドで描く能力を身につける。人物や風景、静物などをモチーフとして素描を正確に描くことができるようになる。 学生が、動きのある人物を、自分の感じたようにデフォルメしながら描けるようになることを到達目標とする。
授業概要	人物クロッキーと人物画、風景画を中心に行う。デッサン力を高めるために、できるだけ数多くクロッキーを行う。動きのある人物クロッキーを短時間で行うことで、イメージをすばやく描きとめるトレーニングを行う。また遠近法を学習し、風景画の構図や部分の描き分け方などを学ぶ。人物画では、あたりの付け方か ら線の強弱まで様々な表情のある絵の描き方を工夫し、対象となる人物の心理的な動きまで観察して描けるようにする。さらに絵コンテの制作ができるようになる。 お互いにモデルになり、実際によく見て描くことを大切にする授業形態をとる。DP（ディプロマポリシー）に対して「十分な描画力を有し、鉛筆や色材を使って完成度の高い作品を追求できる」能力を育むために「計画性を持って根気強く丁寧な研究や制作ができる」ことを重視している。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、デッサンの能力を身につけることを目的としていることから、毎回のクロッキーなどの作品課題（60%）、到達目標達成度を見る実技試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については最初の授業で説明する。クロッキーや模写などの課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業期間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、実際に手を動かして予習を行うことが必要である。またクロッキー帳などをもとに復習としてドローイングを行うことが 重要である。最終課題では、到達目標の理解度を見るため積極的な取り組みが必要である。授業で学ぶことを、日々の自分の制作に活かして、手描きでイメージを表現出来るよう練習を繰り返すことと、クロッキー課題では、少なくともスケッチブック1冊（100枚）を提出することが重要である。 初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：岡山県立高校の美術授業でのデッサン指導、中学校での美術授業、短期大学での造形授業の経験があり、現在全国公募展審査員でもある教員が指導を行う。
事前学習・事後学習とその時間	クロッキー帳に学期ごとに１００枚以上の模写やスケッチを行い、ネットや書籍によって参考作品を鑑賞して、授業で学んだ描き方について予習復習を行う。　1コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	デッサン・ピーマン	前嶋英輝
第２回	量感・動勢の見方	前嶋英輝
第３回	動きのあるクロッキー	前嶋英輝
第４回	人体解剖図研究	前嶋英輝
第５回	人体デッサンのポイント	前嶋英輝
第６回	人体の動勢	前嶋英輝

第７回	手や足の構造と模写	前嶋英輝	
第８回	人体のつながりと動きの確認	前嶋英輝	
第９回	人物クロッキー	前嶋英輝	
第１０回	人物の表情とキャラクター化	前嶋英輝	
第１１回	人物クロッキーのポイント	前嶋英輝	
第１２回	人物クロッキー・着衣	前嶋英輝	
第１３回	人物クロッキー・動き	前嶋英輝	
第１４回	石膏デッサン・あたり	前嶋英輝	
第１５回	石膏デッサン・量感	前嶋英輝	
第１６回	作品提出	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ゼロから学ぶプロの技　神技作画	参・出版社名１	KADOKAWA
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-04-601503-7
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	造形美術演習Ａ			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-233		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「造形美術の基礎を身につける」ことをテーマとし、様々な材料や道具を使いながら造形美術の基礎的能力を身につけることができる。ものの形態や構造を把握するための観る力を高め、線や量を自分のイメージに合わせて造形できるようになる。クロッキーやデッサン、塑像などの基礎的な技能を身につける。マッスとヴォリュームを理解し、形態を空間認識できるようになることを到達目標とする。特に人体においては内触覚性を理解し、造形に活かすことが出来るようになることが重要である。
授業概要	クロッキー、デッサン、塑像の基礎を学ぶ。目的は、ものを見る力を高め、形態（フォルム）と動勢（ムーヴマン）を描くことができるようになることである。また3Dモデリングにおける空間認識力を高めるために人体のモデルイメージを蓄積する。具体的には、人物クロッキーや石膏デッサン、塑像による頭像制作などを行う。木炭、鉛筆などの素材を使い分けられるようにする。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、造形能力を身につけることを目的としていることから、毎回の作品制作（60%）、到達目標達成度を見る作品制作（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、実際に手を動かして予習を行うことが必要である。具体的にはネット検索などで参考資料を集め、模写を行ったり、オリジナル制作の原案を作ったりすることが重要である。最終課題では、到達目標の理解度を見るため積極的な取り組みが必要である。初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　内容　高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、彫刻家、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	ネットや書籍によって参考作品を鑑賞して、授業で学んだ描き方について予習復習を行う。1コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	デッサン・紙コップ	前嶋英輝
第２回	クロッキーの方法	前嶋英輝
第３回	フカンとアオリ	前嶋英輝
第４回	石膏デッサン・比例	前嶋英輝
第５回	石膏デッサン・色価	前嶋英輝
第６回	人体の構造	前嶋英輝
第７回	女性のポーズと構造	前嶋英輝
第８回	男性のポーズと構造	前嶋英輝
第９回	手と足	前嶋英輝
第１０回	顔	前嶋英輝
第１１回	人物クロッキー	前嶋英輝
第１２回	クロッキーの量感	前嶋英輝
第１３回	クロッキーの動勢	前嶋英輝
第１４回	デッサンの線と質感	前嶋英輝

第１５回	デッサンのパース表現	前嶋英輝	
第１６回	作品提出	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	造形美術演習Ｂ			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-234		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「造形美術の基本を理解する」ことをテーマとし、様々な材料や道具を使いながら造形美術の基礎的能力を身につけることができる。ものの形態や構造を把握するための観る力を高め、線や量を自分のイメージに合わせて造形できるようになる。クロッキーやデッサン、塑像などの基礎的な技能を身につける。マッスとヴォリュームを理解し、形態を空間認識できるようになることを到達目標とする。特に人体においては内触覚性を理解し、造形に活かすことが出来るようになることが重要である。
授業概要	クロッキー、デッサン、塑像の基礎を学ぶ。目的は、ものを見る力を高め、形態（フォルム）と動勢（ムーヴマン）を描くことができるようになることである。また3Dモデリングにおける空間認識力を高めるために人体のモデルイメージを蓄積する。具体的には、人物クロッキーや石膏デッサン、塑像による頭像制作などを行う。木炭、鉛筆などの素材を使い分けられるようにする。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、造形能力を身につけることを目的としていることから、毎回の作品制作（60%）、到達目標達成度を見る作品制作（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、実際に手を動かして予習を行うことが必要である。具体的にはネット検索などで参考資料を集め、模写を行ったり、オリジナル制作の原案を作ったりすることが重要である。最終課題では、到達目標の理解度を見るため積極的な取り組みが必要である。初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　内容　高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、彫刻家、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	ネットや書籍によって参考作品を鑑賞して、授業で学んだ描き方について予習復習を行う。1コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	造形美術の基本	前嶋英輝
第２回	石膏デッサン（鉛筆）	前嶋英輝
第３回	石膏デッサンの動勢	前嶋英輝
第４回	人物クロッキー（女性）	前嶋英輝
第５回	人物クロッキー（男性）	前嶋英輝
第６回	人物デッサン（女性）	前嶋英輝
第７回	人物デッサン（男性）	前嶋英輝
第８回	塑像（猫）	前嶋英輝
第９回	塑像（坐像）	前嶋英輝
第１０回	塑像（頭部）	前嶋英輝
第１１回	造形制作（塑像）	前嶋英輝
第１２回	造形制作（木炭画）	前嶋英輝
第１３回	造形制作（鉛筆画）	前嶋英輝
第１４回	造形制作（水彩画）	前嶋英輝

第１５回	造形制作（油彩画）		前嶋英輝
第１６回	作品提出		前嶋英輝
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	造形美術制作Ａ			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-235		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「造形美術の表現力を身につける」ことをテーマとし、様々な材料や道具を使いながら造形美術の応用能力を身につけることができる。ものの形態や構造を把握するための観る力を高め、線や量を自分のイメージに合わせて造形できるようになる。クロッキーやデッサン、塑像などの基礎的な技能を身につける。マッスとヴォリュームを理解し、形態を空間認識できるようになることを到達目標とする。特に人体においては内触覚性を理解し、造形に活かすことが出来るようになることが重要である。
授業概要	クロッキー、デッサン、塑像の実践を学ぶ。目的は、ものを見る力を高め、形態（フォルム）と動勢（ムーヴマン）を描くことができるようになることである。また3Dモデリングにおける空間認識力を高めるために人体のモデルイメージを蓄積する。具体的には、人物クロッキーや石膏デッサン、塑像による頭像制作などを行う。木炭、鉛筆などの素材を使い分けられるようにする。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、造形能力を身につけることを目的としていることから、毎回の作品制作（60%）、到達目標達成度を見る作品制作（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、実際に手を動かして予習を行うことが必要である。具体的にはネット検索などで参考資料を集め、模写を行ったり、オリジナル制作の原案を作ったりすることが重要である。最終課題では、到達目標の理解度を見るため積極的な取り組みが必要である。初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　内容　高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、彫刻家、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	ネットや書籍によって参考作品を鑑賞して、授業で学んだ描き方について予習復習を行う。1コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	制作計画と材料・道具の説明	前嶋英輝
第２回	石膏デッサン（鉛筆）	前嶋英輝
第３回	石膏デッサン（木炭）	前嶋英輝
第４回	人物クロッキー（女性）	前嶋英輝
第５回	人物クロッキー（男性）	前嶋英輝
第６回	人物デッサン（女性）	前嶋英輝
第７回	人物デッサン（男性）	前嶋英輝
第８回	塑像（手）	前嶋英輝
第９回	塑像（頭部）	前嶋英輝
第１０回	水彩画	前嶋英輝
第１１回	油彩画	前嶋英輝
第１２回	色鉛筆・コンテ	前嶋英輝
第１３回	日本画	前嶋英輝
第１４回	ガラス工芸	前嶋英輝

第１５回	陶芸	前嶋英輝	
第１６回	作品提出	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	造形美術制作Ｂ			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-236		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「造形美術の表現力を身につける」ことをテーマとし、様々な材料や道具を使いながら造形美術の応用能力を身につけることができる。ものの形態や構造を把握するための観る力を高め、線や量を自分のイメージに合わせて造形できるようになる。クロッキーやデッサン、塑像などの基礎的な技能を身につける。マッスとヴォリュームを理解し、形態を空間認識できるようになることを到達目標とする。特に人体においては内触覚性を理解し、造形に活かすことが出来るようになることが重要である。
授業概要	クロッキー、デッサン、塑像の実践を学ぶ。目的は、ものを見る力を高め、形態（フォルム）と動勢（ムーヴマン）を描くことができるようになることである。また3Dモデリングにおける空間認識力を高めるために人体のモデルイメージを蓄積する。具体的には、人物クロッキーや石膏デッサン、塑像による頭像制作などを行う。木炭、鉛筆などの素材を使い分けられるようにする。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、造形能力を身につけることを目的としていることから、毎回の作品制作（60%）、到達目標達成度を見る作品制作（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、実際に手を動かして予習を行うことが必要である。具体的にはネット検索などで参考資料を集め、模写を行ったり、オリジナル制作の原案を作ったりすることが重要である。最終課題では、到達目標の理解度を見るため積極的な取り組みが必要である。初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　内容　高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、彫刻家、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	ネットや書籍によって参考作品を鑑賞して、授業で学んだ描き方について予習復習を行う。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	制作計画と材料・道具の説明	前嶋英輝
第２回	石膏デッサン（鉛筆）	前嶋英輝
第３回	石膏デッサン（木炭）	前嶋英輝
第４回	人物クロッキー（女性）	前嶋英輝
第５回	人物クロッキー（男性）	前嶋英輝
第６回	人物デッサン（女性）	前嶋英輝
第７回	人物デッサン（男性）	前嶋英輝
第８回	塑像（手）	前嶋英輝
第９回	塑像（頭部）	前嶋英輝
第１０回	水彩画	前嶋英輝
第１１回	油彩画	前嶋英輝
第１２回	色鉛筆・コンテ	前嶋英輝
第１３回	日本画	前嶋英輝
第１４回	ガラス工芸	前嶋英輝

第１５回	陶芸	前嶋英輝	
第１６回	作品提出	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	プロデュース基礎			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年			ナンバリング	AN-AN-2-301		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「プロデュースを理解する」をテーマとする。一般的にプロデュースとして行う事を認知されている、映画、アニメーション、ゲーム、マンガ、音楽、出版、玩具、イベント等が代表的な分野であろうが、それ以外にもファッション、芸能、商品、レストラン等の飲食などもプロデュースするジャンルとして有る。こうしたプロデュースの歴史的な成り立ちを知り、具体的な事例をもとに、プロデュースと呼ばれるものの社会的・経済的位置づけを学生が確認し、その上で学生が今の時代に合ったプロデュースの意味内容を考え、プロデューサーとしての運用を出来る事を理解する能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての実務経験元に、プロデュースの歴史的な成り立ちを知り、産業でのプロデュースの社会的・経済的位置づけを確認し、プロデューサーの存在が人々にどの様な影響を与えるかを事例から検証して、プロデュース運用を学ぶ。具体的にプロデュースの仕事を調査して、グループ・ディスカッションを行う事でプロデュースを体験する。講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「プロデュースを理解する」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（５０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	プロデュースの成り立ち	井上
第２回	プロデュースの歴史１（創生～50年代）	井上
第３回	プロデュースの歴史２（50年代～70年代）	井上
第４回	プロデュースの歴史２（50年代～70年代）	井上
第５回	プロデュースの歴史３（80年代～90年代）	井上
第６回	プロデュースの歴史４（90年代～00年代）	井上
第７回	プロデュースの歴史５（00年代～今）及び歴史に関す小レポート	井上
第８回	映画のプロデュース	井上
第９回	アニメーションのプロデュース	井上
第１０回	ゲームのプロデュース	井上
第１１回	マンガのプロデュース	井上
第１２回	音楽のプロデュース	井上
第１３回	出版のプロデュース	井上
第１４回	玩具のプロデュース	井上
第１５回	プロデュースのまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	プロデュースの基本（インターナショナル新書）	教・出版社名１	集英社インターナショナル
教・著者名１	木崎 賢治	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4797680628
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	プロデュース演習			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-302		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「プロデュースを理解する」をテーマとする。プロデュース演習の引き続きでプロデュースとしてマンガ、出版、玩具、イベント、ファッション、芸能、商品、レストラン等のプロデュースするジャンルから具体的な事例をもとに、調査・企画作成を通じてプロデュース業務を仮想体験する事で学生が今の時代に合ったプロデュースの意味内容を考え、プロデューサーとしての運用を出来る事を理解する能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての実務経験を元に、（地）この科目は、プロデュース演習から引き続き、学生が産業でのプロデュースの社会的・経済的位置づけを確認し、具体的なプロデュースの仕事を調査して、グループ・ディスカッションを行い分析することで、実際に作品や商品の企画提案を行える形に持って行く事で、個々にプロデュース能力を高める。また、地域発の企画提案を行うことで地域貢献ボランティア活動を通じて文化研究を行う。また講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「プロデュースを理解する」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（５０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日3限目に実施。

授業計画	担当者

第１回	マンガのプロデュース（企画作成）	井上
第２回	マンガのプロデュース（企画発表・検討）	井上
第３回	出版のプロデュース（企画作成）	井上
第４回	出版のプロデュース（企画発表・検討）	井上
第５回	玩具のプロデュース（企画作成）	井上
第６回	玩具のプロデュース（企画発表・検討）	井上
第７回	イベントのプロデュース（企画作成）	井上
第８回	イベントのプロデュース（企画発表・検討）	井上
第９回	芸能のプロデュース（企画作成）	井上
第１０回	芸能のプロデュース（企画発表・検討）	井上
第１１回	商品のプロデュース（企画作成）	井上
第１２回	商品のプロデュース（企画発表・検討）	井上
第１３回	地域企画のプロデュース（企画作成）	井上
第１４回	地域企画のプロデュース（企画発表・検討）	井上
第１５回	全体のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	プロデュースの基本（インターナショナル新書）	教・出版社名１	集英社インターナショナル
教・著者名１	木崎 賢治	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4797680628
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	３Ｄゲーム・ＶＲ演習Ａ （隔週授業）			担当者	今村　俊介、面田　高章、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-303		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限 水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「ゲームエンジンを使用した動画コンテンツ制作をする」ことをテーマとし、最新デジタル機材やアプリケーションを使用し、新たな動画コンテンツ制作の能力を身につける。アニメーションの現場では、積極的に最新技術を取り入れ、制作コストの削減や新たな表現手法の開拓を行っているため、常に最新技術の知見を得ていかなければならない。この授業では、3DCG技術を学ぶことで、動画制作やゲームに実践的な応用ができるようになる。クリエイターとしてオリジナルの短い動画を完成することを到達目標とする。
授業概要	Unityによる制作を中心にデジタルソフトの基礎を学ぶ。目的は、最新技術を利用し自由に創造することができるようになることである。 また、VRやモーションキャプチャー等の機材を利用し、幅広い機材知識や使用スキルを身につける。これらの機材を使うことで、最終的な動画コンテンツの完成のために少ない人数と工数でコンテンツを制作する発想を得る。最終的に自主制作作品を完成できるための知識と技術を身につけることを目標にする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、理論と創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、課題提出（60%）、 到達目標達成度を見る期末試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、ゲームやキャラクターデザインなどについて調べ、ソフトの予習を行うことが必要である。また毎回の復習として自主的な作品づくりに応用することが重要である。期末試験では、到達目標の理解度を見るため、十分な復習が必要である。日々の自分の制作に活かして、イメージを表現出来るよう練習を繰り返すことが重要である。初回の授業で作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：unityアンバサダーであり、3Dキャラクターのデザインからモデリングまでを中心に事業を行なっている会社のCEOが講師を担当している。
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーションとソフト説明	前嶋英輝・面田高章
第２回	Blenderの概要	前嶋英輝・面田高章
第３回	Blender 3DCGとUnityの概要	前嶋英輝・面田高章
第４回	デジタルツールによるコンテンツ制作	前嶋英輝・面田高章
第５回	Blenderの基本操作・サンプルモデルの研究	前嶋英輝・面田高章
第６回	サンプルモデルを利用したモデリング	前嶋英輝・面田高章
第７回	サンプルモデルとテクスチャ制作	前嶋英輝・面田高章
第８回	Unityの基本操作・モデルのインポート	前嶋英輝・面田高章
第９回	モーションキャプチャ	前嶋英輝・面田高章
第１０回	モーションキャプチャとアテレコ	前嶋英輝・面田高章

第１１回	モーションキャプチャとアテレコ仕上げ	前嶋英輝・面田高章	
第１２回	Unityのタイムライン	前嶋英輝・面田高章	
第１３回	Unityのタイムライン・再収録と調整	前嶋英輝・面田高章	
第１４回	再収録と調整	前嶋英輝・面田高章	
第１５回	ネット上での利用	前嶋英輝・面田高章	
第１６回	作品提出	前嶋英輝・面田高章	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	Blender標準テクニック ローポリキャラクター制作で学ぶ3DCG	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	友	参・ＩＳＢＮ１	978-4844366379
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	３Ｄゲーム・ＶＲ演習Ｂ （隔週授業）			担当者	今村　俊介、面田　高章、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-304		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限 水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「ゲームエンジンを使用した3D映像コンテンツ制作をする」ことをテーマとし、最新デジタル機材やアプリケーションを使用し、新たな動画コンテンツ制作の能力を身につける。アニメーションの現場では、積極的に最新技術を取り入れ、制作コストの削減や新たな表現手法の開拓を行っているため、常に最新技術の知見を得ていかなければならない。この授業では、3DCG技術を学ぶことで、動画制作やゲームに実践的な応用ができるようになる。クリエイターとしてオリジナルの短い動画を完成することを到達目標とする。
授業概要	ゲームエンジンであるUnityによる制作を中心にデジタルソフトの基礎を学ぶ。目的は、最新技術を利用し自由に創造することができるようになることである。また、VRやモーションキャプチャー等の機材を利用し、幅広い機材知識や使用スキルを身につける。これらの機材を使うことで、最終的な動画コンテンツの完成のために少ない人数と工数でコンテンツを制作する発想を得る。最終的に自主制作作品を完成できるための知識と技術を身につけることを目標にする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、理論と創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、課題提出（60%）、 到達目標達成度を見る期末試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、ゲームやキャラクターデザインなどについて調べ、ソフトの予習を行うことが必要である。また毎回の復習として自主的な作品づくりに応用することが重要である。期末試験では、到達目標の理解度を見るため、十分な復習が必要である。日々の自分の制作に活かして、イメージを表現出来るよう練習を繰り返すことが重要である。初回の授業で作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：unityアンバサダーであり、3Dキャラクターのデザインからモデリングまでを中心に事業を行なっている会社のCEOが講師を担当している。
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーションと使用ソフト説明	前嶋英輝・面田高章
第２回	Blender モデリング	前嶋英輝・面田高章
第３回	Blender 3DCGとUnityの連携	前嶋英輝・面田高章
第４回	デジタルツールによるコンテンツ制作	前嶋英輝・面田高章
第５回	Blenderの基本操作・サンプルモデルの研究	前嶋英輝・面田高章
第６回	サンプルモデルを利用したモデリング	前嶋英輝・面田高章
第７回	サンプルモデルとテクスチャ制作	前嶋英輝・面田高章
第８回	Unityの基本操作・モデルのインポート	前嶋英輝・面田高章
第９回	モーションキャプチャ	前嶋英輝・面田高章

第１０回	モーションキャプチャとアテレコ	前嶋英輝・面田高章	
第１１回	モーションキャプチャとアテレコ仕上	前嶋英輝・面田高章	
第１２回	Unityのタイムライン	前嶋英輝・面田高章	
第１３回	Unityのタイムライン・再収録と調整	前嶋英輝・面田高章	
第１４回	再収録と調整	前嶋英輝・面田高章	
第１５回	最終調整と仕上げ、完成	前嶋英輝・面田高章	
第１６回	作品提出	前嶋英輝・面田高章	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	Blender標準テクニック ローポリキャラクター制作で学ぶ3DCG	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	友	参・ＩＳＢＮ１	978-4844366379
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	デジタルコンテンツ制作Ａ			担当者	今村　俊介		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-305		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	学生は、今日におけるデジタルコンテンツとは何かを確認し、2年次までに修得したデジタル処理技術を用いて訴求力のあるコンテンツ制作ができることがテーマである。 春期はデジタルコンテンツの概念を理解し、説明できること、またそのための基本スキルを身につけることを到達目標とする。 学生は、CGを活用した効率的な作品作成を行うための基礎知識と技能を学ぶことができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「デジタルコンテンツ制作におけるコンピュータリテラシー」と「課題作成能力」である。
授業概要	情報のデジタル化、デジタルコンテンツ制作の歴史、デジタルコンテンツ処理の要素と機構、デジタルコンテンツ制作の基礎アプリケーションの基本機能などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	知識については単元ごとに小テストを実施。制作については進捗状況をステップごとに確認し、フォローを行う。 試験課題については、コメントを付記する。
履修条件・注意事項	デジタルコンテンツ基礎概念と基礎技法の修得を重視して進める。 コンピュータ活用であるので、これまでに得た知見を十分確認しておくことが望ましい。さらに各回の講義に対して予習・復習を十分におこなうこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと（90分）。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと（90分）。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて月曜4限に実施

	授業計画	担当者
第１回	1 オリエンテーション	今村
第２回	2 デジタルコンテンツの概念	今村
第３回	3 デジタルコンテンツ活用の歴史	今村
第４回	4 デジタルコンテンツ制作における画像処理概論	今村

第５回	5 デジタルコンテンツ制作：2DCG	今村
第６回	6 デジタルコンテンツ制作：3DCG	今村
第７回	7 訴求力のあるデジタルコンテンツ作例（1）	今村
第８回	8 訴求力のあるデジタルコンテンツ作例（2）	今村
第９回	9 訴求力のあるデジタルコンテンツ作例（3）	今村
第１０回	10 デジタルコンテンツ練習課題制作（1）	今村
第１１回	11 デジタルコンテンツ練習課題制作（2）	今村
第１２回	12 デジタルコンテンツ練習課題制作（3）	今村
第１３回	13 デジタルコンテンツ制作におけるエフェクト構成と操作	今村
第１４回	14.デジタルコンテンツの成果物出力	今村
第１５回	15 デジタルコンテンツ提出課題作成	今村
第１６回	16 CG提出課題試験	今村

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	新たな局面を迎えたコンテンツビジネス　日本のコンテンツ産業の現状と課題	参・出版社名１	インプレスR&D
参・著者名１	高橋 光輝 (著), 齊藤 昌幸 (著)	参・ＩＳＢＮ１	978-4844379836
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	デジタルコンテンツ制作Ｂ			担当者	今村　俊介		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-306		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	学生は、今日におけるデジタルコンテンツとは何かを確認し、2年次までに修得したデジタル処理技術を用いて訴求力のあるコンテンツ制作ができることがテーマである。 秋期はこれからのデジタルコンテンツの進展を理解し、説明できること、またそのための応用スキルを身につけることを到達目標とする。 学生は、CGを活用した効率的な作品作成を行うための実践的知識と技能を学ぶことができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「デジタルコンテンツ制作におけるコンピュータリテラシー」と「課題作成能力」である。　"
授業概要	情報のデジタル化、デジタルコンテンツ制作の未来、デジタルコンテンツ処理の要素と機構、デジタルコンテンツ制作アプリケーションの応用機能などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	知識については単元ごとに小テストを実施。制作については進捗状況をステップごとに確認し、フォローを行う。 試験課題については、コメントを付記する。
履修条件・注意事項	デジタルコンテンツ応用概念と応用技法の修得を重視して進める。 コンピュータ活用であるので、これまでに得た知見を十分確認しておくことが望ましい。さらに各回の講義に対して予習・復習を十分におこなうこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと（90分）。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと（90分）。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて火曜4限に実施

	授業計画	担当者
第１回	1 オリエンテーション	今村
第２回	2 デジタルコンテンツの多面的理解	今村
第３回	3 デジタルコンテンツ活用の進展	今村
第４回	4 デジタルコンテンツ制作における動画処理概論	今村

第５回	5 デジタルコンテンツ制作：プログラミング基礎	今村
第６回	6 デジタルコンテンツ制作：ビジュアルプログラミング	今村
第７回	7 発展的なデジタルコンテンツ作例（1）	今村
第８回	8発展的なデジタルコンテンツ作例（2）	今村
第９回	9 発展的なデジタルコンテンツ作例（3）	今村
第１０回	10 デジタルコンテンツプログラミング練習課題制作（1）	今村
第１１回	11 デジタルコンテンツプログラミング練習課題制作（2）	今村
第１２回	12 デジタルコンテンツプログラミング練習課題制作（3）	今村
第１３回	13 デジタルコンテンツ制作における先端的なエフェクト構成と操作	今村
第１４回	14.デジタルコンテンツの成果物出力の多様性	今村
第１５回	15 デジタルコンテンツ提出課題作成	今村
第１６回	16 デジタルコンテンツ制作課題提出課題試験	今村

教科書			
教・書籍名１	授業内容に即したPDF資料を適宜配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	新たな局面を迎えたコンテンツビジネス　日本のコンテンツ産業の現状と課題	参・出版社名１	インプレスR&D
参・著者名１	高橋 光輝 (著), 齊藤 昌幸 (著)	参・ＩＳＢＮ１	978-4844379836
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	印刷デザイン （Ａクラス）	担当者	藤原　由智
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-307

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	５．ジェンダー平等を実現しよう
到達目標	印刷上に展開するグラフィックデザインについて学びます。 わかりやすく伝えること、感情を呼び起こすこと、背景となる物語を感じさせること、そうした、デザインのエッセンスについて学習します。 この授業の受講生はAdobe社のIllustrator、InDesignの扱い方について習得できます。文字を扱うことはデザインの基本で、ソフトウェア上の作業の中でも重要な位置を占めているので、中心的に学びます。
授業概要	まずイメージする力を、次にイメージを形にすることを大事にします。そして「そのイメージがみんなに伝達可能か」を検証することでデザインは成立します。授業の中で様々なデザインワークを反復することで、そのようなプロセスを身体に馴染ませていきます。ソフトウェアを使いこなすことは、よい作品の前提となりますので授業でも丁寧に扱います。タイポグラフィ（文字組）の技術、伝えるための効果的な方法論は造形により深みを与えてくれるはずです。デザインという技術が、各人の感性を豊かに飛躍させる力となることを期待します。各課題は授業内で講評を行います。 通常、デザインは大量生産を前提とし、ゆえに製作者には小さくない責任が伴います。不適切な造形記号を選んでしまうと、ある特定のコミュニティや性別に対する差別や偏見を助長する恐れが常につきまといます。 授業内でこうしたビジュアルコミュニケーションと差別の関連や歴史についても触れます。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	技術の習熟度や授業の参加度を総合的に評価します。具体的には、[1 最終プレゼンテーションのクオリティ(30%)]、[2 講評への参加度(30%)]、[3 制作への参加度(40%)]を合計して総合評価します。生まれ持ってのセンスではなく、各々が実現したいイメージにどれだけ執着できたか、を基準にします。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明します。 学んだことの反復ではなく、自分なりにデザインをコントロールできるようになることを期待します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	原則として、課題や試験のフィードバックは提出した当日に行われます。フィードバック内容は講評形式で学生全員と共有されます。
履修条件・注意事項	特になし
実務経験のある教員	該当する　内容　デザイン事務所、印刷会社にてデザインワークの経験を持つ教員が授業を実施する
事前学習・事後学習とその時間	予習：デザインは日常のそこかしこに溢れています。そんな日常の中のデザインに目をこらしてみてください。例えば、コンビニでお気に入りのパッケージを探してみること。ドラマに出てくるかっこいい服や、カフェで綺麗なインテリアを見つけること。約2時間。 復習：授業中の作業に加えて、各自で制作を進めておくこと。約2時間。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	1 デザインの可能性と責任	藤原
第２回	2 [伝える訓練 I] かたちで伝える	藤原
第３回	3 [伝える訓練 II] 伝え方の工夫	藤原
第４回	4 [伝える訓練 III] コンセプトの練り方	藤原
第５回	5 [文字について I] ソフトの使い方	藤原
第６回	6 [文字について II] 名刺をつくる	藤原
第７回	7 [音とかたち I] アイデアスケッチ	藤原

第８回	8 [音とかたち II] 実作業	藤原
第９回	9 [音とかたち III] 中間発表	藤原
第１０回	10 [音とかたち IV] プレゼン	藤原
第１１回	11 [文字の装飾] 基本	藤原
第１２回	12 [文字の装飾] 発展と応用	藤原
第１３回	13 [最終課題 I] アイデアスケッチ	藤原
第１４回	14 [最終課題 II] かたちと色の検討	藤原
第１５回	15 [最終課題 III] ブラッシュアップ	藤原
第１６回	16 [試験]プレゼンテーション	藤原

教科書			
教・書籍名１	特に使用しない（必要な資料は授業中に配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	『うたう作品集』	参・出版社名１	誠文堂新光社
参・著者名１	森本千絵　著	参・ＩＳＢＮ１	441661019X
参・書籍名２	『メディアはマッサージである』 単行本版	参・出版社名2	河出書房新社
参・著者名2	マーシャルマクルーハン クエンティンフィオーレ 著 南博 訳	参・ＩＳＢＮ2	978-4309241708

授業科目名	印刷デザイン （Ｂクラス）	担当者	藤原　由智
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-307

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	５．ジェンダー平等を実現しよう
到達目標	印刷上に展開するグラフィックデザインについて学びます。 わかりやすく伝えること、感情を呼び起こすこと、背景となる物語を感じさせること、そうした、デザインのエッセンスについて学習します。 この授業の受講生はAdobe社のIllustrator、InDesignの扱い方について習得できます。文字を扱うことはデザインの基本で、ソフトウェア上の作業の中でも重要な位置を占めているので、中心的に学びます。
授業概要	まずイメージする力を、次にイメージを形にすることを大事にします。そして「そのイメージがみんなに伝達可能か」を検証することでデザインは成立します。授業の中で様々なデザインワークを反復することで、そのようなプロセスを身体に馴染ませていきます。ソフトウェアを使いこなすことは、よい作品の前提となりますので授業でも丁寧に扱います。タイポグラフィ（文字組）の技術、伝えるための効果的な方法論は造形により深みを与えてくれるはずです。デザインという技術が、各人の感性を豊かに飛躍させる力となることを期待します。各課題は授業内で講評を行います。 通常、デザインは大量生産を前提とし、ゆえに製作者には小さくない責任が伴います。不適切な造形記号を選んでしまうと、ある特定のコミュニティや性別に対する差別や偏見を助長する恐れが常につきまといます。 授業内でこうしたビジュアルコミュニケーションと差別の関連や歴史についても触れます。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	技術の習熟度や授業の参加度を総合的に評価します。具体的には、[1 最終プレゼンテーションのクオリティ(30%)]、[2 講評への参加度(30%)]、[3 制作への参加度(40%)]を合計して総合評価します。生まれ持ってのセンスではなく、各々が実現したいイメージにどれだけ執着できたか、を基準にします。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明します。 学んだことの反復ではなく、自分なりにデザインをコントロールできるようになることを期待します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	原則として、課題や試験のフィードバックは提出した当日に行われます。フィードバック内容は講評形式で学生全員と共有されます。
履修条件・注意事項	特になし
実務経験のある教員	該当する　内容　デザイン事務所、印刷会社にてデザインワークの経験を持つ教員が授業を実施する
事前学習・事後学習とその時間	予習：デザインは日常のそこかしこに溢れています。そんな日常の中のデザインに目をこらしてみてください。例えば、コンビニでお気に入りのパッケージを探してみること。ドラマに出てくるかっこいい服や、カフェで綺麗なインテリアを見つけること。約2時間。 復習：授業中の作業に加えて、各自で制作を進めておくこと。約2時間。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	1 デザインの可能性と責任	藤原
第２回	2 [伝える訓練 I] かたちで伝える	藤原
第３回	3 [伝える訓練 II] 伝え方の工夫	藤原
第４回	4 [伝える訓練 III] コンセプトの練り方	藤原
第５回	5 [文字について I] ソフトの使い方	藤原
第６回	6 [文字について II] 名刺をつくる	藤原
第７回	7 [音とかたち I] アイデアスケッチ	藤原

第８回	8 [音とかたち II] 実作業	藤原
第９回	9 [音とかたち III] 中間発表	藤原
第１０回	10 [音とかたち IV] プレゼン	藤原
第１１回	11 [文字の装飾] 基本	藤原
第１２回	12 [文字の装飾] 発展と応用	藤原
第１３回	13 [最終課題 I] アイデアスケッチ	藤原
第１４回	14 [最終課題 II] かたちと色の検討	藤原
第１５回	15 [最終課題 III] ブラッシュアップ	藤原
第１６回	16 [試験]プレゼンテーション	藤原

教科書			
教・書籍名１	特に使用しない（必要な資料は授業中に配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	『うたう作品集』	参・出版社名１	誠文堂新光社
参・著者名１	森本千絵　著	参・ＩＳＢＮ１	441661019X
参・書籍名２	『メディアはマッサージである』 単行本版	参・出版社名2	河出書房新社
参・著者名2	マーシャルマクルーハン クエンティンフィオーレ 著 南博 訳	参・ＩＳＢＮ2	978-4309241708

授業科目名	WEBデザイン （Ａクラス）			担当者	藤原　由智		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-308		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	５．ジェンダー平等を実現しよう
到達目標	web上に展開するデザインを学びます。この授業の受講生は レイアウトに必要となるHTMLとCSSを中心的に学び、リッチなweb上の表現を学びます。この2つの基本的なプログラミング言語を使いこなし、「頭の中のアイデア」をweb上のかたちにするためのプロセスを学びます。 ごく基本から学ぶので、プログラミングの経験や知識は前提としません。授業を通して、それぞれのプログラミング言語の特性と文法を学びます。また、自分が書いたコードに潜むバグを探し出すこと、別の誰かが書いたコードの構造を理解することを到達目標とします。
授業概要	まずイメージすること。次にイメージを形にすること。そして「そのイメージがみんなに伝達可能か」を検証することでデザインは成立します。授業の中で様々なデザインワークを反復することで、そのようなプロセスを身体に馴染ませていきます。もちろんwebのデザインにおいては、コードを扱いこなすことはよい作品の前提となりますので授業でも丁寧に扱います。 授業では、必然的に、ちいさなPDCAサイクルを絶え間なく回すことになります。すなわち[Plan: 計画する]→[Do: やってみる]→[Check: 検証する]→[Act: 修正する]→(最初に戻る)のサイクルです。具体的には、実現したい文字表現やかたちの表現をイメージして、そのためのコードを探して実行し、バグがないかを検証し、修正するというプロセスです。 現在、SNSや専用ブラウザがメインストリームとなってしまい、いかにアクセス数を稼ぐか、サイトの滞在時間を長くするか、が非常に重要になっています。授業ではプログラミングの作業だけでなく、そうした要請に応えるべく自由な発想も大切にしたいと考えています。初歩的なHTMLとCSSだけでも、うまく使いこなせば、webの世界でのびのびとイメージを広げられるはずです。 通常、web上のデザインは多くの目に触れることが前提となり、ゆえに製作者には小さくない責任が伴います。不適切な造形記号を選んでしまうと、ある特定のコミュニティや性別に対する差別や偏見を助長する恐れが常につきまといます。 授業内でこうしたビジュアルコミュニケーションと差別の関連や歴史についても触れます。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	技術の習熟度や授業の参加度を総合的に評価します。具体的には、[1 最終プレゼンテーションのクオリティ(30%)]、[2 講評への参加度(30%)]、[3 制作への参加度(40%)]を合計して総合評価します。生まれ持ってのセンスではなく、各々が実現したいイメージにどれだけ執着できたか、を基準にします。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明します。 学んだことの反復ではなく、自分なりにデザインをコントロールできるようになることを期待します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックは講評形式で授業中に行います。
履修条件・注意事項	特になし。プログラミング経験はなくても構いません。
実務経験のある教員	該当する　内容　デザイン事務所、印刷会社にてデザインワークの経験を持つ教員が授業を実施する
事前学習・事後学習とその時間	予習：デザインは日常のそこかしこに溢れています。そんな日常の中のデザインに目をこらしてみてください。例えば、コンビニでお気に入りのパッケージを探してみること。ドラマに出てくるかっこいい服や、カフェで綺麗なインテリアを見つけること。約2時間。 復習：授業中の作業に加えて、各自で制作を進めておくこと。約2時間。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

授業計画		担当者
第１回	1 webデザインの現状と可能性	藤原
第２回	2 [HTMLとCSS I] 文法	藤原
第３回	3 [HTMLとCSS II] CSSの応用	藤原
第４回	4 [HTMLとCSS III] レイアウト	藤原
第５回	5 [真似してみる I] サイトの構造を理解する	藤原
第６回	6 [真似してみる II] 大きく組んで細かく調整	藤原
第７回	7 [真似してみる III] デザインの調整	藤原
第８回	8 [真似してみる IV] 検証とバグ潰し	藤原
第９回	9 [真似してみる V] プレゼン	藤原
第１０回	10 [つくってみる I] しかけを考える	藤原
第１１回	11 [つくってみるII] サイトの構造を考える	藤原
第１２回	12 [つくってみる III] ベースを作る	藤原
第１３回	13 [つくってみる IV] 装飾を作る	藤原
第１４回	14 [つくってみる V] コンテンツをつくる	藤原
第１５回	15 [つくってみる VI] 検証とバグ潰し	藤原
第１６回	16 [試験] プレゼンテーション	藤原

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１	特に使用しない（必要な資料は授業中に配布する）	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	HTML5/CSS3モダンコーディング	参・出版社名１	翔泳社
参・著者名１	吉田真麻　著	参・ＩＳＢＮ１	4798141577
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	WEBデザイン （Ｂクラス）			担当者	藤原　由智		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-308		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	５．ジェンダー平等を実現しよう
到達目標	web上に展開するデザインを学びます。この授業の受講生は レイアウトに必要となるHTMLとCSSを中心的に学び、リッチなweb上の表現を学びます。この2つの基本的なプログラミング言語を使いこなし、「頭の中のアイデア」をweb上のかたちにするためのプロセスを学びます。 ごく基本から学ぶので、プログラミングの経験や知識は前提としません。授業を通して、それぞれのプログラミング言語の特性と文法を学びます。また、自分が書いたコードに潜むバグを探し出すこと、別の誰かが書いたコードの構造を理解することを到達目標とします。
授業概要	まずイメージすること。次にイメージを形にすること。そして「そのイメージがみんなに伝達可能か」を検証することでデザインは成立します。授業の中で様々なデザインワークを反復することで、そのようなプロセスを身体に馴染ませていきます。もちろんwebのデザインにおいては、コードを扱いこなすことはよい作品の前提となりますので授業でも丁寧に扱います。 授業では、必然的に、ちいさなPDCAサイクルを絶え間なく回すことになります。すなわち[Plan: 計画する]→[Do: やってみる]→[Check: 検証する]→[Act: 修正する]→(最初に戻る)のサイクルです。具体的には、実現したい文字表現やかたちの表現をイメージして、そのためのコードを探して実行し、バグがないかを検証し、修正するというプロセスです。 現在、SNSや専用ブラウザがメインストリームとなってしまい、いかにアクセス数を稼ぐか、サイトの滞在時間を長くするか、が非常に重要になっています。授業ではプログラミングの作業だけでなく、そうした要請に応えるべく自由な発想も大切にしたいと考えています。初歩的なHTMLとCSSだけでも、うまく使いこなせば、webの世界でのびのびとイメージを広げられるはずです。 通常、web上のデザインは多くの目に触れることが前提となり、ゆえに製作者には小さくない責任が伴います。不適切な造形記号を選んでしまうと、ある特定のコミュニティや性別に対する差別や偏見を助長する恐れが常につきまといます。 授業内でこうしたビジュアルコミュニケーションと差別の関連や歴史についても触れます。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	技術の習熟度や授業の参加度を総合的に評価します。具体的には、[1 最終プレゼンテーションのクオリティ(30%)]、[2 講評への参加度(30%)]、[3 制作への参加度(40%)]を合計して総合評価します。生まれ持ってのセンスではなく、各々が実現したいイメージにどれだけ執着できたか、を基準にします。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明します。 学んだことの反復ではなく、自分なりにデザインをコントロールできるようになることを期待します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックは講評形式で授業中に行います。
履修条件・注意事項	特になし。プログラミング経験はなくても構いません。
実務経験のある教員	該当する　内容　デザイン事務所、印刷会社にてデザインワークの経験を持つ教員が授業を実施する
事前学習・事後学習とその時間	予習：デザインは日常のそこかしこに溢れています。そんな日常の中のデザインに目をこらしてみてください。例えば、コンビニでお気に入りのパッケージを探してみること。ドラマに出てくるかっこいい服や、カフェで綺麗なインテリアを見つけること。約2時間。 復習：授業中の作業に加えて、各自で制作を進めておくこと。約2時間。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

授業計画		担当者
第１回	1 webデザインの現状と可能性	藤原
第２回	2 [HTMLとCSS I] 文法	藤原
第３回	3 [HTMLとCSS II] CSSの応用	藤原
第４回	4 [HTMLとCSS III] レイアウト	藤原
第５回	5 [真似してみる I] サイトの構造を理解する	藤原
第６回	6 [真似してみる II] 大きく組んで細かく調整	藤原
第７回	7 [真似してみる III] デザインの調整	藤原
第８回	8 [真似してみる IV] 検証とバグ潰し	藤原
第９回	9 [真似してみる V] プレゼン	藤原
第１０回	10 [つくってみる I] しかけを考える	藤原
第１１回	11 [つくってみるII] サイトの構造を考える	藤原
第１２回	12 [つくってみる III] ベースを作る	藤原
第１３回	13 [つくってみる IV] 装飾を作る	藤原
第１４回	14 [つくってみる V] コンテンツをつくる	藤原
第１５回	15 [つくってみる VI] 検証とバグ潰し	藤原
第１６回	16 [試験] プレゼンテーション	藤原

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１	特に使用しない（必要な資料は授業中に配布する）	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	HTML5/CSS3モダンコーディング	参・出版社名１	翔泳社
参・著者名１	吉田真麻　著	参・ＩＳＢＮ１	4798141577
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	インターンシップ			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-309		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「実社会を経験し、有意義な大学生活を送る」をテーマとして、学生が企業における実習を経験し、社会人としての基礎知識を身につけるとともに、その後の大学生活を有意義に送るためにはどうすればよいか、自分で考え、自分で行動できる能力を身につけることを到達目標とする。
授業概要	就職した大学生のうち、30%が3年以内に会社を辞めるという事実。政府はフリーターを正しい職業に就かせるために、意識を変えるための措置を考えているがままならない。大学のうちに社会、民間企業とのコラボレーションをとりながら企業との接点を持ち、実社会への興味を喚起させるため、また若者の自由で、柔軟な発想で企業を活性化させる目的でインターンシップを行う。授業は、実務経験のある教員による基礎知識やマナーを修得するための講義と、実際に企業に出向いて行う実習により構成されている。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	実習評価（30%）、授業態度（20%）、実習報告書（20%）、インターンシップ報告会での報告（30%）を合わせて総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	インターンシップ先企業の評価を各履修者に配布する。
履修条件・注意事項	初回から必ず参加のこと。講義の欠席者は補講を受けなければ実習に参加することができない。企業での実習を休んだ場合には、再実習を行わないと単位を認定しない。毎回の指示に従って予習と復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　内容：この授業では一部講義において、実務経験のある企業の方を招き社会人としてのマナーなどについて講義を行い学生の理解を深める。また、実習においては実際に企業で就業体験を行う。
事前学習・事後学習とその時間	社会のニーズと自分の適正とのマッチングには、その両方に関する普段の省察が必要である。新聞やニュースを通じて、社会の情勢に敏感になろう。自分自身への振り返りは、他人との交わりの中で促されることも多いはず。毎日新聞やニュースに接する時間を各自が確実に設けること、これをこの授業の普段の予習・復習とする。なお、予習・復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	インターンシップの説明	清水光二
第２回	インターンシップの手続き	清水光二
第３回	業界・企業研究	外部講師
第４回	志望動機の書き方	外部講師
第５回	ビジネスマナー	外部講師
第６回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第７回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第８回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第９回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第１０回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第１１回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第１２回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第１３回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第１４回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師

第１５回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第１６回	インターンシップ報告会	清水光二
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	インターンシップの手引きを配布する	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	インターンシップ	参・出版社名１	学文社
参・著者名１	古閑博美	参・ＩＳＢＮ１	4-7620-1064-2
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	基礎演習A			担当者	今村　俊介、山本　敦之、大谷　卓史、井上　博明、佐々木　洋、清水　光二、平見　勇雄、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	AN-AN-1-310		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は「アニメーションに関する専門分野の学習の方法を理解すること」をテーマとし、自分の学修計画をつくることができるようになる。専門科目を選択するための材料が十分提供されることで、学生は専門教育への移行を円滑に行なうことができる。また、アニメ業界の業態やプロデュース、シナリオ制作に必要な美学や映画論の知識を身につけることができる。制作や企画、文化研究に必要な基礎的な知識や技術を身につけることを到達目標とする。
授業概要	アニメ文化に関わる様々な分野を各専門教員の紹介によって理解する。またアニメ制作に必要な基本的知識や技術を概観し、イラスト、デジタル作画、絵コンテ、イメージボード、キャラクターデザインに関わる基礎的な技術を学び、必要なソフトを使用できるようになる。映像作品を鑑賞しつつ、将来の映像制作に資するようにするとともに、様々なコンテストに出品された受賞作などを参考にして自らの制作目標を確認する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	この科目では、アニメーション文化学科での学習方法を理解することを目的としていることから、毎回の小レポート・演習課題(60%)、試験課題(40%)によって理解度を評価する。評価のための課題については次回授業で講評によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業でコメントすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	事前に次回の内容を説明するので予習を行うことが必要である。また演習課題については、復習をしながら学習内容を確認することが求められる。具体的な例としては、学んだソフトを使用して描画練習を継続する。初回の授業で、関連する作品や内容についての調べ方を説明する。
実務経験のある教員	該当する　内容：中学校・高等学校での美術担当の実務経験のある教員を含む担当者がオムニバスで専門的な授業を行う。
事前学習・事後学習とその時間	次回の内容に対して作品を調べたり、ソフトの使い方を予習したりすることが必要(２時間程度)である。毎回の授業について復習し、要点をまとめて確実に基礎基本を理解することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	前嶋研究室（1268）で月曜日５限にオフィスアワーを設けている。

授業計画		担当者
第１回	学習方法と学修計画	前嶋英輝
第２回	アニメーションの作画	兼高里圭・前嶋英輝
第３回	動画の中割り	兼高里圭・前嶋英輝
第４回	アニメの隣接領域	山本敦之
第５回	レトリック	山本敦之
第６回	映像の文法とレトリック	山本敦之
第７回	アニメーションの歴史１（白黒）	平見勇雄
第８回	アニメーションの歴史２（カラー）	平見勇雄
第９回	アニメーションの歴史３	平見勇雄

第１０回	視聴覚メディアの歴史：映画・蓄音機・電話の誕生（19世紀）	大谷卓史
第１１回	視聴覚メディアの歴史：映画・蓄音機・電話の発展（20世紀）	大谷卓史
第１２回	視聴覚メディアの歴史：テレビ・ラジオの発展（20世紀）	大谷卓史
第１３回	シナリオって何 / その役割	清水光二
第１４回	シナリオって何 / 講読体験	清水光二
第１５回	シナリオって何 / 文字と映像の違い	清水光二
第１６回	課題提出	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	基礎演習B	担当者	今村　俊介、山本　敦之、大谷　卓史、井上　博明、佐々木　洋、清水　光二、平見　勇雄、前嶋　英輝
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	AN-AN-1-311

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は「アニメーションに関する専門分野の広がりを理解すること」をテーマとし、専門分野の学修計画をつくることができるようになる。専門科目を選択するための材料が十分提供されることで、学生は専門教育への移行を円滑に行なうことができる。また、アニメ業界の業態やプロデュース、シナリオ制作に必要な詩学や映像論の知識を身につけることができる。制作や企画、文化研究に必要な基礎的な知識や技術を身につけることを到達目標とする。
授業概要	アニメ文化に関わる様々な分野を各専門教員の紹介によって理解する。またアニメ制作に必要な基本的知識や技術を概観し、スキャン、デジタル作画、エフェクト、デジタル編集に関わる基礎的なソフトを使用できるようになる。映像作品を鑑賞しつつ、将来の映像制作に資するようにするとともに、様々なコンテストに出品された受賞作などを参考にして自らの制作目標を確認する。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	この科目では、アニメーション文化学科での学習方法を理解することを目的としていることから、毎回の小レポート・演習課題(60%)、試験課題(40%)によって理解度を評価する。評価のための課題については次回授業で講評によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業でコメントすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	事前に次回の内容を説明するので予習を行うことが必要である。また演習課題については、復習をしながら学習内容を確認することが求められる。具体的な例としては、学んだソフトを使用してイラストを描いてみることを継続する。初回の授業で、関連する作品や内容についての調べ方を説明する。
実務経験のある教員	該当する　内容　中学校・高等学校での美術担当の実務経験のある教員を含む担当者がオムニバスで専門的な授業を行う。
事前学習・事後学習とその時間	次回の内容に対して作品を調べたり、ソフトの使い方を予習したりすることが必要(２時間程度)である。毎回の授業について復習し、要点をまとめて確実に基礎基本を理解することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	学習環境と学修計画	前嶋英輝
第２回	アニメーションの原画制作	兼高里圭・前嶋英輝
第３回	動画のタイムシート	兼高里圭・前嶋英輝
第４回	映画技法	山本敦之
第５回	西洋美術史	山本敦之
第６回	西洋音楽史	山本敦之
第７回	デジタル映像技術の歴史	大谷卓史
第８回	デジタルゲームの歴史　その1	大谷卓史
第９回	デジタルゲームの歴史　その2	大谷卓史

第１０回	初期アニメーションの音楽	平見勇雄	
第１１回	初期テレビドラマの音楽１	平見勇雄	
第１２回	初期テレビドラマの音楽２	平見勇雄	
第１３回	シナリオ制作に挑戦 / 画から文字へ	清水光二	
第１４回	シナリオ制作に挑戦 / 文字から画へ	清水光二	
第１５回	シナリオ制作に挑戦 / 企画案を作る	清水光二	
第１６回	課題提出	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習A			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-312		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	清水ゼミでは、映像作品の歴史的研究、作家論・作品論的研究を行うと同時に、映像作品の設計図と呼ばれるシナリオの制作を大きな目標としている。 ちなみに、この「応用演習A」では、「新版ハリウッド100年史講義」（平凡社新書）を読んで、広く映像の歴史について学ぶことにする。そうすることで、学生は映像の歴史の中の現在を知り、映像文化の中のアニメーションの位置づけについても理解できるようになる。
授業概要	ハリウッドの誕生前から、誕生後の様々な変遷に至るまで、映画という視覚文化の歴史をおよそ100年にわたって辿ってみる。学生はそれぞれ分担された対象の箇所を事前に調べ、授業においてその発表を行うことになる。実写もアニメーションも区別なく映像作品として扱うことになるが、そこに込められた人々の夢を追うことは国と時代を越えて人間理解を深めることになろう。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	この授業では、授業への積極的な参加態度（40%）、プレゼンテーション（30%）、レポート提出（30%）などを合計し、総合的に評価を行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	レポートの提出や課題の発表がなされない場合は、評価不能となり単位認定ができないので特に注意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レポートの提出や課題発表のためには、当然のことながら予習・復習が必須である。予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	序章　ハリウッド前史	清水光二
第２回	第1章　ハリウッド誕生	清水光二
第３回	古典的ハリウッドの誕生	清水光二
第４回	第2章　夢見るハリウッド	清水光二
第５回	サイレント全盛	清水光二
第６回	第3章　古典的ハリウッドの成熟	清水光二
第７回	虚飾と爛熟の40年代	清水光二
第８回	第4章　黄昏に輝くハリウッド	清水光二
第９回	50年代のアンビバレンス	清水光二
第１０回	60年代、映画をめぐる自由と自由をめぐる映画	清水光二
第１１回	第5章　70年第以降	清水光二
第１２回	イベントとしての映画	清水光二
第１３回	第6章　80年代　世界が舞台、拡大するハリウッド映画	清水光二
第１４回	続く大作主義	清水光二
第１５回	第7章　デジタル技術の浸透と地球規模の大域化	清水光二
第１６回	レポート試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	新版ハリウッド100年史講義	教・出版社名１	平凡社

教・著者名１	北野圭介	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4582-85849-5
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本映画史110年	参・出版社名１	集英社
参・著者名１	四方田犬彦	参・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-08720752-1
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習A			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-312		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本演習は「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」をテーマにおき、実際にアニメーション製作に使われた企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等を使って製作の流れを知る事と併せててキャラクターの作成・運用を念頭に置き、どのような展開が作品にとって、キャラクターにとっての必要かを考え、学生がプロデュース思想を学生自身が理解する能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての勤務経験元に、最初にアニメーション文化論にて学んだ日本のアニメーションの歴史的な成り立ちを基に具体的な作品として、私の今までプロデュースした作品群の企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等の資料を使う事でアニメーション製作の流れを理解し、次にその作品がどの様な展開を行ったかをキャラクターコンテンツ基礎で学んだキャラクター運営を基に理解をする事でプロデューサーの仕事を理解させる。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（４０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（３０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては指定の範囲で小レポートを提出する必要がある。２００字未満のレポートは欠席扱いとする。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション／ガイダンス／研究論理に基づく責任ある研究活動	井上

第２回	資料の読み方（企画書）	井上
第３回	資料の読み方（シナリオ）	井上
第４回	資料の読み方（絵コンテ）	井上
第５回	資料の読み方（キャラクター設定）	井上
第６回	資料の読み方（美術設定）	井上
第７回	資料の読み方（メカニック・小物設定）	井上
第８回	資料の読み方（作画・彩色）	井上
第９回	資料の読み方（背景・撮影・CGI）	井上
第１０回	資料の読み方（音響・編集）	井上
第１１回	資料の読み方（音楽）	井上
第１２回	資料の読み方（放送・販売・配信）	井上
第１３回	資料の読み方（二次商品化）	井上
第１４回	資料の読み方（海外展開）	井上
第１５回	全体のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習A			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-312		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	異なる立場や背景の人々と建設的な意見交換をし、いっしょに活動ができるようになることをテーマとします。このテーマのもとで、学生が次の事柄ができるようになることを到達目標とします。 １．まとまった分量の文章を読んだり、話を聞いて、その内容を自分のことばでまとめ、わかりやすく説明できるようになる。 ２．根拠や理由をつけて自分の意見を言い、相手と自分の意見の違いや同じところ、根拠や理由の適切さなどを検討できるようになる。 ３．異なる立場や背景の人々といっしょに活動ができるようになる。 この到達目標を達成するため、この演習では、物語やゲームに関する入門書的な内容の本を2冊読み、読んだことをまとめて説明し、お互いに意見を述べ、議論します。
授業概要	物語やゲームに関する入門書的な内容の本を読んで、毎回担当者がその内容をほかの人たちにわかりやすく工夫して説明します。その説明をもとに、みんなで意見を交換します。その際には、相手の主張や本の内容をよりよく理解するため、質問をするようにします。また、自分の意見を述べるときには、必要があれば理由や根拠を述べるようにします。誰かの主張や、その理由や根拠が適切かどうかわからないときは、必ず質問をしましょう。質問をすることは、相手の言っていることを否定することではありません。質問は、よりよく相手のことを理解し、自分自身の知識や知恵を深めるための手段です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	演習課題（発表等）への取り組み（受講態度）を30%、演習内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を20%の重みづけで評価する。また、課題等の提出物20%、レポートの成績を30%として最終的に総合評価を行う。これらの4つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業課題（提出レポート）に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	遅刻・欠席の際には事前連絡をすること。発表・討論に積極的に取り組まないと演習は成立しません。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：指定する論説、教科書の章を読んできてください。約2時間。 復習：授業で学んだことの振り返り、レポート作成を要求します。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	プロローグ	大谷
第３回	人工生命とロボットの研究の概観	大谷
第４回	気ままなお掃除ロボットルンル	大谷
第５回	気ままなお掃除ロボットルンル　なぜ蟻はまっすぐ歩けないのか	大谷
第６回	ロボットと環境との出会い	大谷
第７回	ロボットと環境との出会い	大谷

第８回	ロボットと環境との出会い　ジョン、カレンはいまどこ？	大谷
第９回	ロボットと環境との出会い　ゾウはチェスをささない	大谷
第１０回	自らの視点から描いた自画像	大谷
第１１回	自らの視点から描いた自画像　目玉ジャクシの原初的サッカー	大谷
第１２回	ことばを繰り出してみる	大谷
第１３回	ことばを繰り出してみる　相手の視線を気にしながら	大谷
第１４回	「弱さ」と「ロボット」についてディスカッション	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	レポート試験	大谷

教科書			
教・書籍名１	〈弱いロボット〉の思考	教・出版社名１	講談社
教・著者名１	岡田美智男	教・ＩＳＢＮ１	978-4-06-288433-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１	筑摩書房	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習A			担当者	平見　勇雄		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-312		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	授業では取り扱わない手塚治虫文庫全集のマイナーな作品を鑑賞します。鉄腕アトムやリボンの騎士、ジャングル大帝、ブラックジャック等、手塚作品で有名なものはたくさんありますが、現代ではほとんど知られていない作品、知られていても読んだりする機会がなかなかない作品を取り上げ、手塚治虫がどういうストーリーを書いてきたのかを概観することがテーマです。日本アニメ界で最も有名な漫画家の知られていない作品を鑑賞することで、学生は手塚作品の全体像を知ることができ、どういう漫画家だったかをおよそ把握することができるようになります。
授業概要	手塚治虫文庫全集からいくつかを選んで読んで感じたことをレポートにしてもらい、それぞれの作品が言いたかったこと、伝えたいことを探ります。あまり知られていない作品にこそ、本当の手塚の思想や信念が見えてくるかも知れません。それを学生たちで読んだ後に討論します。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	どのくらい真剣に取り組んでそれぞれの作品から思想、信念、言いたいことが捉えられているかをレポートや普段の講義の中で評価します。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	前もって、次の週にやるテーマを与えます。それを読んできてもらいます。それぞれの学生に、一人では読み取れなかったメッセージを共有することで、どういうふうに漫画を読んでいったらいいのか、その方法を定着させます。
履修条件・注意事項	漫画を次の週までに必ず読んでくることが履修条件です。貪欲に読むという作業を求めます。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	普段から手塚自身が書いた作品に親しむ癖をつけて下さい。また何度も読み返すことによって、メッセージをどううまく伝えているのか、セリフやコマ割りなどにも注意して読むようにして下さい。
オフィスアワー	水曜日の３限、２号館６Ｆです。

授業計画		担当者
第１回	一輝まんだら	平見勇雄
第２回	奇子	平見勇雄
第３回	陽だまりの樹（抜粋）	平見勇雄
第４回	新世界ルルー	平見勇雄
第５回	どろろ	平見勇雄
第６回	ワンダー３	平見勇雄
第７回	アドルフに告ぐ	平見勇雄
第８回	海のトリトン	平見勇雄
第９回	人間昆虫記	平見勇雄
第１０回	ふしぎなメルモ	平見勇雄
第１１回	３８度線上の怪物	平見勇雄
第１２回	スリル博士	平見勇雄
第１３回	エンゼルの丘	平見勇雄
第１４回	上を下へのジレット	平見勇雄
第１５回	七色インコ	平見勇雄
第１６回	レポート提出とその反省点	平見勇雄

教科書			
教・書籍名１	上記の漫画　（学生には貸与、およびコピーにて対応する）手塚治虫文庫全集	教・出版社名１	講談社文庫
教・著者名１	手塚治虫	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習A			担当者	山本　敦之		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-312		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	アニメは、漫画や映画といった直接的隣接ジャンルと密接に結びつく。さらに、文藝、美術、演劇、音楽といったジャンルの作品を創作の源泉としうる。この講義では、そのような様々なジャンルの代表的作品群をテクスト、映像を通して鑑賞し、これについての分析・解説を聴くことになる。これにより学生は、将来のアニメ作品制作や批評に資する豊富な文藝・映像の資源を所有することができる。
授業概要	まず漫画原論や映画技法について説明。次いで文藝史、美術史、音楽史の大まかな解説。その上でオリジナルとなる文藝作品を読み、これを原作とする映像作品を見る。場合によっては複数の映画を見ることになる。また、複数の文藝作品から抜粋・構成された脚本にもとづく映像作品を見る回もある。黒澤明『蜘蛛の巣城』については能からの影響が顕著であるので、能について1回講義する。また学生は課題に対して発表をおこない、全員で議論することになる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題(50%)、定期試験(50%)。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題に対し講評をおこなうことでフィードバックをおこなう。
履修条件・注意事項	テクストは購入するか図書館で借りてきちんと読むこと。また、指定された映像作品も必ず見ること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	授業中に扱う範囲はテクストのさわりに限られるので、必ず予習で指定された範囲全部を読んでくること。また授業での解説を聞いた後の復習で、範囲全部を読み直すこと。指定された映像作品(部分)を予習・復習で見ること。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	シェークスピア『ヘンリー4世』第1部	山本
第２回	シェークスピア『ヘンリー4世』第2部	山本
第３回	シェイクスピア『ヘンリー5世』	山本
第４回	L.オリヴィエ, HenryV	山本
第５回	O．ウェルズ、Chimes at　Midnight	山本
第６回	シェークスピア『マクベス』	山本
第７回	O.ウェルズ、Macbeth	山本
第８回	黒澤明、蜘蛛の巣城	山本

第９回	能	山本
第１０回	コンラッド『闇の奥』	山本
第１１回	コッポラ、Apocalypse Now	山本
第１２回	コンラッド『密偵』	山本
第１３回	ヒチコック、Sabotage	山本
第１４回	サッカレー『バリー・リンドン』	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習A			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-312		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は「自らの表現スタイルを確立する」ことをテーマとする。 自分の研究テーマを設定し、これまでに学修したことを総合して課題を行う。 作品制作による研究を行う場合は、技法やスタイルだけでなく主題構造を構築し、 十分に深めながら表現できる能力を身につける。 論文による研究を行う場合は、関心のあるテーマを選択し、先行研究を十分行った上で 明確な結論を引き出す能力を身につけることができる。 学生は、専門知識を課題制作を通じて身につけ自身の求める作品を完成できる。
授業概要	様々な表現について研究し、そこから選択した手法に基づき作品を制作する。 作品は可能な限り多数制作しポートフォリオの充実を目指す。 手法についてはアニメーションや立体物を含む広範な表現形式から選択する。 毎週の進捗状況に合わせて、プレゼンテーションを含む全体討議による発表を行い、 年間の制作進行表を作ってそのタイムスケジュールにそって自己管理しながら授業内容を進める。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、作家的主題の確立と、自らの世界観に基づいて表現できる能力を身につける ことを目的としていることから、研究態度（10%）、課題作品（60%）、単位認定作品（40%） の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。 ポートフォリオや作品などの課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら 指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題ごとに講評、修整点を伝え、最終回に全体の講評を行う。
履修条件・注意事項	１）卒業研究につながる演習であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。 ２）共同研究を行う場合、分担が明確に示せることを条件とする。 ３）基本的なソフトウェアの操作に習熟できていることを条件とする。
実務経験のある教員	該当する　内容　1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アート表現に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について 予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	水曜5限 （2号館 267研究室）をオフィスアワーとする。 またTeams上での質問は随時受け付けている

授業計画		担当者
第１回	授業方針の説明 制作内容決定	佐々木　洋

第２回	仮想受注-A1 ゲームカード 打ち合わせシュミレーション	佐々木　洋
第３回	仮想受注-A2 ラフの提示-1 線画	佐々木　洋
第４回	仮想受注-A3 ラフの提示-2 カラーボード	佐々木　洋
第５回	仮想受注-A4 ラフの提示-2-fix	佐々木　洋
第６回	仮想受注-A5 仕上がり感	佐々木　洋
第７回	仮想受注-B-1 表情集-シンメトリー	佐々木　洋
第８回	仮想受注-B-2 表情集-アンシンメトリー	佐々木　洋
第９回	表情集-読解-1 基本-怒りのパターン	佐々木　洋
第１０回	表情集-読解-2 笑いのパターン	佐々木　洋
第１１回	表情集-読解-3 悲しみのパターン	佐々木　洋
第１２回	表情集-読解-2 嘘のパターン	佐々木　洋
第１３回	期末課題-提示と解説	佐々木　洋
第１４回	課題進行確認	佐々木　洋
第１５回	作品発表/講評	佐々木　洋
第１６回		佐々木　洋

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習A			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-312		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は、「作品を自主制作できるようになる」ことをテーマとし、基礎的な能力を身につけ制作研究を行うことで、作品を自分の表現として制作できるようになる。選択肢として3DCGやクレイアニメなども視野に入れながら制作を行う。具体的な技法として、動画および背景も手描きを中心に進めるが、ペンタブレットによる描画も選択肢に入れる。応用演習では卒業研究の準備として必要な知識と技術を修得し、同時に自主制作のための資料収集を行い、基礎的な作品の制作を到達目標とする。
授業概要	卒業制作までの今後の制作計画を立て、必要な技術を身につけることが大変重要になる。自分にあった技法を探すために様々な技法に挑戦し、コンピューターのソフトの使用方法を含めた自主制作の能力を身につける。各自が自主的に学習して制作した内容を持ち寄って討論する形で学習を進める。手描きの能力を高めながら実写合成などの技法にも幅を持って取り組む。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、アニメーション研究に基づいて作品による表現ができる能力を身につけることを目的としていることから、研究課題（40%）、単位認定試験（60%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする
履修条件・注意事項	卒業研究につながる演習であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、アニメーションに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、彫刻家、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アニメーションに関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。 美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、年間計画	前嶋英輝
第２回	研究概要、企画、イメージボード	前嶋英輝
第３回	絵コンテ作成・・・プロット提示	前嶋英輝
第４回	絵コンテ作成・・・プロット編集	前嶋英輝
第５回	キャラクター設定、原画作成	前嶋英輝
第６回	中間発表（企画修正と資料確認）	前嶋英輝
第７回	制作管理確認（配布資料）	前嶋英輝
第８回	制作ステップ確認と作画	前嶋英輝
第９回	制作ステップ確認と動画チェック	前嶋英輝
第１０回	中間発表準備	前嶋英輝
第１１回	中間発表（進行確認と討論）	前嶋英輝
第１２回	中間発表を受けての全体的修正	前嶋英輝

第１３回	制作ステップ確認と編集	前嶋英輝	
第１４回	制作ステップ確認と仕上げ	前嶋英輝	
第１５回	最終確認と研究発表準備	前嶋英輝	
第１６回	作品提出	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１	After Effects for アニメーション	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ新社
参・著者名１	大平幸輝	参・ＩＳＢＮ１	978-4-86100-699-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	応用演習A	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-312

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、3年次実践演習に向けて、映像作品企画を実現するため、一連の様々なプロセスである、脚本、ビジュアルデザイン、音響、広報等を調査研究を行うことで、基礎的な能力を身につけ、作品を自分の表現として制作できるようになる基礎技法を身につけることができる。 アニメーション制作におけるデジタル技術の理解とソフトウェア活用によるの画像作成および画像処理の基礎スキルを身につけ、効果的な作品作成を行うための基礎な知識と技法を修得できる。また、必要に応じて代表的な3DCGソフトウェアの基礎概念を学び、実践演習に向けて3DCG作品作成過程の導入とすることができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「映像作品制作におけるコンピュータリテラシー」と「課題理解能力」である。
授業概要	アニメーション制作のデジタル化、脚本作成の技法、ビジュアルデザインの設計と音響効果の作成など作品制作の土台となる知識・技法について学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題の進捗に応じてチェックとフォローアップを行う。最終成果物についてコメントを付記する。
履修条件・注意事項	実践演習に向けての土台を設計する段階なので、制作課題の方向性を探究すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として事前配信の予習テキストPDFを確認し、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて月曜4限に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	今村
第２回	2年次春期の研究課題の方向性探究：脚本	今村
第３回	脚本についての参考資料映像	今村
第４回	2年次春期の研究課題の方向性探究：ビジュアルデザイン	今村
第５回	ビジュアルデザインの参考資料映像	今村
第６回	2年次春期の研究課題の方向性探究：撮影	今村
第７回	撮影の参考資料映像	今村
第８回	2年次春期の研究課題の方向性探究：編集	今村
第９回	編集の参考資料映像	今村
第１０回	2年次春期の研究課題の方向性探究：音響効果	今村
第１１回	音響効果の参考資料映像	今村
第１２回	課題制作テーマの設定	今村
第１３回	課題制作のビジョン	今村
第１４回	課題制作の必要資料及び機材の確認	今村

第１５回	課題制作作成開始のためのまとめ	今村	
第１６回	春期制作課題知識試験	今村	
教科書			
教・書籍名１	各自の政策課題に応じて必要資料をPDFで配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習B			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-313		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	清水ゼミでは、映像作品の歴史的研究、作家論・作品論的研究を行うと同時に、映像作品の設計図と呼ばれるシナリオの制作を大きな目標としている。 ちなみに、この「応用演習B」では、「日本映画史110年」（集英社新書）を読んで、広く映像の歴史について学ぶことにする。そうすることで、学生は映像の歴史の中の現在を知り、映像文化の中のアニメーションの位置づけについても理解できるようになる。
授業概要	近代の光学装置としての映画が日本に持ち込まれてから、すでに120年以上が経っている。その間に日本映画がどのように発展し、変貌を遂げてきたかをたどってみる。学生はそれぞれ分担された対象の箇所を事前に調べ、授業においてその発表を行うことになる。実写もアニメーションも区別なく映像作品として扱うことになるが、そこに込められた人々の夢を追うことは国と時代を越えて人間理解を深めることに繋がるだろう。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	この授業では、授業への積極的な参加態度（40%）、プレゼンテーション（30%）、レポート提出（30%）などを合計し、総合的に評価を行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	レポートの提出や課題の発表がなされない場合は、評価不能となり単位認定ができないので特に注意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レポートの提出や課題発表のためには、当然のことながら予習・復習が必須である。予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	日本映画の特徴について	清水光二
第２回	第1章　活動写真　1896-1918	清水光二
第３回	第2章　無声映画の成熟　1917-30	清水光二
第４回	第3章　最初の黄金時代　1927-40	清水光二
第５回	第4章　戦時下の日本映画	清水光二
第６回	第5章　植民地・占領地における映画制作　台湾や朝鮮での映画	清水光二
第７回	満州映画の成立と終焉	清水光二
第８回	第6章　アメリカ占領下の日本映画　1952-60	清水光二
第９回	第7章　第二の全盛時代へ　1952-60	清水光二
第１０回	第8章　騒々しくも、ゆるやかな下降　1961-70	清水光二
第１１回	第9章　衰退と停滞の日々　1971-80	清水光二
第１２回	第10章　スタジオシステムの解体　1981-90	清水光二
第１３回	第11章　インディーズの全盛へ　1991-2000	清水光二
第１４回	第12章　製作バブルのなかで　2001-11	清水光二
第１５回	韓流映画の魅力	清水光二
第１６回	レポート試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	日本映画史110年	教・出版社名１	集英社

教・著者名１	四方田犬彦	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-08720752-1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	新版ハリウッド100年史講義	参・出版社名１	平凡社
参・著者名１	北野圭介	参・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4582-85849-5
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習B			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-313		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	春学期からの継続として「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」をテーマにおき、実際にアニメーション製作に使われた企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等を使って製作の流れを引き続き理解する事を行う。秋学期としては作品が世の中にどの様に広がって行ったかを販売チラシやプロモーションを行った雑誌等の実際の素材を使う事で作品・キャラクター展開のイメージを持たせる事で、プロデューサーが何を考え、展開を進めるかを学習する事でプロデュースの意味を理解する事を学生自身が理解する能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての勤務経験を元に、春学期からの継続として、私の今までプロデュースした作品群の企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等の資料を引き続き使う事でアニメーション製作の流れを理解させる。また、それら作品の販売チラシやプロモーションを行った雑誌等の実際の素材を使う事で作品・キャラクター展開のイメージを学生に持たせる事に主眼をおく。その上で現行の作品での展開を調べる事で、プロデュースの基礎を理解する事を目指す。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（４０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（３０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画	担当者

第１回	演習Aの振り返り	井上
第２回	資料の読み方（企画）	井上
第３回	資料の読み方（製作）	井上
第４回	資料の読み方（販売）	井上
第５回	資料の読み方（販売・タイアップ）	井上
第６回	資料の読み方（販売宣伝・雑誌）	井上
第７回	資料の読み方（販売宣伝・TV放送）	井上
第８回	資料の読み方（販売宣伝・ラジオ放送）	井上
第９回	資料の読み方（販売宣伝・Web）	井上
第１０回	資料の読み方（販売宣伝・イベント）	井上
第１１回	資料の読み方（販売宣伝・マニアイベント）	井上
第１２回	資料の読み方（販売宣伝・マニアイベント/北米）	井上
第１３回	資料の読み方（販売宣伝・マニアイベント/アジア）	井上
第１４回	資料の読み方（販売宣伝・マニアイベント/ヨーロッパ）	井上
第１５回	全体のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習B			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-313		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	異なる立場や背景の人々と建設的な意見交換をし、いっしょに活動ができるようになることをテーマとします。このテーマのもとで、学生が次の事柄をできるようになることを到達目標とします。 １．まとまった分量の文章を読んだり、話を聞いて、その内容を自分のことばでまとめ、わかりやすく説明できるようになる。 ２．根拠や理由をつけて自分の意見を言い、相手と自分の意見の違いや同じところ、根拠や理由の適切さなどを検討できるようになる。 ３．異なる立場や背景の人々といっしょに活動ができるようになる。 この到達目標を達成するため、この演習では、テクノロジーを媒介としたコミュニケーションを考察する入門書的な内容の本を読み、読んだことをまとめて説明し、お互いに意見を述べ、議論します。
授業概要	コミュニケーションに関する入門書的な内容の本を読んで、毎回担当者がその内容をほかの人たちにわかりやすく工夫して説明します。その説明をもとに、みんなで意見を交換します。その際には、相手の主張や本の内容をよりよく理解するため、質問をするようにします。また、自分の意見を述べるときには、必要があれば理由や根拠を述べるようにします。誰かの主張や、その理由や根拠が適切かどうかわからないときは、必ず質問をしましょう。質問をすることは、相手の言っていることを否定することではありません。質問は、よりよく相手のことを理解し、自分自身の知識や知恵を深めるための手段です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	演習課題（発表等）への取り組み（受講態度）を30%、演習内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を20%の重みづけで評価する。また、課題等の提出物20%、レポートの成績を30%として最終的に総合評価を行う。これらの4つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業課題（提出レポート）に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	遅刻・欠席の際には事前連絡をすること。発表・討論に積極的に取り組まないと演習は成立しません。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：指定する論説、教科書の章を読んできてください。約2時間。 復習：授業で学んだことの振り返り、レポート作成を要求します。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

	授業計画	担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	小さなドキドキをかさねながら	大谷
第３回	小さなドキドキをかさねながら　対面的な相互行為は賭けをともなう	大谷
第４回	引き算から生まれるもの	大谷
第５回	引き算からうまれるもの　む～に対するマザーリース	大谷

第６回	弱いロボットの誕生	大谷
第７回	弱いロボットの誕生　苦肉の策としてのチープデザイン	大谷
第８回	弱いロボットの誕生　もっと完璧にお掃除するものであったら？	大谷
第９回	対峙しあう関係から並ぶ関係へ	大谷
第１０回	対峙しあう関係から並ぶ関係へ　人とロボットの並ぶ関係は？	大谷
第１１回	対峙しあう関係から並ぶ関係へ　人とロボットの並ぶ関係は？	大谷
第１２回	エピローグを読む	大谷
第１３回	「弱さ」とロボットに関するディスカッション	大谷
第１４回	アニメやゲームづくりにどう生かすか	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	レポート試験	大谷

教科書			
教・書籍名１	〈弱いロボット〉の思考	教・出版社名１	講談社
教・著者名１	岡田美智男	教・ＩＳＢＮ１	978-4-06-288433-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習B	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-313

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	秋学期は手塚治虫文庫全集のメジャーな作品を鑑賞します。鉄腕アトムやリボンの騎士、ジャングル大帝、ブラックジャック等、手塚作品で有名なものはたくさんありますが、ブラックジャックを取り上げ、手塚治虫がどういうストーリーを書いてきたのかを概観することがテーマです。日本アニメ界で最も有名な漫画家の有名な作品を鑑賞することで、学生は手塚作品の哲学を知ることができ、どういう漫画家だったかをおよそ把握することができるようになります。
授業概要	紹介した本を選んで読んで感じたことをレポートにしてもらい、それぞれの作品が言いたかったこと、伝えたいことを探ります。手塚の思想や信念を学生たちで読んだ後に討論します。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	どのくらい真剣に取り組んでそれぞれの作品から思想、信念、言いたいことが捉えられているかをレポートや普段の講義の中で評価します。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	前もって、次の週にやるテーマを与えます。それを読んできてもらいます。それぞれの学生に、一人では読み取れなかったメッセージを共有することで、どういうふうに漫画を読んでいったらいいのか、その方法を定着させます。
履修条件・注意事項	漫画を次の週までに必ず読んでくることが履修条件です。貪欲に読むという作業を求めます。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	普段から手塚自身が書いた作品に親しむ癖をつけて下さい。また何度も読み返すことによって、メッセージをどううまく伝えているのか、セリフやコマ割りなどにも注意して読むようにして下さい。
オフィスアワー	水曜日の３限。２号館６F研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	ブラックジャック１	平見勇雄
第２回	ブラックジャック２	平見勇雄
第３回	ブラックジャック３	平見勇雄
第４回	ブラックジャック４	平見勇雄
第５回	ブラックジャック５	平見勇雄
第６回	ブラックジャック６	平見勇雄
第７回	ブラックジャック７	平見勇雄
第８回	ブラックジャック８	平見勇雄
第９回	ブラックジャック９	平見勇雄
第１０回	ブラックジャック１０	平見勇雄
第１１回	ブラックジャック創作秘話１	平見勇雄
第１２回	ブラックジャック創作秘話２	平見勇雄
第１３回	ブラックジャック創作秘話３	平見勇雄
第１４回	ブラックジャック創作秘話４	平見勇雄
第１５回	ブラックジャック創作秘話５	平見勇雄
第１６回	レポート提出とそのまとめ	平見勇雄

教科書

教・書籍名１	（学生には貸与、およびコピーにて対応する講談社の）手塚治虫文庫全集のブラッ	教・出版社名１	講談社文庫

	クジャック		
教・著者名１	手塚治虫	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	ブラックジャック創作秘話	教・出版社名2	秋田書店
教・著者名2	吉本こうじ	教・ＩＳＢＮ2	B00AQY7XQO
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習B	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-313

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	アニメは、漫画や映画といった直接的隣接ジャンルと密接に結びつく。さらに、文藝、美術、演劇、音楽といったジャンルの作品を創作の源泉としうる。そのような様々なジャンルの代表的作品群をテクスト、映像、音声を通して鑑賞し、これについての分析・解説を聴くことになる。これにより学生は、将来のアニメ作品制作や批評に資する豊富な文藝・映像表現・音楽の資源を所有することができる。
授業概要	まず漫画原論や映画技法について説明。次いで文藝史、美術史、音楽史の大まかな解説。その上でオリジナルとなる文藝作品を読み、これを原作とする映像作品を見る。また、西欧文明の二大母体となるギリシャ文明とヘブライ文明由来のテクストを読み、それにもとづくオペラを鑑賞する。最後の二回は古代の造形美術と近代の歴史画に表現された古代の形象を鑑賞・解説する。また学生は折にふれて課題に対する発表をおこない、全員で議論することになる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題(50%)、定期試験(50%)。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題に対するフィードバックは、これに対する講評によっておこなう。
履修条件・注意事項	テクストは購入するか図書館で借りてきちんと読むこと。また、指定された映像作品も必ず見ること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	授業中に扱う範囲はテクストのさわりに限られるので、必ず予習で指定された範囲全部を読んでくること(90分)。また授業での解説を聞いた後の復習で、範囲全部を読み直すこと(90分)。指定された映像作品(部分)を予習・復習で見ること。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	クラーク『2001年宇宙の旅』	山本
第２回	キューブリック、Space Odyssey	山本
第３回	アポロドロス『ギリシャ神話』	山本
第４回	モンテヴェルディ、L'Orfeo	山本
第５回	グルック、Orfeo ed Euridice	山本
第６回	R.シュトラウス、Ariadne aufNaxos	山本

第７回	オウィディウス『変身物語』	山本
第８回	ヘンデル、セメレ	山本
第９回	R.シュトラウス、Daphne	山本
第１０回	イザヤ書	山本
第１１回	ヘンデル、Messiah	山本
第１２回	『サムエル記』	山本
第１３回	ヘンデル、Saul	山本
第１４回	古代西洋美術概観	山本
第１５回	近代歴史画概観	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習B			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-313		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は「自らの表現スタイルを確立する」ことをテーマとする。 自分の研究テーマを設定し、これまでに学修したことを総合して課題を行う。 作品制作による研究を行う場合は、技法やスタイルだけでなく主題構造を構築し、 十分に深めながら表現できる能力を身につける。 論文による研究を行う場合は、関心のあるテーマを選択し、先行研究を十分行った上で 明確な結論を引き出す能力を身につけることができる。 学生は、専門知識を課題制作を通じて身につけ自身の求める作品を完成できる。
授業概要	様々な表現について研究し、そこから選択した手法に基づき作品を制作する。 作品は可能な限り多数制作しポートフォリオの充実を目指す。 手法についてはアニメーションや立体物を含む広範な表現形式から選択する。 毎週の進捗状況に合わせて、プレゼンテーションを含む全体討議による発表を行い、 年間の制作進行表を作ってそのタイムスケジュールにそって自己管理しながら授業内容を進める。 この授業は、アニメーター、デザイナーとしてキャラクター、アニメ、イラストレーション等の ビジュアルデザイン制作を行った実務経験のある教員が担当する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、作家的主題の確立と、自らの世界観に基づいて表現できる能力を身につける ことを目的としていることから、研究態度（10%）、課題作品（60%）、単位認定作品（40%） の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。 ポートフォリオや作品などの課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら 指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題ごとに講評、修整点を伝え、最終回に全体の講評を行う。
履修条件・注意事項	１）卒業研究につながる演習であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。２）共同研究を行う場合、分担が明確に示せることを条件とする。３）基本的なソフトウェアの操作に習熟できていることを条件とする。
実務経験のある教員	該当する　内容　1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アート表現に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について 予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	水曜5限 （2号館 267研究室）をオフィスアワーとする。 またTeams上で質問を随時受け付けている。

授業計画		担当者
第１回	授業方針の説明 制作内容決定	佐々木　洋
第２回	舞台設計-1	佐々木　洋

	会話劇	
第３回	舞台設計-2 脱出劇	佐々木　洋
第４回	舞台設計-3 グランドホテル	佐々木　洋
第５回	課題経過討議-ラフ	佐々木　洋
第６回	課題経過討議-細部	佐々木　洋
第７回	課題経過討議 中間提出	佐々木　洋
第８回	修整作業課題(リテーク) 空間	佐々木　洋
第９回	修整作業課題(リテーク) 視線誘導	佐々木　洋
第１０回	修整作業課題(リテーク) 全体意匠	佐々木　洋
第１１回	修整作業課題(リテーク) 細部	佐々木　洋
第１２回	第二回提出 講評	佐々木　洋
第１３回	修整作業課題(リテーク) 全体	佐々木　洋
第１４回	修整作業課題(リテーク) 細部-2　シナリオとの連関	佐々木　洋
第１５回	作品発表/講評	佐々木　洋
第１６回		佐々木　洋

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習B			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-313		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は、「自主制作作品を完成させることができる」をテーマとし、イラストやアニメーションを中心に制作研究を行うことで、基礎的な能力を身につけ自分の表現として制作できるようになる。選択肢として３DCGやクレイアニメなども視野に入れながら制作を行う。具体的な技法として、手描きを中心に進めるが、ペンタブレットによる描画も選択肢に入れる。応用演習では卒業研究の準備として必要な知識と技術を修得し、同時に自主制作のための資料収集を行い、基礎的な作品の制作を到達目標とする。
授業概要	卒業制作につながる必要な基礎的な技術を身につける。自分にあった技法で短編作品を作るために、手描きを中心に、コン ピューターのソフトの使用方法を含めた自主制作の能力を身につける。各自が自主的に学習して制作した内容を持ち寄って討論する形で学習を進める。手描きの能力を高めながら自分に合った技法に取り組む。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、アニメーション研究に基づいて作品による表現ができる能力を身につけることを目的としていることから、研究課題（40%）、自主制作作品提出（60%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	卒業研究につながる演習であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、アニメーションに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、彫刻家、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アニメーションに関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。 美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。　1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、年間計画	前嶋英輝
第２回	研究概要、企画、イメージボード	前嶋英輝
第３回	絵コンテ作成・・・プロット提示	前嶋英輝
第４回	絵コンテ作成・・・プロット編集	前嶋英輝
第５回	キャラクター設定、原画作成	前嶋英輝
第６回	中間発表（企画修正と資料確認）	前嶋英輝
第７回	制作管理確認（配布資料）	前嶋英輝
第８回	制作ステップ確認と作画	前嶋英輝
第９回	制作ステップ確認と動画チェック	前嶋英輝
第１０回	中間発表準備	前嶋英輝
第１１回	中間発表（進行確認と討論）	前嶋英輝
第１２回	中間発表を受けての全体的修正	前嶋英輝

第１３回	制作ステップ確認と編集	前嶋英輝	
第１４回	制作ステップ確認と仕上げ	前嶋英輝	
第１５回	最終確認と研究発表準備	前嶋英輝	
第１６回	作品提出	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１	After Effects for アニメーション	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ新社
参・著者名１	大平幸輝	参・ＩＳＢＮ１	978-4-86100-699-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	応用演習B			担当者	今村　俊介		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-313		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、3年次実践演習に向けて、映像作品企画を実現するため、一連の様々なプロセスである、脚本、ビジュアルデザイン、撮影、編集、音響効果の研究を行うことで、基礎的な能力を身につけ、作品を自分の表現として制作できるようになる基礎技法を身につけることができる。 アニメーション制作におけるデジタル技術の理解とソフトウェア活用によるの画像作成および画像処理の基礎スキルを身につけ、効果的な作品作成を行うための基礎な知識と技法を修得できる。また、必要に応じて代表的な3DCGソフトウェアの基礎概念を学び、実践演習に向けて3DCG作品作成過程の導入とすることができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「映像作品制作におけるコンピュータリテラシー」と「課題理解能力」である。
授業概要	アニメーション制作のデジタル化、脚本作成の技法、ビジュアルデザインの設計と撮影の意味、編集の効果的な設計、音響効果の概念など作品制作の土台となる知識・技法について学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題の進捗に応じてチェックとフォローアップを行う。最終成果物についてコメントを付記する。
履修条件・注意事項	実践演習に向けての土台を設計する段階なので、制作課題の方向性を探究すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として事前配信の予習テキストPDFを確認し、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて火曜4限に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	今村
第２回	2年次秋期の研究課題の実践：脚本	今村
第３回	脚本のプロトタイプ制作	今村
第４回	2年次秋期の研究課題の実践：ビジュアルデザイン	今村
第５回	ビジュアルデザインのプロトタイプ制作	今村
第６回	2年次秋期の研究課題の実践：撮影	今村
第７回	撮影の基本技法援用	今村
第８回	2年次秋期の研究課題の実践：編集	今村
第９回	効果的な編集映像の作成	今村
第１０回	2年次秋期の研究課題の実践：音響効果	今村
第１１回	オリジナル音響効果の設計制作	今村
第１２回	課題制作テーマの再確認	今村
第１３回	課題制作のビジョン再確認	今村
第１４回	課題制作の必要資料及び機材の再確認	今村

第１５回	実践演習に向けて課題制作作成開始のためのまとめ	今村	
第１６回	実践演習に向けての秋期課題制作試験	今村	
教科書			
教・書籍名１	各自の政策課題に応じて必要資料をPDFで配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	実践演習A			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-314		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	清水ゼミでは、映像作品の歴史的研究、作家論・作品論的研究を行うと同時に、映像作品の設計図と呼ばれるシナリオの制作および研究を大きな目標としている。 この「実践演習A」では、「すべてがわかる日本アニメ史入門」（彩流社）をテキストとして使い、日本アニメの歴史的流れを縦に辿りつつ、同時にその時々の主要作品と出来事についても並行して学ぶことにする。そうすることで、学生は映像の歴史の中の現在を知り、映像文化史の中のアニメーションの位置づけについても理解できるようになる。
授業概要	テキストとして使う「すべてがわかる日本アニメ史入門」（彩流社）は、「編年体と紀伝体を合わせた形」をその特徴としている。そのため、時間軸を中心に日本アニメの歴史を学ぶと共に、時々の主要な作品とそれにまつわる各種の出来事についても併せて知ることができる。それ故、学生は自分が一体何に関心があるのかを容易に発見できるし、それについて調べたり考察したりするモチベーションにも高いものが期待できよう。学生には、アニメについてのレポートをどのように書くかを学ぶいい機会になると考える。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	この授業では、授業への積極的な参加態度（40%）、プレゼンテーション（30%）、レポート提出（30%）などを合計し、総合的に評価を行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	レポートの提出や課題の発表がなされない場合は、評価不能となり単位認定ができないので特に注意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レポートの提出や課題発表のためには、当然のことながら予習・復習が必須である。予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	日本アニメの黎明期　1950-60	清水光二
第２回	白蛇伝、鉄腕アトム	清水光二
第３回	巨人の星、アタックNo.1	清水光二
第４回	ゲゲゲの鬼太郎	清水光二
第５回	日本アニメの勃興期　1970-80	清水光二
第６回	あしたのジョー	清水光二
第７回	アルプスの少女ハイジ	清水光二
第８回	機動戦士ガンダム	清水光二
第９回	ルパン三世　カリオストロの城	清水光二
第１０回	スタジオジブリの誕生	清水光二
第１１回	AKIRA	清水光二
第１２回	日本アニメの最盛期　1990年代	清水光二
第１３回	美少女戦士セーラームーン	清水光二
第１４回	新世紀エヴァンゲリオン	清水光二
第１５回	ほしのこえ	清水光二

第１６回	レポート試験		清水光二
教科書			
教・書籍名１	すべてがわかる日本アニメ史入門	教・出版社名１	彩流社
教・著者名１	アニメの旅人	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-7791-2776-2 C0095
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習A			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-314		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	応用演習ABからの継続として、「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」をテーマにおき、実際にアニメーション製作に使われた企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等を使って製作の流れを引き続き理解する事を行う。学生が実際の作品での展開を調べる事で、プロデューサーが何を考え、展開を進めるかを学習する事でプロデュースの意味を理解する事を学生自身が理解する能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての勤務経験元に、応用演習ABからの継続として、私の今までプロデュースした作品群の企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等の資料を引き続き使う事でアニメーション製作の流れを理解させ、新たな作品・キャラクター展開のイメージを学生に作成させる事に主眼をおく。その上で現行の作品での展開を元に学生自身がプロデュースの行える事を目指す。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（４０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（３０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	応用演習ABの振り返り及び研究論理に基づく責任ある研究活動	井上

第２回	資料の読み方（企画方向性）	井上
第３回	資料の読み方（企画資料集め）	井上
第４回	資料の読み方（企画資料固め）	井上
第５回	資料の読み方（ラフ企画書作成）	井上
第６回	資料の読み方（企画書作成）	井上
第７回	資料の読み方（企画書プレゼン）	井上
第８回	資料の読み方（企画書査定）	井上
第９回	資料の読み方（企画方向性実践）	井上
第１０回	資料の読み方（企画資料集め実践）	井上
第１１回	資料の読み方（企画資料固め２たーん実践）	井上
第１２回	資料の読み方（ラフ企画書作成実践）	井上
第１３回	資料の読み方（企画書作成実践）	井上
第１４回	資料の読み方（企画書プレゼン実践）	井上
第１５回	全体のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習A			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-314		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は、「自主制作」をテーマとし、アニメーションなどを中心に制作研究を行うことで、基礎的な能力を身につけ、作品を自分の表現として制作できるようになる。選択肢として3DCGやクレイアニメなども視野に入れながら制作を行う。具体的な技法として手描きを中心に進めるが、ペンタブレットによる描画も選択肢に入れる。必要な知識と技術を修得し、同時に自主制作のための資料収集を行い、実験的な自主制作作品の制作を到達目標とする。
授業概要	卒業制作までの今後の制作計画を立て、必要な技術を身につけることが大変重要になる。自分にあった技法を探すために様々な技法に挑戦し、コンピューターのソフトの使用方法を含めた自主制作の能力を身につける。各自が自主的に学習して制作した内容を持ち寄って討論する形で学習を進める。手描きの能力を高めながら実写合成などの技法にも幅を持って取り組む。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、アニメーション文化研究に基づいて表現できる能力を身につけることを目的としていることから、研究態度（30%）、研究内容（30%）、単位認定試験　（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	卒業研究につながる演習であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、アニメーションに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、彫刻家、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アニメーションに関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。 美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、年間計画	前嶋英輝
第２回	研究概要、企画、イメージボード	前嶋英輝
第３回	絵コンテ作成・・・プロット提示	前嶋英輝
第４回	絵コンテ作成・・・プロット編集	前嶋英輝
第５回	キャラクター設定、原画作成	前嶋英輝
第６回	中間発表（企画修正と資料確認）	前嶋英輝
第７回	制作管理確認（配布資料）	前嶋英輝
第８回	制作ステップ確認と作画	前嶋英輝
第９回	制作ステップ確認と動画チェック	前嶋英輝
第１０回	中間発表準備	前嶋英輝
第１１回	中間発表（進行確認と討論）	前嶋英輝
第１２回	中間発表を受けての全体的修正	前嶋英輝

第１３回	制作ステップ確認と編集	前嶋英輝	
第１４回	制作ステップ確認と仕上げ	前嶋英輝	
第１５回	最終確認と研究発表準備	前嶋英輝	
第１６回	作品提出	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１	After Effects for アニメーション	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ新社
参・著者名１	大平幸輝	参・ＩＳＢＮ１	978-4-86100-699-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	実践演習A			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-314		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	情報倫理学の基本的な考え方を広く習得することがテーマである。メディアにおける創作活動・流通において、倫理的・法的課題が問題とされる事例がある。また、アニメーションやゲームなどの原案・ストーリーの創作においては、情報倫理学で示される一種SF的な想像力が役立つことが多い。 情報倫理学分野に関する知識を習得するとともに、論理的・合理的に思考できる基礎的能力を涵養する。 到達目標は、下記のことができるようになることである。 １）情報倫理学の基本的なテーマにどのようなものがあるか理解できるようになる。 ２）情報倫理学の基本的なテーマについてどのような倫理的論点があるか理解できるようになる。 ３）身の回りの問題に引き付けて、情報倫理学の基本的論点について考察できるようになる。 ただし、履修者の興味・関心によっては変更する。
授業概要	Himma and Tavani(2008)The Handbook of Information and Computer Ethics, Wileyの章立てにしたがって、情報倫理学の基本的なテーマを解説し、その倫理的論点を考察する。英語の読解力があることが望ましいが、毎回簡単なレジュメを配布するので、とくに高度な読解力は必要としない。レジュメの概説後、教員と参加者で倫理的論点について議論を行い、理由・根拠を持った考察を行えるように訓練する。学期最後に、今学期紹介した基本的テーマ・倫理的論点のなかから興味のあるものを選び、2000文字程度のレポートを作成する。 ただし、内容は履修者の興味・関心によっては変更する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	演習課題（発表等）への取り組み（受講態度）を30%、演習内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を20%の重みづけで評価する。また、課題等の提出物20%、レポートの成績を30%として最終的に総合評価を行う。これらの4つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業課題（提出レポート）に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	遅刻・欠席の際には事前連絡をすること。発表・討論に積極的に取り組まないと演習は成立しません。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：指定した配布資料の該当箇所を読んでくること。約2時間。 復習：配布資料の内容を確認し、授業内容の振り返りを行うこと。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

	授業計画	担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	情報倫理学とは何か	大谷
第３回	情報倫理学の歴史	大谷
第４回	道徳的方法論とIT	大谷
第５回	価値を意識した設計と情報システム	大谷
第６回	知的財産の人格基礎的正当化と規則功利主義的正当化、ロック的正当化	大谷
第７回	情報プライバシー：概念と理論、論争	大谷

第８回	オンラインの匿名性	大谷
第９回	コンピュータセキュリティに係わる倫理的問題	大谷
第１０回	情報倫理と図書館専門職	大谷
第１１回	フリーソフトウェアとオープンソースソフトウェアにおける倫理的関心	大谷
第１２回	インターネット研究倫理	大谷
第１３回	健康情報技術	大谷
第１４回	情報とビジネスの倫理的問題	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	レポート試験	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	改訂新版　情報倫理入門	参・出版社名１	アイケイコーポレーション
参・著者名１	大谷卓史	参・ＩＳＢＮ１	4874923240
参・書籍名２	AIの倫理学	参・出版社名2	丸善出版
参・著者名2	クーケルバーグ著、直江清隆訳者代表	参・ＩＳＢＮ2	978-4621305881

授業科目名	実践演習A			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-314		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は「自らの表現スタイルを確立する」ことをテーマとする。 自分の研究テーマを設定し、これまでに学修したことを総合して研究をまとめる。 作品制作による研究を行う場合は、技法やスタイルだけでなく主題構造を構築し、 十分に深めながら表現できる能力を身につける。 論文による研究を行う場合は、関心のあるテーマを選択し、先行研究を十分行った上で 明確な結論を引き出す能力を身につけることができる。 学生は、専門知識を確実におさえ、様々なジャンルやメディアに広く関心を持ち続けることで、 作品を文化として考えながら研究を完成できる。
授業概要	卒業研究を視野に、様々な表現について研究し、そこから選択した手法に基づき作品を制作する。 作品は可能な限り多数制作しポートフォリオの充実を目指す。 手法についてはアニメーションや立体物を含む広範な表現形式から選択する。 毎週の進捗状況に合わせて、プレゼンテーションを含む全体討議による発表を行い、 年間の制作進行表を作ってそのタイムスケジュールにそって自己管理しながら作品制作を進める。 この授業は、アニメーター、デザイナーとしてキャラクター、アニメ、イラストレーション等の ビジュアルデザイン制作を行った実務経験のある教員が担当する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、作家的主題の確立と、自らの世界観に基づいて表現できる能力を身につける ことを目的としていることから、研究態度（10%）、課題作品（40%）、単位認定作品（50%） の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。 ポートフォリオや作品などの課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら 指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回講評を行い作品ごとにフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	１）卒業研究につながる演習であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。 ２）共同研究を行う場合、分担が明確に示せることを条件とする。 ３）基本的なソフトウェアの操作に習熟できていることを条件とする。
実務経験のある教員	該当する　内容　1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、美術学校での講師経験のある教員が30回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アート表現に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について 予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上で随時質問相談を受け付けている。

授業計画	担当者

第１回	1-オリエンテーション	佐々木洋
第２回	2-主題の構造と種類	佐々木洋
第３回	3-生涯に渡る主題	佐々木洋
第４回	4-セルフ・ブランディング	佐々木洋
第５回	5-価値の創造	佐々木洋
第６回	制作作品概要決定	佐々木洋
第７回	技法のルーチン化	佐々木洋
第８回	進捗確認と討議	佐々木洋
第９回	中間発表	佐々木洋
第１０回	時代変化を俯瞰する	佐々木洋
第１１回	自己世界を言語化する	佐々木洋
第１２回	進捗確認と討議	佐々木洋
第１３回	世界観の拡張	佐々木洋
第１４回	最終確認と研究発表準備	佐々木洋
第１５回	単位認定作品講評	佐々木洋
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習A	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-314

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	留学生も多いことから日本の歴史を知る意味でも日本の古典をまんがで読んでいきます。テーマは日本の文化を漫画を通して知り理解につなげることです。到達目標は日本の文化を深く理解していくことです。学生はこの講義を受けることで、単に有名な名前の物語の表面的なことだけでなく、日本人ももしかしたら知らないかもしれない物語を知ることができるようになります。
授業概要	以下、漫画となっている日本の古典を漫画で呼んでいきます。とは言っても、すべてを知ることはできないので、それぞれのハイライトを取り上げてプリントを配布します。おそらく背景となる日本の歴史も若干学びながらの授業になります。時に、学生に発表してもらい、自分の国にも同じような物語があるのかどうか、他の学生にも教えてもらいます。物語をたくさん知ることで自分の中の引き出しが増え、創作の際のヒントがたくさんあると思います。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	どの程度毎週真剣に与えられた課題を読んでくるかで評価します。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	その都度、簡単なまとめを出してもらいます。授業での発表も評価の対象となります。
履修条件・注意事項	毎週課題を読んでこなければ意味がありません。予習は必修です。わかる範囲で読んできて下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	日本語の勉強にも、歴史の勉強にもなります。それぞれの本の、おおまかな概要を知ろうと努力して下さい。予習として２時間、ネットで構いませんから内容と大筋を調べてきて下さい。あとは授業で確認し、ハイライト、大切なところを漫画で紹介します。復習は自分がこれを漫画にするならどのような点を大切に漫画化するかを自分なりに考えてレポートを提出してもらいます。２時間程度の復習の時間を確保して下さい。
オフィスアワー	水曜日の３限です。２号館６Ｆの研究室です。

授業計画		担当者
第１回	古事記	平見勇雄
第２回	落窪物語	平見勇雄
第３回	源氏物語　前半	平見勇雄
第４回	源氏物語　後半	平見勇雄
第５回	和泉式部日記	平見勇雄
第６回	堤中納言物語	平見勇雄
第７回	今昔物語	平見勇雄
第８回	平家物語　前半	平見勇雄
第９回	平家物語　後半	平見勇雄
第１０回	とはずがたり	平見勇雄
第１１回	吾妻鏡	平見勇雄
第１２回	徒然草	平見勇雄
第１３回	太平記	平見勇雄
第１４回	御伽草子	平見勇雄
第１５回	前期のまとめ	平見勇雄
第１６回	試験	平見勇雄

教科書

教・書籍名１	日本の古典	教・出版社名１	
教・著者名１	有名漫画家およそ３０人合作	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習A	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-314

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	古代オリエント、ギリシャ、ローマならびに初期中世から現代までの西洋音楽を総覧することが主題である。調性になれた我々の耳には異質に聞こえる古い時代の音楽から、調性が生まれて急速に多様化した近代の音楽、あるいは現代音楽までを一望のもとにおさめることで、学生は豊富な音楽資源を将来の芸術制作に動員できるようになる。
授業概要	最近研究が進んだ古代や中世の音楽や、調性が生まれて以降の膨大な数の音楽作品から重要な作品を選び出してこれを聴取し、最新の情報を踏まえて解説する。またyoutubeを駆使することで、驚くほど多様な作品群に接することになる。また折にふれて与えられた課題について指名された学生は発表をおこない、ほかの学生はこれに対して論評を求められる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題発表(50%)、試験(50%)
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	評価のための課題については次回授業で講評によりフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。また予告された音楽作品をyoutubeで聴取すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	古代世界の音楽	山本
第２回	三和音以前の中世音楽	山本
第３回	ルネサンス音楽	山本
第４回	エリザベス朝の音楽	山本
第５回	モンテヴェルディ	山本
第６回	ヘンデル	山本
第７回	バッハ	山本

第８回	グルックとモーツァルト	山本
第９回	ベートーヴェンとシューベルト	山本
第１０回	ロッシーニ	山本
第１１回	シューマンとブラームス	山本
第１２回	ワーグナーとブルックナー	山本
第１３回	マーラーとR.シュトラウス	山本
第１４回	戦間期ドイツの音楽と映画音楽	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習A	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-314

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、4年次卒業研究に向けて、映像作品企画を実現するため、一連の様々なプロセスである、予算の立て方、事業計画、制作、広報等を調査研究を行うことで、基礎的な能力を身につけ、作品を自分の表現として制作できるようになる応用技法を身につけることができる。 アニメーション制作におけるデジタル技術の理解とソフトウェア活用によるの画像作成および画像処理の応用スキルを身につけ、効果的な作品作成を行うための実践的な知識と技法を修得できる。また、必要に応じて代表的な3DCGソフトウェアの応用概念を学び、卒業研究に向けて3DCG作品作成過程の導入とすることができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「映像作品制作におけるコンピュータリテラシー」と「課題理解能力」である。
授業概要	アニメーション制作のデジタル化、3DCGソフトウェアの技法、立体的なキャラクターデザインの具体的な造形ポイントと動きのプログラムパターン作成などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題の進捗に応じてチェックとフォローアップを行う。最終成果物についてコメントを付記する。
履修条件・注意事項	卒業研究に向けての土台を設計する段階なので、政策課題の方向性を確立すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アニメーション制作に関する書籍やネットの情報を参照し、研究課題のテーマに沿って予習復習をおこなう。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて月曜4限に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	今村
第２回	3年次春期の研究課題の方向性確認	今村
第３回	3年次春期の研究課題作成の必要条件設定	今村
第４回	3年次春期の課題制作スケジュール設定	今村
第５回	3年次春期の課題制作開始（1）	今村
第６回	3年次春期の課題制作開始（2）	今村
第７回	3年次春期の課題制作開始（3）	今村
第８回	3年次春期の課題制作中間確認	今村
第９回	3年次春期の課題制作中間確認参考資料提示	今村
第１０回	3年次春期の課題制作中間確認による修正(1)	今村
第１１回	3年次春期の課題制作中間確認による修正(2)	今村
第１２回	3年次春期の課題制作中間確認による修正(3)	今村
第１３回	3年次春期の課題制作中間確認による修正チェック(1)	今村
第１４回	3年次春期の課題制作中間確認による修正チェック(2)	今村

第１５回	3年次春期の課題制作中間確認による修正チェック(3)と春期工程のまとめ	今村	
第１６回	春期制作課題試験	今村	
教科書			
教・書籍名１	各自の政策課題に応じて必要資料をPDFで配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習B			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-315		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	清水ゼミでは、映像作品の歴史的研究、作家論・作品論的研究を行うと同時に、映像作品の設計図と呼ばれるシナリオの制作および研究を大きな目標としている。 この「実践演習A」では、「すべてがわかる日本アニメ史入門」（彩流社）をテキストとして使い、日本アニメの歴史的流れを縦に辿りつつ、同時にその時々の主要作品と出来事についても並行して学ぶことにする。そうすることで、学生は映像の歴史の中の現在を知り、映像文化史の中のアニメーションの位置づけについても理解できるようになる。
授業概要	テキストとして使う「すべてがわかる日本アニメ史入門」（彩流社）は、「編年体と紀伝体を合わせた形」をその特徴としている。そのため、時間軸を中心に日本アニメの歴史を学ぶと共に、時々の主要な作品とそれにまつわる各種の出来事についても併せて知ることができる。それ故、学生は自分が一体何に関心があるのかを容易に発見できるし、それについて調べたり考察したりするモチベーションにも高いものが期待できよう。学生には、アニメについてのレポートをどのように書くかを学ぶいい機会になると考える。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	この授業では、授業への積極的な参加態度（40%）、プレゼンテーション（30%）、レポート提出（30%）などを合計し、総合的に評価を行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	レポートの提出や課題の発表がなされない場合は、評価不能となり単位認定ができないので特に注意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レポートの提出や課題発表のためには、当然のことながら予習・復習が必須である。予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	日本アニメの黎明期　1950-60	清水光二
第２回	白蛇伝、鉄腕アトム	清水光二
第３回	巨人の星、アタックNo.1	清水光二
第４回	ゲゲゲの鬼太郎	清水光二
第５回	日本アニメの勃興期　1970-80	清水光二
第６回	あしたのジョー	清水光二
第７回	アルプスの少女ハイジ	清水光二
第８回	機動戦士ガンダム	清水光二
第９回	ルパン三世　カリオストロの城	清水光二
第１０回	スタジオジブリの誕生	清水光二
第１１回	AKIRA	清水光二
第１２回	日本アニメの最盛期　1990年代	清水光二
第１３回	美少女戦士セーラームーン	清水光二
第１４回	新世紀エヴァンゲリオン	清水光二
第１５回	ほしのこえ	清水光二

第１６回	レポート試験		清水光二
教科書			
教・書籍名１	すべてがわかる日本アニメ史入門	教・出版社名１	彩流社
教・著者名１	アニメの旅人	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-7791-2776-2 C0095
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習B			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-315		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	春学期からの継続として、「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」をテーマにおき、実際にアニメーション製作に使われた企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等を使って製作の流れを引き続き理解する事を行う。学生が実際の作品での展開を調べる事で、プロデューサーが何を考え、展開を進めるかを学習する事でプロデュースの意味を理解する事を学生自身が理解する能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての勤務経験を元に、春学期からの継続として、私の今までプロデュースした作品群の企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等の資料を引き続き使う事でアニメーション製作の流れを理解させ、新たな作品・キャラクター展開のイメージを学生に作成させる事に主眼をおく。その上で現行の作品での展開を元に学生自身がプロデュースの行える事を目指す。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	テーマ「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（４０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（３０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデユーサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日3限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	ゼミナール運営に関するルール及び諸注意の説明	井上

第２回	研究課題の再確認	井上
第３回	研究内容の分析	井上
第４回	資料収集	井上
第５回	資料分析	井上
第６回	ゼミ生同士の討論	井上
第７回	研究内容の打ち合わせ	井上
第８回	中間まとめ	井上
第９回	研究発表準備	井上
第１０回	中間発表	井上
第１１回	結果の再考察	井上
第１２回	研究作成	井上
第１３回	研究発表準備	井上
第１４回	研究発表	井上
第１５回	総括	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習B			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-315		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は、「自主制作」をテーマとし、アニメーションなどを中心に制作研究を行うことで、基礎的な能力を身につけ、作品を自分の表現として制作できるようになる。選択肢として3DCGやクレイアニメなども視野に入れながら制作を行う。具体的な技法として手描きを中心に進めるが、ペンタブレットによる描画も選択肢に入れる。必要な知識と技術を修得し、同時に自主制作のための資料収集を行い、実験的な自主制作作品の制作を到達目標とする。
授業概要	卒業制作までの今後の制作計画を立て、必要な技術を身につけることが大変重要になる。自分にあった技法を探すために様々な技法に挑戦し、コンピューターのソフトの使用方法を含めた自主制作の能力を身につける。各自が自主的に学習して制作した内容を持ち寄って討論する形で学習を進める。手描きの能力を高めながら実写合成などの技法にも幅を持って取り組む。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、アニメーション文化研究に基づいて表現できる能力を身につけることを目的としていることから、研究態度（30%）、研究内容（30%）、単位認定試験　（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	卒業研究につながる演習であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、アニメーションに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、彫刻家、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アニメーションに関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。 美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、年間計画	前嶋英輝
第２回	研究概要、企画、イメージボード	前嶋英輝
第３回	絵コンテ作成・・・プロット提示	前嶋英輝
第４回	絵コンテ作成・・・プロット編集	前嶋英輝
第５回	キャラクター設定、原画作成	前嶋英輝
第６回	中間発表（企画修正と資料確認）	前嶋英輝
第７回	制作管理確認（配布資料）	前嶋英輝
第８回	制作ステップ確認と作画	前嶋英輝
第９回	制作ステップ確認と動画チェック	前嶋英輝
第１０回	中間発表準備	前嶋英輝
第１１回	中間発表（進行確認と討論）	前嶋英輝
第１２回	中間発表を受けての全体的修正	前嶋英輝

第１３回	制作ステップ確認と編集	前嶋英輝	
第１４回	制作ステップ確認と仕上げ	前嶋英輝	
第１５回	最終確認と研究発表準備	前嶋英輝	
第１６回	作品提出	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１	After Effects for アニメーション	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ新社
参・著者名１	大平幸輝	参・ＩＳＢＮ１	978-4-86100-699-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	実践演習B			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-315		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	情報倫理学の基本的な考え方を広く習得することがテーマである。 情報倫理学分野に関する知識を習得するとともに、論理的・合理的に思考できる基礎的能力を涵養する。 到達目標は、下記のことができるようになることである。 １）情報倫理学の基本的なテーマにどのようなものがあるか理解できる。 ２）情報倫理学の基本的なテーマについてどのような倫理的論点があるか理解できる。 ３）身の回りの問題に引き付けて、情報倫理学の基本的論点について考察できるようになる。 ただし、受講者の関心により変更することがある。
授業概要	Himma and Tavani(2008)The Handbook of Information and Computer Ethics, Wileyの章立てにしたがって、情報倫理学の基本的なテーマを解説し、その倫理的論点を考察する。英語の読解力があることが望ましいが、毎回簡単なレジュメを配布するので、とくに高度な読解力は必要としない。レジュメの概説後、教員と参加者で倫理的論点について議論を行い、理由・根拠を持った考察を行えるように訓練する。学期最後に、今学期紹介した基本的テーマ・倫理的論点のなかから興味のあるものを選び、2000文字程度のレポートを作成する。 ただし、受講者の関心により変更することがある。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	演習課題（発表等）への取り組み（受講態度）を30%、演習内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を20%の重みづけで評価する。また、課題等の提出物20%、レポートの成績を30%として最終的に総合評価を行う。これらの4つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業課題（提出レポート）に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	遅刻・欠席の際には事前連絡をすること。発表・討論に積極的に取り組まないと演習は成立しません。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：教科書・配布資料の指定する箇所を事前に読んでくること。また、論文作成のための準備のため、実際に論文の一部等を書いてもらいます。約2時間。 復習：演習で学んだことをもとに、実際に論文の一部を書いてみる、文献などの調査を行うなどの実践的な活動を要します。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 春学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	インターネット上の情報に対する責任	大谷
第３回	バーチャルリアリティとコンピュータシミュレーション	大谷
第４回	遺伝情報：認識論的問題と倫理的問題	大谷
第５回	サイバー紛争の倫理	大谷
第６回	倫理的リスク評価の実践的メカニズム	大谷

第７回	インターネットの規制とガバナンス	大谷
第８回	情報過負荷	大谷
第９回	迷惑メール（スパムメール）	大谷
第１０回	剽窃の問題	大谷
第１１回	知的財産権：オンラインファイル共有の法的・道徳的挑戦	検閲と表現へのアクセス
第１２回	大谷	コンピュータ倫理のジェンダー問題
第１３回	デジタルデバイド	大谷
第１４回	間文化的情報倫理	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	レポート試験	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	改訂新版　情報倫理入門	参・出版社名１	アイケイコーポレーション
参・著者名１	土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著	参・ＩＳＢＮ１	4874923240
参・書籍名２	AIの倫理学	参・出版社名2	丸善出版
参・著者名2	クーケルバーグ著、直江清隆訳者代表	参・ＩＳＢＮ2	978-4621305881

授業科目名	実践演習B			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-315		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は「自らの表現スタイルを確立する」ことをテーマとする。 自分の研究テーマを設定し、これまでに学修したことを総合して研究をまとめる。 作品制作による研究を行う場合は、技法やスタイルだけでなく主題構造を構築し、 十分に深めながら表現できる能力を身につける。 論文による研究を行う場合は、関心のあるテーマを選択し、先行研究を十分行った上で 明確な結論を引き出す能力を身につけることができる。 学生は、専門知識を確実におさえ、様々なジャンルやメディアに広く関心を持ち続けることで、 個性を生かした作品を完成できる。
授業概要	卒業研究を視野に、様々な表現について研究し、そこから選択した手法に基づき作品を制作する。 作品は可能な限り多数制作しポートフォリオの充実を目指す。 手法についてはアニメーションや立体物を含む広範な表現形式から選択する。 毎週の進捗状況に合わせて、プレゼンテーションを含む全体討議による発表を行い、 年間の制作進行表を作ってそのタイムスケジュールにそって自己管理しながら作品制作を進める。 この授業は、アニメーター、デザイナーとしてキャラクター、アニメ、イラストレーション等の ビジュアルデザイン制作を行った実務経験のある教員が担当する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、作家的主題の確立と、自らの世界観に基づいて表現できる能力を身につける ことを目的としていることから、研究態度（10%）、課題作品（40%）、単位認定作品（50%） の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。 ポートフォリオや作品などの課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら 指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回講評を行い作品ごとにフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	１）卒業研究につながる演習であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。２）共同研究を行う場合、分担が明確に示せることを条件とする。３）基本的なソフトウェアの操作に習熟できていることを条件とする。
実務経験のある教員	該当する　内容　1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アート表現に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について 予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上で随時質問相談を受け付けている。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	佐々木洋

第２回	ポートフォリオ要件定義	佐々木洋
第３回	就職と作品	佐々木洋
第４回	ポートフォリオ作成計画	佐々木洋
第５回	素材の仮配置	佐々木洋
第６回	不足技法リストアップ	佐々木洋
第７回	不足技法対策	佐々木洋
第８回	進捗確認と討議	佐々木洋
第９回	中間発表	佐々木洋
第１０回	分析と批評	佐々木洋
第１１回	フェルミ推定	佐々木洋
第１２回	作家性の自己確認	佐々木洋
第１３回	立ち位置を考える	佐々木洋
第１４回	最終確認と研究発表準備	佐々木洋
第１５回	単位認定作品講評	佐々木洋
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習B	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-315

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	留学生も多いことから日本の歴史を知る意味でも日本の古典をまんがで読んでいきます。テーマは日本の文化を漫画を通して知り理解につなげることです。到達目標は日本の文化を深く理解していくことです。学生はこの講義を受けることで、単に有名な名前の物語の表面的なことだけでなく、日本人ももしかしたら知らないかもしれない物語を知ることができるようになります。
授業概要	以下、漫画となっている日本の古典を漫画で呼んでいきます。とは言っても、すべてを知ることはできないので、それぞれのハイライトを取り上げてプリントを配布します。おそらく背景となる日本の歴史も若干学びながらの授業になります。時に、学生に発表してもらい、自分の国にも同じような物語があるのかどうか、他の学生にも教えてもらいます。物語をたくさん知ることで自分の中の引き出しが増え、創作の際のヒントがたくさんあると思います。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	どの程度毎週真剣に与えられた課題を読んでくるかで評価します。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	その都度、簡単なまとめを出してもらいます。授業での発表も評価の対象となります。
履修条件・注意事項	毎週課題を読んでこなければ意味がありません。予習は必修です。わかる範囲で読んできて下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	日本語の勉強にも、歴史の勉強にもなります。それぞれの本の、おおまかな概要を知ろうと努力して下さい。まず予習として２時間程度、ネットで構いませんからどういう内容なのか、いつ頃のものなのかを自分で調べてきて下さい。そして最も重要な部分、ハイライトの部分を漫画で紹介します。復習は毎回授業と予習で行ったことを自分の言葉で、およそ２時間程度かけてまとめてもらいたいと思います。日本の歴史、本の知識を身につけて下さい。
オフィスアワー	水曜日の３限です。研究室で。２号館６Ｆです。

	授業計画	担当者
第１回	信長公記	平見勇雄
第２回	三河物語	平見勇雄
第３回	好色五人女	平見勇雄
第４回	奥の細道	平見勇雄
第５回	葉穏	平見勇雄
第６回	心中天網島	平見勇雄
第７回	雨月物語	平見勇雄
第８回	東海道中膝栗毛	平見勇雄
第９回	浮世床	平見勇雄
第１０回	春色梅児誉美	平見勇雄
第１１回	怪談	平見勇雄
第１２回	春学期、秋学期のまとめ１	平見勇雄
第１３回	春学期　秋学期のまとめ２	平見勇雄
第１４回	春学期　秋学期のまとめ３	平見勇雄
第１５回	特に後期のまとめ	平見勇雄
第１６回	試験	平見勇雄

教科書			
教・書籍名１	日本の古典	教・出版社名１	
教・著者名１	有名漫画家およそ３０人合作	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習B			担当者	山本　敦之		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-315		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	映画技法の確立期から現代にいたるまでの重要な映像作家の作品群を総覧することが主題である。当然、単にストーリーを追うだけの素人的見方ではなく、制作者の立場を想像しながら、作品を分析する。これにより学生は、膨大な名作群を自分の映像制作に動員できるようになる(暗示引用なども含む)。
授業概要	近代に生まれた映画という媒体によって膨大な数の作品が作られてきたが、これらの作品群から重要な作品を選び出してこれを鑑賞し、解説する。youtubeを駆使することで、かつては見ることが困難だった多くの作品を見ることになる。またこれらの作品群についての研究も膨大なものがあり、これらの中から精選していくつかのものを紹介する。学生はこれらの学習を通じて、映像作品をこれまでになく分析的に見ることができるようになる。また折にふれて与えられた課題について指名された学生は発表をおこない、ほかの学生はこれに対して論評を求められる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題発表(50%)、試験(50%)
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題については次回授業で講評によりフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。また予告された映画をyoutubeで聴取すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	D.W.グリフィスと映画文法	山本
第２回	エイゼンシュタイン	山本
第３回	ドイツ表現主義映画	山本
第４回	ジョン・フォード	山本
第５回	ハワード・ホークス	山本
第６回	ヒチコック	山本
第７回	オーソン・ウェルズ	山本

第８回	黒澤明	山本
第９回	小津安二郎	山本
第１０回	溝口健二	山本
第１１回	成瀬己喜男	山本
第１２回	フィルム・ノワール	山本
第１３回	ヌーヴェルヴァーグ	山本
第１４回	キューブリック	山本
第１５回	タルコフスキー	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習B			担当者	今村　俊介		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-315		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、4年次卒業研究に向けて、映像作品企画を実現するため、一連の様々なプロセスである、予算の立て方、事業計画、制作、広報等を調査研究を行うことで、基礎的な能力を身につけ、作品を自分の表現として制作できるようになる応用技法を身につけることができる。 アニメーション制作におけるデジタル技術の理解とソフトウェア活用によるの画像作成および画像処理の応用スキルを身につけ、効果的な作品作成を行うための実践的な知識と技法を修得できる。また、必要に応じて代表的な3DCGソフトウェアの応用概念を学び、卒業研究に向けて3DCG作品作成過程の導入とすることができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「画像処理におけるコンピュータリテラシー」と「課題理解能力」である。
授業概要	アニメーション制作のデジタル化、3DCGソフトウェアの技法、立体的なキャラクターデザインの具体的な造形ポイントと動きのプログラムパターン作成などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題の進捗に応じてチェックとフォローアップを行う。最終成果物についてコメントを付記する。
履修条件・注意事項	卒業研究に向けての土台を確定する段階なので、制作課題の方向性を確定すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	提出した自分の研究計画を進捗に応じて修正し、修正した計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アニメーション制作に関する書籍やネットの情報を参照し、研究課題のテーマに沿って予習復習をおこなう。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて火曜4限に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	今村
第２回	3年次秋期の研究課題の方向性確認	今村
第３回	3年次秋期の研究課題作成の必要条件設定	今村
第４回	3年次秋期の課題制作スケジュール設定	今村
第５回	3年次秋期の課題制作開始（1）	今村
第６回	3年次秋期の課題制作開始（2）	今村
第７回	3年次秋期の課題制作開始（3）	今村
第８回	3年次秋期の課題制作中間確認	今村
第９回	3年次秋期の課題制作中間確認参考資料提示	今村
第１０回	3年次秋期の課題制作中間確認による修正(1)	今村
第１１回	3年次秋期の課題制作中間確認による修正(2)	今村
第１２回	3年次秋期の課題制作中間確認による修正(3)	今村
第１３回	3年次秋期の課題制作中間確認による修正チェック(1)	今村
第１４回	3年次秋期の課題制作中間確認による修正チェック(2)	今村

第１５回	3年次秋期の課題制作中間確認による修正チェック(3)と秋期工程のまとめ	今村	
第１６回	秋期制作課題試験	今村	
教科書			
教・書籍名１	各自の政策課題に応じて必要資料をPDFで配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

Syllabus

アニメーション文化学部
アニメーション文化学科

2020～2021 年度入学生

授業科目名	吉備国際大から世界へ 保健医療福祉学部以外	担当者	吉備国際大学未定教員、畝　伊智朗
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-KE-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１３．気候変動に具体的な対策を／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ： Think Globally Act Locally.グローバルに物事を見る、グローバルに考える。実践はローカルに。 到達目標： ヒト、モノ、カネ、情報が自由に世界を飛び回る時代。グローバル化、国際化が進展する現代では、グローバルな視点で、日本を見直す必要がある。日本の事情・都合だけで、政治・外交、経済、企業経営などを行なうことはできない。そのため、グローバルな視点で事象を観察、評価、判断できる能力が求められる。社会科学分野の基本概念を学ぶことを通じて、グローバルな視点を学び、世界の常識を学びながら、グローバル人材としての基本的思考を確立することを目指す。学生は、グローバルな視点で物事を判断できるようになる。
授業概要	将来、社会で活躍する学生は、国際関係、国際経済、難民問題、その他多くのグローバル事象を複眼的に検討し、日本の事情を理解した上で、自分の意見が言える必要がある。そして、それを踏まえつつ、地域社会で実践する。それがグローバル人材。そのため、社会科学の多くの視点、手法を学びつつ、それを通じて世界の常識を認識できるようになる。グローバル人材として当然知っておくべき基本的な内容を学べる授業である。 具体的なイッシューを題材として、講義を行なう。その際、経験的方法、量的論証、批判的思考方法の手法・視点を取り入れる。自己教育力を身につけてもらうため、問題解決型学習の実践も取り入れる。グループに課題を与え、実態を調査し解決策を検討する。その成果は、授業で発表を行なってもらう。 この科目が、他の教養科目の学修深化の一助となると共に、海外留学での学びや専門科目を履修する上での基礎を築くものとしたい。 なお、履修者の興味、関心などに基づき、ディスカッションのやり方、テーマなどは適宜調整する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業への参加度・コメント（40%）、グループ・プレゼンテーション（20%）、最終レポートの成績（40%）により、総合評価をおこなう。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	グループ・プレゼンテーションの結果は、各プレゼンテーションの後で、それぞれ講評を行う。最終レポートに関しては、コメントを付し、授業または事務室を経由して、返却する。
履修条件・注意事項	ワールドニュースを必ず観ること。チェックすること。世界で起こっていることに関して、興味関心を持つこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：本講義の担当教員は、米国に通算2ヶ年留学し、国際協力機構JICAで長年勤務し、その間、コートジボアール日本大使館、JICAケニア事務所、フランスにある国際機関経済協力開発機構（OECD）に勤務した経験があるほか、多くの外国要人の接遇経験もある。 それらの実務経験で学んだ暗黙知（本、論文、ネット記事などになっていないもの）を、

			授業の節目節目で共有し、講義にリアリティを持たせる。
事前学習・事後学習とその時間	毎日、新聞を読む。ネットニュースなどをチェックする。参考図書などを読んで特定テーマに関し調べることなど、授業1回当たり、事前学習90分、復習90分の自己学修を必要とする。		
オフィスアワー	2号館附属図書館内で、毎週月曜日3限目、5限目をオフィス・アワーとします。		

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション　グローバル・スタディーズで学ぶこと	畝 山本倫子
第２回	国境とは何か？	畝 山本倫子
第３回	人はなぜ移動するのか？	畝 山本倫子
第４回	なぜ、自衛隊を軍隊と呼ばないのか？	畝 山本倫子
第５回	国連憲章と日本国憲法	畝 山本倫子
第６回	ジェンダー、LBGT、少数民族	畝 山本倫子
第７回	グループ・プレゼンテーション	畝 山本倫子
第８回	価値、価格はどのように決まるのか？	畝 山本倫子
第９回	自由貿易は本当に世界を豊かにするのか？	畝 山本倫子
第１０回	産業の空洞化、技術流出とは何か？何が問題なのか？	畝 山本倫子
第１１回	多国籍企業とは何だろうか？	畝 山本倫子
第１２回	高齢化社会の課題	畝 山本倫子
第１３回	世界の教育問題、日本の教育問題。	畝 山本倫子
第１４回	なぜ、Liberal Artsを学ぶのか？	畝 山本倫子
第１５回	グループ・プレゼンテーションと総括	畝 山本倫子
第１６回	最終試験（レポート）	畝

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	国際関係論　同時代史への羅針盤	参・出版社名１	中公新書
参・著者名１	中島嶺雄	参・ＩＳＢＮ１	4-12-101106-6
参・書籍名２	経済学を味わう　東大1、2年生に大人気の授業	参・出版社名2	日本評論社
参・著者名2	市村英彦ほか	参・ＩＳＢＮ2	978-4-535-55955-4

授業科目名	吉備国際大から世界へ 留学生(再履１・２クラス)	担当者	日笠　恵美子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-KE-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・AL
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。
授業概要	主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業態度を平常点として２０点、ノートやレポート課題の提出を５０点、そして単位認定試験を３０点とし、これらを１００点満点で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業内にてフィードバック
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。 履修上の条件・注意点：履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。本科目は、プレイスメントテストの結果で、２クラスに編成する。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が修得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上予習することと、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	日笠
第２回	世界の中の日本、岡山、高梁	日笠
第３回	日本人の行動様式	日笠
第４回	日本の食文化	日笠
第５回	日本の伝統文化	日笠
第６回	健康法	日笠
第７回	教育と学び	日笠
第８回	余暇と娯楽	日笠

第９回	現代の社会	日笠	
第１０回	報道とマスコミ	日笠	
第１１回	ITと情報社会	日笠	
第１２回	科学と技術	日笠	
第１３回	日本の歴史	日笠	
第１４回	岡山の祭り	日笠	
第１５回	異文化理解	日笠	
第１６回	単位認定試験	日笠	
教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じてプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	漢字マスターN2	参・出版社名１	三修社
参・著者名１	アークアカデミー	参・ＩＳＢＮ１	978-4-384-05632-7
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	吉備国際大から世界へ 留学生（再履3・4クラス）	担当者	井上　光惠
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-KE-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。
授業概要	日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を身につける。掲げたテーマごとにグループディスカッション行ったり、プレゼンテーションを行い、総合的で多角的な日本語力を身を養成する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業態度を平常点として２０点、プレゼンテーション・小テスト・課題の提出などを３０点、そして単位認定試験５０点とし、これらを１００点満点で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	① テキストで新しく学習した語彙・文型の練習問題を毎回の課題とし、翌週その答えのチェックとフィードバックを行う。 ② 初中級レベルの「漢字」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストをしフィードバックを行う。 ③テーマごとにプレゼンテーションを行い、フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも平常点として考慮する。単位認定試験に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎週の授業内容を踏まえて、事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間、教室にて

授業計画		担当者
第１回	１．オリエンテーション　自己紹介	井上光惠
第２回	２．トピック２（食文化）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光惠
第３回	３．トピック２（食文化）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠

第４回	４．トピック２（食文化）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第５回	５．トピック３（観光）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光惠
第６回	６．トピック３（観光）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠
第７回	７．トピック３（観光）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第８回	８．トピック５（行事）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光惠
第９回	９．トピック５（行事）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠
第１０回	１０．トピック５（行事）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第１１回	１１．トピック７（歴史）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光惠
第１２回	１２．トピック７（歴史）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠
第１３回	１３．トピック７（歴史）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第１４回	１４．振り返り	井上光惠
第１５回	１５．総括	井上光惠
第１６回	単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	まるごと　ことばと文化　初級２　A2　りかい	教・出版社名１	三修社
教・著者名１	来嶋洋美　柴原智代　八田直美　今井寿枝　木谷直之	教・ＩＳＢＮ１	978-4-384-05757-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	漢字たまご 初中級	参・出版社名１	凡人社
参・著者名１	嶋田和子 有山有樹 落合知春	参・ＩＳＢＮ１	978-4-89358-832-6
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	吉備国際大から世界へ （秋入学生）(再履１・2クラス)	担当者	日笠　恵美子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-KE-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・AL
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。
授業概要	主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業態度を平常点として２０点、ノートやレポート課題の提出を５０点、そして単位認定試験を３０点とし、これらを１００点満点で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業内にてフィードバック
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。 履修上の条件・注意点：履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。本科目は、プレイスメントテストの結果で、２クラスに編成する。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が修得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上予習することと、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	日笠
第２回	世界の中の日本、岡山、高梁	日笠
第３回	日本人の行動様式	日笠
第４回	日本の食文化	日笠
第５回	日本の伝統文化	日笠
第６回	健康法	日笠
第７回	教育と学び	日笠

第８回	余暇と娯楽	日笠	
第９回	現代の社会	日笠	
第１０回	報道とマスコミ	日笠	
第１１回	ITと情報社会	日笠	
第１２回	科学と技術	日笠	
第１３回	日本の歴史	日笠	
第１４回	岡山の祭り	日笠	
第１５回	異文化理解	日笠	
第１６回	単位認定試験	日笠	
教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じてプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	漢字マスターN2	参・出版社名１	三修社
参・著者名１	アークアカデミー	参・ＩＳＢＮ１	978-4-384-05632-7
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	吉備国際大から世界へ （秋入学生）（再履３・４クラス）	担当者	井上　光恵
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-KE-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。
授業概要	日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を身につける。掲げたテーマごとにグループディスカッション行ったり、プレゼンテーションを行い、総合的で多角的な日本語力を身を養成する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業態度を平常点として２０点、プレゼンテーション・小テスト・課題の提出などを３０点、そして単位認定試験５０点とし、これらを１００点満点で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	① テキストで新しく学習した語彙・文型の練習問題を毎回の課題とし、翌週その答えのチェックとフィードバックを行う。 ② 初中級レベルの「漢字」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストをしフィードバックを行う。 ③テーマごとにプレゼンテーションを行い、フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも平常点として考慮する。単位認定試験に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎週の授業内容を踏まえて、事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間、教室にて

授業計画		担当者
第１回	１．オリエンテーション　自己紹介	井上光恵
第２回	２．トピック２（食文化）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光恵

第３回	３．トピック２（食文化）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠
第４回	４．トピック２（食文化）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第５回	５．トピック３（観光）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光惠
第６回	６．トピック３（観光）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠
第７回	７．トピック３（観光）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第８回	８．トピック５（行事）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光惠
第９回	９．トピック５（行事）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠
第１０回	１０．トピック５（行事）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第１１回	１１．トピック７（歴史）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光惠
第１２回	１２．トピック７（歴史）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠
第１３回	１３．トピック７（歴史）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第１４回	１４．振り返り	井上光惠
第１５回	１５．総括	井上光惠
第１６回	単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	まるごと　ことばと文化　初級２　A2　りかい	教・出版社名１	三修社
教・著者名１	来嶋洋美　柴原智代　八田直美　今井寿枝　木谷直之	教・ＩＳＢＮ１	978-4-384-05757-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	漢字たまご 初中級	参・出版社名１	凡人社
参・著者名１	嶋田和子 有山有樹 落合知春	参・ＩＳＢＮ１	978-4-89358-832-6
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	地域学概論 アニメ			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-KE-1-002		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	＜きびこく学・前半8回＞ 本学の教育目標である「地域創成に実践的に役立つ人材の養成」を達成するための導入的教育として位置づけられる科目である。テーマとしては、順正学園及び大学が、立地する地元地域社会の中で発展を遂げてきた歴史、ならびに地域の歴史や文化、人々の生活等について理解を深めるとともに、地域社会の現状を理解し、地域創成に向けて取り組むべき課題について学ぶことがあげられる。 到達目標としては次の2点があげられる。 ①順正学園及び大学の歴史ならびに地域社会の歴史的特性や現状を理解し、地域創成のための取り組むべき課題を理解できる。 ②地域創成に向けて、学生としてどのような貢献ができるか考え、チャレンジする態度を涵養できる。 ＜SDGs概論・後半8回＞ 「地球環境システムと人間社会システムの現状とSDGsの必要性と意義の理解」をテーマとし、SDGsの概要について学ぶ。 到達目標は以下の通り。 ①地球環境システムと人間社会システムの現状とSDGs策定の背景が理解できる。 ②SDGsについて全体像を把握し、その概要を説明できる。 ③SDGsの各目標を自分事として捉えることができる。 ④SDGsの達成に向けて必要な取り組みを実行することができる。
授業概要	＜きびこく学・前半8回＞ 順正学園及び大学が、立地する地域の中で発展を遂げてきた歩み(歴史)を概観するとともに、地元地域で様々な活動を展開されている方々を講師に招き、地域の歴史や文化、人々の生活ならびに地域社会の現状や課題等についてご講演いただき、地域の特性や課題について理解を深める。また、毎回の講義の中で、学生の立場で地域の課題解決や発展にどのような貢献ができるのか考え、生活の主体者として地域創生に向けて取り組む姿勢を涵養することができるよう、レポート課題に取り組む。 ＜SDGs概論・後半8回＞ 2030年までの国際目標である「持続可能な開発目標SDGs」について、その背景や目的を学ぶと共に、SDGsの17の目標について概要を学ぶ。また、SDGs達成に向けて実際にどのような取り組みが行われているかを学ぶ。そして、学生自らがその実現に向け、何ができるか、また何をしなければならないかを考え、実行しようとする能力を身につける。 授業は全学科の学生が受講する合同授業と各学科の授業で構成されている。合同授業は、地球環境システムと人間社会システムの現状とSDGs策定の経緯およびSDGsの概要について講義形式で教授する。各学科の授業ではグループに分かれてSDGs達成に向けた施策をまとめ、グループ毎に発表をおこない課題解決能力を養う。
アクティブラーニングの内容	PBL／グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）

評価方法と割合	＜きびこく学・前半8回＞ 毎回授業時提出のレポート評価(70%)、第8回目に行う学修成果確認レポート作成の評価(30%)により、総合的に評価する。 ＜SDGs概論・後半8回＞ グループでの活動及び発表を評価する(50%)。最後に筆記試験を行いSDGsの理解度を評価する(50%)。 詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。		
ルーブリック評価			
課題や試験のフィードバック方法	＜きびこく学・前半8回＞ 毎回の授業でレポート提出を課すが、次回の授業時までに内容を評価し返却する。 ＜SDGs概論・後半8回＞ 振り返りレポートを評価して次回授業で返却する。		
履修条件・注意事項	＜きびこく学・前半8回＞ 地域の様々な立場にある外部講師による有益な講義を多く導入しているので、受講態度に十分留意して毎回必ず出席すること。 受講内容に関するレポート課題には、単に感想を述べるのではなく、真摯に、積極的に取り組むこと。 ＜SDGs概論・後半8回＞ ①初回の授業には、必ず出席すること。 ②学科別授業ではグループワークを行うことから、授業を欠席しないこと。 ③合同授業日と各学科授業日があるので注意すること。		
実務経験のある教員	該当する	内容	＜きびこく学・前半8回＞ 授業を担当する複数の講師は、いずれも学園や大学の創設に中心的役割を担い尽力した講師や、地域社会の中で様々な活動を展開している実務経験の豊富な講師で
事前学習・事後学習とその時間	＜きびこく学・前半8回＞ １）事前にユニパを通じて配布する資料に十分目を通すとともに、インターネット等を通じて授業内容に関する情報を収集するなど、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。 ２）授業後には、学修内容を振り返り、不明な点や確認したいことなどを各自で調べるなど、毎回2時間以上の事後学修を行うこと。 ＜SDGs概論・後半8回＞ ユニパで配布する資料を基に事前学修をすること。また、授業終了後は必ず復習を行うこと。予習及び復習は各2時間程度行うこと。		
オフィスアワー	＜きびこく学・前半8回＞ 個人研究室(10313)にて、水曜日5限に実施 ＜SDGs概論・後半8回＞ 個人研究室(14601号室)にて、木曜日5限に実施		

	授業計画	担当者
第１回	＜きびこく学・前半8回＞ オリエンテーション 地域創成と何かー「きびこく学」を学ぶ意義と授業計画について	大西正泰(経営社会学科) (各学科担当教員)
第２回	順正学園及び吉備国際大学の歴史について	加計美也子 順正学園副総長
第３回	高梁市の歴史と文化及び政策課題と今後の方向性について	近藤隆則 高梁市長
第４回	高梁基督教会堂(岡山県指定史跡)をめぐる歴史と人物	高梁基督教会牧師　八木橋康広
第５回	日本遺産「備中吹屋」	吹屋ふるさと村村長　戸田誠
第６回	「未来につなぐ図書館」としての活動	高梁市図書館統括マネージャー　宮地 康志
第７回	宇治地域住民総働のまちづくり	宇治地域市民センター長

		中曽 まゆみ
第８回	「山田方谷紹介用DVD視聴」によるレポート作成、ならびに全授業の学修成果振り返りレポート作成	各学科担当教員
第９回	＜SDGs概論・後半8回＞ SDGsとは何かーなぜ学ぶのか (オリエンテーションを含む)	井勝久喜(経営社会学科) (各学科担当教員)
第１０回	2030アジェンダ採択までの経緯	井勝久喜 (各学科担当教員)
第１１回	SDGsが目指している世界	井勝久喜 (各学科担当教員)
第１２回	SDGsの17の目標	井勝久喜 (各学科担当教員)
第１３回	グループ分けと検討課題の設定	各学科担当教員
第１４回	グループ別発表1回目	各学科担当教員
第１５回	グループ別発表2回目	各学科担当教員
第１６回	試験	各学科担当教員

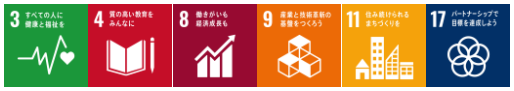
教科書			
教・書籍名１	使用しない（毎回授業用資料を配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	「備中高梁」に学ぶ	参・出版社名１	吉備人出版
参・著者名１	吉備国際大学「備中高梁学」研究会	参・ＩＳＢＮ１	9784860691967
参・書籍名２	SDGsとは何か	参・出版社名2	三和書籍
参・著者名2	安藤顯	参・ＩＳＢＮ2	9784862513984

授業科目名	地域貢献ボランティア アニメ	担当者	大谷　卓史
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-KE-2-003

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	△	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１１．住み続けられるまちづくりを／１７．パートナーシップで目標を達成しよう 
到達目標	テーマ：備中高梁でアニメーション文化学部が取り組む地域貢献活動を知り、多様な社会課題に関する知識を修得し、その課題解決のプロセスを経験する。 到達目標は、学生が次のことができるようになることである。 ①海外を含む学生の出身国（日本を含む）・地域が有する社会課題について知り、説明ができるようになる。 ②備中高梁でアニメーション文化学部が取り組む地域貢献活動やその他地域の地域振興活動とその目標・目的について知り、説明できるようになる。 ③上記②の地域貢献活動をさらに発展させる方法や、より効果的に目標・目的を達成する方法について提案ができる。 ④グループでの演習活動を通じて、多様な考え方やそれぞれの価値観の違いを知る。 ⑤学習成果の発表機会を通じ、プレゼンテーション力が身に着く。
授業概要	既習の他の必修科目（人間力育成科目：きびこく学、SDGs概論）でアニメーション作品等を通じて学んだ各地域の現状・課題の知識をもとに、さまざまな地域の社会課題解決のためにアニメーション文化学部やほかの組織が取り組む事例を学び、さらにこれらの活動を発展させる方法や、より効果的に目標・目的を達成する方法についてグループで検討し、提案ができるようになることを目指す。大学が位置する備中高梁を含む岡山県や中山間地の社会課題について、アニメーション文化学部が取り組む事例とともに、ほかの地域の社会課題に取り組む事例などを紹介する。グループワークを通じて、これらの事例をもとによりそれらの活動を発展させる方法や、より効果的に目標・目的を達成する方法を提案し、各チームごとにプレゼンテーションして発表する。そのうえで、グループで話し合って海外を含む自らの出身地域や居住地の社会課題を取り出し（出身国・出身地域が異なるグループメンバーにとって共通の課題でもよいし、グループメンバー誰かの出身国・出身地域の社会課題でもよい）、授業で紹介された事例やその事例を改善した問題解決方法を応用して、どのようにその社会課題に取り組むかグループで考察を行い、その結果について提案する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	プレゼンテーション（60%）・ポートフォリオ内容（40%）　授業ポートフォリオは、いわゆる「大福帳」（シャトルカード）を利用する。各回の授業終了までにその回で学んだこと、その学んだことに関する自分自身の意見や感想、質問等を書くこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	「大福帳」に書いた内容に関しては、担当者が閲覧し、受講者の意見・感想・質問に対するコメントを付して返却する。
履修条件・注意事項	留学生（N2合格者以外）については、原則、2年次以降の履修とする。理由としては、グループでのディスカッションや発表機会が多くあるためである。
実務経験のある教員	該当する　内容　地域貢献活動に実際に従事する教員および、外部講師が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回発表機会があるので、その準備のために2時間程度の予習・復習時間を要する。
オフィスアワー	担当教員（大谷）のオフィスアワーは下記のとおりである。 春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室）

	秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	授業オリエンテーション	大谷
第２回	演習グループ、チームづくり（自己紹介等含む）	大谷
第３回	地方に広がるアニメスタジオ・ゲーム関連企業：コンテンツ産業立地論	井上・大谷
第４回	「米子映画事変」と地域振興活動	外部講師（米子ガイナックス）・大谷卓史
第５回	半農・半アニの地域に根差したアニメスタジオを目指して	外部講師（えかきや）・大谷卓史
第６回	児島で3Dキャラクターをつくる	外部講師（株式会社なのです）・大谷卓史
第７回	課題解決ワーク:各地の事例から見るコンテンツ産業と地域振興	大谷
第８回	成果発表:各地の事例から見るコンテンツ産業と地域振興	大谷
第９回	ゲームジャム高梁：ゲームジャムと若手クリエイター育成	外部講師・大谷卓史
第１０回	ICTを通じて地域住民の交流を促す：ICTクラブ高梁	外部講師・大谷卓史
第１１回	クリエイティブフェスティバル：eスポーツと地域振興	外部講師・大谷卓史
第１２回	課題解決ワーク:アニメーション文化学部の地域貢献活動をアップデートする	大谷
第１３回	成果発表:アニメーション文化学部の地域貢献活動をアップデートする	大谷
第１４回	課題解決ワーク：自分の出身地域や居住地の社会課題をコンテンツで解決できるか	大谷
第１５回	成果発表：自分の出身地域や居住地の社会課題をコンテンツで解決できるか	大谷
第１６回	学習成果ポートフォリオまとめ	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ローカルコンテンツと地域再生 観光創出から産業振興へ	参・出版社名１	水曜社
参・著者名１	増淵敏之	参・ＩＳＢＮ１	978-4880654515
参・書籍名２	コンテンツツーリズム メディアを横断するコンテンツと越境するファンダム	参・出版社名2	北海道大学出版会
参・著者名2	山村高淑、フィリップ・シートン	参・ＩＳＢＮ2	978-4832968677

授業科目名	キャリア開発Ⅰ アニメ			担当者	今村　俊介		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-CG-1-001		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	８．働きがいも経済成長も
到達目標	【到達目標】社会的自立と職業的自立にむけて、自分の生き方・働き方を計画（キャリアデザイン）し、実行できる人間力と社会人意識の基礎を身につける。 キャリアとは、生涯にわたる様々な立場や役割における自己と働くこととの関係づけや価値づけで、人生そのものである。そして、キャリアデザインとは、卒業後の将来を見据えて自らの生き方・働き方を考え、計画することである。大学生活を充実させ、社会で生きていくためには、自立的・主体的に考えて行動し、問題や課題に直面したときに自分で対処し解決する力が必要となる。そのためには、社会が求める人間像（自主性、責任感、教養、分別、コミュニケーション力）について考え、自分自身を知り目標をもって実行していくことが必要である。 したがって、この科目の具体的な到達目標として、以下の3点を設定する。 ①学生は自分自身を知り、社会を知ることで、自らの将来をイメージしながら、社会に出て働く意味や自分の目標を明確化できる。 ②学生はその目標や社会的自立に向けて、自身のキャリアをデザインし、大学生活をどのように過ごすか考え、実践できる。 ③学生は社会人としての基礎力であるコミュニケーション能力、社会人意識、職業選択能力を向上できる。
授業概要	授業は、合同授業と学科別授業で構成されている。合同授業では、キャリアとは何か、キャリアをデザインするとはどのようなことか、大学生活における心身の健康やキャリア実践活動、一般的学力（自己理解）について講義や演習を行う。また、マイステップを使用する「キャリアデザインノート」の意義や作成方法についても説明し、個人の記録として卒業まで活用していく。 授業全体を通して、「自分を知る」「社会を知る」「社会とつながる」「生き方を考える（大学生活を含む）」「働き方を考える」という5つのテーマで構成し、ワークシートやキャリアデザインノートへの記入、グループワークやディスカッションといった演習活動を行って自分の人生を考えることができるようにする。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	授業時間内の活動や発言（30%）、ワークシートやキャリアデザインノートへの記入（30%）、基礎学習（kiuiドリル）実施状況（20%）、最終試験あるいはレポート（20%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	ワークシートやキャリアデザインノートの記入内容については、授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回、資料やプリントを配布するので、第1回目授業からファイルを持参すること。

実務経験のある教員	該当する	内容	第2回、5回、14回は、キャリア形成や就職支援の実務経験のある外部講師を招き、キャリアデザインの基礎となる自己理解の演習を行う。
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、授業内で配布された資料や参考図書を読んでおく。 事後学習として、授業内で配布された資料を読み、次回までの課題が提示された回はその課題に取り組む。随時、自身のキャリア実践やプランについて「キャリアデザインノート」に記載していく。 各２時間の学修時間を目安とする。		
オフィスアワー	14号館6階の個人研究室にて、毎週月曜日4限目をオフィスアワーの時間とする。		

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・キャリアとは何か	今村
第２回	自分を知る・社会を知る：興味検査（VPI）or適正検査（GATB）	外部講師：マイナビ
第３回	自分を知る・生き方を考える：メンタルヘルス	森信
第４回	生き方を考える：キャリアデザインとは何か、大学生活の意義	藤原
第５回	自分を知る：基礎学力（1回目）、大学生活の基礎	外部講師（ラインズ・マイナビ）
第６回	社会とつながる：対人コミュニケーション	今村
第７回	社会を知る・つながる：キャリア実践となる課外活動	藤原、外部講師（ボランティアセンター）
第８回	自分を知る・社会を知る：社会人基礎力	今村
第９回	自分を知る：自分の強みと弱み	今村
第１０回	社会とつながる：対人関係力	今村
第１１回	生き方を考える：これまでの振り返りとライフプラン	今村
第１２回	社会を知る・働き方を考える：学科の専門性や資格を活かす仕事	今村
第１３回	社会を知る・働き方を考える：興味関心や能力を活かす仕事	学科
第１４回	自分を知る：基礎学力（２回目）、将来に向けて	外部講師：ラインズ・マイナビ
第１５回	まとめ：キャリアデザインノートの作成	今村
第１６回	レポート（キャリアデザインノートの提出）	今村

教科書			
教・書籍名１	教科書は指定しない。毎回、資料やワークシートを配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	キャリア開発Ⅰ 留学生（アニメ）	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CG-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	卒業後の社会人としての人生に向け、４年間の大学生生活（授業、ボランティア、アルバイト、クラブ活動など全般）でいかにキャリアを積み上げるかを考え、卒業までの過ごし方を計画（自己のキャリアデザイン）し、実行を始める。社会が求める人間像を学びつつ、自己分析力を身につけ、卒業までの各節目に常に自己分析をし、その時点で何を身につけるべきか、何をすべきかを考えることができるようになる。
授業概要	社会が求める人間像を学びつつ、特に自己分析力を身につけ、キャリアデザインを考え実行出来るようになるための授業である。 合同授業と、各学科単位での授業の２形態とする。合同授業は、学生生活と卒後の就職などについての授業である。学科単位の授業は、各学科の特性を考慮し、教員の経験や実績を活かした内容とする。 全授業を、ワークシートや配布資料をファイルし、キャリアポートフォリオとして整理し、個人の成長の記録として卒業まで活用する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	評価の内訳は、毎回のレポート内容60％、ポートフォリオ整理20％、授業態度20％とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	レポートはフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	合同授業は指定した教室で行う。各学科で行う授業は各学科の指示に従うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この授業では一部講義において、実務経験のある企業の方を招き、日本に暮らす留学生としてのマナーなどについて講義を行い、学生の理解を深める。
事前学習・事後学習とその時間	学生のこれからのキャリアを考える場合、社会のニーズと自分の適正とのマッチングを図ることが重要で、そのためにはその両方に関する普段の省察が必要である。新聞やニュースを通じて、社会の情勢（学科の特性を考えれば、特にアニメ文化やアニメ業界のこと）に敏感になろう。と同時に、自分自身への振り返りも行おう。毎日新聞やニュースに接する時間を各自が確実に設けること、これをこの授業の普段の予習・復習とする。なお、予習・復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜１限目と水曜４限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	１年生の学び　キャリアとは何か	ｃｓｃ
第２回	社会を知る：日本の法律、社会におけるルールとマナー	ｃｓｃ
第３回	社会を知る：地域での生活、日常生活の基礎知識	ｃｓｃ
第４回	日本での生活　マナー　３年後に向けて	ｃｓｃ
第５回	社会を知る・社会とつながる：日本語を使う・遊ぶ	清水光二
第６回	自分を知る・社会とつながる：日本語能力・コミュニケーション	清水光二
第７回	自分を知る・社会とつながる：自己紹介・短文作り	清水光二
第８回	社会を知る・つながる：キャリア実践となる課外活動	ｃｓｃ
第９回	社会とつながる：会話（聞く、話す）	清水光二
第１０回	社会とつながる：文章理解・問題読解	清水光二
第１１回	社会とつながる：対人関係・会話力	清水光二

第１２回	自分を知る：自分の強みと弱み		清水光二
第１３回	自分を知る・生き方を考える：興味関心や能力を活かす仕事		清水光二
第１４回	社会を知る・生き方を考える：学科の専門性を活かす仕事		清水光二
第１５回	まとめ：キャリアデザインノートの作成		清水光二
第１６回	レポート試験		清水光二
教科書			
教・書籍名１	プリント等を適宜配布。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	大学生のためのキャリア開発入門	参・出版社名１	中央経済社
参・著者名１	渡辺 峻	参・ＩＳＢＮ１	4502397709
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	キャリア開発Ⅱ アニメ	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理3年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社3年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化3年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他3年	ナンバリング	GE-CG-3-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	８．働きがいも経済成長も／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	自分に適した職業を具体的に選択し、就活を成功させるための能力を獲得することがテーマである。学生は各自の適した進路・職業を選択できる。また、選択した進路および社会一般が求める人間像について考え、身につけておくべき自主性や責任感、社会人としての常識や教養、分別、協調性や振舞い方を再確認し、実質的なものにすることができる。
授業概要	合同授業日と各学科の授業日で構成されている。合同授業は、リクルート、ベネッセ、山陽新聞社、労働局などの外部講師によるもので、実践的就活テクニックが身につくよう、配慮されている。学科授業では、それらを復習し総括することになる。実務経験のある教員による授業。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業での課題(90%)、定期試験(10%)。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックは課題に対する講評によっておこなう。
履修条件・注意事項	合同授業と各学科の授業では教室が異なるので注意。熱意をもって積極的に取り組むこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	授業での配布資料は復習してファイルすること。授業については、テーマを確認して、ネットで予習すること。予習、復習は各100分。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	就職活動準備情報収集　登録	情報サイト
第２回	インターンシップの必要性・申し込み方	シーズ
第３回	自分の傾向を学ぶ	リクナビ
第４回	自己分析・自己PR	ビザビ
第５回	エントリーとは・エントリーシート攻略	学情・ベネッセ

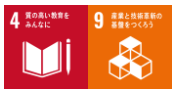
第６回	乗り遅れるなWEB就活	シーズ
第７回	業界・職種を理解する	ティスコ
第８回	業界研究・職業教育	中小企業同友会
第９回	SPI(筆記試験)対策	リクナビ
第１０回	労働関係法規	岡山労働局
第１１回	社会人に必要なマナー	リクナビ
第１２回	エントリーシート攻略フォロー・自分を振り返る	ベネッセ
第１３回	履歴書の書き方・応募書類の出し方	マイナビ
第１４回	面接対策・GD/集団/個人/WEB	ビザビ
第１５回	まとめ　内定お礼・内定辞退　お詫び	マイナビ
第１６回	単位認定試験	山本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	自分のキャリアを自分で考えるためのワークブック	参・出版社名１	日本能率協会マネジメントセンター
参・著者名１	小野田博之	参・ＩＳＢＮ１	4-8207-4302-3
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ｉ スポ社	担当者	天岡　寛、羽野　真哉
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-IT-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう 
到達目標	全学共通の基礎教育科目として、高校までに習得したコンピュータリテラシーをもとに、入学してから半期の間で、大学生に必要とされる必要最低限の一般教養としてのコンピュータスキルを身につけることを到達目標とする。 コンピュータ基本操作および基礎的アプリケーションソフトの利用をおこなえるように学習し、学科のディプロマポリシーに従って、大学でITを活用した効率的な学習を行うための基礎知識を習得する。
授業概要	情報モラルとセキュリティ、情報システムの利用と社会問題、OSの基本操作、インターネットの閲覧とブラウザの基本操作、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトの活用、ネットワーク、インターネットによる情報検索、コンピュータによる問題解決、ハードウェアとソフトウェア、デジタルデータのしくみなどについて学習する。 講義の内容に対応して、パソコンを使用し適宜演習が行われる。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	「コンピュータスキル」の定着を確認するため、講義内で用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30％の重みづけで評価される。また、課題等の提出物30％、試験の成績を40％として最終的に総合評価が行われる。これらの３つの評価をバランスよく得ていることが単位認定（到達目標）の判断基準とされる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	教科書は必ず初回の講義から持参すること。 講義は指定されたクラス・講義室で受講すること（受講者数はパソコン教室の定員以内とする）。 オリエンテーション等で、講義が始まる前までにコンピュータリテラシーのスキルを調べる「技能確認シート」が実施される場合がある。このシート未受験者の履修はその理由によっては認められないこともある。 高校までで習得したコンピュータリテラシーを踏まえた講義であるため、受講前までに高校で得た知見を十分復習しておくこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。
オフィスアワー	水曜日4時限目　9号館4階研究室

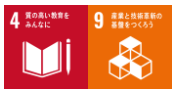
授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション（クラス・教科書、ログイン等確認、Teamsの操作）	天岡・羽野
第２回	パソコンのハードウェアと周辺機器	天岡・羽野

第３回	デジタルデータのしくみ（ビット/バイト・標本化・コード）	天岡・羽野
第４回	OSとアプリケーション	天岡・羽野
第５回	ファイルシステム操作	天岡・羽野
第６回	文書作成（ワープロソフト）操作	天岡・羽野
第７回	文書作成（ワープロソフト）課題	天岡・羽野
第８回	表計算ソフト操作	天岡・羽野
第９回	表計算ソフト課題	天岡・羽野
第１０回	プレゼンテーションソフト操作	天岡・羽野
第１１回	プレゼンテーションソフト課題	天岡・羽野
第１２回	ネットワークとインターネット	天岡・羽野
第１３回	インターネットによる情報検索・情報セキュリティ	天岡・羽野
第１４回	コンピュータの歴史・コンピュータによる問題解決	天岡・羽野
第１５回	情報モラルと社会問題、まとめ・質疑	天岡・羽野
第１６回	単位認定試験	天岡・羽野

教科書			
教・書籍名１	情報リテラシー 入門編 Windows 11 / Office 2021対応（FPT2117）	教・出版社名１	FOM出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	978-4-938927-54-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ｉ アニメ			担当者	今村　俊介		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-IT-1-001		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう 
到達目標	全学共通の基礎教育科目として、高校までに習得したコンピュータリテラシーをもとに、入学してから半期の間で、大学生に必要とされる必要最低限の一般教養としてのコンピュータスキルを身につけることを到達目標とする。 学生はコンピュータ基本操作および基礎的アプリケーションソフトの利用をおこなえるように学習し、学科のディプロマポリシーに従って、大学でITを活用した効率的な学習を行うための基礎知識を習得することができる。
授業概要	情報モラルとセキュリティ、情報システムの利用と社会問題、OSの基本操作、インターネットの閲覧とブラウザの基本操作、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトの活用、ネットワーク、インターネットによる情報検索、コンピュータによる問題解決、ハードウェアとソフトウェア、デジタルデータのしくみなどについて学習する。 講義の内容に対応して、パソコンを使用し適宜演習が行われる。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	「コンピュータスキル」の定着を確認するため、講義内で用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30％の重みづけで評価される。また、課題等の提出物30％、試験の成績を40％として最終的に総合評価が行われる。これらの３つの評価をバランスよく得ていることが単位認定（到達目標）の判断基準とされる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	教科書は必ず初回の講義から持参すること。 講義は指定されたクラス・講義室で受講すること（受講者数はパソコン教室の定員以内とする）。 オリエンテーション等で、講義が始まる前までにコンピュータリテラシーのスキルを調べる「技能確認シート」が実施される場合がある。このシート未受験者の履修はその理由によっては認められないこともある。 高校までで習得したコンピュータリテラシーを踏まえた講義であるため、受講前までに高校で得た知見を十分復習しておくこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：担当教員は、前職で専門学校のコンピュータ・インストラクターとして5年間従事し、パソコンとソフトウェアのトレーニングを行った経験を持つ。その他企業または専門職を対象として個別レッスン及びシステム構築のサポートを担当した経験を持つ。
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて月曜4限に実施。 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メール

	にて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション（クラス・教科書、ログイン等確認、Teamsの操作）	今村
第２回	パソコンのハードウェアと周辺機器	今村
第３回	デジタルデータのしくみ（ビット/バイト・標本化・コード）	今村
第４回	OSとアプリケーション	今村
第５回	ファイルシステム操作	今村
第６回	文書作成（ワープロソフト）操作	今村
第７回	文書作成（ワープロソフト）課題	今村
第８回	表計算ソフト操作	今村
第９回	表計算ソフト課題	今村
第１０回	プレゼンテーションソフト操作	今村
第１１回	プレゼンテーションソフト課題	今村
第１２回	ネットワークとインターネット	今村
第１３回	インターネットによる情報検索・情報セキュリティ	今村
第１４回	コンピュータの歴史・コンピュータによる問題解決	今村
第１５回	情報モラルと社会問題、まとめ・質疑	今村
第１６回	単位認定試験	今村

教科書			
教・書籍名１	情報リテラシー 入門編 Windows 11 / Office 2021対応（FPT2117）	教・出版社名１	FOM出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	978-4-938927-54-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ⅱ			担当者	佐藤　匡		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-IT-1-002		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	政府の「AI戦略2019」（2019年6月策定）にて、リテラシー教育として、文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得する、とされたことを踏まえ、各大学・高専にて参照可能な「モデルカリキュラム」が数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムにおいて検討・策定された。本講義はそのリテラシーレベルのモデルカリキュラムに従ったものである。 到達目標は、今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付けること。そして、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能をもとに、これらを扱う際には、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意志でAI等の恩恵を享受し、これらを説明し、活用できるようになること。である。 （数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム ～ データ思考の涵養～ 2020年４月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム 2枚目）
授業概要	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速している。そういった現代では、文系・理系を問わず、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、自身で適切に判断し行動することが、よりよく生きる上で求められている。また、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見のため、データから新しい価値を創造できる人材が強く求められている。そのため、この講義では、様々な分野のデータを分析するための数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶ。 前半では、数理・データサイエンス・AIが必要とされる背景やその仕組みを学習、理解する。後半では、実際に手を動かして、プログラミングを行う。
アクティブラーニングの内容	実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「数理・データサイエンス・AI基礎」の予習復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30％の重みづけで評価される。また、課題等の提出物50％、データの形式を中心とした理解度を問う試験の成績を20％として最終的に総合評価が行われる。　これらの３つの評価をバランスよく得ていることが単位認定（到達目標）の判断基準となる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	受講者数は、30人以内とする。そのため抽選となることがある。 抽選は第2回目の講義の中で担当教員が実施する。他の講義と履修を迷っている場合は注意すること。 指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 第１回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがあるので十分注意すること。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：担当教員が理事を務めているNPO全国要約筆記問題研究会（会員数約1,300人）では、全国の自治体に対して要約筆記者養成の現状調査を行っている。また、パソコン要約筆記全体投影の読みやすさについて、首都圏の聴覚障がい者にアンケートや読みやすさの調査を行っている。その分析では本講義のデータサイエンスの知識が活用されている。

事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。		
オフィスアワー	春学期： 岡山キャンパス131研究室水曜日３時限目 高梁キャンパス254研究室火曜日４時限目 秋学期： 岡山キャンパス131研究室火曜日２時限目 高梁キャンパス254研究室金曜日３時限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。		

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・スキル確認テスト 導入とAIの定義とAIリテラシー	佐藤 匡
第２回	ビッグデータと社会の変化	佐藤 匡
第３回	社会で活用されているデータ	佐藤 匡
第４回	データ・AIの活用領域の広がり	佐藤 匡
第５回	データ・AIの技術	佐藤 匡
第６回	データサイエンス	佐藤 匡
第７回	データ・AIを活用するときの負の側面	佐藤 匡
第８回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（考え方）	佐藤 匡
第９回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（事例）	佐藤 匡
第１０回	AIとアルゴリズム	佐藤 匡
第１１回	データの構造とプログラミング	佐藤 匡
第１２回	データの利活用方法	佐藤 匡
第１３回	時系列データと文章データの分析例	佐藤 匡
第１４回	教師あり学習と教師なし学習	佐藤 匡
第１５回	データ・AI利活用における留意事項	佐藤 匡
第１６回	まとめと筆記試験・評価	佐藤 匡

教科書			
教・書籍名１	はじめてのAIリテラシー	教・出版社名１	技術評論社
教・著者名１	岡嶋裕史、吉田雅裕 著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-297-12038-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ⅱ			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-IT-1-002		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	仮想的な事例や現実の事例を通じて、情報セキュリティと情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。 到達目標は、学生が次の３つのことができるようになることである。 １．情報社会において、情報セキュリティにまつわる危険やリスクを理解し、トラブルを事前に回避できるようになる。 ２．万が一トラブルに巻き込まれた場合でも、人々の力を借りたとしても合理的な社会的・個人的コストで解決できるようになる。 ３．情報倫理学の基本的な思考を身につけることで、情報社会においてどのような倫理的問題が生じえるか理解できるようになる。 なお、本講義のラーニングアウトカムズは「情報リテラシー」と「問題解決能力」である。
授業概要	現代における情報セキュリティと情報倫理にかかわる諸問題について、仮想的事例や現実の事例から学ぶ。情報技術だけでなく、法律や経済・ビジネス、情報倫理などにかかわる知識や考え方を身につける。 主要なキーワードは次のとおりである。 電子掲示板やtwitterなどでのトラブル、フィッシング、ワンクリック詐欺、電子メールの成りすまし、プライバシー、匿名性、著作権、など。 講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえでの意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する（受講態度）。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの３つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式ですが、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 原則として情報処理Ⅰの単位を取得した学生を対象とします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対して、次のように予習・復習を十分におこなうこと。 予習：次回内容に対応する章の「重要ポイント」および「考えよう」を読み、本文を読んでくること。約2時間。 復習：授業内容に対応する章の「まとめ」をもとにノートを整理し、「練習問題」に取り組むこと。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室）

	秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	なぜ情報倫理が必要なのか	大谷
第３回	倫理とは何だろうか（１）倫理・法・慣習	大谷
第４回	倫理とは何だろうか（１）基本的な用語と枠組み	大谷
第５回	コンピューティングの歴史　コンピュータの誕生からパソコンの登場まで	大谷
第６回	コンピューティングの歴史　インターネット出現からIoT時代まで	大谷
第７回	身近な情報セキュリティ	大谷
第８回	メールやメッセージングアプリのセキュリティ	大谷
第９回	著作権の基礎	大谷
第１０回	レポート作成の倫理問題	大谷
第１１回	「漫画サイトが見られない」	大谷
第１２回	個人情報保護法の基礎知識	大谷
第１３回	ポイントカードと個人情報	大谷
第１４回	情報時代のプライバシー	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	筆記試験（オンライン試験も検討中）	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	改訂新版　情報倫理入門	参・出版社名１	アイケイコーポレーション
参・著者名１	土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著	参・ＩＳＢＮ１	4874923240
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ⅱ				担当者	今村　俊介		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年				ナンバリング	GE-IT-1-002		
必修・選択	選択	単位数	2単位		時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期		曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	膨大なデータを適切に処理することが様々な分野で求められていることを理解し、基本的なデータに対する知識、および、データの扱い方を学習する。 ・なぜデータサイエンスを学ぶのか、社会でどのように活用されているのかを知る。 ・データの処理、集計、可視化、分析を行うためのデータサイエンスの基礎的事項を学習する。 ・社会における事象を適切に捉え、分析・説明できる力を修得する。 ・データが重要視されるようになった社会背景を理解する。 ・データとは何かを説明できる。 ・データの基本的な分析手法を理解する。 ・データサイエンティストに求められるスキルを理解する。
授業概要	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速している。 この時代においては、文系・理系を問わず、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、自身で適切に判断し行動することがこれからをよりよく生きる上で求められている。 さらに、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見、および、データから新しい価値を創造できる人材が強く求められている。 この講義では、様々な分野のデータを分析するための数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶことを目的とする。 前半では、数理・データサイエンス・AIが必要とされる背景やその仕組みを学習、理解する。 後半では、実際に手を動かして、プログラミングを行う。 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」リテラシーレベルの導入・基礎・心得分野
アクティブラーニングの内容	グループワーク／実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「数理・データサイエンス・AI基礎」の予習・復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。 それに対する返答、 あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が「30%」の重みづけで評価される。 また、課題等の提出物「50%」、 データの形式を中心とした理解度を問う試験の成績を「20%」として最終的に総合評価が行われる。 これらの3つの評価をバランスよく得ていることが単位認定(到達目標)の判断基準となる。
ルーブリック評価	

課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	【受講者数】 ・学部で30人以内とする。そのため抽選となることがある。 ・抽選は第2回目の講義の中で担当教員が実施する。他の講義と履修を迷っている場合は注意すること。 【持参物】 ・指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 ・ 第1回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト【これは、学科によって実施・非実施をきめられますか？】未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがある ので十分注意すること。 【授業計画】 進捗の状況に応じて変更することがある。

実務経験のある教員	該当する	内容	担当教員は、情報系科目の講義担当経験、ならびに、研究活動への使用経験を有している。

事前学習・事後学習とその時間	【予習】 ・各回の講義に先立ち、予習として教科書の該当箇所を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。 【復習】 ・復習として、その回で学習した用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 【全体】 ・授業の進度と同程度の予習量・復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 ・予習・復習の確認については、課題やタスクにおいて知識・技術の使用が求められ、その達成度ならびに積極的な参加態度が成績評価として考慮される。
オフィスアワー	・講義終了時間の直後 ・事前に学生と教員で相談して決めた時間帯

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・スキル確認テスト 導入とAIの定義とAIリテラシー	今村
第２回	ビッグデータと社会の変化	今村
第３回	社会で活用されているデータ1	今村
第４回	社会で活用されているデータ2	今村
第５回	データ・AIの技術	今村
第６回	データサイエンス	今村
第７回	データ・AIを活用するときの負の側面	今村
第８回	データ・AIにまつわるセキュリティ1	今村
第９回	データ・AIにまつわるセキュリティ2	今村
第１０回	AIとアルゴリズム	今村
第１１回	データの構造とプログラミング	今村
第１２回	データの利活用方法	今村
第１３回	時系列データと文章データの分析例	今村
第１４回	教師あり学習と教師なし学習	今村
第１５回	データ・AI利活用における留意事項	今村
第１６回	まとめと試験・評価	今村

教科書			
教・書籍名１	はじめてのAIリテラシー	教・出版社名１	技術評論社
教・著者名１	岡嶋裕史，吉田雅裕　著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-297-12038-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			

参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅰ 看護・子ども・アニメ	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LE-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	大学生としての読解力、会話力、リスニングとバランスの取れた英語力を養うことを到達目標とします。同時に高校までの文法の復習も行いますが、コミュニケーションに必要な最低限の文法を中心に、実際に使うことを軸に文法の授業を進めます。したがってこの授業を受ければ学生は、生きた英語を、ごく基本的な文法を理解したうえで使うことができるようになります。また英会話に応用できるリスニングも行います。この授業を受ければ学生は、あるシチュエーションで使われる単語や言い回しを知ることができ聞き取りはもちろんのこと、簡単な意思疎通もネイティブの人とできるようになります。
授業概要	しばしば中学、高校で英語を勉強しても実際の英語は使えないという批判がこれまでもありましたが、単なる知識を積み上げるだけでは使えるようにならないことから、内容ある英語を使う練習、覚えると役に立つ意味あるやり取りを設定して、同時に文法の復習を行います。時間が限られていることから、文法の説明は行いながらも、不得意な学生のために、必要最低限の文法の解説に絞っています。ユニットごとにテーマを設定し、そのテーマに関連する知識を広げたり考えを深めたりして身近な話題や関心の持てるものを授業で行います。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	授業での発表と定期試験とを半々の５０％で査定し評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業は試験を含めて１６回行いますが、１５回目に試験を行い、最後の１６回目の授業時間に試験についての詳しい解説を行うことで学生の英語習得の定着を図ります。
履修条件・注意事項	この授業は必修です。国際大学の学生にふさわしい最低限の知識と実力をつけてもらいたいと考えていますので、是非とも予習、復習をしっかり行ってください。教科書の販売については他の講義とは異なり、最初の授業で行いますのでその指示に従って下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習、復習が大切です。できれば毎日１０～１５分でよいので次の週までに合計９０分程度の時間になるように、声に出して教科書を読んできて下さい。予習して授業に臨むのとしないとのとでは身に付くレベルに大きな差が生まれます。復習も同じで、講義で行ったことを一日１５分前後でよいので毎日自分で声に出して一週あたり９０分程度になるよう英文を読む習慣をつけてください。
オフィスアワー	水曜日の３限です。研究室に来て下さい。授業が重なって都合が悪い人はあらかじめアポイントメントを取って下さい。時間の調整をします。２号館６Ｆの研究室です。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション　春学期の授業に関しての説明と２回目の授業のさわり	平見勇雄
第２回	Profile　自分を知ろう　BE動詞	平見勇雄
第３回	Sports　多彩だね、スポーツの世界　一般動詞：自動詞・他動詞	平見勇雄
第４回	Special Occasions　特別な日は誰に何をしてあげる？　二重目的語、目的語をとる動詞	平見勇雄
第５回	Families　家族を知ろう　人称代名詞	平見勇雄
第６回	Japan Quiz　　日本クイズに挑戦　WH疑問文	平見勇雄
第７回	Love and Marriage　恋愛はいつの時代も人々の関心事？　過去形	平見勇雄
第８回	Life History　今までの自分を語ろう　現在完了形　継続	平見勇雄
第９回	Leisure　自分の経験を語ろう　現在完了形　経験・完了	平見勇雄

第１０回	College Life　学生生活を楽しもう　進行形		平見勇雄
第１１回	On Vacation　休暇の計画をたてよう　未来表現		平見勇雄
第１２回	Out and About　自分の気持ちを上手に伝えるには　助動詞　CAN,MAY		平見勇雄
第１３回	春学期の総復習（１）　BE動詞　一般動詞　人称代名詞　疑問		平見勇雄
第１４回	春学期の総復習（２）　現在完了形　進行形　助動詞		平見勇雄
第１５回	春学期の試験		平見勇雄
第１６回	春学期の総復習、フィードバック		平見勇雄
教科書			
教・書籍名１	コミュニケーションのためのベーシック・グラマー　Living Grammar	教・出版社名１	成美堂　SEIBIDO
教・著者名１	Atsuko Yamamoto・Naoko Osuka・Chikako Mano・Kyoko Okamoto・Benedict Rowlett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-7919-7227-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅱ 子ども・アニメ	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LE-1-002

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	大学生としての読解力、会話力、リスニングとバランスの取れた英語力を養うことを到達目標とします。同時に高校までの文法の復習も行いますが、コミュニケーションに必要な最低限の文法を中心に、実際に使うことを軸に文法の授業を進めます。したがってこの授業を受ければ学生は、生きた英語を、ごく基本的な文法を理解したうえで使えるようになります。また英会話に応用できるリスニングも行います。この授業を受ければ学生は、あるシチュエーションで使われる単語や言い回しを知ることができ聞き取りはもちろんのこと、簡単な意思疎通もネイティブの人とできるようになります。
授業概要	しばしば中学、高校で英語を勉強しても実際の英語は使えないという批判がこれまでもありましたが、単なる知識を積み上げるだけでは使えるようにならないことから、内容ある英語を使う練習、覚えると役に立つ意味あるやり取りを設定して、同時に文法の復習を行います。時間が限られていることから、文法の説明は行いながらも、不得意な学生のために、必要最低限の文法の解説に絞っています。ユニットごとにテーマを設定し、そのテーマに関連する知識を広げたり考えを深めたりして身近な話題や関心の持てるものを授業で行います。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク
評価方法と割合	授業での発表と定期試験とを半々の５０％で査定し評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業は試験を含めて１６回行いますが、１５回目に試験を行い、最後の１６回目の授業時間に試験についての詳しい解説を行うことで学生の英語習得の定着を図ります。
履修条件・注意事項	この授業は必修です。国際大学の学生にふさわしい最低限の知識と実力をつけてもらいたいと考えていますので、是非とも予習、復習をしっかり行ってください。教科書の販売については他の講義とは異なり、最初の授業で行いますのでその指示に従って下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習、復習が大切です。できれば毎日１０～１５分でもよいので次の週までに合計９０分程度の時間になるように、声に出して教科書を読んできて下さい。予習して授業に臨むのとしないとのとでは身に付くレベルに大きな差が生まれます。復習も同じで、講義で行ったことを一日１０～１５分でよいので毎日自分で声に出して次の週までに９０分程度、英文を読む習慣をつけてください。
オフィスアワー	水曜日の３限です。研究室に来て下さい。授業が重なって都合が悪い人はあらかじめアポイントメントを取って下さい。時間の調整をします。２号館６Ｆです。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション　秋学期の授業に関しての説明と２回目の授業のさわり	平見勇雄
第２回	Rules　しきたりは難しい　助動詞 must should	平見勇雄
第３回	Folk Tales　昔話に思わぬ教訓を発見　　接続詞　and but or so	平見勇雄
第４回	News & Events　ニュースに敏感になろう　受動態	平見勇雄
第５回	Amazing Animals 動物の世界は驚きでいっぱい　頻度を表す副詞	平見勇雄
第６回	Feelings 人間は感情の生き物だね　　ing edで終わる形容詞	平見勇雄
第７回	World Quiz 世界クイズに挑戦　　原級　比較級　最上級	平見勇雄
第８回	Business この大企業の創始者は？　　基本的な前置詞 at on in	平見勇雄
第９回	Environment 環境問題を解決するには？　接続詞(2) when because although if	平見勇雄

第１０回	Old Sayings ことわざは面白い　　不定詞と動名詞		平見勇雄
第１１回	Professions 将来の職業について考えよう　関係詞　who which where		平見勇雄
第１２回	What If？ 仮定の話は途方もない　　仮定法		平見勇雄
第１３回	秋学期の総復習（１）　接続詞　受動態　比較級　基本的な前置詞		平見勇雄
第１４回	秋学期の総復習（２）　不定詞と動名詞　関係詞　仮定法		平見勇雄
第１５回	秋学期の試験		平見勇雄
第１６回	秋学期の総復習、フィードバック		平見勇雄
教科書			
教・書籍名１	コミュニケーションのためのベーシック・グラマー　Living Grammar	教・出版社名１	成美堂　SEIBIDO
教・著者名１	Atsuko Yamamoto・Naoko Osuka・Chikako Mano・Kyoko Okamoto・Benedict Rowlett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-7919-7227-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅲ	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LE-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	この授業はテキストの予習をしっかりやれば学生は高校以上の難易度の長い文章が読むことができるようになります。基本的な文法の復習や語彙に加えて読解力をつけることを目標にしています。また、全文のテキストのテープを聞く、訳を自分でしてもらうことで自分の実力を客観的に把握できるような授業を行います。教科書を自宅で声に出して音読することでスピーキングの力がつくよう各自の予習も必須です。英会話の中級に近い程度の会話ができるようになります。
授業概要	教材はビートルズの物語を扱います。メンバーの生い立ちからグループの解散まで、テンポよく流れていく物語を楽しみながら次の授業が楽しみになるよう、内容を取りながら進めていきます。物語はスターとしての側面よりは人間的な側面に焦点が当たっており、人生における挫折が多く書かれています。自分たちと変わらない年齢の若者が、国籍、時代を問わず、同じように経験する出来事を自らの人生と重ねながら読んでもらいたいと願っています。 　時々プリントに合わせて公式に発売されているメンバーの肉声のインタビューを聞きながら、物語に幅をもたせ、いろいろな角度からその人生を眺めます。なぜビートルズが時代を問わず愛されているのか、他のグループとは一線を画す存在なのかも考えていただきたいと思います。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業態度50%、授業での発表20%、そして試験30%を総合して評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	１６回目に筆記試験をやり、そのあと試験問題の解説をします。大切な文法事項、読解の難しいところなどが中心です。
履修条件・注意事項	必ず予習すること、その際に配布するプリントを丹念に辞書を引き、大意をつかんでから授業に臨んで下さい。わからない文法は授業の中で自分から説明を求めるくらいの積極的態度を希望します。参考書や辞書は必ず使って授業に臨んでもらうことを前提とします。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	授業前に必ず自分で訳をしてきて下さい。辞書を引いて文型を確認しながら前後の文章とのつながりも考えながら２時間程度の予習が理想です。復習としてはこれも２時間、実力に応じて授業で渡すCD-Rを使ってシャドウイングをしながら耳と会話を鍛えることをお勧めします。
オフィスアワー	水曜日の３限　研究室にて（２号館６F）

	授業計画	担当者
第１回	リバプール	平見勇雄
第２回	メンバーの生い立ち　ジョンレノン	平見勇雄
第３回	ポールマッカートニーの生い立ち	平見勇雄
第４回	ジョージハリソンの生い立ちとメンバー加入	平見勇雄

第５回	メンバー交代　リンゴスター		平見勇雄
第６回	1960年デッカオーディション		平見勇雄
第７回	1962年ビートルズデビュー		平見勇雄
第８回	1964年ビートルマニア		平見勇雄
第９回	エドサリバンショー　アメリカ進出		平見勇雄
第１０回	オーストラリアや各国の状況		平見勇雄
第１１回	映画ア・ハード・ディズ・ナイト		平見勇雄
第１２回	映画とサントラ　ヘルプ		平見勇雄
第１３回	世界制覇		平見勇雄
第１４回	アルバム　ラバーソール		平見勇雄
第１５回	アルバム　リボルバー　日本公演		平見勇雄
第１６回	筆記試験		平見勇雄
教科書			
教・書籍名１	プリントを配布いたします。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅳ	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LE-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	この授業ではしっかり予習と復習を行うことで学生は大学初級程度のテキストの長文が読めるようになります。文法の復習は英語ⅠとⅡで既に行っており、春期はそれを前提に内容把握に焦点を当てていましたが、秋期は読解のスピードが上がることを目標としています。教科書を自宅で声に出して音読することでスピーキングの力をつけてもらうことも一年を通して目標としていますが、後期はテープを聴いてもらい大意が把握できるような練習をすることで、より総合的に力をつけることを目標としています。
授業概要	教材はビートルズの物語です。秋期は中期と呼ばれている時期の傑作アルバムの創作からグループの解散までを取扱います。スターとしての側面よりは人間的な側面に焦点が当たっており、春期と違った人間関係における難しさが多く書かれています。成長していくことによってより個性が明確になり、環境の変化が人間関係を悪化させていく詳細を読み込んでいきます。英語の面ではテープを聞いていただきながら内容の把握をしてもらうことをやります。前期には行わなかった聴き取りをしてもらいますが、聴き取りに自信がない人はしっかりと事前に読み込んできてもらい、書いてもらっても構いません。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業態度50%、授業での発表20%、そして試験30%を総合して評価します。フィードバックは試験のあとに重要な要点をまとめたプリントを配布することで行いたいと思います。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	単位認定の筆記試験は１６回目に行い、その日の後半に試験の解説を行います。文法的な面と、読解で訳しにくい場所の解説を行います。
履修条件・注意事項	必ず予習すること、その際に配布するプリントを丹念に辞書を引き、大意をつかんでから授業に臨んで下さい。わからない文法は授業の中で自分から説明を求めるくらいの積極的態度を希望します。参考書や辞書は必ず使って授業に臨んでもらうことを前提とします。なお試験のあとに試験の解答を言います。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	基本的な文法事項は授業ではやらないので自分で弱いところは補っていくように参考書を使って勉強してください。毎回２～３ページ進む予定ですから訳を書いてくることが最低限の予習です（２時間程度の予習です）。授業を受けたあとは毎日授業で行ったところを声に出して読んで下さい。声に出すこと、毎日行うことが重要です。一日にたくさんやるのでは長続きしませんから一日１０～２０分程度で結構です。（したがって復習も時間としてはトータルとして２時間程度）
オフィスアワー	水曜日の３限、２号館６Ｆの研究室

授業計画		担当者
第１回	春学期の復習	平見勇雄
第２回	日本公演続き	平見勇雄
第３回	レコーディング革命	平見勇雄
第４回	アルバム　サージェントペパーズロンリーハーツクラブバンド	平見勇雄

第５回	世界同時衛星放送　「All you need is love」		平見勇雄
第６回	マネージャー　ブライアンエプスタインの死		平見勇雄
第７回	マジカルミステリーツアー		平見勇雄
第８回	インドでの生活　修行		平見勇雄
第９回	初の２枚組アルバム　通称ホワイトアルバム		平見勇雄
第１０回	ゲットバックプロジェクト		平見勇雄
第１１回	最後のレコーディング　アビーロード		平見勇雄
第１２回	映画とサントラ　レットイットビー		平見勇雄
第１３回	解散後の４人　ジョンレノン		平見勇雄
第１４回	解散後の４人　ポールマッカートニー		平見勇雄
第１５回	解散後の４人　ジョージハリソンとリンゴスター		平見勇雄
第１６回	筆記試験		平見勇雄
教科書			
教・書籍名１	プリントを配布します。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	フランス語Ⅰ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LF-1-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランスの文化を理解し、かんたんなフランス語を話す」 到達目標：学生はフランスの文化について教養として語れるようになる。それらをフランス語で読み・発音できるようになる。フランスを旅行したときなどに、あいさつやかんたんな会話ができるようになる。
授業概要	この講義は、一方向のレクチャーではなく、参加型双方向の授業で、フランス語のスキル習得のため、できるだけ大きな声を出して繰り返し発音することが求められる。フランス語の音節を正しく発音するための方法を知り、綴り字を正しく読むための理論と基礎文法を理解し、初歩的かつ日常的なフランス語会話に必要な語彙と例文を、フランスの歴史・地理・文化のなかから代表的なものを繰り返し発音して、暗唱できるようにする。初心者対象で、ABCと発音／つづり字の読み方から始められ、名詞・形容詞の性・数や冠詞などの基本文法が文化を学ぶなかで理解できるよう説明される。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランスの文化について教養として語れるようになる」という目標に対して、各自作成した報告書を提出する。「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業で質問に答えたり発表したりする。それらで総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることか ら、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験（６０％）、単位認定試験（４０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている部分について事前に黒板に板書されたキーワードを読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また事後学習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各２時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。各２時間の学修時間を目安とする。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	スポーツ①ツール・ド・フランス	加藤健次
第２回	映画①ヌーヴェル・ヴァーグから最強の二人まで	加藤健次
第３回	音楽①サガンとブラームスはお好き？	加藤健次
第４回	建築①ロマネスク様式	加藤健次
第５回	食①パン	加藤健次
第６回	旅①ブルターニュとモンサンミシェル	加藤健次

第７回	歴史①マリーアントワネット	加藤健次
第８回	スポーツ②その他の自転車ロードレースとル・マン24時間耐久レース	加藤健次
第９回	美術②ピカソ、マチス、キュビズムと現代アート	加藤健次
第１０回	音楽②ピアフとシャンソンの世界	加藤健次
第１１回	建築②ゴシック様式	加藤健次
第１２回	食②お菓子とショコラ	加藤健次
第１３回	旅②ロワール川と城	加藤健次
第１４回	文学①詩：ボードレールからコクトーまで	加藤健次
第１５回	旅③ブルゴーニュとヴェズレー教会	加藤健次
第１６回	筆記試験	加藤健次

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	はじめて学ぶフランスの歴史と文化	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	上垣 豊（編）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4623087786 ISBN-13 ： 978-4623087785
参・書籍名２	ゼロからスタート　フランス語　会話編	参・出版社名2	Jリサーチ出版
参・著者名2	鈴木文恵(著)	参・ＩＳＢＮ2	ＩＳＢＮ１978-4-86392-103-0

授業科目名	フランス語Ⅱ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LF-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランスの文化を理解し、日常的なフランス語を話すことができるようになる」 到達目標：学生はフランスの文化について理解する。それらをフランス語で読み・発音できるようになる。フランスを旅行した時などに、あいさつやその場に応じた会話ができるようになる。
授業概要	これまでに習った文法や基本構文を復習しながら、フランス文化に関する練習問題をていねいに解いていく。フランス文化に関係した会話例文を正確に音読する指導を受ける。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その例文を暗唱する。これを繰り返すことでフランスに精通し、フランス語の語彙力や発話力を身につけよう。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランスの文化について教養として語れるようになる」という目標に対して、各自作成した報告書を提出する。「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業で質問に答えたり発表したりする。それらで総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることか ら、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験（６０％）、単位認定試験（４０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題を教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている部分について事前に黒板に板書されたキーワードを読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また事後学習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各２時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。各２時間の学修時間を目安とする。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	スポーツ③サッカー・リーグ・アン	加藤健次
第２回	美術③マグリットとシュールレアリスム	加藤健次
第３回	音楽③サティとミニマルミュージック	加藤健次
第４回	建築③ルネサンス・バロック様式	加藤健次
第５回	食③チーズ	加藤健次
第６回	旅④プロヴァンスとアルル	加藤健次
第７回	文学②文学②サンテグジュペリ『星の王子さま』	加藤健次

第８回	スポーツ④ペタンク	加藤健次
第９回	美術④スーラージュ、クラインに見る現代アート	加藤健次
第１０回	音楽④ジプシー音楽とジャズマヌーシュ	加藤健次
第１１回	食④ワイン	加藤健次
第１２回	旅⑤サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路	加藤健次
第１３回	哲学①デカルトと主体の哲学	加藤健次
第１４回	文学②文学③小説：ユゴーからル・クレジオまで	加藤健次
第１５回	食⑤Menuとコース料理	加藤健次
第１６回	筆記試験	加藤健次

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	はじめて学ぶフランスの歴史と文化	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	上垣 豊（編）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4623087786 ISBN-13 ： 978-4623087785
参・書籍名２	ゼロからスタート　フランス語　会話編	参・出版社名2	Jリサーチ出版
参・著者名2	鈴木文恵(著)	参・ＩＳＢＮ2	ＩＳＢＮ１978-4-86392-103-0

授業科目名	フランス語Ⅲ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LF-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランス語会話ができるようになる」 到達目標：学生はフランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語Ⅰ・Ⅱで練習した会話表現をさらに応用して、様々な日常的な場面で運用できるようになることを到達目標とする。
授業概要	1年で習った発音や綴り字の読み方の復習をしながら、語彙や表現を増やしていく。実際の場面を想像して、会話練習をする。文法的にもより踏み込んだ説明を読んでみる。教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に発音する。暗唱する。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その暗唱した例文を発表する。他の学生と会話する。これを繰り返すことでフランス語のコミュニケーション力を身につけることを目指す。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランス語会話ができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための試験を行って評価する。授業毎試験（30%）、授業への積極的な参加態度（20%）、単位認定試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題を教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	フランス語Ⅰ・Ⅱを履修していることが望ましい。毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習復習には各2時間程度を要する。そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。その成果は、各週の小テストと最終週の単位認定試験で問われる。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

授業計画		担当者
第１回	あいさつ	加藤健次
第２回	発音	加藤健次
第３回	性と数	加藤健次
第４回	前置詞	加藤健次
第５回	規則動詞	加藤健次
第６回	形容詞	加藤健次
第７回	否定形	加藤健次
第８回	命令形	加藤健次
第９回	疑問形	加藤健次
第１０回	副詞	加藤健次

第１１回	疑問副詞		加藤健次
第１２回	疑問代名詞		加藤健次
第１３回	不規則動詞		加藤健次
第１４回	所有形容詞		加藤健次
第１５回	疑問形容詞		加藤健次
第１６回	筆記試験		加藤健次
教科書			
教・書籍名１	新ゼロからスタートフランス語 文法編	教・出版社名１	Jリサーチ出版
教・著者名１	島崎 貴則	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4901429620 ISBN-13 ： 978-4901429627
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	フランス語Ⅳ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LF-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランス語で会話を楽しむことができる」 到達目標：学生はフランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語技能検定5級に合格するレベルを到達目標とする。
授業概要	これまでに習った文法や基本構文を復習しながら、検定問題も念頭に置いて教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に音読する指導を受ける。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その例文を暗唱する。これを繰り返すことで本気で語彙力や発話力を身につけ、検定試験に合格しよう
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランス語で会話を楽しむことができる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための試験を行って評価する。授業毎試験（30%）、授業への積極的な参加態度（20%）、単位認定試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題を教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修していることが望ましい。毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習復習は各2時間程度行うこと。予習は、毎授業の終わりに「次週の暗唱例文」が課題として示されるので、これらがスムーズに発話できるようにしてくることである。復習は、そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。復習の成果は、各週の小テストや最終週の単位認定試験で問われる
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	動詞allerとvenirの活用	加藤健次
第２回	近接未来と近接過去	加藤健次
第３回	命令形、否定表現	加藤健次
第４回	疑問代名詞	加藤健次
第５回	疑問副詞	加藤健次
第６回	指示代名詞	加藤健次
第７回	関係代名詞	加藤健次
第８回	過去分詞	加藤健次
第９回	直説法複合過去	加藤健次
第１０回	補語人称代名詞の語順	加藤健次

第１１回	比較級と最上級		加藤健次
第１２回	非人称構文		加藤健次
第１３回	直説法半過去		加藤健次
第１４回	条件法現在		加藤健次
第１５回	関係副詞と文の構造		加藤健次
第１６回	筆記試験		加藤健次
教科書			
教・書籍名１	新ゼロからスタートフランス語 文法編	教・出版社名１	Jリサーチ出版
教・著者名１	島崎 貴則	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4901429620 ISBN-13 ： 978-4901429627
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ｉ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LG-1-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は「ドイツ語Ｉ」の終了時には、初歩的かつ日常的なドイツ語会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。それに向けての個別目標だが、ドイツ語を正しく発音するためのルールを知り、併せて動詞や名詞を中心とした基礎的な文法を段階的に習得することになる。
授業概要	この講義は、ドイツ語の初学者を対象にしている。春学期を通して学修する項目は、大体以下のような内容である。つづりと発音の関係、挨拶等の定型表現、自己紹介と他者紹介、辞書の案内と使い方、人称代名詞、規則動詞と不規則動詞の現在人称変化、名詞の性・数・格、前置詞、定冠詞、不定冠詞など。それに加え、定型的な日常口語表現を通して、コミュニケーションの初歩も学ぶ。なお、今回この授業で使うテキストはドイツ語の総合的な文法読本であり、ドイツの社会・文化・歴史などについても学ぶことができ、異質な文化や社会にたいする理解を深めることにもなる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえないことである。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　ドイツおよびドイツ語とは　アルファベット　ドイツ語の発音（母音）	清水光二
第２回	ドイツ語の発音（子音）　挨拶表現	清水光二
第３回	ドイツ語の発音（まとめ）　挨拶表現の復習	清水光二
第４回	Lektion 1　Was lernst du?　動詞の現在人称変化	清水光二
第５回	Lektion 1　Was lernst du?　定動詞第2位の原則　seinの現在人称変化	清水光二
第６回	Lektion 2　Hast du Geschwister?　名詞の性と格　定冠詞の格変化	清水光二
第７回	Lektion 2　Hast du Geschwister?　不定冠詞の格変化　habenの現在人称変化	清水光二
第８回	Lektion 3　Wann fährst du nach München?　不規則な現在人称変化	清水光二

第９回	Lektion 3　Wann fährst du nach München?　命令形	清水光二
第１０回	Lektion 4　Welche Uhr kaufst du?　定冠詞類	清水光二
第１１回	Lektion 4　Welche Uhr kaufst du?　不定冠詞類　所有冠詞	清水光二
第１２回	Lektion 5　Kaufst du diese Bücher?　複数形	清水光二
第１３回	Lektion 5　Kaufst du diese Bücher?　人称代名詞	清水光二
第１４回	Lektion 6　Was machst du an diesem Wochenende?　前置詞の格支配　2格支配／3格支配	清水光二
第１５回	Lektion 6　Was machst du an diesem Wochenende?　前置詞の格支配　4格支配／3・4格支配	清水光二
第１６回	筆記試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	パノラマ　初級ドイツ語ゼミナール[三改版]	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	上野成利、本田雅也	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-560-06420-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	文法からマスター!　はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10: 481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ⅱ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LG-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は「ドイツ語Ⅱ」の終了時には、日常的な会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。それに向けての個別目標だが、ドイツ語の基礎的な文法を学びながら（英語との比較も行いつつ）、ドイツ語特有の語法を品詞別あるいは時制別に段階的に理解することになる。
授業概要	この講義は、「ドイツ語Ⅰ」を終了した学生を対象にしている。秋学期を通して学習する主な文法項目は、大体以下のようなものになっている。分離動詞・非分離動詞、接続詞、副文、再帰代名詞、再帰動詞、動詞の過去形と現在完了形、接続法など。文法事項については教師によって説明がなされるが、その後の練習問題や会話・読本部分については毎回学生の積極的な取り組みが求められる。そのためには、授業以外での予習や復習がどうしても必要となる。なお、今回この授業で使うテキストは総合的な文法読本であり、ドイツ語圏の習慣や日常といった文化一般、社会問題等にも触れながら楽しく初級ドイツ語を学べる内容となっている。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえないことである。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	Lektion 7　Was liest du gren?　形容詞の格変化	清水光二
第２回	Lektion 8　Wohin willst du gehen?　話法の助動詞	清水光二
第３回	Lektion 8　Wohin willst du gehen?　未来形	清水光二
第４回	Lektion 9　Ich weiß nicht, wann der Zug abfährt?　分離動詞	清水光二
第５回	Lektion 9　Ich weiß nicht, wann der Zug abfährt?　接続詞と副文	清水光二
第６回	Lektion 10　Hast du vor, München zu besuchen?　zu不定詞	清水光二
第７回	Lektion 10　Hast du vor, München zu besuchen?　再帰代名詞	清水光二
第８回	Lektion 11　Als ich das Museum besuchte, …　動詞の３基本形	清水光二

第９回	Lektion 11　Als ich das Museum besuchte, …　過去形		清水光二
第１０回	Lektion 12　Hast du Weimar besucht?　現在完了形		清水光二
第１１回	Lektion 12　Hast du Weimar besucht?　非人称表現		清水光二
第１２回	Lektion 13　Es wird gesagt, dass …　受動態		清水光二
第１３回	Lektion 13　Es wird gesagt, dass …　比較表現		清水光二
第１４回	Lektion 14　Was ist das beste Buch, das du je gelesen hast?　関係代名詞		清水光二
第１５回	Lektion 14　Was ist das beste Buch, das du je gelesen hast?　不定関係代名詞		清水光二
第１６回	筆記試験		清水光二
教科書			
教・書籍名１	パノラマ　初級ドイツ語ゼミナール[三改版]	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	上野成利、本田雅也	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-560-06420-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	文法からマスター! はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ⅲ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LG-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、ドイツの歴史、文化、社会を多面的に学習することで、ドイツ語の背景にあるものについての理解を深めると同時に、初歩的レベルなら一人でも読み書きすることが出来るようになる。 個別目標としては、どのような場面でどのようなドイツ語表現が使われるかを一つひとつ理解し学修することで、実際に遭遇するであろう様々な場面に応用可能な表現や基本構文を身につける。
授業概要	ドイツ語Ⅰ・Ⅱで学んだ文法事項の確認を行いながら、ドイツ語の文章を読むことによって読解力や語彙力を着実に身につけることができる。 具体的には、ドイツ語圏の社会や文化の中から私たちの生活にも関係がありそうなトピックを話題にして、易しい文章から徐々にレベルアップしたものへと読み進めることにより、ドイツ語圏に関わる知識とドイツ語の理解力を深めることができる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	この授業は、１年間で60時間のドイツ語学習を経験した者を対象としている。本校のカリキュラムで言えば、「ドイツ語Ⅰとドイツ語Ⅱを履修済みであること」（あるいは同等のレベル）が履修の前提となっている。 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえない。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。 テキストの読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後における予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語の初学者には、教師が説明する文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業ではその準備の成果を発表することが個々に求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	Lektion 0 自己紹介	清水光二
第２回	Lektion 0 挨拶　動詞の現在人称変化	清水光二
第３回	Lektion 1 地理と天候	清水光二
第４回	Lektion 1 冠詞（類）の格変化	清水光二
第５回	Lektion 2　食生活	清水光二
第６回	Lektion 2　前置詞の格変化	清水光二

第７回	Lektion 3 ドイツ語という言語		清水光二
第８回	Lektion 3 名詞の複数形		清水光二
第９回	Lektion 4　ドイツの大学		清水光二
第１０回	Lektion 4　話法の助動詞		清水光二
第１１回	Lektion 5　祝日と休暇		清水光二
第１２回	Lektion 5　形容詞の格変化		清水光二
第１３回	Lektion 6　ドイツの治安事情		清水光二
第１４回	Lektion 6　比較表現		清水光二
第１５回	Lektion 0 ～ Lektion 6 までの復習		清水光二
第１６回	筆記試験		清水光二
教科書			
教・書籍名１	知りたいドイツ語　～読みながらステップアップ～	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	Siegfried Kohlhammer、斎藤太郎	教・ＩＳＢＮ１	ISBL: 978-4-255-25403-6 C1084
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	文法からマスター!はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ⅳ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LG-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、ドイツの歴史、文化、社会を多面的に学習することで、ドイツ語の背景にあるものについての理解を深めると同時に、初歩的レベルなら一人でも読み書きすることが出来るようになる。 個別目標としては、どのような場面でどのようなドイツ語表現が使われるかを一つひとつ理解し学修することで、実際に遭遇するであろう様々な場面に応用可能な表現や基本構文を身につける。
授業概要	ドイツ語Ⅰ・Ⅱで学んだ文法事項の確認を行いながら、ドイツ語の文章を読むことによって読解力や語彙力を着実に身につけることができる。 具体的には、ドイツ語圏の社会や文化の中から私たちの生活にも関係がありそうなトピックを話題にして、易しい文章から徐々にレベルアップしたものへと読み進めることにより、ドイツ語圏に関わる知識とドイツ語の理解力を深めることができる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	この授業は、１年間で60時間のドイツ語学習を経験した者を対象としている。本校のカリキュラムで言えば、「ドイツ語Ⅰとドイツ語Ⅱを履修済みであること」（あるいは同等のレベル）が履修の前提となっている。 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえない。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。 テキストの読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後における予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語の初学者には、教師が説明する文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業ではその準備の成果を発表することが個々に求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	Lektion 7　教育制度	清水光二
第２回	Lektion 7　分離動詞と非分離動詞	清水光二
第３回	Lektion 8　政治制度	清水光二
第４回	Lektion 8　受動態	清水光二
第５回	Lektion 9　ドイツの歴史概観	清水光二
第６回	Lektion 9　過去の表現	清水光二

第７回	Lektion 10　音楽の国ドイツ		清水光二
第８回	Lektion 10　副文の語順		清水光二
第９回	Lektion 11　ドイツの宗教事情		清水光二
第１０回	Lektion 11　関係代名詞		清水光二
第１１回	Lektion 12　二つのドイツ		清水光二
第１２回	Lektion 12　分詞の用法		清水光二
第１３回	Lektion 13　EUとドイツ		清水光二
第１４回	Lektion 13　接続法第2式		清水光二
第１５回	Lektion 14　EUとドイツ		清水光二
第１６回	筆記試験		清水光二
教科書			
教・書籍名１	知りたいドイツ語　～読みながらステップアップ～	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	Siegfried Kohlhammer、斎藤太郎	教・ＩＳＢＮ１	ISBL: 978-4-255-25403-6 C1084
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	文法からマスター!はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	978-4-560-06420-7
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅰ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LC-1-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能の習得（入門編）。 到達目標： 学生は中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を読んだり聞き取ったりすることができるようになる。
授業概要	中国語での読む・書く・話す力を伸ばすためには、まず発音を完全にマスターする必要がある。中国語には日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、2ヶ月近く徹底的に練習を繰り返す。その後、初級文法や簡単な日常会話を練習することにより、前期終了時には挨拶や自己紹介ができるようになる。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を読んだり聞き取ったりすることができるようになる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	１、中国語の声調に関する解説及び発声リズムの練習 ２、単母音の発声練習	孫基然
第２回	１、声調発声リズムの復習 ２、単母音の発声復習 ３、複合母音の発声練習	孫基然
第３回	１、声調発声リズムの復習 ２、単母音の発声復習 ３、複合母音の発声復習 ４、鼻音の発声練習	孫基然
第４回	１、発音の復習 ２、そり舌音の発声練習	孫基然

第５回	1、発音の復習 2、子音の発声練習	孫基然
第６回	1、発音総合復習 2、発音小テス 3、実施した小テストをフィードバックする。	孫基然
第７回	1、声調符号をつける位置 2、声調の変化 3、よく使うフレーズ	孫基然
第８回	1、人称代名詞 2、判断文 3、普通疑問文	孫基然
第９回	1、副詞「也」 2、副詞「的」 3、普通疑問文	孫基然
第１０回	1、「喜歓」の使い方 2、形容詞述語文	孫基然
第１１回	1、省略疑問文 2、年齢の聞き方と使い分け	孫基然
第１２回	1、所有を表す「有」 2、完了を表す「了」 3、推測表現	孫基然
第１３回	1、時刻の言い方 2、量詞の使い方	孫基然
第１４回	1、省略疑問文 2、進行表現	孫基然
第１５回	1、提案や勧誘の使い方 2、二重目的語を取る動詞	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	中国への旅	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	山下輝彦、黄漢青	教・ＩＳＢＮ１	978-4-255-45332-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅱ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LC-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能の習得（基礎編）。 到達目標： 学生は前期で学習した中国語の基礎を基に、やや高度な文法事項、表現等を習得し、読解力と会話力を養い、総合的な中国語力の基礎をつくり中国語検定準４級の獲得へつなげていくことができるようになる。
授業概要	中国語には、日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、２ヵ月近く徹底的に練習を繰り返す必要がある。その後、初級文法や簡単な日常会話を練習し、Ⅱの終了時には挨拶や自己紹介ができるようになる。基礎的な文法事項、表現等を会話や筆記練習等で理解を深め、会話力、読解力、応用力を高める。担当教員は毎回必ず課題として出された単語や基本構文の暗唱をチェックする。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「前期で学習した中国語の基礎を基に、やや高度な文法事項、表現等を習得し、読解力と会話力を養い、総合的な中国語力の基礎をつくり中国語検定準４級の獲得へつなげていくことができるようになる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	1、助動詞「会」と「能」 2、選択疑問文	孫基然
第２回	1、助動詞「想」 2、反復疑問文	孫基然
第３回	1、経験表現 2、連動文	孫基然
第４回	1、時量補語 2、存在表現	孫基然
	1、助動詞「会」と「能」	孫基然

第５回	2、選択疑問文 3、比較表現	
第６回	1、介詞「離」、「従」と「往」の使い方 2、動作の方式を表す「着」 3、比較表現	孫基然
第７回	1、逆接を表す「雖然……、但是」 2、「的」の使い方 3、結果補語	孫基然
第８回	中間テスト	孫基然
第９回	中間テストをフィードバックする。	孫基然
第１０回	1、逆接を表す「雖然……、但是」 2、「的」の使い方	孫基然
第１１回	1、未来を表す表現 2、方法や方式を訪ねる表現	孫基然
第１２回	1、介詞「給」 2、仮定表現	孫基然
第１３回	1、「太……了」の文型 2、人民元の数え方 3、割引の言い方	孫基然
第１４回	1、動詞の重ね型 2、「一辺」と「一点」	孫基然
第１５回	1、程度補語 2、介詞「為了」 3、方向補語と兼語文	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	中国への旅	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	山下輝彦、黄漢青	教・ＩＳＢＮ１	978-4-255-45332-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅲ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LC-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論（検定試験対応・前篇）を修得できるようになる。 到達目標： 学生は中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。
授業概要	１年次に習った単語、基礎的文法事項、表現等を生かしつつ、新しい文法や表現等を習得し,筆記や会話の練習を通して、中国語の読解能力と基礎的会話能力を高める。また、毎回少し時間を割いて中国に関することをも講義する。さらに助動詞、比較表現、使役表現、結果補語などを中心として関連文法を紹介する。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	１、前置詞「对」 ２、名詞前の「的」	孫基然
第２回	１、「有的……有的」の文型 ２、「既……又」の文型	孫基然
第３回	１、「每……都」の文型 ２、動詞、形容詞の前の「地」	孫基然
第４回	「除了……」の文型	孫基然
第５回	「即使……也」の文型	孫基然

第６回	持続を表す「着」	孫基然
第７回	結果補語	孫基然
第８回	中間テスト	孫基然
第９回	中間テストをフィードバックする	孫基然
第１０回	１、「因為……所以」の文型 ２、「一辺……一辺」の文型	孫基然
第１１回	「是……的」の文型	孫基然
第１２回	現存文	孫基然
第１３回	手段・状態を表す「着」	孫基然
第１４回	「一点也不」の文型	孫基然
第１５回	疑問詞の呼応表現	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	2冊目の中国語講読クラス	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	劉頴、柴森、小澤正人	教・ＩＳＢＮ１	978－4－560－06927－1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅳ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LC-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論（検定試験対応・後篇）を修得できるようになる。 到達目標： 学生は中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。
授業概要	１年次に習った単語、基礎的文法事項、表現等を生かしつつ、新しい文法や表現等を習得し,筆記や会話の練習を通して、中国語の読解能力と基礎的会話能力を高める。また、毎回少し時間を割いて中国に関することをも講義する。さらに助動詞、比較表現、使役表現、結果補語などを中心として関連文法を紹介する。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	１、「是……的」の文型 ２、様態補語	孫基然
第２回	１、「不知道……才好」の文型 ２、「好像……一様」の文型	孫基然
第３回	疑問詞の不定用法	孫基然
第４回	可能補語「動詞+得了」	孫基然
第５回	１、「無論……都」の文型 ２、「要是……就」の文型	孫基然

第６回	１、動詞後の「給」 ２、受身表現	孫基然
第７回	中間テスト	孫基然
第８回	中間テストをフィードバックする。	孫基然
第９回	１、「不是……就是」の文型 ２、「再也没……過」の文型	孫基然
第１０回	１、「雖然……但是」の文型 ２、「不但……而且」の文型	孫基然
第１１回	１、動量補語 ２、離合詞	孫基然
第１２回	１、「有」の謙語文 ２、使役表現	孫基然
第１３回	１、副詞「就」 ２、副詞「都」	孫基然
第１４回	１、「有」の連動文 ２、「把」の文	孫基然
第１５回	１、「対……来説」の文献 ２、「只有……才」の文型	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	2冊目の中国語講読クラス	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	劉頴、柴森、小澤正人	教・ＩＳＢＮ１	978－4－560－06927－1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＡ再履１クラス			担当者	日笠　恵美子		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-LJ-1-001		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになる。
授業概要	この講義は「文字語彙・文法 」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの言語知識（文字・語彙・文法など）の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験（５０％）、小テスト（３０％）、学習意欲・態度（２０％）によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続すること。また、２年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、２年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	本科目の到達目標の達成に向けて、各回の授業内容について、課題と中間テスト、期末テストを行う。内容理解の確認と学習のポイントを説明する。また試験は解答のポイントをコメントするなどしてフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修１～４クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 　なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。

オフィスアワー	授業終了後、休憩時間		
授業計画			担当者
第１回	オリエンテーション		日笠
第２回	ユニット１		日笠
第３回	ユニット１		日笠
第４回	ユニット２		日笠
第５回	ユニット２		日笠
第６回	ユニット３		日笠
第７回	ユニット３		日笠
第８回	中間テスト		日笠
第９回	ユニット４		日笠
第１０回	ユニット４		日笠
第１１回	ユニット５		日笠
第１２回	ユニット５		日笠
第１３回	ユニット６		日笠
第１４回	ユニット６		日笠
第１５回	総復習		日笠
第１６回	単位認定試験		日笠
教科書			
教・書籍名１	レベルアップトレーニング文法Ｎ２	教・出版社名１	アルク
教・著者名１	坂本勝信	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7574-2210-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本語パワードリル N2 文字・語彙	参・出版社名１	アスク出版
参・著者名１	松浦 真理子（他）	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-768-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＡ １クラス	担当者	磯　永二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生はこの科目を学修することにより、初級レベルの日本語力を確実なものにすることができる。そのうえで、より上のレベルの文法や文字・語彙を学んでいく。そうすることにより日本語能力試験N2合格をめざす。日本語力の向上が学力向上につながり、日本人学生との交流が進み、本学の様々な教育活動の理解や参加の促進につながり、実りある学生生活を送ることができるようになる。
授業概要	まずは日本語能力試験Ｎ３レベルの日本語力を確実なものにするため、Ｎ３レベルの文法や文字・語彙等を振り返る。その過程で、課題を課したり、小テストを実施し日本語力の伸長を図る。一方、Ｎ２のレベルの文法や文字・語彙を織り込んでいき、力を徐々にＮ２レベルに導いていく。また、日本での学生生活を円滑に送ることができるようにするため、授業の中で、日本人のあいだでかわされる挨拶や応答などをとりあげ、日本社会で暮らすための知恵を身につけさせていく。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 単位認定試験、小テストには聴解のみならず、文法、文字・語彙の分野からも出題する。 課題に対する取り組み、授業中の態度も評価の対象となるので、1時間1時間の授業を大切にしてほしい。 最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、N２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題として課したものを小テストや単位認定試験で出題する。 小テストについては授業で解説し、いくつかは単位認定試験にも出題する。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更してはならない。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること ②　日本語ＩＡ/日本語ＩＡ（文法）、応用日本語ＩＡ/日本語ＩＡ（読解）、日本語研究ＩＡ/日本語ＩＡ（聴解）の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 　なお、授業以外にも、様々な機会をうまく使って実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容

事前学習・事後学習とその時間	日本語の修得には多くの時間が必要であるし、反復も必要である。授業前には授業内容を予習し、疑問点などは整理しておく。 授業後は必ず復習し知識の定着を図る。また、自分でＪＬＰＴ対策の問題演習に取り組むなど積極的な態度が必要。 予習・復習にはそれぞれ２時間以上の学習が必要。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間に教室、講師控室にて

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション、プロフィール作成、初級文法演習、初級漢字演習	磯
第２回	初級文字語彙演習、文法テキスト学習　場面6①	磯
第３回	文法テキスト学習　場面6②	磯
第４回	文法テキスト学習　場面7①	磯
第５回	文法テキスト学習　場面7②	磯
第６回	Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習①	磯
第７回	Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習②	磯
第８回	Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習③	磯
第９回	第１回～第８回授業　総まとめテスト	磯
第１０回	文法テキスト学習　場面8①	磯
第１１回	文法テキスト学習　場面8②、Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習④	磯
第１２回	文法テキスト学習　場面9①	磯
第１３回	文法テキスト学習　場面9②、Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習⑤	磯
第１４回	文法テキスト学習　敬語、副詞、接続詞等①	磯
第１５回	文法テキスト学習　敬語、副詞、接続詞等②	磯
第１６回	単位認定試験	磯

教科書			
教・書籍名１	日本語能力試験問題集　Ｎ３文法　スピードマスター	教・出版社名１	Ｊリサーチ出版
教・著者名１	清水知子、大場理恵子、鈴木美希	教・ＩＳＢＮ１	978-4-86392-036-1
教・書籍名２	ドリル＆ドリル日本語能力試験Ｎ２　文字語彙	教・出版社名2	ＵＮＩＣＯＭ
教・著者名2	星野恵子、辻和子	教・ＩＳＢＮ2	978-4-89689-478-3
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＡ２クラス	担当者	井上　光惠
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	充実した大学生活のためには日本語の力が必要である。また本学では在学中に日本語能力試験Ｎ２の取得を必須としている。そのようなことから、授業においては、まず初級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能の基礎力を養成し、次の中級レベルの技能確立につなげられるようにする。
授業概要	日本語能力試験Ｎ２合格を目指し、文法・文字・語彙を中心に学ぶ。Ｎ２レベルの言語知識（文字・語彙・文法など）の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また中級レベルの日本語表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、Ｎ２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①テキストで新しく学習した文型の練習問題を毎回課題とし、翌週その答えのチェックとフィードバックを行う。 ②Ｎ３レベル「文字語彙」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックをする。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語ＩＡ・応用日本語Ｉ秋A・日本語研究Ｉ秋Aの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とそ	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習

の時間	し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。文字の習得は絶対に必要である。「漢字」や「かな」は何度も繰り返し書いて覚えてほしい。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間

授業計画		担当者
第１回	１．オリエンテーション	井上光惠
第２回	２．第25課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第３回	３．第25課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第４回	４．第28課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第５回	５．第28課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第６回	６．第31課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第７回	７．第31課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第８回	８．第34課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第９回	９．第34課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第１０回	１０．第37課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第１１回	１１．第37課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第１２回	１２．まとめ７　３３課～３７課の復習	井上光惠
第１３回	１３．第40課-１ 漢字・語彙　　文型１-導入・練習	井上光惠
第１４回	１４．第40課-２ 文型２-導入・練習　会話	井上光惠
第１５回	１５．まとめ８　３８課～４２課の復習	井上光惠
第１６回	単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	日本語初級（2）大地　メインテキスト	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	山崎佳子・石井怜子・佐々木薫・高橋美和子・町田恵子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-89358-507-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	ドリル＆ドリル 日本語能力試験 N3 文字語彙	参・出版社名１	ユニコム
参・著者名１	星野恵子　辻和子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-89689-487-5
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＡ再履２クラス	担当者	福本　苗
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの言語知識（文字・語彙・文法など）の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験（50%）、小テスト（30%）、学習意欲・態度（20%）によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。2年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、2年次開講の日本語関連科目ＩＩを 履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の予習・復習として、指示された文字語彙、文法、文型を使っての課題をする。その後採点、フィードバックをする。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの3科目ともに同クラスで受験すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	授業後、教室にて。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション レベル確認テスト	福本苗
第２回	時を表す表現	福本苗
第３回	「わけ・こと・もの・ところ」を使った表現	福本苗

第４回	助詞の働きをする言葉① （場面・時点・手段・原因を示す表現）	福本苗
第５回	助詞の働きをする言葉② （添加・判断・評価を示す表現）	福本苗
第６回	主に文末に使われる言葉	福本苗
第７回	文章の文法	福本苗
第８回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第９回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第１０回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第１１回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第１２回	基本文法の復習	福本苗
第１３回	接続の言葉	福本苗
第１４回	敬語・丁寧な言い方	福本苗
第１５回	総括	福本苗
第１６回	単位認定試験	福本苗

教科書			
教・書籍名１	新完全マスター単語日本語能力試験Ｎ２重要2200語	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	小谷野美穂　（他）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-762-0 ☒
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	45日間で基礎からわかる日本語能力試験対策　N2文法　総まとめ	参・出版社名１	三修社
参・著者名１	遠藤ゆう子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-384-05574-0
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＡ再履３クラス			担当者	福本　苗		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-LJ-1-001		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの言語知識（文字・語彙・文法など）の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験（50%）、小テスト（30%）、学習意欲・態度（20%）によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。2年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、2年次開講の日本語関連科目ⅡＢを 履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の予習・復習として、指示された文字語彙、文法、文型を使っての課題をする。その後採点、フィードバックをする。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの3科目ともに同クラスで受験すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	授業後、教室にて。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション・レベル確認テスト	福本苗
第２回	文末に使われる表現	福本苗

第３回	傾向や様子を表す表現	福本苗
第４回	例を挙げて示す表現	福本苗
第５回	原因・理由を表す表現	福本苗
第６回	「わけ・こと」を使った表現	福本苗
第７回	「もの」を使った表現	福本苗
第８回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第９回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第１０回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第１１回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第１２回	「ない」を含んだ表現	福本苗
第１３回	付加を表す表現	福本苗
第１４回	基本文法の復習	福本苗
第１５回	総括	福本苗
第１６回	単位認定試験	福本苗

教科書			
教・書籍名１	45日間で基礎からわかる日本語能力試験対策　N2文法　総まとめ	教・出版社名１	三修社
教・著者名１	遠藤ゆう子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-384-05574-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＡ再履クラス4	担当者	大下　朋子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになる。
授業概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの言語知識（文字・語彙・文法など）の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験（５０％）、小テスト（３０％）、学習意欲・態度（２０％）によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続すること。また、２年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、２年次開講の日本語関連科目ＩＩを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	本科目の到達目標の達成に向けて、各回の授業内容について、課題と中間テスト、期末テストを行う。内容理解の確認と学習のポイントを説明する。また試験は解答のポイントをコメントするなどしてフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修１～４クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。各２時間の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、教室にて実施する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	大下(朋)
第２回	ます形・て形に接続する表現	大下(朋)
第３回	辞書形・た形に接続する表現	大下(朋)
第４回	ない形・意向形、名詞・形容詞に接続する表現	大下(朋)

第５回	いろいろなものと接続する表現	大下(朋)	
第６回	評価・比較の表現①	大下(朋)	
第７回	評価・比較の表現②／時間に関する表現	大下(朋)	
第８回	状態・強調の表現／条件に関する表現①	大下(朋)	
第９回	条件に関する表現②	大下(朋)	
第１０回	判断に関する表現①	大下(朋)	
第１１回	判断に関する表現②／敬語表現	大下(朋)	
第１２回	縮約形／接続詞	大下(朋)	
第１３回	動詞①	大下(朋)	
第１４回	動詞②	大下(朋)	
第１５回	名詞・助数詞	大下(朋)	
第１６回	単位認定試験（筆記試験）	大下(朋)	
教科書			
教・書籍名１	28日間で基礎から応用まで完全マスター！日本語能力試験対策　Ｎ３文法・語彙・漢字　改訂版	教・出版社名１	三修社
教・著者名１	山田光子	教・ＩＳＢＮ１	978-4384059502
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	日本語ＩＢ（1クラス）	担当者	磯　永二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-002

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生はこの科目を学修することにより、初級レベルの日本語力を確実なものにすることができる。そのうえで、より上のレベルの文法や文字・語彙を学んでいく。そうすることにより日本語能力試験N2合格をめざす。日本語力の向上が学力向上につながり、日本人学生との交流が進み、本学の様々な教育活動の理解や参加の促進につながり、実りある学生生活を送ることができるようになる。
授業概要	まずは日本語能力試験Ｎ３レベルの日本語力を確実なものにするため、Ｎ３レベルの文法や文字・語彙等を振り返る。その過程で、課題を課したり、小テストを実施し日本語力の伸長を図る。一方、Ｎ２のレベルの文法や文字・語彙を織り込んでいき、力を徐々にＮ２レベルに導いていく。また、日本での学生生活を円滑に送ることができるようにするため、授業の中で、日本人のあいだでかわされる挨拶や応答などをとりあげ、日本社会で暮らすための知恵を身につけさせていく。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 単位認定試験、小テストには聴解のみならず、文法、文字・語彙の分野からも出題する。 課題に対する取り組み、授業中の態度も評価の対象となるので、1時間1時間の授業を大切にしてほしい。 最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、Ｎ２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題として課したものを小テストや単位認定試験で出題する。 小テストについては授業で解説し、いくつかは単位認定試験にも出題する。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に編成される。履修登録は教務課で一括登録する。 　登録されたクラスを勝手に変更してはならない。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること ②　日本語ＩＡ/日本語ＩＡ（文法）、応用日本語ＩＡ/日本語ＩＡ（読解）、日本語研究ＩＡ/日本語ＩＡ（聴解）の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 　なお、授業以外にも、様々な機会をうまく使って実力の涵養に努めてほしい。

実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	日本語の修得には多くの時間が必要であるし、反復も必要である。授業前には授業内容を予習し、疑問点などは整理しておく。 授業後は必ず復習し知識の定着を図る。また、自分でＪＬＰＴ対策の問題演習に取り組むなど積極的な態度が必要。 予習・復習にはそれぞれ２時間以上の学習が必要。		
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間に教室、講師控室にて		

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション、プロフィール作成、初級文法演習、初級漢字演習	磯
第２回	初級文字語彙演習、文法テキスト学習　場面１①	磯
第３回	文法テキスト学習　場面１②	磯
第４回	文法テキスト学習　場面２①	磯
第５回	文法テキスト学習　場面２②	磯
第６回	Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習①	磯
第７回	Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習②	磯
第８回	Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習③	磯
第９回	第１回～第８回授業　総まとめテスト	磯
第１０回	文法テキスト学習　場面３①	磯
第１１回	文法テキスト学習　場面３②、Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習④	磯
第１２回	文法テキスト学習　場面４①	磯
第１３回	文法テキスト学習　場面４②、Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習⑤	磯
第１４回	文法テキスト学習　場面５①	磯
第１５回	文法テキスト学習　場面５②、Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習⑥	磯
第１６回	単位認定試験	磯

教科書			
教・書籍名１	日本語能力試験問題集　Ｎ３文法　スピードマスター	教・出版社名１	Ｊリサーチ出版
教・著者名１	清水知子、大場理恵子、鈴木美希	教・ＩＳＢＮ１	978-4-86392-036-1
教・書籍名２	ドリル＆ドリル日本語能力試験Ｎ２　文字語彙	教・出版社名2	ＵＮＩＣＯＭ
教・著者名2	星野恵子、辻和子	教・ＩＳＢＮ2	978-4-89689-478-3

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＢ（２クラス）			担当者	井上　光惠		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-LJ-1-002		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	充実した大学生活のためには日本語の力が必要である。また本学では在学中に日本語能力試験Ｎ２の取得を必須としている。そのようなことから、授業においては、まず初級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能の基礎力を養成し、次の中級レベルの技能確立につなげられるようにする。
授業概要	日本語能力試験Ｎ２合格を目指し、文法・文字・語彙を中心に学ぶ。Ｎ２レベルの言語知識（文字・語彙・文法など）の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また中級レベルの日本語表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、Ｎ２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①テキストで新しく学習した文型の練習問題を毎回課題とし、翌週その答えのチェックとフィードバックを行う。 ②Ｎ３レベル「文字語彙」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックをする。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語ＩＡ・応用日本語Ｉ秋A・日本語研究Ｉ秋Aの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とそ	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習	

の時間	し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。文字の習得は絶対に必要である。「漢字」や「かな」は何度も繰り返し書いて覚えてほしい。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間

授業計画		担当者
第１回	１．オリエンテーション	井上光惠
第２回	２．第25課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第３回	３．第25課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第４回	４．第28課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第５回	５．第28課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第６回	６．第31課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第７回	７．第31課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第８回	８．第34課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第９回	９．第34課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第１０回	１０．第37課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第１１回	１１．第37課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第１２回	１２．まとめ７　３３課～３７課の復習	井上光惠
第１３回	１３．第40課-１ 漢字・語彙　　文型１-導入・練習	井上光惠
第１４回	１４．第40課-２ 文型２-導入・練習　会話	井上光惠
第１５回	１５．まとめ８　３８課～４２課の復習	井上光惠
第１６回	単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	日本語初級（2）大地　メインテキスト	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	山崎佳子・石井怜子・佐々木薫・高橋美和子・町田恵子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-89358-507-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	ドリル＆ドリル 日本語能力試験 N3 文字語彙	参・出版社名１	ユニコム
参・著者名１	星野恵子　辻和子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-89689-487-5
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＢ再履クラス１	担当者	日笠　恵美子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-002

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになる。
授業概要	この講義は「文字語彙・文法 」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの言語知識（文字・語彙・文法など）の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験（５０％）、小テスト（３０％）、学習意欲・態度（２０％）によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続すること。また、２年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、２年次開講の日本語関連科目ＩＩを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	本科目の到達目標の達成に向けて、各回の授業内容について、課題と中間テスト、期末テストを行う。内容理解の確認と学習のポイントを説明する。また試験は解答のポイントをコメントするなどしてフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修１～４クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 　なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	日笠

第２回	ユニット１	日笠
第３回	ユニット１	日笠
第４回	ユニット2	日笠
第５回	ユニット2	日笠
第６回	ユニット3	日笠
第７回	ユニット3	日笠
第８回	中間テスト	日笠
第９回	ユニット４	日笠
第１０回	ユニット４	日笠
第１１回	ユニット５	日笠
第１２回	ユニット５	日笠
第１３回	ユニット６	日笠
第１４回	ユニット６	日笠
第１５回	総復習	日笠
第１６回	単位認定試験	日笠

教科書			
教・書籍名１	レベルアップトレーニング文法Ｎ２	教・出版社名１	アルク
教・著者名１	坂本勝信	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7574-2210-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	日本語パワードリル N2 文字・語彙	参・出版社名１	アスク出版
参・著者名１	松浦 真理子（他）	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-768-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＢ再履クラス２	担当者	福本　苗
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-002

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの言語知識（文字・語彙・文法など）の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験（50%）、小テスト（30%）、学習意欲・態度（20%）によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。2年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、2年次開講の日本語関連科目ＩＩを 履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の予習・復習として、指示された文字語彙、文法、文型を使っての課題をする。その後採点、フィードバックをする。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語ＩＢ・応用日本語ＩＢ・日本語研究ＩＢの3科目ともに同クラスで受験すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	授業後、教室にて。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション・レベル確認テスト	福本苗
第２回	いろいろな働きをする助詞	福本苗
第３回	「よう・う・まい・べき」を使った言葉	福本苗
第４回	複合語として使われる言葉	福本苗

第５回	文章の文法	福本苗
第６回	JLPT　Ｎ2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第７回	JLPT　Ｎ2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第８回	JLPT　Ｎ2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第９回	JLPT　Ｎ2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第１０回	基本文法の復習	福本苗
第１１回	決まった使い方の副詞	福本苗
第１２回	仮定・逆説の表現	福本苗
第１３回	原因・理由を表す表現	福本苗
第１４回	話者の感覚・気持ち・推量を表す表現	福本苗
第１５回	総括	福本苗
第１６回	単位認定試験	福本苗

教科書			
教・書籍名１	新完全マスター単語日本語能力試験Ｎ２重要2200語	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	小谷野美穂　（他）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-762-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	45日間で基礎からわかる日本語能力試験対策Ｎ2文法総まとめ	参・出版社名１	三修社
参・著者名１	遠藤ゆう子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-384-05574-0
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＢ再履クラス３	担当者	福本　苗
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-002

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの言語知識（文字・語彙・文法など）の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験（50%）、小テスト（30%）、学習意欲・態度（20%）によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。2年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、2年次開講の日本語関連科目ⅡＢを 履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の予習・復習として、指示された文字語彙、文法、文型を使っての課題をする。その後採点、フィードバックをする。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの3科目ともに同クラスで受験すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	授業後、教室にて。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション・レベル確認テスト	福本苗
第２回	時を表す表現	福本苗
第３回	くり返しを表す表現	福本苗
第４回	進行状態を示す表現	福本苗

第５回	相関関係を示す表現	福本苗
第６回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第７回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第８回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第９回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第１０回	比較を表す表現	福本苗
第１１回	対象を表す表現	福本苗
第１２回	仮定を表す表現	福本苗
第１３回	「から」が付く表現	福本苗
第１４回	評価・判断を示す表現	福本苗
第１５回	「ほど・くらい・こそ・さえ」を使った表現	福本苗
第１６回	単位認定試験	福本苗

教科書			
教・書籍名１	45日間で基礎からわかる日本語能力試験対策　N2文法　総まとめ	教・出版社名１	三修社
教・著者名１	遠藤ゆう子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-384-05574-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＢ再履クラス４	担当者	大下　朋子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-002

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになる。
授業概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの言語知識（文字・語彙・文法など）の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験（５０％）、小テスト（３０％）、学習意欲・態度（２０％）によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続すること。また、２年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、２年次開講の日本語関連科目ＩＩを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	本科目の到達目標の達成に向けて、各回の授業内容について、課題と中間テスト、期末テストを行う。内容理解の確認と学習のポイントを説明する。また試験は解答のポイントをコメントするなどしてフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修１～４クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＢ・応用日本語ＩＢ・日本語研究ＩＢの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。各２時間の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、教室にて実施する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	大下(朋)
第２回	ます形・て形に接続する表現	大下(朋)
第３回	辞書形・た形に接続する表現	大下(朋)
第４回	ない形・意向形、名詞・形容詞に接続する表現	大下(朋)

第５回	いろいろなものと接続する表現	大下(朋)	
第６回	評価・比較の表現①	大下(朋)	
第７回	評価・比較の表現②／時間に関する表現	大下(朋)	
第８回	状態・強調の表現／条件に関する表現①	大下(朋)	
第９回	条件に関する表現②	大下(朋)	
第１０回	判断に関する表現①	大下(朋)	
第１１回	判断に関する表現②／敬語表現	大下(朋)	
第１２回	縮約形／接続詞	大下(朋)	
第１３回	動詞①	大下(朋)	
第１４回	動詞②	大下(朋)	
第１５回	名詞・助数詞	大下(朋)	
第１６回	単位認定試験（筆記試験）	大下(朋)	
教科書			
教・書籍名１	28日間で基礎から応用まで完全マスター！日本語能力試験対策　Ｎ３文法・語彙・漢字　改訂版	教・出版社名１	三修社
教・著者名１	山田光子	教・ＩＳＢＮ１	978-4384059502
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	日本語ⅡＡ １・２クラス	担当者	大下　朋子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LJ-2-003

必修・選択	選択必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「文法」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする。
授業概要	この講義は、「文法」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な文法能力を理解しながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの文法問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、文法力のさらなる向上を目指す。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（50%）、中間テスト（30%）、学習意欲・態度（20%）に基づく総合評価。成績評価の評価対象となるので、単位認定試験と併せて中間テストも必ず受験しなければならない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	本科目の到達目標の達成に向けて、各回の授業内容について、課題と中間テスト、期末テストを行う。内容理解の確認と学習のポイントを説明する。また試験は解答のポイントをコメントするなどしてフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、Ｎ２に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ②この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレイスメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習・復習には各2時間程度を要する。適宜、課題を提示するので、予習時には課題の内容を把握し疑問点を整理しておくこと。復習時には、授業時間内に取り組んだ課題の内容について理解を深めておくこと。
オフィスアワー	授業終了後、教室にて実施する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	大下 朋子
第２回	１課 時間関係	大下 朋子
第３回	２課 範囲の始まり・限度	大下 朋子
第４回	３課 限定・非限定・付加	大下 朋子
第５回	４課 例示	大下 朋子
第６回	５課 関連・無関係	大下 朋子
第７回	６課 様子	大下 朋子
第８回	【中間テスト】１～６課／中間テストの解説	大下 朋子
第９回	７課 付随行動	大下 朋子
第１０回	８課 逆接	大下 朋子
第１１回	９課 条件	大下 朋子
第１２回	10課 逆接条件	大下 朋子
第１３回	11課 目的・手段	大下 朋子
第１４回	12課 原因・理由	大下 朋子

第１５回	13課　可能・不可能・禁止		大下 朋子
第１６回	単位認定試験（筆記試験）		大下 朋子
教科書			
教・書籍名１	新完全マスター文法　日本語能力試験Ｎ１	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	友松悦子、福島佐知、中村かおり	教・ＩＳＢＮ１	978-4883195640
教・書籍名２	日本語パワードリル N1 文字・語彙	教・出版社名2	アスク出版
教・著者名2	松浦 真理子、鈴木 健司	教・ＩＳＢＮ2	978-4872177671
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ⅡB	担当者	大下　朋子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LJ-2-004

必修・選択	選択必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「文法」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする。
授業概要	この講義は、「文法」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な文法能力を理解しながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの文法問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、文法力のさらなる向上を目指す。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（50%）、中間テスト（30%）、学習意欲・態度（20%）に基づく総合評価。成績評価の評価対象となるので、学期末の筆記試験と併せて中間テストも必ず受験しなければならない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	本科目の到達目標の達成に向けて、各回の授業内容について、課題と中間テスト、期末テストを行う。内容理解の確認と学習のポイントを説明する。また試験は解答のポイントをコメントするなどしてフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、Ｎ２に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ②この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレイスメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習・復習には各2時間程度を要する。適宜、課題を提示するので、予習時には課題の内容を把握し疑問点を整理しておくこと。復習時には、授業時間内に取り組んだ課題の内容について理解を深めておくこと。
オフィスアワー	授業終了後、教室にて実施する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	大下 朋子
第２回	14課　話題・評価の基準	大下 朋子
第３回	15課　比較対照	大下 朋子
第４回	16課　結末・最終の状態	大下 朋子
第５回	17課　強調	大下 朋子
第６回	18課　主張・断定	大下 朋子
第７回	【中間テスト】14～18課／中間テストの解説	大下 朋子
第８回	19課　評価・感想	大下 朋子
第９回	20課　心情・強制的思い	大下 朋子
第１０回	A　動詞の意味に着目-1	大下 朋子
第１１回	B　動詞の意味に着目-2	大下 朋子
第１２回	C　古い言葉を使った言い方	大下 朋子
第１３回	D「もの・こと・ところ」を使った言い方	大下 朋子
第１４回	E　二つの言葉を組にする言い方	大下 朋子

第１５回	F　助詞・複合助詞		大下 朋子
第１６回	単位認定試験（筆記試験）		大下 朋子
教科書			
教・書籍名１	新完全マスター文法　日本語能力試験Ｎ１	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	友松悦子、福島佐知、中村かおり	教・ＩＳＢＮ１	978-4883195640
教・書籍名２	日本語パワードリル N1 文字・語彙	教・出版社名2	アスク出版
教・著者名2	松浦 真理子、鈴木 健司	教・ＩＳＢＮ2	978-4872177671
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用日本語ＩA 再履１クラス	担当者	井上　光惠
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-005

必修・選択	必須	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	これからはじまる大学教育への円滑な導入を目的に、留学生の日本語能力の更なる向上を図る。学生は、他の日本語科目と併せ て、「話す」、「読む」、「聞く」、「書く」能力の向上に努め、日本語能力試験Ｎ２程度の実力を習得することができる。到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「読解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の 意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	試験(50%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(30%)などに基づく総合評価。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①新しく学習する課の文章について「漢字」「語彙」「文型」については、その意味を事前に調べ問題練習をすることを課題とし、翌週そのチェックとフィードバックを行う。 ②Ｎ２レベル「文字語彙」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックを行う。
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、Ｎ2に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語ＩA・応用日本語Ｉ秋A・日本語研究Ｉ秋A]の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥　授業では、テキストは使用せず、主教材も副教材もプリントで対応する。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。

実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。		
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。		

	授業計画	担当者
第１回	1．オリエンテーション	井上光惠
第２回	２．６課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第３回	３．６課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第４回	４．７課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第５回	５．７課-２　内容理解（中文）	井上光惠
第６回	６．JLPT対策授業−１（内容理解-短文）	井上光惠
第７回	７．JLPT対策授業−２（統合理解）	井上光惠
第８回	８．JLPT対策授業−３（情報検索１）	井上光惠
第９回	９．JLPT対策授業−４（情報検索２）	井上光惠
第１０回	１０．８課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１１回	１１．８課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第１２回	１２．９課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１３回	１３．９課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第１４回	１４．１０課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１５回	１５．１０課−２　内容理解（中ｚ文）	井上光惠
第１６回	１６．単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	中級から学ぶ日本語	教・出版社名１	株式会社 研究社
教・著者名１	松田浩志 亀田美保	教・ＩＳＢＮ１	978-4-327-38465-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	ドリル＆ドリル日本語能力試験N2文字語彙	参・出版社名１	ユニコム
参・著者名１	星野恵子・辻和子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-89689-478-3
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用日本語ＩＡ １クラス			担当者	小西　真弓		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-LJ-1-005		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	日本語能力試験N２合格を目指し、読解を中心に学ぶ。Ｎ２レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また、中級レベルの日本語表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、N２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の予習・復習として、指示された文字・語彙、文法、文型を使っての文作などの課題を提出してもらう。 採点し、フィードバックする。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1~3クラスに編成される。履修登録は教務で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 　なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とそ	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、

の時間	授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間、教室にて

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション レベル確認テスト	小西真弓
第２回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第３回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第４回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第５回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第６回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第７回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第８回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第９回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１０回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１１回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１２回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１３回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１４回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１５回	総括・確認テスト	小西真弓
第１６回	単位認定筆記試験	小西真弓

教科書			
教・書籍名１	ドリル＆ドリルＮ２文字・語彙	教・出版社名１	ユニコムUNICOM
教・著者名１	星野恵子・辻和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-89689-478-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本語総まとめN3　読解	参・出版社名１	アスク出版
参・著者名１	佐々木仁子・松本紀子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-766-4

参・書籍名２	日本語総まとめN3　語彙	参・出版社名2	アスク出版
参・著者名2	佐々木仁子・松本紀子	参・ＩＳＢＮ2	978-4-87217-731-2

授業科目名	応用日本語ＩＡ２クラス	担当者	久保田　雅子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-005

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。このクラスでは、まず、基礎的な日本語の文法、初級の文章読解を中心に扱う。 目標は日本語能力試験Ｎ２相当の実力を身につけることであるが、日本語の基礎レベルの文法知識を習得すること、文章表現を正確に理解することから行う。最終目標は、専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が、円滑に使えることである。
授業概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目Ｉの3科目（日本語ＩＡ、応用日本語ＩＡ、日本語研究ＩＡ）で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。 中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得するため、基礎的な文法、語彙、また読解の運用力を高めることを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業評価は、試験（５０％）、小テスト及び課題提出(３０％)、学習意欲・態度(２0%)で評価する。 このクラスは基礎の日本語クラスなので基本的な文法事項、語彙、文章読解を中心に扱う。ただし、単位認定については、日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プリント・課題についてのフィードバックは、おもに次回の授業で個別あるいは全体的に行う。
履修条件・注意事項	①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当する　内容　日本語教育
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、授業の中で自ら課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。 ２）指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。

	予習と復習に２時間以上は必要である。
オフィスアワー	教室・及びオープンスペースにて授業前後に実施

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション（授業の進め方について） 1.２３課　文法１	久保田
第２回	２．２３課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第３回	３．２７課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第４回	４．２７課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第５回	５．３０課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第６回	６．３０課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第７回	７．３３課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第８回	８．３３課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第９回	９．３６課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１０回	１０．３６課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１１回	１１．３９課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１２回	１２．３９課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１３回	１３．４２課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１４回	１４．４２課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１５回	１５．　総まとめ	久保田
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	日本語初級2・大地　メインテキスト	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-507-7
教・書籍名２	ドリル＆ドリル 日本語能力試験（文字・語彙）	教・出版社名2	株式会社ユニコム
教・著者名2	星野　恵子・辻和子	教・ＩＳＢＮ2	978-4-89689-487-5

参考書			
参・書籍名１	ことばでおぼえるやさしい漢字ワーク　初級２	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	中村　かおり他著	参・ＩＳＢＮ１	978-488-319-7828
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用日本語ＩＡ再履２クラス	担当者	小西　真弓
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-005

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「読解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。２年生以上の再履修性は、Ｎ２に合格するまで、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の予習・復習として、指示された文字・語彙、文法、文型を使っての文作などの課題を提出してもらう。 採点し、フィードバックする。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修１～3ラスに編成される。履修登録は教務課で一括で登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 　なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	授業後、休憩時間、教室にて。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション レベル確認テスト	小西真弓
第２回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問	小西真弓

	文字・語彙：漢字読み、表記	
第３回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第４回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第５回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第６回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第７回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第８回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第９回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１０回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１１回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１２回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１３回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１４回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１５回	総括・確認テスト	小西真弓
第１６回	単位認定筆記試験	小西真弓

教科書			
教・書籍名１	新完全マスター単語　日本語能力試験N2重要2200語	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	小谷野美穂・森田亮子・青柳方子・大野純子・木村典子他	教・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-762-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本語能力試験問題集　スピードマスター　N2 読解	参・出版社名１	Jリサーチ出版
参・著者名１	小林ひとみ・桑原里奈・木村理恵	参・ＩＳＢＮ１	9784863920583
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用日本語ＩＡ再履クラス３	担当者	久保田　雅子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-005

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマは第二言語としての日本語の「読解力の向上」である。Ｎ３～Ｎ２レベルの読解問題の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また中級レベルの表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につけることが目標である。
授業概要	日本語能力試験Ｎ２合格を目指し、このクラスでは主に「読解」中心に学ぶ。教科書で論理的な文章を読み、内容を理解する。プリントでＮ３～Ｎ２レベルの演習問題をやり、文章を通じて筆者の考えを理解したり、パンフレットや説明書等、さまざまな文書を読み、各文書から必要な情報を得る方法を理解する。 中級レベルの読解力が身につくことで事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につけることができる。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業評価は、講義内試験（４０％）、小テスト（２０％）、学習意欲・態度（４０％）によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。２年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、２年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プリント・課題についてのフィードバックは、おもに次回の授業で個別あるいは全体的に行う。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用することができる。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：留学生の日本語教育
事前学習・事後学習とその時間	1) 事前に課題をだす。授業中にその発表を行い、みずから、自分自身の課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。 2) 指示に従って必ず専用のノートを作成し、復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。予習と復習に２時間以上は必要である。
オフィスアワー	教室・及びオープンスペースにて授業前・後に実施する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション （授業の進め方、予習、復習のやりかた　例：第１課）	久保田

第２回	第２課　語彙・本文１、プリント	久保田
第３回	第２課　本文２・文法、プリント	久保田
第４回	第４課　語彙・本文１、プリント	久保田
第５回	第４課　本文２・文法、プリント	久保田
第６回	第６課　語彙・本文１、プリント	久保田
第７回	第６課　本文２・文法、プリント	久保田
第８回	Ｎ２演習問題１	久保田
第９回	Ｎ２演習問題　２	久保田
第１０回	Ｎ２演習問題　３	久保田
第１１回	第８課　語彙・本文１	久保田
第１２回	第８課　本文2・文法	久保田
第１３回	第１０課　語彙・本文１	久保田
第１４回	第１０課　本文2・文法	久保田
第１５回	総まとめ	久保田
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	留学生の日本語　読解編	教・出版社名１	株式会社アルク
教・著者名１	アカデミック・ジャパニーズ研究会	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7574-2631-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	はじめての日本語能力試験Ｎ２ 合格模試	参・出版社名１	株式会社アスク出版
参・著者名１	アスク出版編集部	参・ＩＳＢＮ１	978-4-86639-315-5
参・書籍名２	新完全マスター　読解　N3	参・出版社名2	株式会社　スリーエーネットワーク
参・著者名2	田代　ひろみ・他著	参・ＩＳＢＮ2	978-4-888319-671-5

授業科目名	応用日本語ＩＡ再履クラス４			担当者	井上　光惠		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-LJ-1-005		
必修・選択	必須	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	これからはじまる大学教育への円滑な導入を目的に、留学生の日本語能力の更なる向上を図る。学生は、他の日本語科目と併せ て、「話す」、「読む」、「聞く」、「書く」能力の向上に努め、日本語能力試験Ｎ２程度の実力を習得することができる。到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「読解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の 意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	試験(50%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(30%)などに基づく総合評価。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①新しく学習する課の文章について「漢字」「語彙」「文型」については、その意味を事前に調べ問題練習をすることを課題とし、翌週そのチェックとフィードバックを行う。 ②Ｎ２レベル「文字語彙」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックを行う。
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、Ｎ2に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語ＩＡ・応用日本語Ｉ秋A・日本語研究Ｉ秋A]の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥　授業では、テキストは使用せず、主教材も副教材もプリントで対応する。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。

実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。		
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。		

	授業計画	担当者
第１回	1．オリエンテーション	井上光惠
第２回	２．１課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第３回	３．１課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第４回	４．２課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第５回	５．２課-２　内容理解（中文）	井上光惠
第６回	６．JLPT対策授業−１（内容理解-短文）	井上光惠
第７回	７．JLPT対策授業−２（統合理解）	井上光惠
第８回	８．JLPT対策授業−３（情報検索１）	井上光惠
第９回	９．JLPT対策授業−４（情報検索２）	井上光惠
第１０回	１０．３課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１１回	１１．３課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第１２回	１２．４課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１３回	１３．４課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第１４回	１４．５課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１５回	１５．５課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第１６回	１６．単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	中級から学ぶ日本語	教・出版社名１	株式会社 研究社
教・著者名１	松田浩志 亀田美保	教・ＩＳＢＮ１	978-4-327-38465-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	新完全マスター 語彙 日本語能力試験N2	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	伊能裕晃・本田ゆかり・来栖里美・前坊香菜子・阿保きみ枝・宮田公治	参・ＩＳＢＮ１	9784883195749
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用日本語ＩＢ（1クラス）	担当者	小西　真弓
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-006

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	日本語能力試験N２合格を目指し、読解を中心に学ぶ。N２レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また、中級レベルの日本語表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、N２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の予習・復習として、指示された文字・語彙、文法、文型を使っての文作などの課題を提出してもらう。 採点し、フィードバックする。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1~3クラスに編成される。履修登録は教務で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＢ・応用日本語ＩＢ・日本語研究ＩＢの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 　なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。

オフィスアワー	授業終了後、休憩時間、教室にて	
	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション レベル確認テスト	小西真弓
第２回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第３回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第４回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第５回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第６回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第７回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第８回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第９回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１０回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１１回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１２回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１３回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１４回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１５回	総括、確認テスト	小西真弓
第１６回	単位認定筆記試験	小西真弓

教科書			
教・書籍名１	ドリル＆ドリルＮ２文字・語彙	教・出版社名１	ユニコムUNICOM
教・著者名１	星野恵子・辻　和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-89689-478-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本語総まとめN3　読解	参・出版社名１	アスク出版
参・著者名１	佐々木仁子・松本紀子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-766-4
参・書籍名２	日本語総まとめN3　語彙	参・出版社名2	アスク出版

参・著者名2	佐々木仁子・松本紀子	参・ＩＳＢＮ2	978-4-87217-731-2

授業科目名	応用日本語ＩＢ（２クラス）	担当者	久保田　雅子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-006

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。このクラスでは、まず、基礎的な日本語の文法、初級の文章読解を中心に扱う。 目標は日本語能力試験Ｎ２相当の実力を身につけることであるが、日本語の基礎レベルの文法知識を習得すること、文章表現を正確に理解することから行う。最終目標は、専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が、円滑に使えることである。
授業概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目Ｉの3科目（日本語ＩＡ、応用日本語ＩＡ、日本語研究ＩＡ）で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。 中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得するため、基礎的な文法、語彙、また読解の運用力を高めることを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業評価は、試験（５０％）、小テスト及び課題提出(３０％)、学習意欲・態度(２0%)で評価する。 このクラスは基礎の日本語クラスなので基本的な文法事項、語彙、文章読解を中心に扱う。ただし、単位認定については、日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プリント・課題についてのフィードバックは、おもに次回の授業で個別あるいは全体的に行う。
履修条件・注意事項	①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当する　内容　日本語教育
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、授業の中で自ら課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。 ２）指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。

	予習と復習に２時間以上は必要である。
オフィスアワー	教室・及びオープンスペースにて授業前後に実施

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション（授業の進め方について） 1.２３課　文法１	久保田
第２回	２．２３課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第３回	３．２７課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第４回	４．２７課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第５回	５．３０課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第６回	６．３０課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第７回	７．３３課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第８回	８．３３課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第９回	９．３６課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１０回	１０．３６課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１１回	１１．３９課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１２回	１２．３９課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１３回	１３．４２課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１４回	１４．４２課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１５回	１５．　総まとめ	久保田
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	日本語初級2・大地　メインテキスト	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-507-7
教・書籍名２	ドリル＆ドリル 日本語能力試験（文字・語彙）	教・出版社名2	株式会社ユニコム
教・著者名2	星野　恵子・辻和子	教・ＩＳＢＮ2	978-4-89689-487-5

参考書			
参・書籍名１	ことばでおぼえるやさしい漢字ワーク　初級２	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	中村　かおり他著	参・ＩＳＢＮ１	978-488-319-7828
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用日本語ＩＢ再履クラス１			担当者	井上　光惠		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-LJ-1-006		
必修・選択	必須	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	これからはじまる大学教育への円滑な導入を目的に、留学生の日本語能力の更なる向上を図る。学生は、他の日本語科目と併せ て、「話す」、「読む」、「聞く」、「書く」能力の向上に努め、日本語能力試験Ｎ２程度の実力を習得することができる。到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「読解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の 意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	試験(50%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(30%)などに基づく総合評価。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①新しく学習する課の文章について「漢字」「語彙」「文型」については、その意味を事前に調べ問題練習をすることを課題とし、翌週そのチェックとフィードバックを行う。 ②Ｎ２レベル「文字語彙」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックを行う。
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、Ｎ2に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語ＩＡ・応用日本語Ｉ秋A・日本語研究Ｉ秋A]の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥　授業では、テキストは使用せず、主教材も副教材もプリントで対応する。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。

実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。		
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。		

	授業計画	担当者
第１回	1．オリエンテーション	井上光惠
第２回	２．６課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第３回	３．６課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第４回	４．７課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第５回	５．７課-２　内容理解（中文）	井上光惠
第６回	６．JLPT対策授業−１（内容理解-短文）	井上光惠
第７回	７．JLPT対策授業−２（統合理解）	井上光惠
第８回	８．JLPT対策授業−３（情報検索１）	井上光惠
第９回	９．JLPT対策授業−４（情報検索２）	井上光惠
第１０回	１０．８課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１１回	１１．８課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第１２回	１２．９課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１３回	１３．９課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第１４回	１４．１０課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１５回	１５．１０課−２　内容理解（中ｚ文）	井上光惠
第１６回	１６．単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	中級から学ぶ日本語	教・出版社名１	株式会社 研究社
教・著者名１	松田浩志 亀田美保	教・ＩＳＢＮ１	978-4-327-38465-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	ドリル＆ドリル日本語能力試験N2文字語彙	参・出版社名１	ユニコム
参・著者名１	星野恵子・辻和子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-89689-478-3
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用日本語ＩＢ再履クラス２	担当者	小西　真弓
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-006

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「読解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。２年生以上の再履修性は、Ｎ２に合格するまで、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の予習・復習として、指示された文字・語彙、文法、文型を使っての文作などの課題を提出してもらう。 採点し、フィードバックする。
履修条件・注意事項	① 履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語ＩＢ・応用日本語ＩＢ・日本語研究ＩＢの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験N1の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人と同様に外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	授業後、休憩時間、教室にて。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション レベル確認テスト	小西真弓
第２回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓

第３回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第４回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第５回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第６回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第７回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第８回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第９回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１０回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１１回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１２回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１３回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１４回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１５回	総括・確認テスト	小西真弓
第１６回	単位認定筆記試験	小西真弓

教科書			
教・書籍名１	新完全マスター単語　日本語能力試験N2重要2200語	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	小谷野美穂・森田亮子・青柳方子・大野純子・木村典子他	教・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-762-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	日本語能力試験問題集　スピードマスター　N2 読解	参・出版社名１	Jリサーチ出版
参・著者名１	小林ひとみ・桑原里奈・木村理恵	参・ＩＳＢＮ１	9784863920583
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用日本語ＩＢ再履クラス3	担当者	久保田　雅子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-006

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマは第二言語としての日本語の「読解力の向上」である。Ｎ３～Ｎ２レベルの読解問題の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また中級レベルの表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につけることが目標である。
授業概要	日本語能力試験Ｎ２合格を目指し、このクラスでは主に「読解」中心に学ぶ。教科書で論理的な文章を読み、内容を理解する。プリントでＮ３～Ｎ２レベルの演習問題をやり、文章を通じて筆者の考えを理解したり、パンフレットや説明書等、さまざまな文書を読み、各文書から必要な情報を得る方法を理解する。 中級レベルの読解力が身につくことで事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につけることができる。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業評価は、講義内試験（４０％）、小テスト（２０％）、学習意欲・態度（４０％）によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。２年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、２年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プリント・課題についてのフィードバックは、おもに次回の授業で個別あるいは全体的に行う。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用することができる。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：留学生の日本語教育
事前学習・事後学習とその時間	1) 事前に課題をだす。授業中にその発表を行い、みずから、自分自身の課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。 2) 指示に従って必ず専用のノートを作成し、復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。予習と復習に２時間以上は必要である。
オフィスアワー	教室・及びオープンスペースにて授業前・後に実施する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション （授業の進め方、予習、復習のやりかた　例：第１課）	久保田

第２回	第1課　語彙・本文１-2、プリント	久保田
第３回	第3課　本文２・文法、プリント	久保田
第４回	第3課　語彙・本文１、プリント	久保田
第５回	第5課　本文２・文法、プリント	久保田
第６回	第5課　語彙・本文１、プリント	久保田
第７回	第7課　本文２・文法、プリント	久保田
第８回	第7課、Ｎ２演習問題１	久保田
第９回	Ｎ２演習問題　２	久保田
第１０回	Ｎ２演習問題　３	久保田
第１１回	第9課　語彙・本文１	久保田
第１２回	第9課　本文2・文法	久保田
第１３回	第11課　語彙・本文１	久保田
第１４回	第11課　本文2・文法	久保田
第１５回	第13課、総まとめ	久保田
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	留学生の日本語　読解編	教・出版社名１	株式会社アルク
教・著者名１	アカデミック・ジャパニーズ研究会	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7574-2631-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	はじめての日本語能力試験Ｎ２ 合格模試	参・出版社名１	株式会社アスク出版
参・著者名１	アスク出版編集部	参・ＩＳＢＮ１	978-4-86639-315-5
参・書籍名２	新完全マスター　読解　N3	参・出版社名2	株式会社　スリーエーネットワーク
参・著者名2	田代　ひろみ・他著	参・ＩＳＢＮ2	978-4-888319-671-5

授業科目名	応用日本語ＩＢ再履クラス４			担当者	井上　光惠		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-LJ-1-006		
必修・選択	必須	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	これからはじまる大学教育への円滑な導入を目的に、留学生の日本語能力の更なる向上を図る。学生は、他の日本語科目と併せ て、「話す」、「読む」、「聞く」、「書く」能力の向上に努め、日本語能力試験Ｎ２程度の実力を習得することができる。到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「読解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の 意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	試験(50%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(30%)などに基づく総合評価。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①新しく学習する課の文章について「漢字」「語彙」「文型」については、その意味を事前に調べ問題練習をすることを課題とし、翌週そのチェックとフィードバックを行う。 ②Ｎ２レベル「文字語彙」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックを行う。
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、Ｎ2に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語ＩＡ・応用日本語Ｉ秋A・日本語研究Ｉ秋A]の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥　授業では、テキストは使用せず、主教材も副教材もプリントで対応する。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。

実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。		
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。		

	授業計画	担当者
第１回	1．オリエンテーション	井上光惠
第２回	２．１課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第３回	３．１課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第４回	４．２課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第５回	５．２課-２　内容理解（中文）	井上光惠
第６回	６．JLPT対策授業−１（内容理解-短文）	井上光惠
第７回	７．JLPT対策授業−２（統合理解）	井上光惠
第８回	８．JLPT対策授業−３（情報検索１）	井上光惠
第９回	９．JLPT対策授業−４（情報検索２）	井上光惠
第１０回	１０．３課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１１回	１１．３課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第１２回	１２．４課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１３回	１３．４課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第１４回	１４．５課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１５回	１５．５課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第１６回	１６．単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	中級から学ぶ日本語	教・出版社名１	株式会社 研究社
教・著者名１	松田浩志 亀田美保	教・ＩＳＢＮ１	978-4-327-38465-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	新完全マスター 語彙 日本語能力試験N2	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	伊能裕晃・本田ゆかり・来栖里美・前坊香菜子・阿保きみ枝・宮田公治	参・ＩＳＢＮ１	9784883195749
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用日本語ⅡA	担当者	小西　真弓
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LJ-2-007

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「読解」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする。
授業概要	この講義は、「読解」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な読解力をつけしながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの読解問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、読解力のさらなる向上を目指す。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	試験(50%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(30%)などに基づく総合評価。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の予習・復習として、指示された文字・語彙、文法、文型を使っての文作などの課題を提出してもらう。 採点し、フィードバックする。
履修条件・注意事項	以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、Ｎ２に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ②この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレイスメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間、教室にて

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション 確認テスト	小西真弓
第２回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第３回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第４回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第５回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
	統合理解問題	

第６回	情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第７回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第８回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第９回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１０回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１１回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１２回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１３回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１４回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１５回	総括、確認テスト	小西真弓
第１６回	単位認定筆記試験	小西真弓

教科書			
教・書籍名１	日本語能力試験問題集　スピードマスター　N1　読解	教・出版社名１	Jリサーチ出版
教・著者名１	菊池富美子・黒石しづ可・日置陽子・竹田慎吾	教・ＩＳＢＮ１	978-4-86392-075-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	新完全マスター単語Ｎ２重要２２００	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	小谷野美穂・森田亮子　他	参・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-762-0
参・書籍名２	速攻トレーニング読解編	参・出版社名2	アスク出版
参・著者名2	加藤早苗・沼田宏	参・ＩＳＢＮ2	978-4-7574-1990-2

授業科目名	応用日本語ⅡB	担当者	小西　真弓
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LJ-2-008

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「読解」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする.。
授業概要	この講義は、「読解」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な読解力をつけしながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの読解問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、読解力のさらなる向上を目指す。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	試験(50%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(30%)などに基づく総合評価。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の予習・復習として、指示された文字・語彙、文法、文型を使っての文作などの課題を提出してもらう。 採点し、フィードバックする。
履修条件・注意事項	以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、Ｎ２に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ②この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレイスメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間、教室にて

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション 確認テスト	小西真弓
第２回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第３回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第４回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第５回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
	日本語能力試験対策	

第６回	模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第７回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第８回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第９回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１０回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１１回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１２回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１３回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１４回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１５回	総括、確認テスト	小西真弓
第１６回	単位認定筆記試験	小西真弓

教科書			
教・書籍名１	日本語能力試験問題集　スピードマスター　N1　読解	教・出版社名１	Jリサーチ出版
教・著者名１	菊池富美子・黒石しづ可・日置陽子・竹田慎吾	教・ＩＳＢＮ１	978-4-86392-075-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	新完全マスター単語Ｎ２重要２２００	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	小谷野美穂・森田亮子・青柳方子・大野純子・木村典子他	参・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-762-0
参・書籍名２	速攻トレーニング読解編	参・出版社名2	アスク出版
参・著者名2	加藤早苗・沼田宏	参・ＩＳＢＮ2	978-4-7574-1990-2

授業科目名	日本語研究ＩＡ再履クラス１	担当者	磯　永二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-009

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生はこの科目を学修することにより、初級レベルの日本語力を確実なものにし、そのうえで、日本語能力試験Ｎ２レベルの聴解能力を身につけていく。そのことが本学の授業に対する理解力の向上だけでなく、様々な教育活動への理解や参加の促進、日本人学生との交流や地域理解の推進にもつながる。そのようにして、日本に対する理解を深め、日本における実りある学生生活を送ることができるようになる。
授業概要	本授業は聴解を中心としており、日本語能力試験Ｎ２レベルの聴解能力獲得を目指している。日本語を聞いて理解するには、そのリズムやスピードに慣れることはもちろんだが、理解に必要な語彙力や文法的な知識も必要である。そこで日本語を単に聞くだけでなく、そこで使われている文字・語彙、文法について学ぶ。そのために必要に応じて課題を課したり小テストを実施する。さらには、日本語理解につながる日本の気候や風土、日常生活で使われる言葉、挨拶、応答などを折に触れて取り上げていく。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 単位認定試験、小テストには聴解のみならず、文法、文字・語彙の分野からも出題する。 課題に対する取り組み、授業中の態度も評価の対象となるので、1時間1時間の授業を大切にしてほしい。 最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。 ２年生以上の再履修生は、Ｎ２の合格するまで、２年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題として課したものを小テストや単位認定試験で出題する。 小テストについては授業で解説し、いくつかは単位認定試験にも出題する。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更してはならない。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること ②　日本語ＩＡ/日本語ＩＡ（文法）、応用日本語ＩＡ/日本語ＩＡ（読解）、日本語研究ＩＡ/日本語ＩＡ（聴解）の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 　なお、授業以外にも、様々な機会をうまく使って実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	日本語の修得には多くの時間が必要であるし、反復も必要である。授業前には授業内容を予習し、疑問点などは整理しておく。 授業後は必ず復習し知識の定着を図る。また、自分でＪＬＰＴ対策の問題演習に取り組むなど積極的な態度が必

	要。 予習・復習にはそれぞれ２時間以上の学習が必要。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間に教室、講師控室にて

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション、プロフィール作成、文法、文字・語彙確認演習	磯
第２回	聴解テキスト学習　課題理解①	磯
第３回	聴解テキスト学習　課題理解②　文字・語彙演習①	磯
第４回	聴解テキスト学習　ポイント理解①	磯
第５回	聴解テキスト学習　ポイント理解②　文字・語彙演習②	磯
第６回	聴解テキスト学習　概要理解①	磯
第７回	聴解テキスト学習　概要理解②　文字・語彙演習③	磯
第８回	第２回～第７回授業内容総括演習	磯
第９回	第２回～第７回授業内容総括演習の解説、復習演習	磯
第１０回	聴解テキスト学習　即時応答①　文字・語彙演習④	磯
第１１回	聴解テキスト学習　即時応答②	磯
第１２回	聴解テキスト学習　即時応答③　文字・語彙演習⑤	磯
第１３回	聴解テキスト学習　概要理解①	磯
第１４回	聴解テキスト学習　概要理解②　文字・語彙演習⑥	磯
第１５回	聴解テキスト学習　第１回、第２回模擬試験問題	磯
第１６回	単位認定試験	磯

教科書			
教・書籍名１	日本語能力試験問題集　Ｎ２聴解　スピードマスター	教・出版社名１	Ｊリサーチ出版
教・著者名１	棚橋明美、杉山ますよ、野原ゆかり	教・ＩＳＢＮ１	978-4-86392-057-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語研究ＩＡ２クラス	担当者	久保田　雅子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-009

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することを目指す。 まずは基本的な文法・語彙・聴解の運用力を中心に身につける。最終の目標は日本語能力試験Ｎ２相当の実力を身につけることである。
授業概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目Ｉの3科目（日本語ＩＢ、応用日本語ＩＢ 、日本語研究ＩＢ）で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。基本的な文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。授業では、基礎的な文法・語彙の運用力、聴解の力を伸ばすことを中心に行う。N2合格への橋渡しとなる科目である。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業評価は、試験（５０％）、小テスト及び課題提出(３０％)、学習意欲・態度(２０％)で評価する。この授業では、基礎の文法・語彙・聴解を中心に扱う。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プリント・課題についてのフィードバックは、おもに次回の授業で個別あるいは全体的に行う。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～3クラスに編成される。 ②日本語Ｉ・応用日本語Ｉ・日本語研究Ｉの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。(社会情勢に応じてＪＬＰＴの試験に代わる措置の学内テストを行う場合もある。) ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 また、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用することもできる。
実務経験のある教員	該当する　内容　日本語教育
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについての発表を行いながら授業を進める。参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。 予習と復習に２時間以上は必要である。
オフィスアワー	授業前、終了後、休憩時間

授業計画	担当者

第１回	1.オリエンテーション（授業の進め方について） 第２４課　文法１	久保田
第２回	2. 第２４課　文法２及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第３回	3. 第２７課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第４回	4. 第２７課　文法2 及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第５回	５. 第30課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第６回	6. 第30課　文法2 及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第７回	７. 第33課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第８回	8. 第33課　文法２及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第９回	９. 第３６課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１０回	10. 第３６課　文法2及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１１回	10. 第３９課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１２回	12. 第３９課　文法2及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１３回	13. 第41課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１４回	14. 第41課　文法2及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１５回	総まとめ	久保田
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	日本語初級2・大地　メインテキスト	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4883195077
教・書籍名２	ドリル＆ドリル 日本語能力試験（文字・語彙）	教・出版社名2	株式会社ユニコム
教・著者名2	星野　恵子・辻和子	教・ＩＳＢＮ2	978-4-89689-487-5

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語研究ＩＡ １クラス				担当者	井上　光惠		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年				ナンバリング	GE-LJ-1-009		
必修・選択	必修	単位数	2単位		時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期		曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話 す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、大学での学びが充実したものになることである。
授業概要	この講義は「聴解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの聴解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。練習の過程では、基礎固めとしてN3レベルの問題も練習する。また関連する言語知識や文法などもとりあげ、総合的な日本語能力向上を目指す。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。　ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試 験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。Ｎ２に合格してはじ めて日本語関連科目Ⅱを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①毎回「音声の聞き分け」の小テストを行い、フィードバックをする。 ②Ｎ２レベル「文法」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックを行う。
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベル以上の日本語能力は必須であり、N2をまだ取っていない学生は、原則として本科目履修中に、Ｎ２試験に合格しなければならない。 　Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２レベルを強化する学習を継続しなければならない。また、Ｎ２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語Ｉ春・応用日本語Ｉ春・日本語研究Ｉ春の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めること。

実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。		
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。		

授業計画		担当者
第１回	1．オリエンテーション	井上光惠
第２回	2．第１章（準備）-１　発音・文法	井上光惠
第３回	3．第１章（準備）-２　会話表現	井上光惠
第４回	4．第２章（問題のパターンに慣れる）-１発話表現　２即時応答	井上光惠
第５回	5．第２章（問題のパターンに慣れる）-３課題理解　４ポイント理解	井上光惠
第６回	6．第２章（問題のパターンに慣れる）-５概要理解	井上光惠
第７回	7．第３章（いろいろな場所で聞く）-１町で	井上光惠
第８回	8．第３章（いろいろな場所で聞く）-２天気予報・交通情報	井上光惠
第９回	9．第３章（いろいろな場所で聞く）-3学校で	井上光惠
第１０回	１０．第3章（いろいろな場所で聞く）-４職場で	井上光惠
第１１回	１１．第3章（いろいろな場所で聞く）-５病院・いろいろな店で	井上光惠
第１２回	１２．第4章（いろいろな内容を聞く）-１人や物のようす	井上光惠
第１３回	１３．第4章（いろいろな内容を聞く）-２場所・方向・位置	井上光惠
第１４回	１４．第4章（いろいろな内容を聞く）-３数・方向・計算	井上光惠
第１５回	１５．第4章（いろいろな内容を聞く）-４順序・比較	井上光惠
第１６回	１６．単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	日本語総まとめＮ３聴解	教・出版社名１	アスク
教・著者名１	佐々木仁子・松本紀子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-792-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	新完全マスター 語彙 Ｎ２	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	伊能裕晃　本田ゆかり　来栖里美	参・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-574-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語研究ＩA 再履クラス２	担当者	井上　光惠
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-009

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話 す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、大学での学びが充実したものになることである。
授業概要	この講義は「聴解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの聴解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。練習の過程では、基礎固めとしてN3レベルの問題も練習する。また関連する言語知識や文法などもとりあげ、総合的な日本語能力向上を目指す。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50％)、小テスト(30％)、学習意欲・態度(20％)によって総合的に評価する。　ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試 験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。Ｎ２に合格してはじ めて日本語関連科目IIを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①毎回「音声の聞き分け」の小テストを行い、フィードバックをする。 ②Ｎ２レベル「文法」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックを行う。
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベル以上の日本語能力は必須であり、N2をまだ取っていない学生は、原則として本科目履修中に、Ｎ２試験に合格しなければならない。 　Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２レベルを強化する学習を継続しなければならない。また、Ｎ２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語Ｉ春・応用日本語Ｉ春・日本語研究Ｉ春の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めること。

実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。		
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。		

授業計画		担当者
第１回	1．オリエンテーション	井上光惠
第２回	2．第１章（準備）-１　発音・文法	井上光惠
第３回	3．第１章（準備）-２　会話表現	井上光惠
第４回	4．第２章（問題のパターンに慣れる）-１発話表現　２即時応答	井上光惠
第５回	5．第２章（問題のパターンに慣れる）-３課題理解　４ポイント理解	井上光惠
第６回	6．第２章（問題のパターンに慣れる）-５概要理解	井上光惠
第７回	7．第３章（いろいろな場所で聞く）-１町で	井上光惠
第８回	8．第３章（いろいろな場所で聞く）-２天気予報・交通情報	井上光惠
第９回	9．第３章（いろいろな場所で聞く）-3学校で	井上光惠
第１０回	１０．第3章（いろいろな場所で聞く）-４職場で	井上光惠
第１１回	１１．第3章（いろいろな場所で聞く）-５病院・いろいろな店で	井上光惠
第１２回	１２．第4章（いろいろな内容を聞く）-１人や物のようす	井上光惠
第１３回	１３．第4章（いろいろな内容を聞く）-２場所・方向・位置	井上光惠
第１４回	１４．第4章（いろいろな内容を聞く）-３数・方向・計算	井上光惠
第１５回	１５．第4章（いろいろな内容を聞く）-４順序・比較	井上光惠
第１６回	１６．単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	日本語総まとめＮ３聴解	教・出版社名１	アスク
教・著者名１	佐々木仁子・松本紀子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-792-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	新完全マスター 語彙 Ｎ２	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	伊能裕晃　本田ゆかり　来栖里美	参・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-574-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語研究ＩＡ再履クラス３	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-009

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「聴解 」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの聴解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。聴解と併せて、言語知識（文字・語彙・文法など）も取り上げ、総合的な日本語能力向上を目指す。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験（５０％）、小テスト（３０％）、学習意欲・態度（２０％）によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。2年生以上の再履修生は、N2に合格するまで、2年次開講の日本語関連科目ⅡＩを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週火曜日3限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	雲津 英子
第２回	基礎編１～４	雲津 英子
第３回	基礎編５～７	雲津 英子
第４回	課題理解１～４	雲津 英子

第５回	Ｎ２対策問題（聴解）		雲津 英子
第６回	Ｎ２対策問題（聴解）の解説		雲津 英子
第７回	課題理解５～９		雲津 英子
第８回	課題理解10～13		雲津 英子
第９回	ポイント理解14～16		雲津 英子
第１０回	ポイント理解17～20		雲津 英子
第１１回	概要理解21～24		雲津 英子
第１２回	概要理解25～28		雲津 英子
第１３回	即時応答29～46		雲津 英子
第１４回	統合理解47～49		雲津 英子
第１５回	統合理解50～52		雲津 英子
第１６回	単位認定試験（聴解・筆記試験）		雲津 英子
教科書			
教・書籍名１	日本語能力試験Ｎ２聴解 必修パターン	教・出版社名１	Jリサーチ出版
教・著者名１	氏原 庸子　清島 千春　佐伯 玲子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-86392-360-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本語能力試験対策 日本語パワードリル N2文字・語彙	参・出版社名１	アスク出版
参・著者名１	松浦 真理子　鈴木 健司	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-768-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語研究ＩＡ再履クラス４			担当者	久保田　雅子		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-LJ-1-009		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語能力試験Ｎ２合格を目指し、このクラスは主に「聴解」を学ぶ。Ｎ３～Ｎ２レベルの聴解問題の出題の傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また中級レベルの日本語表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。
授業概要	日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの聴解問題の出題傾向を知り、練習問題を解きながら実践力を身につける。「聴解の教材」は生活の場面で、ひとりでも対応できる能力を身につけられるような内容を取り入れる。 第二、第三の言語としての日本語をより早く習得するために考察を自ら積極的に行い、他の学生と共有できるコミュニケーション能力を身につけられるよう参加型授業を行う。 また中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになることが目標である。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業評価は、講義内試験（４０％）、小テスト（２０％）、学習意欲・態度（４０％）によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。２年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、２年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プリント・課題についてのフィードバックは、おもに次回の授業で個別あるいは全体的に行う。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑤聴解の教材では、参考図書及びプリントを利用する。プリントを配布するので、初回から専用のファイル、ノートは持参すること。副教材については、３人の先生と共有して進める。これについても毎回持ってくること。 ⑥理由なく欠席が続く場合や、指示した課題を提出しない場合は受講を認めない場合があるので注意してほしい。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用することができる。
実務経験のある教員	該当する　内容　留学生への日本語教育
事前学習・事後学習とその時間	1) 語彙については毎回指定した範囲の小テストを行うので、その課の語彙を自主学習してくること。また定着できるような方法を考え、やってくること。授業でも取り上げるので、それぞれのアイデアを発表できるように準備して授業にのぞむこと。

	2) 聴解の学習方法については、授業でやり方を説明する。おもに発表する形で確認を行うが、短時間でも必ず練習してみること。 予習と復習におよそ２時間以上が望ましいが、時間が見つけて短時間でもやることが当面の目標である。授業前の時間など、活用できる時間を考えてみること。
オフィスアワー	教室・及びオープンスペースにて授業前・後に実施する。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション（授業の進め方について） 1. プリントの説明	久保田
第２回	1-1：イントネーションの違いを知る	久保田
第３回	1-2：はっきり言わない言い方	久保田
第４回	1-3：感謝・迷惑などの表現を知る	久保田
第５回	1-4：量や時間の印象を知る	久保田
第６回	1-5：予想・伝聞の表現を知る	久保田
第７回	1-6：意見を聞き取るときのキーワードを知る	久保田
第８回	2-1：話全体から話し手の意見・意図を聴き取るコツ１	久保田
第９回	2-1：話全体から話し手の意見・意図を聴き取るコツ２	久保田
第１０回	2-2: 次に何をするべきかを聴き取るコツ１	久保田
第１１回	2-２: 次に何をするべきかを聴き取るコツ２	久保田
第１２回	2-３：知りたいことを集中して聴くコツ１	久保田
第１３回	2-３：知りたいことを集中して聴くコツ２	久保田
第１４回	2-4：さまざまな情報を集めて理解するコツ１	久保田
第１５回	2-4 ：さまざまな情報を集めて理解するコツ2・総まとめ	久保田
第１６回		

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	新完全マスター語彙N2	教・出版社名2	スリーエーネットワーク
教・著者名2	伊能 裕晃	教・ＩＳＢＮ2	978-4883195749

参考書			
参・書籍名１	日本語能力試験対策　日本総まとめＮ２　聴解	参・出版社名１	978-4-87217-792-3
参・著者名１	佐々木仁子・松本紀子	参・ＩＳＢＮ１	アスク出版
参・書籍名２	短期マスター聴解ドリル２	参・出版社名2	凡人社
参・著者名2	浅野陽子・他著	参・ＩＳＢＮ2	978-4-89358-857-9

授業科目名	日本語研究ＩＢ（1クラス）				担当者	井上　光惠		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年				ナンバリング	GE-LJ-1-010		
必修・選択	必修	単位数	2単位		時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期		曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話 す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、大学での学びが充実したものになることである。
授業概要	日本語能力試験Ｎ２合格を目指し、読解を中心に学ぶ。Ｎ２レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また中級レベルの日本語表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。　ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試 験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。Ｎ２に合格してはじ めて日本語関連科目Ⅱを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①毎回「音声の聞き分け」の小テストを行い、フィードバックをする。 ②Ｎ２レベル「文法」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックを行う。
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベル以上の日本語能力は必須であり、N2をまだ取っていない学生は、原則として本科目履修中に、Ｎ２試験に合格しなければならない。 　Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２レベルを強化する学習を継続しなければならない。また、Ｎ２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語Ｉ春・応用日本語Ｉ春・日本語研究Ｉ春の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めること。

実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。		
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。		

	授業計画	担当者
第１回	1．オリエンテーション	井上光惠
第２回	２．第１章（準備）-１　発音・文法	井上光惠
第３回	３．第１章（準備）-２　会話表現	井上光惠
第４回	４．第２章（問題のパターンに慣れる）-１発話表現　２即時応答	井上光惠
第５回	５．第２章（問題のパターンに慣れる）-３課題理解　４ポイント理解	井上光惠
第６回	６．第２章（問題のパターンに慣れる）-５概要理解	井上光惠
第７回	７．第３章（いろいろな場所で聞く）-１町で	井上光惠
第８回	８．第３章（いろいろな場所で聞く）-２天気予報・交通情報	井上光惠
第９回	９．第３章（いろいろな場所で聞く）-3学校で	井上光惠
第１０回	１０．第3章（いろいろな場所で聞く）-４職場で	井上光惠
第１１回	１１．第3章（いろいろな場所で聞く）-５病院・いろいろな店で	井上光惠
第１２回	１２．第4章（いろいろな内容を聞く）-１人や物のようす	井上光惠
第１３回	１３．第4章（いろいろな内容を聞く）-２場所・方向・位置	井上光惠
第１４回	１４．第4章（いろいろな内容を聞く）-３数・方向・計算	井上光惠
第１５回	１５．第4章（いろいろな内容を聞く）-４順序・比較	井上光惠
第１６回	１６．単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	日本語総まとめＮ３聴解	教・出版社名１	アスク
教・著者名１	佐々木仁子・松本紀子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-792-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	新完全マスター 語彙 Ｎ２	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	伊能裕晃　本田ゆかり　来栖里美	参・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-574-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語研究ＩＢ（2クラス）	担当者	久保田　雅子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-010

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することを目指す。 まずは基本的な文法・語彙・聴解の運用力を中心に身につける。最終の目標は日本語能力試験Ｎ２相当の実力を身につけることである。
授業概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目Ｉの3科目（日本語ＩＢ、応用日本語ＩＢ 、日本語研究ＩＢ）で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。基本的な文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。授業では、基礎的な文法・語彙の運用力、聴解の力を伸ばすことを中心に行う。N2合格への橋渡しとなる科目である。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業評価は、試験（５０％）、小テスト及び課題提出(３０％)、学習意欲・態度(２０％)で評価する。この授業では、基礎の文法・語彙・聴解を中心に扱う。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プリント・課題についてのフィードバックは、おもに次回の授業で個別あるいは全体的に行う。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～3クラスに編成される。 ②日本語Ｉ・応用日本語Ｉ・日本語研究Ｉの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。(社会情勢に応じてＪＬＰＴの試験に代わる措置の学内テストを行う場合もある。) ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 また、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用することもできる。
実務経験のある教員	該当する　内容　日本語教育
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについての発表を行いながら授業を進める。参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。 予習と復習に２時間以上は必要である。
オフィスアワー	授業前、終了後、休憩時間

授業計画	担当者

第１回	1.オリエンテーション（授業の進め方について） 第２４課　文法１	久保田
第２回	2. 第２４課　文法２及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第３回	3. 第２７課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第４回	4. 第２７課　文法2 及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第５回	５. 第30課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第６回	6. 第30課　文法2 及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第７回	７. 第33課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第８回	8. 第33課　文法２及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第９回	９. 第３６課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１０回	10. 第３６課　文法2及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１１回	10. 第３９課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１２回	12. 第３９課　文法2及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１３回	13. 第41課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１４回	14. 第41課　文法2及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１５回	総まとめ	久保田
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	日本語初級2・大地　メインテキスト	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4883195077
教・書籍名２	ドリル＆ドリル 日本語能力試験（文字・語彙）	教・出版社名2	株式会社ユニコム
教・著者名2	星野　恵子・辻和子	教・ＩＳＢＮ2	978-4-89689-487-5

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語研究ＩＢ再履クラス１	担当者	磯　永二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-010

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生はこの科目を学修することにより、初級レベルの日本語力を確実なものにし、そのうえで、日本語能力試験Ｎ２レベルの聴解能力を身につけていく。そのことが本学の授業に対する理解力の向上だけでなく、様々な教育活動への理解や参加の促進、日本人学生との交流や地域理解の推進にもつながる。そのようにして、日本に対する理解を深め、日本における実りある学生生活を送ることができるようになる。
授業概要	本授業は聴解を中心としており、日本語能力試験Ｎ２レベルの聴解能力獲得を目指している。日本語を聞いて理解するには、そのリズムやスピードに慣れることはもちろんだが、理解に必要な語彙力や文法的な知識も必要である。そこで日本語を単に聞くだけでなく、そこで使われている文字・語彙、文法について学ぶ。そのために必要に応じて課題を課したり小テストを実施する。さらには、日本語理解につながる日本の気候や風土、日常生活で使われる言葉、挨拶、応答などを折に触れて取り上げていく。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 単位認定試験、小テストには聴解のみならず、文法、文字・語彙の分野からも出題する。 課題に対する取り組み、授業中の態度も評価の対象となるので、1時間1時間の授業を大切にしてほしい。 最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。 ２年生以上の再履修生は、Ｎ２の合格するまで、２年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題として課したものを小テストや単位認定試験で出題する。 小テストについては授業で解説し、いくつかは単位認定試験にも出題する。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で 　一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更してはならない。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること ②　日本語ＩＢ/日本語ＩＢ（文法）、応用日本語ＩＢ/日本語ＩＢ（読解）、日本語研究ＩＢ/日本語ＩＢ（聴解）の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 　なお、授業以外にも、様々な機会をうまく使って実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	日本語の修得には多くの時間が必要であるし、反復も必要である。授業前には授業内容を予習し、疑問点などは整理しておく。

	授業後は必ず復習し知識の定着を図る。また、自分でＪＬＰＴ対策の問題演習に取り組むなど積極的な態度が必要。 予習・復習にはそれぞれ２時間以上の学習が必要。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間に教室、講師控室にて

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション、プロフィール作成、文法、文字・語彙確認演習	磯
第２回	文法確認演習、聴解テキスト学習　第１章１	磯
第３回	聴解テキスト学習　第１章２，３	磯
第４回	聴解テキスト学習　第１章４，５	磯
第５回	聴解テキスト学習　第２章１，２	磯
第６回	聴解テキスト学習　第２章３，４	磯
第７回	聴解テキスト学習　第２章５，６，７	磯
第８回	第２回～第７回授業内容総括演習	磯
第９回	第２回～第７回授業内容総括演習の解説、復習演習	磯
第１０回	聴解テキスト学習　第３章１，２	磯
第１１回	聴解テキスト学習　第３章３，４	磯
第１２回	聴解テキスト学習　第３章５　第４章１	磯
第１３回	聴解テキスト学習　第４章２，３	磯
第１４回	聴解テキスト学習　第４章４，５	磯
第１５回	聴解テキスト学習　第５章	磯
第１６回	単位認定試験	磯

教科書			
教・書籍名１	日本語能力試験　日本語総まとめＮ２　聴解	教・出版社名１	アスク出版
教・著者名１	佐々木仁子、松本紀子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-792-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語研究ＩＢ再履クラス２	担当者	井上　光惠
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-010

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話 す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、大学での学びが充実したものになることである。
授業概要	この講義は「聴解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの聴解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。練習の過程では、基礎固めとしてN3レベルの問題も練習する。また関連する言語知識や文法などもとりあげ、総合的な日本語能力向上を目指す。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。　ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試 験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。Ｎ２に合格してはじ めて日本語関連科目IIを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①毎回「音声の聞き分け」の小テストを行い、フィードバックをする。 ②Ｎ２レベル「文法」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックを行う。
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベル以上の日本語能力は必須であり、N2をまだ取っていない学生は、原則として本科目履修中に、Ｎ２試験に合格しなければならない。 　Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２レベルを強化する学習を継続しなければならない。また、Ｎ２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語Ｉ春・応用日本語Ｉ春・日本語研究Ｉ春の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めること。

実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。		
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。		

授業計画		担当者
第１回	1．オリエンテーション	井上光惠
第２回	2．第１章（準備）-１　発音・文法	井上光惠
第３回	3．第１章（準備）-２　会話表現	井上光惠
第４回	4．第２章（問題のパターンに慣れる）-１発話表現　２即時応答	井上光惠
第５回	5．第２章（問題のパターンに慣れる）-３課題理解　４ポイント理解	井上光惠
第６回	6．第２章（問題のパターンに慣れる）-５概要理解	井上光惠
第７回	7．第３章（いろいろな場所で聞く）-１町で	井上光惠
第８回	8．第３章（いろいろな場所で聞く）-２天気予報・交通情報	井上光惠
第９回	9．第３章（いろいろな場所で聞く）-3学校で	井上光惠
第１０回	１０．第3章（いろいろな場所で聞く）-４職場で	井上光惠
第１１回	１１．第3章（いろいろな場所で聞く）-５病院・いろいろな店で	井上光惠
第１２回	１２．第4章（いろいろな内容を聞く）-１人や物のようす	井上光惠
第１３回	１３．第4章（いろいろな内容を聞く）-２場所・方向・位置	井上光惠
第１４回	１４．第4章（いろいろな内容を聞く）-３数・方向・計算	井上光惠
第１５回	１５．第4章（いろいろな内容を聞く）-４順序・比較	井上光惠
第１６回	１６．単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	日本語総まとめＮ３聴解	教・出版社名１	アスク
教・著者名１	佐々木仁子・松本紀子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-792-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	新完全マスター 語彙 Ｎ２	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	伊能裕晃　本田ゆかり　来栖里美	参・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-574-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語研究ＩＢ再履クラス３	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-010

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「聴解 」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの聴解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。聴解と併せて、言語知識（文字・語彙・文法など）も取り上げ、総合的な日本語能力向上を目指す。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験（５０％）、小テスト（３０％）、学習意欲・態度（２０％）によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。2年生以上の再履修生は、N2に合格するまで、2年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＢ・応用日本語ＩＢ・日本語研究ＩＢの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週水曜日5限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	雲津 英子
第２回	基礎編１～４	雲津 英子
第３回	基礎編５～７	雲津 英子
第４回	課題理解１～４	雲津 英子

第５回	Ｎ２対策問題（聴解）		雲津 英子
第６回	Ｎ２対策問題（聴解）の解説		雲津 英子
第７回	課題理解５～９		雲津 英子
第８回	課題理解10～13		雲津 英子
第９回	ポイント理解14～16		雲津 英子
第１０回	ポイント理解17～20		雲津 英子
第１１回	概要理解21～24		雲津 英子
第１２回	概要理解25～28		雲津 英子
第１３回	即時応答29～46		雲津 英子
第１４回	統合理解47～49		雲津 英子
第１５回	統合理解50～52		雲津 英子
第１６回	単位認定試験（聴解・筆記試験）		雲津 英子
教科書			
教・書籍名１	日本語能力試験Ｎ２聴解 必修パターン	教・出版社名１	Jリサーチ出版
教・著者名１	氏原 庸子　清島 千春　佐伯 玲子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-86392-360-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本語能力試験対策 日本語パワードリル N2文字・語彙	参・出版社名１	アスク出版
参・著者名１	松浦 真理子　鈴木 健司	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-768-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語研究ＩＢ再履クラス４				担当者	久保田　雅子		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年				ナンバリング	GE-LJ-1-010		
必修・選択	必修	単位数	2単位		時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期		曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語能力試験Ｎ２合格を目指し、このクラスは主に「聴解」を学ぶ。Ｎ３～Ｎ２レベルの聴解問題の出題の傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また中級レベルの日本語表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。
授業概要	日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの聴解問題の出題傾向を知り、練習問題を解きながら実践力を身につける。「聴解の教材」は生活の場面で、ひとりでも対応できる能力を身につけられるような内容を取り入れる。 第二、第三の言語としての日本語をより早く習得するために考察を自ら積極的に行い、他の学生と共有できるコミュニケーション能力を身につけられるよう参加型授業を行う。 また中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになることが目標である。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業評価は、講義内試験（４０％）、小テスト（２０％）、学習意欲・態度（４０％）によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。２年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、２年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プリント・課題についてのフィードバックは、おもに次回の授業で個別あるいは全体的に行う。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑤聴解の教材では、参考図書及びプリントを利用する。プリントを配布するので、初回から専用のファイル、ノートは持参すること。副教材については、３人の先生と共有して進める。これについても毎回持ってくること。 ⑥理由なく欠席が続く場合や、指示した課題を提出しない場合は受講を認めない場合があるので注意してほしい。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用することができる。
実務経験のある教員	該当する　内容　留学生への日本語教育
事前学習・事後学習とその時間	1) 語彙については毎回指定した範囲の小テストを行うので、その課の語彙を自主学習してくること。また定着できるような方法を考え、やってくること。授業でも取り上げるので、それぞれのアイデアを発表できるように準備して授業にのぞむこと。

	2) 聴解の学習方法については、授業でやり方を説明する。おもに発表する形で確認を行うが、短時間でも必ず練習してみること。 予習と復習におよそ２時間以上が望ましいが、時間が見つけて短時間でもやることが当面の目標である。授業前の時間など、活用できる時間を考えてみること。
オフィスアワー	教室・及びオープンスペースにて授業前・後に実施する。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション（授業の進め方について） 1. プリントの説明	久保田
第２回	1-1：イントネーションの違いを知る	久保田
第３回	1-2：はっきり言わない言い方	久保田
第４回	1-3：感謝・迷惑などの表現を知る	久保田
第５回	1-4：量や時間の印象を知る	久保田
第６回	1-5：予想・伝聞の表現を知る	久保田
第７回	1-6：意見を聞き取るときのキーワードを知る	久保田
第８回	2-1：話全体から話し手の意見・意図を聴き取るコツ１	久保田
第９回	2-1：話全体から話し手の意見・意図を聴き取るコツ２	久保田
第１０回	2-2: 次に何をするべきかを聴き取るコツ１	久保田
第１１回	2-２: 次に何をするべきかを聴き取るコツ２	久保田
第１２回	2-３：知りたいことを集中して聴くコツ１	久保田
第１３回	2-３：知りたいことを集中して聴くコツ２	久保田
第１４回	2-4：さまざまな情報を集めて理解するコツ１	久保田
第１５回	2-4 ：さまざまな情報を集めて理解するコツ2・総まとめ	久保田
第１６回		

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	新完全マスター語彙N2	教・出版社名2	スリーエーネットワーク
教・著者名2	伊能 裕晃	教・ＩＳＢＮ2	978-4883195749

参考書			
参・書籍名１	日本語能力試験対策　日本総まとめＮ２　聴解	参・出版社名１	978-4-87217-792-3
参・著者名１	佐々木仁子・松本紀子	参・ＩＳＢＮ１	アスク出版
参・書籍名２	短期マスター聴解ドリル２	参・出版社名2	凡人社
参・著者名2	浅野陽子・他著	参・ＩＳＢＮ2	978-4-89358-857-9

授業科目名	日本語研究ⅡＡ１・２クラス	担当者	磯　永二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LJ-2-011

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生はこの科目を学修することにより、日本語能力試験Ｎ１レベルの聴解能力を身につけていく。それにとどまらず、「読む」「書く」「話す」能力の向上もめざす。総合的な日本語力の向上は、本学の授業に対する理解力の向上だけでなく、様々な教育活動への理解や参加の促進、日本人学生との交流や地域理解の推進にもつながる。そのようにして、日本に対する理解が深化し、日本における実りある学生生活を送ることができるようになる。
授業概要	本授業は聴解を中心としており、日本語能力試験Ｎ１レベルの聴解能力獲得を目指している。そのためには日本語を反復して聞いて、そのリズムやスピードに慣れることはもちろんだが、理解に必要な語彙力や文法的な知識も必要である。そこで日本語を単に聞くだけでなく、そこで使われている文字・語彙、文法について学ぶ。そのために必要に応じて課題を課したり小テストを実施する。さらには、日本語理解につながる日本の気候や風土、日常生活で使われる言葉、挨拶、応答などを折に触れて取り上げていき、充実した学生生活を送れるようにする。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 単位認定試験、小テストには聴解のみならず、文法、文字・語彙の分野からも出題する。 課題に対する取り組み、授業中の態度も評価の対象となるので、1時間1時間の授業を大切にしてほしい。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題として課したものを小テストや単位認定試験で出題する。 小テストについては授業で解説し、いくつかは単位認定試験にも出題する。
履修条件・注意事項	日本語能力試験Ｎ２合格が条件である。 Ｎ２を取得していない学生は履修することはできない。 Ｎ２レベルに満足するのでなく、さらにＮ１レベルを目指して意欲的に受講してもらいたい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	高いレベルの日本語の修得には多くの時間が必要であるし、反復も必要である。授業前には授業内容を予習し、疑問点などは整理しておく。 授業後は必ず復習し知識の定着を図る。また、自分でＪＬＰＴ対策の問題演習に取り組むなど積極的な態度が必要。 予習・復習にはそれぞれ２時間以上の学習が必要。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間に教室、講師控室にて

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、Ｎ３、Ｎ２レベル文法、文字・語彙確認演習	磯
第２回	聴解テキスト学習　課題理解①　練習問題１～５	磯
第３回	聴解テキスト学習　課題理解②　練習問題６～12　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習①	磯
第４回	聴解テキスト学習　ポイント理解①　練習問題１～６	磯
第５回	聴解テキスト学習　ポイント理解②　練習問題７～14　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習②	磯
第６回	聴解テキスト学習　概要理解①　練習問題１～６	磯
第７回	聴解テキスト学習　概要理解②　練習問題７～12　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習③	磯
第８回	第２回～第７回授業内容総括演習	磯

第９回	第２回～第７回授業内容総括演習解説、補充演習		磯
第１０回	聴解テキスト学習　即時応答①　敬語表現、文末否定、慣用表現		磯
第１１回	聴解テキスト学習　即時応答②　練習問題１～８　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習④		磯
第１２回	聴解テキスト学習　即時応答③　練習問題９～20　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習⑤		磯
第１３回	聴解テキスト学習　即時応答④　練習問題21～30　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習⑥		磯
第１４回	聴解テキスト学習　統合理解①　統合理解とは　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習⑦		磯
第１５回	聴解テキスト学習　統合理解②　練習問題１～６		磯
第１６回	単位認定試験		磯
教科書			
教・書籍名１	絶対合格！日本語能力試験　徹底トレーニングＮ１　聴解	教・出版社名１	アスク出版
教・著者名１	松岡龍美	教・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-776-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語研究ⅡB	担当者	磯　永二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LJ-2-012

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生はこの科目を学修することにより、日本語能力試験Ｎ１レベルの聴解能力を身につけていく。それにとどまらず、「読む」「書く」「話す」能力の向上もめざす。総合的な日本語力の向上は、本学の授業に対する理解力の向上だけでなく、様々な教育活動への理解や参加の促進、日本人学生との交流や地域理解の推進にもつながる。そのようにして、日本に対する理解が深化し、日本における実りある学生生活を送ることができるようになる。
授業概要	本授業は聴解を中心としており、日本語能力試験Ｎ１レベルの聴解能力獲得を目指している。そのためには日本語を反復して聞いて、そのリズムやスピードに慣れることはもちろんだが、理解に必要な語彙力や文法的な知識も必要である。そこで日本語を単に聞くだけでなく、そこで使われている文字・語彙、文法について学ぶ。そのために必要に応じて課題を課したり小テストを実施する。さらには、日本語理解につながる日本の気候や風土、日常生活で使われる言葉、挨拶、応答などを折に触れて取り上げていき、充実した学生生活を送れるようにする。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 単位認定試験、小テストには聴解のみならず、文法、文字・語彙の分野からも出題する。 課題に対する取り組み、授業中の態度も評価の対象となるので、1時間1時間の授業を大切にしてほしい。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題として課したものを小テストや単位認定試験で出題する。 小テストについては授業で解説し、いくつかは単位認定試験にも出題する。
履修条件・注意事項	日本語能力試験Ｎ２合格が条件である。 Ｎ２を取得していない学生は履修することはできない。 Ｎ２レベルに満足するのでなく、さらにＮ１レベルを目指して意欲的に受講してもらいたい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	高いレベルの日本語の修得には多くの時間が必要であるし、反復も必要である。授業前には授業内容を予習し、疑問点などは整理しておく。 授業後は必ず復習し知識の定着を図る。また、自分でＪＬＰＴ対策の問題演習に取り組むなど積極的な態度が必要。 予習・復習には２時間以上の学習が必要。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間に教室、講師控室にて

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、Ｎ３、Ｎ２レベル文法確認演習	磯
第２回	Ｎ３、Ｎ２レベル文字・語彙確認演習　　聴解テキスト学習①　第１章１	磯
第３回	聴解テキスト学習②　第１章２，３	磯
第４回	聴解テキスト学習③　第１章４，５　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習①	磯
第５回	聴解テキスト学習④　第２章１，２　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習②	磯
第６回	聴解テキスト学習⑤　第２章３，４　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習③	磯
第７回	聴解テキスト学習⑥　第２章5，６，７	磯
第８回	第２回～第７回授業内容総括演習	磯

第９回	第２回～第７回授業内容総括演習解説、補充演習		磯
第１０回	聴解テキスト学習⑦　第３章１，２　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習④		磯
第１１回	聴解テキスト学習⑧　第３章３，４　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習⑤		磯
第１２回	聴解テキスト学習⑨　第３章５　第４章１　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習⑤		磯
第１３回	聴解テキスト学習⑩　第４章２，３　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習⑦		磯
第１４回	聴解テキスト学習⑪　第４章４，５　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習⑧		磯
第１５回	聴解テキスト学習⑫　第５章　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習⑨		磯
第１６回	単位認定試験		磯
教科書			
教・書籍名１	日本語能力試験対策　日本語総まとめＮ１　聴解	教・出版社名１	アスク出版
教・著者名１	佐々木仁子、松本紀子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-791-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文章表現入門	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CH-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。 大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。 本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。
授業概要	講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の６つ領域で構成している。 学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一歩一歩着実に高めていくことができる。 毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。 さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（70%）、授業態度（15%）、小テスト・復習テスト（15%）によって総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のＮ２（２級）以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が，小論文指導（表記法、文章表現等の指導）の経験を活かし，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週火曜日3限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	「日本語検定３級」に挑戦	雲津 英子
第２回	はじめに	雲津 英子
第３回	敬語の種類と使い分け	雲津 英子
第４回	注意すべき敬語	雲津 英子
第５回	配慮を示す言葉	雲津 英子
第６回	品詞・活用の種類	雲津 英子

第７回	ら抜き言葉・さ入れ言葉	雲津 英子	
第８回	文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文	雲津 英子	
第９回	接続後・指示語と文章	雲津 英子	
第１０回	類義語・対義語	雲津 英子	
第１１回	動詞の自他・視点	雲津 英子	
第１２回	文体、話し言葉・書き言葉	雲津 英子	
第１３回	コロケーション	雲津 英子	
第１４回	部首・音訓・熟語	雲津 英子	
第１５回	仮名遣い・送り仮名	雲津 英子	
第１６回	単位認定試験（筆記試験）	雲津 英子	
教科書			
教・書籍名１	スキルアップ！ 日本語力―大学生のための日本語練習帳―	教・出版社名１	東京書籍
教・著者名１	名古屋大学日本語研究会ＧＫ７	教・ＩＳＢＮ１	978-4-487-80364-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文章表現入門	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CH-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。 大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。 本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。
授業概要	講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の６つ領域で構成している。 学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一歩一歩着実に高めていくことができる。 毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。 さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（70%）、授業態度（15%）、小テスト・復習テスト（15%）によって総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のＮ２（２級）以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が，小論文指導（表記法、文章表現等の指導）の経験を活かし，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週水曜日5限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	「日本語検定３級」に挑戦	雲津 英子
第２回	はじめに	雲津 英子
第３回	敬語の種類と使い分け	雲津 英子
第４回	注意すべき敬語	雲津 英子
第５回	配慮を示す言葉	雲津 英子
第６回	品詞・活用の種類	雲津 英子

第７回	ら抜き言葉・さ入れ言葉	雲津 英子	
第８回	文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文	雲津 英子	
第９回	接続後・指示語と文章	雲津 英子	
第１０回	類義語・対義語	雲津 英子	
第１１回	動詞の自他・視点	雲津 英子	
第１２回	文体、話し言葉・書き言葉	雲津 英子	
第１３回	コロケーション	雲津 英子	
第１４回	部首・音訓・熟語	雲津 英子	
第１５回	仮名遣い・送り仮名	雲津 英子	
第１６回	単位認定試験（筆記試験）	雲津 英子	
教科書			
教・書籍名１	スキルアップ！ 日本語力―大学生のための日本語練習帳―	教・出版社名１	東京書籍
教・著者名１	名古屋大学日本語研究会ＧＫ７	教・ＩＳＢＮ１	978-4-487-80364-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文学への招待	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CH-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	本講義のテーマは、詩・俳句・短歌・小説等の文学作品を読み鑑賞することを通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、学生が自分自身の生き方を多様で豊かなものにしていくことである。 学生が、その過程において、文学に使われている語彙や巧みな言語表現、文学作品にみられる豊かな構想力を自己のものにし、自己の言語表現能力の向上をめざすとともに、文学作品の鑑賞を通して自分自身の生き方を豊かなものにしようとする態度を身につけることを到達目標とする。
授業概要	詩・俳句・短歌・小説等の文学作品について、それぞれの作者や作品を生み出した歴史的背景、あるいは文化的背景に触れ、文学の発達のあらましやそれぞれの時代における文学の特質を学ぶ。また、文学作品を読み、印象に残った作家や作品について調べ発表したり、討論を行う。このような学修活動を通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、自分自身の生き方を豊かなものにするとともに、文学作品を読み、鑑賞することの意義を理解する。さらに、学生の図書館活用能力の向上のため、図書館の活用方法についての学修を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	レポート試験・受講態度などによって総合的に評価する。 レポート試験（70%）、発表・討論への参加（15%）、受講態度（15%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題（提出物・レポート）は、授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	必要に応じてプリントを配布するため、ファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は，大学図書館職員としての実務経験を持つ教員が，その経験を活かし，図書館の利用方法など，学生の読書活動，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	大学図書館・県立図書館・市立図書館などで本を借りて、自宅においても積極的に読書をし、講義に臨むこと。 復習を行い、講義内容を十分に理解した上で、次回の講義を受講すること。予習および復習は、各2時間程度行うこと。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週火曜日3限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	文学とはなにか	雲津 英子
第２回	図書館活用方法の理解	雲津 英子
第３回	図書館活用の実践	雲津 英子
第４回	日本文学史（１）-上代文学	雲津 英子
第５回	日本文学史（２）-中古文学	雲津 英子
第６回	日本文学史（３）-中世文学	雲津 英子
第７回	日本文学史（４）-近世文学	雲津 英子

第８回	日本文学史（５）-近代文学		雲津 英子
第９回	日本文学史（６）-現代文学		雲津 英子
第１０回	夏目漱石・森鴎外・泉鏡花の作品（討論）		雲津 英子
第１１回	芥川龍之介の作品（討論）		雲津 英子
第１２回	宮沢賢治の作品（討論）		雲津 英子
第１３回	小林多喜二・太宰治の作品		雲津 英子
第１４回	詩・俳句・短歌（討論）		雲津 英子
第１５回	まとめ		雲津 英子
第１６回	単位認定試験（レポート試験）		雲津 英子
教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本文学概論	参・出版社名１	財団法人　放送大学教育振興会
参・著者名１	島内裕子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-595-31342-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	美術の見方	担当者	前嶋　英輝
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CH-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は、「自分なりの美術の見方を確立する」ことをテーマとして、美術作品について広い知識を持ち、自分の言葉で語ることができる能力を身につける。美術作品の「見方」の２つの可能性を考えてみる。１つめは、美術作品について客観的に知識として学習する見方であり、２つ目は、主観的に興味を持ち疑問を投げかけてみるような見方である。前者にはある程度の答えがあり、後者には答えは無い。この授業では、２つの見方を組み合わせて対話型鑑賞を行う。学生は、美術の見方を考えることで、自分の美術の見方ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	毎回映像資料による対話型鑑賞を行う。毎回、先行研究として示されている各時代の作品の属性や意味、時代背景などについて学問的な検討を行う。　鑑賞の仕方を学ぶことが目的であるから、とにかく多くの美術作品にふれ、授業で紹介される作品について、自分なりに調べてみることが大切である。自分で考えた疑問などについて、授業内の対話や毎回の小レポートの中で深める事が大切である。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート（６0点）、 到達目標達成度を見る期末試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回の小レポートについては、代表的なものを次回取り挙げてコメントしディスカッションの題材とすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、美術作品について興味を持ち検索などで予習を行うことが必要である。また積極的に討論に参加するためにノートなどをもとに復習を行うことが重要である。対話型鑑賞では、自分の視点で意見を述べることが重要である。できれば自主的に美術館を訪れることを薦める。期末試験では、到達目標の理解度を見るため十分な復習が必 要である。 初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。 中学校・高等学校での美術科教員および短期大学での美術担当教員、全国公募展審査員、彫刻家
事前学習・事後学習とその時間	美術に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。　1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	対話型鑑賞と美術の見方	前嶋英輝

第２回	世界の美術館散歩	前嶋英輝
第３回	美術教育と人間形成・現代美術	前嶋英輝
第４回	古代オリエント	前嶋英輝
第５回	ギリシャ・ローマ・中世	前嶋英輝
第６回	ルネサンス・バロック・ロココ	前嶋英輝
第７回	新古典主義・印象派	前嶋英輝
第８回	後期印象派以降・セザンヌとキュービズム	前嶋英輝
第９回	インド美術とイスラム美術・東南アジアの美術	前嶋英輝
第１０回	仏教美術の誕生とシルクロードの美術	前嶋英輝
第１１回	飛鳥～平安・韓国美術の影響	前嶋英輝
第１２回	鎌倉～室町・仏教彫刻・絵巻物・水墨画	前嶋英輝
第１３回	安土桃山・障屏画	前嶋英輝
第１４回	江戸・浮世絵・町人の美術	前嶋英輝
第１５回	明治以降の美術・西洋美術の影響	前嶋英輝
第１６回	単位認定試験	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	テキスト名：絵画をいかに味わうか	参・出版社名１	平凡社
参・著者名１	著者：ヴィクトル・I・ストイキツァ	参・ＩＳＢＮ１	978-4582206371
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生涯スポーツ論 経社・心理・子ども・アニメ	担当者	羽野　真哉
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CH-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：年齢に応じたスポーツとの関わり方について理解する。 到達目標：学生が年齢に応じた「スポーツ」に参加することの意味を理解し、グループワークやディスカッションすることによって自らの言葉で伝えられるようになる。
授業概要	少子高齢社会を生きる現代人にとって「健康」がもつ意味は多様化していることを踏まえ、「スポーツ」が果たす役割に着目し、「健康づくり」「健康増進」の視点から論ずる。具体的には、①生涯スポーツの概念や歴史、現状についての基礎的理解、②幼少年のスポーツ、新しいスポーツ、地域総合型スポーツクラブの現状と課題、スポーツと環境問題、スポーツ少年団の将来像について取り上げる。 これらを踏まえ、各年代に応じたスポーツのあり方、また生涯を通したスポーツへの親しみ方を理解した上で、生涯にわたって豊かな生活を送るための取り組みについて講義する。 なお、本演習は学校教員（保健体育）の実務経験者が担当し、学校現場の実態などを踏まえた討議などを行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	定期試験とレポートおよび授業態度にて評価する。定期試験を５０％とし、レポートの記述内容30％、授業での積極的発言など授業態度を２０％とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業内に行う課題については、授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業内で配布される資料は各自でファイルにまとめ予習復習を行うこと。 授業内容を自分なりの考察も含めノートにまとめること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、本学硬式野球部で監督経験を持つ教員が、その経験を活かし、指導現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように、テキストの指定されたページをまとめるなど予習してくること。また、配布した資料や、講義内容を踏まえて学期末の定期試験を出題するので、授業終了後にノートをまとめ、復習しておくこと。なお、予習復習についてはそれぞれ2時間程度行うこと。
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室において、毎週金曜日２時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	スポーツ本来の姿	羽野
第２回	スポーツ観の返遷	羽野
第３回	スポーツする身体	羽野
第４回	運動・スポーツとメンタルヘルス	羽野
第５回	スポーツの技術	羽野
第６回	体力について	羽野
第７回	心とスポーツ	羽野

第８回	発育・発達とスポーツ	羽野	
第９回	現代社会とスポーツ	羽野	
第１０回	スポーツの上達法	羽野	
第１１回	健康のためのスポーツ	羽野	
第１２回	スポーツと教育	羽野	
第１３回	スポーツと経済	羽野	
第１４回	スポーツ動作の分析	羽野	
第１５回	競技スポーツと生涯スポーツ	羽野	
第１６回	試験	筆記試験	
教科書			
教・書籍名１	生涯スポーツの理論と実際	教・出版社名１	大修館書店
教・著者名１	日下 裕弘（著), 加納 弘二（著）	教・ＩＳＢＮ１	978-4469266986
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	生涯スポーツ実践論	参・出版社名１	市村出版
参・著者名１	野川春夫 (著), 川西正志 (著)	参・ＩＳＢＮ１	978-4902109290
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生涯スポーツ実習 （アニメ・心理・経社）	担当者	天岡　寛
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CH-0-006

必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	実習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	△	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	学生は実習通して、スポーツの楽しさを理解し、好きになってもらう。スポーツの楽しさである、人と関わる楽しさ、極める楽しさ、協力する楽しさ、創意工夫する楽しさ、考える楽しさ、勝敗の楽しさを理解することができる。 近年、社会環境の変化による、外遊びの減少、運動経験不足、基礎運動能力の低下が挙げられる。自分自身の体を自由自在に動かすことができるように、全身のコーディネーションと体幹の安定化を高める事ができる。全身持久力を高める事ができるようにボールを使った球技の中で、たくさんのボールにさわり、たくさんプレーすることによって高めることができる。 ☒
授業概要	球技（バスケットボール、フットサル、卓球、バトミントン）を通してルールを守り、仲間と助けあうことを体感する。 気軽にできる体幹トレーニングにより、基礎筋力、全身コーディネーションを高める。 ストレッチを学び、怪我予防を学ぶことができる。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	受講態度（50%）及び理解度（50%） 全力で取り組み、技術習得に努めてたか。 仲間と協力して、目的にむかってプレーしているか。 授業のマナー・ルールを守っているか。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために競技のルール等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	体育館シューズを準備。 運動できる服装の準備（ジーンズ等は認めない） 水分（水、スポーツ飲料、お茶）の準備 競技に関する競技規則等について、復習及び指示された予習を行うこと.
実務経験のある教員	該当する　内容　健康運動指導士
事前学習・事後学習とその時間	日ごろからスポーツや健康に興味関心を持つこと.
オフィスアワー	水曜日4時限目　9号館4階研究室

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	天岡
第２回	卓球	天岡
第３回	卓球	天岡
第４回	バスケットボール	天岡
第５回	バスケットボール	天岡

第６回	フットサル	天岡
第７回	フットサル	天岡
第８回	バトミントン	天岡
第９回	バトミントン	天岡
第１０回	器具を使用しての筋力トレーニング	天岡
第１１回	器具を使用しての筋力トレーニング　２	天岡
第１２回	自体重でできる筋力トレーニング	天岡
第１３回	自体重でできる筋力トレーニング　２	天岡
第１４回	フットサル　ゲーム１	天岡
第１５回	フットサル　ゲーム２	天岡
第１６回	単位認定試験	天岡

教科書			
教・書籍名１	実習科目につき教科書は使用しない	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	適宜指示する.	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	哲学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-GA-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。
授業概要	古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜５限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	1.「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり	山本
第２回	初期の「哲学者」たち	山本
第３回	エレア派とその影響	山本
第４回	ソクラテスとその影響	山本
第５回	プラトン	山本
第６回	アリストテレスの哲学	山本
第７回	アリストテレスの第一哲学	山本
第８回	ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況	山本
第９回	西欧文明の成立	山本
第１０回	盛期中世の学問状況と14世紀の大変革	山本
第１１回	ルネサンスと科学革命	山本
第１２回	科学革命と政治哲学	山本

第１３回	19世紀における諸科学の成立と哲学	山本
第１４回	科学的心理学の成立と哲学の変容	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	西洋哲学史〈古代から中世へ〉	参・出版社名１	岩波新書
参・著者名１	熊野純彦	参・ＩＳＢＮ１	9784004310075
参・書籍名２	西洋哲学史〈近代から現代へ〉	参・出版社名2	岩波新書
参・著者名2	9784004310082	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	哲学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-GA-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。
授業概要	古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜５限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	1.「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり	山本
第２回	初期の「哲学者」たち	山本
第３回	エレア派とその影響	山本
第４回	ソクラテスとその影響	山本
第５回	プラトン	山本
第６回	アリストテレスの哲学	山本
第７回	アリストテレスの第一哲学	山本
第８回	ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況	山本
第９回	西欧文明の成立	山本
第１０回	盛期中世の学問状況と14世紀の大変革	山本
第１１回	ルネサンスと科学革命	山本
第１２回	科学革命と政治哲学	山本

第１３回	19世紀における諸科学の成立と哲学	山本
第１４回	科学的心理学の成立と哲学の変容	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	西洋哲学史〈古代から中世へ〉	参・出版社名１	岩波新書
参・著者名１	熊野純彦	参・ＩＳＢＮ１	9784004310075
参・書籍名２	西洋哲学史〈近代から現代へ〉	参・出版社名2	岩波新書
参・著者名2	9784004310082	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	宗教学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-GA-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマは「世界宗教史」である。学生は講義を通じて、現生人類の誕生から新石器時代、文明の誕生を経て、ユーラシア西部や日本にどのような宗教が存在してきたか、そしてそれらが現代の我々にどのような影響を及ぼしているのかを知る。このことを通じ学生は、世界の多様な文化を理解することができる。これが到達目標である。
授業概要	後期旧石器時代・中石器時代・新石器時代・古代諸文明(メソポタミア、エジプト、カナアン、ギリシャなど)という段階を経て一神教(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教)の成立までの流れを追い、そしてそれらの一神教の展開を概観する。これは主としてユーラシア大陸西半部の歴史上の諸宗教の紹介という形をとるが、文字資料のみならず画像などの視覚的情報を多用して、縁遠い時空に生きた人々の精神世界への理解を促したい。また、日本の宗教という話題にも、世界史的観点から言及する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	評価方法 小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	地理歴史の基礎知識。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	人類史と宗教：旧石器時代から新石器時代へ	山本
第２回	日本の縄文時代、弥生時代、古墳時代の宗教	山本
第３回	文明誕生：メソポタミア	山本
第４回	エジプト文明	山本
第５回	古代ギリシャ文明	山本
第６回	ユダヤ教の成立	山本
第７回	ヘレニズム期の宗教	山本
第８回	キリスト教の成立と展開	山本
第９回	ローマカトリック	山本
第１０回	初期のイスラーム	山本
第１１回	宗教改革とその後	山本
第１２回	日本宗教史：古代・中世・近世	山本
第１３回	現代日本の宗教事情	山本
第１４回	現代世界の宗教事情	山本

第１５回	総括	山本	
第１６回	定期試験	山本	
教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	倫理学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-GA-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	主題は「暇と退屈」である。つまり、ヒトが暇であるという事態と退屈であるという事態である。我々にとって身近な「暇と退屈」を分析する。暇はあるが退屈はしないという、よき人生はどのようなものか考える。そして学生各位は暇を持て余すことのない、自分固有のよき人生への指針を獲得することができる。
授業概要	定住生活を開始して以来、人類とともにあり、個人や集団に破滅をもたらしたりすることもある「退屈」について、国分功一郎『暇と退屈の倫理学』を一緒に読みながら、注釈と批判を加え、ともに考えてゆく。その過程でパスカルやニーチェ、ラッセルやハイデッガー、ホッブズやルソー、マルクスやアーレントといった西欧思想の古典をこのテーマに関わる範囲で読むことになる。　また、定住革命論やユクスキュルの環世界論など、隣接するさまざまな領域の知見を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
履修条件・注意事項	「気分」のようなとらえにくいものについて、具体例に即して考える思考力、言語能力、忍耐力。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、教科書や配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

授業計画		担当者
第１回	「好きなこと」とは？	山本
第２回	パスカルとニーチェの退屈論	山本
第３回	暇と退屈の原理論	山本
第４回	定住革命について	山本
第５回	暇と退屈の系譜学	山本
第６回	暇と退屈の経済史	山本
第７回	ホッブズ、ルソー、マルクス	山本
第８回	暇と退屈の疎外論	山本
第９回	暇と退屈の哲学	山本
第１０回	環世界論	山本
第１１回	暇と退屈の人間学	山本
第１２回	ハイデッガー	山本
第１３回	暇と退屈の倫理学	山本
第１４回	スピノザ	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	暇と退屈の倫理学	教・出版社名１	太田出版
教・著者名１	國分功一郎	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7783-1437-8
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	心理学 （看護・理学・作業・子ども・アニメ）	担当者	津川　秀夫、藤原　直子、土居　正人、橋本　翠、村上　勝典、若森　孝彰、森井　康幸、宇都宮　真輝
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-GA-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	心理学とはどんな学問かを知ることがテーマである。心理学は心の働きについて科学的に研究していく学問である。学生は，人が生活している環境からいかに情報を取り入れ，蓄積し，利用するのか，あるいは，いかに人間関係のなかで適応的に生きているのかなどについての学びを通して，心理学のおもしろさに触れることができる。
授業概要	心理学は知覚、認知、発達、社会、パーソナリティーなどさまざまな領域において様々な研究が行われている。本講義では，いくつかの領域における研究対象，方法，得られた知見等の解説をオムニバス形式で行う。 ☒
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	小テスト(50%) と定期テスト(50%) の成績により評価する。 ただし、受講態度の悪い学生（私語、飲食、内職等・・・）については，この限りではない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストについては、授業中にフィードバックするので、定期試験に向けて、見直すこと。
履修条件・注意事項	テキストは使用しないので，集中して講義に参加すること。 授業担当者ごとに，2回に１回くらいの割合で小テストを行うので，特に復習には力を入れること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	基本的には、講義内で配布された資料をもとに復習すること。（2時間） テキストは使用しないが、一般的な心理学の本で該当箇所を対照させながら学ぶことが重要である（2時間）。体験的に学びを深めたい学生には、心理学実験への参加・協力をお願いする。
オフィスアワー	森井：月４　津川：月4　藤原：月2　橋本：月5　宇都宮：火4　土居：月2　村上：木3　　各教員研究室

授業計画		担当者
第１回	(1) オリエンテーション	全員
第２回	(2) 外界を探るこころの働き	橋本
第３回	(3) 感覚と知覚	橋本
第４回	(4) 記憶のふしぎ	森井
第５回	(5) 本能と学習	森井
第６回	(6) 性格とは	土居
第７回	(7) 心理検査について	土居
第８回	(8) 乳幼児期～青年期の発達	宇都宮

第９回	(9) 青年期の人間関係と心理	宇都宮
第１０回	(10) 対人認知	村上
第１１回	(11) 態度変容	村上
第１２回	(12) ストレス	藤原
第１３回	(13) ストレスと考え方	藤原
第１４回	(14) カウンセリング	津川
第１５回	(15) カウンセリングの実際	津川
第１６回	(16) 定期試験(筆記)	全員

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	心理学 (New Liberal Arts Selection)	参・出版社名１	有斐閣
参・著者名１	無藤・遠藤・玉瀬・森	参・ＩＳＢＮ１	978-4641053694
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	多文化理解	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-GA-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本講義は「世界の文化の多様性を理解する」をテーマに、私たち日本人にはあまり馴染みのないアラブ・イスラーム社会をとりあげる。具体的には、①イスラームの理解に不可欠なアラビア語の基礎、②西アジア史、③イスラーム文化、④近・現代のアラブ社会について理解を深める。その結果、世界の文化の多様性について興味がもてるようになる。
授業概要	世界の多文化を理解するためには、まず文化相対主義（Cultural relativism）の立場、すなわち異なる文化の間には優劣はなく、それぞれの文化の価値を認めようとする視点が重要である。本講義は、世界の関心が高く、また世界の安定にとってきわめて重要な位置にある中東地域を例に、古代オリエントから現代までの中東の歴史、アラビア語の基礎、イスラームの意味するところから、アラブ・イスラーム文化を理解するとともに、世界の文化の多様性を理解するための端緒とする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（60%）、授業態度/積極性（20%）、課題レポート（20%）により総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートの返却時に講評する。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習として、日ごろからアラブ社会の情勢に関心をもつこと、復習として、分からないことは授業で質問し、分からないことをそのままにしないこと。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	古代オリエント	末吉秀二
第３回	アラブ・イスラーム世界の形成	末吉秀二
第４回	オスマン帝国とアラブ	末吉秀二
第５回	近・現代のアラブ社会	末吉秀二
第６回	アラビア語の基礎（文字と発音）	末吉秀二
第７回	アラビア語の基礎（文法）	末吉秀二
第８回	預言者ムハンマド	末吉秀二
第９回	コーラン	末吉秀二
第１０回	イスラーム法（シャリーア）	末吉秀二
第１１回	イスラーム文化（衣・食・住）	末吉秀二
第１２回	イスラーム文化（スーク/メディナ）	末吉秀二
第１３回	パレスチナ問題	末吉秀二
第１４回	事例研究（ヨルダン）	末吉秀二
第１５回	多文化理解（論文輪読）	末吉秀二

第１６回	単位認定試験		末吉秀二
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	イスラーム文化	参・出版社名１	岩波文庫
参・著者名１	井筒俊彦	参・ＩＳＢＮ１	4-00-331851-X
参・書籍名２	イスラーム世界の論じ方	参・出版社名2	中央公論社
参・著者名2	池内　恵	参・ＩＳＢＮ2	978-412-003990-4

授業科目名	多文化理解	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-GA-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本講義は「世界の文化の多様性を理解する」をテーマに、私たち日本人にはあまり馴染みのないアラブ・イスラーム社会をとりあげる。具体的には、①イスラームの理解に不可欠なアラビア語の基礎、②西アジア史、③イスラーム文化、④近・現代のアラブ社会について理解を深める。その結果、世界の文化の多様性について興味がもてるようになる。
授業概要	世界の多文化を理解するためには、まず文化相対主義（Cultural relativism）の立場、すなわち異なる文化の間には優劣はなく、それぞれの文化の価値を認めようとする視点が重要である。本講義は、世界の関心が高く、また世界の安定にとってきわめて重要な位置にある中東地域を例に、古代オリエントから現代までの中東の歴史、アラビア語の基礎、イスラームの意味するところから、アラブ・イスラーム文化を理解するとともに、世界の文化の多様性を理解するための端緒とする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（60%）、授業態度/積極性（20%）、課題レポート（20%）により総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートの返却時に講評する。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習として、日ごろからアラブ社会の情勢に関心をもつこと、復習として、分からないことは授業で質問し、分からないことをそのままにしないこと。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	古代オリエント	末吉秀二
第３回	アラブ・イスラーム世界の形成	末吉秀二
第４回	オスマン帝国とアラブ	末吉秀二
第５回	近・現代のアラブ社会	末吉秀二
第６回	アラビア語の基礎（文字と発音）	末吉秀二
第７回	アラビア語の基礎（文法）	末吉秀二
第８回	預言者ムハンマド	末吉秀二
第９回	コーラン	末吉秀二
第１０回	イスラーム法（シャリーア）	末吉秀二
第１１回	イスラーム文化（衣・食・住）	末吉秀二
第１２回	イスラーム文化（スーク/メディナ）	末吉秀二
第１３回	パレスチナ問題	末吉秀二
第１４回	事例研究（ヨルダン）	末吉秀二
第１５回	多文化理解（論文輪読）	末吉秀二

第１６回	単位認定試験		末吉秀二
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	イスラーム文化	参・出版社名１	岩波文庫
参・著者名１	井筒俊彦	参・ＩＳＢＮ１	4-00-331851-X
参・書籍名２	イスラーム世界の論じ方	参・出版社名2	中央公論社
参・著者名2	池内　恵	参・ＩＳＢＮ2	978-412-003990-4

授業科目名	日本国憲法				担当者	入江　祥子		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年				ナンバリング	GE-SI-0-001		
必修・選択	選択	単位数	2単位		時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期		曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	＜到達目標＞ 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることができることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。 ＜テーマ＞ 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。
授業概要	法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。 ＊実務経験のある教員による授業 　本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度及び取組姿勢３０％、各講義の最後に実施する理解度を問う小テストの評価３０％、定期試験４０％の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	国内外で起きている様々な社会問題を自らとらえ、それらの問題について自発的に考え、解決策を模索することを習慣づける。
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。 注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること（特に私語、授業途中の許可のない入退室等）は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。 出席状況の把握は各自で行ってください。 原則として、配布物の再配布は行いません。
実務経験のある教員	該当する　　内容　司法書士
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。 本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させる

	こと。
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。

授業計画		担当者
第１回	なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか	入江　祥子
第２回	法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い	入江　祥子
第３回	法源とは何か、法の種類	入江　祥子
第４回	憲法とは何か、立憲主義	入江　祥子
第５回	憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法	入江　祥子
第６回	国民主権の意味、その役割	入江　祥子
第７回	戦争の放棄、日本国憲法第９条	入江　祥子
第８回	人権とは何か、その役割	入江　祥子
第９回	人権の効果	入江　祥子
第１０回	人権の限界、公共の福祉	入江　祥子
第１１回	統治制度について、権力分立	入江　祥子
第１２回	立法権、国会の役割	入江　祥子
第１３回	行政権、内閣の役割	入江　祥子
第１４回	司法権、裁判所の役割	入江　祥子
第１５回	地方自治について	入江　祥子
第１６回	筆記試験	入江　祥子

教科書			
教・書籍名１	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	六法	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本国憲法			担当者	入江　祥子		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-SI-0-001		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	＜到達目標＞ 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることができることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。 ＜テーマ＞ 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。
授業概要	法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。 ＊実務経験のある教員による授業 　本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度及び取組姿勢３０％、各講義の最後に実施する理解度を問う小テストの評価３０％、定期試験４０％の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	国内外で起きている様々な社会問題を自らとらえ、それらの問題について自発的に考え、解決策を模索することを習慣づける。
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。 注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること（特に私語、授業途中の許可のない入退室等）は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。 出席状況の把握は各自で行ってください。 原則として、配布物の再配布は行いません。
実務経験のある教員	該当する　内容　司法書士
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。 本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させる

	こと。
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。

授業計画		担当者
第１回	なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか	入江　祥子
第２回	法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い	入江　祥子
第３回	法源とは何か、法の種類	入江　祥子
第４回	憲法とは何か、立憲主義	入江　祥子
第５回	憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法	入江　祥子
第６回	国民主権の意味、その役割	入江　祥子
第７回	戦争の放棄、日本国憲法第９条	入江　祥子
第８回	人権とは何か、その役割	入江　祥子
第９回	人権の効果	入江　祥子
第１０回	人権の限界、公共の福祉	入江　祥子
第１１回	統治制度について、権力分立	入江　祥子
第１２回	立法権、国会の役割	入江　祥子
第１３回	行政権、内閣の役割	入江　祥子
第１４回	司法権、裁判所の役割	入江　祥子
第１５回	地方自治について	入江　祥子
第１６回	筆記試験	入江　祥子

教科書			
教・書籍名１	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	六法	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	民法	担当者	生駒　正文
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-SI-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は日常生活の各場面で想定される法律の動きを知り、何がただしいのかという価値判断が求められる局面において、自ら考えて選ぶリーガル・マインドを獲得できる。 具体的には法の意義と、社会における法の役割を理解、実際の事件の中で、法がいかに問題解決のために機能しているか関心を持つこと、課題を法的な観点から検討できること、自分の考えを整理して、相手に論理的に説明する能力を身に着けることが個別目標です。
授業概要	我々の日常生活は、直接的・間接的に法律と関係しています。例えば、物の購入、家・金銭の貸し借り、結婚、親子関係、相続等、法律と無関係ではありません。我々の日常生活を規律する民法の基礎の基礎くらい知っておいた方が無難でしょう。 本講義では、日常生活の場面で想定される事態について、どのように民法がかかわるか考えます。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	試験７０％　授業態度・意欲・小テスト３０％の評価
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題、小テストは、後日添削し返却します。理解が不足の場合、再提出。
履修条件・注意事項	教科書持参、ノートをとること、考えることを原則に授業にのぞむこと
実務経験のある教員	該当する　内容　大阪簡易裁判所の民事調停委員として各案件の処理を行う（２０年）
事前学習・事後学習とその時間	授業計画ごとに教科書を復習・予習しておくこと（２時間）
オフィスアワー	１２：３０から１３：２０　１４号館６階（生駒研究室）

	授業計画	担当者
第１回	（１）民法学の基礎知識（総則）　①民法とは何か、権利義務関係の基本となる能力	生駒正文
第２回	（２）民法学の基礎知識（総則）②制限行為能力者制度	生駒正文
第３回	（３）民法学の基礎知識（総則）③法人とは、物とは	生駒正文
第４回	（４）民法学の基礎知識（総則）④意思表示	生駒正文
第５回	（５）民法学の基礎知識（総則）⑤代理、時効	生駒正文
第６回	（６）民法学の基礎知識（財産法）⑥物権と債権、物権の種類、物権法定主義	生駒正文
第７回	（７）民法学の基礎知識　⑦物権の効力と物権変動（動産・不動産）	生駒正文
第８回	（８）民法学の基礎知識（財産法）　⑧即時取得、担保とは何か	生駒正文
第９回	（９）民法学の基礎知識（財産法）⑨一般的な不法行為	生駒正文
第１０回	（１０）民法学の基礎知識（財産法）　⑩特殊的な不法行為　賃貸借	生駒正文
第１１回	（１１）（３）家族法の基礎知識　⑪親族、婚姻、夫婦関係、離婚	生駒正文
第１２回	（１２）家族法の基礎知識　⑫親子関係、親権、相続	生駒正文
第１３回	（１３）家族法の基礎知識　⑬遺言	生駒正文

第１４回	（１４）家族法の基礎知識　⑭遺留分		生駒正文
第１５回	（１５）その他　⑮割賦販売、訪問販売		生駒正文
第１６回	（１６）定期試験		生駒正文
教科書			
教・書籍名１	ガイドブック法学	教・出版社名１	嵯峨野書院
教・著者名１	生駒正文・高田富男編著	教・ＩＳＢＮ１	９７８－４－７８２３－０５７０－６
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	経済学	担当者	張　秉煥
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-SI-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	重要な経済問題について科学的にそして論理的に理解するための基本的スキルを修得することができる。
授業概要	すべての社会が直面する根本的な経済問題は希少性である。経済学は、社会がその希少な資源をいかに管理するのかを研究する学問である。資源の配分は、膨大な数の家計と企業の行動を総合した結果として決定される。講座の前半は、個別の家計や企業が様々な決定をどのように行うか、それらが市場でどのように相互作用しあうのかを分析する。後半では、経済全体に影響するような様々な要因や傾向を考察する。なお、所得分配や所得格差問題、所得機会の変容とそのインプリケーションについて検討する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	「定期筆記試験（70%）＋途中の形成的評価（30%）」をもとに合計100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	途中の形成的評価のために実施する「課題や試験」へのフィードバックは、授業中の総括的単位で行うことによって、個別学生に学習方法への含意や定期筆記試験への対策に資するものとする
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	本講座の独自教材（ワークブック兼用）に基づき、自主的な事前学習を行って授業を受けること。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	講座の概要や評価方法、教材の構成、主な内容と使い方など。科学的方法論としての経済モデル	張秉煥
第２回	経済学の主要原理（１）トレードオフ、機会費用、限界分析、インセンティブ等	張秉煥
第３回	経済学の主要原理（２）市場経済、市場の失敗、GDP、インフレなど（現実の事例を含む）	張秉煥
第４回	市場と競争（市場構造）、需要・供給の仕組み、両面市場	張秉煥
第５回	市場構造と社会的厚生、完全競争市場、現実の経済問題への応用（インセンティブ）	張秉煥
第６回	独占市場の特性と参入障壁の源泉、現実の経済問題への応用、小テスト１	張秉煥
第７回	独占的市場と寡占市場の特性、囚人のジレンマモデルと現実の経済問題への応用	張秉煥
第８回	現実における様々な価格類型、価格弾力性と価格差別モデル、現実の経済問題への応用	張秉煥
第９回	価格規制の基礎モデル、最低賃金制度による労働市場への影響分析、外部効果の諸例	張秉煥
第１０回	公共財の諸例、フリーライダー問題、共有地の悲劇モデルと現実への応用、小テスト２	張秉煥
第１１回	情報の非対称性問題、モラル・ハザード、逆選択、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１２回	経済循環図、国民所得の測定と国際比較、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１３回	経済成長と公共政策、７２の法則とその応用、景気変動	張秉煥
第１４回	所得分布と所得格差、所得機会の変容（定量的分析を踏まえて）、小テスト３	張秉煥
第１５回	経済政策の類型と具体的手法、経済安定化政策の逆効果（ジレンマ）	張秉煥
第１６回	定期筆記試験	張秉煥

教科書

教・書籍名１	独自教材（ワークブック兼用）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	マンキュー入門経済学	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	N・グレゴリー・マンキュー	参・ＩＳＢＮ１	978-4492315217
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	経済学	担当者	張　秉煥
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-SI-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	重要な経済問題について科学的にそして論理的に理解するための基本的スキルを修得することができる。
授業概要	すべての社会が直面する根本的な経済問題は希少性である。経済学は、社会がその希少な資源をいかに管理するのかを研究する学問である。資源の配分は、膨大な数の家計と企業の行動を総合した結果として決定される。講座の前半は、個別の家計や企業が様々な決定をどのように行うか、それらが市場でどのように相互作用しあうのかを分析する。後半では、経済全体に影響するような様々な要因や傾向を考察する。なお、所得分配や所得格差問題、所得機会の変容とそのインプリケーションについて検討する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	「定期筆記試験（70%）＋途中の形成的評価（30%）」をもとに合計100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	途中の形成的評価のために実施する「課題や試験」へのフィードバックは、授業中の総括的単位で行うことによって、個別学生に学習方法への含意や定期筆記試験への対策に資するものとする
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	本講座の独自教材（ワークブック兼用）に基づき、自主的な事前学習を行って授業を受けること。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

授業計画		担当者
第１回	講座の概要や評価方法、教材の構成、主な内容と使い方など。科学的方法論としての経済モデル	張秉煥
第２回	経済学の主要原理（１）トレードオフ、機会費用、限界分析、インセンティブ等	張秉煥
第３回	経済学の主要原理（２）市場経済、市場の失敗、GDP、インフレなど（現実の事例を含む）	張秉煥
第４回	市場と競争（市場構造）、需要・供給の仕組み、両面市場	張秉煥
第５回	市場構造と社会的厚生、完全競争市場、現実の経済問題への応用（インセンティブ）	張秉煥
第６回	独占市場の特性と参入障壁の源泉、現実の経済問題への応用、小テスト１	張秉煥
第７回	独占的市場と寡占市場の特性、囚人のジレンマモデルと現実の経済問題への応用	張秉煥
第８回	現実における様々な価格類型、価格弾力性と価格差別モデル、現実の経済問題への応用	張秉煥
第９回	価格規制の基礎モデル、最低賃金制度による労働市場への影響分析、外部効果の諸例	張秉煥
第１０回	公共財の諸例、フリーライダー問題、共有地の悲劇モデルと現実への応用、小テスト２	張秉煥
第１１回	情報の非対称性問題、モラル・ハザード、逆選択、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１２回	経済循環図、国民所得の測定と国際比較、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１３回	経済成長と公共政策、７２の法則とその応用、景気変動	張秉煥
第１４回	所得分布と所得格差、所得機会の変容（定量的分析を踏まえて）、小テスト３	張秉煥
第１５回	経済政策の類型と具体的手法、経済安定化政策の逆効果（ジレンマ）	張秉煥
第１６回	定期筆記試験	張秉煥

教科書

教・書籍名１	独自教材（ワークブック兼用）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	マンキュー入門経済学	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	N・グレゴリー・マンキュー	参・ＩＳＢＮ１	978-4492315217
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	社会学	担当者	黒宮　亜希子、稲元　洋輔
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-SI-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	テーマ：基礎社会学を学ぶ（社会学とは何か？、労働・教育・地域・家族等の視点より） 到達目標：社会学の基本的な定義・考え方、具体的な社会問題、人口問題と環境、現代家族、教育、産業・労働の領域における現状と問題を理解し、その解決法を考えることとする。 受講生らが生きている現代社会の仕組みや出来事に関する理解を深める。 この講義を通じて、現代社会の様々な制度と問題を理解すること、また、自分の考えを文章で言語化し、記述する能力を向上することも併せて目標とする。
授業概要	この講義の目的は、社会学という学問がどのような学問であるかを理解し、講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、受講生の周囲で起こっている実際の出来事について考えることが出来るようにすることである。 具体的には、現代家族の変化、教育問題、非正規社員の増加と経済的格差、人口構造の変化などを取り上げる。 それによって学生たちは問題を理解し、社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業中課題（40%）・定期試験（60%）によって評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題はコメントを入れ返却を行う。
履修条件・注意事項	・2名の教員がオムニバス形式で進行する。 ・毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。ファイル等で各自保管しておくこと。 ・日本語で自身の考えを記述する力が求められるため、日本語の力がまだ十分ではない留学生の受講に際してはやや注意を要する。 ・授業計画の内容は、進捗状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	黒宮：月曜4限（14625） 稲元：火曜3限（14611）

	授業計画	担当者
第１回	授業オリエンテーション	黒宮・稲元
第２回	身近な社会学（1）地位と役割	黒宮
第３回	身近な社会学（2）ラベリング・スティグマ	黒宮
第４回	教育の社会学（1）学校とはなにか	稲元

第５回	教育の社会学（2）教育をめぐる諸問題	稲元
第６回	家族の社会学（1）家族とその変化	黒宮
第７回	家族の社会学（2）家族とジェンダー	黒宮
第８回	労働の社会学（1）学校から職場へ	稲元
第９回	労働の社会学（2）働くことの社会的な位置づけ	稲元
第１０回	地域の社会学（1）地域、コミュニティとは	黒宮
第１１回	地域の社会学（2）地域社会の今	黒宮
第１２回	自己と他者の社会学（1）他者のまなざし	稲元
第１３回	自己と他者の社会学（2）コミュニケーション	稲元
第１４回	社会問題を社会学する（講義、小括）	黒宮
第１５回	社会問題を社会学する（講義、小括）	稲元
第１６回	筆記試験	黒宮・稲元

教科書			
教・書籍名１	資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	授業内容に応じて適宜、文献を紹介する。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	社会学	担当者	赤坂　真人
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-SI-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ 社会学入門（社会学とは何か・人口論・家族・教育・産業と労働） 到達目標 社会学の定義と考え方を学び、そのうえで現代社会の人口、現代家族、教育、産業と労働の現状について述べる。明確に意識されていない現代社会の様々な制度と問題を明確に認識させ、毎回実施する小テスト（記述式）で社会問題に対する自分自身の考えをまとめ、文章で記述・説明する能力を鍛える。この講義によって学生たちは現代社会の諸問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
授業概要	この講義の目的は、社会学という学問がどのような学問であるかを理解し、次に講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、学生の周囲で起こっている日常の出来事について考えさせることである。具体的には人口減少に伴って起こる様々な問題、人口高齢化と年金・医療保険の問題、現代家族の変化、晩婚化・非婚化、教育の社会的意義、AI 化とこれからの教育、Society5.0における産業と労働、経済的格差、日本の経済不況と対策などを取り上げる。この講義によって学生たちは現代社会の諸問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業中の小テスト（50%）・定期試験（50%）によって評価する。小テストは採点し、コメントつけて返却するので必ず復習すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義の最後20分間を使って、毎回論述式の小試験を行う。メールにより解答し教員の授業用メールボックスに返送する。教員は学生一人一人の論述に対し400～500字のコメントを書いて学生に返却する。教員からのコメントに対してさらに意見を述べた場合、それに対して再びコメント書いて返却する。
履修条件・注意事項	講義時間が減少するので学生の名前を読み上げて出席を取ることはしない。カードによる出席チェックの不正をしない。日本語が分からないと講義についてゆけないので留学生は履修の際、十分留意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	火曜4限（15：10～16：40）に、研究室（9309）にて実施する。

授業計画		担当者
第１回	1.人間が社会を作るまで。2群れ（社会）で生きる人間。3.人間社会の大変動。	赤坂
第２回	1.社会学とは何か。2.社会のわかりにくさ。3.他の人間科学との相違。4.社会学の利用法。	赤坂
第３回	1.世界の人口動向。2.人口転換理論。3.日本の人口推移。4.少子高齢化。5.晩婚化と非婚化。	赤坂
第４回	1.生涯未婚率の推移。2.世界最速の高齢化。3.少子高齢化と経済の縮小・社会保障の危機。	赤坂
第５回	1.家族とは何か。2.家族の類型。 3.世帯・親族・親戚。4.社会制度としての結婚。	赤坂
第６回	1.結婚の社会的規制。2.非婚社会：日本。3.非婚化の経済的原因。4.非婚化の生物学的原因	赤坂

第７回	1.解体する家族。２.現代家族の問題。3.下流化する中高年。4.現代家族の病理と法的問題。	赤坂
第８回	1.液状化する社会。２.避けられぬ人口減少。3.男性未婚者。4.職業と未婚。5.世代間の不平等。	赤坂
第９回	1.教育の機能。2.メリトクラシーの崩壊と階層の固定化。3.学力低下論争。4.学力の二極化	赤坂
第１０回	1.教師の多忙化と燃え尽き。２.いじめ問題。3.校内暴力。4.不登校。5.学校は魅力を失ったか？	赤坂
第１１回	1.教育と職業。2.大学教育は仕事の役に立つか？3.中間集団としての学校。4.ニートの人々	赤坂
第１２回	1.産業の分類。2.賃金と労働。3.日本人の労働時間と失業率。4.日本的経営の終わりと没落。	赤坂
第１３回	1.日本経済の矛盾。2.生産性の低さ。3.日本経済没落の原因。4.経済再生の課題	赤坂
第１４回	1.職業とジェンダー。2.職業と階層。3.階層間格差。4.AI化と労働の未来	赤坂
第１５回	1.AI の進化と社会変動　2.インフォテック。3.フードテック。4.画像認識。5.拡張現実・その他	赤坂
第１６回	筆記試験	赤坂

教科書			
教・書籍名１	基礎社会学	教・出版社名１	ふくろう出版
教・著者名１	赤坂真人	教・ＩＳＢＮ１	978-4861864278
教・書籍名２	毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。	教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	講義中に約30冊の文献を紹介する。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	環境科学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-NM-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	学生は環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得することができる。学生はその基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「環境ホルモン」、「地球温暖化」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得することができる。また、学生は現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、行動できることを到達目標とする。
授業概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見的な問題意識を持ちどの様に対処すべきるかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	マークシート形式主体の筆記試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。　試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学授業中の課題提示毎に問いかけを行い、質疑。応答での知識確認のためのフィードバックを実施する。また、試験実施後の質問を受け付け、未理解項目のフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習（1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施する。

	授業計画	担当者
第１回	環境と人間のかかわりあい	秋山純一
第２回	環境における人類危機要因	秋山純一
第３回	生態系と人間	秋山純一

第４回	食物連鎖	秋山純一
第５回	物質循環	秋山純一
第６回	紫外線（作用と分類）	秋山純一
第７回	紫外線と皮膚（臨床）	秋山純一
第８回	紫外線と皮膚（防御）	秋山純一
第９回	オゾン層の破壊（原因）	秋山純一
第１０回	オゾン層の破壊（対策）	秋山純一
第１１回	環境ホルモン（作用）	秋山純一
第１２回	環境ホルモン（分類）	秋山純一
第１３回	環境ホルモン（影響）	秋山純一
第１４回	地球温暖化（原因）	秋山純一
第１５回	地球温暖化（対策）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	環境科学入門	参・出版社名１	化学同人
参・著者名１	川合　真一郎　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	環境科学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-NM-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	学生は環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得することができる。学生はその基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「環境ホルモン」、「地球温暖化」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得することができる。また、学生は現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、行動できることを到達目標とする。
授業概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見的な問題意識を持ちどの様に対処すべきるかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	マークシート形式主体の筆記試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。　試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学授業中の課題提示毎に問いかけを行い、質疑。応答での知識確認のためのフィードバックを実施する。また、試験実施後の質問を受け付け、未理解項目のフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習（1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施する。

	授業計画	担当者
第１回	環境と人間のかかわりあい	秋山純一
第２回	環境における人類危機要因	秋山純一
第３回	生態系と人間	秋山純一

第４回	食物連鎖	秋山純一
第５回	物質循環	秋山純一
第６回	紫外線（作用と分類）	秋山純一
第７回	紫外線と皮膚（臨床）	秋山純一
第８回	紫外線と皮膚（防御）	秋山純一
第９回	オゾン層の破壊（原因）	秋山純一
第１０回	オゾン層の破壊（対策）	秋山純一
第１１回	環境ホルモン（作用）	秋山純一
第１２回	環境ホルモン（分類）	秋山純一
第１３回	環境ホルモン（影響）	秋山純一
第１４回	地球温暖化（原因）	秋山純一
第１５回	地球温暖化（対策）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	環境科学入門	参・出版社名１	化学同人
参・著者名１	川合　真一郎　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	物理学	担当者	藤原　智子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-NM-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	15回	授業形態	対面
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：物理学の１分野である天文学を中心に、簡単な実験やそれぞれテーマに沿った議論などを通じて、その歴史的背景や社会・生活で活用されている物理のエッセンスを体系的に学習する。 到達目標：「自然から学ぶ」や「論理的思考」とはどういうことかを理解する。
授業概要	太古の昔から、人類は頭上に広がる果てしない宇宙を見つめてきた。手の届かないところにある天体のふるまいを理解するには、まず身近な自然現象を観察し、そこにある物理法則に気付く必要がある。人々はどんな想いで宇宙を見つめてきたのか、宇宙を知るためにどんな挑戦をし、注意深く観察した星空から何を理解してきたのか。この授業では、太陽系天体、恒星や銀河など、宇宙に浮かぶ様々な天体の姿を紹介、そこで起こっている現象を身近な物理と結び付けて科学的に解説するだけではなく、星座や神話、人類の宇宙観など文化的内容、観測機器や宇宙開発(ロケットや人工衛星・探査機)等の技術的内容についても触れ、「宇宙」をテーマに幅広い内容を扱う。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	論述試験と出席で評価します。授業を受ける姿勢として、実験や議論に参加する積極性を重視します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題や試験に対する質問は授業での回答の他、UNIPAやTeamsなどの機能を用いてフィードバックする。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画のテーマに関連するニュースやトピックスに注意を払い、事後学習として授業で学んだことに関して友人や家族と議論すること。 各１時間の学修が望ましい。
オフィスアワー	授業の前後に、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンスー自然現象を理解するための物理学ー	藤原智子
第２回	宇宙観の変遷	藤原智子
第３回	星と文化①　星座と星物語	藤原智子
第４回	星と文化②　暦の成立	藤原智子
第５回	天体の記録と基礎データ①　天体の位置、明るさ、距離	藤原智子
第６回	天体の記録と基礎データ②　光のスペクトル	藤原智子
第７回	観測装置の発展①　光学・電波望遠鏡	藤原智子
第８回	観測装置の発展②　人工衛星・探査機	藤原智子
第９回	人工衛星・ロケットの仕組み	藤原智子
第１０回	宇宙の環境問題	藤原智子
第１１回	太陽系の素顔①　太陽系の天体	藤原智子
第１２回	太陽系の素顔②　太陽系を取り巻く環境・太陽系外惑星	藤原智子
第１３回	恒星の誕生と死	藤原智子

第１４回	私たちの起源と未来	藤原智子
第１５回	まとめ：宇宙と物理学のつながり	藤原智子
第１６回	レポート試験	藤原智子

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生物学	担当者	香田　康年
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-NM-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	【テーマ】 学生が、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、様々な生物の特徴について学びながら、なぜそのような特徴がシンカしたのかを考え、ヒトや様々な生物について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。 【到達目標】 まず生物のシンカが「進化」と呼ばれるようになった経緯を理解し、生物のシンカとはどのような現象なのかを理解すると同時に、一般用語の「進化」とやや意味がことなることを理解する。さらに生物のシンカがどのうような仕組みで起こるのかを学び理解する。そのことによって現在のヒトや様々な生物がなぜそのような特徴を持っているのかを考え、人間の特徴や様々な生物現象について丸暗記するのではなく、「考え理解する力」を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用して考え、まとめ、他者に説明する力を養う。
授業概要	○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義と、Q&Aにグループディスカッションを組み合わせたアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容，範囲などは受講生の了解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は，講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば，次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点（80%）とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数（20%）で評価する。 ただし、授業態度が悪ければ（授業にまじめに取り組まない場合）10点の範囲で減点する。 各小テストは，論述記述式である。 講義の内容から，重要な内容について説明記述させる問題を出題する予定である。 授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていることが，採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の授業内容について度々Ｑ＆Ａを行うことによって、授業内容に対するフィードバックをはかる。 複数回の小テストのうち途中の小テストは、採点結果を返却すると同時にフィードバックをはかり、再試験追試験を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。
履修条件・注意事項	受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。 教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名さ

	れてから発言すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	【復習】 　授業内容は常識と異なることが多く，授業は前回までの理解を前提に進めるので，毎回必ず復習し，理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。 　復習には二時間程度かけて、いつ小テストがあっても対応できるように，充分理解し，ノート整理しておくこと。 【予習】 　過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、予習にも二時間程度かけて、次回の授業内容について、参考書などを利用し、現時点での自分なりの理解をしておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので、授業後に教室、または非常勤講師室で行う。

授業計画		担当者
第１回	クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか？	香田康年
第２回	生物のシンカと一般用語としての「進化」	香田康年
第３回	生物のシンカの起こる仕組み	香田康年
第４回	なぜたくさんの生物がいるのか？　なぜ人間がいるのか？	香田康年
第５回	ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか？	香田康年
第６回	科学とはどのような学問か？	香田康年
第７回	生物とは？	香田康年
第８回	どんな生物、どんな動物がいるのか？	香田康年
第９回	遺伝子と遺伝子の発現	香田康年
第１０回	本能と学習と理性の関係	香田康年
第１１回	利己的行動と利他的行動	香田康年
第１２回	非血縁者間の利他行動のシンカ	香田康年
第１３回	ゲーム理論とシンカ	香田康年
第１４回	様々な対人関係心理のシンカ	香田康年
第１５回	言葉のシンカと神や幽霊を信じる心のシンカ	香田康年
第１６回	最終試験（記述式筆記試験）	香田康年

教科書			
教・書籍名１	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	「進化と人間行動」	参・出版社名１	東京大学出版会
参・著者名１	長谷川寿一、長谷川眞理子	参・ＩＳＢＮ１	4－13－012032－8
参・書籍名２	「面白くて眠れなくなる生物学」	参・出版社名2	PHP文庫
参・著者名2	長谷川英祐	参・ＩＳＢＮ2	978-4-569-76860-1

授業科目名	生物学	担当者	香田　康年
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-NM-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	【テーマ】 学生が、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、様々な生物の特徴について学びながら、なぜそのような特徴がシンカしたのかを考え、ヒトや様々な生物について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。 【到達目標】 まず生物のシンカが「進化」と呼ばれるようになった経緯を理解し、生物のシンカとはどのような現象なのかを理解すると同時に、一般用語の「進化」とやや意味がことなることを理解する。さらに生物のシンカがどのうような仕組みで起こるのかを学び理解する。そのことによって現在のヒトや様々な生物がなぜそのような特徴を持っているのかを考え、人間の特徴や様々な生物現象について丸暗記するのではなく、「考え理解する力」を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用して考え、まとめ、他者に説明する力を養う。
授業概要	○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義と、Q&Aにグループディスカッションを組み合わせたアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容，範囲などは受講生の了解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は，講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば，次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点（80%）とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数（20%）で評価する。 ただし、授業態度が悪ければ（授業にまじめに取り組まない場合）10点の範囲で減点する。 各小テストは，論述記述式である。 講義の内容から，重要な内容について説明記述させる問題を出題する予定である。 授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていることが，採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の授業内容について度々Ｑ＆Ａを行うことによって、授業内容に対するフィードバックをはかる。 複数回の小テストのうち途中の小テストは、採点結果を返却すると同時にフィードバックをはかり、再試験追試験を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。
履修条件・注意事項	受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。 教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名さ

	れてから発言すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	【復習】 　授業内容は常識と異なることが多く，授業は前回までの理解を前提に進めるので，毎回必ず復習し，理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。 　復習には二時間程度かけて、いつ小テストがあっても対応できるように，充分理解し，ノート整理しておくこと。 【予習】 　過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、予習にも二時間程度かけて、次回の授業内容について、参考書などを利用し、現時点での自分なりの理解をしておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので、授業後に教室、または非常勤講師室で行う。

授業計画		担当者
第１回	クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか？	香田康年
第２回	生物のシンカと一般用語としての「進化」	香田康年
第３回	生物のシンカの起こる仕組み	香田康年
第４回	なぜたくさんの生物がいるのか？　なぜ人間がいるのか？	香田康年
第５回	ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか？	香田康年
第６回	科学とはどのような学問か？	香田康年
第７回	生物とは？	香田康年
第８回	どんな生物、どんな動物がいるのか？	香田康年
第９回	遺伝子と遺伝子の発現	香田康年
第１０回	本能と学習と理性の関係	香田康年
第１１回	利己的行動と利他的行動	香田康年
第１２回	非血縁者間の利他行動のシンカ	香田康年
第１３回	ゲーム理論とシンカ	香田康年
第１４回	様々な対人関係心理のシンカ	香田康年
第１５回	言葉のシンカと神や幽霊を信じる心のシンカ	香田康年
第１６回	最終試験（記述式筆記試験）	香田康年

教科書			
教・書籍名１	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	「進化と人間行動」	参・出版社名１	東京大学出版会
参・著者名１	長谷川寿一、長谷川眞理子	参・ＩＳＢＮ１	4－13－012032－8
参・書籍名２	「面白くて眠れなくなる生物学」	参・出版社名2	PHP文庫
参・著者名2	長谷川英祐	参・ＩＳＢＮ2	978-4-569-76860-1

授業科目名	化学				担当者	秋山　純一		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年				ナンバリング	GE-NM-0-004		
必修・選択	選択	単位数	2単位		時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期		曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	本講義で学生は無機化学や有機化学全般の基礎的な知識の習得に重点をおき学習することができる。また、後半の講義で学生は生命活動に関連の深い天然物質やプラスチックの分類、生活に必要な薬品や化粧品等に関連する界面化学を学習することができる。学生は本講義を通じて将来の種々の職業や日常生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用することができる。
授業概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく，現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は，物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし，それらの性質，構造，反応性などを実証的に解き明かす。１８世紀後半から学問として体系付けられ，幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら，現代化学へと発展してきた。今日では，複雑で有用な物質を簡単な物質（分子）から合成するなど，私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ，暮らしを豊かに，快適にしてくれている。一方，分子という考えの導入により，生命現象を化学的に解釈できるようになり，また生命現象を遺伝しのレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では，地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は香粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学習課題の終了毎および授業の終了時に都度の問いかけし、質問を受け付けてフィードバックを実施する。試験実施実施後の質問を受け付けてフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　担当教員の公的機関や民間企業での試験や研究開発部門での勤務経験を生かし、幅広い知識や技術を授業内容に取り入れる。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。

	授業計画	担当者
第１回	原子・分子の構造	秋山純一
第２回	化学結合	秋山純一
第３回	同位体と放射能	秋山純一
第４回	周期律表	秋山純一

第５回	化学反応、結合		秋山純一
第６回	酸化と還元（反応物質）		秋山純一
第７回	酸化と還元（燃料電池他）		秋山純一
第８回	物質の分類（金属、非金属）		秋山純一
第９回	水の化学（特性、硬度、pH）		秋山純一
第１０回	有機化合物の構造分類		秋山純一
第１１回	有機化合物の置換基分類		秋山純一
第１２回	有機合成の反応分類		秋山純一
第１３回	高分子化合物（天然）		秋山純一
第１４回	高分子化合物（合成）		秋山純一
第１５回	界面の化学（洗剤、乳化）		秋山純一
第１６回	単位認定試験		秋山純一
教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリント配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	教養の現代化学	参・出版社名１	三共出版
参・著者名１	多賀　光彦／共著　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	化学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-NM-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	本講義で学生は無機化学や有機化学全般の基礎的な知識の習得に重点をおき学習することができる。また、後半の講義で学生は生命活動に関連の深い天然物質やプラスチックの分類、生活に必要な薬品や化粧品等に関連する界面化学を学習することができる。学生は本講義を通じて将来の種々の職業や日常生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用することができる。
授業概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく，現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は，物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし，それらの性質，構造，反応性などを実証的に解き明かす。１８世紀後半から学問として体系付けられ，幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら，現代化学へと発展してきた。今日では，複雑で有用な物質を簡単な物質（分子）から合成するなど，私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ，暮らしを豊かに，快適にしてくれている。一方，分子という考えの導入により，生命現象を化学的に解釈できるようになり，また生命現象を遺伝しのレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では，地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は香粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学習課題の終了毎および授業の終了時に都度の問いかけし、質問を受け付けてフィードバックを実施する。試験実施実施後の質問を受け付けてフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　担当教員の公的機関や民間企業での試験や研究開発部門での勤務経験を生かし、幅広い知識や技術を授業内容に取り入れる。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。

授業計画		担当者
第１回	原子・分子の構造	秋山純一
第２回	化学結合	秋山純一
第３回	同位体と放射能	秋山純一
第４回	周期律表	秋山純一

第５回	化学反応、結合		秋山純一
第６回	酸化と還元（反応物質）		秋山純一
第７回	酸化と還元（燃料電池他）		秋山純一
第８回	物質の分類（金属、非金属）		秋山純一
第９回	水の化学（特性、硬度、pH）		秋山純一
第１０回	有機化合物の構造分類		秋山純一
第１１回	有機化合物の置換基分類		秋山純一
第１２回	有機合成の反応分類		秋山純一
第１３回	高分子化合物（天然）		秋山純一
第１４回	高分子化合物（合成）		秋山純一
第１５回	界面の化学（洗剤、乳化）		秋山純一
第１６回	単位認定試験		秋山純一
教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリント配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	教養の現代化学	参・出版社名１	三共出版
参・著者名１	多賀　光彦／共著　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	人類生態学	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-NM-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	人類生態学の視点から、ヒトの環境への適応を理解することができるようになる。
授業概要	人類生態学は、個体群レベルで人間の生存をとらえ、その生業・食物・人口学的側面に関する包括的な研究から、ヒトの環境への適応を明らかにする学問分野と定義される。本講義は、①生態系のなかの人間、②人間の生存と健康、③人口からみた人間、④環境問題と人間の大テーマをブレークダウンして詳しく説明する。また、今日の環境問題や人口問題の本質について理解を深める。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（80%）、小テスト（10%）、受講態度（10%）で総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	指定した教科書は必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎回講義で指定する章を通読し、不明な点を明確にすること（予習）、不明な点が理解できたかを確認すること（復習）。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	生態系と人類の特性	末吉秀二
第３回	人類の起源と進化	末吉秀二
第４回	生存様式の変化と多様性	末吉秀二
第５回	生業と社会	末吉秀二
第６回	身体とその機能	末吉秀二
第７回	行動の生態学	末吉秀二
第８回	栄養と健康	末吉秀二
第９回	病気の生態学	末吉秀二
第１０回	長期的な人口変化	末吉秀二
第１１回	人口指標と集団の適応	末吉秀二
第１２回	現代の人口問題	末吉秀二
第１３回	エネルギーと資源	末吉秀二
第１４回	ライフスタイルと環境	末吉秀二
第１５回	地球環境問題と人類	末吉秀二
第１６回	試験	末吉秀二

教科書			
教・書籍名１	人類生態学	教・出版社名１	東京大学出版会
教・著者名１	大塚柳太郎・河辺俊雄・高坂宏一ほか	教・ＩＳＢＮ１	4-13-052300-7
教・書籍名２		教・出版社名2	

教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-NM-0-007

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	迅速かつ的確な数的理解力の育成をテーマとして、課題に含まれる諸要素と関係性を捉え、適宜情報収集しながら課題解決の方針を見つけ、結果を導き出す力を身につける。
授業概要	数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握に関する課題を数学的かつ論理的に理解する力を身につける。具体的には、方程式や確率等の数的推理、データやグラフ等の資料解釈、論証や対応関係等の判断推理、立体図形や展開図等の空間把握に関する比較的身近な問題について考え、自ら解法を見つけ出し答えを導き出す。必要に応じて、解法を見つけ出すために必要な情報を収集する。更には、助言を適宜得ながら学生同士が教えあい学びあい、課題に対する数的理解を深める。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	数的理解力を把握するための単位認定試験（80%）、授業への積極的な参加態度（20%）をもとに総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	内容に応じて適宜指示する。
履修条件・注意事項	やむを得ず遅刻・欠席する場合は予め連絡すること。他の受講生らが迷惑に感じる言動は控えること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習と復習には各2時間を要する。時間をかけて問題に向き合い、多角的な視点や柔軟な思考を意識して予習・復習に取り組むこと。
オフィスアワー	月曜5限

	授業計画	担当者
第１回	数的推理：濃度	山本
第２回	数的推理：速さ・距離・時間	山本
第３回	数的推理：ものの値段と個数	山本
第４回	数的推理：定価・原価・利益	山本
第５回	数的推理：割合と値段	山本
第６回	数的推理：仕事算	山本
第７回	資料解釈：表の読み取り＆資料の読み取り	山本
第８回	数的推理：順列と組み合わせ	山本
第９回	数的推理：確率のとらえ方	山本
第１０回	判断推理：集合	山本
第１１回	判断推理：推論	山本
第１２回	判断推理：ものの流れと比率＆ブラックボックス	山本
第１３回	資料解釈：グラフの領域	山本

第１４回	判断推理：論証		山本
第１５回	空間把握：立体の展開図・断面		山本
第１６回	単位認定試験		山本
教科書			
教・書籍名１	2024年度版 ドリル式 SPI問題集	教・出版社名１	永岡書店
教・著者名１	柳本新二	教・ＩＳＢＮ１	9784522460122
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-NM-0-007

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	迅速かつ的確な数的理解力の育成をテーマとして、課題に含まれる諸要素と関係性を捉え、適宜情報収集しながら課題解決の方針を見つけ、結果を導き出す力を身につける。
授業概要	数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握に関する課題を数学的かつ論理的に理解する力を身につける。具体的には、方程式や確率等の数的推理、データやグラフ等の資料解釈、論証や対応関係等の判断推理、立体図形や展開図等の空間把握に関する比較的身近な問題について考え、自ら解法を見つけ出し答えを導き出す。必要に応じて、解法を見つけ出すために必要な情報を収集する。更には、助言を適宜得ながら学生同士が教えあい学びあい、課題に対する数的理解を深める。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	数的理解力を把握するための単位認定試験（80%）、授業への積極的な参加態度（20%）をもとに総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	内容に応じて適宜指示する。
履修条件・注意事項	やむを得ず遅刻・欠席する場合は予め連絡すること。他の受講生らが迷惑に感じる言動は控えること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習と復習には各2時間を要する。時間をかけて問題に向き合い、多角的な視点や柔軟な思考を意識して予習・復習に取り組むこと。
オフィスアワー	月曜5限

	授業計画	担当者
第１回	数的推理：濃度	山本
第２回	数的推理：速さ・距離・時間	山本
第３回	数的推理：ものの値段と個数	山本
第４回	数的推理：定価・原価・利益	山本
第５回	数的推理：割合と値段	山本
第６回	数的推理：仕事算	山本
第７回	資料解釈：表の読み取り＆資料の読み取り	山本
第８回	数的推理：順列と組み合わせ	山本
第９回	数的推理：確率のとらえ方	山本
第１０回	判断推理：集合	山本
第１１回	判断推理：推論	山本
第１２回	判断推理：ものの流れと比率＆ブラックボックス	山本
第１３回	資料解釈：グラフの領域	山本

第１４回	判断推理：論証		山本
第１５回	空間把握：立体の展開図・断面		山本
第１６回	単位認定試験		山本
教科書			
教・書籍名１	2024年度版 ドリル式 SPI問題集	教・出版社名１	永岡書店
教・著者名１	柳本新二	教・ＩＳＢＮ１	9784522460122
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	韓国地域社会	担当者	李　分一
配当学科・研究科	2017～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2018～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	SS-BU-2-305

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年 / 2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	地域研究を学ぶ理由は、地域の安定（平和）と繁栄にある。分裂国家・韓国は、北朝鮮と並んで、日本の隣国である。そして日本は、隣国として朝鮮半島との平和的な共存・共生の関係を保つ必要がある。すなわち、様々なグローバルな課題と地域問題が交差する今日のグローバル社会では、特に日本と朝鮮半島との良好な関係を必要とするのである。この講義を受講すれば、韓国と周辺隣国に関する客観的・総合的な知識の習得とともに、国際地域問題に関する総括力・発表力が身に付けられる。
授業概要	世界の地理上には、大小の様々な国家や地域が共存・共生している。それらは自然的、人文社会的な特徴を持ちながら、歴史的な経験を経て現在の国家・地域を形成している。韓国も例外ではない。地域の自然環境や社会環境における様々な地理的事情を有機的に結合して考察することにより、その地域の特色・性格を明らかにする。また、この講義では、戦後韓国社会における産業化や民主化過程を具体的な事例を取り上げて説明する。この科目を受講することにより、地理的な見方・認識の手法を学び取り、韓国などの異文化社会の理解や国際理解を深めることができる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／プレゼンテーション
評価方法と割合	定期試験（80%）、提出物（10%）、授業態度（10%）等によって評価する。提出物などは、授業でフィードバックを行うので、その提出物などの内容を明確に学習しなければならない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業時間やオフィスアワーを利用してフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	（1）授業後には、授業内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 （2）単位認定試験を行うので、必ず受けることが必要である。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	（1）参加型授業であるために、受講生には事前課題を調べた上で、参加すべきである。授業は、この課題をめぐって行う。 （2）受講生の予習（30時間）と復習（30時間）のために、トピック別の宿題とレポートを課す。
オフィスアワー	毎週水曜日5時限目（9304研究室）

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	李　分一
第２回	韓国という国	李　分一

第３回	韓国の歴史（民族と国家）	李　分一
第４回	韓国民主主義の位相と行方	李　分一
第５回	韓国民主主義の制約	李　分一
第６回	解放前の要因	李　分一
第７回	解放後の要因	李　分一
第８回	韓国の権威主義体制	李　分一
第９回	民主化・人権擁護運動	李　分一
第１０回	1980年代の韓国	李　分一
第１１回	1980年代の政治体制	李　分一
第１２回	190年代の民主化運動	李　分一
第１３回	1990年代の民主化運動	李　分一
第１４回	韓国政治社会の新潮流	李　分一
第１５回	韓国の民主主義と市民社会	李　分一
第１６回	単位認定試験	李　分一

教科書			
教・書籍名１	プリント使用	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	運動学Ⅰ	担当者	井上　茂樹
配当学科・研究科	2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	HS-PT-1-108

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	ヒトの身体運動に関する基本的な知識を学修する。主に、上肢帯と上肢の運動、顔面および頭部の運動、運動学的分析、姿勢、歩行と走行、運動発達、運動学習に関して学修する。 学生は、１）身体運動に関する基礎的な知識を理解する、２）運動器の構造と機能を理解する、３）上肢帯と上肢の運動、顔面および頭部の運動、運動学的分析、姿勢、歩行と走行、運動発達、運動学習に関して理解を深め、基本事項を記憶できることを到達目標とする。
授業概要	運動学は理学療法士の最も基本的な学問であり、また臨床の理学療法士が治療場面で応用する学問である。授業ではその中で主に、上肢帯と上肢の運動、顔面および頭部の運動、運動学的分析、姿勢、歩行と走行、運動発達、運動学習に関して学修する。参加型学習における授業であるが、運動学の基本事項についてより理解度を深めるために課題を与え、グループ討論も取り入れた授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	参加型学習における授業への積極的参加態度（30%）、知識修得程度を確認するための試験（60%）、自ら調べまとめる能力を確認するための授業ノート（10%）で評価する。参加型学習を主体としていることから、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を重視する。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題や小テスト等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことをもとにして、参加型学習法により授業を行うため、予習が必須である。 ２）指示に従って必ずノートを作成し復習すること。 ３）初回の授業では、今後の授業にて学修する全体像を説明するため必ず出席すること。 ４）隔週で行う小テストや定期試験は必ず行うため、授業に出席していただけでは単位は取れない。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、理学療法士としての実務経験と研究実績を持つ教員がその経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	事前に課題を出し、それについて調べてきたことをもとにして、参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。指示に従って必ずノートを作成し復習すること。試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位はとれないため、必ず予習復習を行うこと。予習および復習には、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	6号館4階の井上研究室（6437）において、毎週火曜日2時限目（11:10～12:40）をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	上肢帯の運動と構造	井上茂樹
第２回	上肢の運動と構造 肩関節（1）	井上茂樹
第３回	上肢の運動と構造 肘関節（2）	井上茂樹
第４回	上肢の運動と構造 手関節（3）	井上茂樹
第５回	上肢の運動と構造手指（4）	井上茂樹

第６回	運動と動作の分析（1）	井上茂樹
第７回	運動と動作の分析（2）	井上茂樹
第８回	体力と運動処方（1）	井上茂樹
第９回	体力と運動処方（2）	井上茂樹
第１０回	姿勢（1）	井上茂樹
第１１回	姿勢（2）	井上茂樹
第１２回	姿勢（3）	井上茂樹
第１３回	歩行と走行（1）	井上茂樹
第１４回	歩行と走行（2）	井上茂樹
第１５回	歩行と走行（3）	井上茂樹
第１６回	単位認定試験	井上茂樹

教科書			
教・書籍名１	基礎運動学　第6版　補訂	教・出版社名１	医歯薬出版
教・著者名１	中村隆一、齋藤　宏、長崎　浩	教・ＩＳＢＮ１	978-4-263-21153-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	作業療法概論 （オムニバス）	担当者	岩田　美幸、三宅　優紀、狩長　弘親、山本　倫子、京極　真、寺岡　睦
配当学科・研究科	2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	HS-OT-1-201

必修・選択	必修	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	【テーマ】 学生は、将来、作業療法士として従事することを目指し、保健・医療・福祉、あるいは新しく開拓される領域での作業療法の役割を多様な観点で捉えることができる。 【到達目標】 学生は、作業療法の専門性と独自性を明確に理解できることを目標とする。
授業概要	作業的存在としての人と作業療法の役割を理解するために、作業のイメージを明確にし、各領域における作業療法の実践過程を理解する。また、作業療法の歴史的背景と実践理論の概要を学び、根拠に基づく実践の重要性と今後の作業療法への展望について検討する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業への参加度（50%）、単位認定レポート試験（50%）の結果で総合評価する。 なお、単位認定レポート試験は採点結果を返却し、模範解答を掲示する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業内で課題や試験のフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	グループワークや発表時に欠席した場合は成績評価に大きく影響するため、必ず担当教員に連絡すること。 日常生活の中で人（自分自身も含む）と作業の関係について洞察を深めること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、作業療法士としての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の授業を確実に理解できるように教員が指定する内容を必ず1時間以上予習し、主体的に参加すること。また、授業後は重要な事項を必ず1時間以上復習しておくこと。
オフィスアワー	月曜4限（15：10～16：40）、6428研究室 ※他教員のオフィスアワーは別途確認

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション，作業とは何か	京極
第２回	作業療法の対象，Enabling occupation	岩田
第３回	身体障害領域の作業療法	寺岡
第４回	精神障害領域の作業療法	山本
第５回	高齢者・認知症の作業療法	岩田
第６回	作業療法の歴史（起源）	京極
第７回	作業療法の歴史（パラダイムシフト）	京極
第８回	作業療法の実践理論（OBP2.0、MOHO）	寺岡
第９回	作業療法の実践理論（CMOP-E・OTIPM）	寺岡
第１０回	高次脳機能障害領域の作業療法	狩長

第１１回	発達障害領域の作業療法	外部講師	
第１２回	生活行為向上マネジメント	狩長	
第１３回	作業療法における研究の重要性	三宅	
第１４回	予防領域の作業療法	三宅	
第１５回	作業療法を取り巻く状況、まとめ	狩長	
第１６回	試験	京極	
教科書			
教・書籍名１	作業療法学概論 第3版（標準作業療法学専門分野）	教・出版社名１	医学書院
教・著者名１	二木淑子・能登真一	教・ＩＳＢＮ１	978-4260025355
教・書籍名２	「作業」って何だろう－作業科学入門 第2版	教・出版社名2	医歯薬出版
教・著者名2	吉川ひろみ	教・ＩＳＢＮ2	978-4263216675
参考書			
参・書籍名１	基礎作業学 第3版（標準作業療法学専門分野）	参・出版社名１	医学書院
参・著者名１	濱口豊太	参・ＩＳＢＮ１	978-4260030557
参・書籍名２	作業療法士になろう！	参・出版社名2	青弓社
参・著者名2	齋藤さわ子	参・ＩＳＢＮ2	978-4787210531

授業科目名	人間と作業	担当者	寺岡　睦
配当学科・研究科	2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2020～ 2022年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	HS-OT-1-217

必修・選択	必須	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	講義、AL
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：学生は，作業療法士が主とする「作業」が健康と幸福に与える影響を理解できる 到達目標：学生は，講義とアクティブラーニングを通して，作業が人間の健康と幸福に与える影響を理解できる
授業概要	作業とは，人間が経験すること全てである． 作業療法士になるためにはこの作業を理解し，作業療法という方法を使ってクライエントへ介入を行う必要がある． そのためには作業がもつ力を理解し，健康と幸福に近づく作業の使い方を教えたり，やり方を変更したり，自身で運用できるようになることが求められる． 作業は経験である以上，どのような経験を積むかによって将来の健康と幸福が変化する． 質の悪い経験＝作業機能障害を積み重ねると人の健康と幸福は阻害される． しかし質の良い経験＝作業機能状態を積み重ねると人の健康と幸福は促進される． この科目では，健康と幸福に特に良い影響を与える作業を学生に紹介し，実際に体験する時間を設けることでその影響や効果を理解し，解釈出来るように構成している． この科目は，作業科学を研究し，臨床現場で実践していた者が講義を行う．人間が行う作業が健康と幸福に関連する基礎知識に加え，臨床現場での活用方法なども講義し学生の理解を深める． ※実務経験のある教員による授業科目 この科目は，作業に根ざした実践の研究及び臨床での実務経験を持っている教員が，その経験を活かし実践的に役立つ授業を実施する．
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	試験60％，提出物20％，授業への態度20％で評価する．なお，提出物へのフィードバックは授業内で行う．
ルーブリック評価	本科目ではルーブリック評価を用いる。 /uprx/sagyou.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題提出のフィードバックは書面上、もしくは授業時間内に行う。 試験のフィードバックは提出された問題用紙の返却をもって行う。
履修条件・注意事項	授業の復習をきちんと行うこと 講義内で出た課題には取り組むこと
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、作業に根ざした実践の研究及び臨床での実務経験を持っている教員が、その経験を活かし実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	予習はシラバスについて記載されているテーマについて教科書を読み，事前にインターネットなどを活用し調べておくこと． 予習の時間は1時間程度とする． 講義終了時に，作業を習得して効果を体験してもらうために課題を毎回出すので必ず行うこと．

	課題は３０分～1時間程度で行える内容で提供する．課題は次回の講義前までに提出すること．
オフィスアワー	授業終了後，教室で行う．それ以外は月曜か金曜に6430研究室で対応する

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	寺岡
第２回	作業と健康と幸福の関係性	寺岡
第３回	意志力と作業、演習、課題発表	寺岡
第４回	疲労と作業、演習、課題発表	寺岡
第５回	感謝と作業、演習、課題発表	寺岡
第６回	フローと作業、演習、課題発表	寺岡
第７回	人間関係と作業、演習、課題発表	寺岡
第８回	挫折と作業、演習、課題発表	寺岡
第９回	ストレス軽減と作業、演習、課題発表	寺岡
第１０回	強みと作業、演習、課題発表	寺岡
第１１回	レジリエンスと作業、演習、課題発表	寺岡
第１２回	習慣と作業、演習、課題発表	寺岡
第１３回	自己肯定感と作業、演習、課題発表	寺岡
第１４回	睡眠と作業、演習、課題の発表	寺岡
第１５回	人間と作業まとめ	寺岡
第１６回	単位認定試験	寺岡

教科書			
教・書籍名１	「作業」って何だろう　作業科学入門　第2版	教・出版社名１	医歯薬出版
教・著者名１	吉川ひろみ	教・ＩＳＢＮ１	4263216679
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	発達心理学	担当者	宇都宮　真輝
配当学科・研究科	2018年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2018年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	PS-PS-1-307

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマは、様々な視点から人間の発達過程について理解することである。そのために、身体、脳、感情、認知、人間関係の発達など、様々な観点から人間の発達を分析し、理解するための知識を身に付けられるようになることを到達目標とする。
授業概要	胎児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期の各時期における発達の様相や発達課題について様々な観点から学習する。また、各発達段階における臨床的問題についても学習し、心理的援助についての考察も深める。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	評価は、受講態度（10%）、小テスト・レポート（30%）、期末試験（60%）とし、総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト、レポートは授業時間内に答え合わせやフィードバックを行う予定。
履修条件・注意事項	積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。 事前に各回の内容について伝達するので、予習を行うこと。小テストなども行うので、自身の習熟度を確認し、復習を欠かさないこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　臨床心理士、公認心理師の資格を有しており、心理相談室、学生相談、スクールカウンセリングにおける実務経験あり。
事前学習・事後学習とその時間	予習として次回の内容について教科書を読んでくること。授業で学習し、ノートにまとめた内容について復習してくること。次回の授業時に口頭で質問したり、小テスト等で確認します。予習・復習には、1－2時間程度を要する。
オフィスアワー	研究室にて、火曜日4時限に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	宇都宮
第２回	ライフサイクルについて	宇都宮
第３回	胎児期	宇都宮
第４回	新生児期	宇都宮
第５回	乳児期：愛着の形成	宇都宮
第６回	乳児期：言葉の発達	宇都宮
第７回	幼児期：表象の獲得	宇都宮
第８回	幼児期：社会性の発達	宇都宮
第９回	児童期：有能感と劣等感	宇都宮
第１０回	児童期：学校への適応・いじめ	宇都宮

第１１回	青年期前期	宇都宮	
第１２回	青年期後期	宇都宮	
第１３回	青年期の病理	宇都宮	
第１４回	成人期	宇都宮	
第１５回	まとめ	宇都宮	
第１６回	期末試験（筆記試験）	宇都宮	
教科書			
教・書籍名１	よくわかる発達心理学	教・出版社名１	ミネルヴァ書房
教・著者名１	無藤隆・岡本祐子・大坪治彦（編）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-623-05379-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	保育の心理学Ⅰ	担当者	森井　康幸
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2017～ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	PS-CE-2-213

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年 / 2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	発達は人と人の関わりのなかで生じていることを中心に、乳幼児の保育や幼児教育を行っていくうえで必須となる子どもの心身発達の基礎となる心理学的知見を学ぶことをテーマとする。 到達目標：子どもの生得的なすばらしい能力とその発達過程を理解し、子どもに対する興味・関心を高め、より多面的に理解できるようになる。
授業概要	保育実践における子どもの発達理解の意義について学ぶとともに、発達に関わる心理学の基礎を習得し、子どもへの理解を深める。また、子どもの発達に関わる他者との関わり、社会的相互作用等についても理解する。さらに、生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性について理解し、保育実践との関わりについて考察する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	ほぼ隔週で行う小テストまたはミニ・レポートの得点（３０％）と定期試験の得点（７０％）に、受講態度の評価点（０～１）を乗じたもので評価する。したがって、テストで満点であっても、受講態度の評価点が 0.5 の場合は100点×0.5で50点となるので注意すること。小テストは採点後、返却するので、定期試験に向けて、しっかり見直しておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストの返却と、必要に応じて補足解説を行う。
履修条件・注意事項	上述のように、ほぼ隔週で小テストを行なうので、最低限、教科書の該当箇所を熟読しておくこと。 小テストは前回の授業内容の復習テスト、あるいは当日の授業内容の理解テストを中心に行なう予定である。 保育士の資格取得には必須科目である。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、あらかじめテキストに目を通しておくこと。（2時間） 復習は、配付資料とともに、再度テキストを読むこと。（2時間） 返却された小テストも確認しておくこと。
オフィスアワー	月曜4限　　教員研究室

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	森井
第２回	発達を考える（第1章）	森井
第３回	人との関わりの基盤	森井

第４回	子ども同士の関わりの進展	森井
第５回	身体的機能と運動機能の発達－個人差と環境－	森井
第６回	運動機能の発達と心理的発達との関連	森井
第７回	ピアジェ理論とその再検討	森井
第８回	世界づくりの開始―認知発達の基盤	森井
第９回	世界づくりの展開―身の回りの世界についての理解の構成	森井
第１０回	言語発達の基礎―人との関わりから育まれる言葉	森井
第１１回	言語を使った世界の広がり	森井
第１２回	乳幼児期の学びに関わる理論	森井
第１３回	乳幼児期の学びの過程と特性	森井
第１４回	乳幼児期の学びを支える保育	森井
第１５回	まとめ	森井
第１６回	定期試験	森井

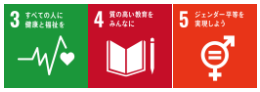
教科書			
教・書籍名１	保育の心理学	教・出版社名１	北大路書房
教・著者名１	藤﨑 眞知代・無藤 隆	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7628-3152-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	エピソードで学ぶ　乳幼児の発達心理学	参・出版社名１	新曜社
参・著者名１	岡本依子・菅野幸恵・塚田-城みちる	参・ＩＳＢＮ１	978-4-7885-0907-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	対人関係論	担当者	栗田　喜勝
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2017～ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 子ども3年／2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	PS-CE-3-219

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年 / 3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう 
到達目標	「社会における人と人との相互作用」と「社会的適応」をテーマとして、人々の具体的な日常生活場面における対人行動の特徴を理解することにより、よりよい人間関係のあり方について考察を深めることができるようになる。
授業概要	心理学は一般的に「行動の科学」として認知されているが、その研究アプローチは多岐にわたる。中でも個人心理学は、環境との相互作用を行う個体（個人）に注目して知覚や感情、思考などについて科学的に究明してきたが、社会心理学は、個人と他者よの相互作用の観点から、社会の中の個人の行動を科学的に理解しようとする学問体系であるといえる。そこで本講では、個人、集団に影響を及ぼす種々の心理的要因について具体的に取り上げ考察する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	受講態度(質疑・意見表明等の有無）（４０％）・期末試験（６０％）で総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業中に呈示する自主学修課題については、学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。
履修条件・注意事項	主体的、積極的に参加すること。 授業の中で使用する各種の資料や心理テスト類をファイルにより呈示するので受講の前にあらかじめよく目を通し（予習）、授業後は内容を確認し整理し（復習）、以後の学習に活用してほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前にファイル呈示する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すこと。 ２）毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な　参加と事前の準備、授業後 の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。 ３）単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。
オフィスアワー	個人研究室にて、基本的には木曜日4限、金曜日5限にPCオンライン・電話・メール等で実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。

	授業計画	担当者
第１回	心理学と社会心理学	栗田喜勝
第２回	社会心理学の対象と研究方法について	栗田喜勝
第３回	社会的認知について	栗田喜勝
第４回	社会的相互作用について	栗田喜勝

第５回	社会的欲求と適応行動について	栗田喜勝
第６回	人間関係とストレス	栗田喜勝
第７回	人間関係とフラストレーション	栗田喜勝
第８回	人間関係と認知	栗田喜勝
第９回	印象形成について	栗田喜勝
第１０回	人間関係と感情	栗田喜勝
第１１回	社会的態度と行動について	栗田喜勝
第１２回	社会的態度（１）ステレオタイプ	栗田喜勝
第１３回	社会的態度（２）偏見	栗田喜勝
第１４回	態度変容について	栗田喜勝
第１５回	学修のまとめ	栗田喜勝
第１６回	期末試験	栗田喜勝

教科書			
教・書籍名１	初回講義時および毎講義時に授業用資料をファイルにより呈示する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ワークショップ人間関係の心理学	参・出版社名１	ナカニシヤ出版
参・著者名１	藤本忠明他編著	参・ＩＳＢＮ１	4-88848-833-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	美術史A	担当者	前嶋　英輝
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化3年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他3年	ナンバリング	AN-AN-3-101

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は、「美術史について広く学ぶ」をテーマとして、自分なりの考えを持ち芸術について語ることができるようになる。日本や世界の伝統文化を学ぶことは、同時に日本の歴史文化及び地域の歴史文化を学ぶことであり、日本美術と、中国、韓国や西洋の芸術作品や文化を比較しながら、広く芸術の意味について学習する。またアニメーションと美術史の関係について考察する。 学生は、美術史上の具体的な例を挙げながら、芸術作品に対する考えを発表できるようになることを到達目標とする。
授業概要	具体的な芸術作品を例に挙げながら、作品の意味と時代背景について考察し、日本美術と東洋や西洋の芸術について概観する。また自分で選んだ芸術作品について考えをま とめ発表し、討論の中で深める。特にアニメーションに関わる文化について理解を深める。芸術の世界は広いので、積極的に授業での討論に参加することで様々な意見を理解することが重要である。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート（６0点）、 到達目標達成度を見る期末試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、芸術作品について検索などで予習を行うことが必要である。また積極的に討論に参加するために前回のノートなどをもとに復習を行うことが重要である。中間発表では、自分の視点で作品を解説できることが重要である。期末試験では、到達目標の理解度を見るため十分な復習が必 要である。 初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　内容　高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	美術に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	アニメーションと北斎漫画	前嶋英輝
第２回	縄文・弥生・古墳時代の美術	前嶋英輝
第３回	日本とシルクロードの美術	前嶋英輝
第４回	飛鳥時代と渡来美術	前嶋英輝
第５回	白鵬・天平時代と仏教美術	前嶋英輝
第６回	平安～鎌倉時代の美術	前嶋英輝
第７回	室町～安土桃山時代の美術	前嶋英輝
第８回	日本とギリシャ・ローマの美術	前嶋英輝
第９回	日本とルネッサンスの美術	前嶋英輝
第１０回	日本美術と黄金比・遠近法	前嶋英輝
第１１回	美術史とアニメーションの設定	前嶋英輝
第１２回	美術史とアニメーションのデザイン	前嶋英輝

第１３回	美術史とアニメーションの背景美術	前嶋英輝	
第１４回	近代日本美術とアニメーション	前嶋英輝	
第１５回	芸術とアニメーション	前嶋英輝	
第１６回	単位認定試験	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１	概説日本美術史	参・出版社名１	吉川弘文館
参・著者名１	町田甲一	参・ＩＳＢＮ１	978-4642072229
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	美術史B			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-102		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は、「美術史について広く学ぶ」をテーマとして、自分なりの考えを持ち芸術について語ることができるようになる。世界の伝統的な美術を学ぶことは、同時に日本の歴史文化及び地域の歴史文化を学ぶことである。世界の芸術作品や文化を比較しながら、広く芸術の意味について学習する。アニメーションと美術史の関係についても考察する。 学生は、美術史上の具体的な例を挙げながら、芸術作品に対する考えをまとめることを到達目標とする。
授業概要	具体的な芸術作品を例に挙げながら、作品の意味と時代背景について考察し、西洋美術と東洋美術について概観する。また自分で選んだ芸術作品について考えをま とめ発表し、討論の中で深める。特にアニメーションに関わる文化について理解を深める。芸術の世界は広いので、積極的に授業での討論に参加することで様々な意見を 理解することが重要である。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート（６0点）、 到達目標達成度を見る期末試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、芸術作品について検索などで予習を行うことが必要である。また積極的に討論に参加するために前回のノートなどをもとに復習を行うことが重要である。中間発表では、自分の視点で作品を解説できることが重要である。期末試験では、到達目標の理解度を見るため十分な復習が必 要である。 初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	美術に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。　1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	アニメーションと美術	前嶋英輝
第２回	北斎漫画	前嶋英輝
第３回	浮世絵	前嶋英輝
第４回	水墨画	前嶋英輝
第５回	中国と韓国の絵画	前嶋英輝
第６回	シルクロード美術	前嶋英輝
第７回	オリエント美術	前嶋英輝
第８回	ギリシャ・ローマ美術	前嶋英輝
第９回	ヨーロッパの中世	前嶋英輝
第１０回	ルネッサンス	前嶋英輝
第１１回	バロック・古典主義	前嶋英輝
第１２回	印象派	前嶋英輝
第１３回	西洋と日本の近代	前嶋英輝

第１４回	現代美術	前嶋英輝	
第１５回	芸術とアニメーション	前嶋英輝	
第１６回	単位認定試験	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	概説日本美術史	参・出版社名１	吉川弘文館
参・著者名１	町田甲一	参・ＩＳＢＮ１	978-4642072229
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	古代西洋文藝講読	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	AN-AN-2-103

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	古代ギリシャのホメロス以来の西洋文藝は長い伝統をもち、古くから読み継がれてきた。のみならず絵画や映画など他のジャンルにも題材を提供してきた。この講義ではホメロス作品以降の古代ギリシャ、ローマのいくつかの作品を日本語訳を通じて読みながら解説する。これにより学生は将来の作品制作や批評に資する豊富な文藝の資源を所有することができる。
授業概要	古代ギリシャではホメロス作品のイリアス、オデュッセイア、悲劇詩人アイスキュロスのオレステイア三部作、ソフォクレスのエレクトラとフィロクテテス、エウリピデスのエレクトラを読む。古代ローマではウェルギリウスのアエネイスとオウィディウスの変身物語を読む。また可能な限り、絵画や映画の題材となっている例を紹介する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題(50%)、定期試験(50%)。毎回、復習用に課題を出すので次回授業で講評する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す
履修条件・注意事項	テクストは購入するか図書館で借りてきちんと読むこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	授業中に扱う範囲はテクストのさわりに限られるので、必ず予習で指定された範囲全部を読んでくること(90分)。また授業での解説を聞いた後の復習で、範囲全部を読み直すこと(90分)。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	『イリアス』第1-6巻	山本
第２回	『イリアス』第7-12巻	山本
第３回	『イリアス』第13-18巻	山本
第４回	『イリアス』第19-24巻	山本
第５回	『オデュッセイア』第1-6巻	山本
第６回	『オデュッセイア』第7-12巻	山本
第７回	『オデュッセイア』第13-18巻	山本
第８回	『オデュッセイア』第19-24巻	山本
第９回	アイスキュロス『アガメムノン』	山本
第１０回	アイスキュロス『コエフォロイ』と『エウメニデス』	山本
第１１回	ソフォクレス『エレクトラ』	山本
第１２回	ソフォクレス『フィロクテテス』	山本
第１３回	エウリピデス『エレクトラ』	山本
第１４回	ウェルギリウス『アエネイス』1-6	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	

教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	近代西洋文藝講読			担当者	山本　敦之		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-104		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	近代西洋文藝は古代西洋文藝の伝統を受け継ぎながら、新たな伝統となり、読み継がれてきた。また映画など他のジャンルにも題材を提供してきた。この講義では古典中の古典であるセルバンテスやシェークスピアの作品の一部、その後19世紀までのいくつかの古典的作品を日本語訳を読みながら解説する。これにより学生は将来の作品制作や批評に資する豊富な文藝の資源を所有することができる。
授業概要	セルヴァンテス、シェークスピアからミルトン、スウィフト、ゲーテ、ホフマン、ユーゴー、メリメ、ディケンズ、ドストエフスキー、メルヴィルといったスペイン、イギリス、ドイツ、フランス、アメリカの作家の代表的作品の一部または全部を読む。その際、厖大なこれらの作品についての研究から選択したいくつかのものを参考にする。また、映像作品にかかわりのあるものについては特に言及する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題(50%)、定期試験(50%)。復習用に課題を提示するので、これに対して講評をおこなう。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	復習用に課題を提示するので、これに対して講評をおこなう。
履修条件・注意事項	テクストは購入するか図書館で借りてきちんと読むこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	授業中に扱う範囲はテクストのさわりに限られるので、必ず予習で指定された範囲全部を読んでくること(90分)。また授業での解説を聞いた後の復習で、範囲全部を読み直すこと(90分)。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	セルバンテス『ドン・キホーテ』緒言と第1巻	山本
第２回	シェークスピア『ハムレット』	山本
第３回	シェークスピア『真夏の夜の夢』	山本
第４回	ミルトン『失楽園』第1巻	山本
第５回	スウィフト『ガリヴァー旅行記』第3篇	山本

第６回	ゲーテ『ファウスト』第1部	山本
第７回	ホフマン『黄金の壺』	山本
第８回	ユーゴー『ノートルダム・ド・パリ』第1-6篇	山本
第９回	ユーゴー『ノートルダム・ド・パリ』第7-12篇	山本
第１０回	ユーゴー『レ・ミゼラブル』第1部	山本
第１１回	メリメ『カルメン』	山本
第１２回	メリメ『イールのヴィーナス』	山本
第１３回	ディケンズ『デイヴィッド・コッパーフィールド』	山本
第１４回	ドストエフスキー『カラマーゾフの兄弟』	山本
第１５回	メルヴィル『白鯨』	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	産業と技術の歴史			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-107		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	技術と社会・経済・規範などが相互作用して、どのように私たちの生きる世界を形成してきたか、人物を中心にして学び、今後の自 分自身の職業選択や将来の生き方を考察できる知識と基礎的能力を習得する。とくに、今年度は、コンピュータと、インターネット、コンピュータグラフィクス（CG)の歴史に焦点を当てて、現代の私たちが活用するテクノロジーがどのように社会・経済・規範などと相互作用しつつ登場したかを理解する。 到達目標は、学生が次の３つのことができるようになることである。 １．技術者という人物を中心に見ることで、現代社会における産業・技術とそれを取り巻く制度のあり方が、いかにして歴史的に生 成してきたものか理解できる。 ２．コンピュータの誕生から現代のインターネットや映像技術に至るICTおよびICT産業の歴史を概括的に把握できる。とくに、世界史・日本史上の出来事と連関させて理解できる。 ３．上記の２点を踏まえ、現代の科学・技術・産業の変化について、　自分自身の職業選択や将来の生き方と関連させて考察できる。
授業概要	コンピュータと、インターネット、コンピュータグラフィクス（CG)の産業と技術の歴史について、代表的な企業家・技術者などの活躍を通して、その成り立ちを学ぶ。技術の歴史は、ある社会的・技術的文脈の中で人々が創造し、つくりあげてきたものである。どのような社会や技術の状態があってある人物の人間形成や科学技術的知識の習得が行われ、彼らのどのような活躍によって、産業や技術が構築されてきたのか学ぶ。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえでの意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度を30%の重みづけで評価する（受講態度）。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの３つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式ですが、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業内で指定する参考書および配布資料の指定部分を読んできてください。約2時間。 復習：授業終了後にアップロードするスライドを見て、授業内容を再度振り返ってください。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	ケータイ・スマホサービスと携帯電話産業の歴史（日本編）	大谷
第３回	ケータイ・スマホサービスと携帯電話産業の歴史（世界編）	大谷
第４回	誰がコンピュータを発明したか	大谷

第５回	コンピューティングの歴史概説：ENIACからiPadまで	大谷	
第６回	真空管・トランジスタからICまで：コンピュータの要素技術の発展	大谷	
第７回	パーソナルコンピュータの誕生（１）マイクロプロセッサ登場	大谷	
第８回	コンピュータの誕生からインターネット勃興期まで（視聴覚教材）	大谷	
第９回	パーソナルコンピュータの誕生（２）パーソナルコンピュータ産業の誕生	大谷	
第１０回	パーソナルコンピュータの誕生（３）MacintoshとPCの発展	大谷	
第１１回	インターネットの歴史概説：ARPANETからソーシャルネットワーキングサービスまで	大谷	
第１２回	インターネットビジネスの興亡：サーチエンジン・EC・ソーシャルネットワーキングサービス	大谷	
第１３回	映像とコンピュータの技術史	大谷	
第１４回	映像とコンピュータの産業史	大谷	
第１５回	まとめ	大谷	
第１６回	筆記試験（オンライン試験も検討中）	大谷	
教科書			
教・書籍名１	適宜レジュメを配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	コンピュータって: 機械式計算機からスマホまで	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	ポール・E.セルージ	参・ＩＳＢＮ１	978-4492762134
参・書籍名２	コンピューティング史：人間は情報をいかに取り扱ってきたか	参・出版社名2	共立出版
参・著者名2	Martin Campbell Kelly, William Aspray, Nathan Ensmenger, Jeff rey R Yost著、杉本舞監訳,喜多千草・宇田理訳	参・ＩＳＢＮ2	978-4320124691

授業科目名	デジタルメディアと社会			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-108		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	映像をもとに、現代の情報技術とコミュニケーションをめぐる倫理的問題について学ぶ。 現代は、情報技術が広く社会に浸透し、人びとのコミュニケーションと行為を媒介する情報社会である。また、現代の情報技術はデジタルコンピューティングをベースとしているので、現代の社会はデジタル技術とデジタルメディアを行為とコミュニケーションの基盤とする社会と見ることができる。 本講義は、デジタルメディアを媒介とする行為・コミュニケーションの性質を理解し、これらの行為･コミュニケーションにおける規範がどのようなものであるべきか構想するために必要な情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。 到達目標は、学生が次の３つのことができるようになることである。 １．デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションの性質を理解できるようになる。 ２．倫理学の基本的な考え方とその枠組みを理解できるようになる。 ３．デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションにおいて、どのような法的・倫理的問題が生じる可能性があるか理解できるようになる。 ラーニングアウトカムは、「デジタルメディアと情報社会の理解」および「デジタル社会への参加態度」である。
授業概要	現代において、デジタルメディアが媒介する私たちの行為とコミュニケーションにかかわる諸問題について、仮想的事例や現実の事例から学ぶ。これらの諸問題に対する基本的なアプローチには、1980年代以降に発展してきた情報倫理学の考え方と枠組みを活用する。 具体的実例を通して、現代の生活や社会のさまざまな局面における情報技術の働きを知るとともに、情報技術が基盤となる現代社会における情報とコミュニケーションの倫理的問題について考察する。授業では適宜映像作品やドキュメンタリー、講演・シンポジウムの映像記録などを活用して、現代的問題を考察できるようにする。 講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえでの意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する（受講態度）。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの３つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式の場合も、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対して、次のように予習・復習をおこなうこと。 予習：レジュメ等の資料を配布するので、指示に従って予習すること。約2時間。

	復習：授業内容と資料を要約し、授業内で提示された課題について自分自身で考え回答する。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	なぜ情報倫理が必要なのか	大谷
第３回	倫理とは何だろうか（１）倫理学と倫理・倫理学で使われる言葉	大谷
第４回	倫理とは何だろうか（２）倫理学の基本的な立場	大谷
第５回	グーグル革命（ビデオ教材）視聴と解説	大谷
第６回	サーチエンジンの倫理	大谷
第７回	ソーシャルネットワーキングサービス	大谷
第８回	フェイクニュースと情報の信頼	大谷
第９回	プライバシーの基礎	大谷
第１０回	個人情報保護制度とその思想	大谷
第１１回	監視と見守り	大谷
第１２回	著作権の法・技術・ビジネス	大谷
第１３回	AI・ロボットの倫理	大谷
第１４回	バーチャルリアリティー	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	筆記試験（オンライン試験機能利用も）	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	改訂新版　情報倫理入門	参・出版社名１	アイ・ケイコーポレーション
参・著者名１	土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著	参・ＩＳＢＮ１	4874923240
参・書籍名２	AIの倫理学	参・出版社名2	丸善出版
参・著者名2	クーケルバーグ著、直江清隆訳者代表	参・ＩＳＢＮ2	978-4621305881

授業科目名	広告原理			担当者	伊藤　博則		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-109		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ：広告＝マーケティング・コミュニケーション、さらにその上位の経営戦略・マーケティング戦略に関する基本的で実践的な知識を身につける。 到達目標：学生は、マーケティング戦略を理解することで、各種広告＝マーケティング・コミュニケーションの企画立案が出来る。
授業概要	広告＝マーケティング・コミュニケーションは、経済活動の潤滑油です。各企業・団体の活動において欠かせない事業活動です。しかし、広告＝マーケティング・コミュニケーション活動は、メディア環境や経済環境、消費者意識の変遷により、日々変化してきています。 また、広告＝マーケティング・コミュニケーションには、経済的な側面だけではなく、エンターテイメントとしての文化的側面、さらにはその影響力の大きさから社会的側面も有しています。 この講義では、広告＝マーケティング・コミュニケーションの変遷を振り返るとともに、経営戦略（事業戦略）・マーケティング戦略のあり方と、それに基づく広告＝マーケティング・コミュニケーションの企画制作の実作業について、事例を用いながら解説いたします。 毎回実際のテレビコマーシャルや各種広告、動画コミュニケーションの実例を用いながら解説し、その理解を深めていきます。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	メディアの位置づけを理解した上で、マーケティング戦略からコミュニケーション計画、表現制作に至るプロセスの習得度・理解度・発想力を評価する最終レポートウェイト50%、毎回授業の理解度と授業レポートにより評価する提出物ウェイト40%、授業態度ウェイト１０％
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎授業の課題レポートについては、質問欄を設け、次回授業にて質問への回答を行うとともに、レポート内容についてもコメントを行う。
履修条件・注意事項	日常的にインターネット広告・動画広告・テレビコマーシャルや新聞・雑誌広告に意識して接し授業に臨む。毎回授業レポートに各自で学んだポイントとそこから気づいたことをまとめ、質問事項等を記載の上提出する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この授業は広告会社、出版会社、さらには企業の広告広報セクションにて、広告・出版実務を経験さらには現在実践している教員が実例に基づき実践的な授業を実施するものです。
事前学習・事後学習とその時間	１）毎回次回までの課題を出し、予習復習については各2時間程度行うこと。 ２）毎回授業で学んだこと気づいたこと、授業内容への質問を作成する。 ３）全般知識確認のための筆記試験 を行う。
オフィスアワー	授業終了後に、教室にて行う。

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス～広告とは何か	伊藤
第２回	日本の広告の歴史（江戸時代～戦前）	伊藤
第３回	日本 の広告の歴史（戦後～昭和40年代）	伊藤
第４回	日本の広告の歴史（昭和50年代 ～現在）	伊藤
第５回	広告と広報	伊藤

第６回	広告とマーケ ティングの関係（マーケティング戦略）	伊藤	
第７回	ブランディングとは（企業ブランディングと商品ブランディング）	伊藤	
第８回	広告メディア-マス・メ ディアの特性	伊藤	
第９回	新たなメディア-ITメディアの台頭	伊藤	
第１０回	広告ビジネスに関わる会社と仕事	伊藤	
第１１回	実践に学ぶ広告計画の立案	伊藤	
第１２回	実践に学ぶ広告制作の流れ	伊藤	
第１３回	広告効果測定と広告に関する規制	伊藤	
第１４回	広告の周辺業務-プロモーション・商品開発など	伊藤	
第１５回	これからの広告（デザイン思考の重要性）	伊藤	
第１６回	最終レポート提出	伊藤	
教科書			
教・書籍名１	毎回授業資料をアップ	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	この1冊ですべてわかる 新版 広告の基本	参・出版社名１	日本実業出版社
参・著者名１	波田浩之	参・ＩＳＢＮ１	978-4534055804
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ジャーナリズム論			担当者	竹内　健		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-110		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	メディア環境が急速に多様化する中、主に新聞を中心とする伝統的ジャーナリズムの役割について基礎的な理解を深める。達意の文章と言われる新聞記事の特徴を知り、文章を書くこつを学ぶ。就職活動のエントリーシートづくりや、社会人になって企画書を担当する際にも役立てられるようにする。
授業概要	新型コロナウイルス感染拡大や、京都アニメーション事件を巡る報道など、今日的なジャーナリズムの話題を提供するが、できるだけ肩の凝らない授業にしたい。自分自身がジャーナリストになったと仮定し、報道の現場でどのような行動を取るかを話し合う。作家らの文章、詩を読んで感想文を書き、文章力を磨く。授業担当者は大学でジャーナリズムを専攻した。山陽新聞社に勤務し、30年以上、取材・執筆をしてきた。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	授業に対する態度が積極的かどうか（30%）、レポートの取り組みはどうか（40%）、他人に迷惑を掛けずに受講しているかどうか（30%）ーなどで評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業で課したレポートの結果は、後日の授業で示す。
履修条件・注意事項	新聞に関わらずインターネット、テレビ、ラジオ、映画、アニメ、雑誌、音楽などメディア全般に興味関心のある人を対象とする。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	SNS以外のツール（例えば新聞を読む）からも、情報を得る習慣を付けてみて下さい。大学の図書館などを利用して新聞を読み、テレビなどのニュース番組にも接して下さい。予習・復習には各2時間程度を当てて下さい。
オフィスアワー	授業終了後に教室にて。

	授業計画	担当者
第１回	ジャーナリズムの定義について。鶴見俊輔の「ジャーナリズムの思想」を参考に。	竹内
第２回	文章の書き方。新聞記事の特徴。社会人になって企画書を書くときに新聞記事を利用する。	竹内
第３回	地方紙について、その１。東日本大震災と岩手県・大槌新聞の取り組み。	竹内
第４回	地方紙について、その２。秋田魁新報社のスクープ。	竹内
第５回	地方紙について、その３。沖縄県の新聞記者たち。	竹内
第６回	京都アニメーション事件を巡る報道について、その１。	竹内
第７回	京都アニメーション事件を巡る報道について、その２。	竹内
第８回	津波を撮ったカメラマンについて。	竹内
第９回	ユージン・スミスとＭＩＮＡＭＡＴＡ、その１。	竹内
第１０回	ユージン・スミスとＭＩＮＡＭＡＴＡ、その２。	竹内
第１１回	中村哲とアフガニスタン、その１。	竹内
第１２回	中村哲とアフガニスタン、その２。	竹内
第１３回	中村哲とアフガニスタン、その３。	竹内
第１４回	オバマ氏の広島訪問。	竹内
第１５回	近藤宏一と青い鳥楽団の活動。	竹内
第１６回	レポート試験。	竹内

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じてプリントを配布します）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	

教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	メディア用語基本事典	参・出版社名１	世界思想社
参・著者名１	渡辺武達・金山勉・野原仁	参・ＩＳＢＮ１	9784790717324
参・書籍名２	天、共に在り　アフガニスタン三十年の闘い	参・出版社名2	ＮＨＫ出版
参・著者名2	中村哲	参・ＩＳＢＮ2	9784140816158

授業科目名	メディア倫理学			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-111		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	情報通信技術（ICT）にもとづくサービス提供者として、また、情報社会を構築・維持する市民・国民として必要とされる情報倫理学に関する知識と考え方を身につけることが、本授業のテーマである。 プライバシーバイデフォルト（PbD）など、ICTに関しては、設計・企画段階から価値や倫理に配慮した設計（VSD: Value Sensitive Design）を行い、サービス提供することが常識となりつつある。また、ICTが広く浸透した社会、すなわち情報社会においては、たえず進歩を続けるICTによって既存の法・慣習では判断できない「指針の空白」が常に生じる可能性があり、社会・政治・経済活動に取り組む市民・国民には情報倫理学的思考が求められる。 本授業においては、とくにメディアの発信者（アニメ制作者・ゲームクリエイター・ウェブデザイナーなど）およびメディアの受け手の立場から、ICTとメディアのかかわる倫理的問題について考察する。 本授業の到達目標は、学生が下記のことをできるようになることである。 １．情報倫理学の思考の前提となる倫理学の基本的な枠組み・考え方を理解できるようになる。 ２．現代から近未来における情報倫理学の重要な論点が何であるか理解できるようになる。 ３．具体的な問題に対して、情報倫理学的志向を適用し、自分なりの意見を述べることができるようになる。 ４．情報社会のあり方を考察しルールを形成する議論に参加できる知識と考え方の基本を理解できる。 本授業のアウトカムは、「ICTまたはメディアと法・倫理に関する基本的な知識」と「自ら考え論理的思考に基づいて判断する能力」、「合意形成による問題解決の基本的能力」である。
授業概要	講義とディスカッションを通じて、倫理学の基本的な枠組み・考え方を理解したうえで、現代から近未来にかけて重要な課題となる情報倫理学の論点について、具体的な問題を通じて考察し、情報社会のルール構築への見通しを得ることを目標とする。 授業においては、倫理学・情報倫理学の基本的な概念、枠組みに関して講義によって解説を行ってから、具体的問題について、ディスカッションと解説を通じて、情報社会のルール構築のための基本的な知識と技能を磨く。 また、毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえでの意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。 拙著『情報倫理』で取り上げるトピックスや論点も紹介・解説し、理解を深める。 教科書は指定しないが、配布するプリントや参考書等を読み、予習することを求める。 また、授業内容とあわせて配布プリントと参考書を読み直すことで復習をすること。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度・授業における発言と応答（30点）＋課題提出状況（10点）＋試験（60点）。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式の場合も、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：指定する文献や配布資料等を読んできてください。約2時間。 復習：ディスカッションの振り返りに加えて、レポートの作成を求めます。レポートの講評を必ず読み返し、講義

	と併せて、次回以降のディスカッションとレポート作成に備えて、振り返りを行ってください。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	倫理とは何か	大谷
第３回	倫理学の基本的な考え方：功利主義・義務論・徳倫理学・四原則アプローチなど	大谷
第４回	表現・言論の自由の倫理学的基礎：ミル『自由論』を読む	大谷
第５回	他者危害原則を考える	大谷
第６回	ジャーナリズムの規範	大谷
第７回	名誉権の保護	大谷
第８回	犯罪報道と報道被害	大谷
第９回	プライバシーの基礎	大谷
第１０回	個人情報保護法の基礎	大谷
第１１回	現代社会のメディア倫理１：サーチエンジンと法・倫理	大谷
第１２回	現代社会のメディア倫理２：パーソナライゼーションとフィルターバブル	大谷
第１３回	現代社会のメディア倫理３：スコア化／ブラックボックス化する社会	大谷
第１４回	現代社会のメディア倫理３：ヴァーチャルリアリティの倫理学	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	筆記試験（オンライン試験を活用する）	大谷

教科書			
教・書籍名１	特に指定しない。予習復習に役立つプリント等を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	改訂新版　情報倫理入門	参・出版社名１	アイ・ケイコーポレーション
参・著者名１	土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡・喜多千草・永崎研宣・村上祐子・川口嘉奈子・坪井雅史・川口由起子・吉永敦征著	参・ＩＳＢＮ１	4874923240
参・書籍名２	情報倫理　技術・プライバシー・著作権	参・出版社名2	みすず書房
参・著者名2	大谷卓史	参・ＩＳＢＮ2	978-4622085621

授業科目名	レビューライティング			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年			ナンバリング	AN-AN-2-112		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本授業のテーマは、批判的観点から映画・アニメ・書籍・音楽・ゲーム等の紹介を書くことで、多くの人々に意図および内容が伝わる文章表現を身につけることである。 批判というと、否定や悪口、非難という意味と受け取るかもしれない。しかし、批判的観点をとれる人とは、自分の思い込みを離れ、さまざまな視点から検討をしたうえで、他者の情報や意見を判断するとともに、自らの意見や自分の見聞・学修した情報を表現できる人のことを言う。 本授業の到達目標は、学生が次のことをできるようになることである。 １．自分の紹介したいコンテンツについて、他者の視点を踏まえて、そのおもしろさや魅力を理解し、表現することができるようになる。 ２．他者にわかりやすい文章表現を行うことができるようになる。 ３．論文・レポートの書き方の初歩を身につけ、テキストクリティーク型の論文・レポートを書けるようになる。 授業のアウトカムは、合理的な思考とコミュニケーション能力、他者の立場を理解したうえでの問題解決である。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、編集者・サイエンスライターとしての実務経験を持つ
授業概要	自分の好きな映画・アニメ・マンガ・音楽・ゲームなどのコンテンツについて、独りよがりな文章表現ではなく、他者に伝わる表現で文章を書くことができるように、他者の視点を意識した批判的思考と文章表現を鍛える。 客観的な批判的文章の典型は、論文・レポートである。他者の視点を意識して紹介文・レビューを書くことを通じて、最終的には、論文・レポートを書けるようにする。 授業に当たっては、各受講者がレビュー・紹介文を書きたいコンテンツを選択し、そのコンテンツに関して教員と議論することを通じて、レビュー・紹介文を書くための方針と表現を決める。そのうえで、各受講者がレビューや紹介文を執筆し、さらに教員がそのレビューや紹介文の修正を加える。このサイクルを繰り返すことで、よりすぐれたレビュー・紹介文を書けるようにしていく。 これと併せて、論文・レポートの書き方の初歩について、教科書を通じて学ぶ。 なお、担当者は、編集者・サイエンスライターの実務経験を有することから、この経験をもとに、内容が伝わる・わかりやすい文章の書き方を指導する。 レビューおよび紹介文を書くにあたっては、教室（7号館情報処理室を利用する）において執筆するだけでは完成しないので、授業外での作業が相当量要求されることを覚悟してほしい。データのやりとりのために、インターネットストレージを利用するか、USBメモリ等の媒体の利用を必要とする。
アクティブラーニングの内容	実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	受講態度20%+提出レポート（レビュー・紹介文）40%+レポート試験40%。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題（提出レポート）に関しては、次回授業でMicrosoft Teamsの課題コメント機能や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、編集者・サイエンスライターとしての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、出版等の現場において実践的に役立つ授業を実施する。

事前学習・事後学習とその時間	予習：自分の紹介したいコンテンツに関してそのおもしろさをまとめておきましょう。ときには、教科書の指定部分を事前に読んでおくことが求められます。2時間程度。 復習：授業での教員とのやり取りをもとに、レビューを仕上げてください。2時間程度。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 春学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション・批判的に読み・考える	大谷
第２回	レビューの書き方入門	大谷
第３回	レビューを読んでみよう：書籍・マンガ編	大谷
第４回	映画評を読んでみよう	大谷
第５回	レビューを読んでみよう：映画・アニメ編	大谷
第６回	レビューを分析してみよう	大谷
第７回	レビューを書く前に：読みやすい文章とはどんな文 章だろうか	大谷
第８回	レビューを書いてみよう：おすすめのアニメやゲームについて（200-600字ライティング）	大谷
第９回	レビューを書いてみよう：おすすめのマンガや小説について（200-600字ライティング）	大谷
第１０回	文章を推敲・校正する	大谷
第１１回	レビューを書いてみよう：おすすめの映画・アニメのレビュー（400文字以上で書いてみよう）	大谷
第１２回	レビューを書いてみよう：おすすめの映画・アニメ２（600文字以上で書いてみよう）	大谷
第１３回	レビューを書いてみよう：おすすめの本・マンガのレビュー（ 400文字以上で書いてみよう）	大谷
第１４回	レビューを書いてみよう：おすすめの本・マンガのレビュー（ 600文字以上で書いてみよう）	大谷
第１５回	レビューを書いてみよう：おすすめの本・マンガのレビュー（800文字以上で書いてみよう）	大谷
第１６回	レポート試験800-2000字ライティング）	大谷

教科書			
教・書籍名１	適宜参考となるレビュー等を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	論文・レポートの基本	参・出版社名１	日本実業出版社
参・著者名１	石黒圭	参・ＩＳＢＮ１	978-4534049278
参・書籍名２	批評の教室	参・出版社名2	筑摩書房
参・著者名2	北村紗衣	参・ＩＳＢＮ2	978-4480074256

授業科目名	ブランド戦略と知的財産 （集中C）	担当者	隅藏　康一
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-113

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	知的財産に関する基礎から最近のトピックまでを学ぶ。学生は、企業や大学等の知的財産戦略について、必要事項の概要を把握し、理解を深めることができる。
授業概要	主に、知的財産の基本（知的財産と知的財産権の使い分け、知的財産の具現化の方法、営業秘密の保護、知的財産権の保護、発明は誰のものか、大学と産業との関係、知的財産政策など）、知的財産をめぐる法律（特許法、商標法、著作権法、意匠法など）、デジタルコンテンツと著作権（デジタルライツ・マネジメント、著作権保護のためのテクノロジー、P2Pの課題、など）、先端科学技術と知的財産（ソフトウェアの保護、オープンソース、標準化、パテント・プール、医薬品アクセス、生物の特許可能性、生物多様性条約、リサーチツール特許、など）、知的財産権の国際的イシュー（米国、中国、欧州など）、企業経営における知的財産戦略（知的財産部門の役割、企業のブランド戦略、など）、知的財産戦略と会計（無形資産のオンバランス化、知的財産の評価、など）、知的財産戦略と契約（ライセンス契約、特許訴訟、知財紛争、など）、知的財産に関する職業（弁理士、産学技術移転に関する職業、地方自治体における知的財産関連職種、など）、について講義を行う。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	授業への出席と、授業における真摯な受講態度を前提としたうえで、 授業の中で行う小テストの点数やプレゼンテーションにより、評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プレゼンテーションについては、各自に対して、講評を行う。 小テストの解答は後日配布する。
履修条件・注意事項	予習・復習を各自で行うこと。復習により授業内容を理解したかどうかを確かめるための小テストを、授業の中で行う。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	講義内容を復習し、理解を深めること。
オフィスアワー	授業終了後、教室にて

授業計画		担当者
第１回	知的財産制度の全体像	隅藏康一
第２回	ブランドとは	隅藏康一
第３回	商標法の概要	隅藏康一
第４回	地域団体商標と地域ブランド	隅藏康一
第５回	デザインと意匠法	隅藏康一
第６回	イノベーションと特許法	隅藏康一
第７回	不正競争防止法と営業秘密	隅藏康一
第８回	デジタルコンテンツと著作権	隅藏康一
第９回	種苗法とブランド戦略	隅藏康一
第１０回	独占禁止法	隅藏康一
第１１回	米国における特許の裁判例	隅藏康一
第１２回	米国における著作権の裁判例	隅藏康一
第１３回	WTOとTRIPS協定	隅藏康一
第１４回	プレゼンテーション	隅藏康一
第１５回	プレゼンテーション	隅藏康一

第１６回	試験		隅藏康一
教科書			
教・書籍名１	適宜、資料配布	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	出版・マンガの著作権			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-114		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	出版・マンガビジネスのしくみと、そこで必要となる著作権法の知識、およびさまざまな関連する慣行について講義を行う。この授業は、学生が次のことができるようになることを到達目標とする。 １．出版・マンガビジネスのしくみおよび市場状況を説明できるようになる。 ２．出版・マンガビジネスで必要な著作権法および判例に関する知識を理解できるようになる。 ３．出版・マンガビジネスにおける出版契約・著作権の実務慣行の現状と課題について理解できるようになる。
授業概要	出版・マンガビジネスのしくみと、そこで必要となる著作権法の知識、およびさまざまな関連する慣行について講義を行う。出版ビジネスにおいて、著作者・著作権者と出版社の関係には、さまざまな慣行が存在し、著作権法の条文を読むだけでは実務を十分に理解できない。また、現場の編集者や著者などが著作権法の知識に欠けるため、トラブルを引き起こしたり、自分自身の利益を損なうケースもある。講義では、出版・マンガ市場の概況とその問題点、出版契約・著作権の慣行、出版・マンガにかかわる著作権紛争の事例等を論じ、受講者が出版・マンガビジネスにおける著作権の実際を理解できるようにする。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえでの意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を20%の重みづけで評価する（受講態度）。また、課題等の提出物10%、小テスト2回（10%）、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの３つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題（提出レポート）に関しては、授業内での言及・コメント（原則課題回答者名は匿名）、および各受講者のシャトルカードへのなどによって、フィードバックする。また、小テストは、同じ時間内に答え合わせを兼ねて解説を行うことで、フィードバックする。
履修条件・注意事項	積極的に授業に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式ですが、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：指定した配布資料や教科書・参考書の該当箇所を事前に読んで要約すること。約2時間。 復習：授業内容についてノートを整理すること（定期試験は、自筆ノート持ち込み可）。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

	授業計画	担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	出版業界の市況と構造	大谷
第３回	著作権法の基礎（１）著作権法の目的と構造・国際条約	大谷
第４回	著作権法の基礎（２） 著作物	大谷
第５回	著作権法の基礎（３）その他の著作物・著作者（創作者主義とその例外）	大谷
第６回	著作権法の基礎（４）著作者の権利・著作者人格権	大谷

第７回	著作権の基礎知識（５）著作権の種類（支分権）と著作物の利用行為	大谷
第８回	著作権の基礎知識（６）著作権の制限／著作権の保護期間　30条～36条	大谷
第９回	著作権の基礎知識（７）著作権の制限／著作権の保護期間　37条～50条、保護期間	大谷
第１０回	小テストと解説	大谷
第１１回	著作権の基礎知識（８）出版権と利用許諾・著作権譲渡契約	大谷
第１２回	著作権の基礎知識（９）著作権の侵害と救済	大谷
第１３回	出版とマンガの著作権の事件・裁判例（引用の問題）	大谷
第１４回	出版とマンガの著作権の事件・裁判例（キャラクターの権利など）	大谷
第１５回	小テストと解説	大谷
第１６回	筆記試験（オンライン試験の活用も）	大谷

教科書			
教・書籍名１	著作権テキスト（令和4年版）（インターネットから無料で入手可能。第1回目授業で説明します）	教・出版社名１	文化庁
教・著者名１	文化庁	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	出版・マンガビジネスの著作権　　第2版	参・出版社名１	著作権情報センター
参・著者名１	桑野雄一郎・赤松健	参・ＩＳＢＮ１	978-4885260865
参・書籍名２	著作権法入門 (2021-2022)	参・出版社名2	著作権情報センター
参・著者名2	文化庁編著	参・ＩＳＢＮ2	978-4885260933

授業科目名	アニメ・ゲームの著作権			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-115		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	現代社会においては、デジタルメディアの発達と普及によって、万人が著作者となる創作活動が盛んになるとともに、動画共有サイトやドラマ・映画等のインターネット配信のように、新しい形のコンテンツ流通と消費が登場している。アニメやゲームの制作や龍柱も大きく変わっている。本講義においては、デジタルメディアによる創作と流通にかかわるクリエイターやビジネスマンがデジタルメディアによる創作活動やビジネスを活発に行って文化の発展に寄与できるよう、そして、ユーザーがデジタルメディアによって創作・流通される著作物を享受し、さらに自らクリエイターとして活躍するために必要となる著作権の知識を理解する。 到達目標は、学生が下記のことができるようになることである。 １．著作権法・著作権制度に関する基本的知識を説明できる。 ２．著作権法を遵守しながらデジタルメディアで著作物を創作・流通するための基礎知識を理解できるようになる。 ３．ユーザーとして著作権法を遵守しながら著作物の利活用を行うとともに、他者の広い意味での著作権に配慮しながら自らクリエイターやプロシューマ―（消費者兼クリエイター）として創作活動を行うことができるようになる。
授業概要	デジタルメディアを活用する著作物の創作活動や流通、利活用に関して、創作と流通にかかわる著作権法および著作権制度を総合的に理解する。著作権制度は、活版印刷技術の登場とともにその原型となる制度が登場し、その後新しいメディアの勃興と普及に伴って、その姿を変容させてきた。メディアの変遷と著作権制度の変容に関して理解したうえで、現代のデジタルメディアの利活用にかかわる著作権法・著作権制度の知識を習得する。デジタルメディアの大きな特徴は次のようなものだ。まず、パーソナルコンピュータなどの情報機器を使うことで情報の加工・編集が容易であるうえ、そのまま劣化なく元の情報を複製できる。そして、このように加工・編集・複製した情報は、インターネットを介して地球規模の射程で特定の人または多数の人々に向けて情報伝達・情報発信ができる。さらには、これらのテクノロジーは十分低価格化し、利用方法がどんどん容易になっているので、先進国においては相当多数の人々が使うことができるようになっている。これらの特徴は、従来の著作権の保護とは異なる特別の保護が必要になる。デジタルメディアは、著作物の創作活動や流通にも大きな変化をもたらした。これらの創作活動や流通の変化と併せて、現代の著作権法・著作権制度に関して理解し、クリエイターや著作物流通に携わるビジネスマンとして活躍するための基礎的知識を身に着ける。また、この基礎知識は、今後のデジタルメディアの利活用を進めるためにどのような著作権制度が望ましいのか、市民として考察するための基礎知識でもある。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	平常点（受講態度20%と課題10%）＋小テスト（10%）+定期試験（60%）。授業課題（提出レポート）に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。また、小テストは、同じ時間内に答え合わせを兼ねて解説を行うことで、フィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題（提出レポート）に関しては、授業内での言及・コメント（原則課題回答者名は匿名）、および各受講者のシャトルカードへのなどによって、フィードバックする。また、小テストは、同じ時間内に答え合わせを兼ねて解説を行うことで、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式ですが、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。

	授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。		
実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	予習：教科書・配布資料の指定個所を読んで要約してください。約2時間。 復習：小テストを行いますので、毎回授業ノートをまとめ、講義内容を整理しておきましょう。約2時間。		
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期　14号館6階14617号研究室にて毎週水曜日3時限目。 変更ある場合は、授業やユニパ等でお知らせします。		

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	著作権制度のアウトライン（１）：著作物と著作者の権利	大谷
第３回	著作権制度のアウトライン（２）：著作権	大谷
第４回	著作権制度のアウトライン（３）：著作権の制限その１　30条から３5条まで	大谷
第５回	著作権制度のアウトライン（４）：著作権の制限その２　36条から50条まで	大谷
第６回	著作権制度のアウトライン（５）：デジタルテクノロジーと著作権	大谷
第７回	著作隣接権、著作権侵害とその救済	大谷
第８回	知識確認テストと解説	大谷
第９回	著作物・著作権に関するワークショップ	外部講師
第１０回	映画・アニメの著作権１　映画の著作物・著作者、さまざまな権利	大谷
第１１回	映画・アニメの著作権２　映画の著作者・著作権をめぐる紛争	大谷
第１２回	ゲームの著作権その１　デジタルゲームの著作権の考え方	大谷
第１３回	ゲームの著作権その２　デジタルゲームの著作物の同一性保持権侵害問題	大谷
第１４回	ゲームの著作権その３　中古ゲームソフトの販売問題	大谷
第１５回	知識確認テストとまとめ	大谷
第１６回	筆記試験（オンライン試験を活用する場合があります）	大谷

教科書			
教・書籍名１	著作権テキスト（令和4年版）（インターネットから無料で入手可能。第1回目授業で説明します）	教・出版社名１	文化庁
教・著者名１	文化庁	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	メディアとICTの知的財産権　第2版	参・出版社名１	共立出版
参・著者名１	菅野政孝・大谷卓史・山本順一	参・ＩＳＢＮ１	978-4320124325
参・書籍名２	著作権法入門2021-2022	参・出版社名2	著作権情報センター
参・著者名2	文化庁	参・ＩＳＢＮ2	978-4885260933

授業科目名	アニメーション文化論A			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-201		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	現代日本を代表する文化の一つとまで言われるようになった「日本のアニメーション文化を理解する事」をテーマに、その技術と表現手法に焦点を当てながら、草創期から現代まで歴史的・文化的に概観する。その際、学生がアニメーションの社会的位置づけや経済活動を理解する事で、それぞれの時代の中で社会に対しどのような影響を与えてきたかを考え行動する事を目指す。また、学生が海外のアニメーションと日本のアニメーションとの対比を行うことで、広がりゆく文化としてのアニメーションを学生自身が理解する技術を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての実務経験を元に、（地）この科目は、文化研究としての現代日本を代表する文化の一つであるアニメーションの技術と表現手法がどの様な経緯で発達して来たかを知り、アニメーションの社会的位置づけや経済活動を理解する事で、社会・地域に対しどのような影響を与えてきたかを考える。また、海外のアニメーションと日本のアニメーションとの対比を行うことで、広がりゆく日本文化としてのアニメーションの特異性を理解し、地域発のアニメーションで地域と係りの問題点を知り、合わせて地域貢献ボランティア活動を通じて文化研究を行う。また講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「日本のアニメーション文化を理解する事」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（５０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。

オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。		
授業計画			担当者
第１回	日本アニメーションの成り立ち		井上
第２回	日本アニメーションの歴史１（創世記から東映動画設立）		井上
第３回	日本アニメーションの歴史２（TV放送開始から70年代）		井上
第４回	日本アニメーションの歴史３（80年代OVA時代）		井上
第５回	日本アニメーションの歴史４（90年代からオタク時代）及び歴史に関する小レポート		井上
第６回	海外進出の歴史		井上
第７回	海外での日本アニメーションブーム		井上
第８回	漫画とアニメーションの関係		井上
第９回	アニメーション製作システム１(日本)		井上
第１０回	アニメーション製作システム２（海外）		井上
第１１回	アニメーションの社会における立ち位置１（子供）		井上
第１２回	アニメーションの社会における立ち位置２（オタク）		井上
第１３回	アニメーションの社会における立ち位置３（一般）及び社会における立ち位置に関する小レポート		井上
第１４回	アニメーションの地域における影響１（事前調査）		井上
第１５回	アニメーションの地域における影響２（発表）及び全体のまとめ		井上
第１６回	単位認定試験		井上
教科書			
教・書籍名１	新版 アニメーション学入門	教・出版社名１	平凡社
教・著者名１	津堅 信之	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4582858368
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション文化論B					担当者	井上　博明	
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年／ 2021～ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年					ナンバリング	AN-AN-1-202	
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習	
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜5限			

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「日本のアニメーション文化を理解する事をできる。」をテーマに、社会において派生する個々の具体的な事象を通して考察する。例えば、マンガ、ゲーム、キャラクター、玩具、ホビー、ファッション、音楽、出版、イベントといった個々のカテゴリー毎に、文化としてのアニメーションがどのように発現していったかを確認し、学生がそれぞれの領域でのアニメーションの意味を考える。さらに、アニメーションが国の成長戦略のひとつであるクールジャパンの重要なコンテンツと認識をされ、海外で高く評価されている事例を個別に検証しながら、世界におけるアニメーション文化の今後を学生自身が理解する能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての実務経験を元に、（地）この科目は、アニメーション文化について、社会・地域において派生する個々の具体的な事象を通して考察する。いわゆるオタク文化としてのアニメーションがどのように発現していったかを確認し、またアニメーションと親密な関係を持つ各産業を理解し、さらに、海外で新しい文化として高く評価されているオタクやカワイイと言う様な事例を個別に検証しながら、国のクールジャパン戦略の重要なコンテンツのひとつとして世界に広がっている日本のアニメーション文化の今後を考える。　また、地域発のオタク文化としてのアニメーションで地域と係りの問題点を知り、合わせて地域貢献ボランティア活動を通じて文化研究を行う。また講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「日本のアニメーション文化を理解する事をできる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（５０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。

実務経験のある教員	該当する	内容	井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）

事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。		
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。		

授業計画		担当者
第１回	オタクの成り立ち１（創生から80年代）	井上
第２回	オタクの成り立ち２（90年代以降）	井上
第３回	日本アニメーションと漫画	井上
第４回	日本アニメーションと出版（ライトノベル）	井上
第５回	日本アニメーションとキャラクター展開	井上
第６回	日本アニメーションと音楽、ＣＤドラマ、声優	井上
第７回	日本アニメーションとゲーム	井上
第８回	日本アニメーションとファッション、イベント	井上
第９回	日本アニメーションと同人活動及びメディアに関する小レポート	井上
第１０回	日本アニメーションと地方活性	井上
第１１回	海外での日本アニメーション展開の歴史	井上
第１２回	クールジャパンとしての日本アニメーション１（アジア）	井上
第１３回	クールジャパンとしての日本アニメーション２（アジア以外）及びクールジャパンに関する小レポート	井上
第１４回	日本アニメーションの今後１（事前調査）	井上
第１５回	日本アニメーションの今後２（発表）及び全体のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	新版 アニメーション学入門	教・出版社名１	平凡社
教・著者名１	津堅 信之	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4582858368
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	マンガ文化論				担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年				ナンバリング	AN-AN-2-203		
必修・選択	選択	単位数	2単位		時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期		曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「日本を代表する文化の一つとまで言われるようになったマンガについて、草創期から現代まで歴史的・文化的に概観すること」をテーマとする。それぞれの時代の中で社会に対しどのような影響を与えてきたかを考える。また、学生が実体験を基にマンガの社会的位置づけや経済活動にも注目し、海外にも広がりゆく文化としてのマンガをを学生自身が理解する能力を持てる事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての実務経験を元に、現代日本を代表する文化の一つであるマンガの技術と表現手法がどの様な経緯で発達して来たかを知り、マンガの社会的位置づけや経済活動を理解する事で、社会に対しどのような影響を与えてきたかを考える。また、国のクールジャパン戦略にも組み込まれているマンガの海外での広がりを認識し、海外での日本マンガの特異性を理解する。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	テーマ「日本を代表する文化の一つとまで言われるようになったマンガについて、草創期から現代まで歴史的・文化的に概観すること」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（５０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	マンガの成り立ち	井上
第２回	マンガの歴史１（戦前～60年代）	井上

第３回	マンガの歴史２（60年代～70年代）	井上
第４回	マンガの歴史３（70年代～90年代そして海外へ）	井上
第５回	マンガの歴史４（90年代～00年代）	井上
第６回	マンガの歴史５（00年代～今）及び歴史に関す小レポート	井上
第７回	少年マンガ	井上
第８回	少女マンガ	井上
第９回	青年マンガ	井上
第１０回	大人マンガ	井上
第１１回	メディアミックスマンガ	井上
第１２回	同人マンガ及びマンガジャンルに関する小レポート	井上
第１３回	マンガの商品化とカルチャー	井上
第１４回	マンガの海外展開	井上
第１５回	マンガ文化のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	日本マンガ全史:「鳥獣戯画」から「鬼滅の刃」まで	教・出版社名１	平凡社新書
教・著者名１	澤村 修治	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4582859445
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	コンテンツ文化・産業論			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-204		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「コンテンツ産業の文化的、経済的な側面を理解すること」をテーマとし、漫画、出版、アニメーション、ゲーム、映画、玩具、ファッション、芸能、広告、イベント等、コンテンツの産業一般としての成り立ちと現状について理解を持ち、運用する技術の習得を目指し。その上で、今後の展開を考察しながら、産業論として学生自らの考えをまとめる。最終的には、学生が国内外の状況ついて、具体的なイベントや新設の施設などに着目しながら、経済的側面を押さえた状況を学生自身が理解し行動できる能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての実務経験を元に、文化研究としての現代の文化の一つであるコンテンツがどの様な経緯で発達して来たかを知り、コンテンツの社会的位置づけや経済活動を理解する事で、学生が社会に対しコンテンツがどのような影響を与えてきたかを考え、グループ・ディスカッションを行う事で理解度を深める。講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	テーマ「コンテンツ産業の文化的、経済的な側面を理解ができる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（５０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画	担当者

第１回	コンテンツの経済的側面と影響（映画、アニメ）	井上
第２回	コンテンツの経済的側面と影響（マンガ、出版）	井上
第３回	コンテンツの経済的側面と影響（ラジオ、テレビ）	井上
第４回	コンテンツの経済的側面と影響（新聞、広告）	井上
第５回	コンテンツの経済的側面と影響（玩具、ファッション）	井上
第６回	コンテンツの経済的側面と影響（玩具、ファッション）	井上
第７回	コンテンツの経済的側面と影響（音楽、Web）及びメディアに関する小レポート	井上
第８回	海外コンテンツの日本展開	井上
第９回	コンテンツと地方活性	井上
第１０回	コンテンツの今後	井上
第１１回	コンテンツ文化の地域における影響　キャラクター（事前調査）	井上
第１２回	コンテンツ文化の地域における影響　イベント（事前調査）	井上
第１３回	コンテンツ文化の地域における影響　物産（事前調査）	井上
第１４回	コンテンツ文化の地域における影響（発表）と小レポート	井上
第１５回	全体のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	図解入門業界研究 最新コンテンツ業界の動向とカラクリがよくわかる本 [第4版] (How-nual図解入門業界研究)	教・出版社名１	秀和システム
教・著者名１	中野明	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4798063584
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本マンガ史概論	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	AN-AN-2-205

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	日本で人気のあった作品をできる限り年代順に紹介し、それぞれの作品が時代や世相を反映していることを知ることが重要なテーマです。有名な漫画家の名前くらいは学生のみなさんも知っているでしょうが、５０年以上前の白黒のアニメは実際に観る機会はあまりなかったと思います。そこで当時のアニメ等を鑑賞し、制作の舞台裏などを解説することによって、現代までの流れをおよそ知ってもらいたいと思います。それによって学生のみなさんは、日本のアニメがどのように発展してきたのか、その流れを知ることができ、自分のアニメ制作に活かす知識を増やすことができます。
授業概要	日本アニメの歴史を概観します。１９６０年代からテレビに登場した鉄腕アトムをはじめ、当時の少年少女ならほとんどの子供が知っていた有名なアニメを鑑賞していきます。今では名前を聞かなくなったような漫画やアニメもありますが、この授業ではできる限り当時人気のあった作品を紹介し解説します。また日本のアニメではないですが、海外のアニメの吹き替えなども途中取り上げて、日本と海外の違いなども解説します。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	時々で感想をレポートしてもらい（５０％）、最後に提出してもらうレポートの点数（５０％）との総合で評価します。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	レポートは授業の終わる前の授業（第１５回目）に提出してもらい、提出してもらったレポートの内容を匿名で紹介してみなさんと漫画、アニメの歴史を１６回目に総括します。
履修条件・注意事項	授業中に紹介する漫画やアニメは時間の関係上、ごく一部です。興味ある学生は大学に置いてある、あるいは漫画を揃えてある図書館に行って貪欲にアニメや漫画を読んでもらい、その幅を広げていって欲しいと思います。自分の知識を広げることにより、さまざまなアニメや漫画の評価が相対的にできるようになります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	注意事項のところにも書きましたが、昭和の巨匠と呼ばれる人たちの作品が多くあります。自分の引き出しを増やすためにも、また古典を知っておくためにもできるだけ多くの漫画家の世界を授業をきっかけに知るよう努力して下さい。復習として２時間程度、予習としても２時間程度、授業でやる（やった）アニメを図書館やネット上で捜して授業以外で扱うものを補足的に見るようにして作品の内容をより詳しく知るようにしてください。
オフィスアワー	水曜日の３限目。２号館６Ｆの研究室で。

授業計画		担当者
第１回	鉄腕アトム　おそ松くん	平見勇雄
第２回	ジャングル大帝　リボンの騎士	平見勇雄
第３回	パーマン　オバケのQ太郎	平見勇雄
第４回	冒険ガボテン島	平見勇雄
第５回	ひみつのアッコちゃん　魔法使いサリー	平見勇雄
第６回	鉄人２８号　スーパージェッター	平見勇雄
第７回	遊星仮面　わんぱく探偵団	平見勇雄
第８回	ハリスの風　黄金バット	平見勇雄
第９回	猫目小僧	平見勇雄
第１０回	タイガーマスク	平見勇雄
第１１回	巨人の星	平見勇雄
第１２回	アタックNo.1	平見勇雄
第１３回	海外のアニメ　チキチキマシン猛レース	平見勇雄

第１４回	里中満智子の作品、　一条ゆかりの作品		平見勇雄
第１５回	春学期のまとめ		平見勇雄
第１６回	総括　レポートの考察（フィードバック）		平見勇雄
教科書			
教・書籍名１	適時関連するプリントを配布いたします。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション作画基礎A			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-206		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	アニメーションの原理を理解することをテーマに、ドローイングアニメーション制作を通してアニメーション制作に係る基礎知識を学習する。1年次科目として受講者が作画撮影機材・ソフトウェアの使い方を習得し、アニメーション映像を制作することを到達目標とする。
授業概要	物理法則に基づく動きの基礎を「コマ撮りアニメーション」と「ボールの動き」作画で学習した後、「走る人」の課題制作で中割りアニメーション制作方法を学ぶ。「フェナキストスコープ」（驚き盤）制作で発想したアイデアをアニメーション映像化することができる。ドローイングアニメーション制作とPhotoshop、After Effectsの学習を兼ねて各課題制作時、ツールの使い方を適宜指導する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では課題制作過程と提出物の完成度などを指標に授業態度（15%）課題提出（35%）課題評価点（50%）の割合によって評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題はユニバーサルパスポートを活用する形でフィードバックし、制作過程を見返り次の課題制作に役立てることを目標とする。
履修条件・注意事項	14号館14301教室
実務経験のある教員	該当する　内容　この授業は、フリーランスのアニメーターとしてアニメーション技法によるプロモーション映像等の制作を行った実務経験のある教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	授業の事前学習・事後学習として放課後の時間帯に課題を制作する必要があり、14号館3F140301教室の他に2号館2F221教室を利用することが可能。
オフィスアワー	木曜日5限・14号館14301教室

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス	金叡媛
第２回	ミニチュアのコマ撮り	金叡媛
第３回	「加速・等速・減速するボール」作画	金叡媛
第４回	「加速・等速・減速するボール」作画（撮影）	金叡媛
第５回	「弾むボールの作画」とタイムシートの読み方	金叡媛
第６回	弾むボールの作画（撮影）	金叡媛
第７回	「お辞儀」作画	金叡媛
第８回	「お辞儀」作画（撮影）	金叡媛
第９回	「走り」作画	金叡媛
第１０回	「走り」作画（撮影）	金叡媛
第１１回	「旗、炎」作画	金叡媛
第１２回	「旗、炎」作画（撮影）	金叡媛
第１３回	「フェナキストスコープ」（驚き盤）作画	金叡媛
第１４回	「フェナキストスコープ」（驚き盤）着彩	金叡媛
第１５回	「フェナキストスコープ」（驚き盤）映像編集	金叡媛
第１６回	単位認定試験	金叡媛

教科書

教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーションの本　動く絵を描く基礎知識と作画の実際	参・出版社名１	合同出版
参・著者名１	アニメ6人の会	参・ＩＳＢＮ１	978-4772604611
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション作画基礎B			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-207		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	身体の動きに注目し、「アニメーションの基礎知識を学習する」ことをテーマとする。学生が、映像機材やソフトウェアの使い方を学び、アニメーション表現への関心を高め、自分のイメージを表現できる知識と基礎的な技術を身につけることを到達目標とする。
授業概要	ロトスコープ技法を用いて実写素材をアニメーション映像として制作することにより、動きの分析を行うとともにPhotoshop、Aftereffectsの使い方を学ぶ。続いて歩きの作画課題制作を通じ、人体デッサンと重心表現の重要性を学ぶ。更に、プリップブックの課題制作を通じ、アニメーションのアイデアを表現できるようになる。映像ソフトウェアの使い方を身につけるために、全ての制作課題は映像データ化の作業を行い提出する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	この科目では、アニメーションの基礎について理解し、自分の表現として制作できる能力を身につけることを目的としていることから、授業態度（１５％）、課題提出（３５％）、課題評価点（５０％）の割合によって評価を行う。自然法則に準じて作画されているかを課題評価の主な基準とする。学生が提出した課題は、授業期間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題を添削する形で個別のフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、ソフトの使い方などについて予習を行うことが必要である。授業内容のメモとアイデアスケッチのために、筆記道具とノートを持参する。配布されたプリント資料は、ファイルなどに整理し、授業に持参する。課題提出の締め切りを守る。初回の授業で調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。予習・復習はPCルームで行うことができる。
実務経験のある教員	該当する　内容　この授業は、フリーランスのアニメーターとしてアニメーション技法によるプロモーション映像等の制作を行った実務経験のある教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	制作の前に資料を調べたり、自らの身体を動かし研究をしたりするなどの進め方で、表現したい動きのイメージを具体化する習慣を身につける。Photoshop、Aftereffectsなど、制作ソフトは繰り返し自己学習し、今後の作品制作で活用できるようにする。アニメーションを含む多彩な作品鑑賞を通じ、これから表現したいテーマの発想を広げる。
オフィスアワー	毎週木曜日5限（14号館6階14604研究室）

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス	金叡媛
第２回	ロトスコープ、素材撮影、データ取込	金叡媛
第３回	ロトスコープ、プリントアウト、トレース	金叡媛
第４回	ロトスコープ、スキャン、ムービー化	金叡媛
第５回	「歩き」作画制作	金叡媛
第６回	「歩き」ムービー化	金叡媛
第７回	「顔の振り向き」作画制作	金叡媛
第８回	「顔の振り向き」ムービー化	金叡媛
第９回	「手を振る」作画制作	金叡媛
第１０回	「手を振る」ムービー化	金叡媛

第１１回	「その場でジャンプ」作画制作	金叡媛
第１２回	「その場でジャンプ」ムービー化	金叡媛
第１３回	フリップブック、アイデア構想、作画	金叡媛
第１４回	フリップブック、スキャン、彩色	金叡媛
第１５回	フリップブック、印刷ファイル作成、カッティング	金叡媛
第１６回	単位認定試験	金叡媛

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション作画演習A			担当者	兼高　里圭、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年／ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他2年			ナンバリング	AN-AN-2-208		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「アニメーションの原理を理解し、基本的な動きを作画できる」ことをテーマにし、自分が考えた動きのアイデアを映像化できるようになる。学生が、アニメーション作品の制作に必要な原画や中割り動画の作画技術を身につけ、自然な動きを表現できるようになり、「自主制作映像の制作ができるようになる」ことを到達目標とする。
授業概要	動画の基礎に加えて、タイムシートに対応した作画を学ぶ。人体の動きの表現に重点を置いた課題制作を通じ、人体デッッサンの重要性とタイミングの工夫を学ぶ。さらに自らの人体を動かし、仕草と演技研究をしながらアニメーションキャラクターの内面表現に注目した制作ができるようになる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、アニメーションの基礎について理解し、自分の表現として制作できる能力を身につけることを目的としていることから、課題提出（60%）、最終課題評価点（40%）の割合によって評価を行う。アニメーションにふさわしい線で自然な動きの作画ができているかを評価の主な基準とする。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業期間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、作画の予習を行うことが必要である。授業内容のメモとアイデアスケッチのために、筆記用具とノートを持参する。配布されたプリント資料は、ファイルなどに整理し、授業に持参する。課題提出の締め切りを守る。初回の授業で調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。予習・復習は作画室、PC室で行うことができる。
実務経験のある教員	該当する　内容　現在も様々なTVアニメーションの作画監督を実践している教員が担当している。
事前学習・事後学習とその時間	物理法則に準じた重さや速度の表現を重視し、課題制作を行う。自主制作作品の参考資料を見つけることを重視し、様々な芸術表現に触れる。授業外の時間にも、学校の機材や用紙を使って自由に学習する。Photoshop、Aftereffect、Clip Studio Paintなど、制作ソフトは繰り返し自己学習することで、今後の作品制作で有効に活用できるようにする。TVや、インターネット及び展覧会での作品鑑賞で、様々な芸術表現に関心を持ち、表現したい作品への構想を深める。予習２時間、復習２時間を必要とする。
オフィスアワー	毎週月曜日４時限目の授業後をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	アニメ制作の作画の概要	前嶋英輝・兼高里圭
第２回	トレスのポイント	前嶋英輝・兼高里圭
第３回	色トレスの実践	前嶋英輝・兼高里圭
第４回	なびき（送り）	前嶋英輝・兼高里圭
第５回	なびきの編集	前嶋英輝・兼高里圭
第６回	目パチ、口パク	前嶋英輝・兼高里圭
第７回	目パチ、口パクの編集	前嶋英輝・兼高里圭
第８回	歩き	前嶋英輝・兼高里圭
第９回	歩きの編集	前嶋英輝・兼高里圭
第１０回	走り	前嶋英輝・兼高里圭
第１１回	走りの編集	前嶋英輝・兼高里圭
第１２回	振り向き	前嶋英輝・兼高里圭

第１３回	振り向きの編集	前嶋英輝・兼高里圭	
第１４回	実践動画	前嶋英輝・兼高里圭	
第１５回	実践動画の編集	前嶋英輝・兼高里圭	
第１６回	最終課題提出	前嶋英輝・兼高里圭	
教科書			
教・書籍名１	授業内で配布する原画などの資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション作画演習B			担当者	兼高　里圭、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-209		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「アニメーションの原理を理解し、応用する」ことをテーマにし、自分が考えた動きのアイデアを映像化できるようになる。学生が、アニメーション作品の制作に必要な原画や中割り動画の作画技術を身につけ、表現の新たな発見ができるようになり、「自主制作映像の制作ができるようになる」ことを到達目標とする。
授業概要	動画の基礎に加えて、キャラクターデザイン作成や原画作成を学ぶ。実践的作画に重点を置いた課題制作を通じ、背景やキャラクターデザインの重要性を学ぶ。さらに自らの人体を動かし、仕草と演技研究をしながらアニメーションキャラクターの内面表現に注目した制作ができるようになる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、アニメーションの基礎について理解し、自分の表現として制作できる能力を身につけることを目的としていることから、課題提出（60%）、最終課題評価点（40%）の割合によって評価を行う。アニメーションにふさわしい線で自然な動きの作画ができているかを評価の主な基準とする。学生が提出した課題は、授業期間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業期間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、作画の予習を行うことが必要である。授業内容のメモとアイデアスケッチのために、筆記用具とノートを持参する。配布されたプリント資料は、ファイルなどに整理し、授業に持参する。課題提出の締め切りを守る。初回の授業で調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。予習・復習は作画室、PC室で行うことができる。
実務経験のある教員	該当する　内容　現在も様々なTVアニメーションの作画監督を実践している教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	物理法則に準じた重さや速度の表現を重視し、課題制作を行う。自主制作作品の参考資料を見つけることを重視し、様々な芸術表現に触れる。授業外の時間にも、学校の機材や用紙を使って自由に学習する。Photoshop、Aftereffect、Clip Studio Paintなど、制作ソフトは繰り返し自己学習することで、今後の作品制作で有効に活用できるようにする。TVや、インターネット及び展覧会での作品鑑賞で、様々な芸術表現に関心を持ち、表現したい作品への構想を深める。予習２時間、復習２時間を必要とする。
オフィスアワー	毎週月曜日４時限目の授業後をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	原画とタイムシート	前嶋英輝・兼高里圭
第２回	模写の学習方法	前嶋英輝・兼高里圭
第３回	キャラクターの模写	前嶋英輝・兼高里圭
第４回	背景の描き方（パース）	前嶋英輝・兼高里圭
第５回	背景の実践的描画	前嶋英輝・兼高里圭
第６回	特殊撮影の説明	前嶋英輝・兼高里圭
第７回	キャラクターについて	前嶋英輝・兼高里圭
第８回	キャラクターデザイン	前嶋英輝・兼高里圭
第９回	アニメの絵コンテ	前嶋英輝・兼高里圭
第１０回	絵コンテ作成	前嶋英輝・兼高里圭
第１１回	原画作成の説明	前嶋英輝・兼高里圭

第１２回	実践的原画について	前嶋英輝・兼高里圭	
第１３回	実践原画のアイデア	前嶋英輝・兼高里圭	
第１４回	実践原画の注意点	前嶋英輝・兼高里圭	
第１５回	実践原画の制作	前嶋英輝・兼高里圭	
第１６回	課題提出	前嶋英輝・兼高里圭	
教科書			
教・書籍名１	授業内で配布する原画などの資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション制作演習A			担当者	今村　俊介、山本　敦之、清水　光二、平見　勇雄、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-210		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	アニメーション制作演習Bと連携する形で1年間の授業期間中、2D平面アニメーション制作に取り組む。授業に参加するすべての学生がアニメーション制作に興味を持ち、個別の作品制作計画を完遂することで達成感を感じることを授業の一つのねらいとして設定したい。ショートアニメーション制作における物語の発想法を授業課題を通して学生と共有し、受講者の3・4年次作品制作が充実することを授業の到達目標とする。
授業概要	学生はアニメーション制作を始める前にPC・ペンタブレット、水彩絵具、コマ撮り素材などを使ってイメージボード制作研究を行う。画像制作を通してアニメーション制作ツールと画材の活用方法を模索した後、映像のモチーフまたは登場人物が一つのフェーズから次のフェーズに移行・変化する内容のアニメーションを自由発想し、アニメーション制作演習A・B（計32回）の授業で制作する。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	この科目では課題制作過程と提出物の完成度などを指標に授業態度（15%）課題提出（35%）課題評価点（50%）の割合によって評価する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題はユニバーサルパスポートを活用する形でフィードバックし、制作過程を見返り次の課題制作に役立てることを目標とする。
履修条件・注意事項	14号館14301教室
実務経験のある教員	該当する　内容：この授業は、フリーランスのアニメーターとしてアニメーション技法によるプロモーション映像等の制作を行った実務経験のある教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	授業の事前学習・事後学習として放課後の時間帯に課題を制作する必要があり、14号館3F140301教室の他に2号館2F221教室を利用することが可能。
オフィスアワー	木曜日5限・14号館14301教室

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第２回	「パスアニメーション」ツールの使い方	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第３回	「パスアニメーション」線画トレース	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第４回	「コマ撮りアニメーション」ツールの使い方	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第５回	「コマ撮りアニメーション」平面素材撮影	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第６回	「ドローイングアニメーション」水彩絵具	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第７回	画像素材編集	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第８回	ラフイメージ制作「感情・状態がAからBに変化する」	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄

第９回	テキスト作成	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１０回	ムードボード制作	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１１回	レイアウトから伝わる情報の例／イメージボードサムネイル制作	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１２回	イメージボードサムネイル撮影・スキャン、トレース	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１３回	イメージボード制作と画像処理ツールの使い方	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１４回	ラフコンテ制作(1)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１５回	ラフコンテ制作(2)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１６回	ラフコンテ制作(3)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	After Effects for アニメーション	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ新社
参・著者名１	大平幸輝	参・ＩＳＢＮ１	978-4-86100-699-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション制作演習B			担当者	今村　俊介、山本　敦之、清水　光二、平見　勇雄、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-211		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	アニメーション制作演習Aと連携する形で1年間の授業期間中、学生が選択した画材で2D平面アニメーションを制作する。授業に参加するすべての学生が積極的にアニメーション制作に取り組むことと、個別またはグループワークによる作品制作を通して受講者が自身の研究分野にさらに関心を持つことを授業のねらいとして設定する。アニメーション制作方法の基礎を学生と共有し、受講者の3・4年次作品制作が充実することを授業の到達目標とする。
授業概要	学生が制作したラフコンテを基にアニメーション制作を始める。必要に応じて個人制作・グループワークで制作することとし、教師が積極的に作品制作の過程に参加して制作スケジュール管理と指導を行う予定。学期末の作品完成を目標にアニメーション素材を制作し、デジタル画像処理ツールを活用して作品完成度を高くする。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	この科目では課題制作過程と提出物の完成度などを指標に授業態度（15%）課題提出（35%）課題評価点（50%）の割合によって評価する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題はユニバーサルパスポートを活用する形でフィードバックし、制作過程を見返り次の課題制作に役立てることを目標とする。
履修条件・注意事項	14号館14301教室
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この授業は、フリーランスのアニメーターとしてアニメーション技法によるプロモーション映像等の制作を行った実務経験のある教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	授業の事前学習・事後学習として放課後の時間帯に課題を制作する必要があり、14号館3F140301教室の他に2号館2F221教室を利用することが可能。
オフィスアワー	木曜日5限・14号館14301教室

	授業計画	担当者
第１回	ラフコンテ添削	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第２回	絵コンテ制作	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第３回	レイアウト制作	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第４回	アニメーション素材制作(1)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第５回	アニメーション素材制作(2)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第６回	アニメーション作画・撮影(1)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第７回	アニメーション作画・撮影(2)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第８回	アニメーション作画・撮影(3)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄

第９回	アニメーション作画・撮影(4)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１０回	アニメーション作画・撮影(5)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１１回	アニメーション作画・撮影(6)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１２回	映像編集(1)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１３回	映像編集(2)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１４回	映像編集(3)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１５回	映像編集(4)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１６回	単位認定試験	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	After Effects for アニメーション	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ新社
参・著者名１	大平幸輝	参・ＩＳＢＮ１	978-4-86100-699-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション企画Ａ			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-212		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「実践的なアニメーション企画」をテーマとし、プロデューサーからのアニメーション制作の現場で行われている企画から社会への提供、その後の対応までを実践を通して、応用的な技術を使える能力を身につける。そのために必要な知識をアニメーションに関する概要として学修する。またSNSの利用方法を学生が検討し演習を行うことで、プロジェクトを企画できる能力を身につける事が出来る。自分が表現したい内容を盛り込んだプロジェクト企画を完成させる事が出来る。。
授業概要	アニメーションプロジェクト企画の制作を行う。企画書を作り、イメージボードを描き、絵コンテを作成する。そのために必要なアニメーションに関する情報について概論の形で学修する。 具体的には、キャラクター企画を考案し、コンテンツを作成する。またネット上での展開やキャラクターの個性を作っていくための企画について学ぶ。最終的に自主制作作品をプロデュースすることができるための知識と技術を身につけることを目標にする。
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	プロデュースの基礎を固める授業であるため、授業の前後以外にも毎日研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、アニメーションに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。授業に必要になるキャラクター、その他資料になるものは、予習の中で授業前に各自用意をし、また復習時間をもち完成度を高めた企画を完成することが必要である。予習復習に各２時間程度が必要となる。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	プロデュースの基礎を固める授業であるため、授業の前後以外にも毎日研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、アニメーションに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。授業に必要になるキャラクター、その他資料になるものは、予習の中で授業前に各自用意をし、また復習時間をもち完成度を高めた企画を完成することが必要である。予習復習に各２時間程度が必要となる。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	アニメーション概論	井上

第２回	企画の考え方	井上
第３回	ビジネス構造	井上
第４回	製作体制	井上
第５回	構成、イメージボード	井上
第６回	シナリオ、設定	井上
第７回	絵コンテ	井上
第８回	作画	井上
第９回	仕上げ、美術	井上
第１０回	撮影、CGI	井上
第１１回	音響、音楽	井上
第１２回	プリプロ、納品	井上
第１３回	販売、プロモーション	井上
第１４回	SNSへの対応	井上
第１５回	コンテンツノの利用と全体まとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	アニメプロデューサーになろう! アニメ「製作(ビジネス)」の仕組み	教・出版社名１	星海社
教・著者名１	福原 慶匡（著）	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 406511439X
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション企画Ｂ			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-213		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「実践的なアニメーション企画」をテーマとし、アニメーション制作の現場で行われている企画から社会への提供、その後の対応までを実践を通して、応用的な技術を使える能力を身につける。そのために必要な知識をアニメーションに関する概要として学修する。プロジェクトを企画できる能力を身につける事が出来る。自分が表現したい内容を盛り込んだプロジェクト企画を完成させる事が出来る。
授業概要	アニメーションプロジェクト企画の制作を行う。企画書を作り、スタッフ編成から始まり構成やイメージボードを描き、絵コンテを作成する。そのために必要なアニメーション制作に関する情報について概論の形で学修する。 具体的には、企画を考案し、コンテンツを作成する。またネット上での展開やキャラクターの個性を作っていくための企画について学ぶ。最終的に自主制作作品をプロデュースすることができるための知識と技術を身につけることを目標にする。
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	プロデュースの基礎を固める授業であるため、授業の前後以外にも毎日研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、アニメーションに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。授業に必要になるキャラクター、その他資料になるものは、予習の中で授業前に各自用意をし、また復習時間をもち完成度を高めた企画を完成することが必要である。予習復習に各２時間程度が必要となる。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	プロデュースの基礎を固める授業であるため、授業の前後以外にも毎日研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、アニメーションに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。授業に必要になるキャラクター、その他資料になるものは、予習の中で授業前に各自用意をし、また復習時間をもち完成度を高めた企画を完成することが必要である。予習復習に各２時間程度が必要となる。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	アニメーション概論	井上
第２回	企画の作り方	井上

第３回	ビジネス構造の構築	井上
第４回	製作体制の構築	井上
第５回	構成、イメージボードの発注	井上
第６回	シナリオ、設定の発注	井上
第７回	絵コンテの発注	井上
第８回	作画スタッフ編成	井上
第９回	仕上げ・美術スタッフ編成	井上
第１０回	撮影・CGIスタッフ編成	井上
第１１回	音響スタッフ編成、音楽発注	井上
第１２回	プリプロ発注、納品	井上
第１３回	販売体制構築	井上
第１４回	プロモーション体制構築	井上
第１５回	コンテンツの利用と全体まとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	アニメを仕事に! トリガー流アニメ制作進行読本	教・出版社名１	星海社
教・著者名１	舛本 和也 (著)	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 : 4061385496
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション制作基礎Ａ			担当者	今村　俊介、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-214		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限 水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	デジタル作画ツールCLIPSTUDIO EXを活用し、3～4人のグループワークで1分以内のアニメーション映像を制作する。絵コンテの描き方と2Dデジタルアニメーション制作における基礎知識を習得することを授業の到達目標とする。
授業概要	学生はAdobe After Effectsと写真素材を活用した映像編集課題を通してツールの使い方と映像の編集効果を体験し、与えられるテーマに沿って"1 cut animation"を制作する。複数の受講者が制作したアニメーション映像を一つなぎの映像として編集し、グループワーク作品として完成させる。作品制作時、主に使うツールとしているCLIP STUDIO EX、Adobe After Effectsの他に、作品データの共有・管理のためGoogle Driveなどのデータストレージを活用する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では課題制作過程と提出物の完成度などを指標に課題提出（60%）、最終課題（40%）の割合によって評価する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題はユニバーサルパスポートを活用する形でフィードバックし、制作過程を見返り次の課題制作に役立てることを目標とする。
履修条件・注意事項	14号館14301教室
実務経験のある教員	該当する　内容　この授業は、アニメーション技法による映像制作の授業担当を行った実務経験のある教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	授業の事前学習・事後学習として放課後の時間帯に課題を制作する必要があり、14号館3F140301教室の他に2号館2F221教室を利用することが可能。
オフィスアワー	月曜日5限研究室

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス	前嶋英輝
第２回	「クレショフ効果」映像編集・コメント作成	前嶋英輝
第３回	アニメーションレイアウト制作	前嶋英輝
第４回	グループワーク課題・ツールの使い方説明	前嶋英輝
第５回	Vコンテ制作	前嶋英輝
第６回	Vコンテ修正	前嶋英輝
第７回	Vコンテ課題コメント・作業分担	前嶋英輝
第８回	アニメーションレイアウト修正	前嶋英輝
第９回	アニメーション作画	前嶋英輝
第１０回	アニメーション作画修正	前嶋英輝
第１１回	アニメーション着彩	前嶋英輝
第１２回	アニメーション背景制作	前嶋英輝
第１３回	アニメーション書き出し	前嶋英輝
第１４回	タイトル・クレジット制作	前嶋英輝
第１５回	全体編集・映像書き出し	前嶋英輝

第１６回	最終課題提出		前嶋英輝
教科書			
教・書籍名１	ショートアニメーション　メイキング講座　吉邉尚希ｗｏｒｋｓ　ｂｙ　ＣＬＩＰ ＳＴＵＤＩＯ　ＰＡＩＮＴ　ＰＲＯ／ＥＸ　［増補改訂版］	教・出版社名１	技術評論社
教・著者名１	吉邉尚希	教・ＩＳＢＮ１	9784297125493
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション制作基礎Ｂ			担当者	今村　俊介、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-215		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限 水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	デジタル作画ツールCLIPSTUDIO EXを活用し、3～4人のグループワークで1分以内のアニメーション映像を制作する。絵コンテの描き方と2Dデジタルアニメーション制作における基礎知識を習得することを授業の到達目標とする。
授業概要	学生はAdobe After Effectsと写真素材を活用した映像編集課題を通してツールの使い方と映像の編集効果を体験し、与えられるテーマに沿って"1 cut animation"を制作する。複数の受講者が制作したアニメーション映像を一つなぎの映像として編集し、グループワーク作品として完成させる。作品制作時、主に使うツールとしているCLIP STUDIO EX、Adobe After Effectsの他に、作品データの共有・管理のためGoogle Driveなどのデータストレージを活用する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では課題制作過程と提出物の完成度などを指標に課題提出（60%）、最終課題（40%）の割合によって評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題はユニバーサルパスポートを活用する形でフィードバックし、制作過程を見返り次の課題制作に役立てることを目標とする。
履修条件・注意事項	14号館14301教室
実務経験のある教員	該当する　内容　この授業は、アニメーション技法による映像制作の授業担当を行った実務経験のある教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	授業の事前学習・事後学習として放課後の時間帯に課題を制作する必要があり、14号館3F140301教室の他に2号館2F221教室を利用することが可能。
オフィスアワー	月曜日5限・研究室

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス	前嶋英輝
第２回	「クレショフ効果」映像編集・コメント作成	前嶋英輝
第３回	アニメーションレイアウト制作	前嶋英輝
第４回	グループワーク課題・ツールの使い方説明	前嶋英輝
第５回	Vコンテ制作	前嶋英輝
第６回	Vコンテ修正	前嶋英輝
第７回	Vコンテ課題コメント・作業分担	前嶋英輝
第８回	アニメーションレイアウト修正	前嶋英輝
第９回	アニメーション作画	前嶋英輝
第１０回	アニメーション作画修正	前嶋英輝
第１１回	アニメーション着彩	前嶋英輝
第１２回	アニメーション背景制作	前嶋英輝
第１３回	アニメーション書き出し	前嶋英輝
第１４回	タイトル・クレジット制作	前嶋英輝
第１５回	全体編集・映像書き出し	前嶋英輝
第１６回	最終課題提出	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	ショートアニメーション　メイキング講座　吉邉尚希ｗｏｒｋｓ　ｂｙ　ＣＬＩＰ ＳＴＵＤＩＯ　ＰＡＩＮＴ　ＰＲＯ／ＥＸ　［増補改訂版］	教・出版社名１	技術評論社
教・著者名１	吉邉尚希	教・ＩＳＢＮ１	9784297125493
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	シナリオ講読Ａ			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-216		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	アニメーションにおいても他の映像表現と同様に、企画からシナリオ作りまでの、映像になる前の言語段階が極めて重要である。というのも、その段階で映像作品全体の基本設計がなされてしまうからである。 この科目のテーマは、映像作品制作におけるそうした言語段階での準備とその最終形であるシナリオを、アニメーションの制作過程全体の中で理解することである。 シナリオとは登場人物の感情の流れやそれに基づく行動を時間軸に沿って描いたものだが、そこには作り手の物語構成上の工夫が必ず潜んでいる。学生は物語の誕生以来培われてきたそうした物語の構成形式を学ぶことによって、映像作品をより深く理解することができるようになる。さらには、作中の様々な人物の生き様を追体験することにより、他者への共感力や理解力をより深めることも期待出来よう。
授業概要	様々なシナリオ作品を実際講読することによって、物語の構成法を理解すると共に、そこからさらに作品のテーマや制作意図などを考えてみよう。作品を読んで構成要素を取り出し、それを時系列に沿って並べながら物語の構造を捉えることは、この授業に参加した学生一人ひとりに課せられた課題である。学生はこうした物語構成に基づいた作品理解についてそれぞれプレゼンテーションを行い、その後は相互に自分の意見を述べあう。そこで得られた気付きや反省を基に、シナリオについての理解をさらに深めることになる。 シナリオは柱、ト書き、セリフの3つから成り立っており、小説とは書き方がかなり異なっている。そのため、シナリオの構成と並行して、シナリオの具体的な書き方についても学習することになる。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	この授業では、授業への積極的な参加態度（40%）、プレゼンテーション（30%）、レポート提出（30%）などを合計し、総合的に評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	レポートの提出や課題の発表がなされない場合は、評価不能となり単位認定ができないので特に注意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レポートの提出や課題発表のためには、当然のことながら予習・復習が必須である。予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス／シナリオとは何か	清水光二
第２回	シナリオと小説の違い	清水光二
第３回	シナリオの書き方	清水光二
第４回	シナリオの構成	清水光二
第５回	３幕構成の仕組み	清水光二
第６回	短編アニメのシナリオを読む	清水光二
第７回	短編アニメの構成の確認	清水光二
第８回	中編アニメのシナリオを読む	清水光二
第９回	中編アニメのシナリオを分析	清水光二
第１０回	中編アニメの構成の確認	清水光二
第１１回	長編アニメのシナリオを読む	清水光二
第１２回	長編アニメのシナリオを分析	清水光二

第１３回	長編アニメのハコ書き化	清水光二	
第１４回	長編アニメのシナリオの構成を考える	清水光二	
第１５回	主人公の葛藤の流れを追う	清水光二	
第１６回	レポート試験	清水光二	
教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜プリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメ・シナリオ入門	参・出版社名１	映人社
参・著者名１	鳥海　尽三	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87100-215-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	シナリオ講読Ｂ			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-217		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	アニメーションにおいても他の映像表現と同様に、企画からシナリオ作りまでの、映像になる前の言語段階が極めて重要である。というのも、その段階で映像作品全体の基本設計がなされてしまうからである。 この科目のテーマは、映像作品制作におけるそうした言語段階での準備とその最終形であるシナリオを、アニメーションの制作過程全体の中で理解することである。 シナリオとは登場人物の感情の流れやそれに基づく行動を時間軸に沿って描いたものだが、そこには作り手の物語構成上の工夫が必ず潜んでいる。学生は物語の誕生以来培われてきたそうした物語の構成形式を学ぶことによって、映像作品をより深く理解することができるようになる。さらには、作中の様々な人物の生き様を追体験することにより、他者への共感力や理解力をより深めることも期待出来よう。
授業概要	様々なシナリオ作品を実際講読することによって、物語の構成法を理解すると共に、そこからさらに作品のテーマや制作意図などを考えてみよう。作品を読んで構成要素を取り出し、それを時系列に沿って並べながら物語の構造を捉えることは、この授業に参加した学生一人ひとりに課せられた課題である。学生はこうした物語構成に基づいた作品理解についてそれぞれプレゼンテーションを行い、その後は相互に自分の意見を述べあう。そこで得られた気付きや反省を基に、シナリオについての理解をさらに深めることになる。 シナリオは柱、ト書き、セリフの3つから成り立っており、小説とは書き方がかなり異なっている。そのため、シナリオの構成と並行して、シナリオの具体的な書き方についても学習することになる。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	この授業では、授業への積極的な参加態度（40%）、プレゼンテーション（30%）、レポート提出（30%）などを合計し、総合的に評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	レポートの提出や課題の発表がなされない場合は、評価不能となり単位認定ができないので特に注意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レポートの提出や課題発表のためには、当然のことながら予習・復習が必須である。予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	シナリオの構成	清水光二
第２回	作品（映像）のテーマ	清水光二
第３回	シナリオの表現方法	清水光二
第４回	クライマックスについて	清水光二
第５回	キャラクターの重要性について	清水光二
第６回	短編アニメのシナリオを読む	清水光二
第７回	短編アニメの構成の確認	清水光二
第８回	中編アニメのシナリオを読む	清水光二
第９回	中編アニメのシナリオを分析	清水光二
第１０回	中編アニメの構成の確認	清水光二
第１１回	中編アニメの企画	清水光二

第１２回	中編アニメの構想	清水光二	
第１３回	中編アニメのハコ書き化	清水光二	
第１４回	中編アニメのシナリオを書く	清水光二	
第１５回	主人公の葛藤の流れを追う	清水光二	
第１６回	レポート試験	清水光二	
教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜プリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメ・シナリオ入門	参・出版社名１	映人社
参・著者名１	鳥海　尽三	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87100-215-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	シナリオ制作Ａ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-218

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	アニメーションにおいても他の映像表現と同様に、企画からシナリオ作りまでの、映像になる前の言語段階が極めて重要である。というのも、その段階で映像作品全体の基本設計がなされてしまうからである。 この科目のテーマは、映像作品制作におけるそうした言語段階での準備とその最終形であるシナリオを描く技法を理解することである。 シナリオとは登場人物の感情の流れやそれに基づく行動を時間軸に沿って描いたものだが、そこには作り手の物語構成上の工夫が必ず潜んでいる。学生は物語の誕生以来培われてきたそうした物語の構成形式を学ぶことによって、映像作品をより深く理解することができるようになる。さらには、作中の様々な人物の生き様を追体験することにより、他者への共感力や理解力をより深めることも期待出来よう。
授業概要	３幕ものの構成を改めて学習した上で、実際にシナリオを書いてみる。その際、プロットとキャラクターをどう一致・連動させるかが重要になってくる。つまり、キャラクターの心の変化をストーリーの中でうまく構成する必要があるのである。短編や中編のシナリオを複数回書くことで、そのあたりのことを実践的に学ぶ。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	この授業では、授業への積極的な参加態度（40%）、プレゼンテーション（30%）、レポート提出（30%）などを合計し、総合的に評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	レポートの提出や課題の発表がなされない場合は、評価不能となり単位認定ができないので特に注意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レポートの提出や課題発表のためには、当然のことながら予習・復習が必須である。予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	３幕構成とは	清水光二
第２回	第１幕	清水光二
第３回	状況設定	清水光二
第４回	プロットポイント１	清水光二
第５回	第２幕の前半	清水光二
第６回	葛藤	清水光二
第７回	ミッドポイント	清水光二
第８回	第２幕の後半	清水光二
第９回	プロットポイント２	清水光二
第１０回	第３幕	清水光二
第１１回	クライマックス	清水光二
第１２回	解決	清水光二
第１３回	目に見えるゴール	清水光二
第１４回	目に見えないゴール	清水光二
第１５回	人物とテーマ	清水光二
第１６回	レポート試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントを配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメ・シナリオ入門	参・出版社名１	映人社
参・著者名１	鳥海　尽三	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87100-215-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	シナリオ制作Ｂ			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-219		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	アニメーションにおいても他の映像表現と同様に、企画からシナリオ作りまでの、映像になる前の言語段階が極めて重要である。というのも、その段階で映像作品全体の基本設計がなされてしまうからである。 この科目のテーマは、映像作品制作におけるそうした言語段階での準備とその最終形であるシナリオを描く技法を理解することである。 シナリオとは登場人物の感情の流れやそれに基づく行動を時間軸に沿って描いたものだが、そこには作り手の物語構成上の工夫が必ず潜んでいる。学生は物語の誕生以来培われてきたそうした物語の構成形式を学ぶことによって、映像作品をより深く理解することができるようになる。さらには、作中の様々な人物の生き様を追体験することにより、他者への共感力や理解力をより深めることも期待出来よう。
授業概要	３幕ものの構成を改めて学習した上で、実際にシナリオを書いてみる。その際、プロットとキャラクターをどう一致・連動させるかが重要になってくる。つまり、キャラクターの心の変化をストーリーの中でうまく構成する必要があるのである。短編や中編のシナリオを複数回書くことで、そのあたりのことを実践的に学ぶ。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	この授業では、授業への積極的な参加態度（40%）、プレゼンテーション（30%）、レポート提出（30%）などを合計し、総合的に評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	レポートの提出や課題の発表がなされない場合は、評価不能となり単位認定ができないので特に注意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レポートの提出や課題発表のためには、当然のことながら予習・復習が必須である。予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施

授業計画		担当者
第１回	３幕構成とは	清水光二
第２回	第１幕の特徴	清水光二
第３回	登場人物の紹介	清水光二
第４回	舞台設定の紹介	清水光二
第５回	プロットポイント１	清水光二
第６回	第２幕の特徴	清水光二
第７回	第２幕の前半	清水光二
第８回	葛藤・対立	清水光二
第９回	ミッドポイント	清水光二
第１０回	第２幕の後半	清水光二
第１１回	プロットポイント２	清水光二
第１２回	第３幕の特徴	清水光二
第１３回	クライマックス	清水光二
第１４回	解決	清水光二
第１５回	エンディング	清水光二
第１６回	レポート試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントを配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメ・シナリオ入門	参・出版社名１	映人社
参・著者名１	鳥海　尽三	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87100-215-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	イラスト基礎Ａ			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-220		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	どんなに素晴らしイメージ、描きたい世界、人物があっても技術の壁に阻まれては作品として具現化することはできない。 そこから、本講のテーマは「技術的制約からの解放」であり、それを基礎演習の積み重ねによって実現することが目標となる。 これによって学生は曖昧なイメージを技術言語で具体的に平面上に再現できる。
授業概要	総合的な表現力の向上を目指す。個々の持つ方向性に合わせた指導と、基礎画力獲得の両立を目的とし、以下の三つの柱で授業う。 1）講義による基礎知識の習得 2）自由課題作品への講評による弱点指導 3）課題実習による基礎画力の向上
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、アートワークについて知識及び技術を身につけることを目的としていることから、 作品制作を通して修得した能力を計ることを目的として、２回に一度作品提出（60%）を行い、最終試験として自主制作作品提出（40%）を行う
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	一コマおきに講評と添削指導を行う 期末課題については15回目に講評する。
履修条件・注意事項	自由課題作品は常時描き続けていることが前提。受講ごとに随時提出のこと。 課題実習はこちらから指示した期間内の達成を求める。 授業用twitter、Pinterestアカウントの作成が必要。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	予習復習として毎日1時間、推奨クリエーターのSNS閲覧、有用な資料サイトPinterestの閲覧。
オフィスアワー	水曜5限 （2号館 267研究室）をオフィスアワーとする。 Teamsでも常時質問相談を受け付けている。

	授業計画	担当者
第１回	授業方針の説明 課題解説	佐々木 洋
第２回	基本デッサンの方法-2(箱と平面) 課題解説-講評	佐々木 洋
第３回	基本デッサンの方法-3(形状転写) 課題解説-講評	佐々木 洋
第４回	基本デッサンの方法-2(明暗構成) 課題解説-講評	佐々木 洋
第５回	人体解剖-概説 課題解説-講評	佐々木 洋

第６回	人体解剖-尻 課題解説-講評	佐々木 洋
第７回	人体解剖-骨盤 課題解説-講評	佐々木 洋
第８回	人体解剖-脚 課題解説-講評	佐々木 洋
第９回	人体解剖-腕の運動システム 課題解説-講評	佐々木 洋
第１０回	人体解剖-胴 課題解説-講評	佐々木 洋
第１１回	人体解剖-頭部-1 骨格 課題解説-講評	佐々木 洋
第１２回	人体解剖-頭部-2 表情筋 課題解説-講評	佐々木 洋
第１３回	人体解剖-顔面の流れ 課題解説-講評	佐々木 洋
第１４回	人体解剖-手/足の学び方 期末課題解説-講評	佐々木 洋
第１５回	期末総評 期末課題-講評	佐々木 洋
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	イラスト基礎Ｂ	担当者	佐々木　洋
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年／ 2021～ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	AN-AN-1-221

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	どんなに素晴らしイメージ、描きたい世界、人物があっても技術の壁に阻まれては作品として具現化することはできない。 そこから、本講のテーマは「技術的制約からの解放」であり、それを基礎演習の積み重ねによって実現することが目標となる。 これによって学生は曖昧なイメージを技術言語で具体的に平面上に再現できる。
授業概要	総合的な表現力の向上を目指す。個々の持つ方向性に合わせた指導と、基礎画力獲得の両立を目的とし、以下の三つの柱で授業う。 1）講義による基礎知識の習得 2）自由課題作品への講評による弱点指導 3）課題実習による基礎画力の向上
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、アートワークについて知識及び技術を身につけることを目的としていることから、 作品制作を通して修得した能力を計ることを目的として、２回に一度作品提出（60%）を行い、最終試験として自主制作作品提出（40%）を行う
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	一コマおきに講評と添削指導を行う 期末課題については15回目に講評する。
履修条件・注意事項	自由課題作品は常時描き続けていることが前提。受講ごとに随時提出のこと。 課題実習はこちらから指示した期間内の達成を求める。 授業用twitter、Pinterestアカウントの作成が必要。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	予習復習として毎日1時間、推奨クリエーターのSNS閲覧、有用な資料サイトPinterestの閲覧。
オフィスアワー	水曜5限 （2号館 267研究室）をオフィスアワーとする。 Teamsでも常時質問相談を受け付けている。

	授業計画	担当者
第１回	授業方針の説明 課題解説 明暗構成-1(重量比)	佐々木 洋
第２回	明暗構成-2(方向の明示) 課題解説-講評	佐々木 洋
第３回	明暗構成-3(複雑化) 課題解説-講評	佐々木 洋
第４回	色彩構成-1 明暗構成との連結	佐々木 洋

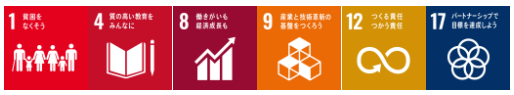
	課題解説-講評	
第５回	色彩構成-2 トーン/PCCSによる構成 課題解説-講評	佐々木 洋
第６回	色彩構成-3 構成模写 課題解説-講評	佐々木 洋
第７回	遠近法-1 遠近法の限界	佐々木 洋
第８回	遠近法-2 現実的な運用(クリスタ)	佐々木 洋
第９回	アイレベル	佐々木 洋
第１０回	高低差の配置 課題解説-講評	佐々木 洋
第１１回	広い部屋/狭い部屋 課題解説-講評	佐々木 洋
第１２回	イマジナリライン 課題解説-講評	佐々木 洋
第１３回	キャラの絡み合い 期末課題提示 課題解説-講評	佐々木 洋
第１４回	各種コンテスト紹介 コンテスト・メイクについて	佐々木 洋
第１５回	期末総評 期末課題-講評	佐々木 洋
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	イラスト演習Ａ （Aクラス）	担当者	佐々木　洋
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年／ 2020年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	AN-AN-2-222

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう 
到達目標	基礎の確認と技術の拡充を得ることをテーマとし、 学生はイラスト/キャラクターデザインに関わる実用的な技術を学び、運用できるようになる。 様々な作家の作品を参考にして自らの制作目標を確認し、自分にあった作風を知ることを到達目標とする。
授業概要	毎週の課題と講評によって成長の確認と、学生自身の目標の明確化を目指す。 幅広い表現の可能性を資料画像で具体的に示し、その技術構造の解説を行う。 技術理解に基づいた作品課題を続けることで学生は確信を持って創作を行うことができるようになる。 体系づけられた知見と課題により、学生は目指す表現のワークフローを構築することが出来る。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、基礎の確認と応用展開を目的としていることから、 毎週提出の課題作品(60%)期末課題作品(40%)によって能力の向上を評価する。 評価のための課題については次回授業で講評によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業でコメントすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	演習課題については、毎週提出となる。 示されたテーマに基づき常時制作を続ける必要がある。
実務経験のある教員	該当する　内容　1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、東洋美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	示されたテーマに沿っての作品制作が必要(２時間程度)である。 SNSやPintarestで資料収集することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上でも随時質問相談を受け付けている。

授業計画		担当者
第１回	基本デッサンの確認	佐々木洋
第２回	人体理解の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第３回	空間描写の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第４回	色彩理解の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第５回	遠近法の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第６回	面処理の確認 課題解説-講評	佐々木洋
	自然物処理の確認-1	

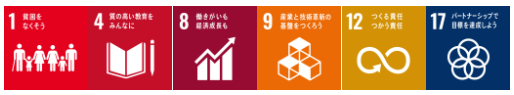
第７回	全体を捉える 課題解説-講評	佐々木洋
第８回	自然物処理の確認-2 細部の処理 課題解説-講評	佐々木洋
第９回	室内構造理解の確認-1(家屋-1) 外観 課題解説-講評	佐々木洋
第１０回	室内構造理解の確認-2(家屋-2) 内観 課題解説-講評	佐々木洋
第１１回	室内構造理解の確認-3(家具) 課題解説-講評	佐々木洋
第１２回	明暗構成の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第１３回	色彩構成の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第１４回	期末課題提示 課題解説-講評	佐々木洋
第１５回	期末総評	佐々木洋
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	イラスト演習Ａ （Bクラス）	担当者	佐々木　洋
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年／ 2020年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	AN-AN-2-222

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう 
到達目標	基礎の確認と技術の拡充を得ることをテーマとし、 学生はイラスト/キャラクターデザインに関わる実用的な技術を学び、運用できるようになる。 様々な作家の作品を参考にして自らの制作目標を確認し、自分にあった作風を知ることを到達目標とする。
授業概要	毎週の課題と講評によって成長の確認と、学生自身の目標の明確化を目指す。 幅広い表現の可能性を資料画像で具体的に示し、その技術構造の解説を行う。 技術理解に基づいた作品課題を続けることで学生は確信を持って創作を行うことができるようになる。 体系づけられた知見と課題により、学生は目指す表現のワークフローを構築することが出来る。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、基礎の確認と応用展開を目的としていることから、 毎週提出の課題作品(60%)期末課題作品(40%)によって能力の向上を評価する。 評価のための課題については次回授業で講評によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業でコメントすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	演習課題については、毎週提出となる。 示されたテーマに基づき常時制作を続ける必要がある。
実務経験のある教員	該当する　内容　1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、東洋美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	示されたテーマに沿っての作品制作が必要(２時間程度)である。 SNSやPintarestで資料収集することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上でも随時質問相談を受け付けている。

授業計画		担当者
第１回	基本デッサンの確認	佐々木洋
第２回	人体理解の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第３回	空間描写の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第４回	色彩理解の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第５回	遠近法の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第６回	面処理の確認 課題解説-講評	佐々木洋
	自然物処理の確認-1	

第７回	全体を捉える 課題解説-講評	佐々木洋
第８回	自然物処理の確認-2 細部の処理 課題解説-講評	佐々木洋
第９回	室内構造理解の確認-1(家屋-1) 外観 課題解説-講評	佐々木洋
第１０回	室内構造理解の確認-2(家屋-2) 内観 課題解説-講評	佐々木洋
第１１回	室内構造理解の確認-3(家具) 課題解説-講評	佐々木洋
第１２回	明暗構成の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第１３回	色彩構成の確認 課題解説-講評	佐々木洋
第１４回	期末課題提示 課題解説-講評	佐々木洋
第１５回	期末総評	佐々木洋
第１６回		

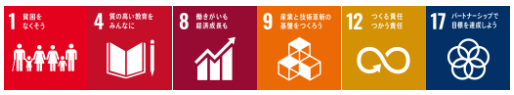
教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	イラスト演習Ｂ （Aクラス）	担当者	佐々木　洋
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-223

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう 
到達目標	基礎の確認と技術の拡充を得ることをテーマとし、 学生はイラスト/キャラクターデザインに関わる実用的な技術を学び、運用できるようになる。 様々な作家の作品を参考にして自らの制作目標を確認し、自分にあった作風を知ることができる。
授業概要	毎週の課題と講評によって成長の確認と、学生自身の目標の明確化を目指す。 幅広い表現の可能性を資料画像で具体的に示し、その技術構造の解説を行う。 学生は目指す表現のワークフローを構築することが出来る。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、基礎の確認と応用展開を目的としていることから、 毎週提出の課題作品(60%)期末課題作品(40%)によって能力の向上を評価する。 評価のための課題については次回授業で講評によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業でコメントすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	演習課題については、毎週提出となる。 示されたテーマに基づき常時制作を続ける必要がある。
実務経験のある教員	該当する　内容　1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、東洋美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	示されたテーマに沿っての作品制作が必要(２時間程度)である。 SNSやPintarestで資料収集することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上でも随時質問相談を受け付けている。

授業計画		担当者
第１回	授業方針の説明 パースペクティブ-1 透視図法の限界 課題説明	佐々木洋
第２回	パースペクティブ-2 透視図法の運用 課題説明-講評	佐々木洋
第３回	アイ・レベル 課題解説-講評	佐々木洋
第４回	ライティング 課題解説-講評	佐々木洋
第５回	バルール(色価)の運用	佐々木洋

	課題解説-講評	
第６回	反射面-1 視度角と反射率 課題解説-講評	佐々木洋
第７回	反射面-2 半透過と反射(葉) 課題解説-講評	佐々木洋
第８回	キャラクター設定-1 フォルム 課題解説-講評	佐々木洋
第９回	キャラクター設定-2 影割 課題解説-講評	佐々木洋
第１０回	キャラクター設定-3 色彩-制限されたパレットによる 課題解説-講評	佐々木洋
第１１回	キャラクター設定-4 表情集 課題解説-講評	佐々木洋
第１２回	キャラクター設定-5 性格の描き分け 課題解説-講評	佐々木洋
第１３回	期末課題提示 課題解説-講評	佐々木洋
第１４回	期末課題 進捗確認 課題解説-講評	佐々木洋
第１５回	期末総評 期末課題作品講評	佐々木洋
第１６回		

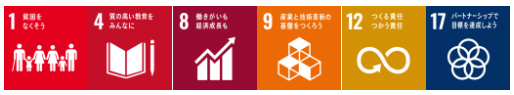
教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	イラスト演習Ｂ （Bクラス）	担当者	佐々木　洋
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-223

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう 
到達目標	基礎の確認と技術の拡充を得ることをテーマとし、 学生はイラスト/キャラクターデザインに関わる実用的な技術を学び、運用できるようになる。 様々な作家の作品を参考にして自らの制作目標を確認し、自分にあった作風を知ることができる。
授業概要	毎週の課題と講評によって成長の確認と、学生自身の目標の明確化を目指す。 幅広い表現の可能性を資料画像で具体的に示し、その技術構造の解説を行う。 学生は目指す表現のワークフローを構築することが出来る。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、基礎の確認と応用展開を目的としていることから、 毎週提出の課題作品(60%)期末課題作品(40%)によって能力の向上を評価する。 評価のための課題については次回授業で講評によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業でコメントすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	演習課題については、毎週提出となる。 示されたテーマに基づき常時制作を続ける必要がある。
実務経験のある教員	該当する　内容　1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、東洋美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	示されたテーマに沿っての作品制作が必要(２時間程度)である。 SNSやPintarestで資料収集することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上でも随時質問相談を受け付けている。

	授業計画	担当者
第１回	授業方針の説明 パースペクティブ-1 透視図法の限界 課題説明	佐々木洋
第２回	パースペクティブ-2 透視図法の運用 課題説明-講評	佐々木洋
第３回	アイ・レベル 課題解説-講評	佐々木洋
第４回	ライティング 課題解説-講評	佐々木洋
第５回	バルール(色価)の運用	佐々木洋

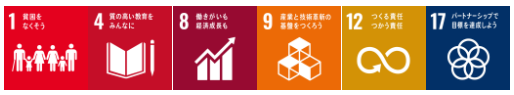
	課題解説-講評	
第６回	反射面-1 視度角と反射率 課題解説-講評	佐々木洋
第７回	反射面-2 半透過と反射(葉) 課題解説-講評	佐々木洋
第８回	キャラクター設定-1 フォルム 課題解説-講評	佐々木洋
第９回	キャラクター設定-2 影割 課題解説-講評	佐々木洋
第１０回	キャラクター設定-3 色彩-制限されたパレットによる 課題解説-講評	佐々木洋
第１１回	キャラクター設定-4 表情集 課題解説-講評	佐々木洋
第１２回	キャラクター設定-5 性格の描き分け 課題解説-講評	佐々木洋
第１３回	期末課題提示 課題解説-講評	佐々木洋
第１４回	期末課題 進捗確認 課題解説-講評	佐々木洋
第１５回	期末総評 期末課題作品講評	佐々木洋
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	イラスト実践Ａ （Aクラス）	担当者	佐々木　洋
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-224

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	実践
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう 
到達目標	イラストによる自己表現をテーマとする。 様々な主題の作品制作を経験し、表現の幅を広げ、自分に必要な表現の着地点を確保することが出来る。 内面の「曖昧な気分」を「具体的な表象」に昇華する力を身につける。 学生が独自の自己表現にたどり着くことを到達目標とする。
授業概要	隔週でテーマに沿った作品を提出し講評を行い表現の方向性を広げ確定していく。 様々な作家の作品作風を分析することによって構造的に理解する。 またイラスト制作に必要な技術を概観し、イラスト/キャラクターデザインに関わる実用的な技術を学び、運用できるようになる。 様々なコンテストに出品された受賞作などを参考にして自らの制作目標を確認する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、自己表現を確立することを目的としていることから、 隔週提出の課題作品(50%)と期末提出作品(50%)によって評価する。 評価のための課題については次回授業で講評によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業で講評/添削することでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	演習課題については、隔週提出となる。 示されたテーマに基づき常時制作を続ける必要がある。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	示されたテーマに沿っての作品制作が必要(２時間程度)である。 SNSやPintarestで資料収集することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上でも随時質問相談を受け付けている。

	授業計画	担当者
第１回	室内 光源による注目の制御 課題解説	佐々木洋
第２回	室内 ドラマティックなライティング 課題講評	佐々木洋
第３回	バストアップでの空間表現-1 枠外への誘導 課題解説	佐々木洋

第４回	バストアップでの空間表現-2 距離感の設計 課題講評	佐々木洋
第５回	パノラマ空間処理 パヴィリオンの配置 課題説明	佐々木洋
第６回	パノラマ空間処理 飛び石ライティング 課題講評	佐々木洋
第７回	ヴィネット-1 高密度空間 課題説明	佐々木洋
第８回	ヴィネット-1 ドラマの構成 課題説明	佐々木洋
第９回	ビル空間と人物-1 迷宮感 課題説明	佐々木洋
第１０回	ビル空間と人物-2 モニュメント 課題説明	佐々木洋
第１１回	イコン-1 シンメトリー 課題説明	佐々木洋
第１２回	イコン-2 シンボル 課題説明	佐々木洋
第１３回	複数人物配置-1 動線の交錯 課題説明	佐々木洋
第１４回	複数人物配置-2 会話 課題説明	佐々木洋
第１５回	期末総評 期末課題説明	佐々木洋
第１６回		

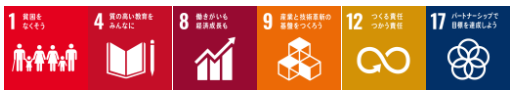
教科書			
教・書籍名１	風景画の描き方	教・出版社名１	建帛社
教・著者名１	ジャック・ハム（著), 島田照代(翻訳)	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4767985099 ISBN-13 ： 978-4767985091
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	イラスト実践Ａ （Bクラス）	担当者	佐々木　洋
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-224

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	15	授業形態	実践
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう 
到達目標	イラストによる自己表現をテーマとする。 内面の「曖昧な気分」を「具体的な表象」に昇華する力を身につける。 学生は様々な主題の作品制作を経験し、表現の幅を広げ、自分に必要な表現の着地点を確保することが出来る。 学生が独自の自己表現にたどり着くことを到達目標とする。
授業概要	隔週でテーマに沿った作品を提出し講評を行い表現の方向性を広げ確定していく。 様々な作家の作品作風を分析することによって構造的に理解する。 学制はイラスト制作に必要な技術を概観し、イラスト/キャラクターデザインに関わる実用的な技術を学び、運用できるようになる。 様々なコンテストに出品された受賞作などを参考にして自らの制作目標を確認する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、自己表現を確立することを目的としていることから、 隔週提出の課題作品(50%)と期末提出作品(50%)によって評価する。 評価のための課題については次回授業で講評によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業で講評/添削することでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	演習課題については、隔週提出となる。 示されたテーマに基づき常時制作を続ける必要がある。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	示されたテーマに沿っての作品制作が必要(２時間程度)である。 SNSやPintarestで資料収集することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上でも随時質問相談を受け付けている。

	授業計画	担当者
第１回	室内 光源による注目の制御 課題解説	佐々木洋
第２回	室内 ドラマティックなライティング 課題講評	佐々木洋
第３回	バストアップでの空間表現-1 枠外への誘導 課題解説	佐々木洋

第４回	バストアップでの空間表現-2 距離感の設計 課題講評	佐々木洋
第５回	パノラマ空間処理 パヴィリオンの配置 課題説明	佐々木洋
第６回	パノラマ空間処理 飛び石ライティング 課題講評	佐々木洋
第７回	ヴィネット-1 高密度空間 課題説明	佐々木洋
第８回	ヴィネット-1 ドラマの構成 課題説明	佐々木洋
第９回	ビル空間と人物-1 迷宮感 課題説明	佐々木洋
第１０回	ビル空間と人物-2 モニュメント 課題説明	佐々木洋
第１１回	イコン-1 シンメトリー 課題説明	佐々木洋
第１２回	イコン-2 シンボル 課題説明	佐々木洋
第１３回	複数人物配置-1 動線の交錯 課題説明	佐々木洋
第１４回	複数人物配置-2 会話 課題説明	佐々木洋
第１５回	期末総評 期末課題説明	佐々木洋
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	イラスト実践Ｂ （Aクラス）			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-225		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	実践
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	イラストによる自己表現をテーマとする。 内面の「曖昧な気分」を「具体的な表象」に昇華する力を身につける。 学生は様々な主題の作品制作を経験し、表現の幅を広げ、自分に必要な表現の着地点を確保することが出来る。 学生が独自の自己表現にたどり着くことを到達目標とする。
授業概要	隔週でテーマに沿った作品を提出し講評を行い表現の方向性を広げ確定していく。 様々な作家の作品作風を分析することによって構造的に理解する。 学制はイラスト制作に必要な技術を概観し、イラスト/キャラクターデザインに関わる実用的な技術を学び、運用できるようになる。 様々なコンテストに出品された受賞作などを参考にして自らの制作目標を確認する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、継続する作品制作によって自己表現を確立することを目的としていることから、 隔週提出の課題作品(60%)と期末自由作品(40%)によって能力の向上を評価する。 評価のための課題については隔週で講評/添削によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業でコメントすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	演習課題については、隔週提出となる。 示されたテーマに基づき常時制作を続ける必要がある。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、東洋美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	示されたテーマに沿っての作品制作が必要(２時間程度)である。 SNSやPintarestで資料収集することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上でも随時質問相談を受け付けている。

授業計画		担当者
第１回	授業方針の説明	佐々木洋
第２回	細密画	佐々木洋
第３回	コンテスト	佐々木洋
第４回	シュールレアリスム	佐々木洋
第５回	花	佐々木洋
第６回	宝飾	佐々木洋
第７回	紋章	佐々木洋
第８回	古道具	佐々木洋
第９回	小動物	佐々木洋
第１０回	カラーボード概説と作成	佐々木洋

第１１回	期末課題解説 カラーボードによるストーリー	佐々木洋
第１２回	カラーボード 全体の色感情	佐々木洋
第１３回	カラーボード レイアウト設計	佐々木洋
第１４回	カラーボード 全体の色調遷移設計	佐々木洋
第１５回	期末総評 期末課題説明	佐々木洋
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	イラスト実践Ｂ （Bクラス）			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-225		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	15	授業形態	実践
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	イラストによる自己表現をテーマとする。 内面の「曖昧な気分」を「具体的な表象」に昇華する力を身につける。 学生は様々な主題の作品制作を経験し、表現の幅を広げ、自分に必要な表現の着地点を確保することが出来る。 学生が独自の自己表現にたどり着くことを到達目標とする。
授業概要	隔週でテーマに沿った作品を提出し講評を行い表現の方向性を広げ確定していく。 様々な作家の作品作風を分析することによって構造的に理解する。 学制はイラスト制作に必要な技術を概観し、イラスト/キャラクターデザインに関わる実用的な技術を学び、運用できるようになる。 様々なコンテストに出品された受賞作などを参考にして自らの制作目標を確認する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、継続する作品制作によって自己表現を確立することを目的としていることから、 隔週提出の課題作品(60%)と期末自由作品(40%)によって能力の向上を評価する。 評価のための課題については隔週で講評/添削によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業でコメントすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	演習課題については、隔週提出となる。 示されたテーマに基づき常時制作を続ける必要がある。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、東洋美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	示されたテーマに沿っての作品制作が必要(２時間程度)である。 SNSやPintarestで資料収集することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上でも随時質問相談を受け付けている。

授業計画		担当者
第１回	授業方針の説明	佐々木洋
第２回	細密画	佐々木洋
第３回	コンテスト	佐々木洋
第４回	シュールレアリスム	佐々木洋
第５回	花	佐々木洋
第６回	宝飾	佐々木洋
第７回	紋章	佐々木洋
第８回	古道具	佐々木洋
第９回	小動物	佐々木洋
第１０回	カラーボード概説と作成	佐々木洋

第１１回	期末課題解説 カラーボードによるストーリー	佐々木洋
第１２回	カラーボード 全体の色感情	佐々木洋
第１３回	カラーボード レイアウト設計	佐々木洋
第１４回	カラーボード 全体の色調遷移設計	佐々木洋
第１５回	期末総評 期末課題説明	佐々木洋
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	マンガ基礎 （集中Ｄ）	担当者	加藤　礼次朗
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	AN-AN-1-217

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「マンガを創作する」ことをテーマとする。参考作品の鑑賞を行い、オリジナルのマンガが制作できるようになる。手描きに加えて、CLIP STUDIOなどのソフトの使用方法を学び、デジタル作画の技術を身につけてストーリー漫画を描く技術を身につける。学生は、短編マンガの制作ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	具体的なマンガの例を参照しながら描画の技術練習を行い、オリジナル作品の制作を行う。下描き、ペン入れ、ベタ、コマ割り、トーンなどマンガ制作に必要な知識や技術を学ぶ。学生は、人物キャラクターデザインや背景などを描くことができる力を身につけ、テーマを持った作品に取り組む。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、マンガ制作について知識及び技術を身につけることを目的としていることから、作品制作を通して修得した能力を計ることを目的として、課題作品提出（60%）を行い、最終試験として自主制作作品提出（40%）を行う。 なお、提出した作品は、授業内でフィードバックするので、最終試験までに習熟することとする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	この授業は漫画のネームを作るので、途中の提出ごとにペン入れをしてフィードバックする。
履修条件・注意事項	１）事前に次回の課題を示すので、必要な資料を揃え制作に必要な予習を行なっておくこと。２）毎回課題作品の制作を復習として行うこと。予習及び復習に少なくとも２時間程度を要する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、漫画家として活動している実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	イラストに関する内容を授業内容に沿って、書籍やネットによって予習復習を行う。必要に応じてプリントを配布するので、自分のスケッチなどと一緒にファイルに入れて学習を積み重ねることとする。
オフィスアワー	講義室にて授業時間後に質問等を受け付ける。

	授業計画	担当者
第１回	マンガの描き方と作品鑑賞	加藤礼次朗
第２回	手描き（下書きとペンの使い方）	加藤礼次朗
第３回	マンガのコマ割りと実例	加藤礼次朗
第４回	デジタル作画のラフの描き方	加藤礼次朗
第５回	ペデジタル作画のペン入れ	加藤礼次朗
第６回	レイヤーの使い方	加藤礼次朗
第７回	トーンとベタ	加藤礼次朗
第８回	写真の利用方法とラフ	加藤礼次朗
第９回	背景の描き方	加藤礼次朗
第１０回	主人公のキャラクター	加藤礼次朗
第１１回	キャラクターの描き込み	加藤礼次朗

第１２回	ポートレートの髪と眼の表現	加藤礼次朗	
第１３回	髪と眼の描き込み	加藤礼次朗	
第１４回	服の描き方	加藤礼次朗	
第１５回	テーマのあるマンガの構想	加藤礼次朗	
第１６回	作品提出	加藤礼次朗	
教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じてプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	クリスタ デジタルマンガ&イラスト道場 CLIP STUDIO PAINT PRO/EX対応	参・出版社名１	ソーテック社
参・著者名１	サイドランチ	参・ＩＳＢＮ１	978-4800711762
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	映像音響概論A	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-219

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	映像と音楽の関係を考察するのがテーマです。春学期は日本マンガ概論では扱わなかった実写のアニメを取り扱います。今のようにCGのなかった時代の実写がどのように制作され、音楽を担当していた作曲者を紹介し、二つの関係がどうであったかを１９８０年代以降と比較してみます。学生はアニメ創成期の作品を観ることによって、どのような作品があったかを知り、現代以上に質の高い音楽が制作されていた歴史を知ることができます。
授業概要	日本のアニメとほぼ並行して日本を初めとして海外でも子ども向けのテレビ番組が制作されました。それらを比較して当時の日本と海外の違いを考察してみます。春学期はもともとアニメだったものが実写化されたものや、特撮と言われた日本が誇る子ども向けの番組を紹介し、当時の作品を概観します。その背後には当時気鋭の作曲家がいました。その作品を観たり聴いたりすることで時代性を考察します。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	レポートを提出してもらい評価します。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	第１５回目にレポートを提出してもらい、最後になる１６回目の授業でレポートの結果を考察します。
履修条件・注意事項	You tubeで観られる作品もあるので、授業中に興味を持った作品は観て欲しい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	どんどんと関連ある作品を鑑賞し、創世記の実写アニメを鑑賞して下さい。
オフィスアワー	水曜日３限、２号館６Ｆの研究室です。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　春学期の作品紹介	平見勇雄
第２回	ひょっこりひょうたん島	平見勇雄
第３回	円谷プロ作品　第一回目　ウルトラQ	平見勇雄
第４回	円谷プロ作品　第二回目　ウルトラマン	平見勇雄
第５回	円谷プロ作品　第三回目　ウルトラセブン	平見勇雄
第６回	円谷プロ作品　第四回目　マイティジャック	平見勇雄
第７回	赤影参上	平見勇雄
第８回	コメットさん（九重祐実子版）	平見勇雄
第９回	海外の事情　サンダーバード	平見勇雄
第１０回	海外の事情　スティングレイ	平見勇雄
第１１回	サインはV	平見勇雄
第１２回	ガメラ	平見勇雄
第１３回	大魔神	平見勇雄
第１４回	おれは男だ！	平見勇雄
第１５回	春学期の総括	平見勇雄
第１６回	春学期のレポートの紹介	平見勇雄

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	

教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	講義ごとにプリントを配布します。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	映像音響概論B			担当者	平見　勇雄		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-220		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	映像と音楽の関係を考察するのがテーマです。秋学期は映画を取り扱います。日本の映画と海外の映画の両方を扱います。映画がどのように制作され、音楽を担当していた作曲者の映像も紹介し、どのように作られたのかを作曲者の発言から読み解きます。学生はそれぞれの作品を観て、その裏側を知ることによって、相互の関係を理解することができます。
授業概要	古い映画から比較的新しい映画まで幅広く扱います。日本と海外の違いを考察してみます。名作が生まれた背後には当時気鋭の作曲家がいました。それぞれの背景を探ります。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	レポートを提出してもらい評価します。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	第１５回目にレポートを提出してもらい、最後になる１６回目の授業でレポートの結果を考察します。
履修条件・注意事項	You tubeで観られる作品もあるので、授業中に興味を持った監督の作品は観て欲しいと思います。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	どんどんと関連ある作品を鑑賞し、音楽がどう映像につけられているかを日頃から気を付けて考えながら見るよう鑑賞する癖をつけて下さい。多くがYou Tubeに出ていますから、復習としてもう一度観てもらい、一度目では気付かなかったことを書き留めて映像と音楽の調和が自分でとれているとおもうところを書き留めて下さい。最後のレポートに役立ちます。音楽家の名前を検索するとそれぞれでさまざまな作品にかかわっていますから、どのような作品を生み出しているのか、作曲家の知識を広げて下さい。予習、復習に２時間程度使うことになると思います。
オフィスアワー	水曜日３限、２号館６Ｆの研究室です。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　秋学期の作品紹介　眉山	平見勇雄
第２回	眉山　後半　大島ミチル	平見勇雄
第３回	おくりびと　前半	平見勇雄
第４回	おくりびと　後半　久石譲	平見勇雄
第５回	二十四の瞳　前半	平見勇雄
第６回	二十四の瞳　後半　三枝成章	平見勇雄
第７回	ロッキー　前半	平見勇雄
第８回	ロッキー　後半　ビルコンティ	平見勇雄
第９回	哀愁　前半	平見勇雄
第１０回	哀愁　後半　蛍の光について	平見勇雄
第１１回	タイタニック　前半	平見勇雄
第１２回	タイタニック　後半	平見勇雄
第１３回	犬神家の一族　前半	平見勇雄
第１４回	犬神家の一族　後半　大野雄二	平見勇雄
第１５回	秋学期の総括	平見勇雄
第１６回	秋学期のレポートの紹介	平見勇雄

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	

教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	講義ごとにプリントを配布します。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	音響演習A （Aクラス）	担当者	相原　恒
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-221

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、既存楽曲のアレンジを行い、「自らイメージ通りの曲が作れるようになる」ことをテーマとし、参考作品を参照しながら、表現能力を身につける。各自の音楽表現ができるようになるために、基本的な知識と技術を学ぶ。その上で、コンピューターソフトを使った音楽創作を行い、イメージに合った独自の音楽を制作できるようになる。音楽制作を経験し、既存の音楽にない独自の音楽表現ができる技術を身につける。DAW（デジタルオーディオワークステーション）を使った短い楽曲制作及び編集ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	Steinberg社製のDAWソフト「Cubase」を使用し、具体的なテーマについて楽曲制作を行う。制作に必要なソフトの操作方法やテクニック、作曲に必要な音楽理論の基礎も学ぶ。一人一人が１台のPCを操作し、教員の机間巡視によって個別指導を行う。また既存楽曲のアレンジを行い、問題解決の能力が身につくような演習方式による授業を行う。 目的は、自身のイメージする楽曲を自由に創造することである。効果音制作や短い作品を完成させることを目標とする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、実務経験を持つ教員がその経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	この科目では、デジタルソフトの操作方法や音楽創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、授業の課題・作品評価(70%)、演習学修態度(30%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、ソフトの予習を行うことが必要である。また毎回の復習として自主的な作品づくりに応用することが重要である。日々の自分の制作に活かして、イメージを表現出来るよう練習を繰り返すことが重要である。 初回の授業で、参考作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：CMの楽曲制作 アーケード、コンシューマー、スマートフォンゲームの楽曲制作 他大学での非常勤講師及び岡山市の音楽教室講師
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	基本的には授業の前後に質問等を受け付ける。

	授業計画	担当者
第１回	Cubaseを使った制作・編集の流れ	相原
第２回	コンピュータの基本操作	相原
第３回	音楽基礎理論（楽譜の読み方等）	相原

第４回	Cubaseの基本操作	相原
第５回	各種設定・ショートカットキー	相原
第６回	楽器・音色	相原
第７回	MIDIステップ入力/リアルタイム入力	相原
第８回	クオンタイズ	相原
第９回	ミックスダウン	相原
第１０回	コード・スケール基礎	相原
第１１回	メロディの作り方	相原
第１２回	作品制作（テーマ・リファレンス）	相原
第１３回	13. 作品制作（作曲）	相原
第１４回	作品制作（アレンジ）	相原
第１５回	作品制作（添削）	相原
第１６回	課題提出	相原

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１	授業中に適宜資料を配布する。	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	音響演習A （Ｂクラス）	担当者	相原　恒
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-221

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、既存楽曲のアレンジを行い、「自らイメージ通りの曲が作れるようになる」ことをテーマとし、参考作品を参照しながら、表現能力を身につける。各自の音楽表現ができるようになるために、基本的な知識と技術を学ぶ。その上で、コンピューターソフトを使った音楽創作を行い、イメージに合った独自の音楽を制作できるようになる。音楽制作を経験し、既存の音楽にない独自の音楽表現ができる技術を身につける。DAW（デジタルオーディオワークステーション）を使った短い楽曲制作及び編集ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	Steinberg社製のDAWソフト「Cubase」を使用し、具体的なテーマについて楽曲制作を行う。制作に必要なソフトの操作方法やテクニック、作曲に必要な音楽理論の基礎も学ぶ。一人一人が１台のPCを操作し、教員の机間巡視によって個別指導を行う。また既存楽曲のアレンジを行い、問題解決の能力が身につくような演習方式による授業を行う。 目的は、自身のイメージする楽曲を自由に創造することである。効果音制作や短い作品を完成させることを目標とする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、実務経験を持つ教員がその経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	この科目では、デジタルソフトの操作方法や音楽創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、授業の課題・作品評価(70%)、演習学修態度(30%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、ソフトの予習を行うことが必要である。また毎回の復習として自主的な作品づくりに応用することが重要である。日々の自分の制作に活かして、イメージを表現出来るよう練習を繰り返すことが重要である。 初回の授業で、参考作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：CMの楽曲制作 アーケード、コンシューマー、スマートフォンゲームの楽曲制作 他大学での非常勤講師及び岡山市の音楽教室講師
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	基本的には授業の前後に質問等を受け付ける。

	授業計画	担当者
第１回	Cubaseを使った制作・編集の流れ	相原
第２回	コンピュータの基本操作	相原
第３回	音楽基礎理論（楽譜の読み方等）	相原

第４回	Cubaseの基本操作	相原
第５回	各種設定・ショートカットキー	相原
第６回	楽器・音色	相原
第７回	MIDIステップ入力/リアルタイム入力	相原
第８回	クオンタイズ	相原
第９回	ミックスダウン	相原
第１０回	コード・スケール基礎	相原
第１１回	メロディの作り方	相原
第１２回	作品制作（テーマ・リファレンス）	相原
第１３回	13. 作品制作（作曲）	相原
第１４回	作品制作（アレンジ）	相原
第１５回	作品制作（添削）	相原
第１６回	課題提出	相原

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１	授業中に適宜資料を配布する。	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	音響演習B （Aクラス）	担当者	相原　恒
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-222

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、既存楽曲のアレンジを行い、「自らイメージ通りの曲が作れるようになる」ことをテーマとし、参考作品を参照しながら、表現能力を身につける。各自の音楽表現ができるようになるために、基本的な知識と技術を学ぶ。その上で、コンピューターソフトを使った音楽創作を行い、イメージに合った独自の音楽を制作できるようになる。音楽制作を経験し、既存の音楽にない独自の音楽表現ができる技術を身につける。DAW（デジタルオーディオワークステーション）を使った短い楽曲制作及び編集ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	Steinberg社製のDAWソフト「Cubase」を使用し、具体的なテーマについて楽曲制作を行う。制作に必要なソフトの操作方法やテクニック、作曲に必要な音楽理論の基礎も学ぶ。一人一人が１台のPCを操作し、教員の机間巡視によって個別指導を行う。また既存楽曲のアレンジを行い、問題解決の能力が身につくような演習方式による授業を行う。 目的は、自身のイメージする楽曲を自由に創造することである。効果音制作や短い作品を完成させることを目標とする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、実務経験を持つ教員がその経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	この科目では、デジタルソフトの操作方法や音楽創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、授業の課題・作品評価(70%)、演習学修態度(30%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、ソフトの予習を行うことが必要である。また毎回の復習として自主的な作品づくりに応用することが重要である。日々の自分の制作に活かして、イメージを表現出来るよう練習を繰り返すことが重要である。 初回の授業で、参考作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：CMの楽曲制作 アーケード、コンシューマー、スマートフォンゲームの楽曲制作 他大学での非常勤講師及び岡山市の音楽教室講師
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	基本的には授業の前後に質問等を受け付ける。

授業計画		担当者
第１回	コードパッド・コードトラックの活用	相原
第２回	テンポトラックの活用	相原
第３回	VSTエフェクト/FXチャンネル	相原
第４回	ギター・ベースパート入力	相原
第５回	ドラム譜の読み方/ドラムパート入力	相原
第６回	オーディオデータの録音方法	相原

第７回	オーディオファイルの編集	相原
第８回	オーディオ・MIDIループ素材の活用	相原
第９回	既存楽曲のアレンジ（テーマ決め）	相原
第１０回	既存楽曲のアレンジ	相原
第１１回	既存楽曲のアレンジ（添削）	相原
第１２回	作品制作（テーマ・リファレンス）	相原
第１３回	作品制作（作曲）	相原
第１４回	作品制作（アレンジ）	相原
第１５回	作品制作（添削）	相原
第１６回	課題提出	相原

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１	授業中に適宜資料を配布する。	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	音響演習B （Bクラス）	担当者	相原　恒
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-222

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、既存楽曲のアレンジを行い、「自らイメージ通りの曲が作れるようになる」ことをテーマとし、参考作品を参照しながら、表現能力を身につける。各自の音楽表現ができるようになるために、基本的な知識と技術を学ぶ。その上で、コンピューターソフトを使った音楽創作を行い、イメージに合った独自の音楽を制作できるようになる。音楽制作を経験し、既存の音楽にない独自の音楽表現ができる技術を身につける。DAW（デジタルオーディオワークステーション）を使った短い楽曲制作及び編集ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	Steinberg社製のDAWソフト「Cubase」を使用し、具体的なテーマについて楽曲制作を行う。制作に必要なソフトの操作方法やテクニック、作曲に必要な音楽理論の基礎も学ぶ。一人一人が１台のPCを操作し、教員の机間巡視によって個別指導を行う。また既存楽曲のアレンジを行い、問題解決の能力が身につくような演習方式による授業を行う。 目的は、自身のイメージする楽曲を自由に創造することである。効果音制作や短い作品を完成させることを目標とする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、実務経験を持つ教員がその経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	この科目では、デジタルソフトの操作方法や音楽創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、授業の課題・作品評価(70%)、演習学修態度(30%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、ソフトの予習を行うことが必要である。また毎回の復習として自主的な作品づくりに応用することが重要である。日々の自分の制作に活かして、イメージを表現出来るよう練習を繰り返すことが重要である。 初回の授業で、参考作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：CMの楽曲制作 アーケード、コンシューマー、スマートフォンゲームの楽曲制作 他大学での非常勤講師及び岡山市の音楽教室講師
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	基本的には授業の前後に質問等を受け付ける。

	授業計画	担当者
第１回	コードパッド・コードトラックの活用	相原
第２回	テンポトラックの活用	相原
第３回	VSTエフェクト/FXチャンネル	相原
第４回	ギター・ベースパート入力	相原
第５回	ドラム譜の読み方/ドラムパート入力	相原
第６回	オーディオデータの録音方法	相原

第７回	オーディオファイルの編集	相原
第８回	オーディオ・MIDIループ素材の活用	相原
第９回	既存楽曲のアレンジ（テーマ決め）	相原
第１０回	既存楽曲のアレンジ	相原
第１１回	既存楽曲のアレンジ（添削）	相原
第１２回	作品制作（テーマ・リファレンス）	相原
第１３回	作品制作（作曲）	相原
第１４回	作品制作（アレンジ）	相原
第１５回	作品制作（添削）	相原
第１６回	課題提出	相原

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１	授業中に適宜資料を配布する。	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	音響デザインＡ （Aクラス）	担当者	相原　恒
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-223

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生はオリジナル曲を制作する。「自らイメージ通りの曲が作れるようになる」ことをテーマとし、既存曲や各ジャンルの特徴を参照しながら、表現能力を身につける。各自の音楽表現ができるようになるために、基本的な知識と技術を学ぶ。その上で、コンピューターソフトを使った音楽創作を行い、イメージに合った独自の音楽を制作できるようになる。音楽制作を経験し、既存の音楽にない独自の音楽表現ができる技術を身につける。DAW（デジタルオーディオワークステーション）を使った短い楽曲制作及び編集ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	Steinberg社製のDAWソフト「Cubase」を使用し、教員が指定した具体的なテーマについてオリジナル楽曲制作を行う。制作に必要なソフトの操作方法やテクニック、作曲に必要な音楽理論の基礎も学ぶ。一人一人が１台のPCを操作し、教員の机間巡視によって個別指導を行う。 目的は、自身のイメージする楽曲を自由に創造することである。効果音制作や短い作品を完成させることを目標とする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、実務経験を持つ教員がその経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	この科目では、デジタルソフトの操作方法や音楽創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、授業の課題・作品評価(70%)、演習学修態度(30%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
履修条件・注意事項	2年次の音響演習を履修していることが条件とする
実務経験のある教員	該当する　／　内容：CMの楽曲制作 アーケード、コンシューマー、スマートフォンゲームの楽曲制作 他大学での非常勤講師及び岡山市の音楽教室講師
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	基本的には授業の前後に質問等を受け付ける。

	授業計画	担当者
第１回	ピアノ曲制作①	相原
第２回	ピアノ曲制作②	相原
第３回	ピアノ曲制作③	相原
第４回	ピアノ曲制作④	相原

第５回	バンドサウンド制作①	相原
第６回	バンドサウンド制作②	相原
第７回	バンドサウンド制作③	相原
第８回	バンドサウンド制作④	相原
第９回	バンドサウンド制作⑤	相原
第１０回	バンドサウンド制作⑥	相原
第１１回	和風楽曲制作①	相原
第１２回	和風楽曲制作②	相原
第１３回	和風楽曲制作③	相原
第１４回	和風楽曲制作④	相原
第１５回	和風楽曲制作⑤	相原
第１６回	和風楽曲制作⑥	相原

教科書			
教・書籍名１	授業中に適宜資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	音響デザインA （Bクラス）	担当者	相原　恒
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-223

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生はオリジナル曲を制作する。「自らイメージ通りの曲が作れるようになる」ことをテーマとし、既存曲や各ジャンルの特徴を参照しながら、表現能力を身につける。各自の音楽表現ができるようになるために、基本的な知識と技術を学ぶ。その上で、コンピューターソフトを使った音楽創作を行い、イメージに合った独自の音楽を制作できるようになる。音楽制作を経験し、既存の音楽にない独自の音楽表現ができる技術を身につける。DAW（デジタルオーディオワークステーション）を使った短い楽曲制作及び編集ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	Steinberg社製のDAWソフト「Cubase」を使用し、教員が指定した具体的なテーマについてオリジナル楽曲制作を行う。制作に必要なソフトの操作方法やテクニック、作曲に必要な音楽理論の基礎も学ぶ。一人一人が１台のPCを操作し、教員の机間巡視によって個別指導を行う。 目的は、自身のイメージする楽曲を自由に創造することである。効果音制作や短い作品を完成させることを目標とする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、実務経験を持つ教員がその経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	この科目では、デジタルソフトの操作方法や音楽創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、授業の課題・作品評価(70%)、演習学修態度(30%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
履修条件・注意事項	2年次の音響演習を履修していることが条件とする
実務経験のある教員	該当する　／　内容：CMの楽曲制作 アーケード、コンシューマー、スマートフォンゲームの楽曲制作 他大学での非常勤講師及び岡山市の音楽教室講師
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	基本的には授業の前後に質問等を受け付ける。

	授業計画	担当者
第１回	ピアノ曲制作①	相原
第２回	ピアノ曲制作②	相原
第３回	ピアノ曲制作③	相原
第４回	ピアノ曲制作④	相原

第５回	バンドサウンド制作①	相原
第６回	バンドサウンド制作②	相原
第７回	バンドサウンド制作③	相原
第８回	バンドサウンド制作④	相原
第９回	バンドサウンド制作⑤	相原
第１０回	バンドサウンド制作⑥	相原
第１１回	和風楽曲制作①	相原
第１２回	和風楽曲制作②	相原
第１３回	和風楽曲制作③	相原
第１４回	和風楽曲制作④	相原
第１５回	和風楽曲制作⑤	相原
第１６回	和風楽曲制作⑥	相原

教科書			
教・書籍名１	授業中に適宜資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	音響デザインＢ （Aクラス）	担当者	相原　恒
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-224

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生はオリジナル曲を制作する。「自らイメージ通りの曲が作れるようになる」ことをテーマとし、既存曲や各ジャンルの特徴を参照しながら、表現能力を身につける。各自の音楽表現ができるようになるために、基本的な知識と技術を学ぶ。その上で、コンピューターソフトを使った音楽創作を行い、イメージに合った独自の音楽を制作できるようになる。音楽制作を経験し、既存の音楽にない独自の音楽表現ができる技術を身につける。DAW（デジタルオーディオワークステーション）を使った短い楽曲制作及び編集ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	Steinberg社製のDAWソフト「Cubase」を使用し、教員が指定した具体的なテーマについてオリジナル楽曲制作を行う。制作に必要なソフトの操作方法やテクニック、作曲に必要な音楽理論の基礎も学ぶ。一人一人が１台のPCを操作し、教員の机間巡視によって個別指導を行う。 目的は、自身のイメージする楽曲を自由に創造することである。効果音制作や短い作品を完成させることを目標とする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、実務経験を持つ教員がその経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	この科目では、デジタルソフトの操作方法や音楽創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、授業の課題・作品評価(70%)、演習学修態度(30%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
履修条件・注意事項	2年次の音響演習を履修していることが条件とする
実務経験のある教員	該当する　／　内容：CMの楽曲制作 アーケード、コンシューマー、スマートフォンゲームの楽曲制作 他大学での非常勤講師及び岡山市の音楽教室講師
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	基本的には授業の前後に質問等を受け付ける。

	授業計画	担当者
第１回	クラシック曲アレンジ①	相原
第２回	クラシック曲アレンジ②	相原
第３回	クラシック曲アレンジ③	相原
第４回	クラシック曲アレンジ④	相原
第５回	エレクトロミュージック制作①	相原
第６回	エレクトロミュージック制作②	相原

第７回	エレクトロミュージック制作③	相原
第８回	エレクトロミュージック制作④	相原
第９回	作品制作①	相原
第１０回	作品制作②	相原
第１１回	作品制作③	相原
第１２回	作品制作④	相原
第１３回	作品制作⑤	相原
第１４回	作品制作⑥	相原
第１５回	作品制作⑦	相原
第１６回	課題提出	相原

教科書			
教・書籍名１	授業中に適宜資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	音響デザインB （Bクラス）	担当者	相原　恒
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-224

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生はオリジナル曲を制作する。「自らイメージ通りの曲が作れるようになる」ことをテーマとし、既存曲や各ジャンルの特徴を参照しながら、表現能力を身につける。各自の音楽表現ができるようになるために、基本的な知識と技術を学ぶ。その上で、コンピューターソフトを使った音楽創作を行い、イメージに合った独自の音楽を制作できるようになる。音楽制作を経験し、既存の音楽にない独自の音楽表現ができる技術を身につける。DAW（デジタルオーディオワークステーション）を使った短い楽曲制作及び編集ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	Steinberg社製のDAWソフト「Cubase」を使用し、教員が指定した具体的なテーマについてオリジナル楽曲制作を行う。制作に必要なソフトの操作方法やテクニック、作曲に必要な音楽理論の基礎も学ぶ。一人一人が１台のPCを操作し、教員の机間巡視によって個別指導を行う。 目的は、自身のイメージする楽曲を自由に創造することである。効果音制作や短い作品を完成させることを目標とする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、実務経験を持つ教員がその経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	この科目では、デジタルソフトの操作方法や音楽創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、授業の課題・作品評価(70%)、演習学修態度(30%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
履修条件・注意事項	2年次の音響演習を履修していることが条件とする
実務経験のある教員	該当する　／　内容：CMの楽曲制作 アーケード、コンシューマー、スマートフォンゲームの楽曲制作 他大学での非常勤講師及び岡山市の音楽教室講師
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	基本的には授業の前後に質問等を受け付ける。

	授業計画	担当者
第１回	クラシック曲アレンジ①	相原
第２回	クラシック曲アレンジ②	相原
第３回	クラシック曲アレンジ③	相原
第４回	クラシック曲アレンジ④	相原
第５回	エレクトロミュージック制作①	相原
第６回	エレクトロミュージック制作②	相原

第７回	エレクトロミュージック制作③	相原
第８回	エレクトロミュージック制作④	相原
第９回	作品制作①	相原
第１０回	作品制作②	相原
第１１回	作品制作③	相原
第１２回	作品制作④	相原
第１３回	作品制作⑤	相原
第１４回	作品制作⑥	相原
第１５回	作品制作⑦	相原
第１６回	課題提出	相原

教科書			
教・書籍名１	授業中に適宜資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	CG基礎A （Bクラス）	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-225

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、コンピュータによるアニメ制作に関連した画像処理の基礎理論および基礎技法を修得することができる。 MacおよびWindowsソフトウェアの画像作成および画像処理の基礎スキルを身につけることができる。 具体的には、Macで画像処理系の基礎的アプリケーションソフトの利用を指導し、学生はCGを活用した効率的な作品作成を行うための基礎知識を修得でき、公益財団法人 画像情報教育振興協会のCGクリエイター検定ベーシック受験の力をつけることができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「画像処理におけるコンピュータリテラシー」と「課題理解能力」である。
授業概要	情報のデジタル化、CG開発の歴史、画像処理の要素と機構、画像処理系基礎アプリケーションの基本機能などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	制作工程の区切りごとに進捗と完成度を確認する。最終的な課題完成についてはコメントを付記する。
履修条件・注意事項	CG基礎理論の修得を重視して進める。 コンピュータ活用であるので、1年次に得た知見を十分復習しておくことが望ましい。さらに各回の講義に対して予習・復習を十分におこなうこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと（90分）。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと（90分）。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて、月曜4限をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	1 オリエンテーション	今村
第２回	2 画像処理の構成要素	今村
第３回	3 CG活用の歴史	今村
第４回	4 画像処理概論	今村
第５回	5 Mac系CG：2DCG	今村

第６回	6 Windoows系CG：3DCG	今村
第７回	7 CG作成技法　ペイント系	今村
第８回	8 CG作成技法　ドロー系	今村
第９回	9 ペイントとレタッチとは何か	今村
第１０回	10 ドローの座標指定とは何か	今村
第１１回	11 ペイントとドロー連携技法	今村
第１２回	12 デジタル編集とは何か	今村
第１３回	13 エフェクト構成と操作	今村
第１４回	14.簡易動画出力	今村
第１５回	15 CG練習課題作成	今村
第１６回	16 CG提出課題試験	今村

教科書			
教・書籍名１	授業内容に即したPDF資料を適宜配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	入門CGデザイン -CG制作の基礎- [改訂新版]	参・出版社名１	公益財団法人画像情報教育振興協会（CG-ARTS協会）
参・著者名１	［編集委員長］ 木村卓（株式会社 IMAGICA） ［執筆者］ 大口 孝之（映像ジャーナリスト） 川口 吾妻（女子美術大学） 木村 卓（株式会社 IMAGICA） 久保田 浩明（株式会社東芝） 源田 悦夫（九州大学大学院） 後藤 道子（九州大学大学院） 小林 昭世（武蔵野美術大学） 佐藤 皇太郎（サトリデザイン／関東学院大学） 鈴木 祐貴（日本コンピュータ学園東北電子専門学校） 西井 育生（株式会社ロボット） 原田 泰（公立はこだて未来大学） 松隈 浩之（九州大学大学院） 三上 浩司（東京工科大学） 山本 浩司（株式会社スタジオウォールナット）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-903474-47-2
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	CG基礎A （Aクラス）	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-225

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、コンピュータによるアニメ制作に関連した画像処理の基礎理論および基礎技法を修得することができる。 MacおよびWindowsソフトウェアの画像作成および画像処理の基礎スキルを身につけることができる。 具体的には、Macで画像処理系の基礎的アプリケーションソフトの利用を指導し、学生はCGを活用した効率的な作品作成を行うための基礎知識を修得でき、公益財団法人 画像情報教育振興協会のCGクリエイター検定ベーシック受験の力をつけることができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「画像処理におけるコンピュータリテラシー」と「課題理解能力」である。
授業概要	情報のデジタル化、CG開発の歴史、画像処理の要素と機構、画像処理系基礎アプリケーションの基本機能などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	制作工程の区切りごとに進捗と完成度を確認する。最終的な課題完成についてはコメントを付記する。
履修条件・注意事項	CG基礎理論の修得を重視して進める。 コンピュータ活用であるので、1年次に得た知見を十分復習しておくことが望ましい。さらに各回の講義に対して予習・復習を十分におこなうこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと（90分）。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと（90分）。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて、月曜4限をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	1 オリエンテーション	今村
第２回	2 画像処理の構成要素	今村
第３回	3 CG活用の歴史	今村
第４回	4 画像処理概論	今村
第５回	5 Mac系CG：2DCG	今村

第６回	6 Windoows系CG：3DCG	今村
第７回	7 CG作成技法　ペイント系	今村
第８回	8 CG作成技法　ドロー系	今村
第９回	9 ペイントとレタッチとは何か	今村
第１０回	10 ドローの座標指定とは何か	今村
第１１回	11 ペイントとドロー連携技法	今村
第１２回	12 デジタル編集とは何か	今村
第１３回	13 エフェクト構成と操作	今村
第１４回	14.簡易動画出力	今村
第１５回	15 CG練習課題作成	今村
第１６回	16 CG提出課題試験	今村

教科書			
教・書籍名１	授業内容に即したPDF資料を適宜配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	入門CGデザイン -CG制作の基礎- [改訂新版]	参・出版社名１	公益財団法人画像情報教育振興協会（CG-ARTS協会）
参・著者名１	［編集委員長］ 木村卓（株式会社 IMAGICA） ［執筆者］ 大口 孝之（映像ジャーナリスト） 川口 吾妻（女子美術大学） 木村 卓（株式会社 IMAGICA） 久保田 浩明（株式会社東芝） 源田 悦夫（九州大学大学院） 後藤 道子（九州大学大学院） 小林 昭世（武蔵野美術大学） 佐藤 皇太郎（サトリデザイン／関東学院大学） 鈴木 祐貴（日本コンピュータ学園東北電子専門学校） 西井 育生（株式会社ロボット） 原田 泰（公立はこだて未来大学） 松隈 浩之（九州大学大学院） 三上 浩司（東京工科大学） 山本 浩司（株式会社スタジオウォールナット）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-903474-47-2
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	CG基礎B （Bクラス）	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-226

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、CGについての応用概念を理解し、CGソフトウェアの応用技法を修得して、発展的なＣＧ制作ができることがテーマである。 秋期はＣＧの応用概念を理解し、説明できること、またそのための応用スキルを身につけることを到達目標とする。 学生は、CGソフトウェアを使用して、発展的なCG造形及びＣＧアニメーション作成を行うための応用知識と技能を学ぶことができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「CG制作におけるコンピュータリテラシー」と「課題作成能力」である。
授業概要	情報のデジタル化、CG開発の歴史、画像処理の要素と機構、画像処理系アプリケーションの応用機能などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	制作工程の区切りごとに進捗と完成度を確認する。最終的な課題完成についてはコメントを付記する。
履修条件・注意事項	CG基礎理論の修得を重視して進める。 コンピュータ活用であるので、1年次に得た知見を十分復習しておくことが望ましい。さらに各回の講義に対して予習・復習を十分におこなうこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと（90分）。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと（90分）。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて、火曜4限をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	1 オリエンテーション	今村
第２回	2 2DCGソフトウェアの３D表現	今村
第３回	3 LiLive2Dの概要	今村
第４回	4 Live2Dのサンプルキャラクター制作	今村
第５回	5 Live2Dのサンプルキャラクター編集	今村

第６回	6 Live2Dのサンプルキャラクターのアニメーション設定	今村
第７回	7 Live2Dのサンプルキャラクターの簡易動画出力	今村
第８回	8 Live2Dの人体キャラクター制作	今村
第９回	9 Live2Dの人体キャラクターの編集	今村
第１０回	10 Live2Dの人体キャラクターのアニメーション設定	今村
第１１回	11 Live2Dの人体キャラクターの動画出力	今村
第１２回	12 Live2Dのオリジナルキャラクターの設計	今村
第１３回	13 Live2Dのオリジナルキャラクターの編集	今村
第１４回	14.Live2Dのオリジナルキャラクターのアニメーション設定	今村
第１５回	15 Live2Dのオリジナルキャラクターの動画出力	今村
第１６回	16 Live2D提出課題試験	今村

教科書			
教・書籍名１	授業内容に即したPDF資料を適宜配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	たのしいLive2Dの入門教室	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ
参・著者名１	乃樹坂くしお	参・ＩＳＢＮ１	978-4802511971
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	CG基礎B （Aクラス）	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-226

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、CGについての応用概念を理解し、CGソフトウェアの応用技法を修得して、発展的なＣＧ制作ができることがテーマである。 秋期はＣＧの応用概念を理解し、説明できること、またそのための応用スキルを身につけることを到達目標とする。 学生は、CGソフトウェアを使用して、発展的なCG造形及びＣＧアニメーション作成を行うための応用知識と技能を学ぶことができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「CG制作におけるコンピュータリテラシー」と「課題作成能力」である。
授業概要	情報のデジタル化、CG開発の歴史、画像処理の要素と機構、画像処理系アプリケーションの応用機能などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30％、課題等の提出物30％、試験40％、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	制作工程の区切りごとに進捗と完成度を確認する。最終的な課題完成についてはコメントを付記する。
履修条件・注意事項	CG基礎理論の修得を重視して進める。 コンピュータ活用であるので、1年次に得た知見を十分復習しておくことが望ましい。さらに各回の講義に対して予習・復習を十分におこなうこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと（90分）。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと（90分）。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて、火曜4限をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	1 オリエンテーション	今村
第２回	2 2DCGソフトウェアの３D表現	今村
第３回	3 LiLive2Dの概要	今村
第４回	4 Live2Dのサンプルキャラクター制作	今村
第５回	5 Live2Dのサンプルキャラクター編集	今村

第６回	6 Live2Dのサンプルキャラクターのアニメーション設定	今村
第７回	7 Live2Dのサンプルキャラクターの簡易動画出力	今村
第８回	8 Live2Dの人体キャラクター制作	今村
第９回	9 Live2Dの人体キャラクターの編集	今村
第１０回	10 Live2Dの人体キャラクターのアニメーション設定	今村
第１１回	11 Live2Dの人体キャラクターの動画出力	今村
第１２回	12 Live2Dのオリジナルキャラクターの設計	今村
第１３回	13 Live2Dのオリジナルキャラクターの編集	今村
第１４回	14.Live2Dのオリジナルキャラクターのアニメーション設定	今村
第１５回	15 Live2Dのオリジナルキャラクターの動画出力	今村
第１６回	16 Live2D提出課題試験	今村

教科書			
教・書籍名１	授業内容に即したPDF資料を適宜配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	たのしいLive2Dの入門教室	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ
参・著者名１	乃樹坂くしお	参・ＩＳＢＮ１	978-4802511971
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	３Ｄ基礎A	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年／ 2020～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	AN-AN-1-227

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、コンピュータによるアニメ制作に関連した3DCG制作の基礎理論および基礎技法を修得することができる。 3DCG制作ソフトウェアによる造形および画像処理の基礎スキルを身につけることができる。 具体的には、代表的な3DCGソフトウェアの基礎概念を講義し、学生は初年次における3DCG作品作成過程の導入とすることができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「3DCG制作におけるコンピュータリテラシー」と「課題理解能力」である。
授業概要	情報のデジタル化、3DCG開発の歴史、3DCGの要素と機構、3DCG基礎アプリケーションの基本機能などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30％、課題等の提出物30％、試験40％、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	制作工程の区切りごとに進捗と完成度を確認する。最終的な課題完成についてはコメントを付記する。
履修条件・注意事項	実習が中心となるので、ある程度コンピュータ操作に習熟していることが望ましい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと（90分）。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと（90分）。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。
オフィスアワー	14号館６階研究室にて、月曜４限をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	1 オリエンテーション	今村
第２回	2 3DCGの構成要素	今村
第３回	3 3DCG活用の歴史	今村
第４回	4 3DCG処理概論	今村
第５回	5 3DCG;素材作成	今村
第６回	6 Blenderの概要	今村

第７回	7 Blenderの基本操作	今村
第８回	8 Blenderモデリングーブロックモデル	今村
第９回	9 Blenderテクスチャ設定	今村
第１０回	10 Blenderの簡易アニメーション	今村
第１１回	11 Blenderのカメラ設定	今村
第１２回	12 Blenderのレンダリング設定	今村
第１３回	13 Blenderモデリングー人物モデル	今村
第１４回	14.オブジェクトとアーマチュア（ボーン）	今村
第１５回	15 Blender練習課題作成	今村
第１６回	16 Blender提出課題試験	今村

教科書			
教・書籍名１	授業内容に即したPDF資料を適宜配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	３Ｄ基礎B			担当者	今村　俊介		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年／ 2021～ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	AN-AN-1-228		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、３ＤCGについての基礎概念を理解し、3DCGソフトウェアの基礎技法を修得して、基本的な3ＤＣＧ制作ができることがテーマである。 秋期は3ＤＣＧの応用概念を理解し、説明できること、またそのための応用スキルを身につけることを到達目標とする。 学生は、3DCGソフトウェアを使用して、より拡張的な3D造形及び3Dアニメーション作成を行うための応用知識と技能を学ぶことができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「3DCG制作におけるコンピュータリテラシー」と「課題作成能力」である。
授業概要	情報のデジタル化、3DCG開発の現況、3DCGの要素と機構、3DCGアプリケーションの応用機能などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30％、課題等の提出物30％、試験40％、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	制作工程の区切りごとに進捗と完成度を確認する。最終的な課題完成についてはコメントを付記する。
履修条件・注意事項	実習であるので、ある程度コンピュータの捜査に習熟していることが望ましい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと（90分）。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと（90分）。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて月曜4限に実施。

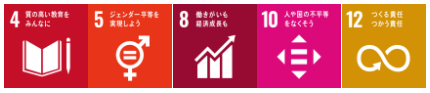
	授業計画	担当者
第１回	1 オリエンテーション	今村
第２回	2 Blenderの構成要素	今村
第３回	3 Blender活用の現在	今村
第４回	4 Blender人型モデリング	今村
第５回	5 Blender人型モデルテクスチャ設定	今村

第６回	6 Blenderオブジェクトとアーマチュア設定	今村
第７回	7 Blenderのアーマチュア設計詳細	今村
第８回	8 Blenderオブジェクトとアーマチュアの関連付け	今村
第９回	9 BlenderFKとIKについて	今村
第１０回	10 BlenderのIK設定	今村
第１１回	11 Blenderの詳細なカメラ設定	今村
第１２回	12 Blenderのアニメーション設定	今村
第１３回	13 Blenderアニメーション設定ー複数の動きを組み合わせる	今村
第１４回	14.Blenderアニメーション設定ー全体の動きを調整する	今村
第１５回	15 Blenderレンダリング出力	今村
第１６回	16 Blender提出課題試験	今村

教科書			
教・書籍名１	授業内容に即したPDF資料を適宜配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	３Ｄモデリング Ａ			担当者	今村　俊介、三宅　俊治、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-229		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任 
到達目標	学生は「３DCGモデリング技術の修得」をテーマとし、ソフトの使用方法の基礎を学び、オリジナルのキャラクターのモデリングができる能力を身につけることができる。目的に応じた3DCGソフトの的確な使い方を丁寧に学習し、確実にモデリングができることを大切にすることで、ネット上で活動できるVチューバーキャラクターや動画コンテンツを制作できるようになる。 自分が表現したいキャラクターをデザインし、モデリングして完成させることを到達目標とする。
授業概要	3DモデリングソフトBlenderを使用して、モデリングの演習を行う。まずソフトの使用方法を基礎から学び、簡単な立体造形を行うことで、基本的なソフトの機能を確認する。次の段階でやや複雑な立体のモデリングを行い、ソフト全体の操作方法を学修する。オリジナルキャラクターのデザインを行い、モデリングの過程を学習して細部を制作する。最終的に自主制作作品を完成できるための知識と技術を身につけることを目標にする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、３DCGモデリングの制作能力を身につけることを目的としているため、演習課題（50%）、作品提出（50%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	モデリングの基礎を固める授業であるため、授業の前後以外にも毎日制作研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、モデリングに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。
実務経験のある教員	該当する　内容　3DCGモデラー、Vチューバーデザイナーとして会社経営に関わる教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	授業に必要になるキャラクター、その他資料になるものは、予習の中で授業前に各自用意をし、また復習時間をもち完成度を高めた作品を完成することが必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	授業の前後に質問等を受け付ける。

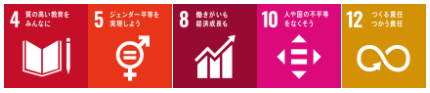
	授業計画	担当者
第１回	3DCGの学習方法と学修計画	今村俊介・前嶋英輝
第２回	Blenderの基本的な使い方	今村俊介・前嶋英輝
第３回	顔の平面の作成方法	今村俊介・前嶋英輝
第４回	顔の立体の基本	今村俊介・前嶋英輝
第５回	顔の立体の作成	今村俊介・前嶋英輝
第６回	髪の毛の基本	今村俊介・前嶋英輝
第７回	髪の毛の作成	今村俊介・前嶋英輝
第８回	素体ボディのモデリングの基本	今村俊介・前嶋英輝
第９回	素体ボディのモデリングの手順	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１０回	素体ボディのモデリングの実践	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝

第１１回	素体ボディのモデリングの完成	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１２回	ドレス衣装のモデリングの基本	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１３回	ドレス衣装のモデリングの手順	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１４回	ドレス衣装のモデリングの実践	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１５回	Blenderの使い方のまとめ	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１６回	課題提出	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	Blender標準テクニック ローポリキャラクター制作で学ぶ3DCG	教・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
教・著者名１	友	教・ＩＳＢＮ１	978-4844366379
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	授業で適宜指示します。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	３Ｄモデリング Ｂ			担当者	今村　俊介、三宅　俊治、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-230		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任 
到達目標	学生は「３DCGモデリング技術の修得と応用」をテーマとし、ソフトの使用方法の応用を学び、オリジナルのキャラクターのモデリングができる能力を身につけることができる。目的に応じた3DCGソフトの的確な使い方を丁寧に学習し、確実にモデリングができることを大切にすることで、ネット上で活動できるVチューバーキャラクターや動画コンテンツを制作できるようになる。 自分が表現したいキャラクターをモデリングして、動きをつけて完成させることを到達目標とする。
授業概要	3DモデリングソフトBlenderを使用して、モデリングの演習を行う。まずソフトの使用方法について事例をもとに学び立体造形を行うことで応用可能なソフトの機能を確認する。次の段階で具体的なオリジナルの3Dモデリングを学修する。オリジナルキャラクターのデザインを行い、モデリングの過程を学習して細部を制作する。最終的に自主制作作品がunityなどの３Dゲーム開発ソフトで活用できるための知識と技術を身につけることを目標にする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、３DCGモデリングの制作能力を身につけることを目的としているため、演習課題（50%）、作品提出（50%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	モデリングの基礎を固める授業であるため、授業の前後以外にも毎日制作研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、モデリングに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。
実務経験のある教員	該当する　内容　３Dキャラクター制作を中心とする会社勤務を行なっている教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	授業に必要になるキャラクター、その他資料になるものは、予習の中で授業前に各自用意をし、また復習時間をもち完成度を高めた作品を完成することが必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	授業の前後に質問等を受け付ける。

	授業計画	担当者
第１回	3DCGの学習方法と学修計画	今村俊介・前嶋英輝
第２回	Blenderの基本的な使い方の確認	今村俊介・前嶋英輝
第３回	キャラクターの顔の平面の確認	今村俊介・前嶋英輝
第４回	キャラクターの顔の立体の確認	今村俊介・前嶋英輝
第５回	キャラクターの顔の立体の応用	今村俊介・前嶋英輝
第６回	髪の毛の作成方法の確認	今村俊介・前嶋英輝
第７回	髪の毛の作成の応用方法	今村俊介・前嶋英輝
第８回	素体ボディのモデリング技術確認	今村俊介・前嶋英輝
第９回	素体ボディのモデリング応用方法	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１０回	素体ボディのモデリングの実践	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝

第１１回	素体ボディのモデリングの完成	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１２回	ドレス衣装のモデリング技術確認	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１３回	ドレス衣装のモデリング応用方法	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１４回	ドレス衣装のモデリングの実践	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１５回	ドレス衣装のモデリングの完成	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１６回	課題提出	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	Blender標準テクニック ローポリキャラクター制作で学ぶ3DCG	教・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
教・著者名１	友	教・ＩＳＢＮ１	978-4844366379
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	授業で適宜指示をします。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	デッサン基礎A			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年／ 2021～ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	AN-AN-1-231		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は「デッサンの基礎を身につける」ことをテーマとし、様々な材料や道具を使いながらデッサンの能力を身につける。ものの形や量を自分のイメージに合わせて描くことができるようになるために、基本的な形態を把握する力をつける。特に人体の観察を行い、クロッキーやデッサンによって正確に描写できるようになる。 学生は、イラストや絵コンテのあたりを柔らかい線ですばやく描けるようになることを到達目標とする。
授業概要	クロッキーを中心にデッサンの基礎を学ぶ。目的は、ものを見る力を高め、形態（フォルム）と動勢（ムーヴマン）を描くことができるようになることである。 具体的には、人物クロッキーを中心に、動物や静物を描く。木炭、鉛筆、色鉛筆、コンテ、パステルなどの素材を使い分けられるようにする。またプロポーショ ンと明暗を見るトレーニングを行う。さらにアニメーションや漫画、絵本作品の模写を行うことにより、フリーハンドでイメージを描写できるようにする。順番に前に立ってモデルをしたり、静物を描いたりしながら、一人ひとりが絵を描きためていく形態で授業を進める。DP（ディプロマポリシー）に対して「十分な描画力を有し、鉛筆や色材を使って完成度の高い作品を追求できる」能力を育むために「計画性を持って根気強く丁寧な研究や制作ができる」ことを重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、デッサンの能力を身につけることを目的としていることから、毎回のクロッキーなどの作品課題（60%）、到達目標達成度を見る実技試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については最初の授業で説明する。クロッキーや模写などの課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業期間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、実際に手を動かして予習を行うことが必要である。またクロッキー帳などをもとに復習としてドローイングを行うことが 重要である。最終課題では、到達目標の理解度を見るため積極的な取り組みが必要である。デッサン基礎Ｉで学ぶことを、日々の自分の制作に活かして、手描き でイメージを表現出来るよう練習を繰り返すことと、クロッキー課題では、少なくともスケッチブック1冊（100枚）を提出することが重要である。 初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　内容：岡山県立高校の美術授業でのデッサン指導、中学校での美術授業、短期大学での造形授業の経験があり、現在全国公募展審査員でもある教員が指導を行う。
事前学習・事後学習とその時間	クロッキー帳に学期ごとに１００枚以上の模写やスケッチを行い、ネットや書籍によって参考作品を鑑賞して、授業で学んだ描き方について予習復習を行う。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	1. デッサン・紙コップ	前嶋英輝

第２回	2. クロッキーの方法	前嶋英輝
第３回	3. フカンとアオリ	前嶋英輝
第４回	4. 石膏デッサン・比例	前嶋英輝
第５回	5. 石膏デッサン・色値	前嶋英輝
第６回	6. 人体の構造	前嶋英輝
第７回	7. 女性のポーズと構造	前嶋英輝
第８回	8. 男性のポーズと構造	前嶋英輝
第９回	9. 手と足	前嶋英輝
第１０回	10. 顔	前嶋英輝
第１１回	11. 人物クロッキー	前嶋英輝
第１２回	12. クロッキーの量感	前嶋英輝
第１３回	13. クロッキーの動勢	前嶋英輝
第１４回	14. デッサンの線と質感	前嶋英輝
第１５回	15. デッサンのパース表現	前嶋英輝
第１６回	16. 作品提出と講評	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	デッサン基礎B			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年／ 2021～ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	AN-AN-1-232		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は「自分のイメージをデッサンする」ことをテーマとして、見たものやイメージしたものをフリーハンドで描く能力を身につける。人物や風景、静物などをモチーフとして素描を正確に描くことができるようになる。 学生が、動きのある人物を、自分の感じたようにデフォルメしながら描けるようになることを到達目標とする。
授業概要	人物クロッキーと人物画、風景画を中心に行う。デッサン力を高めるために、できるだけ数多くクロッキーを行う。動きのある人物クロッキーを短時間で行うことで、イメージをすばやく描きとめるトレーニングを行う。また遠近法を学習し、風景画の構図や部分の描き分け方などを学ぶ。人物画では、あたりの付け方か ら線の強弱まで様々な表情のある絵の描き方を工夫し、対象となる人物の心理的な動きまで観察して描けるようにする。さらに絵コンテの制作ができるようになる。 お互いにモデルになり、実際によく見て描くことを大切にする授業形態をとる。DP（ディプロマポリシー）に対して「十分な描画力を有し、鉛筆や色材を使って完成度の高い作品を追求できる」能力を育むために「計画性を持って根気強く丁寧な研究や制作ができる」ことを重視している。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、デッサンの能力を身につけることを目的としていることから、毎回のクロッキーなどの作品課題（60%）、到達目標達成度を見る実技試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については最初の授業で説明する。クロッキーや模写などの課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業期間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、実際に手を動かして予習を行うことが必要である。またクロッキー帳などをもとに復習としてドローイングを行うことが 重要である。最終課題では、到達目標の理解度を見るため積極的な取り組みが必要である。授業で学ぶことを、日々の自分の制作に活かして、手描きでイメージを表現出来るよう練習を繰り返すことと、クロッキー課題では、少なくともスケッチブック1冊（100枚）を提出することが重要である。 初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：岡山県立高校の美術授業でのデッサン指導、中学校での美術授業、短期大学での造形授業の経験があり、現在全国公募展審査員でもある教員が指導を行う。
事前学習・事後学習とその時間	クロッキー帳に学期ごとに１００枚以上の模写やスケッチを行い、ネットや書籍によって参考作品を鑑賞して、授業で学んだ描き方について予習復習を行う。　1コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	デッサン・ピーマン	前嶋英輝
第２回	量感・動勢の見方	前嶋英輝
第３回	動きのあるクロッキー	前嶋英輝
第４回	人体解剖図研究	前嶋英輝
第５回	人体デッサンのポイント	前嶋英輝
第６回	人体の動勢	前嶋英輝

第７回	手や足の構造と模写	前嶋英輝	
第８回	人体のつながりと動きの確認	前嶋英輝	
第９回	人物クロッキー	前嶋英輝	
第１０回	人物の表情とキャラクター化	前嶋英輝	
第１１回	人物クロッキーのポイント	前嶋英輝	
第１２回	人物クロッキー・着衣	前嶋英輝	
第１３回	人物クロッキー・動き	前嶋英輝	
第１４回	石膏デッサン・あたり	前嶋英輝	
第１５回	石膏デッサン・量感	前嶋英輝	
第１６回	作品提出	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ゼロから学ぶプロの技　神技作画	参・出版社名１	KADOKAWA
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-04-601503-7
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	造形美術演習Ａ			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-233		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「造形美術の基礎を身につける」ことをテーマとし、様々な材料や道具を使いながら造形美術の基礎的能力を身につけることができる。ものの形態や構造を把握するための観る力を高め、線や量を自分のイメージに合わせて造形できるようになる。クロッキーやデッサン、塑像などの基礎的な技能を身につける。マッスとヴォリュームを理解し、形態を空間認識できるようになることを到達目標とする。特に人体においては内触覚性を理解し、造形に活かすことが出来るようになることが重要である。
授業概要	クロッキー、デッサン、塑像の基礎を学ぶ。目的は、ものを見る力を高め、形態（フォルム）と動勢（ムーヴマン）を描くことができるようになることである。また3Dモデリングにおける空間認識力を高めるために人体のモデルイメージを蓄積する。具体的には、人物クロッキーや石膏デッサン、塑像による頭像制作などを行う。木炭、鉛筆などの素材を使い分けられるようにする。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、造形能力を身につけることを目的としていることから、毎回の作品制作（60%）、到達目標達成度を見る作品制作（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、実際に手を動かして予習を行うことが必要である。具体的にはネット検索などで参考資料を集め、模写を行ったり、オリジナル制作の原案を作ったりすることが重要である。最終課題では、到達目標の理解度を見るため積極的な取り組みが必要である。初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　内容　高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、彫刻家、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	ネットや書籍によって参考作品を鑑賞して、授業で学んだ描き方について予習復習を行う。1コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	デッサン・紙コップ	前嶋英輝
第２回	クロッキーの方法	前嶋英輝
第３回	フカンとアオリ	前嶋英輝
第４回	石膏デッサン・比例	前嶋英輝
第５回	石膏デッサン・色価	前嶋英輝
第６回	人体の構造	前嶋英輝
第７回	女性のポーズと構造	前嶋英輝
第８回	男性のポーズと構造	前嶋英輝
第９回	手と足	前嶋英輝
第１０回	顔	前嶋英輝
第１１回	人物クロッキー	前嶋英輝
第１２回	クロッキーの量感	前嶋英輝
第１３回	クロッキーの動勢	前嶋英輝
第１４回	デッサンの線と質感	前嶋英輝

第１５回	デッサンのパース表現	前嶋英輝	
第１６回	作品提出	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	造形美術演習Ｂ			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-234		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「造形美術の基本を理解する」ことをテーマとし、様々な材料や道具を使いながら造形美術の基礎的能力を身につけることができる。ものの形態や構造を把握するための観る力を高め、線や量を自分のイメージに合わせて造形できるようになる。クロッキーやデッサン、塑像などの基礎的な技能を身につける。マッスとヴォリュームを理解し、形態を空間認識できるようになることを到達目標とする。特に人体においては内触覚性を理解し、造形に活かすことが出来るようになることが重要である。
授業概要	クロッキー、デッサン、塑像の基礎を学ぶ。目的は、ものを見る力を高め、形態（フォルム）と動勢（ムーヴマン）を描くことができるようになることである。また3Dモデリングにおける空間認識力を高めるために人体のモデルイメージを蓄積する。具体的には、人物クロッキーや石膏デッサン、塑像による頭像制作などを行う。木炭、鉛筆などの素材を使い分けられるようにする。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、造形能力を身につけることを目的としていることから、毎回の作品制作（60%）、到達目標達成度を見る作品制作（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、実際に手を動かして予習を行うことが必要である。具体的にはネット検索などで参考資料を集め、模写を行ったり、オリジナル制作の原案を作ったりすることが重要である。最終課題では、到達目標の理解度を見るため積極的な取り組みが必要である。初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　内容　高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、彫刻家、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	ネットや書籍によって参考作品を鑑賞して、授業で学んだ描き方について予習復習を行う。1コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	造形美術の基本	前嶋英輝
第２回	石膏デッサン（鉛筆）	前嶋英輝
第３回	石膏デッサンの動勢	前嶋英輝
第４回	人物クロッキー（女性）	前嶋英輝
第５回	人物クロッキー（男性）	前嶋英輝
第６回	人物デッサン（女性）	前嶋英輝
第７回	人物デッサン（男性）	前嶋英輝
第８回	塑像（猫）	前嶋英輝
第９回	塑像（坐像）	前嶋英輝
第１０回	塑像（頭部）	前嶋英輝
第１１回	造形制作（塑像）	前嶋英輝
第１２回	造形制作（木炭画）	前嶋英輝
第１３回	造形制作（鉛筆画）	前嶋英輝
第１４回	造形制作（水彩画）	前嶋英輝

第１５回	造形制作（油彩画）		前嶋英輝
第１６回	作品提出		前嶋英輝
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	造形美術制作Ａ			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-235		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「造形美術の表現力を身につける」ことをテーマとし、様々な材料や道具を使いながら造形美術の応用能力を身につけることができる。ものの形態や構造を把握するための観る力を高め、線や量を自分のイメージに合わせて造形できるようになる。クロッキーやデッサン、塑像などの基礎的な技能を身につける。マッスとヴォリュームを理解し、形態を空間認識できるようになることを到達目標とする。特に人体においては内触覚性を理解し、造形に活かすことが出来るようになることが重要である。
授業概要	クロッキー、デッサン、塑像の実践を学ぶ。目的は、ものを見る力を高め、形態（フォルム）と動勢（ムーヴマン）を描くことができるようになることである。また3Dモデリングにおける空間認識力を高めるために人体のモデルイメージを蓄積する。具体的には、人物クロッキーや石膏デッサン、塑像による頭像制作などを行う。木炭、鉛筆などの素材を使い分けられるようにする。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、造形能力を身につけることを目的としていることから、毎回の作品制作（60%）、到達目標達成度を見る作品制作（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、実際に手を動かして予習を行うことが必要である。具体的にはネット検索などで参考資料を集め、模写を行ったり、オリジナル制作の原案を作ったりすることが重要である。最終課題では、到達目標の理解度を見るため積極的な取り組みが必要である。初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　内容　高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、彫刻家、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	ネットや書籍によって参考作品を鑑賞して、授業で学んだ描き方について予習復習を行う。1コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	制作計画と材料・道具の説明	前嶋英輝
第２回	石膏デッサン（鉛筆）	前嶋英輝
第３回	石膏デッサン（木炭）	前嶋英輝
第４回	人物クロッキー（女性）	前嶋英輝
第５回	人物クロッキー（男性）	前嶋英輝
第６回	人物デッサン（女性）	前嶋英輝
第７回	人物デッサン（男性）	前嶋英輝
第８回	塑像（手）	前嶋英輝
第９回	塑像（頭部）	前嶋英輝
第１０回	水彩画	前嶋英輝
第１１回	油彩画	前嶋英輝
第１２回	色鉛筆・コンテ	前嶋英輝
第１３回	日本画	前嶋英輝
第１４回	ガラス工芸	前嶋英輝

第１５回	陶芸	前嶋英輝	
第１６回	作品提出	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	造形美術制作Ｂ			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-236		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「造形美術の表現力を身につける」ことをテーマとし、様々な材料や道具を使いながら造形美術の応用能力を身につけることができる。ものの形態や構造を把握するための観る力を高め、線や量を自分のイメージに合わせて造形できるようになる。クロッキーやデッサン、塑像などの基礎的な技能を身につける。マッスとヴォリュームを理解し、形態を空間認識できるようになることを到達目標とする。特に人体においては内触覚性を理解し、造形に活かすことが出来るようになることが重要である。
授業概要	クロッキー、デッサン、塑像の実践を学ぶ。目的は、ものを見る力を高め、形態（フォルム）と動勢（ムーヴマン）を描くことができるようになることである。また3Dモデリングにおける空間認識力を高めるために人体のモデルイメージを蓄積する。具体的には、人物クロッキーや石膏デッサン、塑像による頭像制作などを行う。木炭、鉛筆などの素材を使い分けられるようにする。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、造形能力を身につけることを目的としていることから、毎回の作品制作（60%）、到達目標達成度を見る作品制作（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、実際に手を動かして予習を行うことが必要である。具体的にはネット検索などで参考資料を集め、模写を行ったり、オリジナル制作の原案を作ったりすることが重要である。最終課題では、到達目標の理解度を見るため積極的な取り組みが必要である。初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　内容　高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、彫刻家、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	ネットや書籍によって参考作品を鑑賞して、授業で学んだ描き方について予習復習を行う。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	制作計画と材料・道具の説明	前嶋英輝
第２回	石膏デッサン（鉛筆）	前嶋英輝
第３回	石膏デッサン（木炭）	前嶋英輝
第４回	人物クロッキー（女性）	前嶋英輝
第５回	人物クロッキー（男性）	前嶋英輝
第６回	人物デッサン（女性）	前嶋英輝
第７回	人物デッサン（男性）	前嶋英輝
第８回	塑像（手）	前嶋英輝
第９回	塑像（頭部）	前嶋英輝
第１０回	水彩画	前嶋英輝
第１１回	油彩画	前嶋英輝
第１２回	色鉛筆・コンテ	前嶋英輝
第１３回	日本画	前嶋英輝
第１４回	ガラス工芸	前嶋英輝

第１５回	陶芸	前嶋英輝	
第１６回	作品提出	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	プロデュース基礎			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年／ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年			ナンバリング	AN-AN-2-301		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「プロデュースを理解する」をテーマとする。一般的にプロデュースとして行う事を認知されている、映画、アニメーション、ゲーム、マンガ、音楽、出版、玩具、イベント等が代表的な分野であろうが、それ以外にもファッション、芸能、商品、レストラン等の飲食などもプロデュースするジャンルとして有る。こうしたプロデュースの歴史的な成り立ちを知り、具体的な事例をもとに、プロデュースと呼ばれるものの社会的・経済的位置づけを学生が確認し、その上で学生が今の時代に合ったプロデュースの意味内容を考え、プロデューサーとしての運用を出来る事を理解する能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての実務経験元に、プロデュースの歴史的な成り立ちを知り、産業でのプロデュースの社会的・経済的位置づけを確認し、プロデューサーの存在が人々にどの様な影響を与えるかを事例から検証して、プロデュース運用を学ぶ。具体的にプロデュースの仕事を調査して、グループ・ディスカッションを行う事でプロデュースを体験する。講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「プロデュースを理解する」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（５０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	プロデュースの成り立ち	井上
第２回	プロデュースの歴史１（創生～50年代）	井上
第３回	プロデュースの歴史２（50年代～70年代）	井上
第４回	プロデュースの歴史２（50年代～70年代）	井上
第５回	プロデュースの歴史３（80年代～90年代）	井上
第６回	プロデュースの歴史４（90年代～00年代）	井上
第７回	プロデュースの歴史５（00年代～今）及び歴史に関す小レポート	井上
第８回	映画のプロデュース	井上
第９回	アニメーションのプロデュース	井上
第１０回	ゲームのプロデュース	井上
第１１回	マンガのプロデュース	井上
第１２回	音楽のプロデュース	井上
第１３回	出版のプロデュース	井上
第１４回	玩具のプロデュース	井上
第１５回	プロデュースのまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	プロデュースの基本（インターナショナル新書）	教・出版社名１	集英社インターナショナル
教・著者名１	木崎 賢治	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4797680628
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	プロデュース演習			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-302		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「プロデュースを理解する」をテーマとする。プロデュース演習の引き続きでプロデュースとしてマンガ、出版、玩具、イベント、ファッション、芸能、商品、レストラン等のプロデュースするジャンルから具体的な事例をもとに、調査・企画作成を通じてプロデュース業務を仮想体験する事で学生が今の時代に合ったプロデュースの意味内容を考え、プロデューサーとしての運用を出来る事を理解する能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての実務経験を元に、（地）この科目は、プロデュース演習から引き続き、学生が産業でのプロデュースの社会的・経済的位置づけを確認し、具体的なプロデュースの仕事を調査して、グループ・ディスカッションを行い分析することで、実際に作品や商品の企画提案を行える形に持って行く事で、個々にプロデュース能力を高める。また、地域発の企画提案を行うことで地域貢献ボランティア活動を通じて文化研究を行う。また講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「プロデュースを理解する」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（５０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日3限目に実施。

授業計画	担当者

第１回	マンガのプロデュース（企画作成）	井上
第２回	マンガのプロデュース（企画発表・検討）	井上
第３回	出版のプロデュース（企画作成）	井上
第４回	出版のプロデュース（企画発表・検討）	井上
第５回	玩具のプロデュース（企画作成）	井上
第６回	玩具のプロデュース（企画発表・検討）	井上
第７回	イベントのプロデュース（企画作成）	井上
第８回	イベントのプロデュース（企画発表・検討）	井上
第９回	芸能のプロデュース（企画作成）	井上
第１０回	芸能のプロデュース（企画発表・検討）	井上
第１１回	商品のプロデュース（企画作成）	井上
第１２回	商品のプロデュース（企画発表・検討）	井上
第１３回	地域企画のプロデュース（企画作成）	井上
第１４回	地域企画のプロデュース（企画発表・検討）	井上
第１５回	全体のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	プロデュースの基本（インターナショナル新書）	教・出版社名１	集英社インターナショナル
教・著者名１	木崎 賢治	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4797680628
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	３Ｄゲーム・ＶＲ演習Ａ （隔週授業）			担当者	今村　俊介、面田　高章、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-303		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限 水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「ゲームエンジンを使用した動画コンテンツ制作をする」ことをテーマとし、最新デジタル機材やアプリケーションを使用し、新たな動画コンテンツ制作の能力を身につける。アニメーションの現場では、積極的に最新技術を取り入れ、制作コストの削減や新たな表現手法の開拓を行っているため、常に最新技術の知見を得ていかなければならない。この授業では、3DCG技術を学ぶことで、動画制作やゲームに実践的な応用ができるようになる。クリエイターとしてオリジナルの短い動画を完成することを到達目標とする。
授業概要	Unityによる制作を中心にデジタルソフトの基礎を学ぶ。目的は、最新技術を利用し自由に創造することができるようになることである。 また、VRやモーションキャプチャー等の機材を利用し、幅広い機材知識や使用スキルを身につける。これらの機材を使うことで、最終的な動画コンテンツの完成のために少ない人数と工数でコンテンツを制作する発想を得る。最終的に自主制作作品を完成できるための知識と技術を身につけることを目標にする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、理論と創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、課題提出（60%）、 到達目標達成度を見る期末試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、ゲームやキャラクターデザインなどについて調べ、ソフトの予習を行うことが必要である。また毎回の復習として自主的な作品づくりに応用することが重要である。期末試験では、到達目標の理解度を見るため、十分な復習が必要である。日々の自分の制作に活かして、イメージを表現出来るよう練習を繰り返すことが重要である。初回の授業で作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：unityアンバサダーであり、3Dキャラクターのデザインからモデリングまでを中心に事業を行なっている会社のCEOが講師を担当している。
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーションとソフト説明	前嶋英輝・面田高章
第２回	Blenderの概要	前嶋英輝・面田高章
第３回	Blender 3DCGとUnityの概要	前嶋英輝・面田高章
第４回	デジタルツールによるコンテンツ制作	前嶋英輝・面田高章
第５回	Blenderの基本操作・サンプルモデルの研究	前嶋英輝・面田高章
第６回	サンプルモデルを利用したモデリング	前嶋英輝・面田高章
第７回	サンプルモデルとテクスチャ制作	前嶋英輝・面田高章
第８回	Unityの基本操作・モデルのインポート	前嶋英輝・面田高章
第９回	モーションキャプチャ	前嶋英輝・面田高章
第１０回	モーションキャプチャとアテレコ	前嶋英輝・面田高章

第１１回	モーションキャプチャとアテレコ仕上げ	前嶋英輝・面田高章	
第１２回	Unityのタイムライン	前嶋英輝・面田高章	
第１３回	Unityのタイムライン・再収録と調整	前嶋英輝・面田高章	
第１４回	再収録と調整	前嶋英輝・面田高章	
第１５回	ネット上での利用	前嶋英輝・面田高章	
第１６回	作品提出	前嶋英輝・面田高章	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	Blender標準テクニック ローポリキャラクター制作で学ぶ3DCG	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	友	参・ＩＳＢＮ１	978-4844366379
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	３Ｄゲーム・ＶＲ演習Ｂ （隔週授業）			担当者	今村　俊介、面田　高章、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-304		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限 水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「ゲームエンジンを使用した3D映像コンテンツ制作をする」ことをテーマとし、最新デジタル機材やアプリケーションを使用し、新たな動画コンテンツ制作の能力を身につける。アニメーションの現場では、積極的に最新技術を取り入れ、制作コストの削減や新たな表現手法の開拓を行っているため、常に最新技術の知見を得ていかなければならない。この授業では、3DCG技術を学ぶことで、動画制作やゲームに実践的な応用ができるようになる。クリエイターとしてオリジナルの短い動画を完成することを到達目標とする。
授業概要	ゲームエンジンであるUnityによる制作を中心にデジタルソフトの基礎を学ぶ。目的は、最新技術を利用し自由に創造することができるようになることである。また、VRやモーションキャプチャー等の機材を利用し、幅広い機材知識や使用スキルを身につける。これらの機材を使うことで、最終的な動画コンテンツの完成のために少ない人数と工数でコンテンツを制作する発想を得る。最終的に自主制作作品を完成できるための知識と技術を身につけることを目標にする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、理論と創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、課題提出（60%）、 到達目標達成度を見る期末試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、ゲームやキャラクターデザインなどについて調べ、ソフトの予習を行うことが必要である。また毎回の復習として自主的な作品づくりに応用することが重要である。期末試験では、到達目標の理解度を見るため、十分な復習が必要である。日々の自分の制作に活かして、イメージを表現出来るよう練習を繰り返すことが重要である。初回の授業で作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：unityアンバサダーであり、3Dキャラクターのデザインからモデリングまでを中心に事業を行なっている会社のCEOが講師を担当している。
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーションと使用ソフト説明	前嶋英輝・面田高章
第２回	Blender モデリング	前嶋英輝・面田高章
第３回	Blender 3DCGとUnityの連携	前嶋英輝・面田高章
第４回	デジタルツールによるコンテンツ制作	前嶋英輝・面田高章
第５回	Blenderの基本操作・サンプルモデルの研究	前嶋英輝・面田高章
第６回	サンプルモデルを利用したモデリング	前嶋英輝・面田高章
第７回	サンプルモデルとテクスチャ制作	前嶋英輝・面田高章
第８回	Unityの基本操作・モデルのインポート	前嶋英輝・面田高章
第９回	モーションキャプチャ	前嶋英輝・面田高章

第１０回	モーションキャプチャとアテレコ	前嶋英輝・面田高章	
第１１回	モーションキャプチャとアテレコ仕上	前嶋英輝・面田高章	
第１２回	Unityのタイムライン	前嶋英輝・面田高章	
第１３回	Unityのタイムライン・再収録と調整	前嶋英輝・面田高章	
第１４回	再収録と調整	前嶋英輝・面田高章	
第１５回	最終調整と仕上げ、完成	前嶋英輝・面田高章	
第１６回	作品提出	前嶋英輝・面田高章	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	Blender標準テクニック ローポリキャラクター制作で学ぶ3DCG	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	友	参・ＩＳＢＮ１	978-4844366379
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	デジタルコンテンツ制作Ａ			担当者	今村　俊介		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-305		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	学生は、今日におけるデジタルコンテンツとは何かを確認し、2年次までに修得したデジタル処理技術を用いて訴求力のあるコンテンツ制作ができることがテーマである。 春期はデジタルコンテンツの概念を理解し、説明できること、またそのための基本スキルを身につけることを到達目標とする。 学生は、CGを活用した効率的な作品作成を行うための基礎知識と技能を学ぶことができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「デジタルコンテンツ制作におけるコンピュータリテラシー」と「課題作成能力」である。
授業概要	情報のデジタル化、デジタルコンテンツ制作の歴史、デジタルコンテンツ処理の要素と機構、デジタルコンテンツ制作の基礎アプリケーションの基本機能などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	知識については単元ごとに小テストを実施。制作については進捗状況をステップごとに確認し、フォローを行う。 試験課題については、コメントを付記する。
履修条件・注意事項	デジタルコンテンツ基礎概念と基礎技法の修得を重視して進める。 コンピュータ活用であるので、これまでに得た知見を十分確認しておくことが望ましい。さらに各回の講義に対して予習・復習を十分におこなうこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと（90分）。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと（90分）。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて月曜4限に実施

	授業計画	担当者
第１回	1 オリエンテーション	今村
第２回	2 デジタルコンテンツの概念	今村
第３回	3 デジタルコンテンツ活用の歴史	今村
第４回	4 デジタルコンテンツ制作における画像処理概論	今村

第５回	5 デジタルコンテンツ制作：2DCG	今村
第６回	6 デジタルコンテンツ制作：3DCG	今村
第７回	7 訴求力のあるデジタルコンテンツ作例（1）	今村
第８回	8 訴求力のあるデジタルコンテンツ作例（2）	今村
第９回	9 訴求力のあるデジタルコンテンツ作例（3）	今村
第１０回	10 デジタルコンテンツ練習課題制作（1）	今村
第１１回	11 デジタルコンテンツ練習課題制作（2）	今村
第１２回	12 デジタルコンテンツ練習課題制作（3）	今村
第１３回	13 デジタルコンテンツ制作におけるエフェクト構成と操作	今村
第１４回	14.デジタルコンテンツの成果物出力	今村
第１５回	15 デジタルコンテンツ提出課題作成	今村
第１６回	16 CG提出課題試験	今村

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	新たな局面を迎えたコンテンツビジネス　日本のコンテンツ産業の現状と課題	参・出版社名１	インプレスR&D
参・著者名１	高橋 光輝 (著), 齊藤 昌幸 (著)	参・ＩＳＢＮ１	978-4844379836
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	デジタルコンテンツ制作Ｂ			担当者	今村　俊介		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-306		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	学生は、今日におけるデジタルコンテンツとは何かを確認し、2年次までに修得したデジタル処理技術を用いて訴求力のあるコンテンツ制作ができることがテーマである。 秋期はこれからのデジタルコンテンツの進展を理解し、説明できること、またそのための応用スキルを身につけることを到達目標とする。 学生は、CGを活用した効率的な作品作成を行うための実践的知識と技能を学ぶことができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「デジタルコンテンツ制作におけるコンピュータリテラシー」と「課題作成能力」である。　"
授業概要	情報のデジタル化、デジタルコンテンツ制作の未来、デジタルコンテンツ処理の要素と機構、デジタルコンテンツ制作アプリケーションの応用機能などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	知識については単元ごとに小テストを実施。制作については進捗状況をステップごとに確認し、フォローを行う。 試験課題については、コメントを付記する。
履修条件・注意事項	デジタルコンテンツ応用概念と応用技法の修得を重視して進める。 コンピュータ活用であるので、これまでに得た知見を十分確認しておくことが望ましい。さらに各回の講義に対して予習・復習を十分におこなうこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと（90分）。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと（90分）。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて火曜4限に実施

	授業計画	担当者
第１回	1 オリエンテーション	今村
第２回	2 デジタルコンテンツの多面的理解	今村
第３回	3 デジタルコンテンツ活用の進展	今村
第４回	4 デジタルコンテンツ制作における動画処理概論	今村

第５回	5 デジタルコンテンツ制作：プログラミング基礎	今村
第６回	6 デジタルコンテンツ制作：ビジュアルプログラミング	今村
第７回	7 発展的なデジタルコンテンツ作例（1）	今村
第８回	8発展的なデジタルコンテンツ作例（2）	今村
第９回	9 発展的なデジタルコンテンツ作例（3）	今村
第１０回	10 デジタルコンテンツプログラミング練習課題制作（1）	今村
第１１回	11 デジタルコンテンツプログラミング練習課題制作（2）	今村
第１２回	12 デジタルコンテンツプログラミング練習課題制作（3）	今村
第１３回	13 デジタルコンテンツ制作における先端的なエフェクト構成と操作	今村
第１４回	14.デジタルコンテンツの成果物出力の多様性	今村
第１５回	15 デジタルコンテンツ提出課題作成	今村
第１６回	16 デジタルコンテンツ制作課題提出課題試験	今村

教科書			
教・書籍名１	授業内容に即したPDF資料を適宜配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	新たな局面を迎えたコンテンツビジネス　日本のコンテンツ産業の現状と課題	参・出版社名１	インプレスR&D
参・著者名１	高橋 光輝 (著), 齊藤 昌幸 (著)	参・ＩＳＢＮ１	978-4844379836
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	印刷デザイン （Ａクラス）	担当者	藤原　由智
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-307

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	５．ジェンダー平等を実現しよう
到達目標	印刷上に展開するグラフィックデザインについて学びます。 わかりやすく伝えること、感情を呼び起こすこと、背景となる物語を感じさせること、そうした、デザインのエッセンスについて学習します。 この授業の受講生はAdobe社のIllustrator、InDesignの扱い方について習得できます。文字を扱うことはデザインの基本で、ソフトウェア上の作業の中でも重要な位置を占めているので、中心的に学びます。
授業概要	まずイメージする力を、次にイメージを形にすることを大事にします。そして「そのイメージがみんなに伝達可能か」を検証することでデザインは成立します。授業の中で様々なデザインワークを反復することで、そのようなプロセスを身体に馴染ませていきます。ソフトウェアを使いこなすことは、よい作品の前提となりますので授業でも丁寧に扱います。タイポグラフィ（文字組）の技術、伝えるための効果的な方法論は造形により深みを与えてくれるはずです。デザインという技術が、各人の感性を豊かに飛躍させる力となることを期待します。各課題は授業内で講評を行います。 通常、デザインは大量生産を前提とし、ゆえに製作者には小さくない責任が伴います。不適切な造形記号を選んでしまうと、ある特定のコミュニティや性別に対する差別や偏見を助長する恐れが常につきまといます。 授業内でこうしたビジュアルコミュニケーションと差別の関連や歴史についても触れます。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	技術の習熟度や授業の参加度を総合的に評価します。具体的には、[1 最終プレゼンテーションのクオリティ(30%)]、[2 講評への参加度(30%)]、[3 制作への参加度(40%)]を合計して総合評価します。生まれ持ってのセンスではなく、各々が実現したいイメージにどれだけ執着できたか、を基準にします。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明します。 学んだことの反復ではなく、自分なりにデザインをコントロールできるようになることを期待します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	原則として、課題や試験のフィードバックは提出した当日に行われます。フィードバック内容は講評形式で学生全員と共有されます。
履修条件・注意事項	特になし
実務経験のある教員	該当する　内容　デザイン事務所、印刷会社にてデザインワークの経験を持つ教員が授業を実施する
事前学習・事後学習とその時間	予習：デザインは日常のそこかしこに溢れています。そんな日常の中のデザインに目をこらしてみてください。例えば、コンビニでお気に入りのパッケージを探してみること。ドラマに出てくるかっこいい服や、カフェで綺麗なインテリアを見つけること。約2時間。 復習：授業中の作業に加えて、各自で制作を進めておくこと。約2時間。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	1 デザインの可能性と責任	藤原
第２回	2 [伝える訓練 I] かたちで伝える	藤原
第３回	3 [伝える訓練 II] 伝え方の工夫	藤原
第４回	4 [伝える訓練 III] コンセプトの練り方	藤原
第５回	5 [文字について I] ソフトの使い方	藤原
第６回	6 [文字について II] 名刺をつくる	藤原
第７回	7 [音とかたち I] アイデアスケッチ	藤原

第８回	8 [音とかたち II] 実作業	藤原
第９回	9 [音とかたち III] 中間発表	藤原
第１０回	10 [音とかたち IV] プレゼン	藤原
第１１回	11 [文字の装飾] 基本	藤原
第１２回	12 [文字の装飾] 発展と応用	藤原
第１３回	13 [最終課題 I] アイデアスケッチ	藤原
第１４回	14 [最終課題 II] かたちと色の検討	藤原
第１５回	15 [最終課題 III] ブラッシュアップ	藤原
第１６回	16 [試験]プレゼンテーション	藤原

教科書			
教・書籍名１	特に使用しない（必要な資料は授業中に配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	『うたう作品集』	参・出版社名１	誠文堂新光社
参・著者名１	森本千絵　著	参・ＩＳＢＮ１	441661019X
参・書籍名２	『メディアはマッサージである』 単行本版	参・出版社名2	河出書房新社
参・著者名2	マーシャルマクルーハン クエンティンフィオーレ 著 南博 訳	参・ＩＳＢＮ2	978-4309241708

授業科目名	印刷デザイン （Ｂクラス）	担当者	藤原　由智
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-307

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	５．ジェンダー平等を実現しよう
到達目標	印刷上に展開するグラフィックデザインについて学びます。 わかりやすく伝えること、感情を呼び起こすこと、背景となる物語を感じさせること、そうした、デザインのエッセンスについて学習します。 この授業の受講生はAdobe社のIllustrator、InDesignの扱い方について習得できます。文字を扱うことはデザインの基本で、ソフトウェア上の作業の中でも重要な位置を占めているので、中心的に学びます。
授業概要	まずイメージする力を、次にイメージを形にすることを大事にします。そして「そのイメージがみんなに伝達可能か」を検証することでデザインは成立します。授業の中で様々なデザインワークを反復することで、そのようなプロセスを身体に馴染ませていきます。ソフトウェアを使いこなすことは、よい作品の前提となりますので授業でも丁寧に扱います。タイポグラフィ（文字組）の技術、伝えるための効果的な方法論は造形により深みを与えてくれるはずです。デザインという技術が、各人の感性を豊かに飛躍させる力となることを期待します。各課題は授業内で講評を行います。 通常、デザインは大量生産を前提とし、ゆえに製作者には小さくない責任が伴います。不適切な造形記号を選んでしまうと、ある特定のコミュニティや性別に対する差別や偏見を助長する恐れが常につきまといます。 授業内でこうしたビジュアルコミュニケーションと差別の関連や歴史についても触れます。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	技術の習熟度や授業の参加度を総合的に評価します。具体的には、[1 最終プレゼンテーションのクオリティ(30%)]、[2 講評への参加度(30%)]、[3 制作への参加度(40%)]を合計して総合評価します。生まれ持ってのセンスではなく、各々が実現したいイメージにどれだけ執着できたか、を基準にします。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明します。 学んだことの反復ではなく、自分なりにデザインをコントロールできるようになることを期待します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	原則として、課題や試験のフィードバックは提出した当日に行われます。フィードバック内容は講評形式で学生全員と共有されます。
履修条件・注意事項	特になし
実務経験のある教員	該当する　内容　デザイン事務所、印刷会社にてデザインワークの経験を持つ教員が授業を実施する
事前学習・事後学習とその時間	予習：デザインは日常のそこかしこに溢れています。そんな日常の中のデザインに目をこらしてみてください。例えば、コンビニでお気に入りのパッケージを探してみること。ドラマに出てくるかっこいい服や、カフェで綺麗なインテリアを見つけること。約2時間。 復習：授業中の作業に加えて、各自で制作を進めておくこと。約2時間。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	1 デザインの可能性と責任	藤原
第２回	2 [伝える訓練 I] かたちで伝える	藤原
第３回	3 [伝える訓練 II] 伝え方の工夫	藤原
第４回	4 [伝える訓練 III] コンセプトの練り方	藤原
第５回	5 [文字について I] ソフトの使い方	藤原
第６回	6 [文字について II] 名刺をつくる	藤原
第７回	7 [音とかたち I] アイデアスケッチ	藤原

第８回	8 [音とかたち II] 実作業	藤原
第９回	9 [音とかたち III] 中間発表	藤原
第１０回	10 [音とかたち IV] プレゼン	藤原
第１１回	11 [文字の装飾] 基本	藤原
第１２回	12 [文字の装飾] 発展と応用	藤原
第１３回	13 [最終課題 I] アイデアスケッチ	藤原
第１４回	14 [最終課題 II] かたちと色の検討	藤原
第１５回	15 [最終課題 III] ブラッシュアップ	藤原
第１６回	16 [試験]プレゼンテーション	藤原

教科書			
教・書籍名１	特に使用しない（必要な資料は授業中に配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	『うたう作品集』	参・出版社名１	誠文堂新光社
参・著者名１	森本千絵　著	参・ＩＳＢＮ１	441661019X
参・書籍名２	『メディアはマッサージである』 単行本版	参・出版社名2	河出書房新社
参・著者名2	マーシャルマクルーハン クエンティンフィオーレ 著 南博 訳	参・ＩＳＢＮ2	978-4309241708

授業科目名	WEBデザイン （Ａクラス）			担当者	藤原　由智		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-308		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	５．ジェンダー平等を実現しよう
到達目標	web上に展開するデザインを学びます。この授業の受講生は レイアウトに必要となるHTMLとCSSを中心的に学び、リッチなweb上の表現を学びます。この2つの基本的なプログラミング言語を使いこなし、「頭の中のアイデア」をweb上のかたちにするためのプロセスを学びます。 ごく基本から学ぶので、プログラミングの経験や知識は前提としません。授業を通して、それぞれのプログラミング言語の特性と文法を学びます。また、自分が書いたコードに潜むバグを探し出すこと、別の誰かが書いたコードの構造を理解することを到達目標とします。
授業概要	まずイメージすること。次にイメージを形にすること。そして「そのイメージがみんなに伝達可能か」を検証することでデザインは成立します。授業の中で様々なデザインワークを反復することで、そのようなプロセスを身体に馴染ませていきます。もちろんwebのデザインにおいては、コードを扱いこなすことはよい作品の前提となりますので授業でも丁寧に扱います。 授業では、必然的に、ちいさなPDCAサイクルを絶え間なく回すことになります。すなわち[Plan: 計画する]→[Do: やってみる]→[Check: 検証する]→[Act: 修正する]→(最初に戻る)のサイクルです。具体的には、実現したい文字表現やかたちの表現をイメージして、そのためのコードを探して実行し、バグがないかを検証し、修正するというプロセスです。 現在、SNSや専用ブラウザがメインストリームとなってしまい、いかにアクセス数を稼ぐか、サイトの滞在時間を長くするか、が非常に重要になっています。授業ではプログラミングの作業だけでなく、そうした要請に応えるべく自由な発想も大切にしたいと考えています。初歩的なHTMLとCSSだけでも、うまく使いこなせば、webの世界でのびのびとイメージを広げられるはずです。 通常、web上のデザインは多くの目に触れることが前提となり、ゆえに製作者には小さくない責任が伴います。不適切な造形記号を選んでしまうと、ある特定のコミュニティや性別に対する差別や偏見を助長する恐れが常につきまといます。 授業内でこうしたビジュアルコミュニケーションと差別の関連や歴史についても触れます。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	技術の習熟度や授業の参加度を総合的に評価します。具体的には、[1 最終プレゼンテーションのクオリティ(30%)]、[2 講評への参加度(30%)]、[3 制作への参加度(40%)]を合計して総合評価します。生まれ持ってのセンスではなく、各々が実現したいイメージにどれだけ執着できたか、を基準にします。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明します。 学んだことの反復ではなく、自分なりにデザインをコントロールできるようになることを期待します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックは講評形式で授業中に行います。
履修条件・注意事項	特になし。プログラミング経験はなくても構いません。
実務経験のある教員	該当する　内容　デザイン事務所、印刷会社にてデザインワークの経験を持つ教員が授業を実施する
事前学習・事後学習とその時間	予習：デザインは日常のそこかしこに溢れています。そんな日常の中のデザインに目をこらしてみてください。例えば、コンビニでお気に入りのパッケージを探してみること。ドラマに出てくるかっこいい服や、カフェで綺麗なインテリアを見つけること。約2時間。 復習：授業中の作業に加えて、各自で制作を進めておくこと。約2時間。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

授業計画		担当者
第１回	1 webデザインの現状と可能性	藤原
第２回	2 [HTMLとCSS I] 文法	藤原
第３回	3 [HTMLとCSS II] CSSの応用	藤原
第４回	4 [HTMLとCSS III] レイアウト	藤原
第５回	5 [真似してみる I] サイトの構造を理解する	藤原
第６回	6 [真似してみる II] 大きく組んで細かく調整	藤原
第７回	7 [真似してみる III] デザインの調整	藤原
第８回	8 [真似してみる IV] 検証とバグ潰し	藤原
第９回	9 [真似してみる V] プレゼン	藤原
第１０回	10 [つくってみる I] しかけを考える	藤原
第１１回	11 [つくってみるII] サイトの構造を考える	藤原
第１２回	12 [つくってみる III] ベースを作る	藤原
第１３回	13 [つくってみる IV] 装飾を作る	藤原
第１４回	14 [つくってみる V] コンテンツをつくる	藤原
第１５回	15 [つくってみる VI] 検証とバグ潰し	藤原
第１６回	16 [試験] プレゼンテーション	藤原

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１	特に使用しない（必要な資料は授業中に配布する）	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	HTML5/CSS3モダンコーディング	参・出版社名１	翔泳社
参・著者名１	吉田真麻　著	参・ＩＳＢＮ１	4798141577
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	WEBデザイン （Ｂクラス）			担当者	藤原　由智		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-308		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	５．ジェンダー平等を実現しよう
到達目標	web上に展開するデザインを学びます。この授業の受講生は レイアウトに必要となるHTMLとCSSを中心的に学び、リッチなweb上の表現を学びます。この2つの基本的なプログラミング言語を使いこなし、「頭の中のアイデア」をweb上のかたちにするためのプロセスを学びます。 ごく基本から学ぶので、プログラミングの経験や知識は前提としません。授業を通して、それぞれのプログラミング言語の特性と文法を学びます。また、自分が書いたコードに潜むバグを探し出すこと、別の誰かが書いたコードの構造を理解することを到達目標とします。
授業概要	まずイメージすること。次にイメージを形にすること。そして「そのイメージがみんなに伝達可能か」を検証することでデザインは成立します。授業の中で様々なデザインワークを反復することで、そのようなプロセスを身体に馴染ませていきます。もちろんwebのデザインにおいては、コードを扱いこなすことはよい作品の前提となりますので授業でも丁寧に扱います。 授業では、必然的に、ちいさなPDCAサイクルを絶え間なく回すことになります。すなわち[Plan: 計画する]→[Do: やってみる]→[Check: 検証する]→[Act: 修正する]→(最初に戻る)のサイクルです。具体的には、実現したい文字表現やかたちの表現をイメージして、そのためのコードを探して実行し、バグがないかを検証し、修正するというプロセスです。 現在、SNSや専用ブラウザがメインストリームとなってしまい、いかにアクセス数を稼ぐか、サイトの滞在時間を長くするか、が非常に重要になっています。授業ではプログラミングの作業だけでなく、そうした要請に応えるべく自由な発想も大切にしたいと考えています。初歩的なHTMLとCSSだけでも、うまく使いこなせば、webの世界でのびのびとイメージを広げられるはずです。 通常、web上のデザインは多くの目に触れることが前提となり、ゆえに製作者には小さくない責任が伴います。不適切な造形記号を選んでしまうと、ある特定のコミュニティや性別に対する差別や偏見を助長する恐れが常につきまといます。 授業内でこうしたビジュアルコミュニケーションと差別の関連や歴史についても触れます。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	技術の習熟度や授業の参加度を総合的に評価します。具体的には、[1 最終プレゼンテーションのクオリティ(30%)]、[2 講評への参加度(30%)]、[3 制作への参加度(40%)]を合計して総合評価します。生まれ持ってのセンスではなく、各々が実現したいイメージにどれだけ執着できたか、を基準にします。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明します。 学んだことの反復ではなく、自分なりにデザインをコントロールできるようになることを期待します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックは講評形式で授業中に行います。
履修条件・注意事項	特になし。プログラミング経験はなくても構いません。
実務経験のある教員	該当する　内容　デザイン事務所、印刷会社にてデザインワークの経験を持つ教員が授業を実施する
事前学習・事後学習とその時間	予習：デザインは日常のそこかしこに溢れています。そんな日常の中のデザインに目をこらしてみてください。例えば、コンビニでお気に入りのパッケージを探してみること。ドラマに出てくるかっこいい服や、カフェで綺麗なインテリアを見つけること。約2時間。 復習：授業中の作業に加えて、各自で制作を進めておくこと。約2時間。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

授業計画		担当者
第１回	1 webデザインの現状と可能性	藤原
第２回	2 [HTMLとCSS I] 文法	藤原
第３回	3 [HTMLとCSS II] CSSの応用	藤原
第４回	4 [HTMLとCSS III] レイアウト	藤原
第５回	5 [真似してみる I] サイトの構造を理解する	藤原
第６回	6 [真似してみる II] 大きく組んで細かく調整	藤原
第７回	7 [真似してみる III] デザインの調整	藤原
第８回	8 [真似してみる IV] 検証とバグ潰し	藤原
第９回	9 [真似してみる V] プレゼン	藤原
第１０回	10 [つくってみる I] しかけを考える	藤原
第１１回	11 [つくってみるII] サイトの構造を考える	藤原
第１２回	12 [つくってみる III] ベースを作る	藤原
第１３回	13 [つくってみる IV] 装飾を作る	藤原
第１４回	14 [つくってみる V] コンテンツをつくる	藤原
第１５回	15 [つくってみる VI] 検証とバグ潰し	藤原
第１６回	16 [試験] プレゼンテーション	藤原

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１	特に使用しない（必要な資料は授業中に配布する）	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	HTML5/CSS3モダンコーディング	参・出版社名１	翔泳社
参・著者名１	吉田真麻　著	参・ＩＳＢＮ１	4798141577
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	インターンシップ			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-309		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「実社会を経験し、有意義な大学生活を送る」をテーマとして、学生が企業における実習を経験し、社会人としての基礎知識を身につけるとともに、その後の大学生活を有意義に送るためにはどうすればよいか、自分で考え、自分で行動できる能力を身につけることを到達目標とする。
授業概要	就職した大学生のうち、30%が3年以内に会社を辞めるという事実。政府はフリーターを正しい職業に就かせるために、意識を変えるための措置を考えているがままならない。大学のうちに社会、民間企業とのコラボレーションをとりながら企業との接点を持ち、実社会への興味を喚起させるため、また若者の自由で、柔軟な発想で企業を活性化させる目的でインターンシップを行う。授業は、実務経験のある教員による基礎知識やマナーを修得するための講義と、実際に企業に出向いて行う実習により構成されている。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	実習評価（30%）、授業態度（20%）、実習報告書（20%）、インターンシップ報告会での報告（30%）を合わせて総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	インターンシップ先企業の評価を各履修者に配布する。
履修条件・注意事項	初回から必ず参加のこと。講義の欠席者は補講を受けなければ実習に参加することができない。企業での実習を休んだ場合には、再実習を行わないと単位を認定しない。毎回の指示に従って予習と復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　内容：この授業では一部講義において、実務経験のある企業の方を招き社会人としてのマナーなどについて講義を行い学生の理解を深める。また、実習においては実際に企業で就業体験を行う。
事前学習・事後学習とその時間	社会のニーズと自分の適正とのマッチングには、その両方に関する普段の省察が必要である。新聞やニュースを通じて、社会の情勢に敏感になろう。自分自身への振り返りは、他人との交わりの中で促されることも多いはず。毎日新聞やニュースに接する時間を各自が確実に設けること、これをこの授業の普段の予習・復習とする。なお、予習・復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	インターンシップの説明	清水光二
第２回	インターンシップの手続き	清水光二
第３回	業界・企業研究	外部講師
第４回	志望動機の書き方	外部講師
第５回	ビジネスマナー	外部講師
第６回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第７回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第８回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第９回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第１０回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第１１回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第１２回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第１３回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第１４回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師

第１５回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第１６回	インターンシップ報告会	清水光二
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	インターンシップの手引きを配布する	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	インターンシップ	参・出版社名１	学文社
参・著者名１	古閑博美	参・ＩＳＢＮ１	4-7620-1064-2
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	基礎演習A			担当者	今村　俊介、山本　敦之、大谷　卓史、井上　博明、佐々木　洋、清水　光二、平見　勇雄、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2022年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	AN-AN-1-310		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は「アニメーションに関する専門分野の学習の方法を理解すること」をテーマとし、自分の学修計画をつくることができるようになる。専門科目を選択するための材料が十分提供されることで、学生は専門教育への移行を円滑に行なうことができる。また、アニメ業界の業態やプロデュース、シナリオ制作に必要な美学や映画論の知識を身につけることができる。制作や企画、文化研究に必要な基礎的な知識や技術を身につけることを到達目標とする。
授業概要	アニメ文化に関わる様々な分野を各専門教員の紹介によって理解する。またアニメ制作に必要な基本的知識や技術を概観し、イラスト、デジタル作画、絵コンテ、イメージボード、キャラクターデザインに関わる基礎的な技術を学び、必要なソフトを使用できるようになる。映像作品を鑑賞しつつ、将来の映像制作に資するようにするとともに、様々なコンテストに出品された受賞作などを参考にして自らの制作目標を確認する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	この科目では、アニメーション文化学科での学習方法を理解することを目的としていることから、毎回の小レポート・演習課題(60%)、試験課題(40%)によって理解度を評価する。評価のための課題については次回授業で講評によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業でコメントすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	事前に次回の内容を説明するので予習を行うことが必要である。また演習課題については、復習をしながら学習内容を確認することが求められる。具体的な例としては、学んだソフトを使用して描画練習を継続する。初回の授業で、関連する作品や内容についての調べ方を説明する。
実務経験のある教員	該当する　内容：中学校・高等学校での美術担当の実務経験のある教員を含む担当者がオムニバスで専門的な授業を行う。
事前学習・事後学習とその時間	次回の内容に対して作品を調べたり、ソフトの使い方を予習したりすることが必要(２時間程度)である。毎回の授業について復習し、要点をまとめて確実に基礎基本を理解することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	前嶋研究室（1268）で月曜日５限にオフィスアワーを設けている。

授業計画		担当者
第１回	学習方法と学修計画	前嶋英輝
第２回	アニメーションの作画	兼高里圭・前嶋英輝
第３回	動画の中割り	兼高里圭・前嶋英輝
第４回	アニメの隣接領域	山本敦之
第５回	レトリック	山本敦之
第６回	映像の文法とレトリック	山本敦之
第７回	アニメーションの歴史１（白黒）	平見勇雄
第８回	アニメーションの歴史２（カラー）	平見勇雄
第９回	アニメーションの歴史３	平見勇雄

第１０回	視聴覚メディアの歴史：映画・蓄音機・電話の誕生（19世紀）	大谷卓史
第１１回	視聴覚メディアの歴史：映画・蓄音機・電話の発展（20世紀）	大谷卓史
第１２回	視聴覚メディアの歴史：テレビ・ラジオの発展（20世紀）	大谷卓史
第１３回	シナリオって何 / その役割	清水光二
第１４回	シナリオって何 / 講読体験	清水光二
第１５回	シナリオって何 / 文字と映像の違い	清水光二
第１６回	課題提出	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	基礎演習B	担当者	今村　俊介、山本　敦之、大谷　卓史、井上　博明、佐々木　洋、清水　光二、平見　勇雄、前嶋　英輝
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	AN-AN-1-311

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は「アニメーションに関する専門分野の広がりを理解すること」をテーマとし、専門分野の学修計画をつくることができるようになる。専門科目を選択するための材料が十分提供されることで、学生は専門教育への移行を円滑に行なうことができる。また、アニメ業界の業態やプロデュース、シナリオ制作に必要な詩学や映像論の知識を身につけることができる。制作や企画、文化研究に必要な基礎的な知識や技術を身につけることを到達目標とする。
授業概要	アニメ文化に関わる様々な分野を各専門教員の紹介によって理解する。またアニメ制作に必要な基本的知識や技術を概観し、スキャン、デジタル作画、エフェクト、デジタル編集に関わる基礎的なソフトを使用できるようになる。映像作品を鑑賞しつつ、将来の映像制作に資するようにするとともに、様々なコンテストに出品された受賞作などを参考にして自らの制作目標を確認する。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	この科目では、アニメーション文化学科での学習方法を理解することを目的としていることから、毎回の小レポート・演習課題(60%)、試験課題(40%)によって理解度を評価する。評価のための課題については次回授業で講評によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業でコメントすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	事前に次回の内容を説明するので予習を行うことが必要である。また演習課題については、復習をしながら学習内容を確認することが求められる。具体的な例としては、学んだソフトを使用してイラストを描いてみることを継続する。初回の授業で、関連する作品や内容についての調べ方を説明する。
実務経験のある教員	該当する　内容　中学校・高等学校での美術担当の実務経験のある教員を含む担当者がオムニバスで専門的な授業を行う。
事前学習・事後学習とその時間	次回の内容に対して作品を調べたり、ソフトの使い方を予習したりすることが必要(２時間程度)である。毎回の授業について復習し、要点をまとめて確実に基礎基本を理解することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	学習環境と学修計画	前嶋英輝
第２回	アニメーションの原画制作	兼高里圭・前嶋英輝
第３回	動画のタイムシート	兼高里圭・前嶋英輝
第４回	映画技法	山本敦之
第５回	西洋美術史	山本敦之
第６回	西洋音楽史	山本敦之
第７回	デジタル映像技術の歴史	大谷卓史
第８回	デジタルゲームの歴史　その1	大谷卓史
第９回	デジタルゲームの歴史　その2	大谷卓史

第１０回	初期アニメーションの音楽	平見勇雄	
第１１回	初期テレビドラマの音楽１	平見勇雄	
第１２回	初期テレビドラマの音楽２	平見勇雄	
第１３回	シナリオ制作に挑戦 / 画から文字へ	清水光二	
第１４回	シナリオ制作に挑戦 / 文字から画へ	清水光二	
第１５回	シナリオ制作に挑戦 / 企画案を作る	清水光二	
第１６回	課題提出	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習A			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-312		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	清水ゼミでは、映像作品の歴史的研究、作家論・作品論的研究を行うと同時に、映像作品の設計図と呼ばれるシナリオの制作を大きな目標としている。 ちなみに、この「応用演習A」では、「新版ハリウッド100年史講義」（平凡社新書）を読んで、広く映像の歴史について学ぶことにする。そうすることで、学生は映像の歴史の中の現在を知り、映像文化の中のアニメーションの位置づけについても理解できるようになる。
授業概要	ハリウッドの誕生前から、誕生後の様々な変遷に至るまで、映画という視覚文化の歴史をおよそ100年にわたって辿ってみる。学生はそれぞれ分担された対象の箇所を事前に調べ、授業においてその発表を行うことになる。実写もアニメーションも区別なく映像作品として扱うことになるが、そこに込められた人々の夢を追うことは国と時代を越えて人間理解を深めることになろう。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	この授業では、授業への積極的な参加態度（40%）、プレゼンテーション（30%）、レポート提出（30%）などを合計し、総合的に評価を行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	レポートの提出や課題の発表がなされない場合は、評価不能となり単位認定ができないので特に注意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レポートの提出や課題発表のためには、当然のことながら予習・復習が必須である。予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	序章　ハリウッド前史	清水光二
第２回	第1章　ハリウッド誕生	清水光二
第３回	古典的ハリウッドの誕生	清水光二
第４回	第2章　夢見るハリウッド	清水光二
第５回	サイレント全盛	清水光二
第６回	第3章　古典的ハリウッドの成熟	清水光二
第７回	虚飾と爛熟の40年代	清水光二
第８回	第4章　黄昏に輝くハリウッド	清水光二
第９回	50年代のアンビバレンス	清水光二
第１０回	60年代、映画をめぐる自由と自由をめぐる映画	清水光二
第１１回	第5章　70年第以降	清水光二
第１２回	イベントとしての映画	清水光二
第１３回	第6章　80年代　世界が舞台、拡大するハリウッド映画	清水光二
第１４回	続く大作主義	清水光二
第１５回	第7章　デジタル技術の浸透と地球規模の大域化	清水光二
第１６回	レポート試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	新版ハリウッド100年史講義	教・出版社名１	平凡社

教・著者名１	北野圭介	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4582-85849-5
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本映画史110年	参・出版社名１	集英社
参・著者名１	四方田犬彦	参・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-08720752-1
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習A			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-312		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本演習は「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」をテーマにおき、実際にアニメーション製作に使われた企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等を使って製作の流れを知る事と併せててキャラクターの作成・運用を念頭に置き、どのような展開が作品にとって、キャラクターにとっての必要かを考え、学生がプロデュース思想を学生自身が理解する能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての勤務経験元に、最初にアニメーション文化論にて学んだ日本のアニメーションの歴史的な成り立ちを基に具体的な作品として、私の今までプロデュースした作品群の企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等の資料を使う事でアニメーション製作の流れを理解し、次にその作品がどの様な展開を行ったかをキャラクターコンテンツ基礎で学んだキャラクター運営を基に理解をする事でプロデューサーの仕事を理解させる。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（４０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（３０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては指定の範囲で小レポートを提出する必要がある。２００字未満のレポートは欠席扱いとする。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション／ガイダンス／研究論理に基づく責任ある研究活動	井上

第２回	資料の読み方（企画書）	井上
第３回	資料の読み方（シナリオ）	井上
第４回	資料の読み方（絵コンテ）	井上
第５回	資料の読み方（キャラクター設定）	井上
第６回	資料の読み方（美術設定）	井上
第７回	資料の読み方（メカニック・小物設定）	井上
第８回	資料の読み方（作画・彩色）	井上
第９回	資料の読み方（背景・撮影・CGI）	井上
第１０回	資料の読み方（音響・編集）	井上
第１１回	資料の読み方（音楽）	井上
第１２回	資料の読み方（放送・販売・配信）	井上
第１３回	資料の読み方（二次商品化）	井上
第１４回	資料の読み方（海外展開）	井上
第１５回	全体のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習A			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-312		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	異なる立場や背景の人々と建設的な意見交換をし、いっしょに活動ができるようになることをテーマとします。このテーマのもとで、学生が次の事柄ができるようになることを到達目標とします。 １．まとまった分量の文章を読んだり、話を聞いて、その内容を自分のことばでまとめ、わかりやすく説明できるようになる。 ２．根拠や理由をつけて自分の意見を言い、相手と自分の意見の違いや同じところ、根拠や理由の適切さなどを検討できるようになる。 ３．異なる立場や背景の人々といっしょに活動ができるようになる。 この到達目標を達成するため、この演習では、物語やゲームに関する入門書的な内容の本を2冊読み、読んだことをまとめて説明し、お互いに意見を述べ、議論します。
授業概要	物語やゲームに関する入門書的な内容の本を読んで、毎回担当者がその内容をほかの人たちにわかりやすく工夫して説明します。その説明をもとに、みんなで意見を交換します。その際には、相手の主張や本の内容をよりよく理解するため、質問をするようにします。また、自分の意見を述べるときには、必要があれば理由や根拠を述べるようにします。誰かの主張や、その理由や根拠が適切かどうかわからないときは、必ず質問をしましょう。質問をすることは、相手の言っていることを否定することではありません。質問は、よりよく相手のことを理解し、自分自身の知識や知恵を深めるための手段です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	演習課題（発表等）への取り組み（受講態度）を30%、演習内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を20%の重みづけで評価する。また、課題等の提出物20%、レポートの成績を30%として最終的に総合評価を行う。これらの4つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業課題（提出レポート）に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	遅刻・欠席の際には事前連絡をすること。発表・討論に積極的に取り組まないと演習は成立しません。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：指定する論説、教科書の章を読んできてください。約2時間。 復習：授業で学んだことの振り返り、レポート作成を要求します。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	プロローグ	大谷
第３回	人工生命とロボットの研究の概観	大谷
第４回	気ままなお掃除ロボットルンル	大谷
第５回	気ままなお掃除ロボットルンル　なぜ蟻はまっすぐ歩けないのか	大谷
第６回	ロボットと環境との出会い	大谷
第７回	ロボットと環境との出会い	大谷

第８回	ロボットと環境との出会い　ジョン、カレンはいまどこ？	大谷
第９回	ロボットと環境との出会い　ゾウはチェスをささない	大谷
第１０回	自らの視点から描いた自画像	大谷
第１１回	自らの視点から描いた自画像　目玉ジャクシの原初的サッカー	大谷
第１２回	ことばを繰り出してみる	大谷
第１３回	ことばを繰り出してみる　相手の視線を気にしながら	大谷
第１４回	「弱さ」と「ロボット」についてディスカッション	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	レポート試験	大谷

教科書			
教・書籍名１	〈弱いロボット〉の思考	教・出版社名１	講談社
教・著者名１	岡田美智男	教・ＩＳＢＮ１	978-4-06-288433-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１	筑摩書房	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習A			担当者	平見　勇雄		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-312		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	授業では取り扱わない手塚治虫文庫全集のマイナーな作品を鑑賞します。鉄腕アトムやリボンの騎士、ジャングル大帝、ブラックジャック等、手塚作品で有名なものはたくさんありますが、現代ではほとんど知られていない作品、知られていても読んだりする機会がなかなかない作品を取り上げ、手塚治虫がどういうストーリーを書いてきたのかを概観することがテーマです。日本アニメ界で最も有名な漫画家の知られていない作品を鑑賞することで、学生は手塚作品の全体像を知ることができ、どういう漫画家だったかをおよそ把握することができるようになります。
授業概要	手塚治虫文庫全集からいくつかを選んで読んで感じたことをレポートにしてもらい、それぞれの作品が言いたかったこと、伝えたいことを探ります。あまり知られていない作品にこそ、本当の手塚の思想や信念が見えてくるかも知れません。それを学生たちで読んだ後に討論します。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	どのくらい真剣に取り組んでそれぞれの作品から思想、信念、言いたいことが捉えられているかをレポートや普段の講義の中で評価します。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	前もって、次の週にやるテーマを与えます。それを読んできてもらいます。それぞれの学生に、一人では読み取れなかったメッセージを共有することで、どういうふうに漫画を読んでいったらいいのか、その方法を定着させます。
履修条件・注意事項	漫画を次の週までに必ず読んでくることが履修条件です。貪欲に読むという作業を求めます。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	普段から手塚自身が書いた作品に親しむ癖をつけて下さい。また何度も読み返すことによって、メッセージをどううまく伝えているのか、セリフやコマ割りなどにも注意して読むようにして下さい。
オフィスアワー	水曜日の３限、２号館６Ｆです。

授業計画		担当者
第１回	一輝まんだら	平見勇雄
第２回	奇子	平見勇雄
第３回	陽だまりの樹（抜粋）	平見勇雄
第４回	新世界ルルー	平見勇雄
第５回	どろろ	平見勇雄
第６回	ワンダー３	平見勇雄
第７回	アドルフに告ぐ	平見勇雄
第８回	海のトリトン	平見勇雄
第９回	人間昆虫記	平見勇雄
第１０回	ふしぎなメルモ	平見勇雄
第１１回	３８度線上の怪物	平見勇雄
第１２回	スリル博士	平見勇雄
第１３回	エンゼルの丘	平見勇雄
第１４回	上を下へのジレット	平見勇雄
第１５回	七色インコ	平見勇雄
第１６回	レポート提出とその反省点	平見勇雄

教科書			
教・書籍名１	上記の漫画　（学生には貸与、およびコピーにて対応する）手塚治虫文庫全集	教・出版社名１	講談社文庫
教・著者名１	手塚治虫	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習A			担当者	山本　敦之		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-312		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	アニメは、漫画や映画といった直接的隣接ジャンルと密接に結びつく。さらに、文藝、美術、演劇、音楽といったジャンルの作品を創作の源泉としうる。この講義では、そのような様々なジャンルの代表的作品群をテクスト、映像を通して鑑賞し、これについての分析・解説を聴くことになる。これにより学生は、将来のアニメ作品制作や批評に資する豊富な文藝・映像の資源を所有することができる。
授業概要	まず漫画原論や映画技法について説明。次いで文藝史、美術史、音楽史の大まかな解説。その上でオリジナルとなる文藝作品を読み、これを原作とする映像作品を見る。場合によっては複数の映画を見ることになる。また、複数の文藝作品から抜粋・構成された脚本にもとづく映像作品を見る回もある。黒澤明『蜘蛛の巣城』については能からの影響が顕著であるので、能について1回講義する。また学生は課題に対して発表をおこない、全員で議論することになる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題(50%)、定期試験(50%)。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題に対し講評をおこなうことでフィードバックをおこなう。
履修条件・注意事項	テクストは購入するか図書館で借りてきちんと読むこと。また、指定された映像作品も必ず見ること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	授業中に扱う範囲はテクストのさわりに限られるので、必ず予習で指定された範囲全部を読んでくること。また授業での解説を聞いた後の復習で、範囲全部を読み直すこと。指定された映像作品(部分)を予習・復習で見ること。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	シェークスピア『ヘンリー4世』第1部	山本
第２回	シェークスピア『ヘンリー4世』第2部	山本
第３回	シェイクスピア『ヘンリー5世』	山本
第４回	L.オリヴィエ, HenryV	山本
第５回	O．ウェルズ、Chimes at　Midnight	山本
第６回	シェークスピア『マクベス』	山本
第７回	O.ウェルズ、Macbeth	山本
第８回	黒澤明、蜘蛛の巣城	山本

第９回	能	山本
第１０回	コンラッド『闇の奥』	山本
第１１回	コッポラ、Apocalypse Now	山本
第１２回	コンラッド『密偵』	山本
第１３回	ヒチコック、Sabotage	山本
第１４回	サッカレー『バリー・リンドン』	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習A			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-312		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は「自らの表現スタイルを確立する」ことをテーマとする。 自分の研究テーマを設定し、これまでに学修したことを総合して課題を行う。 作品制作による研究を行う場合は、技法やスタイルだけでなく主題構造を構築し、 十分に深めながら表現できる能力を身につける。 論文による研究を行う場合は、関心のあるテーマを選択し、先行研究を十分行った上で 明確な結論を引き出す能力を身につけることができる。 学生は、専門知識を課題制作を通じて身につけ自身の求める作品を完成できる。
授業概要	様々な表現について研究し、そこから選択した手法に基づき作品を制作する。 作品は可能な限り多数制作しポートフォリオの充実を目指す。 手法についてはアニメーションや立体物を含む広範な表現形式から選択する。 毎週の進捗状況に合わせて、プレゼンテーションを含む全体討議による発表を行い、 年間の制作進行表を作ってそのタイムスケジュールにそって自己管理しながら授業内容を進める。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、作家的主題の確立と、自らの世界観に基づいて表現できる能力を身につける ことを目的としていることから、研究態度（10%）、課題作品（60%）、単位認定作品（40%） の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。 ポートフォリオや作品などの課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら 指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題ごとに講評、修整点を伝え、最終回に全体の講評を行う。
履修条件・注意事項	１）卒業研究につながる演習であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。 ２）共同研究を行う場合、分担が明確に示せることを条件とする。 ３）基本的なソフトウェアの操作に習熟できていることを条件とする。
実務経験のある教員	該当する　内容　1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アート表現に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について 予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	水曜5限 （2号館 267研究室）をオフィスアワーとする。 またTeams上での質問は随時受け付けている

授業計画		担当者
第１回	授業方針の説明 制作内容決定	佐々木　洋

第２回	仮想受注-A1 ゲームカード 打ち合わせシュミレーション	佐々木　洋
第３回	仮想受注-A2 ラフの提示-1 線画	佐々木　洋
第４回	仮想受注-A3 ラフの提示-2 カラーボード	佐々木　洋
第５回	仮想受注-A4 ラフの提示-2-fix	佐々木　洋
第６回	仮想受注-A5 仕上がり感	佐々木　洋
第７回	仮想受注-B-1 表情集-シンメトリー	佐々木　洋
第８回	仮想受注-B-2 表情集-アンシンメトリー	佐々木　洋
第９回	表情集-読解-1 基本-怒りのパターン	佐々木　洋
第１０回	表情集-読解-2 笑いのパターン	佐々木　洋
第１１回	表情集-読解-3 悲しみのパターン	佐々木　洋
第１２回	表情集-読解-2 嘘のパターン	佐々木　洋
第１３回	期末課題-提示と解説	佐々木　洋
第１４回	課題進行確認	佐々木　洋
第１５回	作品発表/講評	佐々木　洋
第１６回		佐々木　洋

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習A			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-312		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は、「作品を自主制作できるようになる」ことをテーマとし、基礎的な能力を身につけ制作研究を行うことで、作品を自分の表現として制作できるようになる。選択肢として3DCGやクレイアニメなども視野に入れながら制作を行う。具体的な技法として、動画および背景も手描きを中心に進めるが、ペンタブレットによる描画も選択肢に入れる。応用演習では卒業研究の準備として必要な知識と技術を修得し、同時に自主制作のための資料収集を行い、基礎的な作品の制作を到達目標とする。
授業概要	卒業制作までの今後の制作計画を立て、必要な技術を身につけることが大変重要になる。自分にあった技法を探すために様々な技法に挑戦し、コンピューターのソフトの使用方法を含めた自主制作の能力を身につける。各自が自主的に学習して制作した内容を持ち寄って討論する形で学習を進める。手描きの能力を高めながら実写合成などの技法にも幅を持って取り組む。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、アニメーション研究に基づいて作品による表現ができる能力を身につけることを目的としていることから、研究課題（40%）、単位認定試験（60%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする
履修条件・注意事項	卒業研究につながる演習であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、アニメーションに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、彫刻家、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アニメーションに関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。 美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、年間計画	前嶋英輝
第２回	研究概要、企画、イメージボード	前嶋英輝
第３回	絵コンテ作成・・・プロット提示	前嶋英輝
第４回	絵コンテ作成・・・プロット編集	前嶋英輝
第５回	キャラクター設定、原画作成	前嶋英輝
第６回	中間発表（企画修正と資料確認）	前嶋英輝
第７回	制作管理確認（配布資料）	前嶋英輝
第８回	制作ステップ確認と作画	前嶋英輝
第９回	制作ステップ確認と動画チェック	前嶋英輝
第１０回	中間発表準備	前嶋英輝
第１１回	中間発表（進行確認と討論）	前嶋英輝
第１２回	中間発表を受けての全体的修正	前嶋英輝

第１３回	制作ステップ確認と編集	前嶋英輝	
第１４回	制作ステップ確認と仕上げ	前嶋英輝	
第１５回	最終確認と研究発表準備	前嶋英輝	
第１６回	作品提出	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１	After Effects for アニメーション	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ新社
参・著者名１	大平幸輝	参・ＩＳＢＮ１	978-4-86100-699-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	応用演習A	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-312

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、3年次実践演習に向けて、映像作品企画を実現するため、一連の様々なプロセスである、脚本、ビジュアルデザイン、音響、広報等を調査研究を行うことで、基礎的な能力を身につけ、作品を自分の表現として制作できるようになる基礎技法を身につけることができる。 アニメーション制作におけるデジタル技術の理解とソフトウェア活用によるの画像作成および画像処理の基礎スキルを身につけ、効果的な作品作成を行うための基礎な知識と技法を修得できる。また、必要に応じて代表的な3DCGソフトウェアの基礎概念を学び、実践演習に向けて3DCG作品作成過程の導入とすることができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「映像作品制作におけるコンピュータリテラシー」と「課題理解能力」である。
授業概要	アニメーション制作のデジタル化、脚本作成の技法、ビジュアルデザインの設計と音響効果の作成など作品制作の土台となる知識・技法について学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題の進捗に応じてチェックとフォローアップを行う。最終成果物についてコメントを付記する。
履修条件・注意事項	実践演習に向けての土台を設計する段階なので、制作課題の方向性を探究すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として事前配信の予習テキストPDFを確認し、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて月曜4限に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	今村
第２回	2年次春期の研究課題の方向性探究：脚本	今村
第３回	脚本についての参考資料映像	今村
第４回	2年次春期の研究課題の方向性探究：ビジュアルデザイン	今村
第５回	ビジュアルデザインの参考資料映像	今村
第６回	2年次春期の研究課題の方向性探究：撮影	今村
第７回	撮影の参考資料映像	今村
第８回	2年次春期の研究課題の方向性探究：編集	今村
第９回	編集の参考資料映像	今村
第１０回	2年次春期の研究課題の方向性探究：音響効果	今村
第１１回	音響効果の参考資料映像	今村
第１２回	課題制作テーマの設定	今村
第１３回	課題制作のビジョン	今村
第１４回	課題制作の必要資料及び機材の確認	今村

第１５回	課題制作作成開始のためのまとめ	今村	
第１６回	春期制作課題知識試験	今村	
教科書			
教・書籍名１	各自の政策課題に応じて必要資料をPDFで配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習B			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-313		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	清水ゼミでは、映像作品の歴史的研究、作家論・作品論的研究を行うと同時に、映像作品の設計図と呼ばれるシナリオの制作を大きな目標としている。 ちなみに、この「応用演習B」では、「日本映画史110年」（集英社新書）を読んで、広く映像の歴史について学ぶことにする。そうすることで、学生は映像の歴史の中の現在を知り、映像文化の中のアニメーションの位置づけについても理解できるようになる。
授業概要	近代の光学装置としての映画が日本に持ち込まれてから、すでに120年以上が経っている。その間に日本映画がどのように発展し、変貌を遂げてきたかをたどってみる。学生はそれぞれ分担された対象の箇所を事前に調べ、授業においてその発表を行うことになる。実写もアニメーションも区別なく映像作品として扱うことになるが、そこに込められた人々の夢を追うことは国と時代を越えて人間理解を深めることに繋がるだろう。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	この授業では、授業への積極的な参加態度（40%）、プレゼンテーション（30%）、レポート提出（30%）などを合計し、総合的に評価を行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	レポートの提出や課題の発表がなされない場合は、評価不能となり単位認定ができないので特に注意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レポートの提出や課題発表のためには、当然のことながら予習・復習が必須である。予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	日本映画の特徴について	清水光二
第２回	第1章　活動写真　1896-1918	清水光二
第３回	第2章　無声映画の成熟　1917-30	清水光二
第４回	第3章　最初の黄金時代　1927-40	清水光二
第５回	第4章　戦時下の日本映画	清水光二
第６回	第5章　植民地・占領地における映画制作　台湾や朝鮮での映画	清水光二
第７回	満州映画の成立と終焉	清水光二
第８回	第6章　アメリカ占領下の日本映画　1952-60	清水光二
第９回	第7章　第二の全盛時代へ　1952-60	清水光二
第１０回	第8章　騒々しくも、ゆるやかな下降　1961-70	清水光二
第１１回	第9章　衰退と停滞の日々　1971-80	清水光二
第１２回	第10章　スタジオシステムの解体　1981-90	清水光二
第１３回	第11章　インディーズの全盛へ　1991-2000	清水光二
第１４回	第12章　製作バブルのなかで　2001-11	清水光二
第１５回	韓流映画の魅力	清水光二
第１６回	レポート試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	日本映画史110年	教・出版社名１	集英社

教・著者名１	四方田犬彦	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-08720752-1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	新版ハリウッド100年史講義	参・出版社名１	平凡社
参・著者名１	北野圭介	参・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4582-85849-5
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習B			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-313		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	春学期からの継続として「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」をテーマにおき、実際にアニメーション製作に使われた企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等を使って製作の流れを引き続き理解する事を行う。秋学期としては作品が世の中にどの様に広がって行ったかを販売チラシやプロモーションを行った雑誌等の実際の素材を使う事で作品・キャラクター展開のイメージを持たせる事で、プロデューサーが何を考え、展開を進めるかを学習する事でプロデュースの意味を理解する事を学生自身が理解する能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての勤務経験を元に、春学期からの継続として、私の今までプロデュースした作品群の企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等の資料を引き続き使う事でアニメーション製作の流れを理解させる。また、それら作品の販売チラシやプロモーションを行った雑誌等の実際の素材を使う事で作品・キャラクター展開のイメージを学生に持たせる事に主眼をおく。その上で現行の作品での展開を調べる事で、プロデュースの基礎を理解する事を目指す。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（４０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（３０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画	担当者

第１回	演習Aの振り返り	井上
第２回	資料の読み方（企画）	井上
第３回	資料の読み方（製作）	井上
第４回	資料の読み方（販売）	井上
第５回	資料の読み方（販売・タイアップ）	井上
第６回	資料の読み方（販売宣伝・雑誌）	井上
第７回	資料の読み方（販売宣伝・TV放送）	井上
第８回	資料の読み方（販売宣伝・ラジオ放送）	井上
第９回	資料の読み方（販売宣伝・Web）	井上
第１０回	資料の読み方（販売宣伝・イベント）	井上
第１１回	資料の読み方（販売宣伝・マニアイベント）	井上
第１２回	資料の読み方（販売宣伝・マニアイベント/北米）	井上
第１３回	資料の読み方（販売宣伝・マニアイベント/アジア）	井上
第１４回	資料の読み方（販売宣伝・マニアイベント/ヨーロッパ）	井上
第１５回	全体のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習B			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-313		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	異なる立場や背景の人々と建設的な意見交換をし、いっしょに活動ができるようになることをテーマとします。このテーマのもとで、学生が次の事柄をできるようになることを到達目標とします。 １．まとまった分量の文章を読んだり、話を聞いて、その内容を自分のことばでまとめ、わかりやすく説明できるようになる。 ２．根拠や理由をつけて自分の意見を言い、相手と自分の意見の違いや同じところ、根拠や理由の適切さなどを検討できるようになる。 ３．異なる立場や背景の人々といっしょに活動ができるようになる。 この到達目標を達成するため、この演習では、テクノロジーを媒介としたコミュニケーションを考察する入門書的な内容の本を読み、読んだことをまとめて説明し、お互いに意見を述べ、議論します。
授業概要	コミュニケーションに関する入門書的な内容の本を読んで、毎回担当者がその内容をほかの人たちにわかりやすく工夫して説明します。その説明をもとに、みんなで意見を交換します。その際には、相手の主張や本の内容をよりよく理解するため、質問をするようにします。また、自分の意見を述べるときには、必要があれば理由や根拠を述べるようにします。誰かの主張や、その理由や根拠が適切かどうかわからないときは、必ず質問をしましょう。質問をすることは、相手の言っていることを否定することではありません。質問は、よりよく相手のことを理解し、自分自身の知識や知恵を深めるための手段です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	演習課題（発表等）への取り組み（受講態度）を30%、演習内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を20%の重みづけで評価する。また、課題等の提出物20%、レポートの成績を30%として最終的に総合評価を行う。これらの4つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業課題（提出レポート）に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	遅刻・欠席の際には事前連絡をすること。発表・討論に積極的に取り組まないと演習は成立しません。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：指定する論説、教科書の章を読んできてください。約2時間。 復習：授業で学んだことの振り返り、レポート作成を要求します。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

	授業計画	担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	小さなドキドキをかさねながら	大谷
第３回	小さなドキドキをかさねながら　対面的な相互行為は賭けをともなう	大谷
第４回	引き算から生まれるもの	大谷
第５回	引き算からうまれるもの　む～に対するマザーリース	大谷

第６回	弱いロボットの誕生	大谷
第７回	弱いロボットの誕生　苦肉の策としてのチープデザイン	大谷
第８回	弱いロボットの誕生　もっと完璧にお掃除するものであったら？	大谷
第９回	対峙しあう関係から並ぶ関係へ	大谷
第１０回	対峙しあう関係から並ぶ関係へ　人とロボットの並ぶ関係は？	大谷
第１１回	対峙しあう関係から並ぶ関係へ　人とロボットの並ぶ関係は？	大谷
第１２回	エピローグを読む	大谷
第１３回	「弱さ」とロボットに関するディスカッション	大谷
第１４回	アニメやゲームづくりにどう生かすか	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	レポート試験	大谷

教科書			
教・書籍名１	〈弱いロボット〉の思考	教・出版社名１	講談社
教・著者名１	岡田美智男	教・ＩＳＢＮ１	978-4-06-288433-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習B	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-313

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	秋学期は手塚治虫文庫全集のメジャーな作品を鑑賞します。鉄腕アトムやリボンの騎士、ジャングル大帝、ブラックジャック等、手塚作品で有名なものはたくさんありますが、ブラックジャックを取り上げ、手塚治虫がどういうストーリーを書いてきたのかを概観することがテーマです。日本アニメ界で最も有名な漫画家の有名な作品を鑑賞することで、学生は手塚作品の哲学を知ることができ、どういう漫画家だったかをおよそ把握することができるようになります。
授業概要	紹介した本を選んで読んで感じたことをレポートにしてもらい、それぞれの作品が言いたかったこと、伝えたいことを探ります。手塚の思想や信念を学生たちで読んだ後に討論します。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	どのくらい真剣に取り組んでそれぞれの作品から思想、信念、言いたいことが捉えられているかをレポートや普段の講義の中で評価します。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	前もって、次の週にやるテーマを与えます。それを読んできてもらいます。それぞれの学生に、一人では読み取れなかったメッセージを共有することで、どういうふうに漫画を読んでいったらいいのか、その方法を定着させます。
履修条件・注意事項	漫画を次の週までに必ず読んでくることが履修条件です。貪欲に読むという作業を求めます。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	普段から手塚自身が書いた作品に親しむ癖をつけて下さい。また何度も読み返すことによって、メッセージをどううまく伝えているのか、セリフやコマ割りなどにも注意して読むようにして下さい。
オフィスアワー	水曜日の３限。２号館６F研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	ブラックジャック１	平見勇雄
第２回	ブラックジャック２	平見勇雄
第３回	ブラックジャック３	平見勇雄
第４回	ブラックジャック４	平見勇雄
第５回	ブラックジャック５	平見勇雄
第６回	ブラックジャック６	平見勇雄
第７回	ブラックジャック７	平見勇雄
第８回	ブラックジャック８	平見勇雄
第９回	ブラックジャック９	平見勇雄
第１０回	ブラックジャック１０	平見勇雄
第１１回	ブラックジャック創作秘話１	平見勇雄
第１２回	ブラックジャック創作秘話２	平見勇雄
第１３回	ブラックジャック創作秘話３	平見勇雄
第１４回	ブラックジャック創作秘話４	平見勇雄
第１５回	ブラックジャック創作秘話５	平見勇雄
第１６回	レポート提出とそのまとめ	平見勇雄

教科書

教・書籍名１	（学生には貸与、およびコピーにて対応する講談社の）手塚治虫文庫全集のブラッ	教・出版社名１	講談社文庫

	クジャック		
教・著者名１	手塚治虫	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	ブラックジャック創作秘話	教・出版社名2	秋田書店
教・著者名2	吉本こうじ	教・ＩＳＢＮ2	B00AQY7XQO
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習B	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-313

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	アニメは、漫画や映画といった直接的隣接ジャンルと密接に結びつく。さらに、文藝、美術、演劇、音楽といったジャンルの作品を創作の源泉としうる。そのような様々なジャンルの代表的作品群をテクスト、映像、音声を通して鑑賞し、これについての分析・解説を聴くことになる。これにより学生は、将来のアニメ作品制作や批評に資する豊富な文藝・映像表現・音楽の資源を所有することができる。
授業概要	まず漫画原論や映画技法について説明。次いで文藝史、美術史、音楽史の大まかな解説。その上でオリジナルとなる文藝作品を読み、これを原作とする映像作品を見る。また、西欧文明の二大母体となるギリシャ文明とヘブライ文明由来のテクストを読み、それにもとづくオペラを鑑賞する。最後の二回は古代の造形美術と近代の歴史画に表現された古代の形象を鑑賞・解説する。また学生は折にふれて課題に対する発表をおこない、全員で議論することになる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題(50%)、定期試験(50%)。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題に対するフィードバックは、これに対する講評によっておこなう。
履修条件・注意事項	テクストは購入するか図書館で借りてきちんと読むこと。また、指定された映像作品も必ず見ること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	授業中に扱う範囲はテクストのさわりに限られるので、必ず予習で指定された範囲全部を読んでくること(90分)。また授業での解説を聞いた後の復習で、範囲全部を読み直すこと(90分)。指定された映像作品(部分)を予習・復習で見ること。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	クラーク『2001年宇宙の旅』	山本
第２回	キューブリック、Space Odyssey	山本
第３回	アポロドロス『ギリシャ神話』	山本
第４回	モンテヴェルディ、L'Orfeo	山本
第５回	グルック、Orfeo ed Euridice	山本
第６回	R.シュトラウス、Ariadne aufNaxos	山本

第７回	オウィディウス『変身物語』	山本
第８回	ヘンデル、セメレ	山本
第９回	R.シュトラウス、Daphne	山本
第１０回	イザヤ書	山本
第１１回	ヘンデル、Messiah	山本
第１２回	『サムエル記』	山本
第１３回	ヘンデル、Saul	山本
第１４回	古代西洋美術概観	山本
第１５回	近代歴史画概観	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習B			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-313		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は「自らの表現スタイルを確立する」ことをテーマとする。 自分の研究テーマを設定し、これまでに学修したことを総合して課題を行う。 作品制作による研究を行う場合は、技法やスタイルだけでなく主題構造を構築し、 十分に深めながら表現できる能力を身につける。 論文による研究を行う場合は、関心のあるテーマを選択し、先行研究を十分行った上で 明確な結論を引き出す能力を身につけることができる。 学生は、専門知識を課題制作を通じて身につけ自身の求める作品を完成できる。
授業概要	様々な表現について研究し、そこから選択した手法に基づき作品を制作する。 作品は可能な限り多数制作しポートフォリオの充実を目指す。 手法についてはアニメーションや立体物を含む広範な表現形式から選択する。 毎週の進捗状況に合わせて、プレゼンテーションを含む全体討議による発表を行い、 年間の制作進行表を作ってそのタイムスケジュールにそって自己管理しながら授業内容を進める。 この授業は、アニメーター、デザイナーとしてキャラクター、アニメ、イラストレーション等の ビジュアルデザイン制作を行った実務経験のある教員が担当する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、作家的主題の確立と、自らの世界観に基づいて表現できる能力を身につける ことを目的としていることから、研究態度（10%）、課題作品（60%）、単位認定作品（40%） の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。 ポートフォリオや作品などの課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら 指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題ごとに講評、修整点を伝え、最終回に全体の講評を行う。
履修条件・注意事項	１）卒業研究につながる演習であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。２）共同研究を行う場合、分担が明確に示せることを条件とする。３）基本的なソフトウェアの操作に習熟できていることを条件とする。
実務経験のある教員	該当する　内容　1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アート表現に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について 予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	水曜5限 （2号館 267研究室）をオフィスアワーとする。 またTeams上で質問を随時受け付けている。

授業計画		担当者
第１回	授業方針の説明 制作内容決定	佐々木　洋
第２回	舞台設計-1	佐々木　洋

	会話劇	
第３回	舞台設計-2 脱出劇	佐々木　洋
第４回	舞台設計-3 グランドホテル	佐々木　洋
第５回	課題経過討議-ラフ	佐々木　洋
第６回	課題経過討議-細部	佐々木　洋
第７回	課題経過討議 中間提出	佐々木　洋
第８回	修整作業課題(リテーク) 空間	佐々木　洋
第９回	修整作業課題(リテーク) 視線誘導	佐々木　洋
第１０回	修整作業課題(リテーク) 全体意匠	佐々木　洋
第１１回	修整作業課題(リテーク) 細部	佐々木　洋
第１２回	第二回提出 講評	佐々木　洋
第１３回	修整作業課題(リテーク) 全体	佐々木　洋
第１４回	修整作業課題(リテーク) 細部-2　シナリオとの連関	佐々木　洋
第１５回	作品発表/講評	佐々木　洋
第１６回		佐々木　洋

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習B			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-313		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は、「自主制作作品を完成させることができる」をテーマとし、イラストやアニメーションを中心に制作研究を行うことで、基礎的な能力を身につけ自分の表現として制作できるようになる。選択肢として３DCGやクレイアニメなども視野に入れながら制作を行う。具体的な技法として、手描きを中心に進めるが、ペンタブレットによる描画も選択肢に入れる。応用演習では卒業研究の準備として必要な知識と技術を修得し、同時に自主制作のための資料収集を行い、基礎的な作品の制作を到達目標とする。
授業概要	卒業制作につながる必要な基礎的な技術を身につける。自分にあった技法で短編作品を作るために、手描きを中心に、コン ピューターのソフトの使用方法を含めた自主制作の能力を身につける。各自が自主的に学習して制作した内容を持ち寄って討論する形で学習を進める。手描きの能力を高めながら自分に合った技法に取り組む。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、アニメーション研究に基づいて作品による表現ができる能力を身につけることを目的としていることから、研究課題（40%）、自主制作作品提出（60%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	卒業研究につながる演習であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、アニメーションに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、彫刻家、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アニメーションに関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。 美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。　1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、年間計画	前嶋英輝
第２回	研究概要、企画、イメージボード	前嶋英輝
第３回	絵コンテ作成・・・プロット提示	前嶋英輝
第４回	絵コンテ作成・・・プロット編集	前嶋英輝
第５回	キャラクター設定、原画作成	前嶋英輝
第６回	中間発表（企画修正と資料確認）	前嶋英輝
第７回	制作管理確認（配布資料）	前嶋英輝
第８回	制作ステップ確認と作画	前嶋英輝
第９回	制作ステップ確認と動画チェック	前嶋英輝
第１０回	中間発表準備	前嶋英輝
第１１回	中間発表（進行確認と討論）	前嶋英輝
第１２回	中間発表を受けての全体的修正	前嶋英輝

第１３回	制作ステップ確認と編集	前嶋英輝	
第１４回	制作ステップ確認と仕上げ	前嶋英輝	
第１５回	最終確認と研究発表準備	前嶋英輝	
第１６回	作品提出	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１	After Effects for アニメーション	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ新社
参・著者名１	大平幸輝	参・ＩＳＢＮ１	978-4-86100-699-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	応用演習B			担当者	今村　俊介		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-313		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、3年次実践演習に向けて、映像作品企画を実現するため、一連の様々なプロセスである、脚本、ビジュアルデザイン、撮影、編集、音響効果の研究を行うことで、基礎的な能力を身につけ、作品を自分の表現として制作できるようになる基礎技法を身につけることができる。 アニメーション制作におけるデジタル技術の理解とソフトウェア活用によるの画像作成および画像処理の基礎スキルを身につけ、効果的な作品作成を行うための基礎な知識と技法を修得できる。また、必要に応じて代表的な3DCGソフトウェアの基礎概念を学び、実践演習に向けて3DCG作品作成過程の導入とすることができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「映像作品制作におけるコンピュータリテラシー」と「課題理解能力」である。
授業概要	アニメーション制作のデジタル化、脚本作成の技法、ビジュアルデザインの設計と撮影の意味、編集の効果的な設計、音響効果の概念など作品制作の土台となる知識・技法について学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題の進捗に応じてチェックとフォローアップを行う。最終成果物についてコメントを付記する。
履修条件・注意事項	実践演習に向けての土台を設計する段階なので、制作課題の方向性を探究すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として事前配信の予習テキストPDFを確認し、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて火曜4限に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	今村
第２回	2年次秋期の研究課題の実践：脚本	今村
第３回	脚本のプロトタイプ制作	今村
第４回	2年次秋期の研究課題の実践：ビジュアルデザイン	今村
第５回	ビジュアルデザインのプロトタイプ制作	今村
第６回	2年次秋期の研究課題の実践：撮影	今村
第７回	撮影の基本技法援用	今村
第８回	2年次秋期の研究課題の実践：編集	今村
第９回	効果的な編集映像の作成	今村
第１０回	2年次秋期の研究課題の実践：音響効果	今村
第１１回	オリジナル音響効果の設計制作	今村
第１２回	課題制作テーマの再確認	今村
第１３回	課題制作のビジョン再確認	今村
第１４回	課題制作の必要資料及び機材の再確認	今村

第１５回	実践演習に向けて課題制作作成開始のためのまとめ	今村	
第１６回	実践演習に向けての秋期課題制作試験	今村	
教科書			
教・書籍名１	各自の政策課題に応じて必要資料をPDFで配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	実践演習A			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-314		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	清水ゼミでは、映像作品の歴史的研究、作家論・作品論的研究を行うと同時に、映像作品の設計図と呼ばれるシナリオの制作および研究を大きな目標としている。 この「実践演習A」では、「すべてがわかる日本アニメ史入門」（彩流社）をテキストとして使い、日本アニメの歴史的流れを縦に辿りつつ、同時にその時々の主要作品と出来事についても並行して学ぶことにする。そうすることで、学生は映像の歴史の中の現在を知り、映像文化史の中のアニメーションの位置づけについても理解できるようになる。
授業概要	テキストとして使う「すべてがわかる日本アニメ史入門」（彩流社）は、「編年体と紀伝体を合わせた形」をその特徴としている。そのため、時間軸を中心に日本アニメの歴史を学ぶと共に、時々の主要な作品とそれにまつわる各種の出来事についても併せて知ることができる。それ故、学生は自分が一体何に関心があるのかを容易に発見できるし、それについて調べたり考察したりするモチベーションにも高いものが期待できよう。学生には、アニメについてのレポートをどのように書くかを学ぶいい機会になると考える。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	この授業では、授業への積極的な参加態度（40%）、プレゼンテーション（30%）、レポート提出（30%）などを合計し、総合的に評価を行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	レポートの提出や課題の発表がなされない場合は、評価不能となり単位認定ができないので特に注意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レポートの提出や課題発表のためには、当然のことながら予習・復習が必須である。予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	日本アニメの黎明期　1950-60	清水光二
第２回	白蛇伝、鉄腕アトム	清水光二
第３回	巨人の星、アタックNo.1	清水光二
第４回	ゲゲゲの鬼太郎	清水光二
第５回	日本アニメの勃興期　1970-80	清水光二
第６回	あしたのジョー	清水光二
第７回	アルプスの少女ハイジ	清水光二
第８回	機動戦士ガンダム	清水光二
第９回	ルパン三世　カリオストロの城	清水光二
第１０回	スタジオジブリの誕生	清水光二
第１１回	AKIRA	清水光二
第１２回	日本アニメの最盛期　1990年代	清水光二
第１３回	美少女戦士セーラームーン	清水光二
第１４回	新世紀エヴァンゲリオン	清水光二
第１５回	ほしのこえ	清水光二

第１６回	レポート試験		清水光二
教科書			
教・書籍名１	すべてがわかる日本アニメ史入門	教・出版社名１	彩流社
教・著者名１	アニメの旅人	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-7791-2776-2 C0095
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習A			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-314		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	応用演習ABからの継続として、「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」をテーマにおき、実際にアニメーション製作に使われた企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等を使って製作の流れを引き続き理解する事を行う。学生が実際の作品での展開を調べる事で、プロデューサーが何を考え、展開を進めるかを学習する事でプロデュースの意味を理解する事を学生自身が理解する能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての勤務経験元に、応用演習ABからの継続として、私の今までプロデュースした作品群の企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等の資料を引き続き使う事でアニメーション製作の流れを理解させ、新たな作品・キャラクター展開のイメージを学生に作成させる事に主眼をおく。その上で現行の作品での展開を元に学生自身がプロデュースの行える事を目指す。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（４０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（３０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	応用演習ABの振り返り及び研究論理に基づく責任ある研究活動	井上

第２回	資料の読み方（企画方向性）	井上
第３回	資料の読み方（企画資料集め）	井上
第４回	資料の読み方（企画資料固め）	井上
第５回	資料の読み方（ラフ企画書作成）	井上
第６回	資料の読み方（企画書作成）	井上
第７回	資料の読み方（企画書プレゼン）	井上
第８回	資料の読み方（企画書査定）	井上
第９回	資料の読み方（企画方向性実践）	井上
第１０回	資料の読み方（企画資料集め実践）	井上
第１１回	資料の読み方（企画資料固め２たーん実践）	井上
第１２回	資料の読み方（ラフ企画書作成実践）	井上
第１３回	資料の読み方（企画書作成実践）	井上
第１４回	資料の読み方（企画書プレゼン実践）	井上
第１５回	全体のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習A			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-314		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は、「自主制作」をテーマとし、アニメーションなどを中心に制作研究を行うことで、基礎的な能力を身につけ、作品を自分の表現として制作できるようになる。選択肢として3DCGやクレイアニメなども視野に入れながら制作を行う。具体的な技法として手描きを中心に進めるが、ペンタブレットによる描画も選択肢に入れる。必要な知識と技術を修得し、同時に自主制作のための資料収集を行い、実験的な自主制作作品の制作を到達目標とする。
授業概要	卒業制作までの今後の制作計画を立て、必要な技術を身につけることが大変重要になる。自分にあった技法を探すために様々な技法に挑戦し、コンピューターのソフトの使用方法を含めた自主制作の能力を身につける。各自が自主的に学習して制作した内容を持ち寄って討論する形で学習を進める。手描きの能力を高めながら実写合成などの技法にも幅を持って取り組む。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、アニメーション文化研究に基づいて表現できる能力を身につけることを目的としていることから、研究態度（30%）、研究内容（30%）、単位認定試験　（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	卒業研究につながる演習であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、アニメーションに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、彫刻家、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アニメーションに関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。 美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、年間計画	前嶋英輝
第２回	研究概要、企画、イメージボード	前嶋英輝
第３回	絵コンテ作成・・・プロット提示	前嶋英輝
第４回	絵コンテ作成・・・プロット編集	前嶋英輝
第５回	キャラクター設定、原画作成	前嶋英輝
第６回	中間発表（企画修正と資料確認）	前嶋英輝
第７回	制作管理確認（配布資料）	前嶋英輝
第８回	制作ステップ確認と作画	前嶋英輝
第９回	制作ステップ確認と動画チェック	前嶋英輝
第１０回	中間発表準備	前嶋英輝
第１１回	中間発表（進行確認と討論）	前嶋英輝
第１２回	中間発表を受けての全体的修正	前嶋英輝

第１３回	制作ステップ確認と編集	前嶋英輝	
第１４回	制作ステップ確認と仕上げ	前嶋英輝	
第１５回	最終確認と研究発表準備	前嶋英輝	
第１６回	作品提出	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１	After Effects for アニメーション	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ新社
参・著者名１	大平幸輝	参・ＩＳＢＮ１	978-4-86100-699-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	実践演習A			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-314		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	情報倫理学の基本的な考え方を広く習得することがテーマである。メディアにおける創作活動・流通において、倫理的・法的課題が問題とされる事例がある。また、アニメーションやゲームなどの原案・ストーリーの創作においては、情報倫理学で示される一種SF的な想像力が役立つことが多い。 情報倫理学分野に関する知識を習得するとともに、論理的・合理的に思考できる基礎的能力を涵養する。 到達目標は、下記のことができるようになることである。 １）情報倫理学の基本的なテーマにどのようなものがあるか理解できるようになる。 ２）情報倫理学の基本的なテーマについてどのような倫理的論点があるか理解できるようになる。 ３）身の回りの問題に引き付けて、情報倫理学の基本的論点について考察できるようになる。 ただし、履修者の興味・関心によっては変更する。
授業概要	Himma and Tavani(2008)The Handbook of Information and Computer Ethics, Wileyの章立てにしたがって、情報倫理学の基本的なテーマを解説し、その倫理的論点を考察する。英語の読解力があることが望ましいが、毎回簡単なレジュメを配布するので、とくに高度な読解力は必要としない。レジュメの概説後、教員と参加者で倫理的論点について議論を行い、理由・根拠を持った考察を行えるように訓練する。学期最後に、今学期紹介した基本的テーマ・倫理的論点のなかから興味のあるものを選び、2000文字程度のレポートを作成する。 ただし、内容は履修者の興味・関心によっては変更する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	演習課題（発表等）への取り組み（受講態度）を30%、演習内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を20%の重みづけで評価する。また、課題等の提出物20%、レポートの成績を30%として最終的に総合評価を行う。これらの4つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業課題（提出レポート）に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	遅刻・欠席の際には事前連絡をすること。発表・討論に積極的に取り組まないと演習は成立しません。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：指定した配布資料の該当箇所を読んでくること。約2時間。 復習：配布資料の内容を確認し、授業内容の振り返りを行うこと。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

	授業計画	担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	情報倫理学とは何か	大谷
第３回	情報倫理学の歴史	大谷
第４回	道徳的方法論とIT	大谷
第５回	価値を意識した設計と情報システム	大谷
第６回	知的財産の人格基礎的正当化と規則功利主義的正当化、ロック的正当化	大谷
第７回	情報プライバシー：概念と理論、論争	大谷

第８回	オンラインの匿名性	大谷
第９回	コンピュータセキュリティに係わる倫理的問題	大谷
第１０回	情報倫理と図書館専門職	大谷
第１１回	フリーソフトウェアとオープンソースソフトウェアにおける倫理的関心	大谷
第１２回	インターネット研究倫理	大谷
第１３回	健康情報技術	大谷
第１４回	情報とビジネスの倫理的問題	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	レポート試験	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	改訂新版　情報倫理入門	参・出版社名１	アイケイコーポレーション
参・著者名１	大谷卓史	参・ＩＳＢＮ１	4874923240
参・書籍名２	AIの倫理学	参・出版社名2	丸善出版
参・著者名2	クーケルバーグ著、直江清隆訳者代表	参・ＩＳＢＮ2	978-4621305881

授業科目名	実践演習A			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-314		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は「自らの表現スタイルを確立する」ことをテーマとする。 自分の研究テーマを設定し、これまでに学修したことを総合して研究をまとめる。 作品制作による研究を行う場合は、技法やスタイルだけでなく主題構造を構築し、 十分に深めながら表現できる能力を身につける。 論文による研究を行う場合は、関心のあるテーマを選択し、先行研究を十分行った上で 明確な結論を引き出す能力を身につけることができる。 学生は、専門知識を確実におさえ、様々なジャンルやメディアに広く関心を持ち続けることで、 作品を文化として考えながら研究を完成できる。
授業概要	卒業研究を視野に、様々な表現について研究し、そこから選択した手法に基づき作品を制作する。 作品は可能な限り多数制作しポートフォリオの充実を目指す。 手法についてはアニメーションや立体物を含む広範な表現形式から選択する。 毎週の進捗状況に合わせて、プレゼンテーションを含む全体討議による発表を行い、 年間の制作進行表を作ってそのタイムスケジュールにそって自己管理しながら作品制作を進める。 この授業は、アニメーター、デザイナーとしてキャラクター、アニメ、イラストレーション等の ビジュアルデザイン制作を行った実務経験のある教員が担当する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、作家的主題の確立と、自らの世界観に基づいて表現できる能力を身につける ことを目的としていることから、研究態度（10%）、課題作品（40%）、単位認定作品（50%） の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。 ポートフォリオや作品などの課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら 指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回講評を行い作品ごとにフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	１）卒業研究につながる演習であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。 ２）共同研究を行う場合、分担が明確に示せることを条件とする。 ３）基本的なソフトウェアの操作に習熟できていることを条件とする。
実務経験のある教員	該当する　内容　1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、美術学校での講師経験のある教員が30回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アート表現に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について 予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上で随時質問相談を受け付けている。

授業計画	担当者

第１回	1-オリエンテーション	佐々木洋
第２回	2-主題の構造と種類	佐々木洋
第３回	3-生涯に渡る主題	佐々木洋
第４回	4-セルフ・ブランディング	佐々木洋
第５回	5-価値の創造	佐々木洋
第６回	制作作品概要決定	佐々木洋
第７回	技法のルーチン化	佐々木洋
第８回	進捗確認と討議	佐々木洋
第９回	中間発表	佐々木洋
第１０回	時代変化を俯瞰する	佐々木洋
第１１回	自己世界を言語化する	佐々木洋
第１２回	進捗確認と討議	佐々木洋
第１３回	世界観の拡張	佐々木洋
第１４回	最終確認と研究発表準備	佐々木洋
第１５回	単位認定作品講評	佐々木洋
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習A	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-314

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	留学生も多いことから日本の歴史を知る意味でも日本の古典をまんがで読んでいきます。テーマは日本の文化を漫画を通して知り理解につなげることです。到達目標は日本の文化を深く理解していくことです。学生はこの講義を受けることで、単に有名な名前の物語の表面的なことだけでなく、日本人ももしかしたら知らないかもしれない物語を知ることができるようになります。
授業概要	以下、漫画となっている日本の古典を漫画で呼んでいきます。とは言っても、すべてを知ることはできないので、それぞれのハイライトを取り上げてプリントを配布します。おそらく背景となる日本の歴史も若干学びながらの授業になります。時に、学生に発表してもらい、自分の国にも同じような物語があるのかどうか、他の学生にも教えてもらいます。物語をたくさん知ることで自分の中の引き出しが増え、創作の際のヒントがたくさんあると思います。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	どの程度毎週真剣に与えられた課題を読んでくるかで評価します。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	その都度、簡単なまとめを出してもらいます。授業での発表も評価の対象となります。
履修条件・注意事項	毎週課題を読んでこなければ意味がありません。予習は必修です。わかる範囲で読んできて下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	日本語の勉強にも、歴史の勉強にもなります。それぞれの本の、おおまかな概要を知ろうと努力して下さい。予習として２時間、ネットで構いませんから内容と大筋を調べてきて下さい。あとは授業で確認し、ハイライト、大切なところを漫画で紹介します。復習は自分がこれを漫画にするならどのような点を大切に漫画化するかを自分なりに考えてレポートを提出してもらいます。２時間程度の復習の時間を確保して下さい。
オフィスアワー	水曜日の３限です。２号館６Ｆの研究室です。

授業計画		担当者
第１回	古事記	平見勇雄
第２回	落窪物語	平見勇雄
第３回	源氏物語　前半	平見勇雄
第４回	源氏物語　後半	平見勇雄
第５回	和泉式部日記	平見勇雄
第６回	堤中納言物語	平見勇雄
第７回	今昔物語	平見勇雄
第８回	平家物語　前半	平見勇雄
第９回	平家物語　後半	平見勇雄
第１０回	とはずがたり	平見勇雄
第１１回	吾妻鏡	平見勇雄
第１２回	徒然草	平見勇雄
第１３回	太平記	平見勇雄
第１４回	御伽草子	平見勇雄
第１５回	前期のまとめ	平見勇雄
第１６回	試験	平見勇雄

教科書

教・書籍名１	日本の古典	教・出版社名１	
教・著者名１	有名漫画家およそ３０人合作	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習A	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-314

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	古代オリエント、ギリシャ、ローマならびに初期中世から現代までの西洋音楽を総覧することが主題である。調性になれた我々の耳には異質に聞こえる古い時代の音楽から、調性が生まれて急速に多様化した近代の音楽、あるいは現代音楽までを一望のもとにおさめることで、学生は豊富な音楽資源を将来の芸術制作に動員できるようになる。
授業概要	最近研究が進んだ古代や中世の音楽や、調性が生まれて以降の膨大な数の音楽作品から重要な作品を選び出してこれを聴取し、最新の情報を踏まえて解説する。またyoutubeを駆使することで、驚くほど多様な作品群に接することになる。また折にふれて与えられた課題について指名された学生は発表をおこない、ほかの学生はこれに対して論評を求められる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題発表(50%)、試験(50%)
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	評価のための課題については次回授業で講評によりフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。また予告された音楽作品をyoutubeで聴取すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	古代世界の音楽	山本
第２回	三和音以前の中世音楽	山本
第３回	ルネサンス音楽	山本
第４回	エリザベス朝の音楽	山本
第５回	モンテヴェルディ	山本
第６回	ヘンデル	山本
第７回	バッハ	山本

第８回	グルックとモーツァルト	山本
第９回	ベートーヴェンとシューベルト	山本
第１０回	ロッシーニ	山本
第１１回	シューマンとブラームス	山本
第１２回	ワーグナーとブルックナー	山本
第１３回	マーラーとR.シュトラウス	山本
第１４回	戦間期ドイツの音楽と映画音楽	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習A	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-314

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、4年次卒業研究に向けて、映像作品企画を実現するため、一連の様々なプロセスである、予算の立て方、事業計画、制作、広報等を調査研究を行うことで、基礎的な能力を身につけ、作品を自分の表現として制作できるようになる応用技法を身につけることができる。 アニメーション制作におけるデジタル技術の理解とソフトウェア活用によるの画像作成および画像処理の応用スキルを身につけ、効果的な作品作成を行うための実践的な知識と技法を修得できる。また、必要に応じて代表的な3DCGソフトウェアの応用概念を学び、卒業研究に向けて3DCG作品作成過程の導入とすることができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「映像作品制作におけるコンピュータリテラシー」と「課題理解能力」である。
授業概要	アニメーション制作のデジタル化、3DCGソフトウェアの技法、立体的なキャラクターデザインの具体的な造形ポイントと動きのプログラムパターン作成などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題の進捗に応じてチェックとフォローアップを行う。最終成果物についてコメントを付記する。
履修条件・注意事項	卒業研究に向けての土台を設計する段階なので、政策課題の方向性を確立すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アニメーション制作に関する書籍やネットの情報を参照し、研究課題のテーマに沿って予習復習をおこなう。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて月曜4限に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	今村
第２回	3年次春期の研究課題の方向性確認	今村
第３回	3年次春期の研究課題作成の必要条件設定	今村
第４回	3年次春期の課題制作スケジュール設定	今村
第５回	3年次春期の課題制作開始（1）	今村
第６回	3年次春期の課題制作開始（2）	今村
第７回	3年次春期の課題制作開始（3）	今村
第８回	3年次春期の課題制作中間確認	今村
第９回	3年次春期の課題制作中間確認参考資料提示	今村
第１０回	3年次春期の課題制作中間確認による修正(1)	今村
第１１回	3年次春期の課題制作中間確認による修正(2)	今村
第１２回	3年次春期の課題制作中間確認による修正(3)	今村
第１３回	3年次春期の課題制作中間確認による修正チェック(1)	今村
第１４回	3年次春期の課題制作中間確認による修正チェック(2)	今村

第１５回	3年次春期の課題制作中間確認による修正チェック(3)と春期工程のまとめ	今村	
第１６回	春期制作課題試験	今村	
教科書			
教・書籍名１	各自の政策課題に応じて必要資料をPDFで配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習B			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-315		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	清水ゼミでは、映像作品の歴史的研究、作家論・作品論的研究を行うと同時に、映像作品の設計図と呼ばれるシナリオの制作および研究を大きな目標としている。 この「実践演習A」では、「すべてがわかる日本アニメ史入門」（彩流社）をテキストとして使い、日本アニメの歴史的流れを縦に辿りつつ、同時にその時々の主要作品と出来事についても並行して学ぶことにする。そうすることで、学生は映像の歴史の中の現在を知り、映像文化史の中のアニメーションの位置づけについても理解できるようになる。
授業概要	テキストとして使う「すべてがわかる日本アニメ史入門」（彩流社）は、「編年体と紀伝体を合わせた形」をその特徴としている。そのため、時間軸を中心に日本アニメの歴史を学ぶと共に、時々の主要な作品とそれにまつわる各種の出来事についても併せて知ることができる。それ故、学生は自分が一体何に関心があるのかを容易に発見できるし、それについて調べたり考察したりするモチベーションにも高いものが期待できよう。学生には、アニメについてのレポートをどのように書くかを学ぶいい機会になると考える。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	この授業では、授業への積極的な参加態度（40%）、プレゼンテーション（30%）、レポート提出（30%）などを合計し、総合的に評価を行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	レポートの提出や課題の発表がなされない場合は、評価不能となり単位認定ができないので特に注意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レポートの提出や課題発表のためには、当然のことながら予習・復習が必須である。予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	日本アニメの黎明期　1950-60	清水光二
第２回	白蛇伝、鉄腕アトム	清水光二
第３回	巨人の星、アタックNo.1	清水光二
第４回	ゲゲゲの鬼太郎	清水光二
第５回	日本アニメの勃興期　1970-80	清水光二
第６回	あしたのジョー	清水光二
第７回	アルプスの少女ハイジ	清水光二
第８回	機動戦士ガンダム	清水光二
第９回	ルパン三世　カリオストロの城	清水光二
第１０回	スタジオジブリの誕生	清水光二
第１１回	AKIRA	清水光二
第１２回	日本アニメの最盛期　1990年代	清水光二
第１３回	美少女戦士セーラームーン	清水光二
第１４回	新世紀エヴァンゲリオン	清水光二
第１５回	ほしのこえ	清水光二

第１６回	レポート試験		清水光二
教科書			
教・書籍名１	すべてがわかる日本アニメ史入門	教・出版社名１	彩流社
教・著者名１	アニメの旅人	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-7791-2776-2 C0095
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習B			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-315		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	春学期からの継続として、「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」をテーマにおき、実際にアニメーション製作に使われた企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等を使って製作の流れを引き続き理解する事を行う。学生が実際の作品での展開を調べる事で、プロデューサーが何を考え、展開を進めるかを学習する事でプロデュースの意味を理解する事を学生自身が理解する能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての勤務経験を元に、春学期からの継続として、私の今までプロデュースした作品群の企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等の資料を引き続き使う事でアニメーション製作の流れを理解させ、新たな作品・キャラクター展開のイメージを学生に作成させる事に主眼をおく。その上で現行の作品での展開を元に学生自身がプロデュースの行える事を目指す。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	テーマ「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（４０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（３０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデユーサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日3限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	ゼミナール運営に関するルール及び諸注意の説明	井上

第２回	研究課題の再確認	井上
第３回	研究内容の分析	井上
第４回	資料収集	井上
第５回	資料分析	井上
第６回	ゼミ生同士の討論	井上
第７回	研究内容の打ち合わせ	井上
第８回	中間まとめ	井上
第９回	研究発表準備	井上
第１０回	中間発表	井上
第１１回	結果の再考察	井上
第１２回	研究作成	井上
第１３回	研究発表準備	井上
第１４回	研究発表	井上
第１５回	総括	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習B			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-315		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は、「自主制作」をテーマとし、アニメーションなどを中心に制作研究を行うことで、基礎的な能力を身につけ、作品を自分の表現として制作できるようになる。選択肢として3DCGやクレイアニメなども視野に入れながら制作を行う。具体的な技法として手描きを中心に進めるが、ペンタブレットによる描画も選択肢に入れる。必要な知識と技術を修得し、同時に自主制作のための資料収集を行い、実験的な自主制作作品の制作を到達目標とする。
授業概要	卒業制作までの今後の制作計画を立て、必要な技術を身につけることが大変重要になる。自分にあった技法を探すために様々な技法に挑戦し、コンピューターのソフトの使用方法を含めた自主制作の能力を身につける。各自が自主的に学習して制作した内容を持ち寄って討論する形で学習を進める。手描きの能力を高めながら実写合成などの技法にも幅を持って取り組む。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、アニメーション文化研究に基づいて表現できる能力を身につけることを目的としていることから、研究態度（30%）、研究内容（30%）、単位認定試験　（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	卒業研究につながる演習であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、アニメーションに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、彫刻家、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アニメーションに関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。 美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、年間計画	前嶋英輝
第２回	研究概要、企画、イメージボード	前嶋英輝
第３回	絵コンテ作成・・・プロット提示	前嶋英輝
第４回	絵コンテ作成・・・プロット編集	前嶋英輝
第５回	キャラクター設定、原画作成	前嶋英輝
第６回	中間発表（企画修正と資料確認）	前嶋英輝
第７回	制作管理確認（配布資料）	前嶋英輝
第８回	制作ステップ確認と作画	前嶋英輝
第９回	制作ステップ確認と動画チェック	前嶋英輝
第１０回	中間発表準備	前嶋英輝
第１１回	中間発表（進行確認と討論）	前嶋英輝
第１２回	中間発表を受けての全体的修正	前嶋英輝

第１３回	制作ステップ確認と編集	前嶋英輝	
第１４回	制作ステップ確認と仕上げ	前嶋英輝	
第１５回	最終確認と研究発表準備	前嶋英輝	
第１６回	作品提出	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１	After Effects for アニメーション	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ新社
参・著者名１	大平幸輝	参・ＩＳＢＮ１	978-4-86100-699-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	実践演習B			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-315		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	情報倫理学の基本的な考え方を広く習得することがテーマである。 情報倫理学分野に関する知識を習得するとともに、論理的・合理的に思考できる基礎的能力を涵養する。 到達目標は、下記のことができるようになることである。 １）情報倫理学の基本的なテーマにどのようなものがあるか理解できる。 ２）情報倫理学の基本的なテーマについてどのような倫理的論点があるか理解できる。 ３）身の回りの問題に引き付けて、情報倫理学の基本的論点について考察できるようになる。 ただし、受講者の関心により変更することがある。
授業概要	Himma and Tavani(2008)The Handbook of Information and Computer Ethics, Wileyの章立てにしたがって、情報倫理学の基本的なテーマを解説し、その倫理的論点を考察する。英語の読解力があることが望ましいが、毎回簡単なレジュメを配布するので、とくに高度な読解力は必要としない。レジュメの概説後、教員と参加者で倫理的論点について議論を行い、理由・根拠を持った考察を行えるように訓練する。学期最後に、今学期紹介した基本的テーマ・倫理的論点のなかから興味のあるものを選び、2000文字程度のレポートを作成する。 ただし、受講者の関心により変更することがある。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	演習課題（発表等）への取り組み（受講態度）を30%、演習内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を20%の重みづけで評価する。また、課題等の提出物20%、レポートの成績を30%として最終的に総合評価を行う。これらの4つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業課題（提出レポート）に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	遅刻・欠席の際には事前連絡をすること。発表・討論に積極的に取り組まないと演習は成立しません。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：教科書・配布資料の指定する箇所を事前に読んでくること。また、論文作成のための準備のため、実際に論文の一部等を書いてもらいます。約2時間。 復習：演習で学んだことをもとに、実際に論文の一部を書いてみる、文献などの調査を行うなどの実践的な活動を要します。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 春学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	インターネット上の情報に対する責任	大谷
第３回	バーチャルリアリティとコンピュータシミュレーション	大谷
第４回	遺伝情報：認識論的問題と倫理的問題	大谷
第５回	サイバー紛争の倫理	大谷
第６回	倫理的リスク評価の実践的メカニズム	大谷

第７回	インターネットの規制とガバナンス	大谷
第８回	情報過負荷	大谷
第９回	迷惑メール（スパムメール）	大谷
第１０回	剽窃の問題	大谷
第１１回	知的財産権：オンラインファイル共有の法的・道徳的挑戦	検閲と表現へのアクセス
第１２回	大谷	コンピュータ倫理のジェンダー問題
第１３回	デジタルデバイド	大谷
第１４回	間文化的情報倫理	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	レポート試験	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	改訂新版　情報倫理入門	参・出版社名１	アイケイコーポレーション
参・著者名１	土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著	参・ＩＳＢＮ１	4874923240
参・書籍名２	AIの倫理学	参・出版社名2	丸善出版
参・著者名2	クーケルバーグ著、直江清隆訳者代表	参・ＩＳＢＮ2	978-4621305881

授業科目名	実践演習B			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-315		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は「自らの表現スタイルを確立する」ことをテーマとする。 自分の研究テーマを設定し、これまでに学修したことを総合して研究をまとめる。 作品制作による研究を行う場合は、技法やスタイルだけでなく主題構造を構築し、 十分に深めながら表現できる能力を身につける。 論文による研究を行う場合は、関心のあるテーマを選択し、先行研究を十分行った上で 明確な結論を引き出す能力を身につけることができる。 学生は、専門知識を確実におさえ、様々なジャンルやメディアに広く関心を持ち続けることで、 個性を生かした作品を完成できる。
授業概要	卒業研究を視野に、様々な表現について研究し、そこから選択した手法に基づき作品を制作する。 作品は可能な限り多数制作しポートフォリオの充実を目指す。 手法についてはアニメーションや立体物を含む広範な表現形式から選択する。 毎週の進捗状況に合わせて、プレゼンテーションを含む全体討議による発表を行い、 年間の制作進行表を作ってそのタイムスケジュールにそって自己管理しながら作品制作を進める。 この授業は、アニメーター、デザイナーとしてキャラクター、アニメ、イラストレーション等の ビジュアルデザイン制作を行った実務経験のある教員が担当する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、作家的主題の確立と、自らの世界観に基づいて表現できる能力を身につける ことを目的としていることから、研究態度（10%）、課題作品（40%）、単位認定作品（50%） の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。 ポートフォリオや作品などの課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら 指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回講評を行い作品ごとにフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	１）卒業研究につながる演習であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。２）共同研究を行う場合、分担が明確に示せることを条件とする。３）基本的なソフトウェアの操作に習熟できていることを条件とする。
実務経験のある教員	該当する　内容　1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アート表現に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について 予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上で随時質問相談を受け付けている。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	佐々木洋

第２回	ポートフォリオ要件定義	佐々木洋
第３回	就職と作品	佐々木洋
第４回	ポートフォリオ作成計画	佐々木洋
第５回	素材の仮配置	佐々木洋
第６回	不足技法リストアップ	佐々木洋
第７回	不足技法対策	佐々木洋
第８回	進捗確認と討議	佐々木洋
第９回	中間発表	佐々木洋
第１０回	分析と批評	佐々木洋
第１１回	フェルミ推定	佐々木洋
第１２回	作家性の自己確認	佐々木洋
第１３回	立ち位置を考える	佐々木洋
第１４回	最終確認と研究発表準備	佐々木洋
第１５回	単位認定作品講評	佐々木洋
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習B	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-315

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	留学生も多いことから日本の歴史を知る意味でも日本の古典をまんがで読んでいきます。テーマは日本の文化を漫画を通して知り理解につなげることです。到達目標は日本の文化を深く理解していくことです。学生はこの講義を受けることで、単に有名な名前の物語の表面的なことだけでなく、日本人ももしかしたら知らないかもしれない物語を知ることができるようになります。
授業概要	以下、漫画となっている日本の古典を漫画で呼んでいきます。とは言っても、すべてを知ることはできないので、それぞれのハイライトを取り上げてプリントを配布します。おそらく背景となる日本の歴史も若干学びながらの授業になります。時に、学生に発表してもらい、自分の国にも同じような物語があるのかどうか、他の学生にも教えてもらいます。物語をたくさん知ることで自分の中の引き出しが増え、創作の際のヒントがたくさんあると思います。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	どの程度毎週真剣に与えられた課題を読んでくるかで評価します。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	その都度、簡単なまとめを出してもらいます。授業での発表も評価の対象となります。
履修条件・注意事項	毎週課題を読んでこなければ意味がありません。予習は必修です。わかる範囲で読んできて下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	日本語の勉強にも、歴史の勉強にもなります。それぞれの本の、おおまかな概要を知ろうと努力して下さい。まず予習として２時間程度、ネットで構いませんからどういう内容なのか、いつ頃のものなのかを自分で調べてきて下さい。そして最も重要な部分、ハイライトの部分を漫画で紹介します。復習は毎回授業と予習で行ったことを自分の言葉で、およそ２時間程度かけてまとめてもらいたいと思います。日本の歴史、本の知識を身につけて下さい。
オフィスアワー	水曜日の３限です。研究室で。２号館６Ｆです。

	授業計画	担当者
第１回	信長公記	平見勇雄
第２回	三河物語	平見勇雄
第３回	好色五人女	平見勇雄
第４回	奥の細道	平見勇雄
第５回	葉穏	平見勇雄
第６回	心中天網島	平見勇雄
第７回	雨月物語	平見勇雄
第８回	東海道中膝栗毛	平見勇雄
第９回	浮世床	平見勇雄
第１０回	春色梅児誉美	平見勇雄
第１１回	怪談	平見勇雄
第１２回	春学期、秋学期のまとめ１	平見勇雄
第１３回	春学期　秋学期のまとめ２	平見勇雄
第１４回	春学期　秋学期のまとめ３	平見勇雄
第１５回	特に後期のまとめ	平見勇雄
第１６回	試験	平見勇雄

教科書			
教・書籍名１	日本の古典	教・出版社名１	
教・著者名１	有名漫画家およそ３０人合作	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習B			担当者	山本　敦之		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-315		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	映画技法の確立期から現代にいたるまでの重要な映像作家の作品群を総覧することが主題である。当然、単にストーリーを追うだけの素人的見方ではなく、制作者の立場を想像しながら、作品を分析する。これにより学生は、膨大な名作群を自分の映像制作に動員できるようになる(暗示引用なども含む)。
授業概要	近代に生まれた映画という媒体によって膨大な数の作品が作られてきたが、これらの作品群から重要な作品を選び出してこれを鑑賞し、解説する。youtubeを駆使することで、かつては見ることが困難だった多くの作品を見ることになる。またこれらの作品群についての研究も膨大なものがあり、これらの中から精選していくつかのものを紹介する。学生はこれらの学習を通じて、映像作品をこれまでになく分析的に見ることができるようになる。また折にふれて与えられた課題について指名された学生は発表をおこない、ほかの学生はこれに対して論評を求められる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題発表(50%)、試験(50%)
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題については次回授業で講評によりフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。また予告された映画をyoutubeで聴取すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	D.W.グリフィスと映画文法	山本
第２回	エイゼンシュタイン	山本
第３回	ドイツ表現主義映画	山本
第４回	ジョン・フォード	山本
第５回	ハワード・ホークス	山本
第６回	ヒチコック	山本
第７回	オーソン・ウェルズ	山本

第８回	黒澤明	山本
第９回	小津安二郎	山本
第１０回	溝口健二	山本
第１１回	成瀬己喜男	山本
第１２回	フィルム・ノワール	山本
第１３回	ヌーヴェルヴァーグ	山本
第１４回	キューブリック	山本
第１５回	タルコフスキー	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習B			担当者	今村　俊介		
配当学科・研究科	2020～ 2022年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-315		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、4年次卒業研究に向けて、映像作品企画を実現するため、一連の様々なプロセスである、予算の立て方、事業計画、制作、広報等を調査研究を行うことで、基礎的な能力を身につけ、作品を自分の表現として制作できるようになる応用技法を身につけることができる。 アニメーション制作におけるデジタル技術の理解とソフトウェア活用によるの画像作成および画像処理の応用スキルを身につけ、効果的な作品作成を行うための実践的な知識と技法を修得できる。また、必要に応じて代表的な3DCGソフトウェアの応用概念を学び、卒業研究に向けて3DCG作品作成過程の導入とすることができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「画像処理におけるコンピュータリテラシー」と「課題理解能力」である。
授業概要	アニメーション制作のデジタル化、3DCGソフトウェアの技法、立体的なキャラクターデザインの具体的な造形ポイントと動きのプログラムパターン作成などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題の進捗に応じてチェックとフォローアップを行う。最終成果物についてコメントを付記する。
履修条件・注意事項	卒業研究に向けての土台を確定する段階なので、制作課題の方向性を確定すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	提出した自分の研究計画を進捗に応じて修正し、修正した計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アニメーション制作に関する書籍やネットの情報を参照し、研究課題のテーマに沿って予習復習をおこなう。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて火曜4限に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	今村
第２回	3年次秋期の研究課題の方向性確認	今村
第３回	3年次秋期の研究課題作成の必要条件設定	今村
第４回	3年次秋期の課題制作スケジュール設定	今村
第５回	3年次秋期の課題制作開始（1）	今村
第６回	3年次秋期の課題制作開始（2）	今村
第７回	3年次秋期の課題制作開始（3）	今村
第８回	3年次秋期の課題制作中間確認	今村
第９回	3年次秋期の課題制作中間確認参考資料提示	今村
第１０回	3年次秋期の課題制作中間確認による修正(1)	今村
第１１回	3年次秋期の課題制作中間確認による修正(2)	今村
第１２回	3年次秋期の課題制作中間確認による修正(3)	今村
第１３回	3年次秋期の課題制作中間確認による修正チェック(1)	今村
第１４回	3年次秋期の課題制作中間確認による修正チェック(2)	今村

第１５回	3年次秋期の課題制作中間確認による修正チェック(3)と秋期工程のまとめ	今村	
第１６回	秋期制作課題試験	今村	
教科書			
教・書籍名１	各自の政策課題に応じて必要資料をPDFで配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

Syllabus

アニメーション文化学部
アニメーション文化学科

2018～2019 年度入学生

授業科目名	吉備国際大から世界へ 保健医療福祉学部以外	担当者	吉備国際大学未定教員、畝　伊智朗
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-KE-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１３．気候変動に具体的な対策を／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ： Think Globally Act Locally.グローバルに物事を見る、グローバルに考える。実践はローカルに。 到達目標： ヒト、モノ、カネ、情報が自由に世界を飛び回る時代。グローバル化、国際化が進展する現代では、グローバルな視点で、日本を見直す必要がある。日本の事情・都合だけで、政治・外交、経済、企業経営などを行なうことはできない。そのため、グローバルな視点で事象を観察、評価、判断できる能力が求められる。社会科学分野の基本概念を学ぶことを通じて、グローバルな視点を学び、世界の常識を学びながら、グローバル人材としての基本的思考を確立することを目指す。学生は、グローバルな視点で物事を判断できるようになる。
授業概要	将来、社会で活躍する学生は、国際関係、国際経済、難民問題、その他多くのグローバル事象を複眼的に検討し、日本の事情を理解した上で、自分の意見が言える必要がある。そして、それを踏まえつつ、地域社会で実践する。それがグローバル人材。そのため、社会科学の多くの視点、手法を学びつつ、それを通じて世界の常識を認識できるようになる。グローバル人材として当然知っておくべき基本的な内容を学べる授業である。 具体的なイッシューを題材として、講義を行なう。その際、経験的方法、量的論証、批判的思考方法の手法・視点を取り入れる。自己教育力を身につけてもらうため、問題解決型学習の実践も取り入れる。グループに課題を与え、実態を調査し解決策を検討する。その成果は、授業で発表を行なってもらう。 この科目が、他の教養科目の学修深化の一助となると共に、海外留学での学びや専門科目を履修する上での基礎を築くものとしたい。 なお、履修者の興味、関心などに基づき、ディスカッションのやり方、テーマなどは適宜調整する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業への参加度・コメント（40%）、グループ・プレゼンテーション（20%）、最終レポートの成績（40%）により、総合評価をおこなう。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	グループ・プレゼンテーションの結果は、各プレゼンテーションの後で、それぞれ講評を行う。最終レポートに関しては、コメントを付し、授業または事務室を経由して、返却する。
履修条件・注意事項	ワールドニュースを必ず観ること。チェックすること。世界で起こっていることに関して、興味関心を持つこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：本講義の担当教員は、米国に通算2ヶ年留学し、国際協力機構JICAで長年勤務し、その間、コートジボアール日本大使館、JICAケニア事務所、フランスにある国際機関経済協力開発機構（OECD）に勤務した経験があるほか、多くの外国要人の接遇経験もある。 それらの実務経験で学んだ暗黙知（本、論文、ネット記事などになっていないもの）を、

			授業の節目節目で共有し、講義にリアリティを持たせる。
事前学習・事後学習とその時間	毎日、新聞を読む。ネットニュースなどをチェックする。参考図書などを読んで特定テーマに関し調べることなど、授業1回当たり、事前学習90分、復習90分の自己学修を必要とする。		
オフィスアワー	2号館附属図書館内で、毎週月曜日3限目、5限目をオフィス・アワーとします。		

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション　グローバル・スタディーズで学ぶこと	畝 山本倫子
第２回	国境とは何か？	畝 山本倫子
第３回	人はなぜ移動するのか？	畝 山本倫子
第４回	なぜ、自衛隊を軍隊と呼ばないのか？	畝 山本倫子
第５回	国連憲章と日本国憲法	畝 山本倫子
第６回	ジェンダー、LBGT、少数民族	畝 山本倫子
第７回	グループ・プレゼンテーション	畝 山本倫子
第８回	価値、価格はどのように決まるのか？	畝 山本倫子
第９回	自由貿易は本当に世界を豊かにするのか？	畝 山本倫子
第１０回	産業の空洞化、技術流出とは何か？何が問題なのか？	畝 山本倫子
第１１回	多国籍企業とは何だろうか？	畝 山本倫子
第１２回	高齢化社会の課題	畝 山本倫子
第１３回	世界の教育問題、日本の教育問題。	畝 山本倫子
第１４回	なぜ、Liberal Artsを学ぶのか？	畝 山本倫子
第１５回	グループ・プレゼンテーションと総括	畝 山本倫子
第１６回	最終試験（レポート）	畝

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	国際関係論　同時代史への羅針盤	参・出版社名１	中公新書
参・著者名１	中島嶺雄	参・ＩＳＢＮ１	4-12-101106-6
参・書籍名２	経済学を味わう　東大1、2年生に大人気の授業	参・出版社名2	日本評論社
参・著者名2	市村英彦ほか	参・ＩＳＢＮ2	978-4-535-55955-4

授業科目名	吉備国際大から世界へ 留学生(再履１・２クラス)	担当者	日笠　恵美子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-KE-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・AL
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。
授業概要	主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業態度を平常点として２０点、ノートやレポート課題の提出を５０点、そして単位認定試験を３０点とし、これらを１００点満点で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業内にてフィードバック
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。 履修上の条件・注意点：履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。本科目は、プレイスメントテストの結果で、２クラスに編成する。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が修得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上予習することと、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	日笠
第２回	世界の中の日本、岡山、高梁	日笠
第３回	日本人の行動様式	日笠
第４回	日本の食文化	日笠
第５回	日本の伝統文化	日笠
第６回	健康法	日笠
第７回	教育と学び	日笠
第８回	余暇と娯楽	日笠

第９回	現代の社会	日笠	
第１０回	報道とマスコミ	日笠	
第１１回	ITと情報社会	日笠	
第１２回	科学と技術	日笠	
第１３回	日本の歴史	日笠	
第１４回	岡山の祭り	日笠	
第１５回	異文化理解	日笠	
第１６回	単位認定試験	日笠	
教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じてプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	漢字マスターN2	参・出版社名１	三修社
参・著者名１	アークアカデミー	参・ＩＳＢＮ１	978-4-384-05632-7
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	吉備国際大から世界へ 留学生（再履3・4クラス）	担当者	井上　光惠
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-KE-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。
授業概要	日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を身につける。掲げたテーマごとにグループディスカッション行ったり、プレゼンテーションを行い、総合的で多角的な日本語力を身を養成する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業態度を平常点として２０点、プレゼンテーション・小テスト・課題の提出などを３０点、そして単位認定試験５０点とし、これらを１００点満点で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	① テキストで新しく学習した語彙・文型の練習問題を毎回の課題とし、翌週その答えのチェックとフィードバックを行う。 ② 初中級レベルの「漢字」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストをしフィードバックを行う。 ③テーマごとにプレゼンテーションを行い、フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも平常点として考慮する。単位認定試験に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎週の授業内容を踏まえて、事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間、教室にて

授業計画		担当者
第１回	１．オリエンテーション　自己紹介	井上光惠
第２回	２．トピック２（食文化）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光惠
第３回	３．トピック２（食文化）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠

第４回	４．トピック２（食文化）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第５回	５．トピック３（観光）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光惠
第６回	６．トピック３（観光）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠
第７回	７．トピック３（観光）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第８回	８．トピック５（行事）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光惠
第９回	９．トピック５（行事）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠
第１０回	１０．トピック５（行事）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第１１回	１１．トピック７（歴史）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光惠
第１２回	１２．トピック７（歴史）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠
第１３回	１３．トピック７（歴史）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第１４回	１４．振り返り	井上光惠
第１５回	１５．総括	井上光惠
第１６回	単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	まるごと　ことばと文化　初級２　A2　りかい	教・出版社名１	三修社
教・著者名１	来嶋洋美　柴原智代　八田直美　今井寿枝　木谷直之	教・ＩＳＢＮ１	978-4-384-05757-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	漢字たまご 初中級	参・出版社名１	凡人社
参・著者名１	嶋田和子 有山有樹 落合知春	参・ＩＳＢＮ１	978-4-89358-832-6
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	吉備国際大から世界へ （秋入学生）(再履１・2クラス)	担当者	日笠　恵美子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-KE-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・AL
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。
授業概要	主に、日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題、岡山、吉備、民話などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を習得して欲しい。毎回テーマをかかげ、グループディスカッションなどを行い、総合的で多角的な日本語力を身につける。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	授業態度を平常点として２０点、ノートやレポート課題の提出を５０点、そして単位認定試験を３０点とし、これらを１００点満点で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業内にてフィードバック
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも考慮する。持ち帰り試験の小論文を提出しなければ単位の認定はしないので注意すること。期末試験や持ち帰り試験のレポート作成に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。 履修上の条件・注意点：履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。本科目は、プレイスメントテストの結果で、２クラスに編成する。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が修得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上予習することと、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	日笠
第２回	世界の中の日本、岡山、高梁	日笠
第３回	日本人の行動様式	日笠
第４回	日本の食文化	日笠
第５回	日本の伝統文化	日笠
第６回	健康法	日笠
第７回	教育と学び	日笠

第８回	余暇と娯楽	日笠	
第９回	現代の社会	日笠	
第１０回	報道とマスコミ	日笠	
第１１回	ITと情報社会	日笠	
第１２回	科学と技術	日笠	
第１３回	日本の歴史	日笠	
第１４回	岡山の祭り	日笠	
第１５回	異文化理解	日笠	
第１６回	単位認定試験	日笠	
教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じてプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	漢字マスターN2	参・出版社名１	三修社
参・著者名１	アークアカデミー	参・ＩＳＢＮ１	978-4-384-05632-7
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	吉備国際大から世界へ （秋入学生）（再履３・４クラス）	担当者	井上　光恵
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-KE-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	留学生を対象に、日本での日常生活やキャンパスライフに必要な「読む」、「書く」、「話す」力を身につけることを到達目標とする。これから始まる専門科目の基礎となる内容をテーマとし、特に日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの文章を読み、理解する。日本と自国の文化の違いを相互に理解した上で文章を書いたり、話したり、プレゼンテーションを行える日本語力を養う。グローバル化が進展する現代社会において、互いの文化を理解し、世界で活躍できる人材を育成するために、その基礎となる知識や日本語力の向上を目指す。
授業概要	日本語の世界、日本の文化、日本人の行動様式、言語とコミュニケーション、異文化理解、ITと情報社会、時事問題などの話題に触れ、日本語の文章を理解し、自らの考えや意見を書く力、自分以外の他者に伝える力を身につける。掲げたテーマごとにグループディスカッション行ったり、プレゼンテーションを行い、総合的で多角的な日本語力を身を養成する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業態度を平常点として２０点、プレゼンテーション・小テスト・課題の提出などを３０点、そして単位認定試験５０点とし、これらを１００点満点で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	① テキストで新しく学習した語彙・文型の練習問題を毎回の課題とし、翌週その答えのチェックとフィードバックを行う。 ② 初中級レベルの「漢字」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストをしフィードバックを行う。 ③テーマごとにプレゼンテーションを行い、フィードバックを行う。
履修条件・注意事項	単位認定試験は、講義の最終日に実施の予定ではあるが、それだけでは評価しない。あなたの興味や関心、そして参加度合いも平常点として考慮する。単位認定試験に向けて、毎回の講義後、講義内容をノートにまとめ、予習・復習を心がけること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎週の授業内容を踏まえて、事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間、教室にて

授業計画		担当者
第１回	１．オリエンテーション　自己紹介	井上光恵
第２回	２．トピック２（食文化）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光恵

第３回	３．トピック２（食文化）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠
第４回	４．トピック２（食文化）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第５回	５．トピック３（観光）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光惠
第６回	６．トピック３（観光）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠
第７回	７．トピック３（観光）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第８回	８．トピック５（行事）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光惠
第９回	９．トピック５（行事）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠
第１０回	１０．トピック５（行事）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第１１回	１１．トピック７（歴史）-１　漢字・語彙　会話と文法１	井上光惠
第１２回	１２．トピック７（歴史）-２　会話と文法２　読解　作文	井上光惠
第１３回	１３．トピック７（歴史）-３　プレゼンテーション・フィードバック	井上光惠
第１４回	１４．振り返り	井上光惠
第１５回	１５．総括	井上光惠
第１６回	単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	まるごと　ことばと文化　初級２　A2　りかい	教・出版社名１	三修社
教・著者名１	来嶋洋美　柴原智代　八田直美　今井寿枝　木谷直之	教・ＩＳＢＮ１	978-4-384-05757-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	漢字たまご 初中級	参・出版社名１	凡人社
参・著者名１	嶋田和子 有山有樹 落合知春	参・ＩＳＢＮ１	978-4-89358-832-6
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	地域学概論 アニメ			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-KE-1-002		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	15	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	＜きびこく学・前半8回＞ 本学の教育目標である「地域創成に実践的に役立つ人材の養成」を達成するための導入的教育として位置づけられる科目である。テーマとしては、順正学園及び大学が、立地する地元地域社会の中で発展を遂げてきた歴史、ならびに地域の歴史や文化、人々の生活等について理解を深めるとともに、地域社会の現状を理解し、地域創成に向けて取り組むべき課題について学ぶことがあげられる。 到達目標としては次の2点があげられる。 ①順正学園及び大学の歴史ならびに地域社会の歴史的特性や現状を理解し、地域創成のための取り組むべき課題を理解できる。 ②地域創成に向けて、学生としてどのような貢献ができるか考え、チャレンジする態度を涵養できる。 ＜SDGs概論・後半8回＞ 「地球環境システムと人間社会システムの現状とSDGsの必要性と意義の理解」をテーマとし、SDGsの概要について学ぶ。 到達目標は以下の通り。 ①地球環境システムと人間社会システムの現状とSDGs策定の背景が理解できる。 ②SDGsについて全体像を把握し、その概要を説明できる。 ③SDGsの各目標を自分事として捉えることができる。 ④SDGsの達成に向けて必要な取り組みを実行することができる。
授業概要	＜きびこく学・前半8回＞ 順正学園及び大学が、立地する地域の中で発展を遂げてきた歩み(歴史)を概観するとともに、地元地域で様々な活動を展開されている方々を講師に招き、地域の歴史や文化、人々の生活ならびに地域社会の現状や課題等についてご講演いただき、地域の特性や課題について理解を深める。また、毎回の講義の中で、学生の立場で地域の課題解決や発展にどのような貢献ができるのか考え、生活の主体者として地域創生に向けて取り組む姿勢を涵養することができるよう、レポート課題に取り組む。 ＜SDGs概論・後半8回＞ 2030年までの国際目標である「持続可能な開発目標SDGs」について、その背景や目的を学ぶと共に、SDGsの17の目標について概要を学ぶ。また、SDGs達成に向けて実際にどのような取り組みが行われているかを学ぶ。そして、学生自らがその実現に向け、何ができるか、また何をしなければならないかを考え、実行しようとする能力を身につける。 授業は全学科の学生が受講する合同授業と各学科の授業で構成されている。合同授業は、地球環境システムと人間社会システムの現状とSDGs策定の経緯およびSDGsの概要について講義形式で教授する。各学科の授業ではグループに分かれてSDGs達成に向けた施策をまとめ、グループ毎に発表をおこない課題解決能力を養う。
アクティブラーニングの内容	PBL／グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）

評価方法と割合	＜きびこく学・前半8回＞ 毎回授業時提出のレポート評価(70%)、第8回目に行う学修成果確認レポート作成の評価(30%)により、総合的に評価する。 ＜SDGs概論・後半8回＞ グループでの活動及び発表を評価する(50%)。最後に筆記試験を行いSDGsの理解度を評価する(50%)。 詳しい評価方法は、最初の授業時に説明する。		
ルーブリック評価			
課題や試験のフィードバック方法	＜きびこく学・前半8回＞ 毎回の授業でレポート提出を課すが、次回の授業時までに内容を評価し返却する。 ＜SDGs概論・後半8回＞ 振り返りレポートを評価して次回授業で返却する。		
履修条件・注意事項	＜きびこく学・前半8回＞ 地域の様々な立場にある外部講師による有益な講義を多く導入しているので、受講態度に十分留意して毎回必ず出席すること。 受講内容に関するレポート課題には、単に感想を述べるのではなく、真摯に、積極的に取り組むこと。 ＜SDGs概論・後半8回＞ ①初回の授業には、必ず出席すること。 ②学科別授業ではグループワークを行うことから、授業を欠席しないこと。 ③合同授業日と各学科授業日があるので注意すること。		
実務経験のある教員	該当する	内容	＜きびこく学・前半8回＞ 授業を担当する複数の講師は、いずれも学園や大学の創設に中心的役割を担い尽力した講師や、地域社会の中で様々な活動を展開している実務経験の豊富な講師で
事前学習・事後学習とその時間	＜きびこく学・前半8回＞ １）事前にユニパを通じて配布する資料に十分目を通すとともに、インターネット等を通じて授業内容に関する情報を収集するなど、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すること。 ２）授業後には、学修内容を振り返り、不明な点や確認したいことなどを各自で調べるなど、毎回2時間以上の事後学修を行うこと。 ＜SDGs概論・後半8回＞ ユニパで配布する資料を基に事前学修をすること。また、授業終了後は必ず復習を行うこと。予習及び復習は各2時間程度行うこと。		
オフィスアワー	＜きびこく学・前半8回＞ 個人研究室(10313)にて、水曜日5限に実施 ＜SDGs概論・後半8回＞ 個人研究室(14601号室)にて、木曜日5限に実施		

	授業計画	担当者
第１回	＜きびこく学・前半8回＞ オリエンテーション 地域創成と何かー「きびこく学」を学ぶ意義と授業計画について	大西正泰(経営社会学科) (各学科担当教員)
第２回	順正学園及び吉備国際大学の歴史について	加計美也子 順正学園副総長
第３回	高梁市の歴史と文化及び政策課題と今後の方向性について	近藤隆則 高梁市長
第４回	高梁基督教会堂(岡山県指定史跡)をめぐる歴史と人物	高梁基督教会牧師　八木橋康広
第５回	日本遺産「備中吹屋」	吹屋ふるさと村村長　戸田誠
第６回	「未来につなぐ図書館」としての活動	高梁市図書館統括マネージャー　宮地 康志
第７回	宇治地域住民総働のまちづくり	宇治地域市民センター長

		中曽 まゆみ
第８回	「山田方谷紹介用DVD視聴」によるレポート作成、ならびに全授業の学修成果振り返りレポート作成	各学科担当教員
第９回	＜SDGs概論・後半8回＞ SDGsとは何かーなぜ学ぶのか (オリエンテーションを含む)	井勝久喜(経営社会学科) (各学科担当教員)
第１０回	2030アジェンダ採択までの経緯	井勝久喜 (各学科担当教員)
第１１回	SDGsが目指している世界	井勝久喜 (各学科担当教員)
第１２回	SDGsの17の目標	井勝久喜 (各学科担当教員)
第１３回	グループ分けと検討課題の設定	各学科担当教員
第１４回	グループ別発表1回目	各学科担当教員
第１５回	グループ別発表2回目	各学科担当教員
第１６回	試験	各学科担当教員

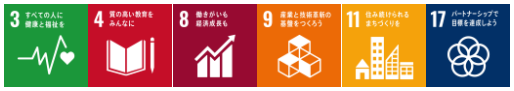
教科書			
教・書籍名１	使用しない（毎回授業用資料を配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	「備中高梁」に学ぶ	参・出版社名１	吉備人出版
参・著者名１	吉備国際大学「備中高梁学」研究会	参・ＩＳＢＮ１	9784860691967
参・書籍名２	SDGsとは何か	参・出版社名2	三和書籍
参・著者名2	安藤顯	参・ＩＳＢＮ2	9784862513984

授業科目名	地域貢献ボランティア アニメ	担当者	大谷　卓史
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-KE-2-003

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	△	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１１．住み続けられるまちづくりを／１７．パートナーシップで目標を達成しよう 
到達目標	テーマ：備中高梁でアニメーション文化学部が取り組む地域貢献活動を知り、多様な社会課題に関する知識を修得し、その課題解決のプロセスを経験する。 到達目標は、学生が次のことができるようになることである。 ①海外を含む学生の出身国（日本を含む）・地域が有する社会課題について知り、説明ができるようになる。 ②備中高梁でアニメーション文化学部が取り組む地域貢献活動やその他地域の地域振興活動とその目標・目的について知り、説明できるようになる。 ③上記②の地域貢献活動をさらに発展させる方法や、より効果的に目標・目的を達成する方法について提案ができる。 ④グループでの演習活動を通じて、多様な考え方やそれぞれの価値観の違いを知る。 ⑤学習成果の発表機会を通じ、プレゼンテーション力が身に着く。
授業概要	既習の他の必修科目（人間力育成科目：きびこく学、SDGs概論）でアニメーション作品等を通じて学んだ各地域の現状・課題の知識をもとに、さまざまな地域の社会課題解決のためにアニメーション文化学部やほかの組織が取り組む事例を学び、さらにこれらの活動を発展させる方法や、より効果的に目標・目的を達成する方法についてグループで検討し、提案ができるようになることを目指す。大学が位置する備中高梁を含む岡山県や中山間地の社会課題について、アニメーション文化学部が取り組む事例とともに、ほかの地域の社会課題に取り組む事例などを紹介する。グループワークを通じて、これらの事例をもとによりそれらの活動を発展させる方法や、より効果的に目標・目的を達成する方法を提案し、各チームごとにプレゼンテーションして発表する。そのうえで、グループで話し合って海外を含む自らの出身地域や居住地の社会課題を取り出し（出身国・出身地域が異なるグループメンバーにとって共通の課題でもよいし、グループメンバー誰かの出身国・出身地域の社会課題でもよい）、授業で紹介された事例やその事例を改善した問題解決方法を応用して、どのようにその社会課題に取り組むかグループで考察を行い、その結果について提案する。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	プレゼンテーション（60%）・ポートフォリオ内容（40%）　授業ポートフォリオは、いわゆる「大福帳」（シャトルカード）を利用する。各回の授業終了までにその回で学んだこと、その学んだことに関する自分自身の意見や感想、質問等を書くこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	「大福帳」に書いた内容に関しては、担当者が閲覧し、受講者の意見・感想・質問に対するコメントを付して返却する。
履修条件・注意事項	留学生（N2合格者以外）については、原則、2年次以降の履修とする。理由としては、グループでのディスカッションや発表機会が多くあるためである。
実務経験のある教員	該当する　内容　地域貢献活動に実際に従事する教員および、外部講師が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回発表機会があるので、その準備のために2時間程度の予習・復習時間を要する。
オフィスアワー	担当教員（大谷）のオフィスアワーは下記のとおりである。 春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室）

	秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	授業オリエンテーション	大谷
第２回	演習グループ、チームづくり（自己紹介等含む）	大谷
第３回	地方に広がるアニメスタジオ・ゲーム関連企業：コンテンツ産業立地論	井上・大谷
第４回	「米子映画事変」と地域振興活動	外部講師（米子ガイナックス）・大谷卓史
第５回	半農・半アニの地域に根差したアニメスタジオを目指して	外部講師（えかきや）・大谷卓史
第６回	児島で3Dキャラクターをつくる	外部講師（株式会社なのです）・大谷卓史
第７回	課題解決ワーク:各地の事例から見るコンテンツ産業と地域振興	大谷
第８回	成果発表:各地の事例から見るコンテンツ産業と地域振興	大谷
第９回	ゲームジャム高梁：ゲームジャムと若手クリエイター育成	外部講師・大谷卓史
第１０回	ICTを通じて地域住民の交流を促す：ICTクラブ高梁	外部講師・大谷卓史
第１１回	クリエイティブフェスティバル：eスポーツと地域振興	外部講師・大谷卓史
第１２回	課題解決ワーク:アニメーション文化学部の地域貢献活動をアップデートする	大谷
第１３回	成果発表:アニメーション文化学部の地域貢献活動をアップデートする	大谷
第１４回	課題解決ワーク：自分の出身地域や居住地の社会課題をコンテンツで解決できるか	大谷
第１５回	成果発表：自分の出身地域や居住地の社会課題をコンテンツで解決できるか	大谷
第１６回	学習成果ポートフォリオまとめ	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ローカルコンテンツと地域再生 観光創出から産業振興へ	参・出版社名１	水曜社
参・著者名１	増淵敏之	参・ＩＳＢＮ１	978-4880654515
参・書籍名２	コンテンツツーリズム メディアを横断するコンテンツと越境するファンダム	参・出版社名2	北海道大学出版会
参・著者名2	山村高淑、フィリップ・シートン	参・ＩＳＢＮ2	978-4832968677

授業科目名	キャリア開発Ⅰ アニメ			担当者	今村　俊介		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-CG-1-001		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	８．働きがいも経済成長も
到達目標	【到達目標】社会的自立と職業的自立にむけて、自分の生き方・働き方を計画（キャリアデザイン）し、実行できる人間力と社会人意識の基礎を身につける。 キャリアとは、生涯にわたる様々な立場や役割における自己と働くこととの関係づけや価値づけで、人生そのものである。そして、キャリアデザインとは、卒業後の将来を見据えて自らの生き方・働き方を考え、計画することである。大学生活を充実させ、社会で生きていくためには、自立的・主体的に考えて行動し、問題や課題に直面したときに自分で対処し解決する力が必要となる。そのためには、社会が求める人間像（自主性、責任感、教養、分別、コミュニケーション力）について考え、自分自身を知り目標をもって実行していくことが必要である。 したがって、この科目の具体的な到達目標として、以下の3点を設定する。 ①学生は自分自身を知り、社会を知ることで、自らの将来をイメージしながら、社会に出て働く意味や自分の目標を明確化できる。 ②学生はその目標や社会的自立に向けて、自身のキャリアをデザインし、大学生活をどのように過ごすか考え、実践できる。 ③学生は社会人としての基礎力であるコミュニケーション能力、社会人意識、職業選択能力を向上できる。
授業概要	授業は、合同授業と学科別授業で構成されている。合同授業では、キャリアとは何か、キャリアをデザインするとはどのようなことか、大学生活における心身の健康やキャリア実践活動、一般的学力（自己理解）について講義や演習を行う。また、マイステップを使用する「キャリアデザインノート」の意義や作成方法についても説明し、個人の記録として卒業まで活用していく。 授業全体を通して、「自分を知る」「社会を知る」「社会とつながる」「生き方を考える（大学生活を含む）」「働き方を考える」という5つのテーマで構成し、ワークシートやキャリアデザインノートへの記入、グループワークやディスカッションといった演習活動を行って自分の人生を考えることができるようにする。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	授業時間内の活動や発言（30%）、ワークシートやキャリアデザインノートへの記入（30%）、基礎学習（kiuiドリル）実施状況（20%）、最終試験あるいはレポート（20%）で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	ワークシートやキャリアデザインノートの記入内容については、授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回、資料やプリントを配布するので、第1回目授業からファイルを持参すること。

実務経験のある教員	該当する	内容	第2回、5回、14回は、キャリア形成や就職支援の実務経験のある外部講師を招き、キャリアデザインの基礎となる自己理解の演習を行う。
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、授業内で配布された資料や参考図書を読んでおく。 事後学習として、授業内で配布された資料を読み、次回までの課題が提示された回はその課題に取り組む。随時、自身のキャリア実践やプランについて「キャリアデザインノート」に記載していく。 各２時間の学修時間を目安とする。		
オフィスアワー	14号館6階の個人研究室にて、毎週月曜日4限目をオフィスアワーの時間とする。		

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・キャリアとは何か	今村
第２回	自分を知る・社会を知る：興味検査（VPI）or適正検査（GATB）	外部講師：マイナビ
第３回	自分を知る・生き方を考える：メンタルヘルス	森信
第４回	生き方を考える：キャリアデザインとは何か、大学生活の意義	藤原
第５回	自分を知る：基礎学力（1回目）、大学生活の基礎	外部講師（ラインズ・マイナビ）
第６回	社会とつながる：対人コミュニケーション	今村
第７回	社会を知る・つながる：キャリア実践となる課外活動	藤原、外部講師（ボランティアセンター）
第８回	自分を知る・社会を知る：社会人基礎力	今村
第９回	自分を知る：自分の強みと弱み	今村
第１０回	社会とつながる：対人関係力	今村
第１１回	生き方を考える：これまでの振り返りとライフプラン	今村
第１２回	社会を知る・働き方を考える：学科の専門性や資格を活かす仕事	今村
第１３回	社会を知る・働き方を考える：興味関心や能力を活かす仕事	学科
第１４回	自分を知る：基礎学力（２回目）、将来に向けて	外部講師：ラインズ・マイナビ
第１５回	まとめ：キャリアデザインノートの作成	今村
第１６回	レポート（キャリアデザインノートの提出）	今村

教科書			
教・書籍名１	教科書は指定しない。毎回、資料やワークシートを配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	キャリア開発Ⅰ 留学生（アニメ）	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CG-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	卒業後の社会人としての人生に向け、４年間の大学生生活（授業、ボランティア、アルバイト、クラブ活動など全般）でいかにキャリアを積み上げるかを考え、卒業までの過ごし方を計画（自己のキャリアデザイン）し、実行を始める。社会が求める人間像を学びつつ、自己分析力を身につけ、卒業までの各節目に常に自己分析をし、その時点で何を身につけるべきか、何をすべきかを考えることができるようになる。
授業概要	社会が求める人間像を学びつつ、特に自己分析力を身につけ、キャリアデザインを考え実行出来るようになるための授業である。 合同授業と、各学科単位での授業の２形態とする。合同授業は、学生生活と卒後の就職などについての授業である。学科単位の授業は、各学科の特性を考慮し、教員の経験や実績を活かした内容とする。 全授業を、ワークシートや配布資料をファイルし、キャリアポートフォリオとして整理し、個人の成長の記録として卒業まで活用する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	評価の内訳は、毎回のレポート内容60％、ポートフォリオ整理20％、授業態度20％とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	レポートはフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	合同授業は指定した教室で行う。各学科で行う授業は各学科の指示に従うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この授業では一部講義において、実務経験のある企業の方を招き、日本に暮らす留学生としてのマナーなどについて講義を行い、学生の理解を深める。
事前学習・事後学習とその時間	学生のこれからのキャリアを考える場合、社会のニーズと自分の適正とのマッチングを図ることが重要で、そのためにはその両方に関する普段の省察が必要である。新聞やニュースを通じて、社会の情勢（学科の特性を考えれば、特にアニメ文化やアニメ業界のこと）に敏感になろう。と同時に、自分自身への振り返りも行おう。毎日新聞やニュースに接する時間を各自が確実に設けること、これをこの授業の普段の予習・復習とする。なお、予習・復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜１限目と水曜４限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	１年生の学び　キャリアとは何か	ｃｓｃ
第２回	社会を知る：日本の法律、社会におけるルールとマナー	ｃｓｃ
第３回	社会を知る：地域での生活、日常生活の基礎知識	ｃｓｃ
第４回	日本での生活　マナー　３年後に向けて	ｃｓｃ
第５回	社会を知る・社会とつながる：日本語を使う・遊ぶ	清水光二
第６回	自分を知る・社会とつながる：日本語能力・コミュニケーション	清水光二
第７回	自分を知る・社会とつながる：自己紹介・短文作り	清水光二
第８回	社会を知る・つながる：キャリア実践となる課外活動	ｃｓｃ
第９回	社会とつながる：会話（聞く、話す）	清水光二
第１０回	社会とつながる：文章理解・問題読解	清水光二
第１１回	社会とつながる：対人関係・会話力	清水光二

第１２回	自分を知る：自分の強みと弱み		清水光二
第１３回	自分を知る・生き方を考える：興味関心や能力を活かす仕事		清水光二
第１４回	社会を知る・生き方を考える：学科の専門性を活かす仕事		清水光二
第１５回	まとめ：キャリアデザインノートの作成		清水光二
第１６回	レポート試験		清水光二
教科書			
教・書籍名１	プリント等を適宜配布。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	大学生のためのキャリア開発入門	参・出版社名１	中央経済社
参・著者名１	渡辺 峻	参・ＩＳＢＮ１	4502397709
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	キャリア開発Ⅱ アニメ	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理3年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社3年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化3年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他3年	ナンバリング	GE-CG-3-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	８．働きがいも経済成長も／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	自分に適した職業を具体的に選択し、就活を成功させるための能力を獲得することがテーマである。学生は各自の適した進路・職業を選択できる。また、選択した進路および社会一般が求める人間像について考え、身につけておくべき自主性や責任感、社会人としての常識や教養、分別、協調性や振舞い方を再確認し、実質的なものにすることができる。
授業概要	合同授業日と各学科の授業日で構成されている。合同授業は、リクルート、ベネッセ、山陽新聞社、労働局などの外部講師によるもので、実践的就活テクニックが身につくよう、配慮されている。学科授業では、それらを復習し総括することになる。実務経験のある教員による授業。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業での課題(90%)、定期試験(10%)。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックは課題に対する講評によっておこなう。
履修条件・注意事項	合同授業と各学科の授業では教室が異なるので注意。熱意をもって積極的に取り組むこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	授業での配布資料は復習してファイルすること。授業については、テーマを確認して、ネットで予習すること。予習、復習は各100分。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	就職活動準備情報収集　登録	情報サイト
第２回	インターンシップの必要性・申し込み方	シーズ
第３回	自分の傾向を学ぶ	リクナビ
第４回	自己分析・自己PR	ビザビ
第５回	エントリーとは・エントリーシート攻略	学情・ベネッセ

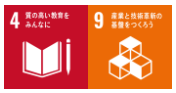
第６回	乗り遅れるなWEB就活	シーズ
第７回	業界・職種を理解する	ティスコ
第８回	業界研究・職業教育	中小企業同友会
第９回	SPI(筆記試験)対策	リクナビ
第１０回	労働関係法規	岡山労働局
第１１回	社会人に必要なマナー	リクナビ
第１２回	エントリーシート攻略フォロー・自分を振り返る	ベネッセ
第１３回	履歴書の書き方・応募書類の出し方	マイナビ
第１４回	面接対策・GD/集団/個人/WEB	ビザビ
第１５回	まとめ　内定お礼・内定辞退　お詫び	マイナビ
第１６回	単位認定試験	山本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	自分のキャリアを自分で考えるためのワークブック	参・出版社名１	日本能率協会マネジメントセンター
参・著者名１	小野田博之	参・ＩＳＢＮ１	4-8207-4302-3
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ｉ スポ社	担当者	天岡　寛、羽野　真哉
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-IT-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう 
到達目標	全学共通の基礎教育科目として、高校までに習得したコンピュータリテラシーをもとに、入学してから半期の間で、大学生に必要とされる必要最低限の一般教養としてのコンピュータスキルを身につけることを到達目標とする。 コンピュータ基本操作および基礎的アプリケーションソフトの利用をおこなえるように学習し、学科のディプロマポリシーに従って、大学でITを活用した効率的な学習を行うための基礎知識を習得する。
授業概要	情報モラルとセキュリティ、情報システムの利用と社会問題、OSの基本操作、インターネットの閲覧とブラウザの基本操作、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトの活用、ネットワーク、インターネットによる情報検索、コンピュータによる問題解決、ハードウェアとソフトウェア、デジタルデータのしくみなどについて学習する。 講義の内容に対応して、パソコンを使用し適宜演習が行われる。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	「コンピュータスキル」の定着を確認するため、講義内で用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30％の重みづけで評価される。また、課題等の提出物30％、試験の成績を40％として最終的に総合評価が行われる。これらの３つの評価をバランスよく得ていることが単位認定（到達目標）の判断基準とされる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	教科書は必ず初回の講義から持参すること。 講義は指定されたクラス・講義室で受講すること（受講者数はパソコン教室の定員以内とする）。 オリエンテーション等で、講義が始まる前までにコンピュータリテラシーのスキルを調べる「技能確認シート」が実施される場合がある。このシート未受験者の履修はその理由によっては認められないこともある。 高校までで習得したコンピュータリテラシーを踏まえた講義であるため、受講前までに高校で得た知見を十分復習しておくこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。
オフィスアワー	水曜日4時限目　9号館4階研究室

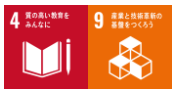
授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション（クラス・教科書、ログイン等確認、Teamsの操作）	天岡・羽野
第２回	パソコンのハードウェアと周辺機器	天岡・羽野

第３回	デジタルデータのしくみ（ビット/バイト・標本化・コード）	天岡・羽野
第４回	OSとアプリケーション	天岡・羽野
第５回	ファイルシステム操作	天岡・羽野
第６回	文書作成（ワープロソフト）操作	天岡・羽野
第７回	文書作成（ワープロソフト）課題	天岡・羽野
第８回	表計算ソフト操作	天岡・羽野
第９回	表計算ソフト課題	天岡・羽野
第１０回	プレゼンテーションソフト操作	天岡・羽野
第１１回	プレゼンテーションソフト課題	天岡・羽野
第１２回	ネットワークとインターネット	天岡・羽野
第１３回	インターネットによる情報検索・情報セキュリティ	天岡・羽野
第１４回	コンピュータの歴史・コンピュータによる問題解決	天岡・羽野
第１５回	情報モラルと社会問題、まとめ・質疑	天岡・羽野
第１６回	単位認定試験	天岡・羽野

教科書			
教・書籍名１	情報リテラシー 入門編 Windows 11 / Office 2021対応（FPT2117）	教・出版社名１	FOM出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	978-4-938927-54-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ｉ アニメ			担当者	今村　俊介		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-IT-1-001		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう 
到達目標	全学共通の基礎教育科目として、高校までに習得したコンピュータリテラシーをもとに、入学してから半期の間で、大学生に必要とされる必要最低限の一般教養としてのコンピュータスキルを身につけることを到達目標とする。 学生はコンピュータ基本操作および基礎的アプリケーションソフトの利用をおこなえるように学習し、学科のディプロマポリシーに従って、大学でITを活用した効率的な学習を行うための基礎知識を習得することができる。
授業概要	情報モラルとセキュリティ、情報システムの利用と社会問題、OSの基本操作、インターネットの閲覧とブラウザの基本操作、文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトの活用、ネットワーク、インターネットによる情報検索、コンピュータによる問題解決、ハードウェアとソフトウェア、デジタルデータのしくみなどについて学習する。 講義の内容に対応して、パソコンを使用し適宜演習が行われる。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	「コンピュータスキル」の定着を確認するため、講義内で用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30％の重みづけで評価される。また、課題等の提出物30％、試験の成績を40％として最終的に総合評価が行われる。これらの３つの評価をバランスよく得ていることが単位認定（到達目標）の判断基準とされる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	教科書は必ず初回の講義から持参すること。 講義は指定されたクラス・講義室で受講すること（受講者数はパソコン教室の定員以内とする）。 オリエンテーション等で、講義が始まる前までにコンピュータリテラシーのスキルを調べる「技能確認シート」が実施される場合がある。このシート未受験者の履修はその理由によっては認められないこともある。 高校までで習得したコンピュータリテラシーを踏まえた講義であるため、受講前までに高校で得た知見を十分復習しておくこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：担当教員は、前職で専門学校のコンピュータ・インストラクターとして5年間従事し、パソコンとソフトウェアのトレーニングを行った経験を持つ。その他企業または専門職を対象として個別レッスン及びシステム構築のサポートを担当した経験を持つ。
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した専門用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて専門用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて月曜4限に実施。 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メール

	にて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション（クラス・教科書、ログイン等確認、Teamsの操作）	今村
第２回	パソコンのハードウェアと周辺機器	今村
第３回	デジタルデータのしくみ（ビット/バイト・標本化・コード）	今村
第４回	OSとアプリケーション	今村
第５回	ファイルシステム操作	今村
第６回	文書作成（ワープロソフト）操作	今村
第７回	文書作成（ワープロソフト）課題	今村
第８回	表計算ソフト操作	今村
第９回	表計算ソフト課題	今村
第１０回	プレゼンテーションソフト操作	今村
第１１回	プレゼンテーションソフト課題	今村
第１２回	ネットワークとインターネット	今村
第１３回	インターネットによる情報検索・情報セキュリティ	今村
第１４回	コンピュータの歴史・コンピュータによる問題解決	今村
第１５回	情報モラルと社会問題、まとめ・質疑	今村
第１６回	単位認定試験	今村

教科書			
教・書籍名１	情報リテラシー 入門編 Windows 11 / Office 2021対応（FPT2117）	教・出版社名１	FOM出版
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	978-4-938927-54-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ⅱ			担当者	佐藤　匡		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-IT-1-002		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	政府の「AI戦略2019」（2019年6月策定）にて、リテラシー教育として、文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得する、とされたことを踏まえ、各大学・高専にて参照可能な「モデルカリキュラム」が数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムにおいて検討・策定された。本講義はそのリテラシーレベルのモデルカリキュラムに従ったものである。 到達目標は、今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付けること。そして、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能をもとに、これらを扱う際には、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意志でAI等の恩恵を享受し、これらを説明し、活用できるようになること。である。 （数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム ～ データ思考の涵養～ 2020年４月 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム 2枚目）
授業概要	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速している。そういった現代では、文系・理系を問わず、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、自身で適切に判断し行動することが、よりよく生きる上で求められている。また、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見のため、データから新しい価値を創造できる人材が強く求められている。そのため、この講義では、様々な分野のデータを分析するための数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶ。 前半では、数理・データサイエンス・AIが必要とされる背景やその仕組みを学習、理解する。後半では、実際に手を動かして、プログラミングを行う。
アクティブラーニングの内容	実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「数理・データサイエンス・AI基礎」の予習復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。それに対する返答、あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が30％の重みづけで評価される。また、課題等の提出物50％、データの形式を中心とした理解度を問う試験の成績を20％として最終的に総合評価が行われる。　これらの３つの評価をバランスよく得ていることが単位認定（到達目標）の判断基準となる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	受講者数は、30人以内とする。そのため抽選となることがある。 抽選は第2回目の講義の中で担当教員が実施する。他の講義と履修を迷っている場合は注意すること。 指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 第１回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがあるので十分注意すること。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて相談の上変更になることがある。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：担当教員が理事を務めているNPO全国要約筆記問題研究会（会員数約1,300人）では、全国の自治体に対して要約筆記者養成の現状調査を行っている。また、パソコン要約筆記全体投影の読みやすさについて、首都圏の聴覚障がい者にアンケートや読みやすさの調査を行っている。その分析では本講義のデータサイエンスの知識が活用されている。

事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている部分の教科書を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。また、復習として、その回で学習した用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 授業の進度と同程度の予習量復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて用語の説明が求められ、その状況が積極的な参加態度として成績評価の得点とされる。		
オフィスアワー	春学期： 岡山キャンパス131研究室水曜日３時限目 高梁キャンパス254研究室火曜日４時限目 秋学期： 岡山キャンパス131研究室火曜日２時限目 高梁キャンパス254研究室金曜日３時限目 予約なしで直接研究室に来て構わないが、先に来た他の学生との対応の都合で待たせる可能性もあるので、メールにて事前に予約するほうが時間を有効に利用できる。		

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・スキル確認テスト 導入とAIの定義とAIリテラシー	佐藤 匡
第２回	ビッグデータと社会の変化	佐藤 匡
第３回	社会で活用されているデータ	佐藤 匡
第４回	データ・AIの活用領域の広がり	佐藤 匡
第５回	データ・AIの技術	佐藤 匡
第６回	データサイエンス	佐藤 匡
第７回	データ・AIを活用するときの負の側面	佐藤 匡
第８回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（考え方）	佐藤 匡
第９回	データ・AIにまつわる倫理とセキュリティ（事例）	佐藤 匡
第１０回	AIとアルゴリズム	佐藤 匡
第１１回	データの構造とプログラミング	佐藤 匡
第１２回	データの利活用方法	佐藤 匡
第１３回	時系列データと文章データの分析例	佐藤 匡
第１４回	教師あり学習と教師なし学習	佐藤 匡
第１５回	データ・AI利活用における留意事項	佐藤 匡
第１６回	まとめと筆記試験・評価	佐藤 匡

教科書			
教・書籍名１	はじめてのAIリテラシー	教・出版社名１	技術評論社
教・著者名１	岡嶋裕史、吉田雅裕 著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-297-12038-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ⅱ			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-IT-1-002		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	仮想的な事例や現実の事例を通じて、情報セキュリティと情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。 到達目標は、学生が次の３つのことができるようになることである。 １．情報社会において、情報セキュリティにまつわる危険やリスクを理解し、トラブルを事前に回避できるようになる。 ２．万が一トラブルに巻き込まれた場合でも、人々の力を借りたとしても合理的な社会的・個人的コストで解決できるようになる。 ３．情報倫理学の基本的な思考を身につけることで、情報社会においてどのような倫理的問題が生じえるか理解できるようになる。 なお、本講義のラーニングアウトカムズは「情報リテラシー」と「問題解決能力」である。
授業概要	現代における情報セキュリティと情報倫理にかかわる諸問題について、仮想的事例や現実の事例から学ぶ。情報技術だけでなく、法律や経済・ビジネス、情報倫理などにかかわる知識や考え方を身につける。 主要なキーワードは次のとおりである。 電子掲示板やtwitterなどでのトラブル、フィッシング、ワンクリック詐欺、電子メールの成りすまし、プライバシー、匿名性、著作権、など。 講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえでの意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する（受講態度）。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの３つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式ですが、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 原則として情報処理Ⅰの単位を取得した学生を対象とします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対して、次のように予習・復習を十分におこなうこと。 予習：次回内容に対応する章の「重要ポイント」および「考えよう」を読み、本文を読んでくること。約2時間。 復習：授業内容に対応する章の「まとめ」をもとにノートを整理し、「練習問題」に取り組むこと。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室）

	秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	なぜ情報倫理が必要なのか	大谷
第３回	倫理とは何だろうか（１）倫理・法・慣習	大谷
第４回	倫理とは何だろうか（１）基本的な用語と枠組み	大谷
第５回	コンピューティングの歴史　コンピュータの誕生からパソコンの登場まで	大谷
第６回	コンピューティングの歴史　インターネット出現からIoT時代まで	大谷
第７回	身近な情報セキュリティ	大谷
第８回	メールやメッセージングアプリのセキュリティ	大谷
第９回	著作権の基礎	大谷
第１０回	レポート作成の倫理問題	大谷
第１１回	「漫画サイトが見られない」	大谷
第１２回	個人情報保護法の基礎知識	大谷
第１３回	ポイントカードと個人情報	大谷
第１４回	情報時代のプライバシー	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	筆記試験（オンライン試験も検討中）	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	改訂新版　情報倫理入門	参・出版社名１	アイケイコーポレーション
参・著者名１	土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著	参・ＩＳＢＮ１	4874923240
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	情報処理Ⅱ				担当者	今村　俊介		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年				ナンバリング	GE-IT-1-002		
必修・選択	選択	単位数	2単位		時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期		曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	膨大なデータを適切に処理することが様々な分野で求められていることを理解し、基本的なデータに対する知識、および、データの扱い方を学習する。 ・なぜデータサイエンスを学ぶのか、社会でどのように活用されているのかを知る。 ・データの処理、集計、可視化、分析を行うためのデータサイエンスの基礎的事項を学習する。 ・社会における事象を適切に捉え、分析・説明できる力を修得する。 ・データが重要視されるようになった社会背景を理解する。 ・データとは何かを説明できる。 ・データの基本的な分析手法を理解する。 ・データサイエンティストに求められるスキルを理解する。
授業概要	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速している。 この時代においては、文系・理系を問わず、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、自身で適切に判断し行動することがこれからをよりよく生きる上で求められている。 さらに、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見、および、データから新しい価値を創造できる人材が強く求められている。 この講義では、様々な分野のデータを分析するための数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶことを目的とする。 前半では、数理・データサイエンス・AIが必要とされる背景やその仕組みを学習、理解する。 後半では、実際に手を動かして、プログラミングを行う。 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」リテラシーレベルの導入・基礎・心得分野
アクティブラーニングの内容	グループワーク／実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「数理・データサイエンス・AI基礎」の予習・復習を確認するため、講義内で毎回用語の説明が求められる。 それに対する返答、 あるいは自主的な発言やディスカッションへの積極的な参加態度が「30%」の重みづけで評価される。 また、課題等の提出物「50%」、 データの形式を中心とした理解度を問う試験の成績を「20%」として最終的に総合評価が行われる。 これらの3つの評価をバランスよく得ていることが単位認定(到達目標)の判断基準となる。
ルーブリック評価	

課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	【受講者数】 ・学部で30人以内とする。そのため抽選となることがある。 ・抽選は第2回目の講義の中で担当教員が実施する。他の講義と履修を迷っている場合は注意すること。 【持参物】 ・指示があった場合は、指定されたスペックのノートパソコンを持参すること。 ・ 第1回の授業におけるオリエンテーション・スキル確認テスト【これは、学科によって実施・非実施をきめられますか？】未受験者は、その理由によっては履修を認められないことがある ので十分注意すること。 【授業計画】 進捗の状況に応じて変更することがある。

実務経験のある教員	該当する	内容	担当教員は、情報系科目の講義担当経験、ならびに、研究活動への使用経験を有している。

事前学習・事後学習とその時間	【予習】 ・各回の講義に先立ち、予習として教科書の該当箇所を読み、理解できない点を洗い出した上で講義に臨むこと。 【復習】 ・復習として、その回で学習した用語の意味を簡潔に説明できるようにしておくこと。 【全体】 ・授業の進度と同程度の予習量・復習量として、それぞれ90分の時間を最低でも確保すること。 ・予習・復習の確認については、課題やタスクにおいて知識・技術の使用が求められ、その達成度ならびに積極的な参加態度が成績評価として考慮される。
オフィスアワー	・講義終了時間の直後 ・事前に学生と教員で相談して決めた時間帯

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション・スキル確認テスト 導入とAIの定義とAIリテラシー	今村
第２回	ビッグデータと社会の変化	今村
第３回	社会で活用されているデータ1	今村
第４回	社会で活用されているデータ2	今村
第５回	データ・AIの技術	今村
第６回	データサイエンス	今村
第７回	データ・AIを活用するときの負の側面	今村
第８回	データ・AIにまつわるセキュリティ1	今村
第９回	データ・AIにまつわるセキュリティ2	今村
第１０回	AIとアルゴリズム	今村
第１１回	データの構造とプログラミング	今村
第１２回	データの利活用方法	今村
第１３回	時系列データと文章データの分析例	今村
第１４回	教師あり学習と教師なし学習	今村
第１５回	データ・AI利活用における留意事項	今村
第１６回	まとめと試験・評価	今村

教科書			
教・書籍名１	はじめてのAIリテラシー	教・出版社名１	技術評論社
教・著者名１	岡嶋裕史，吉田雅裕　著	教・ＩＳＢＮ１	978-4-297-12038-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			

参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅰ 看護・子ども・アニメ	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LE-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	大学生としての読解力、会話力、リスニングとバランスの取れた英語力を養うことを到達目標とします。同時に高校までの文法の復習も行いますが、コミュニケーションに必要な最低限の文法を中心に、実際に使うことを軸に文法の授業を進めます。したがってこの授業を受ければ学生は、生きた英語を、ごく基本的な文法を理解したうえで使うことができるようになります。また英会話に応用できるリスニングも行います。この授業を受ければ学生は、あるシチュエーションで使われる単語や言い回しを知ることができ聞き取りはもちろんのこと、簡単な意思疎通もネイティブの人とできるようになります。
授業概要	しばしば中学、高校で英語を勉強しても実際の英語は使えないという批判がこれまでもありましたが、単なる知識を積み上げるだけでは使えるようにならないことから、内容ある英語を使う練習、覚えると役に立つ意味あるやり取りを設定して、同時に文法の復習を行います。時間が限られていることから、文法の説明は行いながらも、不得意な学生のために、必要最低限の文法の解説に絞っています。ユニットごとにテーマを設定し、そのテーマに関連する知識を広げたり考えを深めたりして身近な話題や関心の持てるものを授業で行います。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	授業での発表と定期試験とを半々の５０％で査定し評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業は試験を含めて１６回行いますが、１５回目に試験を行い、最後の１６回目の授業時間に試験についての詳しい解説を行うことで学生の英語習得の定着を図ります。
履修条件・注意事項	この授業は必修です。国際大学の学生にふさわしい最低限の知識と実力をつけてもらいたいと考えていますので、是非とも予習、復習をしっかり行ってください。教科書の販売については他の講義とは異なり、最初の授業で行いますのでその指示に従って下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習、復習が大切です。できれば毎日１０～１５分でよいので次の週までに合計９０分程度の時間になるように、声に出して教科書を読んできて下さい。予習して授業に臨むのとしないとのとでは身に付くレベルに大きな差が生まれます。復習も同じで、講義で行ったことを一日１５分前後でよいので毎日自分で声に出して一週あたり９０分程度になるよう英文を読む習慣をつけてください。
オフィスアワー	水曜日の３限です。研究室に来て下さい。授業が重なって都合が悪い人はあらかじめアポイントメントを取って下さい。時間の調整をします。２号館６Ｆの研究室です。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション　春学期の授業に関しての説明と２回目の授業のさわり	平見勇雄
第２回	Profile　自分を知ろう　BE動詞	平見勇雄
第３回	Sports　多彩だね、スポーツの世界　一般動詞：自動詞・他動詞	平見勇雄
第４回	Special Occasions　特別な日は誰に何をしてあげる？　二重目的語、目的語をとる動詞	平見勇雄
第５回	Families　家族を知ろう　人称代名詞	平見勇雄
第６回	Japan Quiz　　日本クイズに挑戦　WH疑問文	平見勇雄
第７回	Love and Marriage　恋愛はいつの時代も人々の関心事？　過去形	平見勇雄
第８回	Life History　今までの自分を語ろう　現在完了形　継続	平見勇雄
第９回	Leisure　自分の経験を語ろう　現在完了形　経験・完了	平見勇雄

第１０回	College Life　学生生活を楽しもう　進行形		平見勇雄
第１１回	On Vacation　休暇の計画をたてよう　未来表現		平見勇雄
第１２回	Out and About　自分の気持ちを上手に伝えるには　助動詞　CAN,MAY		平見勇雄
第１３回	春学期の総復習（１）　BE動詞　一般動詞　人称代名詞　疑問		平見勇雄
第１４回	春学期の総復習（２）　現在完了形　進行形　助動詞		平見勇雄
第１５回	春学期の試験		平見勇雄
第１６回	春学期の総復習、フィードバック		平見勇雄
教科書			
教・書籍名１	コミュニケーションのためのベーシック・グラマー　Living Grammar	教・出版社名１	成美堂　SEIBIDO
教・著者名１	Atsuko Yamamoto・Naoko Osuka・Chikako Mano・Kyoko Okamoto・Benedict Rowlett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-7919-7227-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅱ 子ども・アニメ	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LE-1-002

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	大学生としての読解力、会話力、リスニングとバランスの取れた英語力を養うことを到達目標とします。同時に高校までの文法の復習も行いますが、コミュニケーションに必要な最低限の文法を中心に、実際に使うことを軸に文法の授業を進めます。したがってこの授業を受ければ学生は、生きた英語を、ごく基本的な文法を理解したうえで使えるようになります。また英会話に応用できるリスニングも行います。この授業を受ければ学生は、あるシチュエーションで使われる単語や言い回しを知ることができ聞き取りはもちろんのこと、簡単な意思疎通もネイティブの人とできるようになります。
授業概要	しばしば中学、高校で英語を勉強しても実際の英語は使えないという批判がこれまでもありましたが、単なる知識を積み上げるだけでは使えるようにならないことから、内容ある英語を使う練習、覚えると役に立つ意味あるやり取りを設定して、同時に文法の復習を行います。時間が限られていることから、文法の説明は行いながらも、不得意な学生のために、必要最低限の文法の解説に絞っています。ユニットごとにテーマを設定し、そのテーマに関連する知識を広げたり考えを深めたりして身近な話題や関心の持てるものを授業で行います。
アクティブラーニングの内容	反転授業／グループワーク
評価方法と割合	授業での発表と定期試験とを半々の５０％で査定し評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業は試験を含めて１６回行いますが、１５回目に試験を行い、最後の１６回目の授業時間に試験についての詳しい解説を行うことで学生の英語習得の定着を図ります。
履修条件・注意事項	この授業は必修です。国際大学の学生にふさわしい最低限の知識と実力をつけてもらいたいと考えていますので、是非とも予習、復習をしっかり行ってください。教科書の販売については他の講義とは異なり、最初の授業で行いますのでその指示に従って下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習、復習が大切です。できれば毎日１０～１５分でもよいので次の週までに合計９０分程度の時間になるように、声に出して教科書を読んできて下さい。予習して授業に臨むのとしないとのとでは身に付くレベルに大きな差が生まれます。復習も同じで、講義で行ったことを一日１０～１５分でよいので毎日自分で声に出して次の週までに９０分程度、英文を読む習慣をつけてください。
オフィスアワー	水曜日の３限です。研究室に来て下さい。授業が重なって都合が悪い人はあらかじめアポイントメントを取って下さい。時間の調整をします。２号館６Ｆです。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション　秋学期の授業に関しての説明と２回目の授業のさわり	平見勇雄
第２回	Rules　しきたりは難しい　助動詞 must should	平見勇雄
第３回	Folk Tales　昔話に思わぬ教訓を発見　　接続詞　and but or so	平見勇雄
第４回	News & Events　ニュースに敏感になろう　受動態	平見勇雄
第５回	Amazing Animals 動物の世界は驚きでいっぱい　頻度を表す副詞	平見勇雄
第６回	Feelings 人間は感情の生き物だね　　ing edで終わる形容詞	平見勇雄
第７回	World Quiz 世界クイズに挑戦　　原級　比較級　最上級	平見勇雄
第８回	Business この大企業の創始者は？　　基本的な前置詞 at on in	平見勇雄
第９回	Environment 環境問題を解決するには？　接続詞(2) when because although if	平見勇雄

第１０回	Old Sayings ことわざは面白い　　不定詞と動名詞		平見勇雄
第１１回	Professions 将来の職業について考えよう　関係詞　who which where		平見勇雄
第１２回	What If？ 仮定の話は途方もない　　仮定法		平見勇雄
第１３回	秋学期の総復習（１）　接続詞　受動態　比較級　基本的な前置詞		平見勇雄
第１４回	秋学期の総復習（２）　不定詞と動名詞　関係詞　仮定法		平見勇雄
第１５回	秋学期の試験		平見勇雄
第１６回	秋学期の総復習、フィードバック		平見勇雄
教科書			
教・書籍名１	コミュニケーションのためのベーシック・グラマー　Living Grammar	教・出版社名１	成美堂　SEIBIDO
教・著者名１	Atsuko Yamamoto・Naoko Osuka・Chikako Mano・Kyoko Okamoto・Benedict Rowlett	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-7919-7227-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅲ	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LE-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	この授業はテキストの予習をしっかりやれば学生は高校以上の難易度の長い文章が読むことができるようになります。基本的な文法の復習や語彙に加えて読解力をつけることを目標にしています。また、全文のテキストのテープを聞く、訳を自分でしてもらうことで自分の実力を客観的に把握できるような授業を行います。教科書を自宅で声に出して音読することでスピーキングの力がつくよう各自の予習も必須です。英会話の中級に近い程度の会話ができるようになります。
授業概要	教材はビートルズの物語を扱います。メンバーの生い立ちからグループの解散まで、テンポよく流れていく物語を楽しみながら次の授業が楽しみになるよう、内容を取りながら進めていきます。物語はスターとしての側面よりは人間的な側面に焦点が当たっており、人生における挫折が多く書かれています。自分たちと変わらない年齢の若者が、国籍、時代を問わず、同じように経験する出来事を自らの人生と重ねながら読んでもらいたいと願っています。 　時々プリントに合わせて公式に発売されているメンバーの肉声のインタビューを聞きながら、物語に幅をもたせ、いろいろな角度からその人生を眺めます。なぜビートルズが時代を問わず愛されているのか、他のグループとは一線を画す存在なのかも考えていただきたいと思います。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業態度50%、授業での発表20%、そして試験30%を総合して評価します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	１６回目に筆記試験をやり、そのあと試験問題の解説をします。大切な文法事項、読解の難しいところなどが中心です。
履修条件・注意事項	必ず予習すること、その際に配布するプリントを丹念に辞書を引き、大意をつかんでから授業に臨んで下さい。わからない文法は授業の中で自分から説明を求めるくらいの積極的態度を希望します。参考書や辞書は必ず使って授業に臨んでもらうことを前提とします。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	授業前に必ず自分で訳をしてきて下さい。辞書を引いて文型を確認しながら前後の文章とのつながりも考えながら２時間程度の予習が理想です。復習としてはこれも２時間、実力に応じて授業で渡すCD-Rを使ってシャドウイングをしながら耳と会話を鍛えることをお勧めします。
オフィスアワー	水曜日の３限　研究室にて（２号館６F）

	授業計画	担当者
第１回	リバプール	平見勇雄
第２回	メンバーの生い立ち　ジョンレノン	平見勇雄
第３回	ポールマッカートニーの生い立ち	平見勇雄
第４回	ジョージハリソンの生い立ちとメンバー加入	平見勇雄

第５回	メンバー交代　リンゴスター		平見勇雄
第６回	1960年デッカオーディション		平見勇雄
第７回	1962年ビートルズデビュー		平見勇雄
第８回	1964年ビートルマニア		平見勇雄
第９回	エドサリバンショー　アメリカ進出		平見勇雄
第１０回	オーストラリアや各国の状況		平見勇雄
第１１回	映画ア・ハード・ディズ・ナイト		平見勇雄
第１２回	映画とサントラ　ヘルプ		平見勇雄
第１３回	世界制覇		平見勇雄
第１４回	アルバム　ラバーソール		平見勇雄
第１５回	アルバム　リボルバー　日本公演		平見勇雄
第１６回	筆記試験		平見勇雄
教科書			
教・書籍名１	プリントを配布いたします。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	英語Ⅳ	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LE-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	この授業ではしっかり予習と復習を行うことで学生は大学初級程度のテキストの長文が読めるようになります。文法の復習は英語ⅠとⅡで既に行っており、春期はそれを前提に内容把握に焦点を当てていましたが、秋期は読解のスピードが上がることを目標としています。教科書を自宅で声に出して音読することでスピーキングの力をつけてもらうことも一年を通して目標としていますが、後期はテープを聴いてもらい大意が把握できるような練習をすることで、より総合的に力をつけることを目標としています。
授業概要	教材はビートルズの物語です。秋期は中期と呼ばれている時期の傑作アルバムの創作からグループの解散までを取扱います。スターとしての側面よりは人間的な側面に焦点が当たっており、春期と違った人間関係における難しさが多く書かれています。成長していくことによってより個性が明確になり、環境の変化が人間関係を悪化させていく詳細を読み込んでいきます。英語の面ではテープを聞いていただきながら内容の把握をしてもらうことをやります。前期には行わなかった聴き取りをしてもらいますが、聴き取りに自信がない人はしっかりと事前に読み込んできてもらい、書いてもらっても構いません。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業態度50%、授業での発表20%、そして試験30%を総合して評価します。フィードバックは試験のあとに重要な要点をまとめたプリントを配布することで行いたいと思います。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	単位認定の筆記試験は１６回目に行い、その日の後半に試験の解説を行います。文法的な面と、読解で訳しにくい場所の解説を行います。
履修条件・注意事項	必ず予習すること、その際に配布するプリントを丹念に辞書を引き、大意をつかんでから授業に臨んで下さい。わからない文法は授業の中で自分から説明を求めるくらいの積極的態度を希望します。参考書や辞書は必ず使って授業に臨んでもらうことを前提とします。なお試験のあとに試験の解答を言います。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	基本的な文法事項は授業ではやらないので自分で弱いところは補っていくように参考書を使って勉強してください。毎回２～３ページ進む予定ですから訳を書いてくることが最低限の予習です（２時間程度の予習です）。授業を受けたあとは毎日授業で行ったところを声に出して読んで下さい。声に出すこと、毎日行うことが重要です。一日にたくさんやるのでは長続きしませんから一日１０～２０分程度で結構です。（したがって復習も時間としてはトータルとして２時間程度）
オフィスアワー	水曜日の３限、２号館６Ｆの研究室

授業計画		担当者
第１回	春学期の復習	平見勇雄
第２回	日本公演続き	平見勇雄
第３回	レコーディング革命	平見勇雄
第４回	アルバム　サージェントペパーズロンリーハーツクラブバンド	平見勇雄

第５回	世界同時衛星放送　「All you need is love」		平見勇雄
第６回	マネージャー　ブライアンエプスタインの死		平見勇雄
第７回	マジカルミステリーツアー		平見勇雄
第８回	インドでの生活　修行		平見勇雄
第９回	初の２枚組アルバム　通称ホワイトアルバム		平見勇雄
第１０回	ゲットバックプロジェクト		平見勇雄
第１１回	最後のレコーディング　アビーロード		平見勇雄
第１２回	映画とサントラ　レットイットビー		平見勇雄
第１３回	解散後の４人　ジョンレノン		平見勇雄
第１４回	解散後の４人　ポールマッカートニー		平見勇雄
第１５回	解散後の４人　ジョージハリソンとリンゴスター		平見勇雄
第１６回	筆記試験		平見勇雄
教科書			
教・書籍名１	プリントを配布します。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	フランス語Ⅰ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LF-1-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランスの文化を理解し、かんたんなフランス語を話す」 到達目標：学生はフランスの文化について教養として語れるようになる。それらをフランス語で読み・発音できるようになる。フランスを旅行したときなどに、あいさつやかんたんな会話ができるようになる。
授業概要	この講義は、一方向のレクチャーではなく、参加型双方向の授業で、フランス語のスキル習得のため、できるだけ大きな声を出して繰り返し発音することが求められる。フランス語の音節を正しく発音するための方法を知り、綴り字を正しく読むための理論と基礎文法を理解し、初歩的かつ日常的なフランス語会話に必要な語彙と例文を、フランスの歴史・地理・文化のなかから代表的なものを繰り返し発音して、暗唱できるようにする。初心者対象で、ABCと発音／つづり字の読み方から始められ、名詞・形容詞の性・数や冠詞などの基本文法が文化を学ぶなかで理解できるよう説明される。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランスの文化について教養として語れるようになる」という目標に対して、各自作成した報告書を提出する。「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業で質問に答えたり発表したりする。それらで総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることか ら、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験（６０％）、単位認定試験（４０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている部分について事前に黒板に板書されたキーワードを読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また事後学習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各２時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。各２時間の学修時間を目安とする。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	スポーツ①ツール・ド・フランス	加藤健次
第２回	映画①ヌーヴェル・ヴァーグから最強の二人まで	加藤健次
第３回	音楽①サガンとブラームスはお好き？	加藤健次
第４回	建築①ロマネスク様式	加藤健次
第５回	食①パン	加藤健次
第６回	旅①ブルターニュとモンサンミシェル	加藤健次

第７回	歴史①マリーアントワネット	加藤健次
第８回	スポーツ②その他の自転車ロードレースとル・マン24時間耐久レース	加藤健次
第９回	美術②ピカソ、マチス、キュビズムと現代アート	加藤健次
第１０回	音楽②ピアフとシャンソンの世界	加藤健次
第１１回	建築②ゴシック様式	加藤健次
第１２回	食②お菓子とショコラ	加藤健次
第１３回	旅②ロワール川と城	加藤健次
第１４回	文学①詩：ボードレールからコクトーまで	加藤健次
第１５回	旅③ブルゴーニュとヴェズレー教会	加藤健次
第１６回	筆記試験	加藤健次

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	はじめて学ぶフランスの歴史と文化	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	上垣 豊（編）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4623087786 ISBN-13 ： 978-4623087785
参・書籍名２	ゼロからスタート　フランス語　会話編	参・出版社名2	Jリサーチ出版
参・著者名2	鈴木文恵(著)	参・ＩＳＢＮ2	ＩＳＢＮ１978-4-86392-103-0

授業科目名	フランス語Ⅱ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LF-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランスの文化を理解し、日常的なフランス語を話すことができるようになる」 到達目標：学生はフランスの文化について理解する。それらをフランス語で読み・発音できるようになる。フランスを旅行した時などに、あいさつやその場に応じた会話ができるようになる。
授業概要	これまでに習った文法や基本構文を復習しながら、フランス文化に関する練習問題をていねいに解いていく。フランス文化に関係した会話例文を正確に音読する指導を受ける。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その例文を暗唱する。これを繰り返すことでフランスに精通し、フランス語の語彙力や発話力を身につけよう。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランスの文化について教養として語れるようになる」という目標に対して、各自作成した報告書を提出する。「かんたんなフランス語を話すことができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業で質問に答えたり発表したりする。それらで総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための筆記試験を行って評価する。参加型学習を主体としていることか ら、授業中の発言頻度、発言内容、授業への参加態度を特に重視する。授業毎試験（６０％）、単位認定試験（４０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題を教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画に記載されている部分について事前に黒板に板書されたキーワードを読み、理解できない点をまとめて授業を受けること。また事後学習として、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること毎週、課題が出される。その課題について必ずノートを作成する必要がある。予習復習には各２時間程度を要する。その課題テーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。それに基づいて、参加型授業が行われるので、復習・予習は必須である。各２時間の学修時間を目安とする。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	スポーツ③サッカー・リーグ・アン	加藤健次
第２回	美術③マグリットとシュールレアリスム	加藤健次
第３回	音楽③サティとミニマルミュージック	加藤健次
第４回	建築③ルネサンス・バロック様式	加藤健次
第５回	食③チーズ	加藤健次
第６回	旅④プロヴァンスとアルル	加藤健次
第７回	文学②文学②サンテグジュペリ『星の王子さま』	加藤健次

第８回	スポーツ④ペタンク	加藤健次
第９回	美術④スーラージュ、クラインに見る現代アート	加藤健次
第１０回	音楽④ジプシー音楽とジャズマヌーシュ	加藤健次
第１１回	食④ワイン	加藤健次
第１２回	旅⑤サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路	加藤健次
第１３回	哲学①デカルトと主体の哲学	加藤健次
第１４回	文学②文学③小説：ユゴーからル・クレジオまで	加藤健次
第１５回	食⑤Menuとコース料理	加藤健次
第１６回	筆記試験	加藤健次

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	はじめて学ぶフランスの歴史と文化	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	上垣 豊（編）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4623087786 ISBN-13 ： 978-4623087785
参・書籍名２	ゼロからスタート　フランス語　会話編	参・出版社名2	Jリサーチ出版
参・著者名2	鈴木文恵(著)	参・ＩＳＢＮ2	ＩＳＢＮ１978-4-86392-103-0

授業科目名	フランス語Ⅲ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LF-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランス語会話ができるようになる」 到達目標：学生はフランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語Ⅰ・Ⅱで練習した会話表現をさらに応用して、様々な日常的な場面で運用できるようになることを到達目標とする。
授業概要	1年で習った発音や綴り字の読み方の復習をしながら、語彙や表現を増やしていく。実際の場面を想像して、会話練習をする。文法的にもより踏み込んだ説明を読んでみる。教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に発音する。暗唱する。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その暗唱した例文を発表する。他の学生と会話する。これを繰り返すことでフランス語のコミュニケーション力を身につけることを目指す。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランス語会話ができるようになる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための試験を行って評価する。授業毎試験（30%）、授業への積極的な参加態度（20%）、単位認定試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題を教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	フランス語Ⅰ・Ⅱを履修していることが望ましい。毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習復習には各2時間程度を要する。そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。その成果は、各週の小テストと最終週の単位認定試験で問われる。
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

授業計画		担当者
第１回	あいさつ	加藤健次
第２回	発音	加藤健次
第３回	性と数	加藤健次
第４回	前置詞	加藤健次
第５回	規則動詞	加藤健次
第６回	形容詞	加藤健次
第７回	否定形	加藤健次
第８回	命令形	加藤健次
第９回	疑問形	加藤健次
第１０回	副詞	加藤健次

第１１回	疑問副詞		加藤健次
第１２回	疑問代名詞		加藤健次
第１３回	不規則動詞		加藤健次
第１４回	所有形容詞		加藤健次
第１５回	疑問形容詞		加藤健次
第１６回	筆記試験		加藤健次
教科書			
教・書籍名１	新ゼロからスタートフランス語 文法編	教・出版社名１	Jリサーチ出版
教・著者名１	島崎 貴則	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4901429620 ISBN-13 ： 978-4901429627
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	フランス語Ⅳ	担当者	加藤　健次
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LF-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：「フランス語で会話を楽しむことができる」 到達目標：学生はフランス語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論を学ぶ。フランス語技能検定5級に合格するレベルを到達目標とする。
授業概要	これまでに習った文法や基本構文を復習しながら、検定問題も念頭に置いて教科書の練習問題をていねいに解いていく。教科書にある会話例文を正確に音読する指導を受ける。次週までに、それらを口に出して言えるようにしてくる。授業では、その例文を暗唱する。これを繰り返すことで本気で語彙力や発話力を身につけ、検定試験に合格しよう
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「フランス語で会話を楽しむことができる」という目標への到達度について、各学生のスキル習熟度を計るために、授業での質問や発表等を通じて総合的に評価する。また、「技能習得のために必要な理論と方法を学ぶ」の到達度について、知識および表現力を計るための試験を行って評価する。授業毎試験（30%）、授業への積極的な参加態度（20%）、単位認定試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の終わりに課題を教員の前で発表するので、その場でフィードバックされる。
履修条件・注意事項	フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修していることが望ましい。毎回の授業で課題の発表や課題シートでの提出が求められるので、欠席するとその分確実に成績が下がる。出席するだけではなく、課題を提出しないと授業毎試験を受けられないので注意。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習復習は各2時間程度行うこと。予習は、毎授業の終わりに「次週の暗唱例文」が課題として示されるので、これらがスムーズに発話できるようにしてくることである。復習は、そのテーマに関連した語彙を覚え、応用できるように練習することである。復習の成果は、各週の小テストや最終週の単位認定試験で問われる
オフィスアワー	木曜日４限、岡山キャンパス123研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	動詞allerとvenirの活用	加藤健次
第２回	近接未来と近接過去	加藤健次
第３回	命令形、否定表現	加藤健次
第４回	疑問代名詞	加藤健次
第５回	疑問副詞	加藤健次
第６回	指示代名詞	加藤健次
第７回	関係代名詞	加藤健次
第８回	過去分詞	加藤健次
第９回	直説法複合過去	加藤健次
第１０回	補語人称代名詞の語順	加藤健次

第１１回	比較級と最上級		加藤健次
第１２回	非人称構文		加藤健次
第１３回	直説法半過去		加藤健次
第１４回	条件法現在		加藤健次
第１５回	関係副詞と文の構造		加藤健次
第１６回	筆記試験		加藤健次
教科書			
教・書籍名１	新ゼロからスタートフランス語 文法編	教・出版社名１	Jリサーチ出版
教・著者名１	島崎 貴則	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4901429620 ISBN-13 ： 978-4901429627
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ｉ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LG-1-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は「ドイツ語Ｉ」の終了時には、初歩的かつ日常的なドイツ語会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。それに向けての個別目標だが、ドイツ語を正しく発音するためのルールを知り、併せて動詞や名詞を中心とした基礎的な文法を段階的に習得することになる。
授業概要	この講義は、ドイツ語の初学者を対象にしている。春学期を通して学修する項目は、大体以下のような内容である。つづりと発音の関係、挨拶等の定型表現、自己紹介と他者紹介、辞書の案内と使い方、人称代名詞、規則動詞と不規則動詞の現在人称変化、名詞の性・数・格、前置詞、定冠詞、不定冠詞など。それに加え、定型的な日常口語表現を通して、コミュニケーションの初歩も学ぶ。なお、今回この授業で使うテキストはドイツ語の総合的な文法読本であり、ドイツの社会・文化・歴史などについても学ぶことができ、異質な文化や社会にたいする理解を深めることにもなる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえないことである。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　ドイツおよびドイツ語とは　アルファベット　ドイツ語の発音（母音）	清水光二
第２回	ドイツ語の発音（子音）　挨拶表現	清水光二
第３回	ドイツ語の発音（まとめ）　挨拶表現の復習	清水光二
第４回	Lektion 1　Was lernst du?　動詞の現在人称変化	清水光二
第５回	Lektion 1　Was lernst du?　定動詞第2位の原則　seinの現在人称変化	清水光二
第６回	Lektion 2　Hast du Geschwister?　名詞の性と格　定冠詞の格変化	清水光二
第７回	Lektion 2　Hast du Geschwister?　不定冠詞の格変化　habenの現在人称変化	清水光二
第８回	Lektion 3　Wann fährst du nach München?　不規則な現在人称変化	清水光二

第９回	Lektion 3　Wann fährst du nach München?　命令形	清水光二
第１０回	Lektion 4　Welche Uhr kaufst du?　定冠詞類	清水光二
第１１回	Lektion 4　Welche Uhr kaufst du?　不定冠詞類　所有冠詞	清水光二
第１２回	Lektion 5　Kaufst du diese Bücher?　複数形	清水光二
第１３回	Lektion 5　Kaufst du diese Bücher?　人称代名詞	清水光二
第１４回	Lektion 6　Was machst du an diesem Wochenende?　前置詞の格支配　2格支配／3格支配	清水光二
第１５回	Lektion 6　Was machst du an diesem Wochenende?　前置詞の格支配　4格支配／3・4格支配	清水光二
第１６回	筆記試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	パノラマ　初級ドイツ語ゼミナール[三改版]	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	上野成利、本田雅也	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-560-06420-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	文法からマスター!　はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	ISBN-10: 481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ⅱ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LG-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は「ドイツ語Ⅱ」の終了時には、日常的な会話において使用されている定型的で平易な語句や文章を、話せたり・読んだり・聞き取ったりできるようになる。それに向けての個別目標だが、ドイツ語の基礎的な文法を学びながら（英語との比較も行いつつ）、ドイツ語特有の語法を品詞別あるいは時制別に段階的に理解することになる。
授業概要	この講義は、「ドイツ語Ⅰ」を終了した学生を対象にしている。秋学期を通して学習する主な文法項目は、大体以下のようなものになっている。分離動詞・非分離動詞、接続詞、副文、再帰代名詞、再帰動詞、動詞の過去形と現在完了形、接続法など。文法事項については教師によって説明がなされるが、その後の練習問題や会話・読本部分については毎回学生の積極的な取り組みが求められる。そのためには、授業以外での予習や復習がどうしても必要となる。なお、今回この授業で使うテキストは総合的な文法読本であり、ドイツ語圏の習慣や日常といった文化一般、社会問題等にも触れながら楽しく初級ドイツ語を学べる内容となっている。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえないことである。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。テキストの会話・読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後の予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語を初めて学ぶ者にとって、教師により説明される文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業においてその準備の成果を発表することが求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	Lektion 7　Was liest du gren?　形容詞の格変化	清水光二
第２回	Lektion 8　Wohin willst du gehen?　話法の助動詞	清水光二
第３回	Lektion 8　Wohin willst du gehen?　未来形	清水光二
第４回	Lektion 9　Ich weiß nicht, wann der Zug abfährt?　分離動詞	清水光二
第５回	Lektion 9　Ich weiß nicht, wann der Zug abfährt?　接続詞と副文	清水光二
第６回	Lektion 10　Hast du vor, München zu besuchen?　zu不定詞	清水光二
第７回	Lektion 10　Hast du vor, München zu besuchen?　再帰代名詞	清水光二
第８回	Lektion 11　Als ich das Museum besuchte, …　動詞の３基本形	清水光二

第９回	Lektion 11　Als ich das Museum besuchte, …　過去形		清水光二
第１０回	Lektion 12　Hast du Weimar besucht?　現在完了形		清水光二
第１１回	Lektion 12　Hast du Weimar besucht?　非人称表現		清水光二
第１２回	Lektion 13　Es wird gesagt, dass …　受動態		清水光二
第１３回	Lektion 13　Es wird gesagt, dass …　比較表現		清水光二
第１４回	Lektion 14　Was ist das beste Buch, das du je gelesen hast?　関係代名詞		清水光二
第１５回	Lektion 14　Was ist das beste Buch, das du je gelesen hast?　不定関係代名詞		清水光二
第１６回	筆記試験		清水光二
教科書			
教・書籍名１	パノラマ　初級ドイツ語ゼミナール[三改版]	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	上野成利、本田雅也	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-560-06420-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	文法からマスター! はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ⅲ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LG-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、ドイツの歴史、文化、社会を多面的に学習することで、ドイツ語の背景にあるものについての理解を深めると同時に、初歩的レベルなら一人でも読み書きすることが出来るようになる。 個別目標としては、どのような場面でどのようなドイツ語表現が使われるかを一つひとつ理解し学修することで、実際に遭遇するであろう様々な場面に応用可能な表現や基本構文を身につける。
授業概要	ドイツ語Ⅰ・Ⅱで学んだ文法事項の確認を行いながら、ドイツ語の文章を読むことによって読解力や語彙力を着実に身につけることができる。 具体的には、ドイツ語圏の社会や文化の中から私たちの生活にも関係がありそうなトピックを話題にして、易しい文章から徐々にレベルアップしたものへと読み進めることにより、ドイツ語圏に関わる知識とドイツ語の理解力を深めることができる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	この授業は、１年間で60時間のドイツ語学習を経験した者を対象としている。本校のカリキュラムで言えば、「ドイツ語Ⅰとドイツ語Ⅱを履修済みであること」（あるいは同等のレベル）が履修の前提となっている。 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえない。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。 テキストの読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後における予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語の初学者には、教師が説明する文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業ではその準備の成果を発表することが個々に求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	Lektion 0 自己紹介	清水光二
第２回	Lektion 0 挨拶　動詞の現在人称変化	清水光二
第３回	Lektion 1 地理と天候	清水光二
第４回	Lektion 1 冠詞（類）の格変化	清水光二
第５回	Lektion 2　食生活	清水光二
第６回	Lektion 2　前置詞の格変化	清水光二

第７回	Lektion 3 ドイツ語という言語		清水光二
第８回	Lektion 3 名詞の複数形		清水光二
第９回	Lektion 4　ドイツの大学		清水光二
第１０回	Lektion 4　話法の助動詞		清水光二
第１１回	Lektion 5　祝日と休暇		清水光二
第１２回	Lektion 5　形容詞の格変化		清水光二
第１３回	Lektion 6　ドイツの治安事情		清水光二
第１４回	Lektion 6　比較表現		清水光二
第１５回	Lektion 0 ～ Lektion 6 までの復習		清水光二
第１６回	筆記試験		清水光二
教科書			
教・書籍名１	知りたいドイツ語　～読みながらステップアップ～	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	Siegfried Kohlhammer、斎藤太郎	教・ＩＳＢＮ１	ISBL: 978-4-255-25403-6 C1084
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	文法からマスター!はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	481635137X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ドイツ語Ⅳ	担当者	清水　光二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LG-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、ドイツの歴史、文化、社会を多面的に学習することで、ドイツ語の背景にあるものについての理解を深めると同時に、初歩的レベルなら一人でも読み書きすることが出来るようになる。 個別目標としては、どのような場面でどのようなドイツ語表現が使われるかを一つひとつ理解し学修することで、実際に遭遇するであろう様々な場面に応用可能な表現や基本構文を身につける。
授業概要	ドイツ語Ⅰ・Ⅱで学んだ文法事項の確認を行いながら、ドイツ語の文章を読むことによって読解力や語彙力を着実に身につけることができる。 具体的には、ドイツ語圏の社会や文化の中から私たちの生活にも関係がありそうなトピックを話題にして、易しい文章から徐々にレベルアップしたものへと読み進めることにより、ドイツ語圏に関わる知識とドイツ語の理解力を深めることができる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	予習や復習を前提にした授業への積極的な参加態度および課題発表（50%）と、知識の修得程度を確認するための定期試験（50%）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題は採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	この授業は、１年間で60時間のドイツ語学習を経験した者を対象としている。本校のカリキュラムで言えば、「ドイツ語Ⅰとドイツ語Ⅱを履修済みであること」（あるいは同等のレベル）が履修の前提となっている。 語学の授業であるから、ただじっと座って聞いているだけというのはありえない。毎回の授業では何かきっと発表等をやれされるものと、覚悟して授業に臨む必要がある。それが、「授業への積極的参加態度および課題発表」の評価につながるのである。 テキストの読本部分や練習問題は学生が本来主体的にやるべきところなので、それを自力でうまくやるためには、毎回の授業前後における予習や復習がどうしても必要となってくる。なお、辞書は購入し、毎回持ってくること。定期試験の際にも辞書の持ち込みは可能とするが、普段使っていないとドイツ語の場合本番の時にまるで役に立たないということになるので、注意しておく必要がある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	ドイツ語の初学者には、教師が説明する文法事項についての授業外での予習・復習は必須である。教科書の練習問題や会話・読本部分ついては学生の事前の予習を前提としており、毎回の授業ではその準備の成果を発表することが個々に求められている。なお、予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室（2号館６階263室）にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	Lektion 7　教育制度	清水光二
第２回	Lektion 7　分離動詞と非分離動詞	清水光二
第３回	Lektion 8　政治制度	清水光二
第４回	Lektion 8　受動態	清水光二
第５回	Lektion 9　ドイツの歴史概観	清水光二
第６回	Lektion 9　過去の表現	清水光二

第７回	Lektion 10　音楽の国ドイツ		清水光二
第８回	Lektion 10　副文の語順		清水光二
第９回	Lektion 11　ドイツの宗教事情		清水光二
第１０回	Lektion 11　関係代名詞		清水光二
第１１回	Lektion 12　二つのドイツ		清水光二
第１２回	Lektion 12　分詞の用法		清水光二
第１３回	Lektion 13　EUとドイツ		清水光二
第１４回	Lektion 13　接続法第2式		清水光二
第１５回	Lektion 14　EUとドイツ		清水光二
第１６回	筆記試験		清水光二
教科書			
教・書籍名１	知りたいドイツ語　～読みながらステップアップ～	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	Siegfried Kohlhammer、斎藤太郎	教・ＩＳＢＮ１	ISBL: 978-4-255-25403-6 C1084
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	文法からマスター!はじめてのドイツ語	参・出版社名１	ナツメ社
参・著者名１	小野寺 賢一	参・ＩＳＢＮ１	978-4-560-06420-7
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅰ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LC-1-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能の習得（入門編）。 到達目標： 学生は中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を読んだり聞き取ったりすることができるようになる。
授業概要	中国語での読む・書く・話す力を伸ばすためには、まず発音を完全にマスターする必要がある。中国語には日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、2ヶ月近く徹底的に練習を繰り返す。その後、初級文法や簡単な日常会話を練習することにより、前期終了時には挨拶や自己紹介ができるようになる。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「中国語を正しく発音するための方法を知り、初歩的な文法事項を理解し、初歩的かつ日常的な中国語会話に必要な語彙と文を読んだり聞き取ったりすることができるようになる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	１、中国語の声調に関する解説及び発声リズムの練習 ２、単母音の発声練習	孫基然
第２回	１、声調発声リズムの復習 ２、単母音の発声復習 ３、複合母音の発声練習	孫基然
第３回	１、声調発声リズムの復習 ２、単母音の発声復習 ３、複合母音の発声復習 ４、鼻音の発声練習	孫基然
第４回	１、発音の復習 ２、そり舌音の発声練習	孫基然

第５回	1、発音の復習 2、子音の発声練習	孫基然
第６回	1、発音総合復習 2、発音小テス 3、実施した小テストをフィードバックする。	孫基然
第７回	1、声調符号をつける位置 2、声調の変化 3、よく使うフレーズ	孫基然
第８回	1、人称代名詞 2、判断文 3、普通疑問文	孫基然
第９回	1、副詞「也」 2、副詞「的」 3、普通疑問文	孫基然
第１０回	1、「喜歓」の使い方 2、形容詞述語文	孫基然
第１１回	1、省略疑問文 2、年齢の聞き方と使い分け	孫基然
第１２回	1、所有を表す「有」 2、完了を表す「了」 3、推測表現	孫基然
第１３回	1、時刻の言い方 2、量詞の使い方	孫基然
第１４回	1、省略疑問文 2、進行表現	孫基然
第１５回	1、提案や勧誘の使い方 2、二重目的語を取る動詞	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	中国への旅	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	山下輝彦、黄漢青	教・ＩＳＢＮ１	978-4-255-45332-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅱ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LC-1-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能の習得（基礎編）。 到達目標： 学生は前期で学習した中国語の基礎を基に、やや高度な文法事項、表現等を習得し、読解力と会話力を養い、総合的な中国語力の基礎をつくり中国語検定準４級の獲得へつなげていくことができるようになる。
授業概要	中国語には、日本語にない捲舌音や有気音があり、発音が難しい。そのため、２ヵ月近く徹底的に練習を繰り返す必要がある。その後、初級文法や簡単な日常会話を練習し、Ⅱの終了時には挨拶や自己紹介ができるようになる。基礎的な文法事項、表現等を会話や筆記練習等で理解を深め、会話力、読解力、応用力を高める。担当教員は毎回必ず課題として出された単語や基本構文の暗唱をチェックする。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「前期で学習した中国語の基礎を基に、やや高度な文法事項、表現等を習得し、読解力と会話力を養い、総合的な中国語力の基礎をつくり中国語検定準４級の獲得へつなげていくことができるようになる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	1、助動詞「会」と「能」 2、選択疑問文	孫基然
第２回	1、助動詞「想」 2、反復疑問文	孫基然
第３回	1、経験表現 2、連動文	孫基然
第４回	1、時量補語 2、存在表現	孫基然
	1、助動詞「会」と「能」	孫基然

第５回	2、選択疑問文 3、比較表現	
第６回	1、介詞「離」、「従」と「往」の使い方 2、動作の方式を表す「着」 3、比較表現	孫基然
第７回	1、逆接を表す「雖然……、但是」 2、「的」の使い方 3、結果補語	孫基然
第８回	中間テスト	孫基然
第９回	中間テストをフィードバックする。	孫基然
第１０回	1、逆接を表す「雖然……、但是」 2、「的」の使い方	孫基然
第１１回	1、未来を表す表現 2、方法や方式を訪ねる表現	孫基然
第１２回	1、介詞「給」 2、仮定表現	孫基然
第１３回	1、「太……了」の文型 2、人民元の数え方 3、割引の言い方	孫基然
第１４回	1、動詞の重ね型 2、「一辺」と「一点」	孫基然
第１５回	1、程度補語 2、介詞「為了」 3、方向補語と兼語文	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	中国への旅	教・出版社名１	朝日出版社
教・著者名１	山下輝彦、黄漢青	教・ＩＳＢＮ１	978-4-255-45332-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅲ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LC-2-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論（検定試験対応・前篇）を修得できるようになる。 到達目標： 学生は中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。
授業概要	１年次に習った単語、基礎的文法事項、表現等を生かしつつ、新しい文法や表現等を習得し,筆記や会話の練習を通して、中国語の読解能力と基礎的会話能力を高める。また、毎回少し時間を割いて中国に関することをも講義する。さらに助動詞、比較表現、使役表現、結果補語などを中心として関連文法を紹介する。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	１、前置詞「对」 ２、名詞前の「的」	孫基然
第２回	１、「有的……有的」の文型 ２、「既……又」の文型	孫基然
第３回	１、「每……都」の文型 ２、動詞、形容詞の前の「地」	孫基然
第４回	「除了……」の文型	孫基然
第５回	「即使……也」の文型	孫基然

第６回	持続を表す「着」	孫基然
第７回	結果補語	孫基然
第８回	中間テスト	孫基然
第９回	中間テストをフィードバックする	孫基然
第１０回	１、「因為……所以」の文型 ２、「一辺……一辺」の文型	孫基然
第１１回	「是……的」の文型	孫基然
第１２回	現存文	孫基然
第１３回	手段・状態を表す「着」	孫基然
第１４回	「一点也不」の文型	孫基然
第１５回	疑問詞の呼応表現	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	2冊目の中国語講読クラス	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	劉頴、柴森、小澤正人	教・ＩＳＢＮ１	978－4－560－06927－1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	中国語Ⅳ	担当者	孫　基然
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LC-2-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマ： 中国語によるコミュニケーション技能習得のための方法と理論（検定試験対応・後篇）を修得できるようになる。 到達目標： 学生は中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。
授業概要	１年次に習った単語、基礎的文法事項、表現等を生かしつつ、新しい文法や表現等を習得し,筆記や会話の練習を通して、中国語の読解能力と基礎的会話能力を高める。また、毎回少し時間を割いて中国に関することをも講義する。さらに助動詞、比較表現、使役表現、結果補語などを中心として関連文法を紹介する。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	「中国語検定試験準４級に出題されている問題を解くために必要な文法事項を理解し、語彙力や会話力や読解力を身につけて実際に検定試験準４級に挑戦することができるようになる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業態度等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（７０％）、小テスト（２０％）、授業中の学びの程度を判定するため、授業への積極的な参加態度（１０％）を合計して総合評価する。なお、評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、講義内でフィードバックすることから、試験までに見直しが必要である。
履修条件・注意事項	毎回の授業において基本単語、基本文法及び日常会話が可能なようにテキストの指定されたページを毎回しっかり予習と復習すること。テキストを必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについて調べてきたことを元にして、参加型学習法によることから、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習をすること。３）試験は必ず行うので、授業に出席していただけでは単位は取れないので、必ず予習復習を行うこと。予習及び復習にが、各2時間程度を要する。
オフィスアワー	６号館３階の個人研究室において、水曜日３時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	１、「是……的」の文型 ２、様態補語	孫基然
第２回	１、「不知道……才好」の文型 ２、「好像……一様」の文型	孫基然
第３回	疑問詞の不定用法	孫基然
第４回	可能補語「動詞+得了」	孫基然
第５回	１、「無論……都」の文型 ２、「要是……就」の文型	孫基然

第６回	１、動詞後の「給」 ２、受身表現	孫基然
第７回	中間テスト	孫基然
第８回	中間テストをフィードバックする。	孫基然
第９回	１、「不是……就是」の文型 ２、「再也没……過」の文型	孫基然
第１０回	１、「雖然……但是」の文型 ２、「不但……而且」の文型	孫基然
第１１回	１、動量補語 ２、離合詞	孫基然
第１２回	１、「有」の謙語文 ２、使役表現	孫基然
第１３回	１、副詞「就」 ２、副詞「都」	孫基然
第１４回	１、「有」の連動文 ２、「把」の文	孫基然
第１５回	１、「対……来説」の文献 ２、「只有……才」の文型	孫基然
第１６回	筆記試験	孫基然

教科書			
教・書籍名１	2冊目の中国語講読クラス	教・出版社名１	白水社
教・著者名１	劉頴、柴森、小澤正人	教・ＩＳＢＮ１	978－4－560－06927－1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＡ再履１クラス			担当者	日笠　恵美子		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-LJ-1-001		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになる。
授業概要	この講義は「文字語彙・文法 」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの言語知識（文字・語彙・文法など）の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験（５０％）、小テスト（３０％）、学習意欲・態度（２０％）によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続すること。また、２年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、２年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	本科目の到達目標の達成に向けて、各回の授業内容について、課題と中間テスト、期末テストを行う。内容理解の確認と学習のポイントを説明する。また試験は解答のポイントをコメントするなどしてフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修１～４クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 　なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。

オフィスアワー	授業終了後、休憩時間		
授業計画			担当者
第１回	オリエンテーション		日笠
第２回	ユニット１		日笠
第３回	ユニット１		日笠
第４回	ユニット２		日笠
第５回	ユニット２		日笠
第６回	ユニット３		日笠
第７回	ユニット３		日笠
第８回	中間テスト		日笠
第９回	ユニット４		日笠
第１０回	ユニット４		日笠
第１１回	ユニット５		日笠
第１２回	ユニット５		日笠
第１３回	ユニット６		日笠
第１４回	ユニット６		日笠
第１５回	総復習		日笠
第１６回	単位認定試験		日笠
教科書			
教・書籍名１	レベルアップトレーニング文法Ｎ２	教・出版社名１	アルク
教・著者名１	坂本勝信	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7574-2210-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本語パワードリル N2 文字・語彙	参・出版社名１	アスク出版
参・著者名１	松浦 真理子（他）	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-768-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＡ １クラス	担当者	磯　永二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生はこの科目を学修することにより、初級レベルの日本語力を確実なものにすることができる。そのうえで、より上のレベルの文法や文字・語彙を学んでいく。そうすることにより日本語能力試験N2合格をめざす。日本語力の向上が学力向上につながり、日本人学生との交流が進み、本学の様々な教育活動の理解や参加の促進につながり、実りある学生生活を送ることができるようになる。
授業概要	まずは日本語能力試験Ｎ３レベルの日本語力を確実なものにするため、Ｎ３レベルの文法や文字・語彙等を振り返る。その過程で、課題を課したり、小テストを実施し日本語力の伸長を図る。一方、Ｎ２のレベルの文法や文字・語彙を織り込んでいき、力を徐々にＮ２レベルに導いていく。また、日本での学生生活を円滑に送ることができるようにするため、授業の中で、日本人のあいだでかわされる挨拶や応答などをとりあげ、日本社会で暮らすための知恵を身につけさせていく。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 単位認定試験、小テストには聴解のみならず、文法、文字・語彙の分野からも出題する。 課題に対する取り組み、授業中の態度も評価の対象となるので、1時間1時間の授業を大切にしてほしい。 最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、N２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題として課したものを小テストや単位認定試験で出題する。 小テストについては授業で解説し、いくつかは単位認定試験にも出題する。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更してはならない。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること ②　日本語ＩＡ/日本語ＩＡ（文法）、応用日本語ＩＡ/日本語ＩＡ（読解）、日本語研究ＩＡ/日本語ＩＡ（聴解）の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 　なお、授業以外にも、様々な機会をうまく使って実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容

事前学習・事後学習とその時間	日本語の修得には多くの時間が必要であるし、反復も必要である。授業前には授業内容を予習し、疑問点などは整理しておく。 授業後は必ず復習し知識の定着を図る。また、自分でＪＬＰＴ対策の問題演習に取り組むなど積極的な態度が必要。 予習・復習にはそれぞれ２時間以上の学習が必要。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間に教室、講師控室にて

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション、プロフィール作成、初級文法演習、初級漢字演習	磯
第２回	初級文字語彙演習、文法テキスト学習　場面6①	磯
第３回	文法テキスト学習　場面6②	磯
第４回	文法テキスト学習　場面7①	磯
第５回	文法テキスト学習　場面7②	磯
第６回	Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習①	磯
第７回	Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習②	磯
第８回	Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習③	磯
第９回	第１回～第８回授業　総まとめテスト	磯
第１０回	文法テキスト学習　場面8①	磯
第１１回	文法テキスト学習　場面8②、Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習④	磯
第１２回	文法テキスト学習　場面9①	磯
第１３回	文法テキスト学習　場面9②、Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習⑤	磯
第１４回	文法テキスト学習　敬語、副詞、接続詞等①	磯
第１５回	文法テキスト学習　敬語、副詞、接続詞等②	磯
第１６回	単位認定試験	磯

教科書			
教・書籍名１	日本語能力試験問題集　Ｎ３文法　スピードマスター	教・出版社名１	Ｊリサーチ出版
教・著者名１	清水知子、大場理恵子、鈴木美希	教・ＩＳＢＮ１	978-4-86392-036-1
教・書籍名２	ドリル＆ドリル日本語能力試験Ｎ２　文字語彙	教・出版社名2	ＵＮＩＣＯＭ
教・著者名2	星野恵子、辻和子	教・ＩＳＢＮ2	978-4-89689-478-3
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＡ２クラス	担当者	井上　光惠
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	充実した大学生活のためには日本語の力が必要である。また本学では在学中に日本語能力試験Ｎ２の取得を必須としている。そのようなことから、授業においては、まず初級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能の基礎力を養成し、次の中級レベルの技能確立につなげられるようにする。
授業概要	日本語能力試験Ｎ２合格を目指し、文法・文字・語彙を中心に学ぶ。Ｎ２レベルの言語知識（文字・語彙・文法など）の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また中級レベルの日本語表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、Ｎ２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①テキストで新しく学習した文型の練習問題を毎回課題とし、翌週その答えのチェックとフィードバックを行う。 ②Ｎ３レベル「文字語彙」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックをする。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語ＩＡ・応用日本語Ｉ秋A・日本語研究Ｉ秋Aの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とそ	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習

の時間	し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。文字の習得は絶対に必要である。「漢字」や「かな」は何度も繰り返し書いて覚えてほしい。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間

授業計画		担当者
第１回	１．オリエンテーション	井上光惠
第２回	２．第25課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第３回	３．第25課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第４回	４．第28課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第５回	５．第28課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第６回	６．第31課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第７回	７．第31課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第８回	８．第34課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第９回	９．第34課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第１０回	１０．第37課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第１１回	１１．第37課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第１２回	１２．まとめ７　３３課～３７課の復習	井上光惠
第１３回	１３．第40課-１ 漢字・語彙　　文型１-導入・練習	井上光惠
第１４回	１４．第40課-２ 文型２-導入・練習　会話	井上光惠
第１５回	１５．まとめ８　３８課～４２課の復習	井上光惠
第１６回	単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	日本語初級（2）大地　メインテキスト	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	山崎佳子・石井怜子・佐々木薫・高橋美和子・町田恵子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-89358-507-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	ドリル＆ドリル 日本語能力試験 N3 文字語彙	参・出版社名１	ユニコム
参・著者名１	星野恵子　辻和子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-89689-487-5
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＡ再履２クラス	担当者	福本　苗
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの言語知識（文字・語彙・文法など）の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験（50%）、小テスト（30%）、学習意欲・態度（20%）によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。2年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、2年次開講の日本語関連科目ＩＩを 履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の予習・復習として、指示された文字語彙、文法、文型を使っての課題をする。その後採点、フィードバックをする。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの3科目ともに同クラスで受験すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	授業後、教室にて。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション レベル確認テスト	福本苗
第２回	時を表す表現	福本苗
第３回	「わけ・こと・もの・ところ」を使った表現	福本苗

第４回	助詞の働きをする言葉① （場面・時点・手段・原因を示す表現）	福本苗
第５回	助詞の働きをする言葉② （添加・判断・評価を示す表現）	福本苗
第６回	主に文末に使われる言葉	福本苗
第７回	文章の文法	福本苗
第８回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第９回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第１０回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第１１回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第１２回	基本文法の復習	福本苗
第１３回	接続の言葉	福本苗
第１４回	敬語・丁寧な言い方	福本苗
第１５回	総括	福本苗
第１６回	単位認定試験	福本苗

教科書			
教・書籍名１	新完全マスター単語日本語能力試験Ｎ２重要2200語	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	小谷野美穂　（他）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-762-0 ☒
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	45日間で基礎からわかる日本語能力試験対策　N2文法　総まとめ	参・出版社名１	三修社
参・著者名１	遠藤ゆう子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-384-05574-0
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＡ再履３クラス			担当者	福本　苗		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-LJ-1-001		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの言語知識（文字・語彙・文法など）の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験（50%）、小テスト（30%）、学習意欲・態度（20%）によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。2年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、2年次開講の日本語関連科目ⅡＢを 履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の予習・復習として、指示された文字語彙、文法、文型を使っての課題をする。その後採点、フィードバックをする。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの3科目ともに同クラスで受験すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	授業後、教室にて。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション・レベル確認テスト	福本苗
第２回	文末に使われる表現	福本苗

第３回	傾向や様子を表す表現	福本苗
第４回	例を挙げて示す表現	福本苗
第５回	原因・理由を表す表現	福本苗
第６回	「わけ・こと」を使った表現	福本苗
第７回	「もの」を使った表現	福本苗
第８回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第９回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第１０回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第１１回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第１２回	「ない」を含んだ表現	福本苗
第１３回	付加を表す表現	福本苗
第１４回	基本文法の復習	福本苗
第１５回	総括	福本苗
第１６回	単位認定試験	福本苗

教科書			
教・書籍名１	45日間で基礎からわかる日本語能力試験対策　N2文法　総まとめ	教・出版社名１	三修社
教・著者名１	遠藤ゆう子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-384-05574-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＡ再履クラス4	担当者	大下　朋子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-001

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになる。
授業概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの言語知識（文字・語彙・文法など）の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験（５０％）、小テスト（３０％）、学習意欲・態度（２０％）によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続すること。また、２年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、２年次開講の日本語関連科目ＩＩを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	本科目の到達目標の達成に向けて、各回の授業内容について、課題と中間テスト、期末テストを行う。内容理解の確認と学習のポイントを説明する。また試験は解答のポイントをコメントするなどしてフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修１～４クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。各２時間の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、教室にて実施する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	大下(朋)
第２回	ます形・て形に接続する表現	大下(朋)
第３回	辞書形・た形に接続する表現	大下(朋)
第４回	ない形・意向形、名詞・形容詞に接続する表現	大下(朋)

第５回	いろいろなものと接続する表現	大下(朋)	
第６回	評価・比較の表現①	大下(朋)	
第７回	評価・比較の表現②／時間に関する表現	大下(朋)	
第８回	状態・強調の表現／条件に関する表現①	大下(朋)	
第９回	条件に関する表現②	大下(朋)	
第１０回	判断に関する表現①	大下(朋)	
第１１回	判断に関する表現②／敬語表現	大下(朋)	
第１２回	縮約形／接続詞	大下(朋)	
第１３回	動詞①	大下(朋)	
第１４回	動詞②	大下(朋)	
第１５回	名詞・助数詞	大下(朋)	
第１６回	単位認定試験（筆記試験）	大下(朋)	
教科書			
教・書籍名１	28日間で基礎から応用まで完全マスター！日本語能力試験対策　Ｎ３文法・語彙・漢字　改訂版	教・出版社名１	三修社
教・著者名１	山田光子	教・ＩＳＢＮ１	978-4384059502
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	日本語ＩＢ（1クラス）	担当者	磯　永二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-002

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生はこの科目を学修することにより、初級レベルの日本語力を確実なものにすることができる。そのうえで、より上のレベルの文法や文字・語彙を学んでいく。そうすることにより日本語能力試験N2合格をめざす。日本語力の向上が学力向上につながり、日本人学生との交流が進み、本学の様々な教育活動の理解や参加の促進につながり、実りある学生生活を送ることができるようになる。
授業概要	まずは日本語能力試験Ｎ３レベルの日本語力を確実なものにするため、Ｎ３レベルの文法や文字・語彙等を振り返る。その過程で、課題を課したり、小テストを実施し日本語力の伸長を図る。一方、Ｎ２のレベルの文法や文字・語彙を織り込んでいき、力を徐々にＮ２レベルに導いていく。また、日本での学生生活を円滑に送ることができるようにするため、授業の中で、日本人のあいだでかわされる挨拶や応答などをとりあげ、日本社会で暮らすための知恵を身につけさせていく。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 単位認定試験、小テストには聴解のみならず、文法、文字・語彙の分野からも出題する。 課題に対する取り組み、授業中の態度も評価の対象となるので、1時間1時間の授業を大切にしてほしい。 最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、Ｎ２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題として課したものを小テストや単位認定試験で出題する。 小テストについては授業で解説し、いくつかは単位認定試験にも出題する。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に編成される。履修登録は教務課で一括登録する。 　登録されたクラスを勝手に変更してはならない。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること ②　日本語ＩＡ/日本語ＩＡ（文法）、応用日本語ＩＡ/日本語ＩＡ（読解）、日本語研究ＩＡ/日本語ＩＡ（聴解）の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 　なお、授業以外にも、様々な機会をうまく使って実力の涵養に努めてほしい。

実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	日本語の修得には多くの時間が必要であるし、反復も必要である。授業前には授業内容を予習し、疑問点などは整理しておく。 授業後は必ず復習し知識の定着を図る。また、自分でＪＬＰＴ対策の問題演習に取り組むなど積極的な態度が必要。 予習・復習にはそれぞれ２時間以上の学習が必要。		
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間に教室、講師控室にて		

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション、プロフィール作成、初級文法演習、初級漢字演習	磯
第２回	初級文字語彙演習、文法テキスト学習　場面１①	磯
第３回	文法テキスト学習　場面１②	磯
第４回	文法テキスト学習　場面２①	磯
第５回	文法テキスト学習　場面２②	磯
第６回	Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習①	磯
第７回	Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習②	磯
第８回	Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習③	磯
第９回	第１回～第８回授業　総まとめテスト	磯
第１０回	文法テキスト学習　場面３①	磯
第１１回	文法テキスト学習　場面３②、Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習④	磯
第１２回	文法テキスト学習　場面４①	磯
第１３回	文法テキスト学習　場面４②、Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習⑤	磯
第１４回	文法テキスト学習　場面５①	磯
第１５回	文法テキスト学習　場面５②、Ｎ３レベル、Ｎ２レベル文字・語彙学習⑥	磯
第１６回	単位認定試験	磯

教科書			
教・書籍名１	日本語能力試験問題集　Ｎ３文法　スピードマスター	教・出版社名１	Ｊリサーチ出版
教・著者名１	清水知子、大場理恵子、鈴木美希	教・ＩＳＢＮ１	978-4-86392-036-1
教・書籍名２	ドリル＆ドリル日本語能力試験Ｎ２　文字語彙	教・出版社名2	ＵＮＩＣＯＭ
教・著者名2	星野恵子、辻和子	教・ＩＳＢＮ2	978-4-89689-478-3

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＢ（２クラス）			担当者	井上　光惠		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-LJ-1-002		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義・演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	充実した大学生活のためには日本語の力が必要である。また本学では在学中に日本語能力試験Ｎ２の取得を必須としている。そのようなことから、授業においては、まず初級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能の基礎力を養成し、次の中級レベルの技能確立につなげられるようにする。
授業概要	日本語能力試験Ｎ２合格を目指し、文法・文字・語彙を中心に学ぶ。Ｎ２レベルの言語知識（文字・語彙・文法など）の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また中級レベルの日本語表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、Ｎ２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①テキストで新しく学習した文型の練習問題を毎回課題とし、翌週その答えのチェックとフィードバックを行う。 ②Ｎ３レベル「文字語彙」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックをする。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語ＩＡ・応用日本語Ｉ秋A・日本語研究Ｉ秋Aの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とそ	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習	

の時間	し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。文字の習得は絶対に必要である。「漢字」や「かな」は何度も繰り返し書いて覚えてほしい。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間

授業計画		担当者
第１回	１．オリエンテーション	井上光惠
第２回	２．第25課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第３回	３．第25課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第４回	４．第28課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第５回	５．第28課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第６回	６．第31課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第７回	７．第31課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第８回	８．第34課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第９回	９．第34課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第１０回	１０．第37課-１ 漢字・語彙　　文型１一導入・練習	井上光惠
第１１回	１１．第37課-２ 文型２一導入・練習　　会話	井上光惠
第１２回	１２．まとめ７　３３課～３７課の復習	井上光惠
第１３回	１３．第40課-１ 漢字・語彙　　文型１-導入・練習	井上光惠
第１４回	１４．第40課-２ 文型２-導入・練習　会話	井上光惠
第１５回	１５．まとめ８　３８課～４２課の復習	井上光惠
第１６回	単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	日本語初級（2）大地　メインテキスト	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	山崎佳子・石井怜子・佐々木薫・高橋美和子・町田恵子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-89358-507-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	ドリル＆ドリル 日本語能力試験 N3 文字語彙	参・出版社名１	ユニコム
参・著者名１	星野恵子　辻和子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-89689-487-5
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＢ再履クラス１	担当者	日笠　恵美子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-002

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになる。
授業概要	この講義は「文字語彙・文法 」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの言語知識（文字・語彙・文法など）の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験（５０％）、小テスト（３０％）、学習意欲・態度（２０％）によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続すること。また、２年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、２年次開講の日本語関連科目ＩＩを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	本科目の到達目標の達成に向けて、各回の授業内容について、課題と中間テスト、期末テストを行う。内容理解の確認と学習のポイントを説明する。また試験は解答のポイントをコメントするなどしてフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修１～４クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 　なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	日笠

第２回	ユニット１	日笠
第３回	ユニット１	日笠
第４回	ユニット2	日笠
第５回	ユニット2	日笠
第６回	ユニット3	日笠
第７回	ユニット3	日笠
第８回	中間テスト	日笠
第９回	ユニット４	日笠
第１０回	ユニット４	日笠
第１１回	ユニット５	日笠
第１２回	ユニット５	日笠
第１３回	ユニット６	日笠
第１４回	ユニット６	日笠
第１５回	総復習	日笠
第１６回	単位認定試験	日笠

教科書			
教・書籍名１	レベルアップトレーニング文法Ｎ２	教・出版社名１	アルク
教・著者名１	坂本勝信	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7574-2210-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	日本語パワードリル N2 文字・語彙	参・出版社名１	アスク出版
参・著者名１	松浦 真理子（他）	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-768-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＢ再履クラス２	担当者	福本　苗
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-002

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの言語知識（文字・語彙・文法など）の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験（50%）、小テスト（30%）、学習意欲・態度（20%）によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。2年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、2年次開講の日本語関連科目ＩＩを 履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の予習・復習として、指示された文字語彙、文法、文型を使っての課題をする。その後採点、フィードバックをする。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語ＩＢ・応用日本語ＩＢ・日本語研究ＩＢの3科目ともに同クラスで受験すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	授業後、教室にて。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション・レベル確認テスト	福本苗
第２回	いろいろな働きをする助詞	福本苗
第３回	「よう・う・まい・べき」を使った言葉	福本苗
第４回	複合語として使われる言葉	福本苗

第５回	文章の文法	福本苗
第６回	JLPT　Ｎ2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第７回	JLPT　Ｎ2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第８回	JLPT　Ｎ2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第９回	JLPT　Ｎ2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第１０回	基本文法の復習	福本苗
第１１回	決まった使い方の副詞	福本苗
第１２回	仮定・逆説の表現	福本苗
第１３回	原因・理由を表す表現	福本苗
第１４回	話者の感覚・気持ち・推量を表す表現	福本苗
第１５回	総括	福本苗
第１６回	単位認定試験	福本苗

教科書			
教・書籍名１	新完全マスター単語日本語能力試験Ｎ２重要2200語	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	小谷野美穂　（他）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-762-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	45日間で基礎からわかる日本語能力試験対策Ｎ2文法総まとめ	参・出版社名１	三修社
参・著者名１	遠藤ゆう子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-384-05574-0
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＢ再履クラス３	担当者	福本　苗
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-002

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの言語知識（文字・語彙・文法など）の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験（50%）、小テスト（30%）、学習意欲・態度（20%）によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。2年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、2年次開講の日本語関連科目ⅡＢを 履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の予習・復習として、指示された文字語彙、文法、文型を使っての課題をする。その後採点、フィードバックをする。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ① 履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修1～3クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの3科目ともに同クラスで受験すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	授業後、教室にて。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション・レベル確認テスト	福本苗
第２回	時を表す表現	福本苗
第３回	くり返しを表す表現	福本苗
第４回	進行状態を示す表現	福本苗

第５回	相関関係を示す表現	福本苗
第６回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第７回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第８回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第９回	JLPT　N2対策 文字・語彙・文法	福本苗
第１０回	比較を表す表現	福本苗
第１１回	対象を表す表現	福本苗
第１２回	仮定を表す表現	福本苗
第１３回	「から」が付く表現	福本苗
第１４回	評価・判断を示す表現	福本苗
第１５回	「ほど・くらい・こそ・さえ」を使った表現	福本苗
第１６回	単位認定試験	福本苗

教科書			
教・書籍名１	45日間で基礎からわかる日本語能力試験対策　N2文法　総まとめ	教・出版社名１	三修社
教・著者名１	遠藤ゆう子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-384-05574-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ＩＢ再履クラス４	担当者	大下　朋子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-002

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになる。
授業概要	この講義は「文字語彙・文法」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの言語知識（文字・語彙・文法など）の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験（５０％）、小テスト（３０％）、学習意欲・態度（２０％）によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続すること。また、２年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、２年次開講の日本語関連科目ＩＩを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	本科目の到達目標の達成に向けて、各回の授業内容について、課題と中間テスト、期末テストを行う。内容理解の確認と学習のポイントを説明する。また試験は解答のポイントをコメントするなどしてフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修１～４クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＢ・応用日本語ＩＢ・日本語研究ＩＢの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。各２時間の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、教室にて実施する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	大下(朋)
第２回	ます形・て形に接続する表現	大下(朋)
第３回	辞書形・た形に接続する表現	大下(朋)
第４回	ない形・意向形、名詞・形容詞に接続する表現	大下(朋)

第５回	いろいろなものと接続する表現	大下(朋)	
第６回	評価・比較の表現①	大下(朋)	
第７回	評価・比較の表現②／時間に関する表現	大下(朋)	
第８回	状態・強調の表現／条件に関する表現①	大下(朋)	
第９回	条件に関する表現②	大下(朋)	
第１０回	判断に関する表現①	大下(朋)	
第１１回	判断に関する表現②／敬語表現	大下(朋)	
第１２回	縮約形／接続詞	大下(朋)	
第１３回	動詞①	大下(朋)	
第１４回	動詞②	大下(朋)	
第１５回	名詞・助数詞	大下(朋)	
第１６回	単位認定試験（筆記試験）	大下(朋)	
教科書			
教・書籍名１	28日間で基礎から応用まで完全マスター！日本語能力試験対策　Ｎ３文法・語彙・漢字　改訂版	教・出版社名１	三修社
教・著者名１	山田光子	教・ＩＳＢＮ１	978-4384059502
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	日本語ⅡＡ １・２クラス	担当者	大下　朋子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LJ-2-003

必修・選択	選択必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「文法」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする。
授業概要	この講義は、「文法」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な文法能力を理解しながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの文法問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、文法力のさらなる向上を目指す。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（50%）、中間テスト（30%）、学習意欲・態度（20%）に基づく総合評価。成績評価の評価対象となるので、単位認定試験と併せて中間テストも必ず受験しなければならない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	本科目の到達目標の達成に向けて、各回の授業内容について、課題と中間テスト、期末テストを行う。内容理解の確認と学習のポイントを説明する。また試験は解答のポイントをコメントするなどしてフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、Ｎ２に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ②この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレイスメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習・復習には各2時間程度を要する。適宜、課題を提示するので、予習時には課題の内容を把握し疑問点を整理しておくこと。復習時には、授業時間内に取り組んだ課題の内容について理解を深めておくこと。
オフィスアワー	授業終了後、教室にて実施する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	大下 朋子
第２回	１課 時間関係	大下 朋子
第３回	２課 範囲の始まり・限度	大下 朋子
第４回	３課 限定・非限定・付加	大下 朋子
第５回	４課 例示	大下 朋子
第６回	５課 関連・無関係	大下 朋子
第７回	６課 様子	大下 朋子
第８回	【中間テスト】１～６課／中間テストの解説	大下 朋子
第９回	７課 付随行動	大下 朋子
第１０回	８課 逆接	大下 朋子
第１１回	９課 条件	大下 朋子
第１２回	10課 逆接条件	大下 朋子
第１３回	11課 目的・手段	大下 朋子
第１４回	12課 原因・理由	大下 朋子

第１５回	13課　可能・不可能・禁止		大下 朋子
第１６回	単位認定試験（筆記試験）		大下 朋子
教科書			
教・書籍名１	新完全マスター文法　日本語能力試験Ｎ１	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	友松悦子、福島佐知、中村かおり	教・ＩＳＢＮ１	978-4883195640
教・書籍名２	日本語パワードリル N1 文字・語彙	教・出版社名2	アスク出版
教・著者名2	松浦 真理子、鈴木 健司	教・ＩＳＢＮ2	978-4872177671
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語ⅡB	担当者	大下　朋子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LJ-2-004

必修・選択	選択必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「文法」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする。
授業概要	この講義は、「文法」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な文法能力を理解しながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの文法問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、文法力のさらなる向上を目指す。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（50%）、中間テスト（30%）、学習意欲・態度（20%）に基づく総合評価。成績評価の評価対象となるので、学期末の筆記試験と併せて中間テストも必ず受験しなければならない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	本科目の到達目標の達成に向けて、各回の授業内容について、課題と中間テスト、期末テストを行う。内容理解の確認と学習のポイントを説明する。また試験は解答のポイントをコメントするなどしてフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、Ｎ２に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ②この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレイスメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習・復習には各2時間程度を要する。適宜、課題を提示するので、予習時には課題の内容を把握し疑問点を整理しておくこと。復習時には、授業時間内に取り組んだ課題の内容について理解を深めておくこと。
オフィスアワー	授業終了後、教室にて実施する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	大下 朋子
第２回	14課　話題・評価の基準	大下 朋子
第３回	15課　比較対照	大下 朋子
第４回	16課　結末・最終の状態	大下 朋子
第５回	17課　強調	大下 朋子
第６回	18課　主張・断定	大下 朋子
第７回	【中間テスト】14～18課／中間テストの解説	大下 朋子
第８回	19課　評価・感想	大下 朋子
第９回	20課　心情・強制的思い	大下 朋子
第１０回	A　動詞の意味に着目-1	大下 朋子
第１１回	B　動詞の意味に着目-2	大下 朋子
第１２回	C　古い言葉を使った言い方	大下 朋子
第１３回	D「もの・こと・ところ」を使った言い方	大下 朋子
第１４回	E　二つの言葉を組にする言い方	大下 朋子

第１５回	F　助詞・複合助詞		大下 朋子
第１６回	単位認定試験（筆記試験）		大下 朋子
教科書			
教・書籍名１	新完全マスター文法　日本語能力試験Ｎ１	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	友松悦子、福島佐知、中村かおり	教・ＩＳＢＮ１	978-4883195640
教・書籍名２	日本語パワードリル N1 文字・語彙	教・出版社名2	アスク出版
教・著者名2	松浦 真理子、鈴木 健司	教・ＩＳＢＮ2	978-4872177671
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用日本語ＩA 再履１クラス	担当者	井上　光惠
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-005

必修・選択	必須	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	これからはじまる大学教育への円滑な導入を目的に、留学生の日本語能力の更なる向上を図る。学生は、他の日本語科目と併せ て、「話す」、「読む」、「聞く」、「書く」能力の向上に努め、日本語能力試験Ｎ２程度の実力を習得することができる。到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「読解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の 意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	試験(50%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(30%)などに基づく総合評価。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①新しく学習する課の文章について「漢字」「語彙」「文型」については、その意味を事前に調べ問題練習をすることを課題とし、翌週そのチェックとフィードバックを行う。 ②Ｎ２レベル「文字語彙」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックを行う。
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、Ｎ2に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語ＩA・応用日本語Ｉ秋A・日本語研究Ｉ秋A]の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥　授業では、テキストは使用せず、主教材も副教材もプリントで対応する。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。

実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。		
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。		

	授業計画	担当者
第１回	1．オリエンテーション	井上光惠
第２回	２．６課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第３回	３．６課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第４回	４．７課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第５回	５．７課-２　内容理解（中文）	井上光惠
第６回	６．JLPT対策授業−１（内容理解-短文）	井上光惠
第７回	７．JLPT対策授業−２（統合理解）	井上光惠
第８回	８．JLPT対策授業−３（情報検索１）	井上光惠
第９回	９．JLPT対策授業−４（情報検索２）	井上光惠
第１０回	１０．８課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１１回	１１．８課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第１２回	１２．９課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１３回	１３．９課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第１４回	１４．１０課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１５回	１５．１０課−２　内容理解（中ｚ文）	井上光惠
第１６回	１６．単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	中級から学ぶ日本語	教・出版社名１	株式会社 研究社
教・著者名１	松田浩志 亀田美保	教・ＩＳＢＮ１	978-4-327-38465-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	ドリル＆ドリル日本語能力試験N2文字語彙	参・出版社名１	ユニコム
参・著者名１	星野恵子・辻和子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-89689-478-3
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用日本語ＩＡ １クラス			担当者	小西　真弓		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-LJ-1-005		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	日本語能力試験N２合格を目指し、読解を中心に学ぶ。Ｎ２レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また、中級レベルの日本語表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、N２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の予習・復習として、指示された文字・語彙、文法、文型を使っての文作などの課題を提出してもらう。 採点し、フィードバックする。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1~3クラスに編成される。履修登録は教務で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 　なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とそ	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、

の時間	授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間、教室にて

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション レベル確認テスト	小西真弓
第２回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第３回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第４回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第５回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第６回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第７回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第８回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第９回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１０回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１１回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１２回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１３回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１４回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１５回	総括・確認テスト	小西真弓
第１６回	単位認定筆記試験	小西真弓

教科書			
教・書籍名１	ドリル＆ドリルＮ２文字・語彙	教・出版社名１	ユニコムUNICOM
教・著者名１	星野恵子・辻和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-89689-478-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本語総まとめN3　読解	参・出版社名１	アスク出版
参・著者名１	佐々木仁子・松本紀子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-766-4

参・書籍名２	日本語総まとめN3　語彙	参・出版社名2	アスク出版
参・著者名2	佐々木仁子・松本紀子	参・ＩＳＢＮ2	978-4-87217-731-2

授業科目名	応用日本語ＩＡ２クラス	担当者	久保田　雅子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-005

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。このクラスでは、まず、基礎的な日本語の文法、初級の文章読解を中心に扱う。 目標は日本語能力試験Ｎ２相当の実力を身につけることであるが、日本語の基礎レベルの文法知識を習得すること、文章表現を正確に理解することから行う。最終目標は、専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が、円滑に使えることである。
授業概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目Ｉの3科目（日本語ＩＡ、応用日本語ＩＡ、日本語研究ＩＡ）で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。 中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得するため、基礎的な文法、語彙、また読解の運用力を高めることを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業評価は、試験（５０％）、小テスト及び課題提出(３０％)、学習意欲・態度(２0%)で評価する。 このクラスは基礎の日本語クラスなので基本的な文法事項、語彙、文章読解を中心に扱う。ただし、単位認定については、日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プリント・課題についてのフィードバックは、おもに次回の授業で個別あるいは全体的に行う。
履修条件・注意事項	①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当する　内容　日本語教育
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、授業の中で自ら課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。 ２）指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。

	予習と復習に２時間以上は必要である。
オフィスアワー	教室・及びオープンスペースにて授業前後に実施

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション（授業の進め方について） 1.２３課　文法１	久保田
第２回	２．２３課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第３回	３．２７課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第４回	４．２７課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第５回	５．３０課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第６回	６．３０課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第７回	７．３３課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第８回	８．３３課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第９回	９．３６課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１０回	１０．３６課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１１回	１１．３９課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１２回	１２．３９課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１３回	１３．４２課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１４回	１４．４２課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１５回	１５．　総まとめ	久保田
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	日本語初級2・大地　メインテキスト	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-507-7
教・書籍名２	ドリル＆ドリル 日本語能力試験（文字・語彙）	教・出版社名2	株式会社ユニコム
教・著者名2	星野　恵子・辻和子	教・ＩＳＢＮ2	978-4-89689-487-5

参考書			
参・書籍名１	ことばでおぼえるやさしい漢字ワーク　初級２	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	中村　かおり他著	参・ＩＳＢＮ１	978-488-319-7828
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用日本語ＩＡ再履２クラス	担当者	小西　真弓
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-005

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「読解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。２年生以上の再履修性は、Ｎ２に合格するまで、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の予習・復習として、指示された文字・語彙、文法、文型を使っての文作などの課題を提出してもらう。 採点し、フィードバックする。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修１～3ラスに編成される。履修登録は教務課で一括で登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 　なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	授業後、休憩時間、教室にて。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション レベル確認テスト	小西真弓
第２回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問	小西真弓

	文字・語彙：漢字読み、表記	
第３回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第４回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第５回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第６回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第７回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第８回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第９回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１０回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１１回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１２回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１３回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１４回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１５回	総括・確認テスト	小西真弓
第１６回	単位認定筆記試験	小西真弓

教科書			
教・書籍名１	新完全マスター単語　日本語能力試験N2重要2200語	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	小谷野美穂・森田亮子・青柳方子・大野純子・木村典子他	教・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-762-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本語能力試験問題集　スピードマスター　N2 読解	参・出版社名１	Jリサーチ出版
参・著者名１	小林ひとみ・桑原里奈・木村理恵	参・ＩＳＢＮ１	9784863920583
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用日本語ＩＡ再履クラス３	担当者	久保田　雅子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-005

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマは第二言語としての日本語の「読解力の向上」である。Ｎ３～Ｎ２レベルの読解問題の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また中級レベルの表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につけることが目標である。
授業概要	日本語能力試験Ｎ２合格を目指し、このクラスでは主に「読解」中心に学ぶ。教科書で論理的な文章を読み、内容を理解する。プリントでＮ３～Ｎ２レベルの演習問題をやり、文章を通じて筆者の考えを理解したり、パンフレットや説明書等、さまざまな文書を読み、各文書から必要な情報を得る方法を理解する。 中級レベルの読解力が身につくことで事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につけることができる。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業評価は、講義内試験（４０％）、小テスト（２０％）、学習意欲・態度（４０％）によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。２年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、２年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プリント・課題についてのフィードバックは、おもに次回の授業で個別あるいは全体的に行う。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用することができる。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：留学生の日本語教育
事前学習・事後学習とその時間	1) 事前に課題をだす。授業中にその発表を行い、みずから、自分自身の課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。 2) 指示に従って必ず専用のノートを作成し、復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。予習と復習に２時間以上は必要である。
オフィスアワー	教室・及びオープンスペースにて授業前・後に実施する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション （授業の進め方、予習、復習のやりかた　例：第１課）	久保田

第２回	第２課　語彙・本文１、プリント	久保田
第３回	第２課　本文２・文法、プリント	久保田
第４回	第４課　語彙・本文１、プリント	久保田
第５回	第４課　本文２・文法、プリント	久保田
第６回	第６課　語彙・本文１、プリント	久保田
第７回	第６課　本文２・文法、プリント	久保田
第８回	Ｎ２演習問題１	久保田
第９回	Ｎ２演習問題　２	久保田
第１０回	Ｎ２演習問題　３	久保田
第１１回	第８課　語彙・本文１	久保田
第１２回	第８課　本文2・文法	久保田
第１３回	第１０課　語彙・本文１	久保田
第１４回	第１０課　本文2・文法	久保田
第１５回	総まとめ	久保田
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	留学生の日本語　読解編	教・出版社名１	株式会社アルク
教・著者名１	アカデミック・ジャパニーズ研究会	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7574-2631-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	はじめての日本語能力試験Ｎ２ 合格模試	参・出版社名１	株式会社アスク出版
参・著者名１	アスク出版編集部	参・ＩＳＢＮ１	978-4-86639-315-5
参・書籍名２	新完全マスター　読解　N3	参・出版社名2	株式会社　スリーエーネットワーク
参・著者名2	田代　ひろみ・他著	参・ＩＳＢＮ2	978-4-888319-671-5

授業科目名	応用日本語ＩＡ再履クラス４			担当者	井上　光惠		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-LJ-1-005		
必修・選択	必須	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	これからはじまる大学教育への円滑な導入を目的に、留学生の日本語能力の更なる向上を図る。学生は、他の日本語科目と併せ て、「話す」、「読む」、「聞く」、「書く」能力の向上に努め、日本語能力試験Ｎ２程度の実力を習得することができる。到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「読解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の 意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	試験(50%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(30%)などに基づく総合評価。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①新しく学習する課の文章について「漢字」「語彙」「文型」については、その意味を事前に調べ問題練習をすることを課題とし、翌週そのチェックとフィードバックを行う。 ②Ｎ２レベル「文字語彙」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックを行う。
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、Ｎ2に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語ＩＡ・応用日本語Ｉ秋A・日本語研究Ｉ秋A]の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥　授業では、テキストは使用せず、主教材も副教材もプリントで対応する。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。

実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。		
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。		

	授業計画	担当者
第１回	1．オリエンテーション	井上光惠
第２回	２．１課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第３回	３．１課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第４回	４．２課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第５回	５．２課-２　内容理解（中文）	井上光惠
第６回	６．JLPT対策授業−１（内容理解-短文）	井上光惠
第７回	７．JLPT対策授業−２（統合理解）	井上光惠
第８回	８．JLPT対策授業−３（情報検索１）	井上光惠
第９回	９．JLPT対策授業−４（情報検索２）	井上光惠
第１０回	１０．３課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１１回	１１．３課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第１２回	１２．４課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１３回	１３．４課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第１４回	１４．５課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１５回	１５．５課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第１６回	１６．単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	中級から学ぶ日本語	教・出版社名１	株式会社 研究社
教・著者名１	松田浩志 亀田美保	教・ＩＳＢＮ１	978-4-327-38465-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	新完全マスター 語彙 日本語能力試験N2	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	伊能裕晃・本田ゆかり・来栖里美・前坊香菜子・阿保きみ枝・宮田公治	参・ＩＳＢＮ１	9784883195749
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用日本語ＩＢ（1クラス）	担当者	小西　真弓
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-006

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	日本語能力試験N２合格を目指し、読解を中心に学ぶ。N２レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また、中級レベルの日本語表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、N２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の予習・復習として、指示された文字・語彙、文法、文型を使っての文作などの課題を提出してもらう。 採点し、フィードバックする。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に1~3クラスに編成される。履修登録は教務で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＢ・応用日本語ＩＢ・日本語研究ＩＢの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 　なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。

オフィスアワー	授業終了後、休憩時間、教室にて	
	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション レベル確認テスト	小西真弓
第２回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第３回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第４回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第５回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第６回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第７回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第８回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第９回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１０回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１１回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１２回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１３回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１４回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１５回	総括、確認テスト	小西真弓
第１６回	単位認定筆記試験	小西真弓

教科書			
教・書籍名１	ドリル＆ドリルＮ２文字・語彙	教・出版社名１	ユニコムUNICOM
教・著者名１	星野恵子・辻　和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-89689-478-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本語総まとめN3　読解	参・出版社名１	アスク出版
参・著者名１	佐々木仁子・松本紀子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-766-4
参・書籍名２	日本語総まとめN3　語彙	参・出版社名2	アスク出版

参・著者名2	佐々木仁子・松本紀子	参・ＩＳＢＮ2	978-4-87217-731-2

授業科目名	応用日本語ＩＢ（２クラス）	担当者	久保田　雅子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-006

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。このクラスでは、まず、基礎的な日本語の文法、初級の文章読解を中心に扱う。 目標は日本語能力試験Ｎ２相当の実力を身につけることであるが、日本語の基礎レベルの文法知識を習得すること、文章表現を正確に理解することから行う。最終目標は、専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が、円滑に使えることである。
授業概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目Ｉの3科目（日本語ＩＡ、応用日本語ＩＡ、日本語研究ＩＡ）で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。 中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。日本語能力試験N2の言語知識・文法、読解、聴解などの能力を習得するため、基礎的な文法、語彙、また読解の運用力を高めることを目指す。N2合格への橋渡しとなる科目である。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業評価は、試験（５０％）、小テスト及び課題提出(３０％)、学習意欲・態度(２0%)で評価する。 このクラスは基礎の日本語クラスなので基本的な文法事項、語彙、文章読解を中心に扱う。ただし、単位認定については、日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プリント・課題についてのフィードバックは、おもに次回の授業で個別あるいは全体的に行う。
履修条件・注意事項	①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当する　内容　日本語教育
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、授業の中で自ら課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。 ２）指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。

	予習と復習に２時間以上は必要である。
オフィスアワー	教室・及びオープンスペースにて授業前後に実施

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション（授業の進め方について） 1.２３課　文法１	久保田
第２回	２．２３課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第３回	３．２７課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第４回	４．２７課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第５回	５．３０課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第６回	６．３０課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第７回	７．３３課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第８回	８．３３課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第９回	９．３６課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１０回	１０．３６課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１１回	１１．３９課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１２回	１２．３９課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１３回	１３．４２課　文法１　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１４回	１４．４２課　文法２　及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１５回	１５．　総まとめ	久保田
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	日本語初級2・大地　メインテキスト	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-507-7
教・書籍名２	ドリル＆ドリル 日本語能力試験（文字・語彙）	教・出版社名2	株式会社ユニコム
教・著者名2	星野　恵子・辻和子	教・ＩＳＢＮ2	978-4-89689-487-5

参考書			
参・書籍名１	ことばでおぼえるやさしい漢字ワーク　初級２	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	中村　かおり他著	参・ＩＳＢＮ１	978-488-319-7828
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用日本語ＩＢ再履クラス１			担当者	井上　光惠		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-LJ-1-006		
必修・選択	必須	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	これからはじまる大学教育への円滑な導入を目的に、留学生の日本語能力の更なる向上を図る。学生は、他の日本語科目と併せ て、「話す」、「読む」、「聞く」、「書く」能力の向上に努め、日本語能力試験Ｎ２程度の実力を習得することができる。到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「読解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の 意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	試験(50%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(30%)などに基づく総合評価。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①新しく学習する課の文章について「漢字」「語彙」「文型」については、その意味を事前に調べ問題練習をすることを課題とし、翌週そのチェックとフィードバックを行う。 ②Ｎ２レベル「文字語彙」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックを行う。
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、Ｎ2に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語ＩＡ・応用日本語Ｉ秋A・日本語研究Ｉ秋A]の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥　授業では、テキストは使用せず、主教材も副教材もプリントで対応する。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。

実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。		
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。		

	授業計画	担当者
第１回	1．オリエンテーション	井上光惠
第２回	２．６課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第３回	３．６課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第４回	４．７課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第５回	５．７課-２　内容理解（中文）	井上光惠
第６回	６．JLPT対策授業−１（内容理解-短文）	井上光惠
第７回	７．JLPT対策授業−２（統合理解）	井上光惠
第８回	８．JLPT対策授業−３（情報検索１）	井上光惠
第９回	９．JLPT対策授業−４（情報検索２）	井上光惠
第１０回	１０．８課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１１回	１１．８課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第１２回	１２．９課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１３回	１３．９課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第１４回	１４．１０課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１５回	１５．１０課−２　内容理解（中ｚ文）	井上光惠
第１６回	１６．単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	中級から学ぶ日本語	教・出版社名１	株式会社 研究社
教・著者名１	松田浩志 亀田美保	教・ＩＳＢＮ１	978-4-327-38465-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	ドリル＆ドリル日本語能力試験N2文字語彙	参・出版社名１	ユニコム
参・著者名１	星野恵子・辻和子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-89689-478-3
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用日本語ＩＢ再履クラス２	担当者	小西　真弓
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-006

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「読解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。２年生以上の再履修性は、Ｎ２に合格するまで、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の予習・復習として、指示された文字・語彙、文法、文型を使っての文作などの課題を提出してもらう。 採点し、フィードバックする。
履修条件・注意事項	① 履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ② 日本語ＩＢ・応用日本語ＩＢ・日本語研究ＩＢの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験N1の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人と同様に外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでN2対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	授業後、休憩時間、教室にて。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション レベル確認テスト	小西真弓
第２回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓

第３回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第４回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第５回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第６回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第７回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第８回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第９回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１０回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１１回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１２回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１３回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１４回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１５回	総括・確認テスト	小西真弓
第１６回	単位認定筆記試験	小西真弓

教科書			
教・書籍名１	新完全マスター単語　日本語能力試験N2重要2200語	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	小谷野美穂・森田亮子・青柳方子・大野純子・木村典子他	教・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-762-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	日本語能力試験問題集　スピードマスター　N2 読解	参・出版社名１	Jリサーチ出版
参・著者名１	小林ひとみ・桑原里奈・木村理恵	参・ＩＳＢＮ１	9784863920583
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用日本語ＩＢ再履クラス3	担当者	久保田　雅子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-006

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマは第二言語としての日本語の「読解力の向上」である。Ｎ３～Ｎ２レベルの読解問題の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また中級レベルの表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につけることが目標である。
授業概要	日本語能力試験Ｎ２合格を目指し、このクラスでは主に「読解」中心に学ぶ。教科書で論理的な文章を読み、内容を理解する。プリントでＮ３～Ｎ２レベルの演習問題をやり、文章を通じて筆者の考えを理解したり、パンフレットや説明書等、さまざまな文書を読み、各文書から必要な情報を得る方法を理解する。 中級レベルの読解力が身につくことで事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につけることができる。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業評価は、講義内試験（４０％）、小テスト（２０％）、学習意欲・態度（４０％）によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。２年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、２年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プリント・課題についてのフィードバックは、おもに次回の授業で個別あるいは全体的に行う。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用することができる。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：留学生の日本語教育
事前学習・事後学習とその時間	1) 事前に課題をだす。授業中にその発表を行い、みずから、自分自身の課題を見つける方法をとる。参加型学習法を行うため、予習が必須である。 2) 指示に従って必ず専用のノートを作成し、復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。予習と復習に２時間以上は必要である。
オフィスアワー	教室・及びオープンスペースにて授業前・後に実施する。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション （授業の進め方、予習、復習のやりかた　例：第１課）	久保田

第２回	第1課　語彙・本文１-2、プリント	久保田
第３回	第3課　本文２・文法、プリント	久保田
第４回	第3課　語彙・本文１、プリント	久保田
第５回	第5課　本文２・文法、プリント	久保田
第６回	第5課　語彙・本文１、プリント	久保田
第７回	第7課　本文２・文法、プリント	久保田
第８回	第7課、Ｎ２演習問題１	久保田
第９回	Ｎ２演習問題　２	久保田
第１０回	Ｎ２演習問題　３	久保田
第１１回	第9課　語彙・本文１	久保田
第１２回	第9課　本文2・文法	久保田
第１３回	第11課　語彙・本文１	久保田
第１４回	第11課　本文2・文法	久保田
第１５回	第13課、総まとめ	久保田
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	留学生の日本語　読解編	教・出版社名１	株式会社アルク
教・著者名１	アカデミック・ジャパニーズ研究会	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7574-2631-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	はじめての日本語能力試験Ｎ２ 合格模試	参・出版社名１	株式会社アスク出版
参・著者名１	アスク出版編集部	参・ＩＳＢＮ１	978-4-86639-315-5
参・書籍名２	新完全マスター　読解　N3	参・出版社名2	株式会社　スリーエーネットワーク
参・著者名2	田代　ひろみ・他著	参・ＩＳＢＮ2	978-4-888319-671-5

授業科目名	応用日本語ＩＢ再履クラス４			担当者	井上　光惠		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-LJ-1-006		
必修・選択	必須	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	これからはじまる大学教育への円滑な導入を目的に、留学生の日本語能力の更なる向上を図る。学生は、他の日本語科目と併せ て、「話す」、「読む」、「聞く」、「書く」能力の向上に努め、日本語能力試験Ｎ２程度の実力を習得することができる。到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「読解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。言語知識と併せて、中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の 意見を述べたりできるようになる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	試験(50%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(30%)などに基づく総合評価。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①新しく学習する課の文章について「漢字」「語彙」「文型」については、その意味を事前に調べ問題練習をすることを課題とし、翌週そのチェックとフィードバックを行う。 ②Ｎ２レベル「文字語彙」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックを行う。
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。また、Ｎ2に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語ＩＡ・応用日本語Ｉ秋A・日本語研究Ｉ秋A]の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑥　授業では、テキストは使用せず、主教材も副教材もプリントで対応する。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めましょう。

実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。		
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。		

	授業計画	担当者
第１回	1．オリエンテーション	井上光惠
第２回	２．１課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第３回	３．１課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第４回	４．２課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第５回	５．２課-２　内容理解（中文）	井上光惠
第６回	６．JLPT対策授業−１（内容理解-短文）	井上光惠
第７回	７．JLPT対策授業−２（統合理解）	井上光惠
第８回	８．JLPT対策授業−３（情報検索１）	井上光惠
第９回	９．JLPT対策授業−４（情報検索２）	井上光惠
第１０回	１０．３課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１１回	１１．３課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第１２回	１２．４課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１３回	１３．４課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第１４回	１４．５課−１　内容理解（中文）	井上光惠
第１５回	１５．５課−２　内容理解（中文）	井上光惠
第１６回	１６．単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	中級から学ぶ日本語	教・出版社名１	株式会社 研究社
教・著者名１	松田浩志 亀田美保	教・ＩＳＢＮ１	978-4-327-38465-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	新完全マスター 語彙 日本語能力試験N2	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	伊能裕晃・本田ゆかり・来栖里美・前坊香菜子・阿保きみ枝・宮田公治	参・ＩＳＢＮ１	9784883195749
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用日本語ⅡA	担当者	小西　真弓
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LJ-2-007

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「読解」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする。
授業概要	この講義は、「読解」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な読解力をつけしながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの読解問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、読解力のさらなる向上を目指す。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	試験(50%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(30%)などに基づく総合評価。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の予習・復習として、指示された文字・語彙、文法、文型を使っての文作などの課題を提出してもらう。 採点し、フィードバックする。
履修条件・注意事項	以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、Ｎ２に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ②この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレイスメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間、教室にて

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション 確認テスト	小西真弓
第２回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第３回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第４回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第５回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
	統合理解問題	

第６回	情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第７回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第８回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第９回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１０回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１１回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１２回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１３回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１４回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１５回	総括、確認テスト	小西真弓
第１６回	単位認定筆記試験	小西真弓

教科書			
教・書籍名１	日本語能力試験問題集　スピードマスター　N1　読解	教・出版社名１	Jリサーチ出版
教・著者名１	菊池富美子・黒石しづ可・日置陽子・竹田慎吾	教・ＩＳＢＮ１	978-4-86392-075-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	新完全マスター単語Ｎ２重要２２００	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	小谷野美穂・森田亮子　他	参・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-762-0
参・書籍名２	速攻トレーニング読解編	参・出版社名2	アスク出版
参・著者名2	加藤早苗・沼田宏	参・ＩＳＢＮ2	978-4-7574-1990-2

授業科目名	応用日本語ⅡB	担当者	小西　真弓
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LJ-2-008

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語によるコミュニケーションスキルの習得を目指し、この講義では特にN1レベルの「読解」について学ぶ。日本語能力試験N1を受験することができるレベルを到達目標とする.。
授業概要	この講義は、「読解」を中心に学習を進める。日本語能力試験N1に出題されている問題の解答を導くために必要な読解力をつけしながら、同時に語彙力やコミュニケーション能力の向上を目指す。実際にN1レベルの読解問題をくり返し解き、出題の傾向や内容を理解する。講義内で小テストなどを導入し、読解力のさらなる向上を目指す。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	試験(50%)、小テスト(20%)、学習意欲・態度(30%)などに基づく総合評価。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業の予習・復習として、指示された文字・語彙、文法、文型を使っての文作などの課題を提出してもらう。 採点し、フィードバックする。
履修条件・注意事項	以下の点に注意すること。 ① 学部正規生は、Ｎ２に合格しなければ、本科目を含む日本語関連科目Ⅱの全科目を履修できない。 ②この科目履修前に日本語能力試験N1を高得点で取得した者は、プレイスメントテストの結果も勘案した上で同科目の単位が認定される場合がある。 ③より効果的に講義内容を習得できるよう予習・復習など自主学習に努めること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間、教室にて

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション 確認テスト	小西真弓
第２回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第３回	内容理解問題：短文ー単問 中文ー単問 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第４回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第５回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
	日本語能力試験対策	

第６回	模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第７回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第８回	日本語能力試験対策 模擬試験・解説 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第９回	内容理解問題：中文ー複問 長文 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１０回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１１回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１２回	統合理解問題 情報検索問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１３回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１４回	主張理解問題 日本文化についての読解問題 文字・語彙：漢字読み、表記	小西真弓
第１５回	総括、確認テスト	小西真弓
第１６回	単位認定筆記試験	小西真弓

教科書			
教・書籍名１	日本語能力試験問題集　スピードマスター　N1　読解	教・出版社名１	Jリサーチ出版
教・著者名１	菊池富美子・黒石しづ可・日置陽子・竹田慎吾	教・ＩＳＢＮ１	978-4-86392-075-0
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	新完全マスター単語Ｎ２重要２２００	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	小谷野美穂・森田亮子・青柳方子・大野純子・木村典子他	参・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-762-0
参・書籍名２	速攻トレーニング読解編	参・出版社名2	アスク出版
参・著者名2	加藤早苗・沼田宏	参・ＩＳＢＮ2	978-4-7574-1990-2

授業科目名	日本語研究ＩＡ再履クラス１	担当者	磯　永二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-009

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生はこの科目を学修することにより、初級レベルの日本語力を確実なものにし、そのうえで、日本語能力試験Ｎ２レベルの聴解能力を身につけていく。そのことが本学の授業に対する理解力の向上だけでなく、様々な教育活動への理解や参加の促進、日本人学生との交流や地域理解の推進にもつながる。そのようにして、日本に対する理解を深め、日本における実りある学生生活を送ることができるようになる。
授業概要	本授業は聴解を中心としており、日本語能力試験Ｎ２レベルの聴解能力獲得を目指している。日本語を聞いて理解するには、そのリズムやスピードに慣れることはもちろんだが、理解に必要な語彙力や文法的な知識も必要である。そこで日本語を単に聞くだけでなく、そこで使われている文字・語彙、文法について学ぶ。そのために必要に応じて課題を課したり小テストを実施する。さらには、日本語理解につながる日本の気候や風土、日常生活で使われる言葉、挨拶、応答などを折に触れて取り上げていく。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 単位認定試験、小テストには聴解のみならず、文法、文字・語彙の分野からも出題する。 課題に対する取り組み、授業中の態度も評価の対象となるので、1時間1時間の授業を大切にしてほしい。 最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。 ２年生以上の再履修生は、Ｎ２の合格するまで、２年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題として課したものを小テストや単位認定試験で出題する。 小テストについては授業で解説し、いくつかは単位認定試験にも出題する。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更してはならない。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること ②　日本語ＩＡ/日本語ＩＡ（文法）、応用日本語ＩＡ/日本語ＩＡ（読解）、日本語研究ＩＡ/日本語ＩＡ（聴解）の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 　なお、授業以外にも、様々な機会をうまく使って実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	日本語の修得には多くの時間が必要であるし、反復も必要である。授業前には授業内容を予習し、疑問点などは整理しておく。 授業後は必ず復習し知識の定着を図る。また、自分でＪＬＰＴ対策の問題演習に取り組むなど積極的な態度が必

	要。 予習・復習にはそれぞれ２時間以上の学習が必要。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間に教室、講師控室にて

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション、プロフィール作成、文法、文字・語彙確認演習	磯
第２回	聴解テキスト学習　課題理解①	磯
第３回	聴解テキスト学習　課題理解②　文字・語彙演習①	磯
第４回	聴解テキスト学習　ポイント理解①	磯
第５回	聴解テキスト学習　ポイント理解②　文字・語彙演習②	磯
第６回	聴解テキスト学習　概要理解①	磯
第７回	聴解テキスト学習　概要理解②　文字・語彙演習③	磯
第８回	第２回～第７回授業内容総括演習	磯
第９回	第２回～第７回授業内容総括演習の解説、復習演習	磯
第１０回	聴解テキスト学習　即時応答①　文字・語彙演習④	磯
第１１回	聴解テキスト学習　即時応答②	磯
第１２回	聴解テキスト学習　即時応答③　文字・語彙演習⑤	磯
第１３回	聴解テキスト学習　概要理解①	磯
第１４回	聴解テキスト学習　概要理解②　文字・語彙演習⑥	磯
第１５回	聴解テキスト学習　第１回、第２回模擬試験問題	磯
第１６回	単位認定試験	磯

教科書			
教・書籍名１	日本語能力試験問題集　Ｎ２聴解　スピードマスター	教・出版社名１	Ｊリサーチ出版
教・著者名１	棚橋明美、杉山ますよ、野原ゆかり	教・ＩＳＢＮ１	978-4-86392-057-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語研究ＩＡ２クラス	担当者	久保田　雅子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-009

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することを目指す。 まずは基本的な文法・語彙・聴解の運用力を中心に身につける。最終の目標は日本語能力試験Ｎ２相当の実力を身につけることである。
授業概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目Ｉの3科目（日本語ＩＢ、応用日本語ＩＢ 、日本語研究ＩＢ）で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。基本的な文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。授業では、基礎的な文法・語彙の運用力、聴解の力を伸ばすことを中心に行う。N2合格への橋渡しとなる科目である。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業評価は、試験（５０％）、小テスト及び課題提出(３０％)、学習意欲・態度(２０％)で評価する。この授業では、基礎の文法・語彙・聴解を中心に扱う。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プリント・課題についてのフィードバックは、おもに次回の授業で個別あるいは全体的に行う。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～3クラスに編成される。 ②日本語Ｉ・応用日本語Ｉ・日本語研究Ｉの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。(社会情勢に応じてＪＬＰＴの試験に代わる措置の学内テストを行う場合もある。) ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 また、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用することもできる。
実務経験のある教員	該当する　内容　日本語教育
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについての発表を行いながら授業を進める。参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。 予習と復習に２時間以上は必要である。
オフィスアワー	授業前、終了後、休憩時間

授業計画	担当者

第１回	1.オリエンテーション（授業の進め方について） 第２４課　文法１	久保田
第２回	2. 第２４課　文法２及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第３回	3. 第２７課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第４回	4. 第２７課　文法2 及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第５回	５. 第30課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第６回	6. 第30課　文法2 及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第７回	７. 第33課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第８回	8. 第33課　文法２及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第９回	９. 第３６課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１０回	10. 第３６課　文法2及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１１回	10. 第３９課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１２回	12. 第３９課　文法2及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１３回	13. 第41課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１４回	14. 第41課　文法2及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１５回	総まとめ	久保田
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	日本語初級2・大地　メインテキスト	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4883195077
教・書籍名２	ドリル＆ドリル 日本語能力試験（文字・語彙）	教・出版社名2	株式会社ユニコム
教・著者名2	星野　恵子・辻和子	教・ＩＳＢＮ2	978-4-89689-487-5

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語研究ＩＡ １クラス				担当者	井上　光惠		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年				ナンバリング	GE-LJ-1-009		
必修・選択	必修	単位数	2単位		時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期		曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話 す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、大学での学びが充実したものになることである。
授業概要	この講義は「聴解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの聴解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。練習の過程では、基礎固めとしてN3レベルの問題も練習する。また関連する言語知識や文法などもとりあげ、総合的な日本語能力向上を目指す。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。　ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試 験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。Ｎ２に合格してはじ めて日本語関連科目Ⅱを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①毎回「音声の聞き分け」の小テストを行い、フィードバックをする。 ②Ｎ２レベル「文法」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックを行う。
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベル以上の日本語能力は必須であり、N2をまだ取っていない学生は、原則として本科目履修中に、Ｎ２試験に合格しなければならない。 　Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２レベルを強化する学習を継続しなければならない。また、Ｎ２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語Ｉ春・応用日本語Ｉ春・日本語研究Ｉ春の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めること。

実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。		
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。		

授業計画		担当者
第１回	1．オリエンテーション	井上光惠
第２回	2．第１章（準備）-１　発音・文法	井上光惠
第３回	3．第１章（準備）-２　会話表現	井上光惠
第４回	4．第２章（問題のパターンに慣れる）-１発話表現　２即時応答	井上光惠
第５回	5．第２章（問題のパターンに慣れる）-３課題理解　４ポイント理解	井上光惠
第６回	6．第２章（問題のパターンに慣れる）-５概要理解	井上光惠
第７回	7．第３章（いろいろな場所で聞く）-１町で	井上光惠
第８回	8．第３章（いろいろな場所で聞く）-２天気予報・交通情報	井上光惠
第９回	9．第３章（いろいろな場所で聞く）-3学校で	井上光惠
第１０回	１０．第3章（いろいろな場所で聞く）-４職場で	井上光惠
第１１回	１１．第3章（いろいろな場所で聞く）-５病院・いろいろな店で	井上光惠
第１２回	１２．第4章（いろいろな内容を聞く）-１人や物のようす	井上光惠
第１３回	１３．第4章（いろいろな内容を聞く）-２場所・方向・位置	井上光惠
第１４回	１４．第4章（いろいろな内容を聞く）-３数・方向・計算	井上光惠
第１５回	１５．第4章（いろいろな内容を聞く）-４順序・比較	井上光惠
第１６回	１６．単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	日本語総まとめＮ３聴解	教・出版社名１	アスク
教・著者名１	佐々木仁子・松本紀子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-792-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	新完全マスター 語彙 Ｎ２	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	伊能裕晃　本田ゆかり　来栖里美	参・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-574-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語研究ＩA 再履クラス２	担当者	井上　光惠
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-009

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話 す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、大学での学びが充実したものになることである。
授業概要	この講義は「聴解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの聴解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。練習の過程では、基礎固めとしてN3レベルの問題も練習する。また関連する言語知識や文法などもとりあげ、総合的な日本語能力向上を目指す。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50％)、小テスト(30％)、学習意欲・態度(20％)によって総合的に評価する。　ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試 験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。Ｎ２に合格してはじ めて日本語関連科目IIを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①毎回「音声の聞き分け」の小テストを行い、フィードバックをする。 ②Ｎ２レベル「文法」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックを行う。
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベル以上の日本語能力は必須であり、N2をまだ取っていない学生は、原則として本科目履修中に、Ｎ２試験に合格しなければならない。 　Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２レベルを強化する学習を継続しなければならない。また、Ｎ２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語Ｉ春・応用日本語Ｉ春・日本語研究Ｉ春の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めること。

実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。		
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。		

授業計画		担当者
第１回	1．オリエンテーション	井上光惠
第２回	2．第１章（準備）-１　発音・文法	井上光惠
第３回	3．第１章（準備）-２　会話表現	井上光惠
第４回	4．第２章（問題のパターンに慣れる）-１発話表現　２即時応答	井上光惠
第５回	5．第２章（問題のパターンに慣れる）-３課題理解　４ポイント理解	井上光惠
第６回	6．第２章（問題のパターンに慣れる）-５概要理解	井上光惠
第７回	7．第３章（いろいろな場所で聞く）-１町で	井上光惠
第８回	8．第３章（いろいろな場所で聞く）-２天気予報・交通情報	井上光惠
第９回	9．第３章（いろいろな場所で聞く）-3学校で	井上光惠
第１０回	１０．第3章（いろいろな場所で聞く）-４職場で	井上光惠
第１１回	１１．第3章（いろいろな場所で聞く）-５病院・いろいろな店で	井上光惠
第１２回	１２．第4章（いろいろな内容を聞く）-１人や物のようす	井上光惠
第１３回	１３．第4章（いろいろな内容を聞く）-２場所・方向・位置	井上光惠
第１４回	１４．第4章（いろいろな内容を聞く）-３数・方向・計算	井上光惠
第１５回	１５．第4章（いろいろな内容を聞く）-４順序・比較	井上光惠
第１６回	１６．単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	日本語総まとめＮ３聴解	教・出版社名１	アスク
教・著者名１	佐々木仁子・松本紀子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-792-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	新完全マスター 語彙 Ｎ２	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	伊能裕晃　本田ゆかり　来栖里美	参・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-574-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語研究ＩＡ再履クラス３	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-009

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「聴解 」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの聴解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。聴解と併せて、言語知識（文字・語彙・文法など）も取り上げ、総合的な日本語能力向上を目指す。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験（５０％）、小テスト（３０％）、学習意欲・態度（２０％）によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。2年生以上の再履修生は、N2に合格するまで、2年次開講の日本語関連科目ⅡＩを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週火曜日3限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	雲津 英子
第２回	基礎編１～４	雲津 英子
第３回	基礎編５～７	雲津 英子
第４回	課題理解１～４	雲津 英子

第５回	Ｎ２対策問題（聴解）		雲津 英子
第６回	Ｎ２対策問題（聴解）の解説		雲津 英子
第７回	課題理解５～９		雲津 英子
第８回	課題理解10～13		雲津 英子
第９回	ポイント理解14～16		雲津 英子
第１０回	ポイント理解17～20		雲津 英子
第１１回	概要理解21～24		雲津 英子
第１２回	概要理解25～28		雲津 英子
第１３回	即時応答29～46		雲津 英子
第１４回	統合理解47～49		雲津 英子
第１５回	統合理解50～52		雲津 英子
第１６回	単位認定試験（聴解・筆記試験）		雲津 英子
教科書			
教・書籍名１	日本語能力試験Ｎ２聴解 必修パターン	教・出版社名１	Jリサーチ出版
教・著者名１	氏原 庸子　清島 千春　佐伯 玲子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-86392-360-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本語能力試験対策 日本語パワードリル N2文字・語彙	参・出版社名１	アスク出版
参・著者名１	松浦 真理子　鈴木 健司	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-768-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語研究ＩＡ再履クラス４			担当者	久保田　雅子		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-LJ-1-009		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語能力試験Ｎ２合格を目指し、このクラスは主に「聴解」を学ぶ。Ｎ３～Ｎ２レベルの聴解問題の出題の傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また中級レベルの日本語表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。
授業概要	日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの聴解問題の出題傾向を知り、練習問題を解きながら実践力を身につける。「聴解の教材」は生活の場面で、ひとりでも対応できる能力を身につけられるような内容を取り入れる。 第二、第三の言語としての日本語をより早く習得するために考察を自ら積極的に行い、他の学生と共有できるコミュニケーション能力を身につけられるよう参加型授業を行う。 また中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになることが目標である。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業評価は、講義内試験（４０％）、小テスト（２０％）、学習意欲・態度（４０％）によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。２年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、２年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プリント・課題についてのフィードバックは、おもに次回の授業で個別あるいは全体的に行う。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑤聴解の教材では、参考図書及びプリントを利用する。プリントを配布するので、初回から専用のファイル、ノートは持参すること。副教材については、３人の先生と共有して進める。これについても毎回持ってくること。 ⑥理由なく欠席が続く場合や、指示した課題を提出しない場合は受講を認めない場合があるので注意してほしい。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用することができる。
実務経験のある教員	該当する　内容　留学生への日本語教育
事前学習・事後学習とその時間	1) 語彙については毎回指定した範囲の小テストを行うので、その課の語彙を自主学習してくること。また定着できるような方法を考え、やってくること。授業でも取り上げるので、それぞれのアイデアを発表できるように準備して授業にのぞむこと。

	2) 聴解の学習方法については、授業でやり方を説明する。おもに発表する形で確認を行うが、短時間でも必ず練習してみること。 予習と復習におよそ２時間以上が望ましいが、時間が見つけて短時間でもやることが当面の目標である。授業前の時間など、活用できる時間を考えてみること。
オフィスアワー	教室・及びオープンスペースにて授業前・後に実施する。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション（授業の進め方について） 1. プリントの説明	久保田
第２回	1-1：イントネーションの違いを知る	久保田
第３回	1-2：はっきり言わない言い方	久保田
第４回	1-3：感謝・迷惑などの表現を知る	久保田
第５回	1-4：量や時間の印象を知る	久保田
第６回	1-5：予想・伝聞の表現を知る	久保田
第７回	1-6：意見を聞き取るときのキーワードを知る	久保田
第８回	2-1：話全体から話し手の意見・意図を聴き取るコツ１	久保田
第９回	2-1：話全体から話し手の意見・意図を聴き取るコツ２	久保田
第１０回	2-2: 次に何をするべきかを聴き取るコツ１	久保田
第１１回	2-２: 次に何をするべきかを聴き取るコツ２	久保田
第１２回	2-３：知りたいことを集中して聴くコツ１	久保田
第１３回	2-３：知りたいことを集中して聴くコツ２	久保田
第１４回	2-4：さまざまな情報を集めて理解するコツ１	久保田
第１５回	2-4 ：さまざまな情報を集めて理解するコツ2・総まとめ	久保田
第１６回		

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	新完全マスター語彙N2	教・出版社名2	スリーエーネットワーク
教・著者名2	伊能 裕晃	教・ＩＳＢＮ2	978-4883195749

参考書			
参・書籍名１	日本語能力試験対策　日本総まとめＮ２　聴解	参・出版社名１	978-4-87217-792-3
参・著者名１	佐々木仁子・松本紀子	参・ＩＳＢＮ１	アスク出版
参・書籍名２	短期マスター聴解ドリル２	参・出版社名2	凡人社
参・著者名2	浅野陽子・他著	参・ＩＳＢＮ2	978-4-89358-857-9

授業科目名	日本語研究ＩＢ（1クラス）				担当者	井上　光惠		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年				ナンバリング	GE-LJ-1-010		
必修・選択	必修	単位数	2単位		時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期		曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話 す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、大学での学びが充実したものになることである。
授業概要	日本語能力試験Ｎ２合格を目指し、読解を中心に学ぶ。Ｎ２レベルの読解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また中級レベルの日本語表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。　ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試 験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。Ｎ２に合格してはじ めて日本語関連科目Ⅱを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①毎回「音声の聞き分け」の小テストを行い、フィードバックをする。 ②Ｎ２レベル「文法」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックを行う。
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベル以上の日本語能力は必須であり、N2をまだ取っていない学生は、原則として本科目履修中に、Ｎ２試験に合格しなければならない。 　Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２レベルを強化する学習を継続しなければならない。また、Ｎ２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語Ｉ春・応用日本語Ｉ春・日本語研究Ｉ春の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目Ⅱの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めること。

実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。		
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。		

	授業計画	担当者
第１回	1．オリエンテーション	井上光惠
第２回	２．第１章（準備）-１　発音・文法	井上光惠
第３回	３．第１章（準備）-２　会話表現	井上光惠
第４回	４．第２章（問題のパターンに慣れる）-１発話表現　２即時応答	井上光惠
第５回	５．第２章（問題のパターンに慣れる）-３課題理解　４ポイント理解	井上光惠
第６回	６．第２章（問題のパターンに慣れる）-５概要理解	井上光惠
第７回	７．第３章（いろいろな場所で聞く）-１町で	井上光惠
第８回	８．第３章（いろいろな場所で聞く）-２天気予報・交通情報	井上光惠
第９回	９．第３章（いろいろな場所で聞く）-3学校で	井上光惠
第１０回	１０．第3章（いろいろな場所で聞く）-４職場で	井上光惠
第１１回	１１．第3章（いろいろな場所で聞く）-５病院・いろいろな店で	井上光惠
第１２回	１２．第4章（いろいろな内容を聞く）-１人や物のようす	井上光惠
第１３回	１３．第4章（いろいろな内容を聞く）-２場所・方向・位置	井上光惠
第１４回	１４．第4章（いろいろな内容を聞く）-３数・方向・計算	井上光惠
第１５回	１５．第4章（いろいろな内容を聞く）-４順序・比較	井上光惠
第１６回	１６．単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	日本語総まとめＮ３聴解	教・出版社名１	アスク
教・著者名１	佐々木仁子・松本紀子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-792-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	新完全マスター 語彙 Ｎ２	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	伊能裕晃　本田ゆかり　来栖里美	参・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-574-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語研究ＩＢ（2クラス）	担当者	久保田　雅子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-010

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することを目指す。 まずは基本的な文法・語彙・聴解の運用力を中心に身につける。最終の目標は日本語能力試験Ｎ２相当の実力を身につけることである。
授業概要	中級レベルの日本語能力を短期間で集中的に学習できるよう日本語関連科目Ｉの3科目（日本語ＩＢ、応用日本語ＩＢ 、日本語研究ＩＢ）で共通の教科書を使用し、教員間が連携して授業を進める。基本的な文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。授業では、基礎的な文法・語彙の運用力、聴解の力を伸ばすことを中心に行う。N2合格への橋渡しとなる科目である。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業評価は、試験（５０％）、小テスト及び課題提出(３０％)、学習意欲・態度(２０％)で評価する。この授業では、基礎の文法・語彙・聴解を中心に扱う。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プリント・課題についてのフィードバックは、おもに次回の授業で個別あるいは全体的に行う。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～3クラスに編成される。 ②日本語Ｉ・応用日本語Ｉ・日本語研究Ｉの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。(社会情勢に応じてＪＬＰＴの試験に代わる措置の学内テストを行う場合もある。) ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 また、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用することもできる。
実務経験のある教員	該当する　内容　日本語教育
事前学習・事後学習とその時間	１）事前に課題を出し、それについての発表を行いながら授業を進める。参加型学習法により授業を行うので、予習が必須である。２）指示に従って必ずノートを作成し復習も行うこと。授業で使用したプリントについても管理できるようにノートへの添付あるいはファイルが必要になる。 予習と復習に２時間以上は必要である。
オフィスアワー	授業前、終了後、休憩時間

授業計画	担当者

第１回	1.オリエンテーション（授業の進め方について） 第２４課　文法１	久保田
第２回	2. 第２４課　文法２及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第３回	3. 第２７課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第４回	4. 第２７課　文法2 及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第５回	５. 第30課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第６回	6. 第30課　文法2 及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第７回	７. 第33課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第８回	8. 第33課　文法２及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第９回	９. 第３６課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１０回	10. 第３６課　文法2及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１１回	10. 第３９課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１２回	12. 第３９課　文法2及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１３回	13. 第41課　文法１及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１４回	14. 第41課　文法2及び演習（副教材ドリル＆ドリル、プリント）	久保田
第１５回	総まとめ	久保田
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	日本語初級2・大地　メインテキスト	教・出版社名１	スリーエーネットワーク
教・著者名１	山崎桂子・佐々木薫・高橋美和子	教・ＩＳＢＮ１	978-4883195077
教・書籍名２	ドリル＆ドリル 日本語能力試験（文字・語彙）	教・出版社名2	株式会社ユニコム
教・著者名2	星野　恵子・辻和子	教・ＩＳＢＮ2	978-4-89689-487-5

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語研究ＩＢ再履クラス１	担当者	磯　永二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-010

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生はこの科目を学修することにより、初級レベルの日本語力を確実なものにし、そのうえで、日本語能力試験Ｎ２レベルの聴解能力を身につけていく。そのことが本学の授業に対する理解力の向上だけでなく、様々な教育活動への理解や参加の促進、日本人学生との交流や地域理解の推進にもつながる。そのようにして、日本に対する理解を深め、日本における実りある学生生活を送ることができるようになる。
授業概要	本授業は聴解を中心としており、日本語能力試験Ｎ２レベルの聴解能力獲得を目指している。日本語を聞いて理解するには、そのリズムやスピードに慣れることはもちろんだが、理解に必要な語彙力や文法的な知識も必要である。そこで日本語を単に聞くだけでなく、そこで使われている文字・語彙、文法について学ぶ。そのために必要に応じて課題を課したり小テストを実施する。さらには、日本語理解につながる日本の気候や風土、日常生活で使われる言葉、挨拶、応答などを折に触れて取り上げていく。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 単位認定試験、小テストには聴解のみならず、文法、文字・語彙の分野からも出題する。 課題に対する取り組み、授業中の態度も評価の対象となるので、1時間1時間の授業を大切にしてほしい。 最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。 ２年生以上の再履修生は、Ｎ２の合格するまで、２年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題として課したものを小テストや単位認定試験で出題する。 小テストについては授業で解説し、いくつかは単位認定試験にも出題する。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で 　一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更してはならない。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること ②　日本語ＩＢ/日本語ＩＢ（文法）、応用日本語ＩＢ/日本語ＩＢ（読解）、日本語研究ＩＢ/日本語ＩＢ（聴解）の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 　なお、授業以外にも、様々な機会をうまく使って実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	日本語の修得には多くの時間が必要であるし、反復も必要である。授業前には授業内容を予習し、疑問点などは整理しておく。

	授業後は必ず復習し知識の定着を図る。また、自分でＪＬＰＴ対策の問題演習に取り組むなど積極的な態度が必要。 予習・復習にはそれぞれ２時間以上の学習が必要。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間に教室、講師控室にて

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション、プロフィール作成、文法、文字・語彙確認演習	磯
第２回	文法確認演習、聴解テキスト学習　第１章１	磯
第３回	聴解テキスト学習　第１章２，３	磯
第４回	聴解テキスト学習　第１章４，５	磯
第５回	聴解テキスト学習　第２章１，２	磯
第６回	聴解テキスト学習　第２章３，４	磯
第７回	聴解テキスト学習　第２章５，６，７	磯
第８回	第２回～第７回授業内容総括演習	磯
第９回	第２回～第７回授業内容総括演習の解説、復習演習	磯
第１０回	聴解テキスト学習　第３章１，２	磯
第１１回	聴解テキスト学習　第３章３，４	磯
第１２回	聴解テキスト学習　第３章５　第４章１	磯
第１３回	聴解テキスト学習　第４章２，３	磯
第１４回	聴解テキスト学習　第４章４，５	磯
第１５回	聴解テキスト学習　第５章	磯
第１６回	単位認定試験	磯

教科書			
教・書籍名１	日本語能力試験　日本語総まとめＮ２　聴解	教・出版社名１	アスク出版
教・著者名１	佐々木仁子、松本紀子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-792-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語研究ＩＢ再履クラス２	担当者	井上　光惠
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-010

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法・語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話 す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、大学での学びが充実したものになることである。
授業概要	この講義は「聴解」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの聴解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。練習の過程では、基礎固めとしてN3レベルの問題も練習する。また関連する言語知識や文法などもとりあげ、総合的な日本語能力向上を目指す。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。　ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試 験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。Ｎ２に合格してはじ めて日本語関連科目IIを履修することができる。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	①毎回「音声の聞き分け」の小テストを行い、フィードバックをする。 ②Ｎ２レベル「文法」の問題集を15回に分け毎回の課題とし、翌週小テストを行いフェードバックを行う。
履修条件・注意事項	これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベル以上の日本語能力は必須であり、N2をまだ取っていない学生は、原則として本科目履修中に、Ｎ２試験に合格しなければならない。 　Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２レベルを強化する学習を継続しなければならない。また、Ｎ２に合格し、日本語関連科目Ｉが単位認定済みになった時点で、２年次開講の日本語関連科目IIを履修することができる。 履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①　履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②　日本語Ｉ春・応用日本語Ｉ春・日本語研究Ｉ春の３科目ともに同クラスで受講すること。 ③　本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④　２年次開講日本語関連科目IIの履修は、日本語関連科目Ｉが単位認定済みであることが条件となるので注意すること。 ⑤　日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めること。

実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に予習・復習など自主学習を行うこと。毎週の授業内容を事前に２時間以上の予習と、また授業後は、授業内容の見直し、課題などを含む２時間以上の復習に努めること。		
オフィスアワー	授業が終わった後、休み時間に質問に答えます。		

授業計画		担当者
第１回	1．オリエンテーション	井上光惠
第２回	2．第１章（準備）-１　発音・文法	井上光惠
第３回	3．第１章（準備）-２　会話表現	井上光惠
第４回	4．第２章（問題のパターンに慣れる）-１発話表現　２即時応答	井上光惠
第５回	5．第２章（問題のパターンに慣れる）-３課題理解　４ポイント理解	井上光惠
第６回	6．第２章（問題のパターンに慣れる）-５概要理解	井上光惠
第７回	7．第３章（いろいろな場所で聞く）-１町で	井上光惠
第８回	8．第３章（いろいろな場所で聞く）-２天気予報・交通情報	井上光惠
第９回	9．第３章（いろいろな場所で聞く）-3学校で	井上光惠
第１０回	１０．第3章（いろいろな場所で聞く）-４職場で	井上光惠
第１１回	１１．第3章（いろいろな場所で聞く）-５病院・いろいろな店で	井上光惠
第１２回	１２．第4章（いろいろな内容を聞く）-１人や物のようす	井上光惠
第１３回	１３．第4章（いろいろな内容を聞く）-２場所・方向・位置	井上光惠
第１４回	１４．第4章（いろいろな内容を聞く）-３数・方向・計算	井上光惠
第１５回	１５．第4章（いろいろな内容を聞く）-４順序・比較	井上光惠
第１６回	１６．単位認定試験	井上光惠

教科書			
教・書籍名１	日本語総まとめＮ３聴解	教・出版社名１	アスク
教・著者名１	佐々木仁子・松本紀子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-792-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	新完全マスター 語彙 Ｎ２	参・出版社名１	スリーエーネットワーク
参・著者名１	伊能裕晃　本田ゆかり　来栖里美	参・ＩＳＢＮ１	978-4-88319-574-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語研究ＩＢ再履クラス３	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-LJ-1-010

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語中級レベルの文法、語彙、読解、聴解の能力の養成を図る。学生は、他の日本語関連科目Ｉと併せて、中級レベルの「話す」・「読む」・「聞く」・「書く」の４技能を習得することができる。 到達目標は日本語能力試験Ｎ２の実力を身につけ、円滑に専門的な大学教育の導入に不可欠な日本語が使えるようになることである。
授業概要	この講義は「聴解 」を中心に学習を進める。学生は日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの聴解の出題傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を身につける。聴解と併せて、言語知識（文字・語彙・文法など）も取り上げ、総合的な日本語能力向上を目指す。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	授業評価は、単位認定試験（５０％）、小テスト（３０％）、学習意欲・態度（２０％）によって総合的に評価する。 ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 これから始まる大学教育を円滑に進めるためにも、Ｎ２レベルの日本語能力は必須であり、学生は、原則として本科目履修中に、日本語能力試験Ｎ２に合格しなければならない。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。2年生以上の再履修生は、N2に合格するまで、2年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＢ・応用日本語ＩＢ・日本語研究ＩＢの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用しながら実力の涵養に努めてほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容	
事前学習・事後学習とその時間	より円滑に日本語能力が習得できるよう、積極的に自主学習を行うこと。授業前には、毎週の授業内容を予習し、授業後は授業内容の見直しや課題（Ｎ２対策を含む）に取り組むこと。２時間以上の予習と復習に努めること。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週水曜日5限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	雲津 英子
第２回	基礎編１～４	雲津 英子
第３回	基礎編５～７	雲津 英子
第４回	課題理解１～４	雲津 英子

第５回	Ｎ２対策問題（聴解）		雲津 英子
第６回	Ｎ２対策問題（聴解）の解説		雲津 英子
第７回	課題理解５～９		雲津 英子
第８回	課題理解10～13		雲津 英子
第９回	ポイント理解14～16		雲津 英子
第１０回	ポイント理解17～20		雲津 英子
第１１回	概要理解21～24		雲津 英子
第１２回	概要理解25～28		雲津 英子
第１３回	即時応答29～46		雲津 英子
第１４回	統合理解47～49		雲津 英子
第１５回	統合理解50～52		雲津 英子
第１６回	単位認定試験（聴解・筆記試験）		雲津 英子
教科書			
教・書籍名１	日本語能力試験Ｎ２聴解 必修パターン	教・出版社名１	Jリサーチ出版
教・著者名１	氏原 庸子　清島 千春　佐伯 玲子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-86392-360-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本語能力試験対策 日本語パワードリル N2文字・語彙	参・出版社名１	アスク出版
参・著者名１	松浦 真理子　鈴木 健司	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-768-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語研究ＩＢ再履クラス４				担当者	久保田　雅子		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 学部生その他1年				ナンバリング	GE-LJ-1-010		
必修・選択	必修	単位数	2単位		時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期		曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	日本語能力試験Ｎ２合格を目指し、このクラスは主に「聴解」を学ぶ。Ｎ３～Ｎ２レベルの聴解問題の出題の傾向を知り、練習問題を解きながら、実践力を養う。また中級レベルの日本語表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるコミュニケーション力を身につける。
授業概要	日本語能力試験Ｎ２合格を目指して、Ｎ２レベルの聴解問題の出題傾向を知り、練習問題を解きながら実践力を身につける。「聴解の教材」は生活の場面で、ひとりでも対応できる能力を身につけられるような内容を取り入れる。 第二、第三の言語としての日本語をより早く習得するために考察を自ら積極的に行い、他の学生と共有できるコミュニケーション能力を身につけられるよう参加型授業を行う。 また中級レベルの文章表現を学び、事物・事象を説明したり、自分の意見を述べたりできるようになることが目標である。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業評価は、講義内試験（４０％）、小テスト（２０％）、学習意欲・態度（４０％）によって総合的に評価する。ただし、最終的な単位認定は日本語能力試験Ｎ２の合否結果を加味した上で行われる。 Ｎ２を取得していない学生は、次年度、同科目を再履修し、引き続きＮ２の学習を継続しなければならない。２年生以上の再履修生は、Ｎ２に合格するまで、２年次開講の日本語関連科目Ⅱを履修することはできない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プリント・課題についてのフィードバックは、おもに次回の授業で個別あるいは全体的に行う。
履修条件・注意事項	履修上の条件・注意点は以下の通りである。 ①履修前に必ずプレイスメントテストを受験すること。プレイスメントテストは半期毎に実施され、クラスは習熟度別に再履修１～３クラスに編成される。履修登録は教務課で一括登録する。登録されたクラスを勝手に変更しないこと。間違ったクラスの授業に出席しても単位取得できないので注意すること。 ②日本語ＩＡ・応用日本語ＩＡ・日本語研究ＩＡの３科目ともに同クラスで受講すること。 ③本科目の受講中にＮ２を取得しなければ、単位認定できないので履修期間中に受験し、Ｎ２に合格すること。 ④日本語能力試験Ｎ１の取得者でプレイスメントテストにて日本語関連科目の履修を免除された学生は、日本人学生と同様に、外国語科目を履修しなければならない。 ⑤聴解の教材では、参考図書及びプリントを利用する。プリントを配布するので、初回から専用のファイル、ノートは持参すること。副教材については、３人の先生と共有して進める。これについても毎回持ってくること。 ⑥理由なく欠席が続く場合や、指示した課題を提出しない場合は受講を認めない場合があるので注意してほしい。 なお、授業以外にも、ラーニングサポートセンターでＮ２対策講座を開講しているので、活用することができる。
実務経験のある教員	該当する　内容　留学生への日本語教育
事前学習・事後学習とその時間	1) 語彙については毎回指定した範囲の小テストを行うので、その課の語彙を自主学習してくること。また定着できるような方法を考え、やってくること。授業でも取り上げるので、それぞれのアイデアを発表できるように準備して授業にのぞむこと。

	2) 聴解の学習方法については、授業でやり方を説明する。おもに発表する形で確認を行うが、短時間でも必ず練習してみること。 予習と復習におよそ２時間以上が望ましいが、時間が見つけて短時間でもやることが当面の目標である。授業前の時間など、活用できる時間を考えてみること。
オフィスアワー	教室・及びオープンスペースにて授業前・後に実施する。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション（授業の進め方について） 1. プリントの説明	久保田
第２回	1-1：イントネーションの違いを知る	久保田
第３回	1-2：はっきり言わない言い方	久保田
第４回	1-3：感謝・迷惑などの表現を知る	久保田
第５回	1-4：量や時間の印象を知る	久保田
第６回	1-5：予想・伝聞の表現を知る	久保田
第７回	1-6：意見を聞き取るときのキーワードを知る	久保田
第８回	2-1：話全体から話し手の意見・意図を聴き取るコツ１	久保田
第９回	2-1：話全体から話し手の意見・意図を聴き取るコツ２	久保田
第１０回	2-2: 次に何をするべきかを聴き取るコツ１	久保田
第１１回	2-２: 次に何をするべきかを聴き取るコツ２	久保田
第１２回	2-３：知りたいことを集中して聴くコツ１	久保田
第１３回	2-３：知りたいことを集中して聴くコツ２	久保田
第１４回	2-4：さまざまな情報を集めて理解するコツ１	久保田
第１５回	2-4 ：さまざまな情報を集めて理解するコツ2・総まとめ	久保田
第１６回		

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	新完全マスター語彙N2	教・出版社名2	スリーエーネットワーク
教・著者名2	伊能 裕晃	教・ＩＳＢＮ2	978-4883195749

参考書			
参・書籍名１	日本語能力試験対策　日本総まとめＮ２　聴解	参・出版社名１	978-4-87217-792-3
参・著者名１	佐々木仁子・松本紀子	参・ＩＳＢＮ１	アスク出版
参・書籍名２	短期マスター聴解ドリル２	参・出版社名2	凡人社
参・著者名2	浅野陽子・他著	参・ＩＳＢＮ2	978-4-89358-857-9

授業科目名	日本語研究ⅡＡ１・２クラス	担当者	磯　永二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LJ-2-011

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生はこの科目を学修することにより、日本語能力試験Ｎ１レベルの聴解能力を身につけていく。それにとどまらず、「読む」「書く」「話す」能力の向上もめざす。総合的な日本語力の向上は、本学の授業に対する理解力の向上だけでなく、様々な教育活動への理解や参加の促進、日本人学生との交流や地域理解の推進にもつながる。そのようにして、日本に対する理解が深化し、日本における実りある学生生活を送ることができるようになる。
授業概要	本授業は聴解を中心としており、日本語能力試験Ｎ１レベルの聴解能力獲得を目指している。そのためには日本語を反復して聞いて、そのリズムやスピードに慣れることはもちろんだが、理解に必要な語彙力や文法的な知識も必要である。そこで日本語を単に聞くだけでなく、そこで使われている文字・語彙、文法について学ぶ。そのために必要に応じて課題を課したり小テストを実施する。さらには、日本語理解につながる日本の気候や風土、日常生活で使われる言葉、挨拶、応答などを折に触れて取り上げていき、充実した学生生活を送れるようにする。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 単位認定試験、小テストには聴解のみならず、文法、文字・語彙の分野からも出題する。 課題に対する取り組み、授業中の態度も評価の対象となるので、1時間1時間の授業を大切にしてほしい。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題として課したものを小テストや単位認定試験で出題する。 小テストについては授業で解説し、いくつかは単位認定試験にも出題する。
履修条件・注意事項	日本語能力試験Ｎ２合格が条件である。 Ｎ２を取得していない学生は履修することはできない。 Ｎ２レベルに満足するのでなく、さらにＮ１レベルを目指して意欲的に受講してもらいたい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	高いレベルの日本語の修得には多くの時間が必要であるし、反復も必要である。授業前には授業内容を予習し、疑問点などは整理しておく。 授業後は必ず復習し知識の定着を図る。また、自分でＪＬＰＴ対策の問題演習に取り組むなど積極的な態度が必要。 予習・復習にはそれぞれ２時間以上の学習が必要。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間に教室、講師控室にて

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、Ｎ３、Ｎ２レベル文法、文字・語彙確認演習	磯
第２回	聴解テキスト学習　課題理解①　練習問題１～５	磯
第３回	聴解テキスト学習　課題理解②　練習問題６～12　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習①	磯
第４回	聴解テキスト学習　ポイント理解①　練習問題１～６	磯
第５回	聴解テキスト学習　ポイント理解②　練習問題７～14　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習②	磯
第６回	聴解テキスト学習　概要理解①　練習問題１～６	磯
第７回	聴解テキスト学習　概要理解②　練習問題７～12　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習③	磯
第８回	第２回～第７回授業内容総括演習	磯

第９回	第２回～第７回授業内容総括演習解説、補充演習		磯
第１０回	聴解テキスト学習　即時応答①　敬語表現、文末否定、慣用表現		磯
第１１回	聴解テキスト学習　即時応答②　練習問題１～８　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習④		磯
第１２回	聴解テキスト学習　即時応答③　練習問題９～20　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習⑤		磯
第１３回	聴解テキスト学習　即時応答④　練習問題21～30　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習⑥		磯
第１４回	聴解テキスト学習　統合理解①　統合理解とは　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習⑦		磯
第１５回	聴解テキスト学習　統合理解②　練習問題１～６		磯
第１６回	単位認定試験		磯
教科書			
教・書籍名１	絶対合格！日本語能力試験　徹底トレーニングＮ１　聴解	教・出版社名１	アスク出版
教・著者名１	松岡龍美	教・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-776-3
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本語研究ⅡB	担当者	磯　永二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社2年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化2年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	GE-LJ-2-012

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生はこの科目を学修することにより、日本語能力試験Ｎ１レベルの聴解能力を身につけていく。それにとどまらず、「読む」「書く」「話す」能力の向上もめざす。総合的な日本語力の向上は、本学の授業に対する理解力の向上だけでなく、様々な教育活動への理解や参加の促進、日本人学生との交流や地域理解の推進にもつながる。そのようにして、日本に対する理解が深化し、日本における実りある学生生活を送ることができるようになる。
授業概要	本授業は聴解を中心としており、日本語能力試験Ｎ１レベルの聴解能力獲得を目指している。そのためには日本語を反復して聞いて、そのリズムやスピードに慣れることはもちろんだが、理解に必要な語彙力や文法的な知識も必要である。そこで日本語を単に聞くだけでなく、そこで使われている文字・語彙、文法について学ぶ。そのために必要に応じて課題を課したり小テストを実施する。さらには、日本語理解につながる日本の気候や風土、日常生活で使われる言葉、挨拶、応答などを折に触れて取り上げていき、充実した学生生活を送れるようにする。
アクティブラーニングの内容	PBL
評価方法と割合	単位認定試験 (50%)、小テスト(30%)、学習意欲・態度(20%)によって総合的に評価する。 単位認定試験、小テストには聴解のみならず、文法、文字・語彙の分野からも出題する。 課題に対する取り組み、授業中の態度も評価の対象となるので、1時間1時間の授業を大切にしてほしい。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題として課したものを小テストや単位認定試験で出題する。 小テストについては授業で解説し、いくつかは単位認定試験にも出題する。
履修条件・注意事項	日本語能力試験Ｎ２合格が条件である。 Ｎ２を取得していない学生は履修することはできない。 Ｎ２レベルに満足するのでなく、さらにＮ１レベルを目指して意欲的に受講してもらいたい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	高いレベルの日本語の修得には多くの時間が必要であるし、反復も必要である。授業前には授業内容を予習し、疑問点などは整理しておく。 授業後は必ず復習し知識の定着を図る。また、自分でＪＬＰＴ対策の問題演習に取り組むなど積極的な態度が必要。 予習・復習には２時間以上の学習が必要。
オフィスアワー	授業終了後、休憩時間に教室、講師控室にて

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、Ｎ３、Ｎ２レベル文法確認演習	磯
第２回	Ｎ３、Ｎ２レベル文字・語彙確認演習　　聴解テキスト学習①　第１章１	磯
第３回	聴解テキスト学習②　第１章２，３	磯
第４回	聴解テキスト学習③　第１章４，５　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習①	磯
第５回	聴解テキスト学習④　第２章１，２　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習②	磯
第６回	聴解テキスト学習⑤　第２章３，４　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習③	磯
第７回	聴解テキスト学習⑥　第２章5，６，７	磯
第８回	第２回～第７回授業内容総括演習	磯

第９回	第２回～第７回授業内容総括演習解説、補充演習		磯
第１０回	聴解テキスト学習⑦　第３章１，２　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習④		磯
第１１回	聴解テキスト学習⑧　第３章３，４　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習⑤		磯
第１２回	聴解テキスト学習⑨　第３章５　第４章１　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習⑤		磯
第１３回	聴解テキスト学習⑩　第４章２，３　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習⑦		磯
第１４回	聴解テキスト学習⑪　第４章４，５　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習⑧		磯
第１５回	聴解テキスト学習⑫　第５章　　Ｎ２、Ｎ１レベル文字・語彙演習⑨		磯
第１６回	単位認定試験		磯
教科書			
教・書籍名１	日本語能力試験対策　日本語総まとめＮ１　聴解	教・出版社名１	アスク出版
教・著者名１	佐々木仁子、松本紀子	教・ＩＳＢＮ１	978-4-87217-791-6
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文章表現入門	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CH-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。 大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。 本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。
授業概要	講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の６つ領域で構成している。 学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一歩一歩着実に高めていくことができる。 毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。 さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（70%）、授業態度（15%）、小テスト・復習テスト（15%）によって総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のＮ２（２級）以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が，小論文指導（表記法、文章表現等の指導）の経験を活かし，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週火曜日3限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	「日本語検定３級」に挑戦	雲津 英子
第２回	はじめに	雲津 英子
第３回	敬語の種類と使い分け	雲津 英子
第４回	注意すべき敬語	雲津 英子
第５回	配慮を示す言葉	雲津 英子
第６回	品詞・活用の種類	雲津 英子

第７回	ら抜き言葉・さ入れ言葉	雲津 英子	
第８回	文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文	雲津 英子	
第９回	接続後・指示語と文章	雲津 英子	
第１０回	類義語・対義語	雲津 英子	
第１１回	動詞の自他・視点	雲津 英子	
第１２回	文体、話し言葉・書き言葉	雲津 英子	
第１３回	コロケーション	雲津 英子	
第１４回	部首・音訓・熟語	雲津 英子	
第１５回	仮名遣い・送り仮名	雲津 英子	
第１６回	単位認定試験（筆記試験）	雲津 英子	
教科書			
教・書籍名１	スキルアップ！ 日本語力―大学生のための日本語練習帳―	教・出版社名１	東京書籍
教・著者名１	名古屋大学日本語研究会ＧＫ７	教・ＩＳＢＮ１	978-4-487-80364-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文章表現入門	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CH-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	本講義のテーマは、大学生、あるいは社会人として必要な日本語の基本的な運用能力の獲得である。 大学生活では、高度な授業内容を理解し、専門書を読み、発表資料・レポート作成を行い、それを発表する能力が必要となる。 本講義では、そのために必要な日本語力の養成をめざし、学生が、日本語の円滑な運用に必要な重点項目を毎回順番に学修することにより、確実な日本語力を身につけることを到達目標とする。また、「日本語検定」を紹介し、受検に対しての指導も行う。
授業概要	講義内容は、「敬語」、「文法」、「語彙」、「言葉の意味」、「漢字」、「表記」の６つ領域で構成している。 学生はこれらを順番に学んでいくことにより、日本語の運用能力を一歩一歩着実に高めていくことができる。 毎回の講義では、小テスト及び復習テストを実施し、学修内容の定着状況を学生自身が確認することでさらなる日本語力向上をめざす。 さらに「日本語検定」への挑戦は、学生自身の今の日本語力を振り返るきっかけになるとともに、今後の日本語学修の目標にもなる。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	単位認定試験（70%）、授業態度（15%）、小テスト・復習テスト（15%）によって総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト・復習テストは、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	留学生の受講は可能であるが、「日本語能力試験」のＮ２（２級）以上の実力がなければ、講義内容の理解は難しい。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は，高等学校において進路指導助手としての実務経験を持つ教員が，小論文指導（表記法、文章表現等の指導）の経験を活かし，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の講義で小テスト及び復習テストを実施するため、予習・復習をして講義に臨むことが必要である。予習および復習は、各2時間程度行うこと。 日本語力の向上には、今の自分の日本語力に対しての気づきと、日々の意識的な努力が必要とされるため、講義以外での学修時間も重要である。 「日本語検定」の受検を目標にして学修に取り組むことが望ましい。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週水曜日5限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	「日本語検定３級」に挑戦	雲津 英子
第２回	はじめに	雲津 英子
第３回	敬語の種類と使い分け	雲津 英子
第４回	注意すべき敬語	雲津 英子
第５回	配慮を示す言葉	雲津 英子
第６回	品詞・活用の種類	雲津 英子

第７回	ら抜き言葉・さ入れ言葉	雲津 英子	
第８回	文のねじれと言葉の係り受け・あいまい文	雲津 英子	
第９回	接続後・指示語と文章	雲津 英子	
第１０回	類義語・対義語	雲津 英子	
第１１回	動詞の自他・視点	雲津 英子	
第１２回	文体、話し言葉・書き言葉	雲津 英子	
第１３回	コロケーション	雲津 英子	
第１４回	部首・音訓・熟語	雲津 英子	
第１５回	仮名遣い・送り仮名	雲津 英子	
第１６回	単位認定試験（筆記試験）	雲津 英子	
教科書			
教・書籍名１	スキルアップ！ 日本語力―大学生のための日本語練習帳―	教・出版社名１	東京書籍
教・著者名１	名古屋大学日本語研究会ＧＫ７	教・ＩＳＢＮ１	978-4-487-80364-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	文学への招待	担当者	雲津　英子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CH-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	本講義のテーマは、詩・俳句・短歌・小説等の文学作品を読み鑑賞することを通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、学生が自分自身の生き方を多様で豊かなものにしていくことである。 学生が、その過程において、文学に使われている語彙や巧みな言語表現、文学作品にみられる豊かな構想力を自己のものにし、自己の言語表現能力の向上をめざすとともに、文学作品の鑑賞を通して自分自身の生き方を豊かなものにしようとする態度を身につけることを到達目標とする。
授業概要	詩・俳句・短歌・小説等の文学作品について、それぞれの作者や作品を生み出した歴史的背景、あるいは文化的背景に触れ、文学の発達のあらましやそれぞれの時代における文学の特質を学ぶ。また、文学作品を読み、印象に残った作家や作品について調べ発表したり、討論を行う。このような学修活動を通して、作者が描いた人間の生き方を間接的に経験し、自分自身の生き方を豊かなものにするとともに、文学作品を読み、鑑賞することの意義を理解する。さらに、学生の図書館活用能力の向上のため、図書館の活用方法についての学修を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	レポート試験・受講態度などによって総合的に評価する。 レポート試験（70%）、発表・討論への参加（15%）、受講態度（15%）
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した課題（提出物・レポート）は、授業でフィードバックするので見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	必要に応じてプリントを配布するため、ファイルを用意すること。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は，大学図書館職員としての実務経験を持つ教員が，その経験を活かし，図書館の利用方法など，学生の読書活動，論文・レポート作成に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	大学図書館・県立図書館・市立図書館などで本を借りて、自宅においても積極的に読書をし、講義に臨むこと。 復習を行い、講義内容を十分に理解した上で、次回の講義を受講すること。予習および復習は、各2時間程度行うこと。
オフィスアワー	10号館3階の個人研究室（10306）において、毎週火曜日3限、金曜2限をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	文学とはなにか	雲津 英子
第２回	図書館活用方法の理解	雲津 英子
第３回	図書館活用の実践	雲津 英子
第４回	日本文学史（１）-上代文学	雲津 英子
第５回	日本文学史（２）-中古文学	雲津 英子
第６回	日本文学史（３）-中世文学	雲津 英子
第７回	日本文学史（４）-近世文学	雲津 英子

第８回	日本文学史（５）-近代文学		雲津 英子
第９回	日本文学史（６）-現代文学		雲津 英子
第１０回	夏目漱石・森鴎外・泉鏡花の作品（討論）		雲津 英子
第１１回	芥川龍之介の作品（討論）		雲津 英子
第１２回	宮沢賢治の作品（討論）		雲津 英子
第１３回	小林多喜二・太宰治の作品		雲津 英子
第１４回	詩・俳句・短歌（討論）		雲津 英子
第１５回	まとめ		雲津 英子
第１６回	単位認定試験（レポート試験）		雲津 英子
教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本文学概論	参・出版社名１	財団法人　放送大学教育振興会
参・著者名１	島内裕子	参・ＩＳＢＮ１	978-4-595-31342-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	美術の見方	担当者	前嶋　英輝
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CH-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は、「自分なりの美術の見方を確立する」ことをテーマとして、美術作品について広い知識を持ち、自分の言葉で語ることができる能力を身につける。美術作品の「見方」の２つの可能性を考えてみる。１つめは、美術作品について客観的に知識として学習する見方であり、２つ目は、主観的に興味を持ち疑問を投げかけてみるような見方である。前者にはある程度の答えがあり、後者には答えは無い。この授業では、２つの見方を組み合わせて対話型鑑賞を行う。学生は、美術の見方を考えることで、自分の美術の見方ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	毎回映像資料による対話型鑑賞を行う。毎回、先行研究として示されている各時代の作品の属性や意味、時代背景などについて学問的な検討を行う。　鑑賞の仕方を学ぶことが目的であるから、とにかく多くの美術作品にふれ、授業で紹介される作品について、自分なりに調べてみることが大切である。自分で考えた疑問などについて、授業内の対話や毎回の小レポートの中で深める事が大切である。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート（６0点）、 到達目標達成度を見る期末試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎回の小レポートについては、代表的なものを次回取り挙げてコメントしディスカッションの題材とすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、美術作品について興味を持ち検索などで予習を行うことが必要である。また積極的に討論に参加するためにノートなどをもとに復習を行うことが重要である。対話型鑑賞では、自分の視点で意見を述べることが重要である。できれば自主的に美術館を訪れることを薦める。期末試験では、到達目標の理解度を見るため十分な復習が必 要である。 初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。 中学校・高等学校での美術科教員および短期大学での美術担当教員、全国公募展審査員、彫刻家
事前学習・事後学習とその時間	美術に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。　1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	対話型鑑賞と美術の見方	前嶋英輝

第２回	世界の美術館散歩	前嶋英輝
第３回	美術教育と人間形成・現代美術	前嶋英輝
第４回	古代オリエント	前嶋英輝
第５回	ギリシャ・ローマ・中世	前嶋英輝
第６回	ルネサンス・バロック・ロココ	前嶋英輝
第７回	新古典主義・印象派	前嶋英輝
第８回	後期印象派以降・セザンヌとキュービズム	前嶋英輝
第９回	インド美術とイスラム美術・東南アジアの美術	前嶋英輝
第１０回	仏教美術の誕生とシルクロードの美術	前嶋英輝
第１１回	飛鳥～平安・韓国美術の影響	前嶋英輝
第１２回	鎌倉～室町・仏教彫刻・絵巻物・水墨画	前嶋英輝
第１３回	安土桃山・障屏画	前嶋英輝
第１４回	江戸・浮世絵・町人の美術	前嶋英輝
第１５回	明治以降の美術・西洋美術の影響	前嶋英輝
第１６回	単位認定試験	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	テキスト名：絵画をいかに味わうか	参・出版社名１	平凡社
参・著者名１	著者：ヴィクトル・I・ストイキツァ	参・ＩＳＢＮ１	978-4582206371
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生涯スポーツ論 経社・心理・子ども・アニメ	担当者	羽野　真哉
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CH-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：年齢に応じたスポーツとの関わり方について理解する。 到達目標：学生が年齢に応じた「スポーツ」に参加することの意味を理解し、グループワークやディスカッションすることによって自らの言葉で伝えられるようになる。
授業概要	少子高齢社会を生きる現代人にとって「健康」がもつ意味は多様化していることを踏まえ、「スポーツ」が果たす役割に着目し、「健康づくり」「健康増進」の視点から論ずる。具体的には、①生涯スポーツの概念や歴史、現状についての基礎的理解、②幼少年のスポーツ、新しいスポーツ、地域総合型スポーツクラブの現状と課題、スポーツと環境問題、スポーツ少年団の将来像について取り上げる。 これらを踏まえ、各年代に応じたスポーツのあり方、また生涯を通したスポーツへの親しみ方を理解した上で、生涯にわたって豊かな生活を送るための取り組みについて講義する。 なお、本演習は学校教員（保健体育）の実務経験者が担当し、学校現場の実態などを踏まえた討議などを行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	定期試験とレポートおよび授業態度にて評価する。定期試験を５０％とし、レポートの記述内容30％、授業での積極的発言など授業態度を２０％とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業内に行う課題については、授業内でフィードバックする。
履修条件・注意事項	授業内で配布される資料は各自でファイルにまとめ予習復習を行うこと。 授業内容を自分なりの考察も含めノートにまとめること。
実務経験のある教員	該当する　内容　この科目は、本学硬式野球部で監督経験を持つ教員が、その経験を活かし、指導現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	毎回の授業において問題提起と討論が可能なように、テキストの指定されたページをまとめるなど予習してくること。また、配布した資料や、講義内容を踏まえて学期末の定期試験を出題するので、授業終了後にノートをまとめ、復習しておくこと。なお、予習復習についてはそれぞれ2時間程度行うこと。
オフィスアワー	9号館4階の個人研究室において、毎週金曜日２時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	スポーツ本来の姿	羽野
第２回	スポーツ観の返遷	羽野
第３回	スポーツする身体	羽野
第４回	運動・スポーツとメンタルヘルス	羽野
第５回	スポーツの技術	羽野
第６回	体力について	羽野
第７回	心とスポーツ	羽野

第８回	発育・発達とスポーツ	羽野	
第９回	現代社会とスポーツ	羽野	
第１０回	スポーツの上達法	羽野	
第１１回	健康のためのスポーツ	羽野	
第１２回	スポーツと教育	羽野	
第１３回	スポーツと経済	羽野	
第１４回	スポーツ動作の分析	羽野	
第１５回	競技スポーツと生涯スポーツ	羽野	
第１６回	試験	筆記試験	
教科書			
教・書籍名１	生涯スポーツの理論と実際	教・出版社名１	大修館書店
教・著者名１	日下 裕弘（著), 加納 弘二（著）	教・ＩＳＢＮ１	978-4469266986
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	生涯スポーツ実践論	参・出版社名１	市村出版
参・著者名１	野川春夫 (著), 川西正志 (著)	参・ＩＳＢＮ１	978-4902109290
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生涯スポーツ実習 （アニメ・心理・経社）	担当者	天岡　寛
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-CH-0-006

必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	実習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	△	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	学生は実習通して、スポーツの楽しさを理解し、好きになってもらう。スポーツの楽しさである、人と関わる楽しさ、極める楽しさ、協力する楽しさ、創意工夫する楽しさ、考える楽しさ、勝敗の楽しさを理解することができる。 近年、社会環境の変化による、外遊びの減少、運動経験不足、基礎運動能力の低下が挙げられる。自分自身の体を自由自在に動かすことができるように、全身のコーディネーションと体幹の安定化を高める事ができる。全身持久力を高める事ができるようにボールを使った球技の中で、たくさんのボールにさわり、たくさんプレーすることによって高めることができる。 ☒
授業概要	球技（バスケットボール、フットサル、卓球、バトミントン）を通してルールを守り、仲間と助けあうことを体感する。 気軽にできる体幹トレーニングにより、基礎筋力、全身コーディネーションを高める。 ストレッチを学び、怪我予防を学ぶことができる。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	受講態度（50%）及び理解度（50%） 全力で取り組み、技術習得に努めてたか。 仲間と協力して、目的にむかってプレーしているか。 授業のマナー・ルールを守っているか。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために競技のルール等は、授業でフィードバックするので、単位認定試験までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	体育館シューズを準備。 運動できる服装の準備（ジーンズ等は認めない） 水分（水、スポーツ飲料、お茶）の準備 競技に関する競技規則等について、復習及び指示された予習を行うこと.
実務経験のある教員	該当する　内容　健康運動指導士
事前学習・事後学習とその時間	日ごろからスポーツや健康に興味関心を持つこと.
オフィスアワー	水曜日4時限目　9号館4階研究室

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	天岡
第２回	卓球	天岡
第３回	卓球	天岡
第４回	バスケットボール	天岡
第５回	バスケットボール	天岡

第６回	フットサル	天岡
第７回	フットサル	天岡
第８回	バトミントン	天岡
第９回	バトミントン	天岡
第１０回	器具を使用しての筋力トレーニング	天岡
第１１回	器具を使用しての筋力トレーニング　２	天岡
第１２回	自体重でできる筋力トレーニング	天岡
第１３回	自体重でできる筋力トレーニング　２	天岡
第１４回	フットサル　ゲーム１	天岡
第１５回	フットサル　ゲーム２	天岡
第１６回	単位認定試験	天岡

教科書			
教・書籍名１	実習科目につき教科書は使用しない	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	適宜指示する.	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	哲学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-GA-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。
授業概要	古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜５限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	1.「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり	山本
第２回	初期の「哲学者」たち	山本
第３回	エレア派とその影響	山本
第４回	ソクラテスとその影響	山本
第５回	プラトン	山本
第６回	アリストテレスの哲学	山本
第７回	アリストテレスの第一哲学	山本
第８回	ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況	山本
第９回	西欧文明の成立	山本
第１０回	盛期中世の学問状況と14世紀の大変革	山本
第１１回	ルネサンスと科学革命	山本
第１２回	科学革命と政治哲学	山本

第１３回	19世紀における諸科学の成立と哲学	山本
第１４回	科学的心理学の成立と哲学の変容	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	西洋哲学史〈古代から中世へ〉	参・出版社名１	岩波新書
参・著者名１	熊野純彦	参・ＩＳＢＮ１	9784004310075
参・書籍名２	西洋哲学史〈近代から現代へ〉	参・出版社名2	岩波新書
参・著者名2	9784004310082	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	哲学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-GA-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマは「歴史の中の哲学」である。哲学という言葉は無造作に使われることが多い。しかし本来哲学は、古代ギリシャに端を発する一つの歴史上の、極めて重要な知的伝統である。そしてそれはある時期まで学問全体を指し、狭義の哲学は「第一哲学」と呼ばれたりした。学生は、各時代の代表的哲学者の思想を通じて、文明の中での学問と狭義の哲学のありようの歴史を知ることになる。これによって学生は、世界と自分について、根底から物事を考える能力を身につけることができる。
授業概要	古代ギリシャにおける哲学の誕生や初期の展開、プラトンやアリストテレスを通じての哲学の確立、ヘレニズム期の哲学、古代末期の哲学とキリスト教といったことを、ギリシャ世界の拡大と変容、ヘレニズム世界の成立、ローマによる政治的統合といった時代背景の中で理解する。また西欧世界の成立と発展といった文脈の中で、自由学芸、哲学、神学の関係や、諸科学の成立と哲学の変容を理解する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	数学や論理学、文芸や芸術に対する関心、知的好奇心。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜５限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	1.「哲学」という言葉の歴史と哲学の始まり	山本
第２回	初期の「哲学者」たち	山本
第３回	エレア派とその影響	山本
第４回	ソクラテスとその影響	山本
第５回	プラトン	山本
第６回	アリストテレスの哲学	山本
第７回	アリストテレスの第一哲学	山本
第８回	ヘレニズム世界の哲学とローマ帝国の思想状況	山本
第９回	西欧文明の成立	山本
第１０回	盛期中世の学問状況と14世紀の大変革	山本
第１１回	ルネサンスと科学革命	山本
第１２回	科学革命と政治哲学	山本

第１３回	19世紀における諸科学の成立と哲学	山本
第１４回	科学的心理学の成立と哲学の変容	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	西洋哲学史〈古代から中世へ〉	参・出版社名１	岩波新書
参・著者名１	熊野純彦	参・ＩＳＢＮ１	9784004310075
参・書籍名２	西洋哲学史〈近代から現代へ〉	参・出版社名2	岩波新書
参・著者名2	9784004310082	参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	宗教学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-GA-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマは「世界宗教史」である。学生は講義を通じて、現生人類の誕生から新石器時代、文明の誕生を経て、ユーラシア西部や日本にどのような宗教が存在してきたか、そしてそれらが現代の我々にどのような影響を及ぼしているのかを知る。このことを通じ学生は、世界の多様な文化を理解することができる。これが到達目標である。
授業概要	後期旧石器時代・中石器時代・新石器時代・古代諸文明(メソポタミア、エジプト、カナアン、ギリシャなど)という段階を経て一神教(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教)の成立までの流れを追い、そしてそれらの一神教の展開を概観する。これは主としてユーラシア大陸西半部の歴史上の諸宗教の紹介という形をとるが、文字資料のみならず画像などの視覚的情報を多用して、縁遠い時空に生きた人々の精神世界への理解を促したい。また、日本の宗教という話題にも、世界史的観点から言及する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	評価方法 小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す。
履修条件・注意事項	地理歴史の基礎知識。毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	人類史と宗教：旧石器時代から新石器時代へ	山本
第２回	日本の縄文時代、弥生時代、古墳時代の宗教	山本
第３回	文明誕生：メソポタミア	山本
第４回	エジプト文明	山本
第５回	古代ギリシャ文明	山本
第６回	ユダヤ教の成立	山本
第７回	ヘレニズム期の宗教	山本
第８回	キリスト教の成立と展開	山本
第９回	ローマカトリック	山本
第１０回	初期のイスラーム	山本
第１１回	宗教改革とその後	山本
第１２回	日本宗教史：古代・中世・近世	山本
第１３回	現代日本の宗教事情	山本
第１４回	現代世界の宗教事情	山本

第１５回	総括	山本	
第１６回	定期試験	山本	
教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	倫理学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-GA-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	主題は「暇と退屈」である。つまり、ヒトが暇であるという事態と退屈であるという事態である。我々にとって身近な「暇と退屈」を分析する。暇はあるが退屈はしないという、よき人生はどのようなものか考える。そして学生各位は暇を持て余すことのない、自分固有のよき人生への指針を獲得することができる。
授業概要	定住生活を開始して以来、人類とともにあり、個人や集団に破滅をもたらしたりすることもある「退屈」について、国分功一郎『暇と退屈の倫理学』を一緒に読みながら、注釈と批判を加え、ともに考えてゆく。その過程でパスカルやニーチェ、ラッセルやハイデッガー、ホッブズやルソー、マルクスやアーレントといった西欧思想の古典をこのテーマに関わる範囲で読むことになる。　また、定住革命論やユクスキュルの環世界論など、隣接するさまざまな領域の知見を学ぶ。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	小試験(25%)、課題(25%)、定期試験(50%)。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のための小試験・課題については次回授業で講評によりフィードバックするので、然るべく準備すること。
履修条件・注意事項	「気分」のようなとらえにくいものについて、具体例に即して考える思考力、言語能力、忍耐力。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、教科書や配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

授業計画		担当者
第１回	「好きなこと」とは？	山本
第２回	パスカルとニーチェの退屈論	山本
第３回	暇と退屈の原理論	山本
第４回	定住革命について	山本
第５回	暇と退屈の系譜学	山本
第６回	暇と退屈の経済史	山本
第７回	ホッブズ、ルソー、マルクス	山本
第８回	暇と退屈の疎外論	山本
第９回	暇と退屈の哲学	山本
第１０回	環世界論	山本
第１１回	暇と退屈の人間学	山本
第１２回	ハイデッガー	山本
第１３回	暇と退屈の倫理学	山本
第１４回	スピノザ	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	暇と退屈の倫理学	教・出版社名１	太田出版
教・著者名１	國分功一郎	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7783-1437-8
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	心理学 （看護・理学・作業・子ども・アニメ）	担当者	津川　秀夫、藤原　直子、土居　正人、橋本　翠、村上　勝典、若森　孝彰、森井　康幸、宇都宮　真輝
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-GA-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜1限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を
到達目標	心理学とはどんな学問かを知ることがテーマである。心理学は心の働きについて科学的に研究していく学問である。学生は，人が生活している環境からいかに情報を取り入れ，蓄積し，利用するのか，あるいは，いかに人間関係のなかで適応的に生きているのかなどについての学びを通して，心理学のおもしろさに触れることができる。
授業概要	心理学は知覚、認知、発達、社会、パーソナリティーなどさまざまな領域において様々な研究が行われている。本講義では，いくつかの領域における研究対象，方法，得られた知見等の解説をオムニバス形式で行う。 ☒
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	小テスト(50%) と定期テスト(50%) の成績により評価する。 ただし、受講態度の悪い学生（私語、飲食、内職等・・・）については，この限りではない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストについては、授業中にフィードバックするので、定期試験に向けて、見直すこと。
履修条件・注意事項	テキストは使用しないので，集中して講義に参加すること。 授業担当者ごとに，2回に１回くらいの割合で小テストを行うので，特に復習には力を入れること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	基本的には、講義内で配布された資料をもとに復習すること。（2時間） テキストは使用しないが、一般的な心理学の本で該当箇所を対照させながら学ぶことが重要である（2時間）。体験的に学びを深めたい学生には、心理学実験への参加・協力をお願いする。
オフィスアワー	森井：月４　津川：月4　藤原：月2　橋本：月5　宇都宮：火4　土居：月2　村上：木3　　各教員研究室

授業計画		担当者
第１回	(1) オリエンテーション	全員
第２回	(2) 外界を探るこころの働き	橋本
第３回	(3) 感覚と知覚	橋本
第４回	(4) 記憶のふしぎ	森井
第５回	(5) 本能と学習	森井
第６回	(6) 性格とは	土居
第７回	(7) 心理検査について	土居
第８回	(8) 乳幼児期～青年期の発達	宇都宮

第９回	(9) 青年期の人間関係と心理	宇都宮
第１０回	(10) 対人認知	村上
第１１回	(11) 態度変容	村上
第１２回	(12) ストレス	藤原
第１３回	(13) ストレスと考え方	藤原
第１４回	(14) カウンセリング	津川
第１５回	(15) カウンセリングの実際	津川
第１６回	(16) 定期試験(筆記)	全員

教科書			
教・書籍名１	教科書は使用しない。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	心理学 (New Liberal Arts Selection)	参・出版社名１	有斐閣
参・著者名１	無藤・遠藤・玉瀬・森	参・ＩＳＢＮ１	978-4641053694
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	多文化理解	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-GA-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本講義は「世界の文化の多様性を理解する」をテーマに、私たち日本人にはあまり馴染みのないアラブ・イスラーム社会をとりあげる。具体的には、①イスラームの理解に不可欠なアラビア語の基礎、②西アジア史、③イスラーム文化、④近・現代のアラブ社会について理解を深める。その結果、世界の文化の多様性について興味がもてるようになる。
授業概要	世界の多文化を理解するためには、まず文化相対主義（Cultural relativism）の立場、すなわち異なる文化の間には優劣はなく、それぞれの文化の価値を認めようとする視点が重要である。本講義は、世界の関心が高く、また世界の安定にとってきわめて重要な位置にある中東地域を例に、古代オリエントから現代までの中東の歴史、アラビア語の基礎、イスラームの意味するところから、アラブ・イスラーム文化を理解するとともに、世界の文化の多様性を理解するための端緒とする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（60%）、授業態度/積極性（20%）、課題レポート（20%）により総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートの返却時に講評する。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習として、日ごろからアラブ社会の情勢に関心をもつこと、復習として、分からないことは授業で質問し、分からないことをそのままにしないこと。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	古代オリエント	末吉秀二
第３回	アラブ・イスラーム世界の形成	末吉秀二
第４回	オスマン帝国とアラブ	末吉秀二
第５回	近・現代のアラブ社会	末吉秀二
第６回	アラビア語の基礎（文字と発音）	末吉秀二
第７回	アラビア語の基礎（文法）	末吉秀二
第８回	預言者ムハンマド	末吉秀二
第９回	コーラン	末吉秀二
第１０回	イスラーム法（シャリーア）	末吉秀二
第１１回	イスラーム文化（衣・食・住）	末吉秀二
第１２回	イスラーム文化（スーク/メディナ）	末吉秀二
第１３回	パレスチナ問題	末吉秀二
第１４回	事例研究（ヨルダン）	末吉秀二
第１５回	多文化理解（論文輪読）	末吉秀二

第１６回	単位認定試験		末吉秀二
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	イスラーム文化	参・出版社名１	岩波文庫
参・著者名１	井筒俊彦	参・ＩＳＢＮ１	4-00-331851-X
参・書籍名２	イスラーム世界の論じ方	参・出版社名2	中央公論社
参・著者名2	池内　恵	参・ＩＳＢＮ2	978-412-003990-4

授業科目名	多文化理解	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-GA-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本講義は「世界の文化の多様性を理解する」をテーマに、私たち日本人にはあまり馴染みのないアラブ・イスラーム社会をとりあげる。具体的には、①イスラームの理解に不可欠なアラビア語の基礎、②西アジア史、③イスラーム文化、④近・現代のアラブ社会について理解を深める。その結果、世界の文化の多様性について興味がもてるようになる。
授業概要	世界の多文化を理解するためには、まず文化相対主義（Cultural relativism）の立場、すなわち異なる文化の間には優劣はなく、それぞれの文化の価値を認めようとする視点が重要である。本講義は、世界の関心が高く、また世界の安定にとってきわめて重要な位置にある中東地域を例に、古代オリエントから現代までの中東の歴史、アラビア語の基礎、イスラームの意味するところから、アラブ・イスラーム文化を理解するとともに、世界の文化の多様性を理解するための端緒とする。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（60%）、授業態度/積極性（20%）、課題レポート（20%）により総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートの返却時に講評する。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習として、日ごろからアラブ社会の情勢に関心をもつこと、復習として、分からないことは授業で質問し、分からないことをそのままにしないこと。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	古代オリエント	末吉秀二
第３回	アラブ・イスラーム世界の形成	末吉秀二
第４回	オスマン帝国とアラブ	末吉秀二
第５回	近・現代のアラブ社会	末吉秀二
第６回	アラビア語の基礎（文字と発音）	末吉秀二
第７回	アラビア語の基礎（文法）	末吉秀二
第８回	預言者ムハンマド	末吉秀二
第９回	コーラン	末吉秀二
第１０回	イスラーム法（シャリーア）	末吉秀二
第１１回	イスラーム文化（衣・食・住）	末吉秀二
第１２回	イスラーム文化（スーク/メディナ）	末吉秀二
第１３回	パレスチナ問題	末吉秀二
第１４回	事例研究（ヨルダン）	末吉秀二
第１５回	多文化理解（論文輪読）	末吉秀二

第１６回	単位認定試験		末吉秀二
教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	イスラーム文化	参・出版社名１	岩波文庫
参・著者名１	井筒俊彦	参・ＩＳＢＮ１	4-00-331851-X
参・書籍名２	イスラーム世界の論じ方	参・出版社名2	中央公論社
参・著者名2	池内　恵	参・ＩＳＢＮ2	978-412-003990-4

授業科目名	日本国憲法				担当者	入江　祥子		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年				ナンバリング	GE-SI-0-001		
必修・選択	選択	単位数	2単位		時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期		曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	＜到達目標＞ 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることができることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。 ＜テーマ＞ 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。
授業概要	法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。 ＊実務経験のある教員による授業 　本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度及び取組姿勢３０％、各講義の最後に実施する理解度を問う小テストの評価３０％、定期試験４０％の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	国内外で起きている様々な社会問題を自らとらえ、それらの問題について自発的に考え、解決策を模索することを習慣づける。
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。 注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること（特に私語、授業途中の許可のない入退室等）は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。 出席状況の把握は各自で行ってください。 原則として、配布物の再配布は行いません。
実務経験のある教員	該当する　　内容　司法書士
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。 本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させる

	こと。
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。

授業計画		担当者
第１回	なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか	入江　祥子
第２回	法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い	入江　祥子
第３回	法源とは何か、法の種類	入江　祥子
第４回	憲法とは何か、立憲主義	入江　祥子
第５回	憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法	入江　祥子
第６回	国民主権の意味、その役割	入江　祥子
第７回	戦争の放棄、日本国憲法第９条	入江　祥子
第８回	人権とは何か、その役割	入江　祥子
第９回	人権の効果	入江　祥子
第１０回	人権の限界、公共の福祉	入江　祥子
第１１回	統治制度について、権力分立	入江　祥子
第１２回	立法権、国会の役割	入江　祥子
第１３回	行政権、内閣の役割	入江　祥子
第１４回	司法権、裁判所の役割	入江　祥子
第１５回	地方自治について	入江　祥子
第１６回	筆記試験	入江　祥子

教科書			
教・書籍名１	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	六法	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本国憲法			担当者	入江　祥子		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	GE-SI-0-001		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	＜到達目標＞ 主権者として必要とされる日本国憲法の知識を身につけ、さらに憲法改正につき論理的に自己の考えを述べることができることを目指す。 「人権」について正しく理解し、快適な社会づくりに貢献できることを目指す。 ＜テーマ＞ 難解とされる日本国憲法における基本的論点を、判例やニュースを織り交ぜながらできるだけ平易に解説すると同時に、日本国憲法の将来を自分で考えるために必要と思われる情報を提供する。「人権」について理解を深める。
授業概要	法の初学者のために、広く「法」の解説から始める。さらに「憲法」の定義やその特質について学んだうえで、「日本国憲法」についてその成立背景から基本原理および統治機構について、判例・学説を交え講義を行う。特に「人権」については、その性質および享有主体性等個々の論点にまで立ち入った解説を行い、正しい人権意識を身につけることを意識する。また、統治機構については、政治的時事問題を交え、日本の政治の仕組みおよび問題点について説明し、主権者として必要な正しい知識を取得できるよう講義を行う。 ＊実務経験のある教員による授業 　本授業は法律に関するスペシャリストである司法書士の方による講義です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度及び取組姿勢３０％、各講義の最後に実施する理解度を問う小テストの評価３０％、定期試験４０％の配分で基本的評価を行う。授業態度については、私語、遅刻、途中退室等についても考慮する。小テストが優秀であれば加点する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	国内外で起きている様々な社会問題を自らとらえ、それらの問題について自発的に考え、解決策を模索することを習慣づける。
履修条件・注意事項	履修条件は特にありませんが、日本国内外の時事問題を情報収集するよう心がけてください。 注意事項としては、他の学生の受講に迷惑になること（特に私語、授業途中の許可のない入退室等）は厳に慎んでください。講師の指示に従わない場合には受講を認めないこともありますので、ご注意ください。 出席状況の把握は各自で行ってください。 原則として、配布物の再配布は行いません。
実務経験のある教員	該当する　内容　司法書士
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、授業計画のテーマに沿って、インターネットや書籍を利用した下調べを行っていただきたい。 本講義は復習が重要です。授業で学んだ知識を定着させ、それを踏まえて自己の考えを構築できるよう発展させる

	こと。
オフィスアワー	授業時間前後に講義室又は非常勤講師室にて質問等を受けます。

授業計画		担当者
第１回	なぜ「憲法」を学ぶ必要があるか	入江　祥子
第２回	法とは何か、法はなぜ必要か、法と道徳の違い	入江　祥子
第３回	法源とは何か、法の種類	入江　祥子
第４回	憲法とは何か、立憲主義	入江　祥子
第５回	憲法の成立、大日本帝国憲法と日本国憲法	入江　祥子
第６回	国民主権の意味、その役割	入江　祥子
第７回	戦争の放棄、日本国憲法第９条	入江　祥子
第８回	人権とは何か、その役割	入江　祥子
第９回	人権の効果	入江　祥子
第１０回	人権の限界、公共の福祉	入江　祥子
第１１回	統治制度について、権力分立	入江　祥子
第１２回	立法権、国会の役割	入江　祥子
第１３回	行政権、内閣の役割	入江　祥子
第１４回	司法権、裁判所の役割	入江　祥子
第１５回	地方自治について	入江　祥子
第１６回	筆記試験	入江　祥子

教科書			
教・書籍名１	各回ごとに配布物を配り、それに従って授業を進める。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	六法	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	民法	担当者	生駒　正文
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-SI-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は日常生活の各場面で想定される法律の動きを知り、何がただしいのかという価値判断が求められる局面において、自ら考えて選ぶリーガル・マインドを獲得できる。 具体的には法の意義と、社会における法の役割を理解、実際の事件の中で、法がいかに問題解決のために機能しているか関心を持つこと、課題を法的な観点から検討できること、自分の考えを整理して、相手に論理的に説明する能力を身に着けることが個別目標です。
授業概要	我々の日常生活は、直接的・間接的に法律と関係しています。例えば、物の購入、家・金銭の貸し借り、結婚、親子関係、相続等、法律と無関係ではありません。我々の日常生活を規律する民法の基礎の基礎くらい知っておいた方が無難でしょう。 本講義では、日常生活の場面で想定される事態について、どのように民法がかかわるか考えます。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	試験７０％　授業態度・意欲・小テスト３０％の評価
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題、小テストは、後日添削し返却します。理解が不足の場合、再提出。
履修条件・注意事項	教科書持参、ノートをとること、考えることを原則に授業にのぞむこと
実務経験のある教員	該当する　内容　大阪簡易裁判所の民事調停委員として各案件の処理を行う（２０年）
事前学習・事後学習とその時間	授業計画ごとに教科書を復習・予習しておくこと（２時間）
オフィスアワー	１２：３０から１３：２０　１４号館６階（生駒研究室）

	授業計画	担当者
第１回	（１）民法学の基礎知識（総則）　①民法とは何か、権利義務関係の基本となる能力	生駒正文
第２回	（２）民法学の基礎知識（総則）②制限行為能力者制度	生駒正文
第３回	（３）民法学の基礎知識（総則）③法人とは、物とは	生駒正文
第４回	（４）民法学の基礎知識（総則）④意思表示	生駒正文
第５回	（５）民法学の基礎知識（総則）⑤代理、時効	生駒正文
第６回	（６）民法学の基礎知識（財産法）⑥物権と債権、物権の種類、物権法定主義	生駒正文
第７回	（７）民法学の基礎知識　⑦物権の効力と物権変動（動産・不動産）	生駒正文
第８回	（８）民法学の基礎知識（財産法）　⑧即時取得、担保とは何か	生駒正文
第９回	（９）民法学の基礎知識（財産法）⑨一般的な不法行為	生駒正文
第１０回	（１０）民法学の基礎知識（財産法）　⑩特殊的な不法行為　賃貸借	生駒正文
第１１回	（１１）（３）家族法の基礎知識　⑪親族、婚姻、夫婦関係、離婚	生駒正文
第１２回	（１２）家族法の基礎知識　⑫親子関係、親権、相続	生駒正文
第１３回	（１３）家族法の基礎知識　⑬遺言	生駒正文

第１４回	（１４）家族法の基礎知識　⑭遺留分		生駒正文
第１５回	（１５）その他　⑮割賦販売、訪問販売		生駒正文
第１６回	（１６）定期試験		生駒正文
教科書			
教・書籍名１	ガイドブック法学	教・出版社名１	嵯峨野書院
教・著者名１	生駒正文・高田富男編著	教・ＩＳＢＮ１	９７８－４－７８２３－０５７０－６
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	経済学	担当者	張　秉煥
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-SI-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	重要な経済問題について科学的にそして論理的に理解するための基本的スキルを修得することができる。
授業概要	すべての社会が直面する根本的な経済問題は希少性である。経済学は、社会がその希少な資源をいかに管理するのかを研究する学問である。資源の配分は、膨大な数の家計と企業の行動を総合した結果として決定される。講座の前半は、個別の家計や企業が様々な決定をどのように行うか、それらが市場でどのように相互作用しあうのかを分析する。後半では、経済全体に影響するような様々な要因や傾向を考察する。なお、所得分配や所得格差問題、所得機会の変容とそのインプリケーションについて検討する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	「定期筆記試験（70%）＋途中の形成的評価（30%）」をもとに合計100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	途中の形成的評価のために実施する「課題や試験」へのフィードバックは、授業中の総括的単位で行うことによって、個別学生に学習方法への含意や定期筆記試験への対策に資するものとする
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	本講座の独自教材（ワークブック兼用）に基づき、自主的な事前学習を行って授業を受けること。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	講座の概要や評価方法、教材の構成、主な内容と使い方など。科学的方法論としての経済モデル	張秉煥
第２回	経済学の主要原理（１）トレードオフ、機会費用、限界分析、インセンティブ等	張秉煥
第３回	経済学の主要原理（２）市場経済、市場の失敗、GDP、インフレなど（現実の事例を含む）	張秉煥
第４回	市場と競争（市場構造）、需要・供給の仕組み、両面市場	張秉煥
第５回	市場構造と社会的厚生、完全競争市場、現実の経済問題への応用（インセンティブ）	張秉煥
第６回	独占市場の特性と参入障壁の源泉、現実の経済問題への応用、小テスト１	張秉煥
第７回	独占的市場と寡占市場の特性、囚人のジレンマモデルと現実の経済問題への応用	張秉煥
第８回	現実における様々な価格類型、価格弾力性と価格差別モデル、現実の経済問題への応用	張秉煥
第９回	価格規制の基礎モデル、最低賃金制度による労働市場への影響分析、外部効果の諸例	張秉煥
第１０回	公共財の諸例、フリーライダー問題、共有地の悲劇モデルと現実への応用、小テスト２	張秉煥
第１１回	情報の非対称性問題、モラル・ハザード、逆選択、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１２回	経済循環図、国民所得の測定と国際比較、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１３回	経済成長と公共政策、７２の法則とその応用、景気変動	張秉煥
第１４回	所得分布と所得格差、所得機会の変容（定量的分析を踏まえて）、小テスト３	張秉煥
第１５回	経済政策の類型と具体的手法、経済安定化政策の逆効果（ジレンマ）	張秉煥
第１６回	定期筆記試験	張秉煥

教科書

教・書籍名１	独自教材（ワークブック兼用）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	マンキュー入門経済学	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	N・グレゴリー・マンキュー	参・ＩＳＢＮ１	978-4492315217
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	経済学	担当者	張　秉煥
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-SI-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう
到達目標	重要な経済問題について科学的にそして論理的に理解するための基本的スキルを修得することができる。
授業概要	すべての社会が直面する根本的な経済問題は希少性である。経済学は、社会がその希少な資源をいかに管理するのかを研究する学問である。資源の配分は、膨大な数の家計と企業の行動を総合した結果として決定される。講座の前半は、個別の家計や企業が様々な決定をどのように行うか、それらが市場でどのように相互作用しあうのかを分析する。後半では、経済全体に影響するような様々な要因や傾向を考察する。なお、所得分配や所得格差問題、所得機会の変容とそのインプリケーションについて検討する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	「定期筆記試験（70%）＋途中の形成的評価（30%）」をもとに合計100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	途中の形成的評価のために実施する「課題や試験」へのフィードバックは、授業中の総括的単位で行うことによって、個別学生に学習方法への含意や定期筆記試験への対策に資するものとする
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	本講座の独自教材（ワークブック兼用）に基づき、自主的な事前学習を行って授業を受けること。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

授業計画		担当者
第１回	講座の概要や評価方法、教材の構成、主な内容と使い方など。科学的方法論としての経済モデル	張秉煥
第２回	経済学の主要原理（１）トレードオフ、機会費用、限界分析、インセンティブ等	張秉煥
第３回	経済学の主要原理（２）市場経済、市場の失敗、GDP、インフレなど（現実の事例を含む）	張秉煥
第４回	市場と競争（市場構造）、需要・供給の仕組み、両面市場	張秉煥
第５回	市場構造と社会的厚生、完全競争市場、現実の経済問題への応用（インセンティブ）	張秉煥
第６回	独占市場の特性と参入障壁の源泉、現実の経済問題への応用、小テスト１	張秉煥
第７回	独占的市場と寡占市場の特性、囚人のジレンマモデルと現実の経済問題への応用	張秉煥
第８回	現実における様々な価格類型、価格弾力性と価格差別モデル、現実の経済問題への応用	張秉煥
第９回	価格規制の基礎モデル、最低賃金制度による労働市場への影響分析、外部効果の諸例	張秉煥
第１０回	公共財の諸例、フリーライダー問題、共有地の悲劇モデルと現実への応用、小テスト２	張秉煥
第１１回	情報の非対称性問題、モラル・ハザード、逆選択、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１２回	経済循環図、国民所得の測定と国際比較、現実の経済問題への応用	張秉煥
第１３回	経済成長と公共政策、７２の法則とその応用、景気変動	張秉煥
第１４回	所得分布と所得格差、所得機会の変容（定量的分析を踏まえて）、小テスト３	張秉煥
第１５回	経済政策の類型と具体的手法、経済安定化政策の逆効果（ジレンマ）	張秉煥
第１６回	定期筆記試験	張秉煥

教科書

教・書籍名１	独自教材（ワークブック兼用）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	マンキュー入門経済学	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	N・グレゴリー・マンキュー	参・ＩＳＢＮ１	978-4492315217
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	社会学	担当者	黒宮　亜希子、稲元　洋輔
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-SI-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	テーマ：基礎社会学を学ぶ（社会学とは何か？、労働・教育・地域・家族等の視点より） 到達目標：社会学の基本的な定義・考え方、具体的な社会問題、人口問題と環境、現代家族、教育、産業・労働の領域における現状と問題を理解し、その解決法を考えることとする。 受講生らが生きている現代社会の仕組みや出来事に関する理解を深める。 この講義を通じて、現代社会の様々な制度と問題を理解すること、また、自分の考えを文章で言語化し、記述する能力を向上することも併せて目標とする。
授業概要	この講義の目的は、社会学という学問がどのような学問であるかを理解し、講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、受講生の周囲で起こっている実際の出来事について考えることが出来るようにすることである。 具体的には、現代家族の変化、教育問題、非正規社員の増加と経済的格差、人口構造の変化などを取り上げる。 それによって学生たちは問題を理解し、社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業中課題（40%）・定期試験（60%）によって評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題はコメントを入れ返却を行う。
履修条件・注意事項	・2名の教員がオムニバス形式で進行する。 ・毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。ファイル等で各自保管しておくこと。 ・日本語で自身の考えを記述する力が求められるため、日本語の力がまだ十分ではない留学生の受講に際してはやや注意を要する。 ・授業計画の内容は、進捗状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	黒宮：月曜4限（14625） 稲元：火曜3限（14611）

	授業計画	担当者
第１回	授業オリエンテーション	黒宮・稲元
第２回	身近な社会学（1）地位と役割	黒宮
第３回	身近な社会学（2）ラベリング・スティグマ	黒宮
第４回	教育の社会学（1）学校とはなにか	稲元

第５回	教育の社会学（2）教育をめぐる諸問題	稲元
第６回	家族の社会学（1）家族とその変化	黒宮
第７回	家族の社会学（2）家族とジェンダー	黒宮
第８回	労働の社会学（1）学校から職場へ	稲元
第９回	労働の社会学（2）働くことの社会的な位置づけ	稲元
第１０回	地域の社会学（1）地域、コミュニティとは	黒宮
第１１回	地域の社会学（2）地域社会の今	黒宮
第１２回	自己と他者の社会学（1）他者のまなざし	稲元
第１３回	自己と他者の社会学（2）コミュニケーション	稲元
第１４回	社会問題を社会学する（講義、小括）	黒宮
第１５回	社会問題を社会学する（講義、小括）	稲元
第１６回	筆記試験	黒宮・稲元

教科書			
教・書籍名１	資料を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	授業内容に応じて適宜、文献を紹介する。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	社会学	担当者	赤坂　真人
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-SI-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ 社会学入門（社会学とは何か・人口論・家族・教育・産業と労働） 到達目標 社会学の定義と考え方を学び、そのうえで現代社会の人口、現代家族、教育、産業と労働の現状について述べる。明確に意識されていない現代社会の様々な制度と問題を明確に認識させ、毎回実施する小テスト（記述式）で社会問題に対する自分自身の考えをまとめ、文章で記述・説明する能力を鍛える。この講義によって学生たちは現代社会の諸問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
授業概要	この講義の目的は、社会学という学問がどのような学問であるかを理解し、次に講義で学習した社会学的な見方、考え方を応用し、学生の周囲で起こっている日常の出来事について考えさせることである。具体的には人口減少に伴って起こる様々な問題、人口高齢化と年金・医療保険の問題、現代家族の変化、晩婚化・非婚化、教育の社会的意義、AI 化とこれからの教育、Society5.0における産業と労働、経済的格差、日本の経済不況と対策などを取り上げる。この講義によって学生たちは現代社会の諸問題を理解し、それを社会学の分析視角から考え、自分の意見を持ち、判断することができるようになる。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業中の小テスト（50%）・定期試験（50%）によって評価する。小テストは採点し、コメントつけて返却するので必ず復習すること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	講義の最後20分間を使って、毎回論述式の小試験を行う。メールにより解答し教員の授業用メールボックスに返送する。教員は学生一人一人の論述に対し400～500字のコメントを書いて学生に返却する。教員からのコメントに対してさらに意見を述べた場合、それに対して再びコメント書いて返却する。
履修条件・注意事項	講義時間が減少するので学生の名前を読み上げて出席を取ることはしない。カードによる出席チェックの不正をしない。日本語が分からないと講義についてゆけないので留学生は履修の際、十分留意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎学期中、予習と復習には各2時間程度を要する。
オフィスアワー	火曜4限（15：10～16：40）に、研究室（9309）にて実施する。

授業計画		担当者
第１回	1.人間が社会を作るまで。2群れ（社会）で生きる人間。3.人間社会の大変動。	赤坂
第２回	1.社会学とは何か。2.社会のわかりにくさ。3.他の人間科学との相違。4.社会学の利用法。	赤坂
第３回	1.世界の人口動向。2.人口転換理論。3.日本の人口推移。4.少子高齢化。5.晩婚化と非婚化。	赤坂
第４回	1.生涯未婚率の推移。2.世界最速の高齢化。3.少子高齢化と経済の縮小・社会保障の危機。	赤坂
第５回	1.家族とは何か。2.家族の類型。 3.世帯・親族・親戚。4.社会制度としての結婚。	赤坂
第６回	1.結婚の社会的規制。2.非婚社会：日本。3.非婚化の経済的原因。4.非婚化の生物学的原因	赤坂

第７回	1.解体する家族。２.現代家族の問題。3.下流化する中高年。4.現代家族の病理と法的問題。	赤坂
第８回	1.液状化する社会。２.避けられぬ人口減少。3.男性未婚者。4.職業と未婚。5.世代間の不平等。	赤坂
第９回	1.教育の機能。2.メリトクラシーの崩壊と階層の固定化。3.学力低下論争。4.学力の二極化	赤坂
第１０回	1.教師の多忙化と燃え尽き。２.いじめ問題。3.校内暴力。4.不登校。5.学校は魅力を失ったか？	赤坂
第１１回	1.教育と職業。2.大学教育は仕事の役に立つか？3.中間集団としての学校。4.ニートの人々	赤坂
第１２回	1.産業の分類。2.賃金と労働。3.日本人の労働時間と失業率。4.日本的経営の終わりと没落。	赤坂
第１３回	1.日本経済の矛盾。2.生産性の低さ。3.日本経済没落の原因。4.経済再生の課題	赤坂
第１４回	1.職業とジェンダー。2.職業と階層。3.階層間格差。4.AI化と労働の未来	赤坂
第１５回	1.AI の進化と社会変動　2.インフォテック。3.フードテック。4.画像認識。5.拡張現実・その他	赤坂
第１６回	筆記試験	赤坂

教科書			
教・書籍名１	基礎社会学	教・出版社名１	ふくろう出版
教・著者名１	赤坂真人	教・ＩＳＢＮ１	978-4861864278
教・書籍名２	毎回、教員が作成したハンドアウトを配布する。	教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	講義中に約30冊の文献を紹介する。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	環境科学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-NM-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	学生は環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得することができる。学生はその基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「環境ホルモン」、「地球温暖化」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得することができる。また、学生は現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、行動できることを到達目標とする。
授業概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見的な問題意識を持ちどの様に対処すべきるかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	マークシート形式主体の筆記試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。　試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学授業中の課題提示毎に問いかけを行い、質疑。応答での知識確認のためのフィードバックを実施する。また、試験実施後の質問を受け付け、未理解項目のフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習（1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施する。

	授業計画	担当者
第１回	環境と人間のかかわりあい	秋山純一
第２回	環境における人類危機要因	秋山純一
第３回	生態系と人間	秋山純一

第４回	食物連鎖	秋山純一
第５回	物質循環	秋山純一
第６回	紫外線（作用と分類）	秋山純一
第７回	紫外線と皮膚（臨床）	秋山純一
第８回	紫外線と皮膚（防御）	秋山純一
第９回	オゾン層の破壊（原因）	秋山純一
第１０回	オゾン層の破壊（対策）	秋山純一
第１１回	環境ホルモン（作用）	秋山純一
第１２回	環境ホルモン（分類）	秋山純一
第１３回	環境ホルモン（影響）	秋山純一
第１４回	地球温暖化（原因）	秋山純一
第１５回	地球温暖化（対策）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	環境科学入門	参・出版社名１	化学同人
参・著者名１	川合　真一郎　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	環境科学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-NM-0-001

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／３．すべての人に健康と福祉を／６．安全な水とトイレを世界中に／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	学生は環境問題を理解するための基礎的知識である「生態系」、「生物多様性」、「物質循環」及び「食物連鎖」等の知識を習得することができる。学生はその基礎的知識をもとに、現在人類が直面している環境問題である「オゾン層の破壊」、「環境ホルモン」、「地球温暖化」およびその他の環境問題全般の現状についての知識を習得することができる。また、学生は現在の環境問題および将来に起こると予想される様々な環境問題について自身で考え、意見を発信し、行動できることを到達目標とする。
授業概要	ヒトは有形無形の環境の中で生活しており、その生命環境の持続的保全が健康保持、人類存続には不可欠である。生活の利便性や効率、経済性を追求するあまり、近年の交通手段の急激な進歩や特に情報革命を中心とする社会構造の急速な変化が先進国だけでなく開発途上国にも広く及んでいる。現在、我々人類はこの急激な変化への適応に追われ、本来、最も尊いはずの生命保持のための環境の維持や保全が後手となり、現在、地球上では近未来を危ぶむ種々の重大な問題（環境汚染、地球温暖化、オゾン層の破壊、紫外線量の増加、環境ホルモン等）が生じている。本講義では前半は生命と環境についての基本的な知識（環境、生態系、生物多様性、物質循環及び食物連鎖等）を習得し、その知識を基に我々の目前で現在起こっている種々のレベルでの環境問題の現状を把握し、また将来生じると予想される問題を予見し、これらの問題に対して先見的な問題意識を持ちどの様に対処すべきるかを学習する。本講義の後半では各環境問題の問題提示としてこれらの環境問題に関連するの現状と未来を予測したDVD映像などの鑑賞も加えて授業を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	マークシート形式主体の筆記試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。　試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学授業中の課題提示毎に問いかけを行い、質疑。応答での知識確認のためのフィードバックを実施する。また、試験実施後の質問を受け付け、未理解項目のフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びノートメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は国家資格の「公害防止主任管理者」取得者である教員が環境管理の実務経験を活かし、環境教育において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習（1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休み時間で可能な限り対応を実施する。

	授業計画	担当者
第１回	環境と人間のかかわりあい	秋山純一
第２回	環境における人類危機要因	秋山純一
第３回	生態系と人間	秋山純一

第４回	食物連鎖	秋山純一
第５回	物質循環	秋山純一
第６回	紫外線（作用と分類）	秋山純一
第７回	紫外線と皮膚（臨床）	秋山純一
第８回	紫外線と皮膚（防御）	秋山純一
第９回	オゾン層の破壊（原因）	秋山純一
第１０回	オゾン層の破壊（対策）	秋山純一
第１１回	環境ホルモン（作用）	秋山純一
第１２回	環境ホルモン（分類）	秋山純一
第１３回	環境ホルモン（影響）	秋山純一
第１４回	地球温暖化（原因）	秋山純一
第１５回	地球温暖化（対策）	秋山純一
第１６回	単位認定試験	秋山純一

教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	環境科学入門	参・出版社名１	化学同人
参・著者名１	川合　真一郎　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	物理学	担当者	藤原　智子
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-NM-0-002

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	15回	授業形態	対面
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／１１．住み続けられるまちづくりを／１３．気候変動に具体的な対策を／１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	テーマ：物理学の１分野である天文学を中心に、簡単な実験やそれぞれテーマに沿った議論などを通じて、その歴史的背景や社会・生活で活用されている物理のエッセンスを体系的に学習する。 到達目標：「自然から学ぶ」や「論理的思考」とはどういうことかを理解する。
授業概要	太古の昔から、人類は頭上に広がる果てしない宇宙を見つめてきた。手の届かないところにある天体のふるまいを理解するには、まず身近な自然現象を観察し、そこにある物理法則に気付く必要がある。人々はどんな想いで宇宙を見つめてきたのか、宇宙を知るためにどんな挑戦をし、注意深く観察した星空から何を理解してきたのか。この授業では、太陽系天体、恒星や銀河など、宇宙に浮かぶ様々な天体の姿を紹介、そこで起こっている現象を身近な物理と結び付けて科学的に解説するだけではなく、星座や神話、人類の宇宙観など文化的内容、観測機器や宇宙開発(ロケットや人工衛星・探査機)等の技術的内容についても触れ、「宇宙」をテーマに幅広い内容を扱う。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／プレゼンテーション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	論述試験と出席で評価します。授業を受ける姿勢として、実験や議論に参加する積極性を重視します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題や試験に対する質問は授業での回答の他、UNIPAやTeamsなどの機能を用いてフィードバックする。
履修条件・注意事項	
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前学習として、各授業計画のテーマに関連するニュースやトピックスに注意を払い、事後学習として授業で学んだことに関して友人や家族と議論すること。 各１時間の学修が望ましい。
オフィスアワー	授業の前後に、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンスー自然現象を理解するための物理学ー	藤原智子
第２回	宇宙観の変遷	藤原智子
第３回	星と文化①　星座と星物語	藤原智子
第４回	星と文化②　暦の成立	藤原智子
第５回	天体の記録と基礎データ①　天体の位置、明るさ、距離	藤原智子
第６回	天体の記録と基礎データ②　光のスペクトル	藤原智子
第７回	観測装置の発展①　光学・電波望遠鏡	藤原智子
第８回	観測装置の発展②　人工衛星・探査機	藤原智子
第９回	人工衛星・ロケットの仕組み	藤原智子
第１０回	宇宙の環境問題	藤原智子
第１１回	太陽系の素顔①　太陽系の天体	藤原智子
第１２回	太陽系の素顔②　太陽系を取り巻く環境・太陽系外惑星	藤原智子
第１３回	恒星の誕生と死	藤原智子

第１４回	私たちの起源と未来	藤原智子
第１５回	まとめ：宇宙と物理学のつながり	藤原智子
第１６回	レポート試験	藤原智子

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	生物学	担当者	香田　康年
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-NM-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	【テーマ】 学生が、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、様々な生物の特徴について学びながら、なぜそのような特徴がシンカしたのかを考え、ヒトや様々な生物について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。 【到達目標】 まず生物のシンカが「進化」と呼ばれるようになった経緯を理解し、生物のシンカとはどのような現象なのかを理解すると同時に、一般用語の「進化」とやや意味がことなることを理解する。さらに生物のシンカがどのうような仕組みで起こるのかを学び理解する。そのことによって現在のヒトや様々な生物がなぜそのような特徴を持っているのかを考え、人間の特徴や様々な生物現象について丸暗記するのではなく、「考え理解する力」を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用して考え、まとめ、他者に説明する力を養う。
授業概要	○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義と、Q&Aにグループディスカッションを組み合わせたアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容，範囲などは受講生の了解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は，講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば，次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点（80%）とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数（20%）で評価する。 ただし、授業態度が悪ければ（授業にまじめに取り組まない場合）10点の範囲で減点する。 各小テストは，論述記述式である。 講義の内容から，重要な内容について説明記述させる問題を出題する予定である。 授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていることが，採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の授業内容について度々Ｑ＆Ａを行うことによって、授業内容に対するフィードバックをはかる。 複数回の小テストのうち途中の小テストは、採点結果を返却すると同時にフィードバックをはかり、再試験追試験を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。
履修条件・注意事項	受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。 教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名さ

	れてから発言すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	【復習】 　授業内容は常識と異なることが多く，授業は前回までの理解を前提に進めるので，毎回必ず復習し，理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。 　復習には二時間程度かけて、いつ小テストがあっても対応できるように，充分理解し，ノート整理しておくこと。 【予習】 　過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、予習にも二時間程度かけて、次回の授業内容について、参考書などを利用し、現時点での自分なりの理解をしておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので、授業後に教室、または非常勤講師室で行う。

授業計画		担当者
第１回	クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか？	香田康年
第２回	生物のシンカと一般用語としての「進化」	香田康年
第３回	生物のシンカの起こる仕組み	香田康年
第４回	なぜたくさんの生物がいるのか？　なぜ人間がいるのか？	香田康年
第５回	ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか？	香田康年
第６回	科学とはどのような学問か？	香田康年
第７回	生物とは？	香田康年
第８回	どんな生物、どんな動物がいるのか？	香田康年
第９回	遺伝子と遺伝子の発現	香田康年
第１０回	本能と学習と理性の関係	香田康年
第１１回	利己的行動と利他的行動	香田康年
第１２回	非血縁者間の利他行動のシンカ	香田康年
第１３回	ゲーム理論とシンカ	香田康年
第１４回	様々な対人関係心理のシンカ	香田康年
第１５回	言葉のシンカと神や幽霊を信じる心のシンカ	香田康年
第１６回	最終試験（記述式筆記試験）	香田康年

教科書			
教・書籍名１	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	「進化と人間行動」	参・出版社名１	東京大学出版会
参・著者名１	長谷川寿一、長谷川眞理子	参・ＩＳＢＮ１	4－13－012032－8
参・書籍名２	「面白くて眠れなくなる生物学」	参・出版社名2	PHP文庫
参・著者名2	長谷川英祐	参・ＩＳＢＮ2	978-4-569-76860-1

授業科目名	生物学	担当者	香田　康年
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-NM-0-003

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１４．海の豊かさを守ろう／１５．陸の豊かさも守ろう
到達目標	【テーマ】 学生が、「ヒトを含めたすべての生物が生物シンカによってできて来た」ことを理解する。また、科学とはどのようなことかについて改めて考え理解する。加えて、様々な生物の特徴について学びながら、なぜそのような特徴がシンカしたのかを考え、ヒトや様々な生物について、丸暗記するのではなく、「なぜそうなのか」を考え理解する力を養う。 【到達目標】 まず生物のシンカが「進化」と呼ばれるようになった経緯を理解し、生物のシンカとはどのような現象なのかを理解すると同時に、一般用語の「進化」とやや意味がことなることを理解する。さらに生物のシンカがどのうような仕組みで起こるのかを学び理解する。そのことによって現在のヒトや様々な生物がなぜそのような特徴を持っているのかを考え、人間の特徴や様々な生物現象について丸暗記するのではなく、「考え理解する力」を少しでも養う。また、新たな問題に対し、他者の知識を含め、持てる知識を利用して考え、まとめ、他者に説明する力を養う。
授業概要	○ 上記のテーマや到達目標を達成するため、毎回授業は、講義と、Q&Aにグループディスカッションを組み合わせたアクティブラーニングを併用した授業とする。 ○ 下記の講義項目に従って授業を行う予定であるが、あくまで目安である。受講生の興味、生物学上の疑問、理解の程度を重視するので、講義順序や講義内容，範囲などは受講生の了解をとりながら適宜変更する。 ○ 受講生は，講義内容に関する疑問点や質問を積極的に出し、理解を深めて欲しい。かつなお、疑問点が残れば，次回の授業で質問できるようにしておくこと。それにより学生の授業内容の理解度を知り、フィードバックを図る。
アクティブラーニングの内容	PBL／ディスカッション／グループワーク
評価方法と割合	20分～30分程度の小テストを複数回行う。それらの合計点（80%）とQ&Aなどのアクティブラーニングへの積極的発言回数（20%）で評価する。 ただし、授業態度が悪ければ（授業にまじめに取り組まない場合）10点の範囲で減点する。 各小テストは，論述記述式である。 講義の内容から，重要な内容について説明記述させる問題を出題する予定である。 授業をとっていない友人に分かるような説明記述ができていることが，採点の基準になる。専門用語には必ず理解しやすく説明を加えること。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	過去の授業内容について度々Ｑ＆Ａを行うことによって、授業内容に対するフィードバックをはかる。 複数回の小テストのうち途中の小テストは、採点結果を返却すると同時にフィードバックをはかり、再試験追試験を行うこともあるが、最終回のテストは再試験追試験を行わない。
履修条件・注意事項	受講生は、グループ討論や質疑応答時に積極的に発言することを心掛けるようにすること。 教員が講義している間は、傾聴に努め、私語を控えること。質問は大いに歓迎する。ただし、手を挙げて指名さ

	れてから発言すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	【復習】 　授業内容は常識と異なることが多く，授業は前回までの理解を前提に進めるので，毎回必ず復習し，理解しておくこと。次回の授業で、前回内容についての質問に指名されても答えられるようにしておくこと。 　復習には二時間程度かけて、いつ小テストがあっても対応できるように，充分理解し，ノート整理しておくこと。 【予習】 　過去の授業内容についての疑問点を整理しておき、次回の授業で質問できるようにしておくこと。また、予習にも二時間程度かけて、次回の授業内容について、参考書などを利用し、現時点での自分なりの理解をしておくこと。また、予め質問したいことがあれば、用意しておくこと。
オフィスアワー	非常勤講師なので、授業後に教室、または非常勤講師室で行う。

授業計画		担当者
第１回	クラゲとヒトはどこが同じでどう違うのか？	香田康年
第２回	生物のシンカと一般用語としての「進化」	香田康年
第３回	生物のシンカの起こる仕組み	香田康年
第４回	なぜたくさんの生物がいるのか？　なぜ人間がいるのか？	香田康年
第５回	ダーウィンはなぜ生物シンカに気がついたのか？	香田康年
第６回	科学とはどのような学問か？	香田康年
第７回	生物とは？	香田康年
第８回	どんな生物、どんな動物がいるのか？	香田康年
第９回	遺伝子と遺伝子の発現	香田康年
第１０回	本能と学習と理性の関係	香田康年
第１１回	利己的行動と利他的行動	香田康年
第１２回	非血縁者間の利他行動のシンカ	香田康年
第１３回	ゲーム理論とシンカ	香田康年
第１４回	様々な対人関係心理のシンカ	香田康年
第１５回	言葉のシンカと神や幽霊を信じる心のシンカ	香田康年
第１６回	最終試験（記述式筆記試験）	香田康年

教科書			
教・書籍名１	教科書は使わない。理解に必要な資料は講義中に配布するか、スライド等で提示しながら講義する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	「進化と人間行動」	参・出版社名１	東京大学出版会
参・著者名１	長谷川寿一、長谷川眞理子	参・ＩＳＢＮ１	4－13－012032－8
参・書籍名２	「面白くて眠れなくなる生物学」	参・出版社名2	PHP文庫
参・著者名2	長谷川英祐	参・ＩＳＢＮ2	978-4-569-76860-1

授業科目名	化学				担当者	秋山　純一		
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年				ナンバリング	GE-NM-0-004		
必修・選択	選択	単位数	2単位		時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期		曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	本講義で学生は無機化学や有機化学全般の基礎的な知識の習得に重点をおき学習することができる。また、後半の講義で学生は生命活動に関連の深い天然物質やプラスチックの分類、生活に必要な薬品や化粧品等に関連する界面化学を学習することができる。学生は本講義を通じて将来の種々の職業や日常生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用することができる。
授業概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく，現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は，物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし，それらの性質，構造，反応性などを実証的に解き明かす。１８世紀後半から学問として体系付けられ，幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら，現代化学へと発展してきた。今日では，複雑で有用な物質を簡単な物質（分子）から合成するなど，私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ，暮らしを豊かに，快適にしてくれている。一方，分子という考えの導入により，生命現象を化学的に解釈できるようになり，また生命現象を遺伝しのレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では，地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は香粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学習課題の終了毎および授業の終了時に都度の問いかけし、質問を受け付けてフィードバックを実施する。試験実施実施後の質問を受け付けてフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　担当教員の公的機関や民間企業での試験や研究開発部門での勤務経験を生かし、幅広い知識や技術を授業内容に取り入れる。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。

	授業計画	担当者
第１回	原子・分子の構造	秋山純一
第２回	化学結合	秋山純一
第３回	同位体と放射能	秋山純一
第４回	周期律表	秋山純一

第５回	化学反応、結合		秋山純一
第６回	酸化と還元（反応物質）		秋山純一
第７回	酸化と還元（燃料電池他）		秋山純一
第８回	物質の分類（金属、非金属）		秋山純一
第９回	水の化学（特性、硬度、pH）		秋山純一
第１０回	有機化合物の構造分類		秋山純一
第１１回	有機化合物の置換基分類		秋山純一
第１２回	有機合成の反応分類		秋山純一
第１３回	高分子化合物（天然）		秋山純一
第１４回	高分子化合物（合成）		秋山純一
第１５回	界面の化学（洗剤、乳化）		秋山純一
第１６回	単位認定試験		秋山純一
教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリント配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	教養の現代化学	参・出版社名１	三共出版
参・著者名１	多賀　光彦／共著　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	化学	担当者	秋山　純一
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-NM-0-004

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	本講義で学生は無機化学や有機化学全般の基礎的な知識の習得に重点をおき学習することができる。また、後半の講義で学生は生命活動に関連の深い天然物質やプラスチックの分類、生活に必要な薬品や化粧品等に関連する界面化学を学習することができる。学生は本講義を通じて将来の種々の職業や日常生活に役立つ化学的な知識を取得し、その知識を応用することができる。
授業概要	今日の科学技術の進歩は目覚しく，現代の私達の豊かな暮らしは正にこの科学の進歩に支えられていると言っても過言ではない。化学は，物質の成り立ちや変遷を究明する学問で、物質を構成する原子や分子を対象とし，それらの性質，構造，反応性などを実証的に解き明かす。１８世紀後半から学問として体系付けられ，幾多の素晴らしい知見や成果を蓄積しながら，現代化学へと発展してきた。今日では，複雑で有用な物質を簡単な物質（分子）から合成するなど，私達の身の回りには化学の力で作られた物質が溢れ，暮らしを豊かに，快適にしてくれている。一方，分子という考えの導入により，生命現象を化学的に解釈できるようになり，また生命現象を遺伝しのレベルで操作することもできるようになった。これらの知見を基に生命科学の分野では遺伝子治療なども行われるようになった。しかし他方では，地球環境問題や環境ホルモンなどの新たな種々の問題がみられるようになった。本講義では基礎的な化学の知識の確認・修得に重点におき、また特に我々の生活用品や基礎医学に関連した分野も取り上げて授業を行う。 ※実務経験がある教員による授業 この科目は香粧品メーカーの研究開発の実務経験をもつ教員がその経験を活かし、将来の仕事や日常生活に実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	問題概要を事前にプリントにて予告配布するマークシート形式主体の定期試験により約９０％を評価し、残り約１０％の評価として、授業中の態度や質疑応答に関する評価点を加算する。試験やレポート課題後に授業やオフィスアワーを利用してそのフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学習課題の終了毎および授業の終了時に都度の問いかけし、質問を受け付けてフィードバックを実施する。試験実施実施後の質問を受け付けてフィードバックを実施する。
履修条件・注意事項	学習するテーマの毎にプリント(B4サイズ)を配布するので、第1回目授業からファイルを用意すること。授業中はプリントの空欄への記入及びメモを取ること。
実務経験のある教員	該当する　内容　担当教員の公的機関や民間企業での試験や研究開発部門での勤務経験を生かし、幅広い知識や技術を授業内容に取り入れる。
事前学習・事後学習とその時間	授業毎の事前に配布するプリントによる予習(1時間程度）を行うことで授業に臨むこと、また授業後に空欄を記入したプリント内容の復習(1時間程度）を行って学習内容の理解を深めること。
オフィスアワー	授業の前後の空き時間や昼休みを活用して実施。

授業計画		担当者
第１回	原子・分子の構造	秋山純一
第２回	化学結合	秋山純一
第３回	同位体と放射能	秋山純一
第４回	周期律表	秋山純一

第５回	化学反応、結合		秋山純一
第６回	酸化と還元（反応物質）		秋山純一
第７回	酸化と還元（燃料電池他）		秋山純一
第８回	物質の分類（金属、非金属）		秋山純一
第９回	水の化学（特性、硬度、pH）		秋山純一
第１０回	有機化合物の構造分類		秋山純一
第１１回	有機化合物の置換基分類		秋山純一
第１２回	有機合成の反応分類		秋山純一
第１３回	高分子化合物（天然）		秋山純一
第１４回	高分子化合物（合成）		秋山純一
第１５回	界面の化学（洗剤、乳化）		秋山純一
第１６回	単位認定試験		秋山純一
教科書			
教・書籍名１	使用しない（テーマ毎にプリント配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	教養の現代化学	参・出版社名１	三共出版
参・著者名１	多賀　光彦／共著　他	参・ＩＳＢＮ１	9.78E+12
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	人類生態学	担当者	末吉　秀二
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-NM-0-005

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１１．住み続けられるまちづくりを
到達目標	人類生態学の視点から、ヒトの環境への適応を理解することができるようになる。
授業概要	人類生態学は、個体群レベルで人間の生存をとらえ、その生業・食物・人口学的側面に関する包括的な研究から、ヒトの環境への適応を明らかにする学問分野と定義される。本講義は、①生態系のなかの人間、②人間の生存と健康、③人口からみた人間、④環境問題と人間の大テーマをブレークダウンして詳しく説明する。また、今日の環境問題や人口問題の本質について理解を深める。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	到達目標を計るため、試験（80%）、小テスト（10%）、受講態度（10%）で総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	評価のために実施した小テストは、授業でフィードバックするので試験までに見直しておくこと。
履修条件・注意事項	指定した教科書は必ず購入すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	毎回講義で指定する章を通読し、不明な点を明確にすること（予習）、不明な点が理解できたかを確認すること（復習）。
オフィスアワー	月曜日・金曜日（3限、5限）

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	末吉秀二
第２回	生態系と人類の特性	末吉秀二
第３回	人類の起源と進化	末吉秀二
第４回	生存様式の変化と多様性	末吉秀二
第５回	生業と社会	末吉秀二
第６回	身体とその機能	末吉秀二
第７回	行動の生態学	末吉秀二
第８回	栄養と健康	末吉秀二
第９回	病気の生態学	末吉秀二
第１０回	長期的な人口変化	末吉秀二
第１１回	人口指標と集団の適応	末吉秀二
第１２回	現代の人口問題	末吉秀二
第１３回	エネルギーと資源	末吉秀二
第１４回	ライフスタイルと環境	末吉秀二
第１５回	地球環境問題と人類	末吉秀二
第１６回	試験	末吉秀二

教科書			
教・書籍名１	人類生態学	教・出版社名１	東京大学出版会
教・著者名１	大塚柳太郎・河辺俊雄・高坂宏一ほか	教・ＩＳＢＮ１	4-13-052300-7
教・書籍名２		教・出版社名2	

教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-NM-0-007

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	迅速かつ的確な数的理解力の育成をテーマとして、課題に含まれる諸要素と関係性を捉え、適宜情報収集しながら課題解決の方針を見つけ、結果を導き出す力を身につける。
授業概要	数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握に関する課題を数学的かつ論理的に理解する力を身につける。具体的には、方程式や確率等の数的推理、データやグラフ等の資料解釈、論証や対応関係等の判断推理、立体図形や展開図等の空間把握に関する比較的身近な問題について考え、自ら解法を見つけ出し答えを導き出す。必要に応じて、解法を見つけ出すために必要な情報を収集する。更には、助言を適宜得ながら学生同士が教えあい学びあい、課題に対する数的理解を深める。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	数的理解力を把握するための単位認定試験（80%）、授業への積極的な参加態度（20%）をもとに総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	内容に応じて適宜指示する。
履修条件・注意事項	やむを得ず遅刻・欠席する場合は予め連絡すること。他の受講生らが迷惑に感じる言動は控えること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習と復習には各2時間を要する。時間をかけて問題に向き合い、多角的な視点や柔軟な思考を意識して予習・復習に取り組むこと。
オフィスアワー	月曜5限

	授業計画	担当者
第１回	数的推理：濃度	山本
第２回	数的推理：速さ・距離・時間	山本
第３回	数的推理：ものの値段と個数	山本
第４回	数的推理：定価・原価・利益	山本
第５回	数的推理：割合と値段	山本
第６回	数的推理：仕事算	山本
第７回	資料解釈：表の読み取り＆資料の読み取り	山本
第８回	数的推理：順列と組み合わせ	山本
第９回	数的推理：確率のとらえ方	山本
第１０回	判断推理：集合	山本
第１１回	判断推理：推論	山本
第１２回	判断推理：ものの流れと比率＆ブラックボックス	山本
第１３回	資料解釈：グラフの領域	山本

第１４回	判断推理：論証		山本
第１５回	空間把握：立体の展開図・断面		山本
第１６回	単位認定試験		山本
教科書			
教・書籍名１	2024年度版 ドリル式 SPI問題集	教・出版社名１	永岡書店
教・著者名１	柳本新二	教・ＩＳＢＮ１	9784522460122
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	数学	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	GE-NM-0-007

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	迅速かつ的確な数的理解力の育成をテーマとして、課題に含まれる諸要素と関係性を捉え、適宜情報収集しながら課題解決の方針を見つけ、結果を導き出す力を身につける。
授業概要	数的推理・資料解釈・判断推理・空間把握に関する課題を数学的かつ論理的に理解する力を身につける。具体的には、方程式や確率等の数的推理、データやグラフ等の資料解釈、論証や対応関係等の判断推理、立体図形や展開図等の空間把握に関する比較的身近な問題について考え、自ら解法を見つけ出し答えを導き出す。必要に応じて、解法を見つけ出すために必要な情報を収集する。更には、助言を適宜得ながら学生同士が教えあい学びあい、課題に対する数的理解を深める。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	数的理解力を把握するための単位認定試験（80%）、授業への積極的な参加態度（20%）をもとに総合評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	内容に応じて適宜指示する。
履修条件・注意事項	やむを得ず遅刻・欠席する場合は予め連絡すること。他の受講生らが迷惑に感じる言動は控えること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習と復習には各2時間を要する。時間をかけて問題に向き合い、多角的な視点や柔軟な思考を意識して予習・復習に取り組むこと。
オフィスアワー	月曜5限

	授業計画	担当者
第１回	数的推理：濃度	山本
第２回	数的推理：速さ・距離・時間	山本
第３回	数的推理：ものの値段と個数	山本
第４回	数的推理：定価・原価・利益	山本
第５回	数的推理：割合と値段	山本
第６回	数的推理：仕事算	山本
第７回	資料解釈：表の読み取り＆資料の読み取り	山本
第８回	数的推理：順列と組み合わせ	山本
第９回	数的推理：確率のとらえ方	山本
第１０回	判断推理：集合	山本
第１１回	判断推理：推論	山本
第１２回	判断推理：ものの流れと比率＆ブラックボックス	山本
第１３回	資料解釈：グラフの領域	山本

第１４回	判断推理：論証		山本
第１５回	空間把握：立体の展開図・断面		山本
第１６回	単位認定試験		山本
教科書			
教・書籍名１	2024年度版 ドリル式 SPI問題集	教・出版社名１	永岡書店
教・著者名１	柳本新二	教・ＩＳＢＮ１	9784522460122
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	韓国地域社会	担当者	李　分一
配当学科・研究科	2017～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2017～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会2年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2018～ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	SS-BU-2-305

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年 / 2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	地域研究を学ぶ理由は、地域の安定（平和）と繁栄にある。分裂国家・韓国は、北朝鮮と並んで、日本の隣国である。そして日本は、隣国として朝鮮半島との平和的な共存・共生の関係を保つ必要がある。すなわち、様々なグローバルな課題と地域問題が交差する今日のグローバル社会では、特に日本と朝鮮半島との良好な関係を必要とするのである。この講義を受講すれば、韓国と周辺隣国に関する客観的・総合的な知識の習得とともに、国際地域問題に関する総括力・発表力が身に付けられる。
授業概要	世界の地理上には、大小の様々な国家や地域が共存・共生している。それらは自然的、人文社会的な特徴を持ちながら、歴史的な経験を経て現在の国家・地域を形成している。韓国も例外ではない。地域の自然環境や社会環境における様々な地理的事情を有機的に結合して考察することにより、その地域の特色・性格を明らかにする。また、この講義では、戦後韓国社会における産業化や民主化過程を具体的な事例を取り上げて説明する。この科目を受講することにより、地理的な見方・認識の手法を学び取り、韓国などの異文化社会の理解や国際理解を深めることができる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／ディベート／プレゼンテーション
評価方法と割合	定期試験（80%）、提出物（10%）、授業態度（10%）等によって評価する。提出物などは、授業でフィードバックを行うので、その提出物などの内容を明確に学習しなければならない。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業時間やオフィスアワーを利用してフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	（1）授業後には、授業内容に関するミニレポートを提出しなければならない。 （2）単位認定試験を行うので、必ず受けることが必要である。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	（1）参加型授業であるために、受講生には事前課題を調べた上で、参加すべきである。授業は、この課題をめぐって行う。 （2）受講生の予習（30時間）と復習（30時間）のために、トピック別の宿題とレポートを課す。
オフィスアワー	毎週水曜日5時限目（9304研究室）

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	李　分一
第２回	韓国という国	李　分一

第３回	韓国の歴史（民族と国家）	李　分一
第４回	韓国民主主義の位相と行方	李　分一
第５回	韓国民主主義の制約	李　分一
第６回	解放前の要因	李　分一
第７回	解放後の要因	李　分一
第８回	韓国の権威主義体制	李　分一
第９回	民主化・人権擁護運動	李　分一
第１０回	1980年代の韓国	李　分一
第１１回	1980年代の政治体制	李　分一
第１２回	190年代の民主化運動	李　分一
第１３回	1990年代の民主化運動	李　分一
第１４回	韓国政治社会の新潮流	李　分一
第１５回	韓国の民主主義と市民社会	李　分一
第１６回	単位認定試験	李　分一

教科書			
教・書籍名１	プリント使用	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	発達心理学	担当者	宇都宮　真輝
配当学科・研究科	2018年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2018年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年／ 2017年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	PS-PS-1-307

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに
到達目標	テーマは、様々な視点から人間の発達過程について理解することである。そのために、身体、脳、感情、認知、人間関係の発達など、様々な観点から人間の発達を分析し、理解するための知識を身に付けられるようになることを到達目標とする。
授業概要	胎児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期の各時期における発達の様相や発達課題について様々な観点から学習する。また、各発達段階における臨床的問題についても学習し、心理的援助についての考察も深める。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	評価は、受講態度（10%）、小テスト・レポート（30%）、期末試験（60%）とし、総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テスト、レポートは授業時間内に答え合わせやフィードバックを行う予定。
履修条件・注意事項	積極的かつ真摯な態度で授業に臨むこと。 事前に各回の内容について伝達するので、予習を行うこと。小テストなども行うので、自身の習熟度を確認し、復習を欠かさないこと。
実務経験のある教員	該当する　内容　臨床心理士、公認心理師の資格を有しており、心理相談室、学生相談、スクールカウンセリングにおける実務経験あり。
事前学習・事後学習とその時間	予習として次回の内容について教科書を読んでくること。授業で学習し、ノートにまとめた内容について復習してくること。次回の授業時に口頭で質問したり、小テスト等で確認します。予習・復習には、1－2時間程度を要する。
オフィスアワー	研究室にて、火曜日4時限に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	宇都宮
第２回	ライフサイクルについて	宇都宮
第３回	胎児期	宇都宮
第４回	新生児期	宇都宮
第５回	乳児期：愛着の形成	宇都宮
第６回	乳児期：言葉の発達	宇都宮
第７回	幼児期：表象の獲得	宇都宮
第８回	幼児期：社会性の発達	宇都宮
第９回	児童期：有能感と劣等感	宇都宮
第１０回	児童期：学校への適応・いじめ	宇都宮

第１１回	青年期前期	宇都宮	
第１２回	青年期後期	宇都宮	
第１３回	青年期の病理	宇都宮	
第１４回	成人期	宇都宮	
第１５回	まとめ	宇都宮	
第１６回	期末試験（筆記試験）	宇都宮	
教科書			
教・書籍名１	よくわかる発達心理学	教・出版社名１	ミネルヴァ書房
教・著者名１	無藤隆・岡本祐子・大坪治彦（編）	教・ＩＳＢＮ１	978-4-623-05379-7
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	保育の心理学Ⅰ	担当者	森井　康幸
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2017～ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 子ども2年／2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	PS-CE-2-213

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年 / 2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／５．ジェンダー平等を実現しよう／１１．住み続けられるまちづくりを／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	発達は人と人の関わりのなかで生じていることを中心に、乳幼児の保育や幼児教育を行っていくうえで必須となる子どもの心身発達の基礎となる心理学的知見を学ぶことをテーマとする。 到達目標：子どもの生得的なすばらしい能力とその発達過程を理解し、子どもに対する興味・関心を高め、より多面的に理解できるようになる。
授業概要	保育実践における子どもの発達理解の意義について学ぶとともに、発達に関わる心理学の基礎を習得し、子どもへの理解を深める。また、子どもの発達に関わる他者との関わり、社会的相互作用等についても理解する。さらに、生涯発達の観点から発達のプロセスや初期経験の重要性について理解し、保育実践との関わりについて考察する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	ほぼ隔週で行う小テストまたはミニ・レポートの得点（３０％）と定期試験の得点（７０％）に、受講態度の評価点（０～１）を乗じたもので評価する。したがって、テストで満点であっても、受講態度の評価点が 0.5 の場合は100点×0.5で50点となるので注意すること。小テストは採点後、返却するので、定期試験に向けて、しっかり見直しておくこと。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	小テストの返却と、必要に応じて補足解説を行う。
履修条件・注意事項	上述のように、ほぼ隔週で小テストを行なうので、最低限、教科書の該当箇所を熟読しておくこと。 小テストは前回の授業内容の復習テスト、あるいは当日の授業内容の理解テストを中心に行なう予定である。 保育士の資格取得には必須科目である。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習としては、あらかじめテキストに目を通しておくこと。（2時間） 復習は、配付資料とともに、再度テキストを読むこと。（2時間） 返却された小テストも確認しておくこと。
オフィスアワー	月曜4限　　教員研究室

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	森井
第２回	発達を考える（第1章）	森井
第３回	人との関わりの基盤	森井

第４回	子ども同士の関わりの進展	森井
第５回	身体的機能と運動機能の発達－個人差と環境－	森井
第６回	運動機能の発達と心理的発達との関連	森井
第７回	ピアジェ理論とその再検討	森井
第８回	世界づくりの開始―認知発達の基盤	森井
第９回	世界づくりの展開―身の回りの世界についての理解の構成	森井
第１０回	言語発達の基礎―人との関わりから育まれる言葉	森井
第１１回	言語を使った世界の広がり	森井
第１２回	乳幼児期の学びに関わる理論	森井
第１３回	乳幼児期の学びの過程と特性	森井
第１４回	乳幼児期の学びを支える保育	森井
第１５回	まとめ	森井
第１６回	定期試験	森井

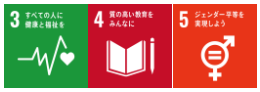
教科書			
教・書籍名１	保育の心理学	教・出版社名１	北大路書房
教・著者名１	藤﨑 眞知代・無藤 隆	教・ＩＳＢＮ１	978-4-7628-3152-2
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	エピソードで学ぶ　乳幼児の発達心理学	参・出版社名１	新曜社
参・著者名１	岡本依子・菅野幸恵・塚田-城みちる	参・ＩＳＢＮ１	978-4-7885-0907-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	対人関係論	担当者	栗田　喜勝
配当学科・研究科	2017～ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／2017～ 2018年度 吉備国際大学 心理学部 子ども3年／2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2017～ 2020年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2017～ 2018年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2017～ 2021年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	PS-CE-3-219

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年 / 3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	３．すべての人に健康と福祉を／４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう 
到達目標	「社会における人と人との相互作用」と「社会的適応」をテーマとして、人々の具体的な日常生活場面における対人行動の特徴を理解することにより、よりよい人間関係のあり方について考察を深めることができるようになる。
授業概要	心理学は一般的に「行動の科学」として認知されているが、その研究アプローチは多岐にわたる。中でも個人心理学は、環境との相互作用を行う個体（個人）に注目して知覚や感情、思考などについて科学的に究明してきたが、社会心理学は、個人と他者よの相互作用の観点から、社会の中の個人の行動を科学的に理解しようとする学問体系であるといえる。そこで本講では、個人、集団に影響を及ぼす種々の心理的要因について具体的に取り上げ考察する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	受講態度(質疑・意見表明等の有無）（４０％）・期末試験（６０％）で総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業中に呈示する自主学修課題については、学修の進展に資するために、見極め評価結果をフィードバックするので参考にすること。
履修条件・注意事項	主体的、積極的に参加すること。 授業の中で使用する各種の資料や心理テスト類をファイルにより呈示するので受講の前にあらかじめよく目を通し（予習）、授業後は内容を確認し整理し（復習）、以後の学習に活用してほしい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	１）事前にファイル呈示する資料に十分目を通して、毎回2時間以上の事前学修を行い授業に参加すこと。 ２）毎回授業時には前回の学修内容を確認し、資料中の事項について質疑応答形式で進めるので、積極的な　参加と事前の準備、授業後 の振り返り(2時間以上の事後学修)が必要である。 ３）単位認定試験には、毎回の質疑応答内容を含めるので、予習復習の学修成果が大切である。
オフィスアワー	個人研究室にて、基本的には木曜日4限、金曜日5限にPCオンライン・電話・メール等で実施するが、必要に応じて他の曜日時間帯にも随時対応する。

	授業計画	担当者
第１回	心理学と社会心理学	栗田喜勝
第２回	社会心理学の対象と研究方法について	栗田喜勝
第３回	社会的認知について	栗田喜勝
第４回	社会的相互作用について	栗田喜勝

第５回	社会的欲求と適応行動について	栗田喜勝
第６回	人間関係とストレス	栗田喜勝
第７回	人間関係とフラストレーション	栗田喜勝
第８回	人間関係と認知	栗田喜勝
第９回	印象形成について	栗田喜勝
第１０回	人間関係と感情	栗田喜勝
第１１回	社会的態度と行動について	栗田喜勝
第１２回	社会的態度（１）ステレオタイプ	栗田喜勝
第１３回	社会的態度（２）偏見	栗田喜勝
第１４回	態度変容について	栗田喜勝
第１５回	学修のまとめ	栗田喜勝
第１６回	期末試験	栗田喜勝

教科書			
教・書籍名１	初回講義時および毎講義時に授業用資料をファイルにより呈示する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ワークショップ人間関係の心理学	参・出版社名１	ナカニシヤ出版
参・著者名１	藤本忠明他編著	参・ＩＳＢＮ１	4-88848-833-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	美術史A			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-101		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は、「美術史について広く学ぶ」をテーマとして、自分なりの考えを持ち芸術について語ることができるようになる。日本や世界の伝統文化を学ぶことは、同時に日本の歴史文化及び地域の歴史文化を学ぶことであり、日本美術と、中国、韓国や西洋の芸術作品や文化を比較しながら、広く芸術の意味について学習する。またアニメーションと美術史の関係について考察する。 学生は、美術史上の具体的な例を挙げながら、芸術作品に対する考えを発表できるようになることを到達目標とする。
授業概要	具体的な芸術作品を例に挙げながら、作品の意味と時代背景について考察し、日本美術と東洋や西洋の芸術について概観する。また自分で選んだ芸術作品について考えをま とめ発表し、討論の中で深める。特にアニメーションに関わる文化について理解を深める。芸術の世界は広いので、積極的に授業での討論に参加することで様々な意見を理解することが重要である。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート（６０点）、 到達目標達成度を見る期末試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、芸術作品について検索などで予習を行うことが必要である。また積極的に討論に参加するために前回のノートなどをもとに復習を行うことが重要である。中間発表では、自分の視点で作品を解説できることが重要である。期末試験では、到達目標の理解度を見るため十分な復習が必 要である。 初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	美術に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	アニメーションと北斎漫画	前嶋英輝
第２回	縄文・弥生・古墳時代の美術	前嶋英輝
第３回	日本とシルクロードの美術	前嶋英輝
第４回	飛鳥時代と渡来美術	前嶋英輝
第５回	白鵬・天平時代と仏教美術	前嶋英輝
第６回	平安～鎌倉時代の美術	前嶋英輝
第７回	室町～安土桃山時代の美術	前嶋英輝
第８回	日本とギリシャ・ローマの美術	前嶋英輝
第９回	日本とルネッサンスの美術	前嶋英輝
第１０回	日本美術と黄金比・遠近法	前嶋英輝
第１１回	美術史とアニメーションの設定	前嶋英輝
第１２回	美術史とアニメーションのデザイン	前嶋英輝

第１３回	美術史とアニメーションの背景美術	前嶋英輝	
第１４回	近代日本美術とアニメーション	前嶋英輝	
第１５回	芸術とアニメーション	前嶋英輝	
第１６回	単位認定試験	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１	概説日本美術史	参・出版社名１	吉川弘文館
参・著者名１	町田甲一	参・ＩＳＢＮ１	978-4642072229
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	美術史B			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-102		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	学生は、「美術史について広く学ぶ」をテーマとして、自分なりの考えを持ち芸術について語ることができるようになる。世界の伝統的な美術を学ぶことは、同時に日本の歴史文化及び地域の歴史文化を学ぶことである。世界の芸術作品や文化を比較しながら、広く芸術の意味について学習する。アニメーションと美術史の関係についても考察する。 学生は、美術史上の具体的な例を挙げながら、芸術作品に対する考えをまとめることを到達目標とする。
授業概要	具体的な芸術作品を例に挙げながら、作品の意味と時代背景について考察し、西洋美術と東洋美術について概観する。また自分で選んだ芸術作品について考えをま とめ発表し、討論の中で深める。特にアニメーションに関わる文化について理解を深める。芸術の世界は広いので、積極的に授業での討論に参加することで様々な意見を 理解することが重要である。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、芸術について理解し自分の視点で鑑賞できる能力を身につけることを目的としていることから、発言を含む毎回のレポート（６0点）、 到達目標達成度を見る期末試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、芸術作品について検索などで予習を行うことが必要である。また積極的に討論に参加するために前回のノートなどをもとに復習を行うことが重要である。中間発表では、自分の視点で作品を解説できることが重要である。期末試験では、到達目標の理解度を見るため十分な復習が必 要である。 初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	美術に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。　1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	アニメーションと美術	前嶋英輝
第２回	北斎漫画	前嶋英輝
第３回	浮世絵	前嶋英輝
第４回	水墨画	前嶋英輝
第５回	中国と韓国の絵画	前嶋英輝
第６回	シルクロード美術	前嶋英輝
第７回	オリエント美術	前嶋英輝
第８回	ギリシャ・ローマ美術	前嶋英輝
第９回	ヨーロッパの中世	前嶋英輝
第１０回	ルネッサンス	前嶋英輝
第１１回	バロック・古典主義	前嶋英輝
第１２回	印象派	前嶋英輝
第１３回	西洋と日本の近代	前嶋英輝

第１４回	現代美術	前嶋英輝	
第１５回	芸術とアニメーション	前嶋英輝	
第１６回	単位認定試験	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	概説日本美術史	参・出版社名１	吉川弘文館
参・著者名１	町田甲一	参・ＩＳＢＮ１	978-4642072229
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	古代西洋文藝講読	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-103

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	古代ギリシャのホメロス以来の西洋文藝は長い伝統をもち、古くから読み継がれてきた。のみならず絵画や映画など他のジャンルにも題材を提供してきた。この講義ではホメロス作品以降の古代ギリシャ、ローマのいくつかの作品を日本語訳を通じて読みながら解説する。これにより学生は将来の作品制作や批評に資する豊富な文藝の資源を所有することができる。
授業概要	古代ギリシャではホメロス作品のイリアス、オデュッセイア、悲劇詩人アイスキュロスのオレステイア三部作、ソフォクレスのエレクトラとフィロクテテス、エウリピデスのエレクトラを読む。古代ローマではウェルギリウスのアエネイスとオウィディウスの変身物語を読む。また可能な限り、絵画や映画の題材となっている例を紹介する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題(50%)、定期試験(50%)。毎回、復習用に課題を出すので次回授業で講評する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については交替で発表をおこなってもらい、ほかの学生からのコメントを求め、これについて教員が論評する。試験については返却時に教員がコメントを附す
履修条件・注意事項	テクストは購入するか図書館で借りてきちんと読むこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	授業中に扱う範囲はテクストのさわりに限られるので、必ず予習で指定された範囲全部を読んでくること(90分)。また授業での解説を聞いた後の復習で、範囲全部を読み直すこと(90分)。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	『イリアス』第1-6巻	山本
第２回	『イリアス』第7-12巻	山本
第３回	『イリアス』第13-18巻	山本
第４回	『イリアス』第19-24巻	山本
第５回	『オデュッセイア』第1-6巻	山本
第６回	『オデュッセイア』第7-12巻	山本
第７回	『オデュッセイア』第13-18巻	山本
第８回	『オデュッセイア』第19-24巻	山本
第９回	アイスキュロス『アガメムノン』	山本
第１０回	アイスキュロス『コエフォロイ』と『エウメニデス』	山本
第１１回	ソフォクレス『エレクトラ』	山本
第１２回	ソフォクレス『フィロクテテス』	山本
第１３回	エウリピデス『エレクトラ』	山本
第１４回	ウェルギリウス『アエネイス』1-6	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	

教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	近代西洋文藝講読			担当者	山本　敦之		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-104		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	近代西洋文藝は古代西洋文藝の伝統を受け継ぎながら、新たな伝統となり、読み継がれてきた。また映画など他のジャンルにも題材を提供してきた。この講義では古典中の古典であるセルバンテスやシェークスピアの作品の一部、その後19世紀までのいくつかの古典的作品を日本語訳を読みながら解説する。これにより学生は将来の作品制作や批評に資する豊富な文藝の資源を所有することができる。
授業概要	セルヴァンテス、シェークスピアからミルトン、スウィフト、ゲーテ、ホフマン、ユーゴー、メリメ、ディケンズ、ドストエフスキー、メルヴィルといったスペイン、イギリス、ドイツ、フランス、アメリカの作家の代表的作品の一部または全部を読む。その際、厖大なこれらの作品についての研究から選択したいくつかのものを参考にする。また、映像作品にかかわりのあるものについては特に言及する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題(50%)、定期試験(50%)。復習用に課題を提示するので、これに対して講評をおこなう。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	復習用に課題を提示するので、これに対して講評をおこなう。
履修条件・注意事項	テクストは購入するか図書館で借りてきちんと読むこと。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	授業中に扱う範囲はテクストのさわりに限られるので、必ず予習で指定された範囲全部を読んでくること(90分)。また授業での解説を聞いた後の復習で、範囲全部を読み直すこと(90分)。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	セルバンテス『ドン・キホーテ』緒言と第1巻	山本
第２回	シェークスピア『ハムレット』	山本
第３回	シェークスピア『真夏の夜の夢』	山本
第４回	ミルトン『失楽園』第1巻	山本
第５回	スウィフト『ガリヴァー旅行記』第3篇	山本

第６回	ゲーテ『ファウスト』第1部	山本
第７回	ホフマン『黄金の壺』	山本
第８回	ユーゴー『ノートルダム・ド・パリ』第1-6篇	山本
第９回	ユーゴー『ノートルダム・ド・パリ』第7-12篇	山本
第１０回	ユーゴー『レ・ミゼラブル』第1部	山本
第１１回	メリメ『カルメン』	山本
第１２回	メリメ『イールのヴィーナス』	山本
第１３回	ディケンズ『デイヴィッド・コッパーフィールド』	山本
第１４回	ドストエフスキー『カラマーゾフの兄弟』	山本
第１５回	メルヴィル『白鯨』	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	産業と技術の歴史			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-107		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	技術と社会・経済・規範などが相互作用して、どのように私たちの生きる世界を形成してきたか、人物を中心にして学び、今後の自 分自身の職業選択や将来の生き方を考察できる知識と基礎的能力を習得する。とくに、今年度は、コンピュータと、インターネット、コンピュータグラフィクス（CG)の歴史に焦点を当てて、現代の私たちが活用するテクノロジーがどのように社会・経済・規範などと相互作用しつつ登場したかを理解する。 到達目標は、学生が次の３つのことができるようになることである。 １．技術者という人物を中心に見ることで、現代社会における産業・技術とそれを取り巻く制度のあり方が、いかにして歴史的に生 成してきたものか理解できる。 ２．コンピュータの誕生から現代のインターネットや映像技術に至るICTおよびICT産業の歴史を概括的に把握できる。とくに、世界史・日本史上の出来事と連関させて理解できる。 ３．上記の２点を踏まえ、現代の科学・技術・産業の変化について、　自分自身の職業選択や将来の生き方と関連させて考察できる。
授業概要	コンピュータと、インターネット、コンピュータグラフィクス（CG)の産業と技術の歴史について、代表的な企業家・技術者などの活躍を通して、その成り立ちを学ぶ。技術の歴史は、ある社会的・技術的文脈の中で人々が創造し、つくりあげてきたものである。どのような社会や技術の状態があってある人物の人間形成や科学技術的知識の習得が行われ、彼らのどのような活躍によって、産業や技術が構築されてきたのか学ぶ。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえでの意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	授業における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度を30%の重みづけで評価する（受講態度）。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの３つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式ですが、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：授業内で指定する参考書および配布資料の指定部分を読んできてください。約2時間。 復習：授業終了後にアップロードするスライドを見て、授業内容を再度振り返ってください。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	ケータイ・スマホサービスと携帯電話産業の歴史（日本編）	大谷
第３回	ケータイ・スマホサービスと携帯電話産業の歴史（世界編）	大谷
第４回	誰がコンピュータを発明したか	大谷

第５回	コンピューティングの歴史概説：ENIACからiPadまで	大谷	
第６回	真空管・トランジスタからICまで：コンピュータの要素技術の発展	大谷	
第７回	パーソナルコンピュータの誕生（１）マイクロプロセッサ登場	大谷	
第８回	コンピュータの誕生からインターネット勃興期まで（視聴覚教材）	大谷	
第９回	パーソナルコンピュータの誕生（２）パーソナルコンピュータ産業の誕生	大谷	
第１０回	パーソナルコンピュータの誕生（３）MacintoshとPCの発展	大谷	
第１１回	インターネットの歴史概説：ARPANETからソーシャルネットワーキングサービスまで	大谷	
第１２回	インターネットビジネスの興亡：サーチエンジン・EC・ソーシャルネットワーキングサービス	大谷	
第１３回	映像とコンピュータの技術史	大谷	
第１４回	映像とコンピュータの産業史	大谷	
第１５回	まとめ	大谷	
第１６回	筆記試験（オンライン試験も検討中）	大谷	
教科書			
教・書籍名１	適宜レジュメを配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	コンピュータって: 機械式計算機からスマホまで	参・出版社名１	東洋経済新報社
参・著者名１	ポール・E.セルージ	参・ＩＳＢＮ１	978-4492762134
参・書籍名２	コンピューティング史：人間は情報をいかに取り扱ってきたか	参・出版社名2	共立出版
参・著者名2	Martin Campbell Kelly, William Aspray, Nathan Ensmenger, Jeff rey R Yost著、杉本舞監訳,喜多千草・宇田理訳	参・ＩＳＢＮ2	978-4320124691

授業科目名	デジタルメディアと社会	担当者	大谷　卓史
配当学科・研究科	2018～ 2021年度 吉備国際大学 心理学部 心理1年／ 2018～ 2020年度 吉備国際大学 心理学部 子ども1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 看護1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 理学1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業1年／ 2018年度 吉備国際大学 保健医療福祉学部 社福1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 経営社会1年／ 2018～ 2021年度 吉備国際大学 社会科学部 スポ社1年／ 2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化1年	ナンバリング	AN-AN-1-108

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	映像をもとに、現代の情報技術とコミュニケーションをめぐる倫理的問題について学ぶ。 現代は、情報技術が広く社会に浸透し、人びとのコミュニケーションと行為を媒介する情報社会である。また、現代の情報技術はデジタルコンピューティングをベースとしているので、現代の社会はデジタル技術とデジタルメディアを行為とコミュニケーションの基盤とする社会と見ることができる。 本講義は、デジタルメディアを媒介とする行為・コミュニケーションの性質を理解し、これらの行為･コミュニケーションにおける規範がどのようなものであるべきか構想するために必要な情報倫理学の基本的な考え方を学ぶ。 到達目標は、学生が次の３つのことができるようになることである。 １．デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションの性質を理解できるようになる。 ２．倫理学の基本的な考え方とその枠組みを理解できるようになる。 ３．デジタルメディアが媒介する行為やコミュニケーションにおいて、どのような法的・倫理的問題が生じる可能性があるか理解できるようになる。 ラーニングアウトカムは、「デジタルメディアと情報社会の理解」および「デジタル社会への参加態度」である。
授業概要	現代において、デジタルメディアが媒介する私たちの行為とコミュニケーションにかかわる諸問題について、仮想的事例や現実の事例から学ぶ。これらの諸問題に対する基本的なアプローチには、1980年代以降に発展してきた情報倫理学の考え方と枠組みを活用する。 具体的実例を通して、現代の生活や社会のさまざまな局面における情報技術の働きを知るとともに、情報技術が基盤となる現代社会における情報とコミュニケーションの倫理的問題について考察する。授業では適宜映像作品やドキュメンタリー、講演・シンポジウムの映像記録などを活用して、現代的問題を考察できるようにする。 講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえでの意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を30%の重みづけで評価する（受講態度）。また、課題等の提出物10%、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの３つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィード	授業課題に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって

バック方法	（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式の場合も、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対して、次のように予習・復習をおこなうこと。 予習：レジュメ等の資料を配布するので、指示に従って予習すること。約2時間。 復習：授業内容と資料を要約し、授業内で提示された課題について自分自身で考え回答する。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	なぜ情報倫理が必要なのか	大谷
第３回	倫理とは何だろうか（１）倫理学と倫理・倫理学で使われる言葉	大谷
第４回	倫理とは何だろうか（２）倫理学の基本的な立場	大谷
第５回	グーグル革命（ビデオ教材）視聴と解説	大谷
第６回	サーチエンジンの倫理	大谷
第７回	ソーシャルネットワーキングサービス	大谷
第８回	フェイクニュースと情報の信頼	大谷
第９回	プライバシーの基礎	大谷
第１０回	個人情報保護制度とその思想	大谷
第１１回	監視と見守り	大谷
第１２回	著作権の法・技術・ビジネス	大谷
第１３回	AI・ロボットの倫理	大谷
第１４回	バーチャルリアリティー	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	筆記試験（オンライン試験機能利用も）	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	改訂新版　情報倫理入門	参・出版社名１	アイ・ケイコーポレーション
参・著者名１	土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著	参・ＩＳＢＮ１	4874923240
参・書籍名２	AIの倫理学	参・出版社名2	丸善出版
参・著者名2	クーケルバーグ著、直江清隆訳者代表	参・ＩＳＢＮ2	978-4621305881

授業科目名	広告原理			担当者	伊藤　博則		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-109		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	テーマ：広告＝マーケティング・コミュニケーション、さらにその上位の経営戦略・マーケティング戦略に関する基本的で実践的な知識を身につける。 到達目標：学生は、マーケティング戦略を理解することで、各種広告＝マーケティング・コミュニケーションの企画立案が出来る。
授業概要	広告＝マーケティング・コミュニケーションは、経済活動の潤滑油です。各企業・団体の活動において欠かせない事業活動です。しかし、広告＝マーケティング・コミュニケーション活動は、メディア環境や経済環境、消費者意識の変遷により、日々変化してきています。 また、広告＝マーケティング・コミュニケーションには、経済的な側面だけではなく、エンターテイメントとしての文化的側面、さらにはその影響力の大きさから社会的側面も有しています。 この講義では、広告＝マーケティング・コミュニケーションの変遷を振り返るとともに、経営戦略（事業戦略）・マーケティング戦略のあり方と、それに基づく広告＝マーケティング・コミュニケーションの企画制作の実作業について、事例を用いながら解説いたします。 毎回実際のテレビコマーシャルや各種広告、動画コミュニケーションの実例を用いながら解説し、その理解を深めていきます。
アクティブラーニングの内容	反転授業／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	メディアの位置づけを理解した上で、マーケティング戦略からコミュニケーション計画、表現制作に至るプロセスの習得度・理解度・発想力を評価する最終レポートウェイト50%、毎回授業の理解度と授業レポートにより評価する提出物ウェイト40%、授業態度ウェイト１０％
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	毎授業の課題レポートについては、質問欄を設け、次回授業にて質問への回答を行うとともに、レポート内容についてもコメントを行う。
履修条件・注意事項	日常的にインターネット広告・動画広告・テレビコマーシャルや新聞・雑誌広告に意識して接し授業に臨む。毎回授業レポートに各自で学んだポイントとそこから気づいたことをまとめ、質問事項等を記載の上提出する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この授業は広告会社、出版会社、さらには企業の広告広報セクションにて、広告・出版実務を経験さらには現在実践している教員が実例に基づき実践的な授業を実施するものです。
事前学習・事後学習とその時間	１）毎回次回までの課題を出し、予習復習については各2時間程度行うこと。 ２）毎回授業で学んだこと気づいたこと、授業内容への質問を作成する。 ３）全般知識確認のための筆記試験 を行う。
オフィスアワー	授業終了後に、教室にて行う。

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス～広告とは何か	伊藤
第２回	日本の広告の歴史（江戸時代～戦前）	伊藤
第３回	日本 の広告の歴史（戦後～昭和40年代）	伊藤
第４回	日本の広告の歴史（昭和50年代 ～現在）	伊藤
第５回	広告と広報	伊藤

第６回	広告とマーケ ティングの関係（マーケティング戦略）	伊藤	
第７回	ブランディングとは（企業ブランディングと商品ブランディング）	伊藤	
第８回	広告メディア-マス・メ ディアの特性	伊藤	
第９回	新たなメディア-ITメディアの台頭	伊藤	
第１０回	広告ビジネスに関わる会社と仕事	伊藤	
第１１回	実践に学ぶ広告計画の立案	伊藤	
第１２回	実践に学ぶ広告制作の流れ	伊藤	
第１３回	広告効果測定と広告に関する規制	伊藤	
第１４回	広告の周辺業務-プロモーション・商品開発など	伊藤	
第１５回	これからの広告（デザイン思考の重要性）	伊藤	
第１６回	最終レポート提出	伊藤	
教科書			
教・書籍名１	毎回授業資料をアップ	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	この1冊ですべてわかる 新版 広告の基本	参・出版社名１	日本実業出版社
参・著者名１	波田浩之	参・ＩＳＢＮ１	978-4534055804
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	ジャーナリズム論			担当者	竹内　健		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-110		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／２．飢餓をゼロに／１０．人や国の不平等をなくそう／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	メディア環境が急速に多様化する中、主に新聞を中心とする伝統的ジャーナリズムの役割について基礎的な理解を深める。達意の文章と言われる新聞記事の特徴を知り、文章を書くこつを学ぶ。就職活動のエントリーシートづくりや、社会人になって企画書を担当する際にも役立てられるようにする。
授業概要	新型コロナウイルス感染拡大や、京都アニメーション事件を巡る報道など、今日的なジャーナリズムの話題を提供するが、できるだけ肩の凝らない授業にしたい。自分自身がジャーナリストになったと仮定し、報道の現場でどのような行動を取るかを話し合う。作家らの文章、詩を読んで感想文を書き、文章力を磨く。授業担当者は大学でジャーナリズムを専攻した。山陽新聞社に勤務し、30年以上、取材・執筆をしてきた。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	授業に対する態度が積極的かどうか（30%）、レポートの取り組みはどうか（40%）、他人に迷惑を掛けずに受講しているかどうか（30%）ーなどで評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業で課したレポートの結果は、後日の授業で示す。
履修条件・注意事項	新聞に関わらずインターネット、テレビ、ラジオ、映画、アニメ、雑誌、音楽などメディア全般に興味関心のある人を対象とする。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	SNS以外のツール（例えば新聞を読む）からも、情報を得る習慣を付けてみて下さい。大学の図書館などを利用して新聞を読み、テレビなどのニュース番組にも接して下さい。予習・復習には各2時間程度を当てて下さい。
オフィスアワー	授業終了後に教室にて。

授業計画		担当者
第１回	ジャーナリズムの定義について。鶴見俊輔の「ジャーナリズムの思想」を参考に。	竹内
第２回	文章の書き方。新聞記事の特徴。社会人になって企画書を書くときに新聞記事を利用する。	竹内
第３回	地方紙について、その１。東日本大震災と岩手県・大槌新聞の取り組み。	竹内
第４回	地方紙について、その２。秋田魁新報社のスクープ。	竹内
第５回	地方紙について、その３。沖縄県の新聞記者たち。	竹内
第６回	京都アニメーション事件を巡る報道について、その１。	竹内
第７回	京都アニメーション事件を巡る報道について、その２。	竹内
第８回	津波を撮ったカメラマンについて。	竹内
第９回	ユージン・スミスとＭＩＮＡＭＡＴＡ、その１。	竹内
第１０回	ユージン・スミスとＭＩＮＡＭＡＴＡ、その２。	竹内
第１１回	中村哲とアフガニスタン、その１。	竹内
第１２回	中村哲とアフガニスタン、その２。	竹内
第１３回	中村哲とアフガニスタン、その３。	竹内
第１４回	オバマ氏の広島訪問。	竹内
第１５回	近藤宏一と青い鳥楽団の活動。	竹内
第１６回	レポート試験。	竹内

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じてプリントを配布します）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	

教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	メディア用語基本事典	参・出版社名１	世界思想社
参・著者名１	渡辺武達・金山勉・野原仁	参・ＩＳＢＮ１	9784790717324
参・書籍名２	天、共に在り　アフガニスタン三十年の闘い	参・出版社名2	ＮＨＫ出版
参・著者名2	中村哲	参・ＩＳＢＮ2	9784140816158

授業科目名	メディア倫理学			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-111		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	情報通信技術（ICT）にもとづくサービス提供者として、また、情報社会を構築・維持する市民・国民として必要とされる情報倫理学に関する知識と考え方を身につけることが、本授業のテーマである。 プライバシーバイデフォルト（PbD）など、ICTに関しては、設計・企画段階から価値や倫理に配慮した設計（VSD: Value Sensitive Design）を行い、サービス提供することが常識となりつつある。また、ICTが広く浸透した社会、すなわち情報社会においては、たえず進歩を続けるICTによって既存の法・慣習では判断できない「指針の空白」が常に生じる可能性があり、社会・政治・経済活動に取り組む市民・国民には情報倫理学的思考が求められる。 本授業においては、とくにメディアの発信者（アニメ制作者・ゲームクリエイター・ウェブデザイナーなど）およびメディアの受け手の立場から、ICTとメディアのかかわる倫理的問題について考察する。 本授業の到達目標は、学生が下記のことをできるようになることである。 １．情報倫理学の思考の前提となる倫理学の基本的な枠組み・考え方を理解できるようになる。 ２．現代から近未来における情報倫理学の重要な論点が何であるか理解できるようになる。 ３．具体的な問題に対して、情報倫理学的志向を適用し、自分なりの意見を述べることができるようになる。 ４．情報社会のあり方を考察しルールを形成する議論に参加できる知識と考え方の基本を理解できる。 本授業のアウトカムは、「ICTまたはメディアと法・倫理に関する基本的な知識」と「自ら考え論理的思考に基づいて判断する能力」、「合意形成による問題解決の基本的能力」である。
授業概要	講義とディスカッションを通じて、倫理学の基本的な枠組み・考え方を理解したうえで、現代から近未来にかけて重要な課題となる情報倫理学の論点について、具体的な問題を通じて考察し、情報社会のルール構築への見通しを得ることを目標とする。 授業においては、倫理学・情報倫理学の基本的な概念、枠組みに関して講義によって解説を行ってから、具体的問題について、ディスカッションと解説を通じて、情報社会のルール構築のための基本的な知識と技能を磨く。 また、毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえでの意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。 拙著『情報倫理』で取り上げるトピックスや論点も紹介・解説し、理解を深める。 教科書は指定しないが、配布するプリントや参考書等を読み、予習することを求める。 また、授業内容とあわせて配布プリントと参考書を読み直すことで復習をすること。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	受講態度・授業における発言と応答（30点）＋課題提出状況（10点）＋試験（60点）。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式の場合も、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：指定する文献や配布資料等を読んできてください。約2時間。 復習：ディスカッションの振り返りに加えて、レポートの作成を求めます。レポートの講評を必ず読み返し、講義

	と併せて、次回以降のディスカッションとレポート作成に備えて、振り返りを行ってください。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	倫理とは何か	大谷
第３回	倫理学の基本的な考え方：功利主義・義務論・徳倫理学・四原則アプローチなど	大谷
第４回	表現・言論の自由の倫理学的基礎：ミル『自由論』を読む	大谷
第５回	他者危害原則を考える	大谷
第６回	ジャーナリズムの規範	大谷
第７回	名誉権の保護	大谷
第８回	犯罪報道と報道被害	大谷
第９回	プライバシーの基礎	大谷
第１０回	個人情報保護法の基礎	大谷
第１１回	現代社会のメディア倫理１：サーチエンジンと法・倫理	大谷
第１２回	現代社会のメディア倫理２：パーソナライゼーションとフィルターバブル	大谷
第１３回	現代社会のメディア倫理３：スコア化／ブラックボックス化する社会	大谷
第１４回	現代社会のメディア倫理３：ヴァーチャルリアリティの倫理学	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	筆記試験（オンライン試験を活用する）	大谷

教科書			
教・書籍名１	特に指定しない。予習復習に役立つプリント等を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	改訂新版　情報倫理入門	参・出版社名１	アイ・ケイコーポレーション
参・著者名１	土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡・喜多千草・永崎研宣・村上祐子・川口嘉奈子・坪井雅史・川口由起子・吉永敦征著	参・ＩＳＢＮ１	4874923240
参・書籍名２	情報倫理　技術・プライバシー・著作権	参・出版社名2	みすず書房
参・著者名2	大谷卓史	参・ＩＳＢＮ2	978-4622085621

授業科目名	クリティカルシンキング			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-112		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本授業のテーマは、批判的観点から映画・アニメ・書籍・音楽・ゲーム等の紹介を書くことで、多くの人々に意図および内容が伝わる文章表現を身につけることである。 批判というと、否定や悪口、非難という意味と受け取るかもしれない。しかし、批判的観点をとれる人とは、自分の思い込みを離れ、さまざまな視点から検討をしたうえで、他者の情報や意見を判断するとともに、自らの意見や自分の見聞・学修した情報を表現できる人のことを言う。 本授業の到達目標は、学生が次のことをできるようになることである。 １．自分の紹介したいコンテンツについて、他者の視点を踏まえて、そのおもしろさや魅力を理解し、表現することができるようになる。 ２．他者にわかりやすい文章表現を行うことができるようになる。 ３．論文・レポートの書き方の初歩を身につけ、テキストクリティーク型の論文・レポートを書けるようになる。 授業のアウトカムは、合理的な思考とコミュニケーション能力、他者の立場を理解したうえでの問題解決である。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、編集者・サイエンスライターとしての実務経験を持つ
授業概要	自分の好きな映画・アニメ・マンガ・音楽・ゲームなどのコンテンツについて、独りよがりな文章表現ではなく、他者に伝わる表現で文章を書くことができるように、他者の視点を意識した批判的思考と文章表現を鍛える。 客観的な批判的文章の典型は、論文・レポートである。他者の視点を意識して紹介文・レビューを書くことを通じて、最終的には、論文・レポートを書けるようにする。 授業に当たっては、各受講者がレビュー・紹介文を書きたいコンテンツを選択し、そのコンテンツに関して教員と議論することを通じて、レビュー・紹介文を書くための方針と表現を決める。そのうえで、各受講者がレビューや紹介文を執筆し、さらに教員がそのレビューや紹介文の修正を加える。このサイクルを繰り返すことで、よりすぐれたレビュー・紹介文を書けるようにしていく。 これと併せて、論文・レポートの書き方の初歩について、教科書を通じて学ぶ。 なお、担当者は、編集者・サイエンスライターの実務経験を有することから、この経験をもとに、内容が伝わる・わかりやすい文章の書き方を指導する。 レビューおよび紹介文を書くにあたっては、教室（7号館情報処理室を利用する）において執筆するだけでは完成しないので、授業外での作業が相当量要求されることを覚悟してほしい。データのやりとりのために、インターネットストレージを利用するか、USBメモリ等の媒体の利用を必要とする。
アクティブラーニングの内容	実習／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	受講態度20%+提出レポート（レビュー・紹介文）40%+レポート試験40%。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題（提出レポート）に関しては、次回授業でMicrosoft Teamsの課題コメント機能や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この科目は、編集者・サイエンスライターとしての実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、出版等の現場において実践的に役立つ授業を実施する。

事前学習・事後学習とその時間	予習：自分の紹介したいコンテンツに関してそのおもしろさをまとめておきましょう。ときには、教科書の指定部分を事前に読んでおくことが求められます。2時間程度。 復習：授業での教員とのやり取りをもとに、レビューを仕上げてください。2時間程度。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 春学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション・批判的に読み・考える	大谷
第２回	レビューの書き方入門	大谷
第３回	レビューを読んでみよう：書籍・マンガ編	大谷
第４回	映画評を読んでみよう	大谷
第５回	レビューを読んでみよう：映画・アニメ編	大谷
第６回	レビューを分析してみよう	大谷
第７回	レビューを書く前に：読みやすい文章とはどんな文 章だろうか	大谷
第８回	レビューを書いてみよう：おすすめのアニメやゲームについて（200-600字ライティング）	大谷
第９回	レビューを書いてみよう：おすすめのマンガや小説について（200-600字ライティング）	大谷
第１０回	文章を推敲・校正する	大谷
第１１回	レビューを書いてみよう：おすすめの映画・アニメのレビュー（400文字以上で書いてみよう）	大谷
第１２回	レビューを書いてみよう：おすすめの映画・アニメ２（600文字以上で書いてみよう）	大谷
第１３回	レビューを書いてみよう：おすすめの本・マンガのレビュー（ 400文字以上で書いてみよう）	大谷
第１４回	レビューを書いてみよう：おすすめの本・マンガのレビュー（ 600文字以上で書いてみよう）	大谷
第１５回	レビューを書いてみよう：おすすめの本・マンガのレビュー（800文字以上で書いてみよう）	大谷
第１６回	レポート試験800-2000字ライティング）	大谷

教科書			
教・書籍名１	適宜参考となるレビュー等を配布する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	論文・レポートの基本	参・出版社名１	日本実業出版社
参・著者名１	石黒圭	参・ＩＳＢＮ１	978-4534049278
参・書籍名２	批評の教室	参・出版社名2	筑摩書房
参・著者名2	北村紗衣	参・ＩＳＢＮ2	978-4480074256

授業科目名	ブランド戦略と知的財産 （集中C）	担当者	隅藏　康一
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-113

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	９．産業と技術革新の基盤をつくろう
到達目標	知的財産に関する基礎から最近のトピックまでを学ぶ。学生は、企業や大学等の知的財産戦略について、必要事項の概要を把握し、理解を深めることができる。
授業概要	主に、知的財産の基本（知的財産と知的財産権の使い分け、知的財産の具現化の方法、営業秘密の保護、知的財産権の保護、発明は誰のものか、大学と産業との関係、知的財産政策など）、知的財産をめぐる法律（特許法、商標法、著作権法、意匠法など）、デジタルコンテンツと著作権（デジタルライツ・マネジメント、著作権保護のためのテクノロジー、P2Pの課題、など）、先端科学技術と知的財産（ソフトウェアの保護、オープンソース、標準化、パテント・プール、医薬品アクセス、生物の特許可能性、生物多様性条約、リサーチツール特許、など）、知的財産権の国際的イシュー（米国、中国、欧州など）、企業経営における知的財産戦略（知的財産部門の役割、企業のブランド戦略、など）、知的財産戦略と会計（無形資産のオンバランス化、知的財産の評価、など）、知的財産戦略と契約（ライセンス契約、特許訴訟、知財紛争、など）、知的財産に関する職業（弁理士、産学技術移転に関する職業、地方自治体における知的財産関連職種、など）、について講義を行う。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	授業への出席と、授業における真摯な受講態度を前提としたうえで、 授業の中で行う小テストの点数やプレゼンテーションにより、評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	プレゼンテーションについては、各自に対して、講評を行う。 小テストの解答は後日配布する。
履修条件・注意事項	予習・復習を各自で行うこと。復習により授業内容を理解したかどうかを確かめるための小テストを、授業の中で行う。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	講義内容を復習し、理解を深めること。
オフィスアワー	授業終了後、教室にて

授業計画		担当者
第１回	知的財産制度の全体像	隅藏康一
第２回	ブランドとは	隅藏康一
第３回	商標法の概要	隅藏康一
第４回	地域団体商標と地域ブランド	隅藏康一
第５回	デザインと意匠法	隅藏康一
第６回	イノベーションと特許法	隅藏康一
第７回	不正競争防止法と営業秘密	隅藏康一
第８回	デジタルコンテンツと著作権	隅藏康一
第９回	種苗法とブランド戦略	隅藏康一
第１０回	独占禁止法	隅藏康一
第１１回	米国における特許の裁判例	隅藏康一
第１２回	米国における著作権の裁判例	隅藏康一
第１３回	WTOとTRIPS協定	隅藏康一
第１４回	プレゼンテーション	隅藏康一
第１５回	プレゼンテーション	隅藏康一

第１６回	試験		隅藏康一
教科書			
教・書籍名１	適宜、資料配布	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	出版・マンガの著作権			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-114		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	出版・マンガビジネスのしくみと、そこで必要となる著作権法の知識、およびさまざまな関連する慣行について講義を行う。この授業は、学生が次のことができるようになることを到達目標とする。 １．出版・マンガビジネスのしくみおよび市場状況を説明できるようになる。 ２．出版・マンガビジネスで必要な著作権法および判例に関する知識を理解できるようになる。 ３．出版・マンガビジネスにおける出版契約・著作権の実務慣行の現状と課題について理解できるようになる。
授業概要	出版・マンガビジネスのしくみと、そこで必要となる著作権法の知識、およびさまざまな関連する慣行について講義を行う。出版ビジネスにおいて、著作者・著作権者と出版社の関係には、さまざまな慣行が存在し、著作権法の条文を読むだけでは実務を十分に理解できない。また、現場の編集者や著者などが著作権法の知識に欠けるため、トラブルを引き起こしたり、自分自身の利益を損なうケースもある。講義では、出版・マンガ市場の概況とその問題点、出版契約・著作権の慣行、出版・マンガにかかわる著作権紛争の事例等を論じ、受講者が出版・マンガビジネスにおける著作権の実際を理解できるようにする。 毎回簡単な課題提出を求める。内容は自分の意見であれば自由で採点には関係がないが、授業内容を理解したうえでの意見であるかどうかなどを課題で確認する。課題に対しては、次回以降授業担当者から返答を行う。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	講義内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を20%の重みづけで評価する（受講態度）。また、課題等の提出物10%、小テスト2回（10%）、試験の成績を60%として最終的に総合評価を行う。これらの３つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題（提出レポート）に関しては、授業内での言及・コメント（原則課題回答者名は匿名）、および各受講者のシャトルカードへのなどによって、フィードバックする。また、小テストは、同じ時間内に答え合わせを兼ねて解説を行うことで、フィードバックする。
履修条件・注意事項	積極的に授業に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式ですが、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：指定した配布資料や教科書・参考書の該当箇所を事前に読んで要約すること。約2時間。 復習：授業内容についてノートを整理すること（定期試験は、自筆ノート持ち込み可）。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

	授業計画	担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	出版業界の市況と構造	大谷
第３回	著作権法の基礎（１）著作権法の目的と構造・国際条約	大谷
第４回	著作権法の基礎（２） 著作物	大谷
第５回	著作権法の基礎（３）その他の著作物・著作者（創作者主義とその例外）	大谷
第６回	著作権法の基礎（４）著作者の権利・著作者人格権	大谷

第７回	著作権の基礎知識（５）著作権の種類（支分権）と著作物の利用行為	大谷
第８回	著作権の基礎知識（６）著作権の制限／著作権の保護期間　30条～36条	大谷
第９回	著作権の基礎知識（７）著作権の制限／著作権の保護期間　37条～50条、保護期間	大谷
第１０回	小テストと解説	大谷
第１１回	著作権の基礎知識（８）出版権と利用許諾・著作権譲渡契約	大谷
第１２回	著作権の基礎知識（９）著作権の侵害と救済	大谷
第１３回	出版とマンガの著作権の事件・裁判例（引用の問題）	大谷
第１４回	出版とマンガの著作権の事件・裁判例（キャラクターの権利など）	大谷
第１５回	小テストと解説	大谷
第１６回	筆記試験（オンライン試験の活用も）	大谷

教科書			
教・書籍名１	著作権テキスト（令和4年版）（インターネットから無料で入手可能。第1回目授業で説明します）	教・出版社名１	文化庁
教・著者名１	文化庁	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	出版・マンガビジネスの著作権　　第2版	参・出版社名１	著作権情報センター
参・著者名１	桑野雄一郎・赤松健	参・ＩＳＢＮ１	978-4885260865
参・書籍名２	著作権法入門 (2021-2022)	参・出版社名2	著作権情報センター
参・著者名2	文化庁編著	参・ＩＳＢＮ2	978-4885260933

授業科目名	アニメ・メディアコンテンツの著作権			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-115		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	現代社会においては、デジタルメディアの発達と普及によって、万人が著作者となる創作活動が盛んになるとともに、動画共有サイトやドラマ・映画等のインターネット配信のように、新しい形のコンテンツ流通と消費が登場している。アニメやゲームの制作や龍柱も大きく変わっている。本講義においては、デジタルメディアによる創作と流通にかかわるクリエイターやビジネスマンがデジタルメディアによる創作活動やビジネスを活発に行って文化の発展に寄与できるよう、そして、ユーザーがデジタルメディアによって創作・流通される著作物を享受し、さらに自らクリエイターとして活躍するために必要となる著作権の知識を理解する。 到達目標は、学生が下記のことができるようになることである。 １．著作権法・著作権制度に関する基本的知識を説明できる。 ２．著作権法を遵守しながらデジタルメディアで著作物を創作・流通するための基礎知識を理解できるようになる。 ３．ユーザーとして著作権法を遵守しながら著作物の利活用を行うとともに、他者の広い意味での著作権に配慮しながら自らクリエイターやプロシューマ―（消費者兼クリエイター）として創作活動を行うことができるようになる。
授業概要	デジタルメディアを活用する著作物の創作活動や流通、利活用に関して、創作と流通にかかわる著作権法および著作権制度を総合的に理解する。著作権制度は、活版印刷技術の登場とともにその原型となる制度が登場し、その後新しいメディアの勃興と普及に伴って、その姿を変容させてきた。メディアの変遷と著作権制度の変容に関して理解したうえで、現代のデジタルメディアの利活用にかかわる著作権法・著作権制度の知識を習得する。デジタルメディアの大きな特徴は次のようなものだ。まず、パーソナルコンピュータなどの情報機器を使うことで情報の加工・編集が容易であるうえ、そのまま劣化なく元の情報を複製できる。そして、このように加工・編集・複製した情報は、インターネットを介して地球規模の射程で特定の人または多数の人々に向けて情報伝達・情報発信ができる。さらには、これらのテクノロジーは十分低価格化し、利用方法がどんどん容易になっているので、先進国においては相当多数の人々が使うことができるようになっている。これらの特徴は、従来の著作権の保護とは異なる特別の保護が必要になる。デジタルメディアは、著作物の創作活動や流通にも大きな変化をもたらした。これらの創作活動や流通の変化と併せて、現代の著作権法・著作権制度に関して理解し、クリエイターや著作物流通に携わるビジネスマンとして活躍するための基礎的知識を身に着ける。また、この基礎知識は、今後のデジタルメディアの利活用を進めるためにどのような著作権制度が望ましいのか、市民として考察するための基礎知識でもある。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	平常点（受講態度20%と課題10%）＋小テスト（10%）+定期試験（60%）。授業課題（提出レポート）に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。また、小テストは、同じ時間内に答え合わせを兼ねて解説を行うことで、フィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	授業課題（提出レポート）に関しては、授業内での言及・コメント（原則課題回答者名は匿名）、および各受講者のシャトルカードへのなどによって、フィードバックする。また、小テストは、同じ時間内に答え合わせを兼ねて解説を行うことで、フィードバックする。
履修条件・注意事項	授業に積極的に取り組む姿勢が単位取得には必要です。 講義形式ですが、授業中に受講者に対して質問をします。また、授業の最後には、授業内容に関連した課題を出しますので、解答してください。解答に対しては、次回以降の授業でコメントや解説をします。

	授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。		
実務経験のある教員	該当しない	内容	
事前学習・事後学習とその時間	予習：教科書・配布資料の指定個所を読んで要約してください。約2時間。 復習：小テストを行いますので、毎回授業ノートをまとめ、講義内容を整理しておきましょう。約2時間。		
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期　14号館6階14617号研究室にて毎週水曜日3時限目。 変更ある場合は、授業やユニパ等でお知らせします。		

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	著作権制度のアウトライン（１）：著作物と著作者の権利	大谷
第３回	著作権制度のアウトライン（２）：著作権	大谷
第４回	著作権制度のアウトライン（３）：著作権の制限その１　30条から３5条まで	大谷
第５回	著作権制度のアウトライン（４）：著作権の制限その２　36条から50条まで	大谷
第６回	著作権制度のアウトライン（５）：デジタルテクノロジーと著作権	大谷
第７回	著作隣接権、著作権侵害とその救済	大谷
第８回	知識確認テストと解説	大谷
第９回	著作物・著作権に関するワークショップ	外部講師
第１０回	映画・アニメの著作権１　映画の著作物・著作者、さまざまな権利	大谷
第１１回	映画・アニメの著作権２　映画の著作者・著作権をめぐる紛争	大谷
第１２回	ゲームの著作権その１　デジタルゲームの著作権の考え方	大谷
第１３回	ゲームの著作権その２　デジタルゲームの著作物の同一性保持権侵害問題	大谷
第１４回	ゲームの著作権その３　中古ゲームソフトの販売問題	大谷
第１５回	知識確認テストとまとめ	大谷
第１６回	筆記試験（オンライン試験を活用する場合があります）	大谷

教科書			
教・書籍名１	著作権テキスト（令和4年版）（インターネットから無料で入手可能。第1回目授業で説明します）	教・出版社名１	文化庁
教・著者名１	文化庁	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	メディアとICTの知的財産権　第2版	参・出版社名１	共立出版
参・著者名１	菅野政孝・大谷卓史・山本順一	参・ＩＳＢＮ１	978-4320124325
参・書籍名２	著作権法入門2021-2022	参・出版社名2	著作権情報センター
参・著者名2	文化庁	参・ＩＳＢＮ2	978-4885260933

授業科目名	サブカルチャー文化論			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-116		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	この授業では「サブカルチャー文化を理解する」をテーマとする。日本社会における明治以前のルーツから現在に至るまでのサブカルチャーを考察する。歴史的な成り立ちを知り、具体的な事例をもとに、社会的位置づけを学生が確認し、学生自身がディスカッションを通してそれぞれの見解を交わすことで、学生自身が奥深く学ぶことが事が出来る。
授業概要	授業は今までのプロデューサーとしての実務経験を元に、実際には携わって来た実例から、ポップカルチャー製品やそれらを纏わる社会的事情に焦点を当て、さらに「日本」を巡る国際的な言説と世界各地からの視点を学び、グループ・ディスカッションを行う事でサブカルチャー文化を体験する。講義の最終回に全体のまとめをおこなう。（プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「サブカルチャー文化を理解する」の到達度について、知識および能力を計る ために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（５０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション：「日本」の各種イメージ	井上
第２回	クールジャパン政策	井上

第３回	鳥獣戯画、浮世絵、ジャポニスム	井上
第４回	現代マンガ	井上
第５回	戦後学生運動、太陽族、ベビーブーマー世代	井上
第６回	コミックマーケット	井上
第７回	アニメブーム	井上
第８回	アニメ雑誌文化	井上
第９回	アニメと消費課程	井上
第１０回	社会問題としての「オタク」	井上
第１１回	中間まとめ（小レポート）	井上
第１２回	海外メディアによる報道	井上
第１３回	カルチャラル・アプロプリエーション：国内外の「日本らしさ」	井上
第１４回	サブカルチャーの今後	井上
第１５回	全体のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	NHK ニッポン戦後サブカルチャー史 単行本（ソフトカバー）	教・出版社名１	NHK出版
教・著者名１	宮沢 章夫（著, 編集), NHK「ニッポン戦後サブカルチャー史」制作班 (著, 編集)	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4140816503
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	国際アニメーション文化論			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-117		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	Recent years have seen a growing global fascination with “anime”, the Japanese medium of animation. But how much of it do we really understand? The aim of this course is：firstly, to attempt to define “anime” as a Japanese phenomenon and its unique characteristics; secondly, explore how anime is made from the technical side as well as from the perspective of a business model, both domestically and internationally; and lastly, investigate what its historical roots and socio-cultural impacts are. 近年、世界中から日本の「アニメ」が注目浴びてきた。この授業では、その国内外の概念の解釈、そしてその様々な特徴、また、ビジネスと文化としての「アニメ」の両サイドを考察するをもとに、社会的位置づけを学生が確認し、学生自身がディスカッションを通してそれぞれの見解を交わすことで、学生自身が奥深く学ぶことが事が出来る。
授業概要	1：Introduction：What is “Anime”?　アニメとは？ 2：Early Anime：Propaganda movies, Momotaro’s Divine Sea Warriors　戦争時代のプロパガンダとしてのアニメ 3：Early Anime：Hakujaden and Toei Doga　初期アニメ：東映動画と『白蛇伝』 4：Osamu Tezuka’s Revolution：How is anime made?　アニメの作り方 5：Trendsetters：Television heroes and heroines of the 1960s　60年代の流行 6：1970s：Anime and merchandising 1　アニメと商品展開 1 7：1970s：Anime and merchandising 2　アニメと商品展開 2 8：1980s：The Anime Boom 1：New Generation　アニメブーム１：新世代 9：1980s：The Anime Boom 2：Magazines　　アニメブーム2：雑誌 10：New markets, new media, new business models　ニューメディア 11：The rise of Gainax; the fall of anime magazines　ガイナックスの登場 12：The “Digital Divide”　「デジタル・ディバイド」 13：Social Issues：Crime, Stereotypes and distancing　社会問題 14：Looking to the future of the industry これからのアニメ業界 15: Final Discussion 最終ディスカッション
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「アニメの文化的、経済的な側面を理解ができる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（５０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極

履修条件・注意事項	的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。		
実務経験のある教員	該当する	内容	井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。		
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。		

授業計画		担当者
第１回	アニメとは？	井上
第２回	戦争時代のプロパガンダとしてのアニメ	井上
第３回	初期アニメ：東映動画と『白蛇伝』	井上
第４回	アニメの作り方	井上
第５回	60年代の流行	井上
第６回	70年代アニメと商品展開１	井上
第７回	70年代アニメと商品展開２	井上
第８回	70年代アニメブーム：新世代	井上
第９回	80年代アニメブーム：雑誌	井上
第１０回	ニューメディア	井上
第１１回	ガイナックスの登場	井上
第１２回	デジタル・ディバイド	井上
第１３回	社会問題	井上
第１４回	これからのアニメ業界	井上
第１５回	最終ディスカッションと全体のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	日本のアニメは何がすごいのか 世界が惹かれた理由	教・出版社名１	祥伝社
教・著者名１	津堅信之	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4396113595
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション文化論A			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-201		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	現代日本を代表する文化の一つとまで言われるようになった「日本のアニメーション文化を理解する事」をテーマに、その技術と表現手法に焦点を当てながら、草創期から現代まで歴史的・文化的に概観する。その際、学生がアニメーションの社会的位置づけや経済活動を理解する事で、それぞれの時代の中で社会に対しどのような影響を与えてきたかを考え行動する事を目指す。また、学生が海外のアニメーションと日本のアニメーションとの対比を行うことで、広がりゆく文化としてのアニメーションを学生自身が理解する技術を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての実務経験を元に、（地）この科目は、文化研究としての現代日本を代表する文化の一つであるアニメーションの技術と表現手法がどの様な経緯で発達して来たかを知り、アニメーションの社会的位置づけや経済活動を理解する事で、社会・地域に対しどのような影響を与えてきたかを考える。また、海外のアニメーションと日本のアニメーションとの対比を行うことで、広がりゆく日本文化としてのアニメーションの特異性を理解し、地域発のアニメーションで地域と係りの問題点を知り、合わせて地域貢献ボランティア活動を通じて文化研究を行う。また講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「日本のアニメーション文化を理解する事」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（５０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。

オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。		
授業計画			担当者
第１回	日本アニメーションの成り立ち		井上
第２回	日本アニメーションの歴史１（創世記から東映動画設立）		井上
第３回	日本アニメーションの歴史２（TV放送開始から70年代）		井上
第４回	日本アニメーションの歴史３（80年代OVA時代）		井上
第５回	日本アニメーションの歴史４（90年代からオタク時代）及び歴史に関する小レポート		井上
第６回	海外進出の歴史		井上
第７回	海外での日本アニメーションブーム		井上
第８回	漫画とアニメーションの関係		井上
第９回	アニメーション製作システム１(日本)		井上
第１０回	アニメーション製作システム２（海外）		井上
第１１回	アニメーションの社会における立ち位置１（子供）		井上
第１２回	アニメーションの社会における立ち位置２（オタク）		井上
第１３回	アニメーションの社会における立ち位置３（一般）及び社会における立ち位置に関する小レポート		井上
第１４回	アニメーションの地域における影響１（事前調査）		井上
第１５回	アニメーションの地域における影響２（発表）及び全体のまとめ		井上
第１６回	単位認定試験		井上
教科書			
教・書籍名１	新版 アニメーション学入門	教・出版社名１	平凡社
教・著者名１	津堅 信之	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4582858368
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション文化論B			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-202		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「日本のアニメーション文化を理解する事をできる。」をテーマに、社会において派生する個々の具体的な事象を通して考察する。例えば、マンガ、ゲーム、キャラクター、玩具、ホビー、ファッション、音楽、出版、イベントといった個々のカテゴリー毎に、文化としてのアニメーションがどのように発現していったかを確認し、学生がそれぞれの領域でのアニメーションの意味を考える。さらに、アニメーションが国の成長戦略のひとつであるクールジャパンの重要なコンテンツと認識をされ、海外で高く評価されている事例を個別に検証しながら、世界におけるアニメーション文化の今後を学生自身が理解する能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての実務経験を元に、（地）この科目は、アニメーション文化について、社会・地域において派生する個々の具体的な事象を通して考察する。いわゆるオタク文化としてのアニメーションがどのように発現していったかを確認し、またアニメーションと親密な関係を持つ各産業を理解し、さらに、海外で新しい文化として高く評価されているオタクやカワイイと言う様な事例を個別に検証しながら、国のクールジャパン戦略の重要なコンテンツのひとつとして世界に広がっている日本のアニメーション文化の今後を考える。　また、地域発のオタク文化としてのアニメーションで地域と係りの問題点を知り、合わせて地域貢献ボランティア活動を通じて文化研究を行う。また講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「日本のアニメーション文化を理解する事をできる。」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（５０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。

実務経験のある教員	該当する	内容	井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）

事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	オタクの成り立ち１（創生から80年代）	井上
第２回	オタクの成り立ち２（90年代以降）	井上
第３回	日本アニメーションと漫画	井上
第４回	日本アニメーションと出版（ライトノベル）	井上
第５回	日本アニメーションとキャラクター展開	井上
第６回	日本アニメーションと音楽、ＣＤドラマ、声優	井上
第７回	日本アニメーションとゲーム	井上
第８回	日本アニメーションとファッション、イベント	井上
第９回	日本アニメーションと同人活動及びメディアに関する小レポート	井上
第１０回	日本アニメーションと地方活性	井上
第１１回	海外での日本アニメーション展開の歴史	井上
第１２回	クールジャパンとしての日本アニメーション１（アジア）	井上
第１３回	クールジャパンとしての日本アニメーション２（アジア以外）及びクールジャパンに関する小レポート	井上
第１４回	日本アニメーションの今後１（事前調査）	井上
第１５回	日本アニメーションの今後２（発表）及び全体のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	新版 アニメーション学入門	教・出版社名１	平凡社
教・著者名１	津堅 信之	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4582858368
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	マンガ文化論			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-203		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「日本を代表する文化の一つとまで言われるようになったマンガについて、草創期から現代まで歴史的・文化的に概観すること」をテーマとする。それぞれの時代の中で社会に対しどのような影響を与えてきたかを考える。また、学生が実体験を基にマンガの社会的位置づけや経済活動にも注目し、海外にも広がりゆく文化としてのマンガをを学生自身が理解する能力を持てる事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての実務経験を元に、現代日本を代表する文化の一つであるマンガの技術と表現手法がどの様な経緯で発達して来たかを知り、マンガの社会的位置づけや経済活動を理解する事で、社会に対しどのような影響を与えてきたかを考える。また、国のクールジャパン戦略にも組み込まれているマンガの海外での広がりを認識し、海外での日本マンガの特異性を理解する。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	テーマ「日本を代表する文化の一つとまで言われるようになったマンガについて、草創期から現代まで歴史的・文化的に概観すること」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（５０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	マンガの成り立ち	井上
第２回	マンガの歴史１（戦前～60年代）	井上

第３回	マンガの歴史２（60年代～70年代）	井上
第４回	マンガの歴史３（70年代～90年代そして海外へ）	井上
第５回	マンガの歴史４（90年代～00年代）	井上
第６回	マンガの歴史５（00年代～今）及び歴史に関す小レポート	井上
第７回	少年マンガ	井上
第８回	少女マンガ	井上
第９回	青年マンガ	井上
第１０回	大人マンガ	井上
第１１回	メディアミックスマンガ	井上
第１２回	同人マンガ及びマンガジャンルに関する小レポート	井上
第１３回	マンガの商品化とカルチャー	井上
第１４回	マンガの海外展開	井上
第１５回	マンガ文化のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	日本マンガ全史:「鳥獣戯画」から「鬼滅の刃」まで	教・出版社名１	平凡社新書
教・著者名１	澤村 修治	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4582859445
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	コンテンツ文化・産業論			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-204		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「コンテンツ産業の文化的、経済的な側面を理解すること」をテーマとし、漫画、出版、アニメーション、ゲーム、映画、玩具、ファッション、芸能、広告、イベント等、コンテンツの産業一般としての成り立ちと現状について理解を持ち、運用する技術の習得を目指し。その上で、今後の展開を考察しながら、産業論として学生自らの考えをまとめる。最終的には、学生が国内外の状況ついて、具体的なイベントや新設の施設などに着目しながら、経済的側面を押さえた状況を学生自身が理解し行動できる能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての実務経験を元に、文化研究としての現代の文化の一つであるコンテンツがどの様な経緯で発達して来たかを知り、コンテンツの社会的位置づけや経済活動を理解する事で、学生が社会に対しコンテンツがどのような影響を与えてきたかを考え、グループ・ディスカッションを行う事で理解度を深める。講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	テーマ「コンテンツ産業の文化的、経済的な側面を理解ができる」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（５０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画	担当者

第１回	コンテンツの経済的側面と影響（映画、アニメ）	井上
第２回	コンテンツの経済的側面と影響（マンガ、出版）	井上
第３回	コンテンツの経済的側面と影響（ラジオ、テレビ）	井上
第４回	コンテンツの経済的側面と影響（新聞、広告）	井上
第５回	コンテンツの経済的側面と影響（玩具、ファッション）	井上
第６回	コンテンツの経済的側面と影響（玩具、ファッション）	井上
第７回	コンテンツの経済的側面と影響（音楽、Web）及びメディアに関する小レポート	井上
第８回	海外コンテンツの日本展開	井上
第９回	コンテンツと地方活性	井上
第１０回	コンテンツの今後	井上
第１１回	コンテンツ文化の地域における影響　キャラクター（事前調査）	井上
第１２回	コンテンツ文化の地域における影響　イベント（事前調査）	井上
第１３回	コンテンツ文化の地域における影響　物産（事前調査）	井上
第１４回	コンテンツ文化の地域における影響（発表）と小レポート	井上
第１５回	全体のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	図解入門業界研究 最新コンテンツ業界の動向とカラクリがよくわかる本 [第4版] (How-nual図解入門業界研究)	教・出版社名１	秀和システム
教・著者名１	中野明	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4798063584
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	日本マンガ史概論			担当者	平見　勇雄		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-205		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	日本で人気のあった作品をできる限り年代順に紹介し、それぞれの作品が時代や世相を反映していることを知ることが重要なテーマです。有名な漫画家の名前くらいは学生のみなさんも知っているでしょうが、５０年以上前の白黒のアニメは実際に観る機会はあまりなかったと思います。そこで当時のアニメ等を鑑賞し、制作の舞台裏などを解説することによって、現代までの流れをおよそ知ってもらいたいと思います。それによって学生のみなさんは、日本のアニメがどのように発展してきたのか、その流れを知ることができ、自分のアニメ制作に活かす知識を増やすことができます。
授業概要	日本アニメの歴史を概観します。１９６０年代からテレビに登場した鉄腕アトムをはじめ、当時の少年少女ならほとんどの子供が知っていた有名なアニメを鑑賞していきます。今では名前を聞かなくなったような漫画やアニメもありますが、この授業ではできる限り当時人気のあった作品を紹介し解説します。また日本のアニメではないですが、海外のアニメの吹き替えなども途中取り上げて、日本と海外の違いなども解説します。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	時々で感想をレポートしてもらい（５０％）、最後に提出してもらうレポートの点数（５０％）との総合で評価します。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	レポートは授業の終わる前の授業（第１５回目）に提出してもらい、提出してもらったレポートの内容を匿名で紹介してみなさんと漫画、アニメの歴史を１６回目に総括します。
履修条件・注意事項	授業中に紹介する漫画やアニメは時間の関係上、ごく一部です。興味ある学生は大学に置いてある、あるいは漫画を揃えてある図書館に行って貪欲にアニメや漫画を読んでもらい、その幅を広げていって欲しいと思います。自分の知識を広げることにより、さまざまなアニメや漫画の評価が相対的にできるようになります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	注意事項のところにも書きましたが、昭和の巨匠と呼ばれる人たちの作品が多くあります。自分の引き出しを増やすためにも、また古典を知っておくためにもできるだけ多くの漫画家の世界を授業をきっかけに知るよう努力して下さい。復習として２時間程度、予習としても２時間程度、授業でやる（やった）アニメを図書館やネット上で捜して授業以外で扱うものを補足的に見るようにして作品の内容をより詳しく知るようにしてください。
オフィスアワー	水曜日の３限目。２号館６Ｆの研究室で。

授業計画		担当者
第１回	鉄腕アトム　おそ松くん	平見勇雄
第２回	ジャングル大帝　リボンの騎士	平見勇雄
第３回	パーマン　オバケのQ太郎	平見勇雄
第４回	冒険ガボテン島	平見勇雄
第５回	ひみつのアッコちゃん　魔法使いサリー	平見勇雄
第６回	鉄人２８号　スーパージェッター	平見勇雄
第７回	遊星仮面　わんぱく探偵団	平見勇雄
第８回	ハリスの風　黄金バット	平見勇雄
第９回	猫目小僧	平見勇雄
第１０回	タイガーマスク	平見勇雄
第１１回	巨人の星	平見勇雄
第１２回	アタックNo.1	平見勇雄
第１３回	海外のアニメ　チキチキマシン猛レース	平見勇雄

第１４回	里中満智子の作品、　一条ゆかりの作品		平見勇雄
第１５回	春学期のまとめ		平見勇雄
第１６回	総括　レポートの考察（フィードバック）		平見勇雄
教科書			
教・書籍名１	適時関連するプリントを配布いたします。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション基礎A			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年／ 2019～ 2020年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	AN-AN-1-206		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	アニメーションの原理を理解することをテーマに、ドローイングアニメーション制作を通してアニメーション制作に係る基礎知識を学習する。1年次科目として受講者が作画撮影機材・ソフトウェアの使い方を習得し、アニメーション映像を制作することを到達目標とする。
授業概要	物理法則に基づく動きの基礎を「コマ撮りアニメーション」と「ボールの動き」作画で学習した後、「走る人」の課題制作で中割りアニメーション制作方法を学ぶ。「フェナキストスコープ」（驚き盤）制作で発想したアイデアをアニメーション映像化することができる。ドローイングアニメーション制作とPhotoshop、After Effectsの学習を兼ねて各課題制作時、ツールの使い方を適宜指導する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では課題制作過程と提出物の完成度などを指標に授業態度（15%）課題提出（35%）課題評価点（50%）の割合によって評価する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題はユニバーサルパスポートを活用する形でフィードバックし、制作過程を見返り次の課題制作に役立てることを目標とする。
履修条件・注意事項	14号館14301教室
実務経験のある教員	該当する　内容：この授業は、フリーランスのアニメーターとしてアニメーション技法によるプロモーション映像等の制作を行った実務経験のある教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	授業の事前学習・事後学習として放課後の時間帯に課題を制作する必要があり、14号館3F140301教室の他に2号館2F221教室を利用することが可能。
オフィスアワー	木曜日5限・14号館14301教室

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス	金叡媛
第２回	ミニチュアのコマ撮り	金叡媛
第３回	「加速・等速・減速するボール」作画	金叡媛
第４回	「加速・等速・減速するボール」作画（撮影）	金叡媛
第５回	「弾むボールの作画」とタイムシートの読み方	金叡媛
第６回	弾むボールの作画（撮影）	金叡媛
第７回	「お辞儀」作画	金叡媛
第８回	「お辞儀」作画（撮影）	金叡媛
第９回	「走り」作画	金叡媛
第１０回	「走り」作画（撮影）	金叡媛
第１１回	「旗、炎」作画	金叡媛
第１２回	「旗、炎」作画（撮影）	金叡媛
第１３回	「フェナキストスコープ」（驚き盤）作画	金叡媛
第１４回	「フェナキストスコープ」（驚き盤）着彩	金叡媛
第１５回	「フェナキストスコープ」（驚き盤）映像編集	金叡媛
第１６回	単位認定試験	金叡媛

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーションの本　動く絵を描く基礎知識と作画の実際	参・出版社名１	合同出版
参・著者名１	アニメ6人の会	参・ＩＳＢＮ１	978-4772604611
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション基礎B			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年／ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	AN-AN-1-207		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	身体の動きに注目し、「アニメーションの基礎知識を学習する」ことをテーマとする。学生が、映像機材やソフトウェアの使い方を学び、アニメーション表現への関心を高め、自分のイメージを表現できる知識と基礎的な技術を身につけることを到達目標とする。
授業概要	ロトスコープ技法を用いて実写素材をアニメーション映像として制作することにより、動きの分析を行うとともにPhotoshop、Aftereffectsの使い方を学ぶ。続いて歩きの作画課題制作を通じ、人体デッサンと重心表現の重要性を学ぶ。更に、プリップブックの課題制作を通じ、アニメーションのアイデアを表現できるようになる。映像ソフトウェアの使い方を身につけるために、全ての制作課題は映像データ化の作業を行い提出する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	この科目では、アニメーションの基礎について理解し、自分の表現として制作できる能力を身につけることを目的としていることから、授業態度（１５％）、課題提出（３５％）、課題評価点（５０％）の割合によって評価を行う。自然法則に準じて作画されているかを課題評価の主な基準とする。学生が提出した課題は、授業期間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題を添削する形で個別のフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、ソフトの使い方などについて予習を行うことが必要である。授業内容のメモとアイデアスケッチのために、筆記道具とノートを持参する。配布されたプリント資料は、ファイルなどに整理し、授業に持参する。課題提出の締め切りを守る。初回の授業で調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。予習・復習はPCルームで行うことができる。
実務経験のある教員	該当する　内容　この授業は、フリーランスのアニメーターとしてアニメーション技法によるプロモーション映像等の制作を行った実務経験のある教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	制作の前に資料を調べたり、自らの身体を動かし研究をしたりするなどの進め方で、表現したい動きのイメージを具体化する習慣を身につける。Photoshop、Aftereffectsなど、制作ソフトは繰り返し自己学習し、今後の作品制作で活用できるようにする。アニメーションを含む多彩な作品鑑賞を通じ、これから表現したいテーマの発想を広げる。
オフィスアワー	毎週木曜日5限（14号館6階14604研究室）

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス	金叡媛
第２回	ロトスコープ、素材撮影、データ取込	金叡媛
第３回	ロトスコープ、プリントアウト、トレース	金叡媛
第４回	ロトスコープ、スキャン、ムービー化	金叡媛
第５回	「歩き」作画制作	金叡媛
第６回	「歩き」ムービー化	金叡媛
第７回	「顔の振り向き」作画制作	金叡媛
第８回	「顔の振り向き」ムービー化	金叡媛
第９回	「手を振る」作画制作	金叡媛
第１０回	「手を振る」ムービー化	金叡媛

第１１回	「その場でジャンプ」作画制作	金叡媛
第１２回	「その場でジャンプ」ムービー化	金叡媛
第１３回	フリップブック、アイデア構想、作画	金叡媛
第１４回	フリップブック、スキャン、彩色	金叡媛
第１５回	フリップブック、印刷ファイル作成、カッティング	金叡媛
第１６回	単位認定試験	金叡媛

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション演習A			担当者	兼高　里圭、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-208		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「アニメーションの原理を理解し、基本的な動きを作画できる」ことをテーマにし、自分が考えた動きのアイデアを映像化できるようになる。学生が、アニメーション作品の制作に必要な原画や中割り動画の作画技術を身につけ、自然な動きを表現できるようになり、「自主制作映像の制作ができるようになる」ことを到達目標とする。
授業概要	動画の基礎に加えて、タイムシートに対応した作画を学ぶ。人体の動きの表現に重点を置いた課題制作を通じ、人体デッッサンの重要性とタイミングの工夫を学ぶ。さらに自らの人体を動かし、仕草と演技研究をしながらアニメーションキャラクターの内面表現に注目した制作ができるようになる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、アニメーションの基礎について理解し、自分の表現として制作できる能力を身につけることを目的としていることから、課題提出（60%）、最終課題評価点（40%）の割合によって評価を行う。アニメーションにふさわしい線で自然な動きの作画ができているかを評価の主な基準とする。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業期間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、作画の予習を行うことが必要である。授業内容のメモとアイデアスケッチのために、筆記用具とノートを持参する。配布されたプリント資料は、ファイルなどに整理し、授業に持参する。課題提出の締め切りを守る。初回の授業で調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。予習・復習は作画室、PC室で行うことができる。
実務経験のある教員	該当する　内容　現在も様々なTVアニメーションの作画監督を実践している教員が担当している。
事前学習・事後学習とその時間	物理法則に準じた重さや速度の表現を重視し、課題制作を行う。自主制作作品の参考資料を見つけることを重視し、様々な芸術表現に触れる。授業外の時間にも、学校の機材や用紙を使って自由に学習する。Photoshop、Aftereffect、Clip Studio Paintなど、制作ソフトは繰り返し自己学習することで、今後の作品制作で有効に活用できるようにする。TVや、インターネット及び展覧会での作品鑑賞で、様々な芸術表現に関心を持ち、表現したい作品への構想を深める。予習２時間、復習２時間を必要とする。
オフィスアワー	毎週月曜日４時限目の授業後をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	アニメ制作の作画の概要	前嶋英輝・兼高里圭
第２回	トレスのポイント	前嶋英輝・兼高里圭
第３回	色トレスの実践	前嶋英輝・兼高里圭
第４回	なびき（送り）	前嶋英輝・兼高里圭
第５回	なびきの編集	前嶋英輝・兼高里圭
第６回	目パチ、口パク	前嶋英輝・兼高里圭
第７回	目パチ、口パクの編集	前嶋英輝・兼高里圭
第８回	歩き	前嶋英輝・兼高里圭
第９回	歩きの編集	前嶋英輝・兼高里圭
第１０回	走り	前嶋英輝・兼高里圭
第１１回	走りの編集	前嶋英輝・兼高里圭
第１２回	振り向き	前嶋英輝・兼高里圭

第１３回	振り向きの編集	前嶋英輝・兼高里圭	
第１４回	実践動画	前嶋英輝・兼高里圭	
第１５回	実践動画の編集	前嶋英輝・兼高里圭	
第１６回	最終課題提出	前嶋英輝・兼高里圭	
教科書			
教・書籍名１	授業内で配布する原画などの資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション演習B			担当者	兼高　里圭、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-209		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「アニメーションの原理を理解し、応用する」ことをテーマにし、自分が考えた動きのアイデアを映像化できるようになる。学生が、アニメーション作品の制作に必要な原画や中割り動画の作画技術を身につけ、表現の新たな発見ができるようになり、「自主制作映像の制作ができるようになる」ことを到達目標とする。
授業概要	動画の基礎に加えて、キャラクターデザイン作成や原画作成を学ぶ。実践的作画に重点を置いた課題制作を通じ、背景やキャラクターデザインの重要性を学ぶ。さらに自らの人体を動かし、仕草と演技研究をしながらアニメーションキャラクターの内面表現に注目した制作ができるようになる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、アニメーションの基礎について理解し、自分の表現として制作できる能力を身につけることを目的としていることから、課題提出（60%）、最終課題評価点（40%）の割合によって評価を行う。アニメーションにふさわしい線で自然な動きの作画ができているかを評価の主な基準とする。学生が提出した課題は、授業期間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業期間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、作画の予習を行うことが必要である。授業内容のメモとアイデアスケッチのために、筆記用具とノートを持参する。配布されたプリント資料は、ファイルなどに整理し、授業に持参する。課題提出の締め切りを守る。初回の授業で調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。予習・復習は作画室、PC室で行うことができる。
実務経験のある教員	該当する　内容　現在も様々なTVアニメーションの作画監督を実践している教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	物理法則に準じた重さや速度の表現を重視し、課題制作を行う。自主制作作品の参考資料を見つけることを重視し、様々な芸術表現に触れる。授業外の時間にも、学校の機材や用紙を使って自由に学習する。Photoshop、Aftereffect、Clip Studio Paintなど、制作ソフトは繰り返し自己学習することで、今後の作品制作で有効に活用できるようにする。TVや、インターネット及び展覧会での作品鑑賞で、様々な芸術表現に関心を持ち、表現したい作品への構想を深める。予習２時間、復習２時間を必要とする。
オフィスアワー	毎週月曜日４時限目の授業後をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	原画とタイムシート	前嶋英輝・兼高里圭
第２回	模写の学習方法	前嶋英輝・兼高里圭
第３回	キャラクターの模写	前嶋英輝・兼高里圭
第４回	背景の描き方（パース）	前嶋英輝・兼高里圭
第５回	背景の実践的描画	前嶋英輝・兼高里圭
第６回	特殊撮影の説明	前嶋英輝・兼高里圭
第７回	キャラクターについて	前嶋英輝・兼高里圭
第８回	キャラクターデザイン	前嶋英輝・兼高里圭
第９回	アニメの絵コンテ	前嶋英輝・兼高里圭
第１０回	絵コンテ作成	前嶋英輝・兼高里圭
第１１回	原画作成の説明	前嶋英輝・兼高里圭

第１２回	実践的原画について	前嶋英輝・兼高里圭	
第１３回	実践原画のアイデア	前嶋英輝・兼高里圭	
第１４回	実践原画の注意点	前嶋英輝・兼高里圭	
第１５回	実践原画の制作	前嶋英輝・兼高里圭	
第１６回	課題提出	前嶋英輝・兼高里圭	
教科書			
教・書籍名１	授業内で配布する原画などの資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション実習A			担当者	今村　俊介、山本　敦之、清水　光二、平見　勇雄、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-3-210		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	アニメーション制作演習Bと連携する形で1年間の授業期間中、2D平面アニメーション制作に取り組む。授業に参加するすべての学生がアニメーション制作に興味を持ち、個別の作品制作計画を完遂することで達成感を感じることを授業の一つのねらいとして設定したい。ショートアニメーション制作における物語の発想法を授業課題を通して学生と共有し、受講者の3・4年次作品制作が充実することを授業の到達目標とする。
授業概要	学生はアニメーション制作を始める前にPC・ペンタブレット、水彩絵具、コマ撮り素材などを使ってイメージボード制作研究を行う。画像制作を通してアニメーション制作ツールと画材の活用方法を模索した後、映像のモチーフまたは登場人物が一つのフェーズから次のフェーズに移行・変化する内容のアニメーションを自由発想し、アニメーション制作演習A・B（計32回）の授業で制作する。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	この科目では課題制作過程と提出物の完成度などを指標に授業態度（15%）課題提出（35%）課題評価点（50%）の割合によって評価する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題はユニバーサルパスポートを活用する形でフィードバックし、制作過程を見返り次の課題制作に役立てることを目標とする。
履修条件・注意事項	14号館14301教室
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この授業は、フリーランスのアニメーターとしてアニメーション技法によるプロモーション映像等の制作を行った実務経験のある教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	授業の事前学習・事後学習として放課後の時間帯に課題を制作する必要があり、14号館3F140301教室の他に2号館2F221教室を利用することが可能。
オフィスアワー	木曜日5限・14号館14301教室

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第２回	「パスアニメーション」ツールの使い方	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第３回	「パスアニメーション」線画トレース	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第４回	「コマ撮りアニメーション」ツールの使い方	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第５回	「コマ撮りアニメーション」平面素材撮影	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第６回	「ドローイングアニメーション」水彩絵具	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第７回	画像素材編集	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第８回	ラフイメージ制作「感情・状態がAからBに変化する」	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄

第９回	テキスト作成	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１０回	ムードボード制作	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１１回	レイアウトから伝わる情報の例／イメージボードサムネイル制作	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１２回	イメージボードサムネイル撮影・スキャン、トレース	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１３回	イメージボード制作と画像処理ツールの使い方	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１４回	ラフコンテ制作(1)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１５回	ラフコンテ制作(2)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１６回	ラフコンテ制作(3)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	After Effects for アニメーション	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ新社
参・著者名１	大平幸輝	参・ＩＳＢＮ１	978-4-86100-699-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション実習B			担当者	今村　俊介、山本　敦之、清水　光二、平見　勇雄、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-3-211		
必修・選択	選択	単位数	1単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	アニメーション制作演習Aと連携する形で1年間の授業期間中、学生が選択した画材で2D平面アニメーションを制作する。授業に参加するすべての学生が積極的にアニメーション制作に取り組むことと、個別またはグループワークによる作品制作を通して受講者は自身の研究分野にさらに関心を持つことができる。アニメーション制作方法の基礎を学生と共有し、受講者の3・4年次作品制作が充実することを授業の到達目標とする。
授業概要	学生が制作したラフコンテを基にアニメーション制作を始める。必要に応じて個人制作・グループワークで制作することとし、教師が積極的に作品制作の過程に参加して制作スケジュール管理と指導を行う予定。学期末の作品完成を目標にアニメーション素材を制作し、デジタル画像処理ツールを活用して作品完成度を高くする。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	この科目では課題制作過程と提出物の完成度などを指標に授業態度（15%）課題提出（35%）課題評価点（50%）の割合によって評価する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題はユニバーサルパスポートを活用する形でフィードバックし、制作過程を見返り次の課題制作に役立てることを目標とする。
履修条件・注意事項	14号館14301教室
実務経験のある教員	該当する　／　内容：この授業は、フリーランスのアニメーターとしてアニメーション技法によるプロモーション映像等の制作を行った実務経験のある教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	授業の事前学習・事後学習として放課後の時間帯に課題を制作する必要があり、14号館3F140301教室の他に2号館2F221教室を利用することが可能。
オフィスアワー	木曜日5限・14号館14301教室

	授業計画	担当者
第１回	ラフコンテ添削	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第２回	絵コンテ制作	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第３回	レイアウト制作	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第４回	アニメーション素材制作(1)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第５回	アニメーション素材制作(2)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第６回	アニメーション作画・撮影(1)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第７回	アニメーション作画・撮影(2)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第８回	アニメーション作画・撮影(3)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第９回	アニメーション作画・撮影(4)	前嶋英輝、今村俊介、清水

		光二、平見勇雄
第１０回	アニメーション作画・撮影(5)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１１回	アニメーション作画・撮影(6)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１２回	映像編集(1)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１３回	映像編集(2)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１４回	映像編集(3)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１５回	映像編集(4)	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄
第１６回	単位認定試験	前嶋英輝、今村俊介、清水光二、平見勇雄

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	After Effects for アニメーション	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ新社
参・著者名１	大平幸輝	参・ＩＳＢＮ１	978-4-86100-699-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション概論			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-212		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「実践的なアニメーション企画」をテーマとし、プロデューサーからのアニメーション制作の現場で行われている企画から社会への提供、その後の対応までを実践を通して、応用的な技術を使える能力を身につける。そのために必要な知識をアニメーションに関する概要として学修する。またSNSの利用方法を学生が検討し演習を行うことで、プロジェクトを企画できる能力を身につける事が出来る。自分が表現したい内容を盛り込んだプロジェクト企画を完成させる事が出来る。
授業概要	アニメーションプロジェクト企画の制作を行う。企画書を作り、イメージボードを描き、絵コンテを作成する。そのために必要なアニメーションに関する情報について概論の形で学修する。 具体的には、キャラクター企画を考案し、コンテンツを作成する。またネット上での展開やキャラクターの個性を作っていくための企画について学ぶ。最終的に自主制作作品をプロデュースすることができるための知識と技術を身につけることを目標にする。
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	プロデュースの基礎を固める授業であるため、授業の前後以外にも毎日研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、アニメーションに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。授業に必要になるキャラクター、その他資料になるものは、予習の中で授業前に各自用意をし、また復習時間をもち完成度を高めた企画を完成することが必要である。予習復習に各２時間程度が必要となる。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	プロデュースの基礎を固める授業であるため、授業の前後以外にも毎日研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、アニメーションに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。授業に必要になるキャラクター、その他資料になるものは、予習の中で授業前に各自用意をし、また復習時間をもち完成度を高めた企画を完成することが必要である。予習復習に各２時間程度が必要となる。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	アニメーション概論	井上

第２回	企画の考え方	井上
第３回	ビジネス構造	井上
第４回	製作体制	井上
第５回	構成、イメージボード	井上
第６回	シナリオ、設定	井上
第７回	絵コンテ	井上
第８回	作画	井上
第９回	仕上げ、美術	井上
第１０回	撮影、CGI	井上
第１１回	音響、音楽	井上
第１２回	プリプロ、納品	井上
第１３回	販売、プロモーション	井上
第１４回	SNSへの対応	井上
第１５回	コンテンツノの利用と全体まとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	アニメプロデューサーになろう! アニメ「製作(ビジネス)」の仕組み	教・出版社名１	星海社
教・著者名１	福原 慶匡（著）	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 406511439X
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	映像の企画・構成			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-213		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	アニメーションにおいても他の映像表現と同様に、企画からシナリオ作りまでの、映像になる前の言語段階が極めて重要である。というのも、その段階で映像作品全体の基本設計がなされてしまうからである。 この科目のテーマは、映像作品制作におけるそうした言語段階での準備とその最終形であるシナリオを、アニメーションの制作過程全体の中で理解することである。 シナリオとは登場人物の感情の流れやそれに基づく行動を時間軸に沿って描いたものだが、そこには作り手の物語構成上の工夫が必ず潜んでいる。学生は物語の誕生以来培われてきたそうした物語の構成形式を学ぶことによって、映像作品をより深く理解することができるようになる。さらには、作中の様々な人物の生き様を追体験することにより、他者への共感力や理解力をより深めることも期待出来よう。
授業概要	様々なシナリオ作品を実際講読することによって、物語の構成法を理解すると共に、そこからさらに作品のテーマや制作意図などを考えてみよう。作品を読んで構成要素を取り出し、それを時系列に沿って並べながら物語の構造を捉えることは、この授業に参加した学生一人ひとりに課せられた課題である。学生はこうした物語構成に基づいた作品理解についてそれぞれプレゼンテーションを行い、その後は相互に自分の意見を述べあう。そこで得られた気付きや反省を基に、シナリオについての理解をさらに深めることになる。 シナリオは柱、ト書き、セリフの3つから成り立っており、小説とは書き方がかなり異なっている。そのため、シナリオの構成と並行して、シナリオの具体的な書き方についても学習することになる。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	この授業では、授業への積極的な参加態度（40%）、プレゼンテーション（30%）、レポート提出（30%）などを合計し、総合的に評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	レポートの提出や課題の発表がなされない場合は、評価不能となり単位認定ができないので特に注意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レポートの提出や課題発表のためには、当然のことながら予習・復習が必須である。予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	ガイダンス／シナリオとは何か	清水光二
第２回	シナリオと小説の違い	清水光二
第３回	シナリオの書き方	清水光二
第４回	シナリオの構成	清水光二
第５回	３幕構成の仕組み	清水光二
第６回	短編アニメのシナリオを読む	清水光二
第７回	短編アニメの構成の確認	清水光二
第８回	中編アニメのシナリオを読む	清水光二
第９回	中編アニメのシナリオを分析	清水光二
第１０回	中編アニメの構成の確認	清水光二
第１１回	長編アニメのシナリオを読む	清水光二
第１２回	長編アニメのシナリオを分析	清水光二

第１３回	長編アニメのハコ書き化	清水光二	
第１４回	長編アニメのシナリオの構成を考える	清水光二	
第１５回	主人公の葛藤の流れを追う	清水光二	
第１６回	レポート試験	清水光二	
教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜プリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメ・シナリオ入門	参・出版社名１	映人社
参・著者名１	鳥海　尽三	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87100-215-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	動画像基礎			担当者	今村　俊介、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年			ナンバリング	AN-AN-1-214		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限 水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	デジタル作画ツールCLIPSTUDIO EXを活用し、3～4人のグループワークで1分以内のアニメーション映像を制作する。絵コンテの描き方と2Dデジタルアニメーション制作における基礎知識を習得することを授業の到達目標とする。
授業概要	学生はAdobe After Effectsと写真素材を活用した映像編集課題を通してツールの使い方と映像の編集効果を体験し、与えられるテーマに沿って"1 cut animation"を制作する。複数の受講者が制作したアニメーション映像を一つなぎの映像として編集し、グループワーク作品として完成させる。作品制作時、主に使うツールとしているCLIP STUDIO EX、Adobe After Effectsの他に、作品データの共有・管理のためGoogle Driveなどのデータストレージを活用する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では課題制作過程と提出物の完成度などを指標に課題提出（60%）、最終課題（40%）の割合によって評価する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題はユニバーサルパスポートを活用する形でフィードバックし、制作過程を見返り次の課題制作に役立てることを目標とする。
履修条件・注意事項	14号館14301教室
実務経験のある教員	該当する　内容　この授業は、アニメーション技法による映像制作の授業担当を行った実務経験のある教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	授業の事前学習・事後学習として放課後の時間帯に課題を制作する必要があり、14号館3F140301教室の他に2号館2F221教室を利用することが可能。
オフィスアワー	月曜日5限研究室

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス	前嶋英輝
第２回	「クレショフ効果」映像編集・コメント作成	前嶋英輝
第３回	アニメーションレイアウト制作	前嶋英輝
第４回	グループワーク課題・ツールの使い方説明	前嶋英輝
第５回	Vコンテ制作	前嶋英輝
第６回	Vコンテ修正	前嶋英輝
第７回	Vコンテ課題コメント・作業分担	前嶋英輝
第８回	アニメーションレイアウト修正	前嶋英輝
第９回	アニメーション作画	前嶋英輝
第１０回	アニメーション作画修正	前嶋英輝
第１１回	アニメーション着彩	前嶋英輝
第１２回	アニメーション背景制作	前嶋英輝
第１３回	アニメーション書き出し	前嶋英輝
第１４回	タイトル・クレジット制作	前嶋英輝
第１５回	全体編集・映像書き出し	前嶋英輝

第１６回	最終課題提出		前嶋英輝
教科書			
教・書籍名１	ショートアニメーション　メイキング講座　吉邉尚希ｗｏｒｋｓ　ｂｙ　ＣＬＩＰ ＳＴＵＤＩＯ　ＰＡＩＮＴ　ＰＲＯ／ＥＸ　［増補改訂版］	教・出版社名１	技術評論社
教・著者名１	吉邉尚希	教・ＩＳＢＮ１	9784297125493
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	シナリオ制作			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-215		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	アニメーションにおいても他の映像表現と同様に、企画からシナリオ作りまでの、映像になる前の言語段階が極めて重要である。というのも、その段階で映像作品全体の基本設計がなされてしまうからである。 この科目のテーマは、映像作品制作におけるそうした言語段階での準備とその最終形であるシナリオを、アニメーションの制作過程全体の中で理解することである。 シナリオとは登場人物の感情の流れやそれに基づく行動を時間軸に沿って描いたものだが、そこには作り手の物語構成上の工夫が必ず潜んでいる。学生は物語の誕生以来培われてきたそうした物語の構成形式を学ぶことによって、映像作品をより深く理解することができるようになる。さらには、作中の様々な人物の生き様を追体験することにより、他者への共感力や理解力をより深めることも期待出来よう。
授業概要	様々なシナリオ作品を実際講読することによって、物語の構成法を理解すると共に、そこからさらに作品のテーマや制作意図などを考えてみよう。作品を読んで構成要素を取り出し、それを時系列に沿って並べながら物語の構造を捉えることは、この授業に参加した学生一人ひとりに課せられた課題である。学生はこうした物語構成に基づいた作品理解についてそれぞれプレゼンテーションを行い、その後は相互に自分の意見を述べあう。そこで得られた気付きや反省を基に、シナリオについての理解をさらに深めることになる。 シナリオは柱、ト書き、セリフの3つから成り立っており、小説とは書き方がかなり異なっている。そのため、シナリオの構成と並行して、シナリオの具体的な書き方についても学習することになる。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	この授業では、授業への積極的な参加態度（40%）、プレゼンテーション（30%）、レポート提出（30%）などを合計し、総合的に評価を行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	レポートの提出や課題の発表がなされない場合は、評価不能となり単位認定ができないので特に注意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レポートの提出や課題発表のためには、当然のことながら予習・復習が必須である。予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	シナリオの構成	清水光二
第２回	作品（映像）のテーマ	清水光二
第３回	シナリオの表現方法	清水光二
第４回	クライマックスについて	清水光二
第５回	キャラクターの重要性について	清水光二
第６回	短編アニメのシナリオを読む	清水光二
第７回	短編アニメの構成の確認	清水光二
第８回	中編アニメのシナリオを読む	清水光二
第９回	中編アニメのシナリオを分析	清水光二
第１０回	中編アニメの構成の確認	清水光二
第１１回	中編アニメの企画	清水光二

第１２回	中編アニメの構想	清水光二	
第１３回	中編アニメのハコ書き化	清水光二	
第１４回	中編アニメのシナリオを書く	清水光二	
第１５回	主人公の葛藤の流れを追う	清水光二	
第１６回	レポート試験	清水光二	
教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜プリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメ・シナリオ入門	参・出版社名１	映人社
参・著者名１	鳥海　尽三	参・ＩＳＢＮ１	978-4-87100-215-8
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	イラスト演習			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年／ 2019～ 2020年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	AN-AN-1-216		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「イラストを描く基礎をつくる」ことをテーマとする。 学生は平面表現を支える基礎技術の体系を学び、自分の学修計画をつくることができるようになる。 空間や視覚現象の基本を把握し「分析によって描く力」を身につける。 学生が制約なく立体空間を2次元に転写できるようになることを到達目標とする。
授業概要	毎週の課題と講評によって成長の確認と、学生自身の目標の明確化を目指す。 様々な技術を教員の実演と資料画像で具体的に示し、その技術構造の解説を行う。 基礎習熟の目的と方法を理解し、日々の反復練習によって表現の基礎を作る。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、基礎の確立を目的としていることから、 毎週提出の課題作品(60%)と期末課題(40%)によって能力の向上を評価する。 評価のための課題については次回授業で講評によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業でコメントすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	演習課題については、毎週提出となる。 示された課題に基づき常時制作を続ける必要がある。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、東洋美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	示された課題に沿っての作品制作が必要(２時間程度)である。 SNSやPintarestで資料収集することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上でも随時質問相談を受け付けている。

	授業計画	担当者
第１回	授業方針の説明 基本デッサンの方法-1(箱) 課題説明	佐々木洋
第２回	基本デッサンの方法-2(箱と平面) 課題解説-講評	佐々木洋
第３回	基本デッサンの方法-3(形状転写) 課題解説-講評	佐々木洋
第４回	基本デッサンの方法-2(明暗構成) 課題解説-講評	佐々木洋
第５回	人体解剖-概説 課題解説-講評	佐々木洋

第６回	人体解剖-骨盤/尻 課題解説-講評	佐々木洋
第７回	人体解剖-骨盤/尻 課題解説-講評	佐々木洋
第８回	人体解剖-脚 課題解説-講評	佐々木洋
第９回	人体解剖-腕の運動システム 課題解説-講評	佐々木洋
第１０回	人体解剖-胴 課題解説-講評	佐々木洋
第１１回	人体解剖-頭部-1 課題解説-講評	佐々木洋
第１２回	人体解剖-頭部-2 課題解説-講評	佐々木洋
第１３回	人体解剖-顔面 課題解説-講評	佐々木洋
第１４回	人体解剖-手/足の学び方 期末課題解説-講評	佐々木洋
第１５回	期末総評 期末課題-講評	佐々木洋
第１６回		

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	マンガ基礎 （集中Ｄ）	担当者	加藤　礼次朗
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	AN-AN-1-217

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「マンガを創作する」ことをテーマとする。参考作品の鑑賞を行い、オリジナルのマンガが制作できるようになる。手描きに加えて、CLIP STUDIOなどのソフトの使用方法を学び、デジタル作画の技術を身につけてストーリー漫画を描く技術を身につける。学生は、短編マンガの制作ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	具体的なマンガの例を参照しながら描画の技術練習を行い、オリジナル作品の制作を行う。下描き、ペン入れ、ベタ、コマ割り、トーンなどマンガ制作に必要な知識や技術を学ぶ。学生は、人物キャラクターデザインや背景などを描くことができる力を身につけ、テーマを持った作品に取り組む。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、マンガ制作について知識及び技術を身につけることを目的としていることから、作品制作を通して修得した能力を計ることを目的として、課題作品提出（60%）を行い、最終試験として自主制作作品提出（40%）を行う。 なお、提出した作品は、授業内でフィードバックするので、最終試験までに習熟することとする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	この授業は漫画のネームを作るので、途中の提出ごとにペン入れをしてフィードバックする。
履修条件・注意事項	１）事前に次回の課題を示すので、必要な資料を揃え制作に必要な予習を行なっておくこと。２）毎回課題作品の制作を復習として行うこと。予習及び復習に少なくとも２時間程度を要する。
実務経験のある教員	該当する　内容：この科目は、漫画家として活動している実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
事前学習・事後学習とその時間	イラストに関する内容を授業内容に沿って、書籍やネットによって予習復習を行う。必要に応じてプリントを配布するので、自分のスケッチなどと一緒にファイルに入れて学習を積み重ねることとする。
オフィスアワー	講義室にて授業時間後に質問等を受け付ける。

授業計画		担当者
第１回	マンガの描き方と作品鑑賞	加藤礼次朗
第２回	手描き（下書きとペンの使い方）	加藤礼次朗
第３回	マンガのコマ割りと実例	加藤礼次朗
第４回	デジタル作画のラフの描き方	加藤礼次朗
第５回	ペデジタル作画のペン入れ	加藤礼次朗
第６回	レイヤーの使い方	加藤礼次朗
第７回	トーンとベタ	加藤礼次朗
第８回	写真の利用方法とラフ	加藤礼次朗
第９回	背景の描き方	加藤礼次朗
第１０回	主人公のキャラクター	加藤礼次朗
第１１回	キャラクターの描き込み	加藤礼次朗

第１２回	ポートレートの髪と眼の表現	加藤礼次朗	
第１３回	髪と眼の描き込み	加藤礼次朗	
第１４回	服の描き方	加藤礼次朗	
第１５回	テーマのあるマンガの構想	加藤礼次朗	
第１６回	作品提出	加藤礼次朗	
教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じてプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	クリスタ デジタルマンガ&イラスト道場 CLIP STUDIO PAINT PRO/EX対応	参・出版社名１	ソーテック社
参・著者名１	サイドランチ	参・ＩＳＢＮ１	978-4800711762
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	映像音響概論A			担当者	平見　勇雄		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-219		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	映像と音楽の関係を考察するのがテーマです。春学期は日本マンガ概論では扱わなかった実写のアニメを取り扱います。今のようにCGのなかった時代の実写がどのように制作され、音楽を担当していた作曲者を紹介し、二つの関係がどうであったかを１９８０年代以降と比較してみます。学生はアニメ創成期の作品を観ることによって、どのような作品があったかを知り、現代以上に質の高い音楽が制作されていた歴史を知ることができます。
授業概要	日本のアニメとほぼ並行して日本を初めとして海外でも子ども向けのテレビ番組が制作されました。それらを比較して当時の日本と海外の違いを考察してみます。春学期はもともとアニメだったものが実写化されたものや、特撮と言われた日本が誇る子ども向けの番組を紹介し、当時の作品を概観します。その背後には当時気鋭の作曲家がいました。その作品を観たり聴いたりすることで時代性を考察します。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	レポートを提出してもらい評価します。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	第１５回目にレポートを提出してもらい、最後になる１６回目の授業でレポートの結果を考察します。
履修条件・注意事項	You tubeで観られる作品もあるので、授業中に興味を持った作品は観て欲しい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	どんどんと関連ある作品を鑑賞し、創世記の実写アニメを鑑賞して下さい。
オフィスアワー	水曜日３限、２号館６Ｆの研究室です。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　春学期の作品紹介	平見勇雄
第２回	ひょっこりひょうたん島	平見勇雄
第３回	円谷プロ作品　第一回目　ウルトラQ	平見勇雄
第４回	円谷プロ作品　第二回目　ウルトラマン	平見勇雄
第５回	円谷プロ作品　第三回目　ウルトラセブン	平見勇雄
第６回	円谷プロ作品　第四回目　マイティジャック	平見勇雄
第７回	赤影参上	平見勇雄
第８回	コメットさん（九重祐実子版）	平見勇雄
第９回	海外の事情　サンダーバード	平見勇雄
第１０回	海外の事情　スティングレイ	平見勇雄
第１１回	サインはV	平見勇雄
第１２回	ガメラ	平見勇雄
第１３回	大魔神	平見勇雄
第１４回	おれは男だ！	平見勇雄
第１５回	春学期の総括	平見勇雄
第１６回	春学期のレポートの紹介	平見勇雄

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	

教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	講義ごとにプリントを配布します。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	映像音響概論B			担当者	平見　勇雄		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-220		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	講義
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	○	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	映像と音楽の関係を考察するのがテーマです。秋学期は映画を取り扱います。日本の映画と海外の映画の両方を扱います。映画がどのように制作され、音楽を担当していた作曲者の映像も紹介し、どのように作られたのかを作曲者の発言から読み解きます。学生はそれぞれの作品を観て、その裏側を知ることによって、相互の関係を理解することができます。
授業概要	古い映画から比較的新しい映画まで幅広く扱います。日本と海外の違いを考察してみます。名作が生まれた背後には当時気鋭の作曲家がいました。それぞれの背景を探ります。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	レポートを提出してもらい評価します。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	第１５回目にレポートを提出してもらい、最後になる１６回目の授業でレポートの結果を考察します。
履修条件・注意事項	You tubeで観られる作品もあるので、授業中に興味を持った監督の作品は観て欲しいと思います。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	どんどんと関連ある作品を鑑賞し、音楽がどう映像につけられているかを日頃から気を付けて考えながら見るよう鑑賞する癖をつけて下さい。多くがYou Tubeに出ていますから、復習としてもう一度観てもらい、一度目では気付かなかったことを書き留めて映像と音楽の調和が自分でとれているとおもうところを書き留めて下さい。最後のレポートに役立ちます。音楽家の名前を検索するとそれぞれでさまざまな作品にかかわっていますから、どのような作品を生み出しているのか、作曲家の知識を広げて下さい。予習、復習に２時間程度使うことになると思います。
オフィスアワー	水曜日３限、２号館６Ｆの研究室です。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　秋学期の作品紹介　眉山	平見勇雄
第２回	眉山　後半　大島ミチル	平見勇雄
第３回	おくりびと　前半	平見勇雄
第４回	おくりびと　後半　久石譲	平見勇雄
第５回	二十四の瞳　前半	平見勇雄
第６回	二十四の瞳　後半　三枝成章	平見勇雄
第７回	ロッキー　前半	平見勇雄
第８回	ロッキー　後半　ビルコンティ	平見勇雄
第９回	哀愁　前半	平見勇雄
第１０回	哀愁　後半　蛍の光について	平見勇雄
第１１回	タイタニック　前半	平見勇雄
第１２回	タイタニック　後半	平見勇雄
第１３回	犬神家の一族　前半	平見勇雄
第１４回	犬神家の一族　後半　大野雄二	平見勇雄
第１５回	秋学期の総括	平見勇雄
第１６回	秋学期のレポートの紹介	平見勇雄

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	

教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	講義ごとにプリントを配布します。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	音響演習A （Aクラス）	担当者	相原　恒
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-221

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、既存楽曲のアレンジを行い、「自らイメージ通りの曲が作れるようになる」ことをテーマとし、参考作品を参照しながら、表現能力を身につける。各自の音楽表現ができるようになるために、基本的な知識と技術を学ぶ。その上で、コンピューターソフトを使った音楽創作を行い、イメージに合った独自の音楽を制作できるようになる。音楽制作を経験し、既存の音楽にない独自の音楽表現ができる技術を身につける。DAW（デジタルオーディオワークステーション）を使った短い楽曲制作及び編集ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	Steinberg社製のDAWソフト「Cubase」を使用し、具体的なテーマについて楽曲制作を行う。制作に必要なソフトの操作方法やテクニック、作曲に必要な音楽理論の基礎も学ぶ。一人一人が１台のPCを操作し、教員の机間巡視によって個別指導を行う。また既存楽曲のアレンジを行い、問題解決の能力が身につくような演習方式による授業を行う。 目的は、自身のイメージする楽曲を自由に創造することである。効果音制作や短い作品を完成させることを目標とする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、実務経験を持つ教員がその経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	この科目では、デジタルソフトの操作方法や音楽創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、授業の課題・作品評価(70%)、演習学修態度(30%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、ソフトの予習を行うことが必要である。また毎回の復習として自主的な作品づくりに応用することが重要である。日々の自分の制作に活かして、イメージを表現出来るよう練習を繰り返すことが重要である。 初回の授業で、参考作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：CMの楽曲制作 アーケード、コンシューマー、スマートフォンゲームの楽曲制作 他大学での非常勤講師及び岡山市の音楽教室講師
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	基本的には授業の前後に質問等を受け付ける。

授業計画		担当者
第１回	Cubaseを使った制作・編集の流れ	相原
第２回	コンピュータの基本操作	相原
第３回	音楽基礎理論（楽譜の読み方等）	相原

第４回	Cubaseの基本操作	相原
第５回	各種設定・ショートカットキー	相原
第６回	楽器・音色	相原
第７回	MIDIステップ入力/リアルタイム入力	相原
第８回	クオンタイズ	相原
第９回	ミックスダウン	相原
第１０回	コード・スケール基礎	相原
第１１回	メロディの作り方	相原
第１２回	作品制作（テーマ・リファレンス）	相原
第１３回	13. 作品制作（作曲）	相原
第１４回	作品制作（アレンジ）	相原
第１５回	作品制作（添削）	相原
第１６回	課題提出	相原

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１	授業中に適宜資料を配布する。	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	音響演習A （Bクラス）	担当者	相原　恒
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-221

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、既存楽曲のアレンジを行い、「自らイメージ通りの曲が作れるようになる」ことをテーマとし、参考作品を参照しながら、表現能力を身につける。各自の音楽表現ができるようになるために、基本的な知識と技術を学ぶ。その上で、コンピューターソフトを使った音楽創作を行い、イメージに合った独自の音楽を制作できるようになる。音楽制作を経験し、既存の音楽にない独自の音楽表現ができる技術を身につける。DAW（デジタルオーディオワークステーション）を使った短い楽曲制作及び編集ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	Steinberg社製のDAWソフト「Cubase」を使用し、具体的なテーマについて楽曲制作を行う。制作に必要なソフトの操作方法やテクニック、作曲に必要な音楽理論の基礎も学ぶ。一人一人が１台のPCを操作し、教員の机間巡視によって個別指導を行う。また既存楽曲のアレンジを行い、問題解決の能力が身につくような演習方式による授業を行う。 目的は、自身のイメージする楽曲を自由に創造することである。効果音制作や短い作品を完成させることを目標とする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、実務経験を持つ教員がその経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	この科目では、デジタルソフトの操作方法や音楽創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、授業の課題・作品評価(70%)、演習学修態度(30%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、ソフトの予習を行うことが必要である。また毎回の復習として自主的な作品づくりに応用することが重要である。日々の自分の制作に活かして、イメージを表現出来るよう練習を繰り返すことが重要である。 初回の授業で、参考作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：CMの楽曲制作 アーケード、コンシューマー、スマートフォンゲームの楽曲制作 他大学での非常勤講師及び岡山市の音楽教室講師
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	基本的には授業の前後に質問等を受け付ける。

授業計画		担当者
第１回	Cubaseを使った制作・編集の流れ	相原
第２回	コンピュータの基本操作	相原
第３回	音楽基礎理論（楽譜の読み方等）	相原

第４回	Cubaseの基本操作	相原
第５回	各種設定・ショートカットキー	相原
第６回	楽器・音色	相原
第７回	MIDIステップ入力/リアルタイム入力	相原
第８回	クオンタイズ	相原
第９回	ミックスダウン	相原
第１０回	コード・スケール基礎	相原
第１１回	メロディの作り方	相原
第１２回	作品制作（テーマ・リファレンス）	相原
第１３回	13. 作品制作（作曲）	相原
第１４回	作品制作（アレンジ）	相原
第１５回	作品制作（添削）	相原
第１６回	課題提出	相原

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１	授業中に適宜資料を配布する。	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	音響演習B （Aクラス）	担当者	相原　恒
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-222

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、既存楽曲のアレンジを行い、「自らイメージ通りの曲が作れるようになる」ことをテーマとし、参考作品を参照しながら、表現能力を身につける。各自の音楽表現ができるようになるために、基本的な知識と技術を学ぶ。その上で、コンピューターソフトを使った音楽創作を行い、イメージに合った独自の音楽を制作できるようになる。音楽制作を経験し、既存の音楽にない独自の音楽表現ができる技術を身につける。DAW（デジタルオーディオワークステーション）を使った短い楽曲制作及び編集ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	Steinberg社製のDAWソフト「Cubase」を使用し、具体的なテーマについて楽曲制作を行う。制作に必要なソフトの操作方法やテクニック、作曲に必要な音楽理論の基礎も学ぶ。一人一人が１台のPCを操作し、教員の机間巡視によって個別指導を行う。また既存楽曲のアレンジを行い、問題解決の能力が身につくような演習方式による授業を行う。 目的は、自身のイメージする楽曲を自由に創造することである。効果音制作や短い作品を完成させることを目標とする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、実務経験を持つ教員がその経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	この科目では、デジタルソフトの操作方法や音楽創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、授業の課題・作品評価(70%)、演習学修態度(30%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、ソフトの予習を行うことが必要である。また毎回の復習として自主的な作品づくりに応用することが重要である。日々の自分の制作に活かして、イメージを表現出来るよう練習を繰り返すことが重要である。 初回の授業で、参考作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：CMの楽曲制作 アーケード、コンシューマー、スマートフォンゲームの楽曲制作 他大学での非常勤講師及び岡山市の音楽教室講師
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	基本的には授業の前後に質問等を受け付ける。

授業計画		担当者
第１回	コードパッド・コードトラックの活用	相原
第２回	テンポトラックの活用	相原
第３回	VSTエフェクト/FXチャンネル	相原
第４回	ギター・ベースパート入力	相原
第５回	ドラム譜の読み方/ドラムパート入力	相原
第６回	オーディオデータの録音方法	相原

第７回	オーディオファイルの編集	相原
第８回	オーディオ・MIDIループ素材の活用	相原
第９回	既存楽曲のアレンジ（テーマ決め）	相原
第１０回	既存楽曲のアレンジ	相原
第１１回	既存楽曲のアレンジ（添削）	相原
第１２回	作品制作（テーマ・リファレンス）	相原
第１３回	作品制作（作曲）	相原
第１４回	作品制作（アレンジ）	相原
第１５回	作品制作（添削）	相原
第１６回	課題提出	相原

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１	授業中に適宜資料を配布する。	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	音響演習B （Bクラス）	担当者	相原　恒
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-222

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	火曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、既存楽曲のアレンジを行い、「自らイメージ通りの曲が作れるようになる」ことをテーマとし、参考作品を参照しながら、表現能力を身につける。各自の音楽表現ができるようになるために、基本的な知識と技術を学ぶ。その上で、コンピューターソフトを使った音楽創作を行い、イメージに合った独自の音楽を制作できるようになる。音楽制作を経験し、既存の音楽にない独自の音楽表現ができる技術を身につける。DAW（デジタルオーディオワークステーション）を使った短い楽曲制作及び編集ができるようになることを到達目標とする。
授業概要	Steinberg社製のDAWソフト「Cubase」を使用し、具体的なテーマについて楽曲制作を行う。制作に必要なソフトの操作方法やテクニック、作曲に必要な音楽理論の基礎も学ぶ。一人一人が１台のPCを操作し、教員の机間巡視によって個別指導を行う。また既存楽曲のアレンジを行い、問題解決の能力が身につくような演習方式による授業を行う。 目的は、自身のイメージする楽曲を自由に創造することである。効果音制作や短い作品を完成させることを目標とする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、実務経験を持つ教員がその経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	この科目では、デジタルソフトの操作方法や音楽創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、授業の課題・作品評価(70%)、演習学修態度(30%)の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、ソフトの予習を行うことが必要である。また毎回の復習として自主的な作品づくりに応用することが重要である。日々の自分の制作に活かして、イメージを表現出来るよう練習を繰り返すことが重要である。 初回の授業で、参考作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：CMの楽曲制作 アーケード、コンシューマー、スマートフォンゲームの楽曲制作 他大学での非常勤講師及び岡山市の音楽教室講師
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	基本的には授業の前後に質問等を受け付ける。

授業計画		担当者
第１回	コードパッド・コードトラックの活用	相原
第２回	テンポトラックの活用	相原
第３回	VSTエフェクト/FXチャンネル	相原
第４回	ギター・ベースパート入力	相原
第５回	ドラム譜の読み方/ドラムパート入力	相原
第６回	オーディオデータの録音方法	相原

第７回	オーディオファイルの編集	相原
第８回	オーディオ・MIDIループ素材の活用	相原
第９回	既存楽曲のアレンジ（テーマ決め）	相原
第１０回	既存楽曲のアレンジ	相原
第１１回	既存楽曲のアレンジ（添削）	相原
第１２回	作品制作（テーマ・リファレンス）	相原
第１３回	作品制作（作曲）	相原
第１４回	作品制作（アレンジ）	相原
第１５回	作品制作（添削）	相原
第１６回	課題提出	相原

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１	授業中に適宜資料を配布する。	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	CG基礎A （Bクラス）	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-223

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、コンピュータによるアニメ制作に関連した画像処理の基礎理論および基礎技法を修得することができる。 MacおよびWindowsソフトウェアの画像作成および画像処理の基礎スキルを身につけることができる。 具体的には、Macで画像処理系の基礎的アプリケーションソフトの利用を指導し、学生はCGを活用した効率的な作品作成を行うための基礎知識を修得でき、公益財団法人 画像情報教育振興協会のCGクリエイター検定ベーシック受験の力をつけることができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「画像処理におけるコンピュータリテラシー」と「課題理解能力」である。
授業概要	情報のデジタル化、CG開発の歴史、画像処理の要素と機構、画像処理系基礎アプリケーションの基本機能などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	制作工程の区切りごとに進捗と完成度を確認する。最終的な課題完成についてはコメントを付記する。
履修条件・注意事項	CG基礎理論の修得を重視して進める。 コンピュータ活用であるので、1年次に得た知見を十分復習しておくことが望ましい。さらに各回の講義に対して予習・復習を十分におこなうこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと（90分）。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと（90分）。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて、月曜4限をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	1 オリエンテーション	今村
第２回	2 画像処理の構成要素	今村
第３回	3 CG活用の歴史	今村
第４回	4 画像処理概論	今村
第５回	5 Mac系CG：2DCG	今村

第６回	6 Windoows系CG：3DCG	今村
第７回	7 CG作成技法　ペイント系	今村
第８回	8 CG作成技法　ドロー系	今村
第９回	9 ペイントとレタッチとは何か	今村
第１０回	10 ドローの座標指定とは何か	今村
第１１回	11 ペイントとドロー連携技法	今村
第１２回	12 デジタル編集とは何か	今村
第１３回	13 エフェクト構成と操作	今村
第１４回	14.簡易動画出力	今村
第１５回	15 CG練習課題作成	今村
第１６回	16 CG提出課題試験	今村

教科書			
教・書籍名１	授業内容に即したPDF資料を適宜配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	入門CGデザイン -CG制作の基礎- [改訂新版]	参・出版社名１	公益財団法人画像情報教育振興協会（CG-ARTS協会）
参・著者名１	［編集委員長］ 木村卓（株式会社 IMAGICA） ［執筆者］ 大口 孝之（映像ジャーナリスト） 川口 吾妻（女子美術大学） 木村 卓（株式会社 IMAGICA） 久保田 浩明（株式会社東芝） 源田 悦夫（九州大学大学院） 後藤 道子（九州大学大学院） 小林 昭世（武蔵野美術大学） 佐藤 皇太郎（サトリデザイン／関東学院大学） 鈴木 祐貴（日本コンピュータ学園東北電子専門学校） 西井 育生（株式会社ロボット） 原田 泰（公立はこだて未来大学） 松隈 浩之（九州大学大学院） 三上 浩司（東京工科大学） 山本 浩司（株式会社スタジオウォールナット）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-903474-47-2
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	CG基礎A （Aクラス）	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-223

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、コンピュータによるアニメ制作に関連した画像処理の基礎理論および基礎技法を修得することができる。 MacおよびWindowsソフトウェアの画像作成および画像処理の基礎スキルを身につけることができる。 具体的には、Macで画像処理系の基礎的アプリケーションソフトの利用を指導し、学生はCGを活用した効率的な作品作成を行うための基礎知識を修得でき、公益財団法人 画像情報教育振興協会のCGクリエイター検定ベーシック受験の力をつけることができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「画像処理におけるコンピュータリテラシー」と「課題理解能力」である。
授業概要	情報のデジタル化、CG開発の歴史、画像処理の要素と機構、画像処理系基礎アプリケーションの基本機能などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	制作工程の区切りごとに進捗と完成度を確認する。最終的な課題完成についてはコメントを付記する。
履修条件・注意事項	CG基礎理論の修得を重視して進める。 コンピュータ活用であるので、1年次に得た知見を十分復習しておくことが望ましい。さらに各回の講義に対して予習・復習を十分におこなうこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと（90分）。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと（90分）。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて、月曜4限をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	1 オリエンテーション	今村
第２回	2 画像処理の構成要素	今村
第３回	3 CG活用の歴史	今村
第４回	4 画像処理概論	今村
第５回	5 Mac系CG：2DCG	今村

第６回	6 Windoows系CG：3DCG	今村
第７回	7 CG作成技法　ペイント系	今村
第８回	8 CG作成技法　ドロー系	今村
第９回	9 ペイントとレタッチとは何か	今村
第１０回	10 ドローの座標指定とは何か	今村
第１１回	11 ペイントとドロー連携技法	今村
第１２回	12 デジタル編集とは何か	今村
第１３回	13 エフェクト構成と操作	今村
第１４回	14.簡易動画出力	今村
第１５回	15 CG練習課題作成	今村
第１６回	16 CG提出課題試験	今村

教科書			
教・書籍名１	授業内容に即したPDF資料を適宜配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	入門CGデザイン -CG制作の基礎- [改訂新版]	参・出版社名１	公益財団法人画像情報教育振興協会（CG-ARTS協会）
参・著者名１	［編集委員長］ 木村卓（株式会社 IMAGICA） ［執筆者］ 大口 孝之（映像ジャーナリスト） 川口 吾妻（女子美術大学） 木村 卓（株式会社 IMAGICA） 久保田 浩明（株式会社東芝） 源田 悦夫（九州大学大学院） 後藤 道子（九州大学大学院） 小林 昭世（武蔵野美術大学） 佐藤 皇太郎（サトリデザイン／関東学院大学） 鈴木 祐貴（日本コンピュータ学園東北電子専門学校） 西井 育生（株式会社ロボット） 原田 泰（公立はこだて未来大学） 松隈 浩之（九州大学大学院） 三上 浩司（東京工科大学） 山本 浩司（株式会社スタジオウォールナット）	参・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-903474-47-2
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	CG基礎B （Bクラス）	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-224

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、CGについての応用概念を理解し、CGソフトウェアの応用技法を修得して、発展的なＣＧ制作ができることがテーマである。 秋期はＣＧの応用概念を理解し、説明できること、またそのための応用スキルを身につけることを到達目標とする。 学生は、CGソフトウェアを使用して、発展的なCG造形及びＣＧアニメーション作成を行うための応用知識と技能を学ぶことができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「CG制作におけるコンピュータリテラシー」と「課題作成能力」である。
授業概要	情報のデジタル化、CG開発の歴史、画像処理の要素と機構、画像処理系アプリケーションの応用機能などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30％、課題等の提出物30％、試験40％、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	制作工程の区切りごとに進捗と完成度を確認する。最終的な課題完成についてはコメントを付記する。
履修条件・注意事項	CG基礎理論の修得を重視して進める。 コンピュータ活用であるので、1年次に得た知見を十分復習しておくことが望ましい。さらに各回の講義に対して予習・復習を十分におこなうこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと（90分）。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと（90分）。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて、火曜4限をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	1 オリエンテーション	今村
第２回	2 2DCGソフトウェアの３D表現	今村
第３回	3 LiLive2Dの概要	今村
第４回	4 Live2Dのサンプルキャラクター制作	今村
第５回	5 Live2Dのサンプルキャラクター編集	今村

第６回	6 Live2Dのサンプルキャラクターのアニメーション設定	今村
第７回	7 Live2Dのサンプルキャラクターの簡易動画出力	今村
第８回	8 Live2Dの人体キャラクター制作	今村
第９回	9 Live2Dの人体キャラクターの編集	今村
第１０回	10 Live2Dの人体キャラクターのアニメーション設定	今村
第１１回	11 Live2Dの人体キャラクターの動画出力	今村
第１２回	12 Live2Dのオリジナルキャラクターの設計	今村
第１３回	13 Live2Dのオリジナルキャラクターの編集	今村
第１４回	14.Live2Dのオリジナルキャラクターのアニメーション設定	今村
第１５回	15 Live2Dのオリジナルキャラクターの動画出力	今村
第１６回	16 Live2D提出課題試験	今村

教科書			
教・書籍名１	授業内容に即したPDF資料を適宜配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	たのしいLive2Dの入門教室	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ
参・著者名１	乃樹坂くしお	参・ＩＳＢＮ１	978-4802511971
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	CG基礎B （Aクラス）	担当者	今村　俊介
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-224

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義・演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、CGについての応用概念を理解し、CGソフトウェアの応用技法を修得して、発展的なＣＧ制作ができることがテーマである。 秋期はＣＧの応用概念を理解し、説明できること、またそのための応用スキルを身につけることを到達目標とする。 学生は、CGソフトウェアを使用して、発展的なCG造形及びＣＧアニメーション作成を行うための応用知識と技能を学ぶことができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「CG制作におけるコンピュータリテラシー」と「課題作成能力」である。
授業概要	情報のデジタル化、CG開発の歴史、画像処理の要素と機構、画像処理系アプリケーションの応用機能などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30％、課題等の提出物30％、試験40％、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	制作工程の区切りごとに進捗と完成度を確認する。最終的な課題完成についてはコメントを付記する。
履修条件・注意事項	CG基礎理論の修得を重視して進める。 コンピュータ活用であるので、1年次に得た知見を十分復習しておくことが望ましい。さらに各回の講義に対して予習・復習を十分におこなうこと。 授業計画の内容は、進捗の状況に応じて変更になることがある。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	各回の講義に対し、予習として授業計画に記載されている計画内容を下調べしておき、質問項目をまとめた上で講義に臨むこと（90分）。また、復習として、その回で学習した講義内容の意味を自分なりに簡潔に説明できるようにしておくこと（90分）。 予習復習の確認については、次回の講義時に指名あるいは挙手にて計画内容に関連する語句の説明を求め、その状況を積極的な参加態度として成績評価の得点とする。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて、火曜4限をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	1 オリエンテーション	今村
第２回	2 2DCGソフトウェアの３D表現	今村
第３回	3 LiLive2Dの概要	今村
第４回	4 Live2Dのサンプルキャラクター制作	今村
第５回	5 Live2Dのサンプルキャラクター編集	今村

第６回	6 Live2Dのサンプルキャラクターのアニメーション設定	今村
第７回	7 Live2Dのサンプルキャラクターの簡易動画出力	今村
第８回	8 Live2Dの人体キャラクター制作	今村
第９回	9 Live2Dの人体キャラクターの編集	今村
第１０回	10 Live2Dの人体キャラクターのアニメーション設定	今村
第１１回	11 Live2Dの人体キャラクターの動画出力	今村
第１２回	12 Live2Dのオリジナルキャラクターの設計	今村
第１３回	13 Live2Dのオリジナルキャラクターの編集	今村
第１４回	14.Live2Dのオリジナルキャラクターのアニメーション設定	今村
第１５回	15 Live2Dのオリジナルキャラクターの動画出力	今村
第１６回	16 Live2D提出課題試験	今村

教科書			
教・書籍名１	授業内容に即したPDF資料を適宜配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	たのしいLive2Dの入門教室	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ
参・著者名１	乃樹坂くしお	参・ＩＳＢＮ１	978-4802511971
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	３ＤＣＧ演習A	担当者	今村　俊介、三宅　俊治、前嶋　英輝
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年／ 2019～ 2020年度 吉備国際大学 学部生その他3年	ナンバリング	AN-AN-3-225

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は「３DCGモデリング技術の修得」をテーマとし、ソフトの使用方法の基礎を学び、オリジナルのキャラクターのモデリングができる能力を身につけることができる。目的に応じた3DCGソフトの的確な使い方を丁寧に学習し、確実にモデリングができることを大切にすることで、ネット上で活動できるVチューバーキャラクターや動画コンテンツを制作できるようになる。 自分が表現したいキャラクターをデザインし、モデリングして完成させることを到達目標とする。
授業概要	3Dモデリングソフト Blenderを使用して、モデリングの演習を行う。まずソフトの使用方法を基礎から学び、簡単な立体造形を行うことで、基本的なソフトの機能を確認する。次の段階でやや複雑な立体のモデリングを行い、ソフト全体の操作方法を学修する。オリジナルキャラクターのデザインを行い、モデリングの過程を学習して細部を制作する。最終的に自主制作作品を完成できるための知識と技術を身につけることを目標にする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、３DCGモデリングの制作能力を身につけることを目的としているため、演習課題（50%）、作品提出（50%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	モデリングの基礎を固める授業であるため、授業の前後以外にも毎日制作研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、モデリングに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。
実務経験のある教員	該当する　内容　3DCGモデラー、Vチューバーデザイナーとして会社経営に関わる教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	授業に必要になるキャラクター、その他資料になるものは、予習の中で授業前に各自用意をし、また復習時間をもち完成度を高めた作品を完成することが必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	授業の前後に質問等を受け付ける。

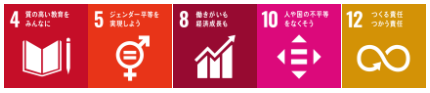
	授業計画	担当者
第１回	3DCGの学習方法と学修計画	今村俊介・前嶋英輝
第２回	Blenderの基本的な使い方	今村俊介・前嶋英輝
第３回	顔の平面の作成方法	今村俊介・前嶋英輝
第４回	顔の立体の基本	今村俊介・前嶋英輝
第５回	顔の立体の作成	今村俊介・前嶋英輝
第６回	髪の毛の基本	今村俊介・前嶋英輝
第７回	髪の毛の作成	今村俊介・前嶋英輝
第８回	素体ボディのモデリングの基本	今村俊介・前嶋英輝
第９回	素体ボディのモデリングの手順	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１０回	素体ボディのモデリングの実践	三宅俊治・今村俊介・前嶋

		英輝
第１１回	素体ボディのモデリングの完成	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１２回	ドレス衣装のモデリングの基本	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１３回	ドレス衣装のモデリングの手順	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１４回	ドレス衣装のモデリングの実践	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１５回	Blenderの使い方のまとめ	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１６回	課題提出	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	Blender標準テクニック ローポリキャラクター制作で学ぶ3DCG	教・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
教・著者名１	友	教・ＩＳＢＮ１	978-4844366379
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	授業で適宜指示します。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	３ＤＣＧ演習B			担当者	今村　俊介、三宅　俊治、前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-226		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	金曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任 
到達目標	学生は「３DCGモデリング技術の修得と応用」をテーマとし、ソフトの使用方法の応用を学び、オリジナルのキャラクターのモデリングができる能力を身につけることができる。目的に応じた3DCGソフトの的確な使い方を丁寧に学習し、確実にモデリングができることを大切にすることで、ネット上で活動できるVチューバーキャラクターや動画コンテンツを制作できるようになる。 自分が表現したいキャラクターをモデリングして、動きをつけて完成させることを到達目標とする。
授業概要	3DモデリングソフトBlenderを使用して、モデリングの演習を行う。まずソフトの使用方法について事例をもとに学び立体造形を行うことで応用可能なソフトの機能を確認する。次の段階で具体的なオリジナルの3Dモデリングを学修する。オリジナルキャラクターのデザインを行い、モデリングの過程を学習して細部を制作する。最終的に自主制作作品がunityなどの３Dゲーム開発ソフトで活用できるための知識と技術を身につけることを目標にする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、３DCGモデリングの制作能力を身につけることを目的としているため、演習課題（50%）、作品提出（50%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	モデリングの基礎を固める授業であるため、授業の前後以外にも毎日制作研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、モデリングに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。
実務経験のある教員	該当する　内容　３Dキャラクター制作を中心とする会社勤務を行なっている教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	授業に必要になるキャラクター、その他資料になるものは、予習の中で授業前に各自用意をし、また復習時間をもち完成度を高めた作品を完成することが必要である。１コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	授業の前後に質問等を受け付ける。

	授業計画	担当者
第１回	3DCGの学習方法と学修計画	今村俊介・前嶋英輝
第２回	Blenderの基本的な使い方の確認	今村俊介・前嶋英輝
第３回	キャラクターの顔の平面の確認	今村俊介・前嶋英輝
第４回	キャラクターの顔の立体の確認	今村俊介・前嶋英輝
第５回	キャラクターの顔の立体の応用	今村俊介・前嶋英輝
第６回	髪の毛の作成方法の確認	今村俊介・前嶋英輝
第７回	髪の毛の作成の応用方法	今村俊介・前嶋英輝
第８回	素体ボディのモデリング技術確認	今村俊介・前嶋英輝
第９回	素体ボディのモデリング応用方法	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１０回	素体ボディのモデリングの実践	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝

第１１回	素体ボディのモデリングの完成	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１２回	ドレス衣装のモデリング技術確認	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１３回	ドレス衣装のモデリング応用方法	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１４回	ドレス衣装のモデリングの実践	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１５回	ドレス衣装のモデリングの完成	三宅俊治・今村俊介・前嶋英輝
第１６回	課題提出	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	Blender標準テクニック ローポリキャラクター制作で学ぶ3DCG	教・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
教・著者名１	友	教・ＩＳＢＮ１	978-4844366379
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	授業で適宜指示をします。	参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	色彩構成			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-227		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	色彩は、魅力あるイラストや映像を構築する重要な要素であり、色彩の知識と作品製作を結びつけることが本講のテーマである。よって色彩を「表現の道具」として使いこなすことを目的とする。学生は色彩の基本をマスターすることによって、遠回りせず最良の結果へ辿り着く事ができる。また実習の過程でIllustrator、クリップスタジオを使い基本的な操作も身に付く。
授業概要	色彩は言葉であり感情であり空間である。多様な解釈が存在する複雑な色空間を、論理的かつ直感的に捉えるために、PCCSによるトーン構成を中心とした実作演習を行う。また色彩を面積、明暗、構図と関連させることで、絵画的に意味のある表現技術として身に付ける事ができる。時間や季節による空間的な色遷移を学び、色彩の持つ言語性を生かした写実的配色を身につけることができる。この授業は、イラストレーター、デザイナーとして企業ロゴ作成、キャラクター、イラストレーション等のビジュアルデザイン制作を行った実務経験のある教員が担当する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	課題練習量を60%、成績評価用作品を40%の配分で評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業でコメントすることでフィードバックを行う。 期末評価課題については各期最終回授業時に講評する。
履修条件・注意事項	授業用twitter、Pinterestアカウントの作成が必要。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：エディトリアルデザイン/ステージ衣装デザイン/アニメ色彩設計/パッケージデザイン/広告デザイン
事前学習・事後学習とその時間	予習復習として毎日1時間、推奨クリエーターのSNS閲覧、有用な資料サイトPinterestの閲覧。
オフィスアワー	水曜5限 （2号館 267研究室）をオフィスアワーとする。

	授業計画	担当者
第１回	指導方針の説明 自己学習の方法指導 Pinterest登録	佐々木　洋
第２回	色彩の三要素-明度 重量で考える配色 色相環の見方	佐々木　洋
第３回	色の三要素-色相 距離で考える配色	佐々木　洋
第４回	明暗構成 トレーニング法と参照すべき資料について	佐々木　洋
第５回	面積構成	佐々木　洋
第６回	ぬりえ実習	佐々木　洋
第７回	PCCS-トーンによる構成-基本	佐々木　洋
第８回	PCCS-トーンによる構成-応用	佐々木　洋
第９回	ぬりえ実習	佐々木　洋

第１０回	CMYK/RGB	佐々木　洋
第１１回	絵の具の素材構成	佐々木　洋
第１２回	重なりの色	佐々木　洋
第１３回	補色による発色演出	佐々木　洋
第１４回	写真からの構成-色彩と時間	佐々木　洋
第１５回	課題提出 講評	佐々木　洋
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	配付資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	デッサン基礎A			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年／ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	AN-AN-1-228		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は「デッサンの基礎を身につける」ことをテーマとし、様々な材料や道具を使いながらデッサンの能力を身につける。ものの形や量を自分のイメージに合わせて描くことができるようになるために、基本的な形態を把握する力をつける。特に人体の観察を行い、クロッキーやデッサンによって正確に描写できるようになる。 学生は、イラストや絵コンテのあたりを柔らかい線ですばやく描けるようになることを到達目標とする。
授業概要	クロッキーを中心にデッサンの基礎を学ぶ。目的は、ものを見る力を高め、形態（フォルム）と動勢（ムーヴマン）を描くことができるようになることである。 具体的には、人物クロッキーを中心に、動物や静物を描く。木炭、鉛筆、色鉛筆、コンテ、パステルなどの素材を使い分けられるようにする。またプロポーショ ンと明暗を見るトレーニングを行う。さらにアニメーションや漫画、絵本作品の模写を行うことにより、フリーハンドでイメージを描写できるようにする。順番に前に立ってモデルをしたり、静物を描いたりしながら、一人ひとりが絵を描きためていく形態で授業を進める。DP（ディプロマポリシー）に対して「十分な描画力を有し、鉛筆や色材を使って完成度の高い作品を追求できる」能力を育むために「計画性を持って根気強く丁寧な研究や制作ができる」ことを重視している。 ※実務経験のある教員による授業 この科目は、美術教育に関する実務経験を持つ教員が、その経験を活かし、教育現場において実践的に役立つ授業を実施する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、デッサンの能力を身につけることを目的としていることから、毎回のクロッキーなどの作品課題（60%）、到達目標達成度を見る実技試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については最初の授業で説明する。クロッキーや模写などの課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業期間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、実際に手を動かして予習を行うことが必要である。またクロッキー帳などをもとに復習としてドローイングを行うことが 重要である。最終課題では、到達目標の理解度を見るため積極的な取り組みが必要である。デッサン基礎Ｉで学ぶことを、日々の自分の制作に活かして、手描き でイメージを表現出来るよう練習を繰り返すことと、クロッキー課題では、少なくともスケッチブック1冊（100枚）を提出することが重要である。 初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　内容：岡山県立高校の美術授業でのデッサン指導、中学校での美術授業、短期大学での造形授業の経験があり、現在全国公募展審査員でもある教員が指導を行う。
事前学習・事後学習とその時間	クロッキー帳に学期ごとに１００枚以上の模写やスケッチを行い、ネットや書籍によって参考作品を鑑賞して、授業で学んだ描き方について予習復習を行う。1コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	1. デッサン・紙コップ	前嶋英輝
第２回	2. クロッキーの方法	前嶋英輝

第３回	3. フカンとアオリ	前嶋英輝
第４回	4. 石膏デッサン・比例	前嶋英輝
第５回	5. 石膏デッサン・色値	前嶋英輝
第６回	6. 人体の構造	前嶋英輝
第７回	7. 女性のポーズと構造	前嶋英輝
第８回	8. 男性のポーズと構造	前嶋英輝
第９回	9. 手と足	前嶋英輝
第１０回	10. 顔	前嶋英輝
第１１回	11. 人物クロッキー	前嶋英輝
第１２回	12. クロッキーの量感	前嶋英輝
第１３回	13. クロッキーの動勢	前嶋英輝
第１４回	14. デッサンの線と質感	前嶋英輝
第１５回	15. デッサンのパース表現	前嶋英輝
第１６回	16. 作品提出と講評	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	デッサン基礎B				担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年／ 2019～ 2020年度 吉備国際大学 学部生その他1年				ナンバリング	AN-AN-1-229		
必修・選択	選択	単位数	2単位		時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期		曜日・時限	火曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

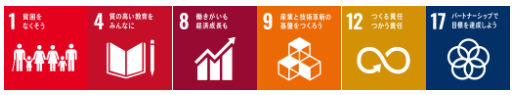
ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は「自分のイメージをデッサンする」ことをテーマとして、見たものやイメージしたものをフリーハンドで描く能力を身につける。人物や風景、静物などをモチーフとして素描を正確に描くことができるようになる。 学生が、動きのある人物を、自分の感じたようにデフォルメしながら描けるようになることを到達目標とする。
授業概要	人物クロッキーと人物画、風景画を中心に行う。デッサン力を高めるために、できるだけ数多くクロッキーを行う。動きのある人物クロッキーを短時間で行うことで、イメージをすばやく描きとめるトレーニングを行う。また遠近法を学習し、風景画の構図や部分の描き分け方などを学ぶ。人物画では、あたりの付け方か ら線の強弱まで様々な表情のある絵の描き方を工夫し、対象となる人物の心理的な動きまで観察して描けるようにする。さらに絵コンテの制作ができるようになる。 お互いにモデルになり、実際によく見て描くことを大切にする授業形態をとる。DP（ディプロマポリシー）に対して「十分な描画力を有し、鉛筆や色材を使って完成度の高い作品を追求できる」能力を育むために「計画性を持って根気強く丁寧な研究や制作ができる」ことを重視している。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、デッサンの能力を身につけることを目的としていることから、毎回のクロッキーなどの作品課題（60%）、到達目標達成度を見る実技試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については最初の授業で説明する。クロッキーや模写などの課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業期間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、実際に手を動かして予習を行うことが必要である。またクロッキー帳などをもとに復習としてドローイングを行うことが 重要である。最終課題では、到達目標の理解度を見るため積極的な取り組みが必要である。授業で学ぶことを、日々の自分の制作に活かして、手描きでイメージを表現出来るよう練習を繰り返すことと、クロッキー課題では、少なくともスケッチブック1冊（100枚）を提出することが重要である。 初回の授業で芸術作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：岡山県立高校の美術授業でのデッサン指導、中学校での美術授業、短期大学での造形授業の経験があり、現在全国公募展審査員でもある教員が指導を行う。
事前学習・事後学習とその時間	クロッキー帳に学期ごとに１００枚以上の模写やスケッチを行い、ネットや書籍によって参考作品を鑑賞して、授業で学んだ描き方について予習復習を行う。　1コマ毎の授業に予習２時間、復習２時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	デッサン・ピーマン	前嶋英輝
第２回	量感・動勢の見方	前嶋英輝
第３回	動きのあるクロッキー	前嶋英輝
第４回	人体解剖図研究	前嶋英輝
第５回	人体デッサンのポイント	前嶋英輝
第６回	人体の動勢	前嶋英輝

第７回	手や足の構造と模写	前嶋英輝	
第８回	人体のつながりと動きの確認	前嶋英輝	
第９回	人物クロッキー	前嶋英輝	
第１０回	人物の表情とキャラクター化	前嶋英輝	
第１１回	人物クロッキーのポイント	前嶋英輝	
第１２回	人物クロッキー・着衣	前嶋英輝	
第１３回	人物クロッキー・動き	前嶋英輝	
第１４回	石膏デッサン・あたり	前嶋英輝	
第１５回	石膏デッサン・量感	前嶋英輝	
第１６回	作品提出	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	ゼロから学ぶプロの技　神技作画	参・出版社名１	KADOKAWA
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-04-601503-7
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	背景美術			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年／ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他1年			ナンバリング	AN-AN-1-230		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	１．貧困をなくそう／４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう 
到達目標	「イラストを描く基礎をつくる」ことをテーマとする。 学生は平面表現を支える基礎技術の体系を学び、自分の学修計画をつくることができるようになる。 空間や視覚現象の基本を把握し「分析によって描く力」を身につける。 学生が制約なく立体空間を2次元に転写できるようになることを到達目標とする。
授業概要	毎週の課題と講評によって成長の確認と、学生自身の目標の明確化を目指す。 様々な技術を教員の実演と資料画像で具体的に示し、その技術構造の解説を行う。 基礎習熟の目的と方法を理解し、日々の反復練習によって表現の基礎を作る。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、基礎の確立を目的としていることから、 毎週提出の課題作品(60%)と期末課題(40%)によって能力の向上を評価する。 評価のための課題については次回授業で講評によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業でコメントすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	演習課題については、毎週提出となる。 示された課題に基づき常時制作を続ける必要がある。
実務経験のある教員	該当する　内容　1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、東洋美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	示された課題に沿っての作品制作が必要(２時間程度)である。 SNSやPintarestで資料収集することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上でも随時質問相談を受け付けている。

授業計画		担当者
第１回	授業方針の説明 基本デッサンの方法-1(箱) 課題説明	佐々木洋
第２回	基本デッサンの方法-2(箱と平面) 課題解説-講評	佐々木洋
第３回	基本デッサンの方法-3(形状転写) 課題解説-講評	佐々木洋
第４回	基本デッサンの方法-2(明暗構成) 課題解説-講評	佐々木洋
第５回	人体解剖-概説 課題解説-講評	佐々木洋
第６回	人体解剖-骨盤	佐々木洋

	課題解説-講評	
第７回	人体解剖-尻 課題解説-講評	佐々木洋
第８回	人体解剖-脚 課題解説-講評	佐々木洋
第９回	人体解剖-腕の運動システム 課題解説-講評	佐々木洋
第１０回	人体解剖-胴 課題解説-講評	佐々木洋
第１１回	人体解剖-頭部-1 顔面 課題解説-講評	佐々木洋
第１２回	人体解剖-頭部-2 表情筋 課題解説-講評	佐々木洋
第１３回	人体解剖-顔面 流れ/チークライン 課題解説-講評	佐々木洋
第１４回	人体解剖-手/足の学び方 期末課題解説-講評	佐々木洋
第１５回	期末総評	佐々木洋
第１６回	期末課題-講評	佐々木洋

教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	プロデュース基礎			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-301		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義、演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「プロデュースを理解する」をテーマとする。一般的にプロデュースとして行う事を認知されている、映画、アニメーション、ゲーム、マンガ、音楽、出版、玩具、イベント等が代表的な分野であろうが、それ以外にもファッション、芸能、商品、レストラン等の飲食などもプロデュースするジャンルとして有る。こうしたプロデュースの歴史的な成り立ちを知り、具体的な事例をもとに、プロデュースと呼ばれるものの社会的・経済的位置づけを学生が確認し、その上で学生が今の時代に合ったプロデュースの意味内容を考え、プロデューサーとしての運用を出来る事を理解する能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての実務経験元に、プロデュースの歴史的な成り立ちを知り、産業でのプロデュースの社会的・経済的位置づけを確認し、プロデューサーの存在が人々にどの様な影響を与えるかを事例から検証して、プロデュース運用を学ぶ。具体的にプロデュースの仕事を調査して、グループ・ディスカッションを行う事でプロデュースを体験する。講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「プロデュースを理解する」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（５０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	プロデュースの成り立ち	井上
第２回	プロデュースの歴史１（創生～50年代）	井上
第３回	プロデュースの歴史２（50年代～70年代）	井上
第４回	プロデュースの歴史２（50年代～70年代）	井上
第５回	プロデュースの歴史３（80年代～90年代）	井上
第６回	プロデュースの歴史４（90年代～00年代）	井上
第７回	プロデュースの歴史５（00年代～今）及び歴史に関す小レポート	井上
第８回	映画のプロデュース	井上
第９回	アニメーションのプロデュース	井上
第１０回	ゲームのプロデュース	井上
第１１回	マンガのプロデュース	井上
第１２回	音楽のプロデュース	井上
第１３回	出版のプロデュース	井上
第１４回	玩具のプロデュース	井上
第１５回	プロデュースのまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	プロデュースの基本（インターナショナル新書）	教・出版社名１	集英社インターナショナル
教・著者名１	木崎 賢治	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4797680628
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	プロデュース演習			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-302		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	木曜3限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	◎
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／７．エネルギーをみんなに・そしてクリーンに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	「プロデュースを理解する」をテーマとする。プロデュース演習の引き続きでプロデュースとしてマンガ、出版、玩具、イベント、ファッション、芸能、商品、レストラン等のプロデュースするジャンルから具体的な事例をもとに、調査・企画作成を通じてプロデュース業務を仮想体験する事で学生が今の時代に合ったプロデュースの意味内容を考え、プロデューサーとしての運用を出来る事を理解する能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての実務経験を元に、（地）この科目は、プロデュース演習から引き続き、学生が産業でのプロデュースの社会的・経済的位置づけを確認し、具体的なプロデュースの仕事を調査して、グループ・ディスカッションを行い分析することで、実際に作品や商品の企画提案を行える形に持って行く事で、個々にプロデュース能力を高める。また、地域発の企画提案を行うことで地域貢献ボランティア活動を通じて文化研究を行う。また講義の最終回に全体のまとめをおこなう。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「プロデュースを理解する」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（５０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（２０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日3限目に実施。

授業計画	担当者

第１回	マンガのプロデュース（企画作成）	井上
第２回	マンガのプロデュース（企画発表・検討）	井上
第３回	出版のプロデュース（企画作成）	井上
第４回	出版のプロデュース（企画発表・検討）	井上
第５回	玩具のプロデュース（企画作成）	井上
第６回	玩具のプロデュース（企画発表・検討）	井上
第７回	イベントのプロデュース（企画作成）	井上
第８回	イベントのプロデュース（企画発表・検討）	井上
第９回	芸能のプロデュース（企画作成）	井上
第１０回	芸能のプロデュース（企画発表・検討）	井上
第１１回	商品のプロデュース（企画作成）	井上
第１２回	商品のプロデュース（企画発表・検討）	井上
第１３回	地域企画のプロデュース（企画作成）	井上
第１４回	地域企画のプロデュース（企画発表・検討）	井上
第１５回	全体のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	プロデュースの基本（インターナショナル新書）	教・出版社名１	集英社インターナショナル
教・著者名１	木崎 賢治	教・ＩＳＢＮ１	ISBN-10 ： 4797680628
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション実践A （隔週授業）	担当者	今村　俊介、面田　高章、前嶋　英輝
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-303

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜3限 水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「ゲームエンジンを使用した動画コンテンツ制作をする」ことをテーマとし、最新デジタル機材やアプリケーションを使用し、新たな動画コンテンツ制作の能力を身につける。アニメーションの現場では、積極的に最新技術を取り入れ、制作コストの削減や新たな表現手法の開拓を行っているため、常に最新技術の知見を得ていかなければならない。この授業では、3DCG技術を学ぶことで、動画制作やゲームに実践的な応用ができるようになる。クリエイターとしてオリジナルの短い動画を完成することを到達目標とする。
授業概要	Unityによる制作を中心にデジタルソフトの基礎を学ぶ。目的は、最新技術を利用し自由に創造することができるようになることである。 また、VRやモーションキャプチャー等の機材を利用し、幅広い機材知識や使用スキルを身につける。これらの機材を使うことで、最終的な動画コンテンツの完成のために少ない人数と工数でコンテンツを制作する発想を得る。最終的に自主制作作品を完成できるための知識と技術を身につけることを目標にする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、理論と創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、課題提出（60%）、 到達目標達成度を見る期末試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、ゲームやキャラクターデザインなどについて調べ、ソフトの予習を行うことが必要である。また毎回の復習として自主的な作品づくりに応用することが重要である。期末試験では、到達目標の理解度を見るため、十分な復習が必要である。日々の自分の制作に活かして、イメージを表現出来るよう練習を繰り返すことが重要である。初回の授業で作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　内容　unityアンバサダーであり、3Dキャラクターのデザインからモデリングまでを中心に事業を行なっている会社のCEOが講師を担当している。
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーションとソフト説明	前嶋英輝・面田高章
第２回	Blenderの概要	前嶋英輝・面田高章
第３回	Blender 3DCGとUnityの概要	前嶋英輝・面田高章
第４回	デジタルツールによるコンテンツ制作	前嶋英輝・面田高章
第５回	Blenderの基本操作・サンプルモデルの研究	前嶋英輝・面田高章
第６回	サンプルモデルを利用したモデリング	前嶋英輝・面田高章
第７回	サンプルモデルとテクスチャ制作	前嶋英輝・面田高章
第８回	Unityの基本操作・モデルのインポート	前嶋英輝・面田高章
第９回	モーションキャプチャ	前嶋英輝・面田高章
第１０回	モーションキャプチャとアテレコ	前嶋英輝・面田高章

第１１回	モーションキャプチャとアテレコ仕上げ	前嶋英輝・面田高章	
第１２回	Unityのタイムライン	前嶋英輝・面田高章	
第１３回	Unityのタイムライン・再収録と調整	前嶋英輝・面田高章	
第１４回	再収録と調整	前嶋英輝・面田高章	
第１５回	ネット上での利用	前嶋英輝・面田高章	
第１６回	作品提出	前嶋英輝・面田高章	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	Blender標準テクニック ローポリキャラクター制作で学ぶ3DCG	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	友	参・ＩＳＢＮ１	978-4844366379
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	アニメーション実践B （隔週授業）	担当者	今村　俊介、面田　高章、前嶋　英輝
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-304

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜3限 水曜4限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任
到達目標	学生は、「ゲームエンジンを使用した3D映像コンテンツ制作をする」ことをテーマとし、最新デジタル機材やアプリケーションを使用し、新たな動画コンテンツ制作の能力を身につける。アニメーションの現場では、積極的に最新技術を取り入れ、制作コストの削減や新たな表現手法の開拓を行っているため、常に最新技術の知見を得ていかなければならない。この授業では、3DCG技術を学ぶことで、動画制作やゲームに実践的な応用ができるようになる。クリエイターとしてオリジナルの短い動画を完成することを到達目標とする。
授業概要	ゲームエンジンであるUnityによる制作を中心にデジタルソフトの基礎を学ぶ。目的は、最新技術を利用し自由に創造することができるようになることである。また、VRやモーションキャプチャー等の機材を利用し、幅広い機材知識や使用スキルを身につける。これらの機材を使うことで、最終的な動画コンテンツの完成のために少ない人数と工数でコンテンツを制作する発想を得る。最終的に自主制作作品を完成できるための知識と技術を身につけることを目標にする。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、理論と創作技術を身につけることを目的とし、実践的な学習を行うことから、課題提出（60%）、 到達目標達成度を見る期末試験（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	事前に次回の授業内容を指示するので、ゲームやキャラクターデザインなどについて調べ、ソフトの予習を行うことが必要である。また毎回の復習として自主的な作品づくりに応用することが重要である。期末試験では、到達目標の理解度を見るため、十分な復習が必要である。日々の自分の制作に活かして、イメージを表現出来るよう練習を繰り返すことが重要である。初回の授業で作品についての調べ方や授業の進め方について詳しく説明する。
実務経験のある教員	該当する　内容　unityアンバサダーであり、3Dキャラクターのデザインからモデリングまでを中心に事業を行なっている会社のCEOが講師を担当している。
事前学習・事後学習とその時間	授業内容に沿って、ネットや書籍によって予習復習を行う。ソフトに習熟できるように自主練習が必要である。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーションと使用ソフト説明	前嶋英輝・面田高章
第２回	Blender モデリング	前嶋英輝・面田高章
第３回	Blender 3DCGとUnityの連携	前嶋英輝・面田高章
第４回	デジタルツールによるコンテンツ制作	前嶋英輝・面田高章
第５回	Blenderの基本操作・サンプルモデルの研究	前嶋英輝・面田高章
第６回	サンプルモデルを利用したモデリング	前嶋英輝・面田高章
第７回	サンプルモデルとテクスチャ制作	前嶋英輝・面田高章
第８回	Unityの基本操作・モデルのインポート	前嶋英輝・面田高章
第９回	モーションキャプチャ	前嶋英輝・面田高章

第１０回	モーションキャプチャとアテレコ	前嶋英輝・面田高章	
第１１回	モーションキャプチャとアテレコ仕上	前嶋英輝・面田高章	
第１２回	Unityのタイムライン	前嶋英輝・面田高章	
第１３回	Unityのタイムライン・再収録と調整	前嶋英輝・面田高章	
第１４回	再収録と調整	前嶋英輝・面田高章	
第１５回	最終調整と仕上げ、完成	前嶋英輝・面田高章	
第１６回	作品提出	前嶋英輝・面田高章	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	Blender標準テクニック ローポリキャラクター制作で学ぶ3DCG	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	友	参・ＩＳＢＮ１	978-4844366379
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	印刷デザイン （Ａクラス）	担当者	藤原　由智
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年／ 2020年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	AN-AN-2-305

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	５．ジェンダー平等を実現しよう
到達目標	印刷上に展開するグラフィックデザインについて学びます。 わかりやすく伝えること、感情を呼び起こすこと、背景となる物語を感じさせること、そうした、デザインのエッセンスについて学習します。 この授業の受講生はAdobe社のIllustrator、InDesignの扱い方について習得できます。文字を扱うことはデザインの基本で、ソフトウェア上の作業の中でも重要な位置を占めているので、中心的に学びます。
授業概要	まずイメージする力を、次にイメージを形にすることを大事にします。そして「そのイメージがみんなに伝達可能か」を検証することでデザインは成立します。授業の中で様々なデザインワークを反復することで、そのようなプロセスを身体に馴染ませていきます。ソフトウェアを使いこなすことは、よい作品の前提となりますので授業でも丁寧に扱います。タイポグラフィ（文字組）の技術、伝えるための効果的な方法論は造形により深みを与えてくれるはずです。デザインという技術が、各人の感性を豊かに飛躍させる力となることを期待します。各課題は授業内で講評を行います。 通常、デザインは大量生産を前提とし、ゆえに製作者には小さくない責任が伴います。不適切な造形記号を選んでしまうと、ある特定のコミュニティや性別に対する差別や偏見を助長する恐れが常につきまといます。 授業内でこうしたビジュアルコミュニケーションと差別の関連や歴史についても触れます。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	技術の習熟度や授業の参加度を総合的に評価します。具体的には、[1 最終プレゼンテーションのクオリティ(30%)]、[2 講評への参加度(30%)]、[3 制作への参加度(40%)]を合計して総合評価します。生まれ持ってのセンスではなく、各々が実現したいイメージにどれだけ執着できたか、を基準にします。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明します。 学んだことの反復ではなく、自分なりにデザインをコントロールできるようになることを期待します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	原則として、課題や試験のフィードバックは提出した当日に行われます。フィードバック内容は講評形式で学生全員と共有されます。
履修条件・注意事項	特になし
実務経験のある教員	該当する　内容　デザイン事務所、印刷会社にてデザインワークの経験を持つ教員が授業を実施する
事前学習・事後学習とその時間	予習：デザインは日常のそこかしこに溢れています。そんな日常の中のデザインに目をこらしてみてください。例えば、コンビニでお気に入りのパッケージを探してみること。ドラマに出てくるかっこいい服や、カフェで綺麗なインテリアを見つけること。約2時間。 復習：授業中の作業に加えて、各自で制作を進めておくこと。約2時間。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	1 デザインの可能性と責任	藤原
第２回	2 [伝える訓練 I] かたちで伝える	藤原
第３回	3 [伝える訓練 II] 伝え方の工夫	藤原
第４回	4 [伝える訓練 III] コンセプトの練り方	藤原
第５回	5 [文字について I] ソフトの使い方	藤原
第６回	6 [文字について II] 名刺をつくる	藤原
第７回	7 [音とかたち I] アイデアスケッチ	藤原

第８回	8 [音とかたち II] 実作業	藤原
第９回	9 [音とかたち III] 中間発表	藤原
第１０回	10 [音とかたち IV] プレゼン	藤原
第１１回	11 [文字の装飾] 基本	藤原
第１２回	12 [文字の装飾] 発展と応用	藤原
第１３回	13 [最終課題 I] アイデアスケッチ	藤原
第１４回	14 [最終課題 II] かたちと色の検討	藤原
第１５回	15 [最終課題 III] ブラッシュアップ	藤原
第１６回	16 [試験]プレゼンテーション	藤原

教科書			
教・書籍名１	特に使用しない（必要な資料は授業中に配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	『うたう作品集』	参・出版社名１	誠文堂新光社
参・著者名１	森本千絵　著	参・ＩＳＢＮ１	441661019X
参・書籍名２	『メディアはマッサージである』 単行本版	参・出版社名2	河出書房新社
参・著者名2	マーシャルマクルーハン クエンティンフィオーレ 著 南博 訳	参・ＩＳＢＮ2	978-4309241708

授業科目名	印刷デザイン （Ｂクラス）	担当者	藤原　由智
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年／ 2020年度 吉備国際大学 学部生その他2年	ナンバリング	AN-AN-2-305

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	５．ジェンダー平等を実現しよう
到達目標	印刷上に展開するグラフィックデザインについて学びます。 わかりやすく伝えること、感情を呼び起こすこと、背景となる物語を感じさせること、そうした、デザインのエッセンスについて学習します。 この授業の受講生はAdobe社のIllustrator、InDesignの扱い方について習得できます。文字を扱うことはデザインの基本で、ソフトウェア上の作業の中でも重要な位置を占めているので、中心的に学びます。
授業概要	まずイメージする力を、次にイメージを形にすることを大事にします。そして「そのイメージがみんなに伝達可能か」を検証することでデザインは成立します。授業の中で様々なデザインワークを反復することで、そのようなプロセスを身体に馴染ませていきます。ソフトウェアを使いこなすことは、よい作品の前提となりますので授業でも丁寧に扱います。タイポグラフィ（文字組）の技術、伝えるための効果的な方法論は造形により深みを与えてくれるはずです。デザインという技術が、各人の感性を豊かに飛躍させる力となることを期待します。各課題は授業内で講評を行います。 通常、デザインは大量生産を前提とし、ゆえに製作者には小さくない責任が伴います。不適切な造形記号を選んでしまうと、ある特定のコミュニティや性別に対する差別や偏見を助長する恐れが常につきまといます。 授業内でこうしたビジュアルコミュニケーションと差別の関連や歴史についても触れます。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	技術の習熟度や授業の参加度を総合的に評価します。具体的には、[1 最終プレゼンテーションのクオリティ(30%)]、[2 講評への参加度(30%)]、[3 制作への参加度(40%)]を合計して総合評価します。生まれ持ってのセンスではなく、各々が実現したいイメージにどれだけ執着できたか、を基準にします。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明します。 学んだことの反復ではなく、自分なりにデザインをコントロールできるようになることを期待します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	原則として、課題や試験のフィードバックは提出した当日に行われます。フィードバック内容は講評形式で学生全員と共有されます。
履修条件・注意事項	特になし
実務経験のある教員	該当する　内容　デザイン事務所、印刷会社にてデザインワークの経験を持つ教員が授業を実施する
事前学習・事後学習とその時間	予習：デザインは日常のそこかしこに溢れています。そんな日常の中のデザインに目をこらしてみてください。例えば、コンビニでお気に入りのパッケージを探してみること。ドラマに出てくるかっこいい服や、カフェで綺麗なインテリアを見つけること。約2時間。 復習：授業中の作業に加えて、各自で制作を進めておくこと。約2時間。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

	授業計画	担当者
第１回	1 デザインの可能性と責任	藤原
第２回	2 [伝える訓練 I] かたちで伝える	藤原
第３回	3 [伝える訓練 II] 伝え方の工夫	藤原
第４回	4 [伝える訓練 III] コンセプトの練り方	藤原
第５回	5 [文字について I] ソフトの使い方	藤原
第６回	6 [文字について II] 名刺をつくる	藤原
第７回	7 [音とかたち I] アイデアスケッチ	藤原

第８回	8 [音とかたち II] 実作業	藤原
第９回	9 [音とかたち III] 中間発表	藤原
第１０回	10 [音とかたち IV] プレゼン	藤原
第１１回	11 [文字の装飾] 基本	藤原
第１２回	12 [文字の装飾] 発展と応用	藤原
第１３回	13 [最終課題 I] アイデアスケッチ	藤原
第１４回	14 [最終課題 II] かたちと色の検討	藤原
第１５回	15 [最終課題 III] ブラッシュアップ	藤原
第１６回	16 [試験]プレゼンテーション	藤原

教科書			
教・書籍名１	特に使用しない（必要な資料は授業中に配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	『うたう作品集』	参・出版社名１	誠文堂新光社
参・著者名１	森本千絵　著	参・ＩＳＢＮ１	441661019X
参・書籍名２	『メディアはマッサージである』 単行本版	参・出版社名2	河出書房新社
参・著者名2	マーシャルマクルーハン クエンティンフィオーレ 著 南博 訳	参・ＩＳＢＮ2	978-4309241708

授業科目名	WEBデザイン （Ａクラス）			担当者	藤原　由智		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-306		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜2限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	５．ジェンダー平等を実現しよう
到達目標	web上に展開するデザインを学びます。この授業の受講生は レイアウトに必要となるHTMLとCSSを中心的に学び、リッチなweb上の表現を学びます。この2つの基本的なプログラミング言語を使いこなし、「頭の中のアイデア」をweb上のかたちにするためのプロセスを学びます。 ごく基本から学ぶので、プログラミングの経験や知識は前提としません。授業を通して、それぞれのプログラミング言語の特性と文法を学びます。また、自分が書いたコードに潜むバグを探し出すこと、別の誰かが書いたコードの構造を理解することを到達目標とします。
授業概要	まずイメージすること。次にイメージを形にすること。そして「そのイメージがみんなに伝達可能か」を検証することでデザインは成立します。授業の中で様々なデザインワークを反復することで、そのようなプロセスを身体に馴染ませていきます。もちろんwebのデザインにおいては、コードを扱いこなすことはよい作品の前提となりますので授業でも丁寧に扱います。 授業では、必然的に、ちいさなPDCAサイクルを絶え間なく回すことになります。すなわち[Plan: 計画する]→[Do: やってみる]→[Check: 検証する]→[Act: 修正する]→(最初に戻る)のサイクルです。具体的には、実現したい文字表現やかたちの表現をイメージして、そのためのコードを探して実行し、バグがないかを検証し、修正するというプロセスです。 現在、SNSや専用ブラウザがメインストリームとなってしまい、いかにアクセス数を稼ぐか、サイトの滞在時間を長くするか、が非常に重要になっています。授業ではプログラミングの作業だけでなく、そうした要請に応えるべく自由な発想も大切にしたいと考えています。初歩的なHTMLとCSSだけでも、うまく使いこなせば、webの世界でのびのびとイメージを広げられるはずです。 通常、web上のデザインは多くの目に触れることが前提となり、ゆえに製作者には小さくない責任が伴います。不適切な造形記号を選んでしまうと、ある特定のコミュニティや性別に対する差別や偏見を助長する恐れが常につきまといます。 授業内でこうしたビジュアルコミュニケーションと差別の関連や歴史についても触れます。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	技術の習熟度や授業の参加度を総合的に評価します。具体的には、[1 最終プレゼンテーションのクオリティ(30%)]、[2 講評への参加度(30%)]、[3 制作への参加度(40%)]を合計して総合評価します。生まれ持ってのセンスではなく、各々が実現したいイメージにどれだけ執着できたか、を基準にします。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明します。 学んだことの反復ではなく、自分なりにデザインをコントロールできるようになることを期待します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックは講評形式で授業中に行います。
履修条件・注意事項	特になし。プログラミング経験はなくても構いません。
実務経験のある教員	該当する　内容　デザイン事務所、印刷会社にてデザインワークの経験を持つ教員が授業を実施する
事前学習・事後学習とその時間	予習：デザインは日常のそこかしこに溢れています。そんな日常の中のデザインに目をこらしてみてください。例えば、コンビニでお気に入りのパッケージを探してみること。ドラマに出てくるかっこいい服や、カフェで綺麗なインテリアを見つけること。約2時間。 復習：授業中の作業に加えて、各自で制作を進めておくこと。約2時間。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

授業計画		担当者
第１回	1 webデザインの現状と可能性	藤原
第２回	2 [HTMLとCSS I] 文法	藤原
第３回	3 [HTMLとCSS II] CSSの応用	藤原
第４回	4 [HTMLとCSS III] レイアウト	藤原
第５回	5 [真似してみる I] サイトの構造を理解する	藤原
第６回	6 [真似してみる II] 大きく組んで細かく調整	藤原
第７回	7 [真似してみる III] デザインの調整	藤原
第８回	8 [真似してみる IV] 検証とバグ潰し	藤原
第９回	9 [真似してみる V] プレゼン	藤原
第１０回	10 [つくってみる I] しかけを考える	藤原
第１１回	11 [つくってみるII] サイトの構造を考える	藤原
第１２回	12 [つくってみる III] ベースを作る	藤原
第１３回	13 [つくってみる IV] 装飾を作る	藤原
第１４回	14 [つくってみる V] コンテンツをつくる	藤原
第１５回	15 [つくってみる VI] 検証とバグ潰し	藤原
第１６回	16 [試験] プレゼンテーション	藤原

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１	特に使用しない（必要な資料は授業中に配布する）	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	HTML5/CSS3モダンコーディング	参・出版社名１	翔泳社
参・著者名１	吉田真麻　著	参・ＩＳＢＮ１	4798141577
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	WEBデザイン （Ｂクラス）			担当者	藤原　由智		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-306		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	水曜1限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	５．ジェンダー平等を実現しよう
到達目標	web上に展開するデザインを学びます。この授業の受講生は レイアウトに必要となるHTMLとCSSを中心的に学び、リッチなweb上の表現を学びます。この2つの基本的なプログラミング言語を使いこなし、「頭の中のアイデア」をweb上のかたちにするためのプロセスを学びます。 ごく基本から学ぶので、プログラミングの経験や知識は前提としません。授業を通して、それぞれのプログラミング言語の特性と文法を学びます。また、自分が書いたコードに潜むバグを探し出すこと、別の誰かが書いたコードの構造を理解することを到達目標とします。
授業概要	まずイメージすること。次にイメージを形にすること。そして「そのイメージがみんなに伝達可能か」を検証することでデザインは成立します。授業の中で様々なデザインワークを反復することで、そのようなプロセスを身体に馴染ませていきます。もちろんwebのデザインにおいては、コードを扱いこなすことはよい作品の前提となりますので授業でも丁寧に扱います。 授業では、必然的に、ちいさなPDCAサイクルを絶え間なく回すことになります。すなわち[Plan: 計画する]→[Do: やってみる]→[Check: 検証する]→[Act: 修正する]→(最初に戻る)のサイクルです。具体的には、実現したい文字表現やかたちの表現をイメージして、そのためのコードを探して実行し、バグがないかを検証し、修正するというプロセスです。 現在、SNSや専用ブラウザがメインストリームとなってしまい、いかにアクセス数を稼ぐか、サイトの滞在時間を長くするか、が非常に重要になっています。授業ではプログラミングの作業だけでなく、そうした要請に応えるべく自由な発想も大切にしたいと考えています。初歩的なHTMLとCSSだけでも、うまく使いこなせば、webの世界でのびのびとイメージを広げられるはずです。 通常、web上のデザインは多くの目に触れることが前提となり、ゆえに製作者には小さくない責任が伴います。不適切な造形記号を選んでしまうと、ある特定のコミュニティや性別に対する差別や偏見を助長する恐れが常につきまといます。 授業内でこうしたビジュアルコミュニケーションと差別の関連や歴史についても触れます。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	技術の習熟度や授業の参加度を総合的に評価します。具体的には、[1 最終プレゼンテーションのクオリティ(30%)]、[2 講評への参加度(30%)]、[3 制作への参加度(40%)]を合計して総合評価します。生まれ持ってのセンスではなく、各々が実現したいイメージにどれだけ執着できたか、を基準にします。詳しい評価方法は、最初の授業時に説明します。 学んだことの反復ではなく、自分なりにデザインをコントロールできるようになることを期待します。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	フィードバックは講評形式で授業中に行います。
履修条件・注意事項	特になし。プログラミング経験はなくても構いません。
実務経験のある教員	該当する　内容　デザイン事務所、印刷会社にてデザインワークの経験を持つ教員が授業を実施する
事前学習・事後学習とその時間	予習：デザインは日常のそこかしこに溢れています。そんな日常の中のデザインに目をこらしてみてください。例えば、コンビニでお気に入りのパッケージを探してみること。ドラマに出てくるかっこいい服や、カフェで綺麗なインテリアを見つけること。約2時間。 復習：授業中の作業に加えて、各自で制作を進めておくこと。約2時間。
オフィスアワー	授業終了後、教室において実施する。

授業計画		担当者
第１回	1 webデザインの現状と可能性	藤原
第２回	2 [HTMLとCSS I] 文法	藤原
第３回	3 [HTMLとCSS II] CSSの応用	藤原
第４回	4 [HTMLとCSS III] レイアウト	藤原
第５回	5 [真似してみる I] サイトの構造を理解する	藤原
第６回	6 [真似してみる II] 大きく組んで細かく調整	藤原
第７回	7 [真似してみる III] デザインの調整	藤原
第８回	8 [真似してみる IV] 検証とバグ潰し	藤原
第９回	9 [真似してみる V] プレゼン	藤原
第１０回	10 [つくってみる I] しかけを考える	藤原
第１１回	11 [つくってみるII] サイトの構造を考える	藤原
第１２回	12 [つくってみる III] ベースを作る	藤原
第１３回	13 [つくってみる IV] 装飾を作る	藤原
第１４回	14 [つくってみる V] コンテンツをつくる	藤原
第１５回	15 [つくってみる VI] 検証とバグ潰し	藤原
第１６回	16 [試験] プレゼンテーション	藤原

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１	特に使用しない（必要な資料は授業中に配布する）	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	HTML5/CSS3モダンコーディング	参・出版社名１	翔泳社
参・著者名１	吉田真麻　著	参・ＩＳＢＮ１	4798141577
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	インターンシップ			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-307		
必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	実習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	水曜5限		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	「実社会を経験し、有意義な大学生活を送る」をテーマとして、学生が企業における実習を経験し、社会人としての基礎知識を身につけるとともに、その後の大学生活を有意義に送るためにはどうすればよいか、自分で考え、自分で行動できる能力を身につけることを到達目標とする。
授業概要	就職した大学生のうち、30%が3年以内に会社を辞めるという事実。政府はフリーターを正しい職業に就かせるために、意識を変えるための措置を考えているがままならない。大学のうちに社会、民間企業とのコラボレーションをとりながら企業との接点を持ち、実社会への興味を喚起させるため、また若者の自由で、柔軟な発想で企業を活性化させる目的でインターンシップを行う。授業は、実務経験のある教員による基礎知識やマナーを修得するための講義と、実際に企業に出向いて行う実習により構成されている。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	実習評価（30%）、授業態度（20%）、実習報告書（20%）、インターンシップ報告会での報告（30%）を合わせて総合的に評価する。
ルーブリック評価	
課題や試験のフィードバック方法	インターンシップ先企業の評価を各履修者に配布する。
履修条件・注意事項	初回から必ず参加のこと。講義の欠席者は補講を受けなければ実習に参加することができない。企業での実習を休んだ場合には、再実習を行わないと単位を認定しない。毎回の指示に従って予習と復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　内容：この授業では一部講義において、実務経験のある企業の方を招き社会人としてのマナーなどについて講義を行い学生の理解を深める。また、実習においては実際に企業で就業体験を行う。
事前学習・事後学習とその時間	社会のニーズと自分の適正とのマッチングには、その両方に関する普段の省察が必要である。新聞やニュースを通じて、社会の情勢に敏感になろう。自分自身への振り返りは、他人との交わりの中で促されることも多いはず。毎日新聞やニュースに接する時間を各自が確実に設けること、これをこの授業の普段の予習・復習とする。なお、予習・復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	インターンシップの説明	清水光二
第２回	インターンシップの手続き	清水光二
第３回	業界・企業研究	外部講師
第４回	志望動機の書き方	外部講師
第５回	ビジネスマナー	外部講師
第６回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第７回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第８回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第９回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第１０回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第１１回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第１２回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第１３回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第１４回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師

第１５回	インターンシップ実習（企業により内容が異なる）	外部講師
第１６回	インターンシップ報告会	清水光二
第１７回		
第１８回		
第１９回		
第２０回		
第２１回		
第２２回		
第２３回		
第２４回		
第２５回		
第２６回		
第２７回		
第２８回		
第２９回		
第３０回		
第３１回		
第３２回		

教科書			
教・書籍名１	インターンシップの手引きを配布する	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	インターンシップ	参・出版社名１	学文社
参・著者名１	古閑博美	参・ＩＳＢＮ１	4-7620-1064-2
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	基礎演習A	担当者	今村　俊介、山本　敦之、大谷　卓史、井上　博明、佐々木　洋、清水　光二、平見　勇雄、前嶋　英輝
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年／ 2019年度 吉備国際大学 学部生その他1年	ナンバリング	AN-AN-1-308

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は「アニメーションに関する専門分野の学習の方法を理解すること」をテーマとし、自分の学修計画をつくることができるようになる。専門科目を選択するための材料が十分提供されることで、学生は専門教育への移行を円滑に行なうことができる。また、アニメ業界の業態やプロデュース、シナリオ制作に必要な美学や映画論の知識を身につけることができる。制作や企画、文化研究に必要な基礎的な知識や技術を身につけることを到達目標とする。
授業概要	アニメ文化に関わる様々な分野を各専門教員の紹介によって理解する。またアニメ制作に必要な基本的知識や技術を概観し、イラスト、デジタル作画、絵コンテ、イメージボード、キャラクターデザインに関わる基礎的な技術を学び、必要なソフトを使用できるようになる。映像作品を鑑賞しつつ、将来の映像制作に資するようにするとともに、様々なコンテストに出品された受賞作などを参考にして自らの制作目標を確認する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	この科目では、アニメーション文化学科での学習方法を理解することを目的としていることから、毎回の小レポート・演習課題(60%)、試験課題(40%)によって理解度を評価する。評価のための課題については次回授業で講評によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業でコメントすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	事前に次回の内容を説明するので予習を行うことが必要である。また演習課題については、復習をしながら学習内容を確認することが求められる。具体的な例としては、学んだソフトを使用して描画練習を継続する。初回の授業で、関連する作品や内容についての調べ方を説明する。
実務経験のある教員	該当する　内容　中学校・高等学校での美術担当の実務経験のある教員を含む担当者がオムニバスで専門的な授業を行う。
事前学習・事後学習とその時間	次回の内容に対して作品を調べたり、ソフトの使い方を予習したりすることが必要(２時間程度)である。毎回の授業について復習し、要点をまとめて確実に基礎基本を理解することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	前嶋研究室（1268）で月曜日５限にオフィスアワーを設けている。

授業計画		担当者
第１回	学習方法と学修計画	前嶋英輝
第２回	アニメーションの作画	兼高里圭・前嶋英輝
第３回	動画の中割り	兼高里圭・前嶋英輝
第４回	アニメの隣接領域	山本敦之
第５回	レトリック	山本敦之
第６回	映像の文法とレトリック	山本敦之
第７回	アニメーションの歴史１（白黒）	平見勇雄
第８回	アニメーションの歴史２（カラー）	平見勇雄
第９回	アニメーションの歴史３	平見勇雄

第１０回	視聴覚メディアの歴史：映画・蓄音機・電話の誕生（19世紀）	大谷卓史
第１１回	視聴覚メディアの歴史：映画・蓄音機・電話の発展（20世紀）	大谷卓史
第１２回	視聴覚メディアの歴史：テレビ・ラジオの発展（20世紀）	大谷卓史
第１３回	シナリオって何 / その役割	清水光二
第１４回	シナリオって何 / 講読体験	清水光二
第１５回	シナリオって何 / 文字と映像の違い	清水光二
第１６回	課題提出	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	基礎演習B	担当者	今村　俊介、山本　敦之、大谷　卓史、井上　博明、佐々木　洋、清水　光二、平見　勇雄、前嶋　英輝
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 1年	ナンバリング	AN-AN-1-309

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	1年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	月曜3限		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１１．住み続けられるまちづくりを／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は「アニメーションに関する専門分野の広がりを理解すること」をテーマとし、専門分野の学修計画をつくることができるようになる。専門科目を選択するための材料が十分提供されることで、学生は専門教育への移行を円滑に行なうことができる。また、アニメ業界の業態やプロデュース、シナリオ制作に必要な詩学や映像論の知識を身につけることができる。制作や企画、文化研究に必要な基礎的な知識や技術を身につけることを到達目標とする。
授業概要	アニメ文化に関わる様々な分野を各専門教員の紹介によって理解する。またアニメ制作に必要な基本的知識や技術を概観し、スキャン、デジタル作画、エフェクト、デジタル編集に関わる基礎的なソフトを使用できるようになる。映像作品を鑑賞しつつ、将来の映像制作に資するようにするとともに、様々なコンテストに出品された受賞作などを参考にして自らの制作目標を確認する。DP（ディプロマポリシー）に対して「独創的で自由な発想」を育むために「新しい知識や技術などに対して積極的に吸収しようとする態度」を重視している。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	この科目では、アニメーション文化学科での学習方法を理解することを目的としていることから、毎回の小レポート・演習課題(60%)、試験課題(40%)によって理解度を評価する。評価のための課題については次回授業で講評によるフィードバックを行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回の課題については、次回の授業でコメントすることでフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	事前に次回の内容を説明するので予習を行うことが必要である。また演習課題については、復習をしながら学習内容を確認することが求められる。具体的な例としては、学んだソフトを使用してイラストを描いてみることを継続する。初回の授業で、関連する作品や内容についての調べ方を説明する。
実務経験のある教員	該当する　内容　中学校・高等学校での美術担当の実務経験のある教員を含む担当者がオムニバスで専門的な授業を行う。
事前学習・事後学習とその時間	次回の内容に対して作品を調べたり、ソフトの使い方を予習したりすることが必要(２時間程度)である。毎回の授業について復習し、要点をまとめて確実に基礎基本を理解することが必要(２時間程度)である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

授業計画		担当者
第１回	学習環境と学修計画	前嶋英輝
第２回	アニメーションの原画制作	兼高里圭・前嶋英輝
第３回	動画のタイムシート	兼高里圭・前嶋英輝
第４回	映画技法	山本敦之
第５回	西洋美術史	山本敦之
第６回	西洋音楽史	山本敦之
第７回	デジタル映像技術の歴史	大谷卓史
第８回	デジタルゲームの歴史　その1	大谷卓史
第９回	デジタルゲームの歴史　その2	大谷卓史

第１０回	初期アニメーションの音楽	平見勇雄	
第１１回	初期テレビドラマの音楽１	平見勇雄	
第１２回	初期テレビドラマの音楽２	平見勇雄	
第１３回	シナリオ制作に挑戦 / 画から文字へ	清水光二	
第１４回	シナリオ制作に挑戦 / 文字から画へ	清水光二	
第１５回	シナリオ制作に挑戦 / 企画案を作る	清水光二	
第１６回	課題提出	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	アニメーターが教えるキャラ描画の基本法則	参・出版社名１	エムディエヌコーポレーション
参・著者名１	toshi	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8443-6562-4
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習A			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-310		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	清水ゼミでは、映像作品の歴史的研究、作家論・作品論的研究を行うと同時に、映像作品の設計図と呼ばれるシナリオの制作を大きな目標としている。 ちなみに、この「応用演習A」では、「新版ハリウッド100年史講義」（平凡社新書）を読んで、広く映像の歴史について学ぶことにする。そうすることで、学生は映像の歴史の中の現在を知り、映像文化の中のアニメーションの位置づけについても理解できるようになる。
授業概要	ハリウッドの誕生前から、誕生後の様々な変遷に至るまで、映画という視覚文化の歴史をおよそ100年にわたって辿ってみる。学生はそれぞれ分担された対象の箇所を事前に調べ、授業においてその発表を行うことになる。実写もアニメーションも区別なく映像作品として扱うことになるが、そこに込められた人々の夢を追うことは国と時代を越えて人間理解を深めることになろう。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	この授業では、授業への積極的な参加態度（40%）、プレゼンテーション（30%）、レポート提出（30%）などを合計し、総合的に評価を行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	レポートの提出や課題の発表がなされない場合は、評価不能となり単位認定ができないので特に注意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レポートの提出や課題発表のためには、当然のことながら予習・復習が必須である。予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	序章　ハリウッド前史	清水光二
第２回	第1章　ハリウッド誕生	清水光二
第３回	古典的ハリウッドの誕生	清水光二
第４回	第2章　夢見るハリウッド	清水光二
第５回	サイレント全盛	清水光二
第６回	第3章　古典的ハリウッドの成熟	清水光二
第７回	虚飾と爛熟の40年代	清水光二
第８回	第4章　黄昏に輝くハリウッド	清水光二
第９回	50年代のアンビバレンス	清水光二
第１０回	60年代、映画をめぐる自由と自由をめぐる映画	清水光二
第１１回	第5章　70年第以降	清水光二
第１２回	イベントとしての映画	清水光二
第１３回	第6章　80年代　世界が舞台、拡大するハリウッド映画	清水光二
第１４回	続く大作主義	清水光二
第１５回	第7章　デジタル技術の浸透と地球規模の大域化	清水光二
第１６回	レポート試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	新版ハリウッド100年史講義	教・出版社名１	平凡社

教・著者名１	北野圭介	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4582-85849-5
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	日本映画史110年	参・出版社名１	集英社
参・著者名１	四方田犬彦	参・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-08720752-1
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習A			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-310		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	本演習は「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」をテーマにおき、実際にアニメーション製作に使われた企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等を使って製作の流れを知る事と併せててキャラクターの作成・運用を念頭に置き、どのような展開が作品にとって、キャラクターにとっての必要かを考え、学生がプロデュース思想を学生自身が理解する能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての勤務経験元に、最初にアニメーション文化論にて学んだ日本のアニメーションの歴史的な成り立ちを基に具体的な作品として、私の今までプロデュースした作品群の企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等の資料を使う事でアニメーション製作の流れを理解し、次にその作品がどの様な展開を行ったかをキャラクターコンテンツ基礎で学んだキャラクター運営を基に理解をする事でプロデューサーの仕事を理解させる。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（４０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（３０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては指定の範囲で小レポートを提出する必要がある。２００字未満のレポートは欠席扱いとする。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション／ガイダンス／研究論理に基づく責任ある研究活動	井上

第２回	資料の読み方（企画書）	井上
第３回	資料の読み方（シナリオ）	井上
第４回	資料の読み方（絵コンテ）	井上
第５回	資料の読み方（キャラクター設定）	井上
第６回	資料の読み方（美術設定）	井上
第７回	資料の読み方（メカニック・小物設定）	井上
第８回	資料の読み方（作画・彩色）	井上
第９回	資料の読み方（背景・撮影・CGI）	井上
第１０回	資料の読み方（音響・編集）	井上
第１１回	資料の読み方（音楽）	井上
第１２回	資料の読み方（放送・販売・配信）	井上
第１３回	資料の読み方（二次商品化）	井上
第１４回	資料の読み方（海外展開）	井上
第１５回	全体のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習A			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-310		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	異なる立場や背景の人々と建設的な意見交換をし、いっしょに活動ができるようになることをテーマとします。このテーマのもとで、学生が次の事柄ができるようになることを到達目標とします。 １．まとまった分量の文章を読んだり、話を聞いて、その内容を自分のことばでまとめ、わかりやすく説明できるようになる。 ２．根拠や理由をつけて自分の意見を言い、相手と自分の意見の違いや同じところ、根拠や理由の適切さなどを検討できるようになる。 ３．異なる立場や背景の人々といっしょに活動ができるようになる。 この到達目標を達成するため、この演習では、物語やゲームに関する入門書的な内容の本を2冊読み、読んだことをまとめて説明し、お互いに意見を述べ、議論します。
授業概要	物語やゲームに関する入門書的な内容の本を読んで、毎回担当者がその内容をほかの人たちにわかりやすく工夫して説明します。その説明をもとに、みんなで意見を交換します。その際には、相手の主張や本の内容をよりよく理解するため、質問をするようにします。また、自分の意見を述べるときには、必要があれば理由や根拠を述べるようにします。誰かの主張や、その理由や根拠が適切かどうかわからないときは、必ず質問をしましょう。質問をすることは、相手の言っていることを否定することではありません。質問は、よりよく相手のことを理解し、自分自身の知識や知恵を深めるための手段です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	演習課題（発表等）への取り組み（受講態度）を30%、演習内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を20%の重みづけで評価する。また、課題等の提出物20%、レポートの成績を30%として最終的に総合評価を行う。これらの4つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業課題（提出レポート）に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	遅刻・欠席の際には事前連絡をすること。発表・討論に積極的に取り組まないと演習は成立しません。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：指定する論説、教科書の章を読んできてください。約2時間。 復習：授業で学んだことの振り返り、レポート作成を要求します。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

	授業計画	担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	プロローグ	大谷
第３回	人工生命とロボットの研究の概観	大谷
第４回	気ままなお掃除ロボットルンル	大谷
第５回	気ままなお掃除ロボットルンル　なぜ蟻はまっすぐ歩けないのか	大谷
第６回	ロボットと環境との出会い	大谷
第７回	ロボットと環境との出会い	大谷

第８回	ロボットと環境との出会い　ジョン、カレンはいまどこ？	大谷
第９回	ロボットと環境との出会い　ゾウはチェスをささない	大谷
第１０回	自らの視点から描いた自画像	大谷
第１１回	自らの視点から描いた自画像　目玉ジャクシの原初的サッカー	大谷
第１２回	ことばを繰り出してみる	大谷
第１３回	ことばを繰り出してみる　相手の視線を気にしながら	大谷
第１４回	「弱さ」と「ロボット」についてディスカッション	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	レポート試験	大谷

教科書			
教・書籍名１	〈弱いロボット〉の思考	教・出版社名１	講談社
教・著者名１	岡田美智男	教・ＩＳＢＮ１	978-4-06-288433-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１	筑摩書房	参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習A	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-310

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	授業では取り扱わない手塚治虫文庫全集のマイナーな作品を鑑賞します。鉄腕アトムやリボンの騎士、ジャングル大帝、ブラックジャック等、手塚作品で有名なものはたくさんありますが、現代ではほとんど知られていない作品、知られていても読んだりする機会がなかなかない作品を取り上げ、手塚治虫がどういうストーリーを書いてきたのかを概観することがテーマです。日本アニメ界で最も有名な漫画家の知られていない作品を鑑賞することで、学生は手塚作品の全体像を知ることができ、どういう漫画家だったかをおよそ把握することができるようになります。
授業概要	手塚治虫文庫全集からいくつかを選んで読んで感じたことをレポートにしてもらい、それぞれの作品が言いたかったこと、伝えたいことを探ります。あまり知られていない作品にこそ、本当の手塚の思想や信念が見えてくるかも知れません。それを学生たちで読んだ後に討論します。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	どのくらい真剣に取り組んでそれぞれの作品から思想、信念、言いたいことが捉えられているかをレポートや普段の講義の中で評価します。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	前もって、次の週にやるテーマを与えます。それを読んできてもらいます。それぞれの学生に、一人では読み取れなかったメッセージを共有することで、どういうふうに漫画を読んでいったらいいのか、その方法を定着させます。
履修条件・注意事項	漫画を次の週までに必ず読んでくることが履修条件です。貪欲に読むという作業を求めます。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	普段から手塚自身が書いた作品に親しむ癖をつけて下さい。また何度も読み返すことによって、メッセージをどううまく伝えているのか、セリフやコマ割りなどにも注意して読むようにして下さい。予習はネット上でどういう作品なのかを下調べしてYou tubeで見られるものは見ておいて下さい（２時間程度）。復習は授業でやったものをもう一度自分で読み返してコマ割りの工夫やストーリーの流れなどに注意して何が作品の魅力になっているのかをじっくりと研究して下さい（２時間程度）。
オフィスアワー	水曜日の３限、２号館６Ｆの研究室で。

授業計画		担当者
第１回	一輝まんだら	平見勇雄
第２回	奇子	平見勇雄
第３回	陽だまりの樹（抜粋）	平見勇雄
第４回	新世界ルルー	平見勇雄
第５回	どろろ	平見勇雄
第６回	ワンダー３	平見勇雄
第７回	アドルフに告ぐ	平見勇雄
第８回	海のトリトン	平見勇雄
第９回	人間昆虫記	平見勇雄
第１０回	ふしぎなメルモ	平見勇雄
第１１回	３８度線上の怪物	平見勇雄
第１２回	スリル博士	平見勇雄
第１３回	エンゼルの丘	平見勇雄

第１４回	上を下へのジレット		平見勇雄
第１５回	七色インコ		平見勇雄
第１６回	レポート提出とその反省点		平見勇雄
教科書			
教・書籍名１	上記の漫画　（学生には貸与、およびコピーにて対応する）手塚治虫文庫全集	教・出版社名１	講談社文庫
教・著者名１	手塚治虫	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習A			担当者	山本　敦之		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-310		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	△	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	アニメは、漫画や映画といった直接的隣接ジャンルと密接に結びつく。さらに、文藝、美術、演劇、音楽といったジャンルの作品を創作の源泉としうる。この講義では、そのような様々なジャンルの代表的作品群をテクスト、映像を通して鑑賞し、これについての分析・解説を聴くことになる。これにより学生は、将来のアニメ作品制作や批評に資する豊富な文藝・映像の資源を所有することができる。
授業概要	まず漫画原論や映画技法について説明。次いで文藝史、美術史、音楽史の大まかな解説。その上でオリジナルとなる文藝作品を読み、これを原作とする映像作品を見る。場合によっては複数の映画を見ることになる。また、複数の文藝作品から抜粋・構成された脚本にもとづく映像作品を見る回もある。黒澤明『蜘蛛の巣城』については能からの影響が顕著であるので、能について1回講義する。また学生は課題に対して発表をおこない、全員で議論することになる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題(50%)、定期試験(50%)。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題に対し講評をおこなうことでフィードバックをおこなう。
履修条件・注意事項	テクストは購入するか図書館で借りてきちんと読むこと。また、指定された映像作品も必ず見ること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	授業中に扱う範囲はテクストのさわりに限られるので、必ず予習で指定された範囲全部を読んでくること。また授業での解説を聞いた後の復習で、範囲全部を読み直すこと。指定された映像作品(部分)を予習・復習で見ること。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	シェークスピア『ヘンリー4世』第1部	山本
第２回	シェークスピア『ヘンリー4世』第2部	山本
第３回	シェイクスピア『ヘンリー5世』	山本
第４回	L.オリヴィエ, HenryV	山本
第５回	O．ウェルズ、Chimes at　Midnight	山本
第６回	シェークスピア『マクベス』	山本
第７回	O.ウェルズ、Macbeth	山本
第８回	黒澤明、蜘蛛の巣城	山本

第９回	能	山本
第１０回	コンラッド『闇の奥』	山本
第１１回	コッポラ、Apocalypse Now	山本
第１２回	コンラッド『密偵』	山本
第１３回	ヒチコック、Sabotage	山本
第１４回	サッカレー『バリー・リンドン』	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習B			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-311		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	清水ゼミでは、映像作品の歴史的研究、作家論・作品論的研究を行うと同時に、映像作品の設計図と呼ばれるシナリオの制作を大きな目標としている。 ちなみに、この「応用演習B」では、「日本映画史110年」（集英社新書）を読んで、広く映像の歴史について学ぶことにする。そうすることで、学生は映像の歴史の中の現在を知り、映像文化の中のアニメーションの位置づけについても理解できるようになる。
授業概要	近代の光学装置としての映画が日本に持ち込まれてから、すでに120年以上が経っている。その間に日本映画がどのように発展し、変貌を遂げてきたかをたどってみる。学生はそれぞれ分担された対象の箇所を事前に調べ、授業においてその発表を行うことになる。実写もアニメーションも区別なく映像作品として扱うことになるが、そこに込められた人々の夢を追うことは国と時代を越えて人間理解を深めることに繋がるだろう。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	この授業では、授業への積極的な参加態度（40%）、プレゼンテーション（30%）、レポート提出（30%）などを合計し、総合的に評価を行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	レポートの提出や課題の発表がなされない場合は、評価不能となり単位認定ができないので特に注意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レポートの提出や課題発表のためには、当然のことながら予習・復習が必須である。予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	日本映画の特徴について	清水光二
第２回	第1章　活動写真　1896-1918	清水光二
第３回	第2章　無声映画の成熟　1917-30	清水光二
第４回	第3章　最初の黄金時代　1927-40	清水光二
第５回	第4章　戦時下の日本映画	清水光二
第６回	第5章　植民地・占領地における映画制作　台湾や朝鮮での映画	清水光二
第７回	満州映画の成立と終焉	清水光二
第８回	第6章　アメリカ占領下の日本映画　1952-60	清水光二
第９回	第7章　第二の全盛時代へ　1952-60	清水光二
第１０回	第8章　騒々しくも、ゆるやかな下降　1961-70	清水光二
第１１回	第9章　衰退と停滞の日々　1971-80	清水光二
第１２回	第10章　スタジオシステムの解体　1981-90	清水光二
第１３回	第11章　インディーズの全盛へ　1991-2000	清水光二
第１４回	第12章　製作バブルのなかで　2001-11	清水光二
第１５回	韓流映画の魅力	清水光二
第１６回	レポート試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	日本映画史110年	教・出版社名１	集英社

教・著者名１	四方田犬彦	教・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4-08720752-1
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	新版ハリウッド100年史講義	参・出版社名１	平凡社
参・著者名１	北野圭介	参・ＩＳＢＮ１	ISBN978-4582-85849-5
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習B			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-311		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	春学期からの継続として「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」をテーマにおき、実際にアニメーション製作に使われた企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等を使って製作の流れを引き続き理解する事を行う。秋学期としては作品が世の中にどの様に広がって行ったかを販売チラシやプロモーションを行った雑誌等の実際の素材を使う事で作品・キャラクター展開のイメージを持たせる事で、プロデューサーが何を考え、展開を進めるかを学習する事でプロデュースの意味を理解する事を学生自身が理解する能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての勤務経験を元に、春学期からの継続として、私の今までプロデュースした作品群の企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等の資料を引き続き使う事でアニメーション製作の流れを理解させる。また、それら作品の販売チラシやプロモーションを行った雑誌等の実際の素材を使う事で作品・キャラクター展開のイメージを学生に持たせる事に主眼をおく。その上で現行の作品での展開を調べる事で、プロデュースの基礎を理解する事を目指す。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（４０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（３０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画	担当者

第１回	演習Aの振り返り	井上
第２回	資料の読み方（企画）	井上
第３回	資料の読み方（製作）	井上
第４回	資料の読み方（販売）	井上
第５回	資料の読み方（販売・タイアップ）	井上
第６回	資料の読み方（販売宣伝・雑誌）	井上
第７回	資料の読み方（販売宣伝・TV放送）	井上
第８回	資料の読み方（販売宣伝・ラジオ放送）	井上
第９回	資料の読み方（販売宣伝・Web）	井上
第１０回	資料の読み方（販売宣伝・イベント）	井上
第１１回	資料の読み方（販売宣伝・マニアイベント）	井上
第１２回	資料の読み方（販売宣伝・マニアイベント/北米）	井上
第１３回	資料の読み方（販売宣伝・マニアイベント/アジア）	井上
第１４回	資料の読み方（販売宣伝・マニアイベント/ヨーロッパ）	井上
第１５回	全体のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習B			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年			ナンバリング	AN-AN-2-311		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	異なる立場や背景の人々と建設的な意見交換をし、いっしょに活動ができるようになることをテーマとします。このテーマのもとで、学生が次の事柄をできるようになることを到達目標とします。 １．まとまった分量の文章を読んだり、話を聞いて、その内容を自分のことばでまとめ、わかりやすく説明できるようになる。 ２．根拠や理由をつけて自分の意見を言い、相手と自分の意見の違いや同じところ、根拠や理由の適切さなどを検討できるようになる。 ３．異なる立場や背景の人々といっしょに活動ができるようになる。 この到達目標を達成するため、この演習では、テクノロジーを媒介としたコミュニケーションを考察する入門書的な内容の本を読み、読んだことをまとめて説明し、お互いに意見を述べ、議論します。
授業概要	コミュニケーションに関する入門書的な内容の本を読んで、毎回担当者がその内容をほかの人たちにわかりやすく工夫して説明します。その説明をもとに、みんなで意見を交換します。その際には、相手の主張や本の内容をよりよく理解するため、質問をするようにします。また、自分の意見を述べるときには、必要があれば理由や根拠を述べるようにします。誰かの主張や、その理由や根拠が適切かどうかわからないときは、必ず質問をしましょう。質問をすることは、相手の言っていることを否定することではありません。質問は、よりよく相手のことを理解し、自分自身の知識や知恵を深めるための手段です。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	演習課題（発表等）への取り組み（受講態度）を30%、演習内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を20%の重みづけで評価する。また、課題等の提出物20%、レポートの成績を30%として最終的に総合評価を行う。これらの4つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業課題（提出レポート）に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	遅刻・欠席の際には事前連絡をすること。発表・討論に積極的に取り組まないと演習は成立しません。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：指定する論説、教科書の章を読んできてください。約2時間。 復習：授業で学んだことの振り返り、レポート作成を要求します。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

	授業計画	担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	小さなドキドキをかさねながら	大谷
第３回	小さなドキドキをかさねながら　対面的な相互行為は賭けをともなう	大谷
第４回	引き算から生まれるもの	大谷
第５回	引き算からうまれるもの　む～に対するマザーリース	大谷

第６回	弱いロボットの誕生	大谷
第７回	弱いロボットの誕生　苦肉の策としてのチープデザイン	大谷
第８回	弱いロボットの誕生　もっと完璧にお掃除するものであったら？	大谷
第９回	対峙しあう関係から並ぶ関係へ	大谷
第１０回	対峙しあう関係から並ぶ関係へ　人とロボットの並ぶ関係は？	大谷
第１１回	対峙しあう関係から並ぶ関係へ　人とロボットの並ぶ関係は？	大谷
第１２回	エピローグを読む	大谷
第１３回	「弱さ」とロボットに関するディスカッション	大谷
第１４回	アニメやゲームづくりにどう生かすか	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	レポート試験	大谷

教科書			
教・書籍名１	〈弱いロボット〉の思考	教・出版社名１	講談社
教・著者名１	岡田美智男	教・ＩＳＢＮ１	978-4-06-288433-4
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習B	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-311

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	秋学期は手塚治虫文庫全集のメジャーな作品を鑑賞します。鉄腕アトムやリボンの騎士、ジャングル大帝、ブラックジャック等、手塚作品で有名なものはたくさんありますが、ブラックジャックを取り上げ、手塚治虫がどういうストーリーを書いてきたのかを概観することがテーマです。日本アニメ界で最も有名な漫画家の有名な作品を鑑賞することで、学生は手塚作品の哲学を知ることができ、どういう漫画家だったかをおよそ把握することができるようになります。
授業概要	紹介した本を選んで読んで感じたことをレポートにしてもらい、それぞれの作品が言いたかったこと、伝えたいことを探ります。手塚の思想や信念を学生たちで読んだ後に討論します。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	どのくらい真剣に取り組んでそれぞれの作品から思想、信念、言いたいことが捉えられているかをレポートや普段の講義の中で評価します。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	前もって、次の週にやるテーマを与えます。それを読んできてもらいます。それぞれの学生に、一人では読み取れなかったメッセージを共有することで、どういうふうに漫画を読んでいったらいいのか、その方法を定着させます。
履修条件・注意事項	漫画を次の週までに必ず読んでくることが履修条件です。貪欲に読むという作業を求めます。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	普段から手塚自身が書いた作品に親しむ癖をつけて下さい。また何度も読み返すことによって、メッセージをどうまく伝えているのか、セリフやコマ割りなどにも注意して読むようにして下さい。予習、復習ともにおよそ２時間程度は使うよう心掛けて下さい。
オフィスアワー	水曜日の３限。２号館６Ｆの研究室にて。

	授業計画	担当者
第１回	ブラックジャック１	平見勇雄
第２回	ブラックジャック２	平見勇雄
第３回	ブラックジャック３	平見勇雄
第４回	ブラックジャック４	平見勇雄
第５回	ブラックジャック５	平見勇雄
第６回	ブラックジャック６	平見勇雄
第７回	ブラックジャック７	平見勇雄
第８回	ブラックジャック８	平見勇雄
第９回	ブラックジャック９	平見勇雄
第１０回	ブラックジャック１０	平見勇雄
第１１回	ブラックジャック創作秘話１	平見勇雄
第１２回	ブラックジャック創作秘話２	平見勇雄
第１３回	ブラックジャック創作秘話３	平見勇雄
第１４回	ブラックジャック創作秘話４	平見勇雄
第１５回	ブラックジャック創作秘話５	平見勇雄
第１６回	レポート提出とそのまとめ	平見勇雄

教科書

教・書籍名１	（学生には貸与、およびコピーにて対応する講談社の）手塚治虫文庫全集のブラックジャック	教・出版社名１	講談社文庫
教・著者名１	手塚治虫	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２	ブラックジャック創作秘話	教・出版社名2	秋田書店
教・著者名2	吉本こうじ	教・ＩＳＢＮ2	B00AQY7XQO
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	応用演習B	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 2年	ナンバリング	AN-AN-2-311

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	2年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	アニメは、漫画や映画といった直接的隣接ジャンルと密接に結びつく。さらに、文藝、美術、演劇、音楽といったジャンルの作品を創作の源泉としうる。そのような様々なジャンルの代表的作品群をテクスト、映像、音声を通して鑑賞し、これについての分析・解説を聴くことになる。これにより学生は、将来のアニメ作品制作や批評に資する豊富な文藝・映像表現・音楽の資源を所有することができる。
授業概要	まず漫画原論や映画技法について説明。次いで文藝史、美術史、音楽史の大まかな解説。その上でオリジナルとなる文藝作品を読み、これを原作とする映像作品を見る。また、西欧文明の二大母体となるギリシャ文明とヘブライ文明由来のテクストを読み、それにもとづくオペラを鑑賞する。最後の二回は古代の造形美術と近代の歴史画に表現された古代の形象を鑑賞・解説する。また学生は折にふれて課題に対する発表をおこない、全員で議論することになる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題(50%)、定期試験(50%)。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題に対するフィードバックは、これに対する講評によっておこなう。
履修条件・注意事項	テクストは購入するか図書館で借りてきちんと読むこと。また、指定された映像作品も必ず見ること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	授業中に扱う範囲はテクストのさわりに限られるので、必ず予習で指定された範囲全部を読んでくること(90分)。また授業での解説を聞いた後の復習で、範囲全部を読み直すこと(90分)。指定された映像作品(部分)を予習・復習で見ること。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	クラーク『2001年宇宙の旅』	山本
第２回	キューブリック、Space Odyssey	山本
第３回	アポロドロス『ギリシャ神話』	山本
第４回	モンテヴェルディ、L'Orfeo	山本
第５回	グルック、Orfeo ed Euridice	山本
第６回	R.シュトラウス、Ariadne aufNaxos	山本

第７回	オウィディウス『変身物語』	山本
第８回	ヘンデル、セメレ	山本
第９回	R.シュトラウス、Daphne	山本
第１０回	イザヤ書	山本
第１１回	ヘンデル、Messiah	山本
第１２回	『サムエル記』	山本
第１３回	ヘンデル、Saul	山本
第１４回	古代西洋美術概観	山本
第１５回	近代歴史画概観	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習A			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-312		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	清水ゼミでは、映像作品の歴史的研究、作家論・作品論的研究を行うと同時に、映像作品の設計図と呼ばれるシナリオの制作および研究を大きな目標としている。 この「実践演習A」では、「すべてがわかる日本アニメ史入門」（彩流社）をテキストとして使い、日本アニメの歴史的流れを縦に辿りつつ、同時にその時々の主要作品と出来事についても並行して学ぶことにする。そうすることで、学生は映像の歴史の中の現在を知り、映像文化史の中のアニメーションの位置づけについても理解できるようになる。
授業概要	テキストとして使う「すべてがわかる日本アニメ史入門」（彩流社）は、「編年体と紀伝体を合わせた形」をその特徴としている。そのため、時間軸を中心に日本アニメの歴史を学ぶと共に、時々の主要な作品とそれにまつわる各種の出来事についても併せて知ることができる。それ故、学生は自分が一体何に関心があるのかを容易に発見できるし、それについて調べたり考察したりするモチベーションにも高いものが期待できよう。学生には、アニメについてのレポートをどのように書くかを学ぶいい機会になると考える。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	この授業では、授業への積極的な参加態度（40%）、プレゼンテーション（30%）、レポート提出（30%）などを合計し、総合的に評価を行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	レポートの提出や課題の発表がなされない場合は、評価不能となり単位認定ができないので特に注意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レポートの提出や課題発表のためには、当然のことながら予習・復習が必須である。予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜2限目と火曜2限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	日本アニメの黎明期　1950-60	清水光二
第２回	白蛇伝、鉄腕アトム	清水光二
第３回	巨人の星、アタックNo.1	清水光二
第４回	ゲゲゲの鬼太郎	清水光二
第５回	日本アニメの勃興期　1970-80	清水光二
第６回	あしたのジョー	清水光二
第７回	アルプスの少女ハイジ	清水光二
第８回	機動戦士ガンダム	清水光二
第９回	ルパン三世　カリオストロの城	清水光二
第１０回	スタジオジブリの誕生	清水光二
第１１回	AKIRA	清水光二
第１２回	日本アニメの最盛期　1990年代	清水光二
第１３回	美少女戦士セーラームーン	清水光二
第１４回	新世紀エヴァンゲリオン	清水光二
第１５回	ほしのこえ	清水光二

第１６回	レポート試験		清水光二
教科書			
教・書籍名１	すべてがわかる日本アニメ史入門	教・出版社名１	彩流社
教・著者名１	アニメの旅人	教・ＩＳＢＮ１	ISBN 978-4-7791-2776-2 C0095
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習A			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-312		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	応用演習ABからの継続として、「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」をテーマにおき、実際にアニメーション製作に使われた企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等を使って製作の流れを引き続き理解する事を行う。学生が実際の作品での展開を調べる事で、プロデューサーが何を考え、展開を進めるかを学習する事でプロデュースの意味を理解する事を学生自身が理解する能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての勤務経験元に、応用演習ABからの継続として、私の今までプロデュースした作品群の企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等の資料を引き続き使う事でアニメーション製作の流れを理解させ、新たな作品・キャラクター展開のイメージを学生に作成させる事に主眼をおく。その上で現行の作品での展開を元に学生自身がプロデュースの行える事を目指す。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（４０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（３０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日３限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	応用演習ABの振り返り及び研究論理に基づく責任ある研究活動	井上

第２回	資料の読み方（企画方向性）	井上
第３回	資料の読み方（企画資料集め）	井上
第４回	資料の読み方（企画資料固め）	井上
第５回	資料の読み方（ラフ企画書作成）	井上
第６回	資料の読み方（企画書作成）	井上
第７回	資料の読み方（企画書プレゼン）	井上
第８回	資料の読み方（企画書査定）	井上
第９回	資料の読み方（企画方向性実践）	井上
第１０回	資料の読み方（企画資料集め実践）	井上
第１１回	資料の読み方（企画資料固め２ターン実践）	井上
第１２回	資料の読み方（ラフ企画書作成実践）	井上
第１３回	資料の読み方（企画書作成実践）	井上
第１４回	資料の読み方（企画書プレゼン実践）	井上
第１５回	全体のまとめ	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習A			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-312		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は、「自主制作」をテーマとし、アニメーションなどを中心に制作研究を行うことで、基礎的な能力を身につけ、作品を自分の表現として制作できるようになる。選択肢として3DCGやクレイアニメなども視野に入れながら制作を行う。具体的な技法として手描きを中心に進めるが、ペンタブレットによる描画も選択肢に入れる。必要な知識と技術を修得し、同時に自主制作のための資料収集を行い、実験的な自主制作作品の制作を到達目標とする。
授業概要	卒業制作までの今後の制作計画を立て、必要な技術を身につけることが大変重要になる。自分にあった技法を探すために様々な技法に挑戦し、コンピューターのソフトの使用方法を含めた自主制作の能力を身につける。各自が自主的に学習して制作した内容を持ち寄って討論する形で学習を進める。手描きの能力を高めながら実写合成などの技法にも幅を持って取り組む。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、アニメーション文化研究に基づいて表現できる能力を身につけることを目的としていることから、研究態度（30%）、研究内容（30%）、単位認定試験　（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	卒業研究につながる演習であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、アニメーションに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、彫刻家、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アニメーションに関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。 美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、年間計画	前嶋英輝
第２回	研究概要、企画、イメージボード	前嶋英輝
第３回	絵コンテ作成・・・プロット提示	前嶋英輝
第４回	絵コンテ作成・・・プロット編集	前嶋英輝
第５回	キャラクター設定、原画作成	前嶋英輝
第６回	中間発表（企画修正と資料確認）	前嶋英輝
第７回	制作管理確認（配布資料）	前嶋英輝
第８回	制作ステップ確認と作画	前嶋英輝
第９回	制作ステップ確認と動画チェック	前嶋英輝
第１０回	中間発表準備	前嶋英輝
第１１回	中間発表（進行確認と討論）	前嶋英輝
第１２回	中間発表を受けての全体的修正	前嶋英輝

第１３回	制作ステップ確認と編集	前嶋英輝	
第１４回	制作ステップ確認と仕上げ	前嶋英輝	
第１５回	最終確認と研究発表準備	前嶋英輝	
第１６回	作品提出	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１	After Effects for アニメーション	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ新社
参・著者名１	大平幸輝	参・ＩＳＢＮ１	978-4-86100-699-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	実践演習A	担当者	大谷　卓史
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-312

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に
到達目標	情報倫理学の基本的な考え方を広く習得することがテーマである。メディアにおける創作活動・流通において、倫理的・法的課題が問題とされる事例がある。また、アニメーションやゲームなどの原案・ストーリーの創作においては、情報倫理学で示される一種SF的な想像力が役立つことが多い。 情報倫理学分野に関する知識を習得するとともに、論理的・合理的に思考できる基礎的能力を涵養する。 到達目標は、下記のことができるようになることである。 １）情報倫理学の基本的なテーマにどのようなものがあるか理解できるようになる。 ２）情報倫理学の基本的なテーマについてどのような倫理的論点があるか理解できるようになる。 ３）身の回りの問題に引き付けて、情報倫理学の基本的論点について考察できるようになる。 ただし、履修者の興味・関心によっては変更する。
授業概要	Himma and Tavani(2008)The Handbook of Information and Computer Ethics, Wileyの章立てにしたがって、情報倫理学の基本的なテーマを解説し、その倫理的論点を考察する。英語の読解力があることが望ましいが、毎回簡単なレジュメを配布するので、とくに高度な読解力は必要としない。レジュメの概説後、教員と参加者で倫理的論点について議論を行い、理由・根拠を持った考察を行えるように訓練する。学期最後に、今学期紹介した基本的テーマ・倫理的論点のなかから興味のあるものを選び、2000文字程度のレポートを作成する。 ただし、内容は履修者の興味・関心によっては変更する。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	演習課題（発表等）への取り組み（受講態度）を30%、演習内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を20%の重みづけで評価する。また、課題等の提出物20%、レポートの成績を30%として最終的に総合評価を行う。これらの4つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業課題（提出レポート）に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	遅刻・欠席の際には事前連絡をすること。発表・討論に積極的に取り組まないと演習は成立しません。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：指定した配布資料の該当箇所を読んでくること。約2時間。 復習：配布資料の内容を確認し、授業内容の振り返りを行うこと。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

	授業計画	担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	情報倫理学とは何か	大谷
第３回	情報倫理学の歴史	大谷
第４回	道徳的方法論とIT	大谷
第５回	価値を意識した設計と情報システム	大谷
第６回	知的財産の人格基礎的正当化と規則功利主義的正当化、ロック的正当化	大谷
第７回	情報プライバシー：概念と理論、論争	大谷

第８回	オンラインの匿名性	大谷
第９回	コンピュータセキュリティに係わる倫理的問題	大谷
第１０回	情報倫理と図書館専門職	大谷
第１１回	フリーソフトウェアとオープンソースソフトウェアにおける倫理的関心	大谷
第１２回	インターネット研究倫理	大谷
第１３回	健康情報技術	大谷
第１４回	情報とビジネスの倫理的問題	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	レポート試験	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	改訂新版　情報倫理入門	参・出版社名１	アイケイコーポレーション
参・著者名１	大谷卓史	参・ＩＳＢＮ１	4874923240
参・書籍名２	AIの倫理学	参・出版社名2	丸善出版
参・著者名2	クーケルバーグ著、直江清隆訳者代表	参・ＩＳＢＮ2	978-4621305881

授業科目名	実践演習A			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-312		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は「自らの表現スタイルを確立する」ことをテーマとする。 自分の研究テーマを設定し、これまでに学修したことを総合して研究をまとめる。 作品制作による研究を行う場合は、技法やスタイルだけでなく主題構造を構築し、 十分に深めながら表現できる能力を身につける。 論文による研究を行う場合は、関心のあるテーマを選択し、先行研究を十分行った上で 明確な結論を引き出す能力を身につけることができる。 学生は、専門知識を確実におさえ、様々なジャンルやメディアに広く関心を持ち続けることで、 作品を文化として考えながら研究を完成できる。
授業概要	卒業研究を視野に、様々な表現について研究し、そこから選択した手法に基づき作品を制作する。 作品は可能な限り多数制作しポートフォリオの充実を目指す。 手法についてはアニメーションや立体物を含む広範な表現形式から選択する。 毎週の進捗状況に合わせて、プレゼンテーションを含む全体討議による発表を行い、 年間の制作進行表を作ってそのタイムスケジュールにそって自己管理しながら作品制作を進める。 この授業は、アニメーター、デザイナーとしてキャラクター、アニメ、イラストレーション等の ビジュアルデザイン制作を行った実務経験のある教員が担当する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、作家的主題の確立と、自らの世界観に基づいて表現できる能力を身につける ことを目的としていることから、研究態度（10%）、課題作品（40%）、単位認定作品（50%） の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。 ポートフォリオや作品などの課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら 指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回講評を行い作品ごとにフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	１）卒業研究につながる演習であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。 ２）共同研究を行う場合、分担が明確に示せることを条件とする。 ３）基本的なソフトウェアの操作に習熟できていることを条件とする。
実務経験のある教員	該当する　内容　1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、美術学校での講師経験のある教員が30回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アート表現に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について 予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上で随時質問相談を受け付けている。

授業計画	担当者

第１回	1-オリエンテーション	佐々木洋
第２回	2-主題の構造と種類	佐々木洋
第３回	3-生涯に渡る主題	佐々木洋
第４回	4-セルフ・ブランディング	佐々木洋
第５回	5-価値の創造	佐々木洋
第６回	制作作品概要決定	佐々木洋
第７回	技法のルーチン化	佐々木洋
第８回	進捗確認と討議	佐々木洋
第９回	中間発表	佐々木洋
第１０回	時代変化を俯瞰する	佐々木洋
第１１回	自己世界を言語化する	佐々木洋
第１２回	進捗確認と討議	佐々木洋
第１３回	世界観の拡張	佐々木洋
第１４回	最終確認と研究発表準備	佐々木洋
第１５回	単位認定作品講評	佐々木洋
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習A	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-312

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目

ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	留学生も多いことから日本の歴史を知る意味でも日本の古典をまんがで読んでいきます。テーマは日本の文化を漫画を通して知り理解につなげることです。到達目標は日本の文化を深く理解していくことです。学生はこの講義を受けることで、単に有名な名前の物語の表面的なことだけでなく、日本人ももしかしたら知らないかもしれない物語を知ることができるようになります。
授業概要	以下、漫画となっている日本の古典を漫画で呼んでいきます。とは言っても、すべてを知ることはできないので、それぞれのハイライトを取り上げてプリントを配布します。おそらく背景となる日本の歴史も若干学びながらの授業になります。時に、学生に発表してもらい、自分の国にも同じような物語があるのかどうか、他の学生にも教えてもらいます。物語をたくさん知ることで自分の中の引き出しが増え、創作の際のヒントがたくさんあると思います。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	どの程度毎週真剣に与えられた課題を読んでくるかで評価します。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	その都度、簡単なまとめを出してもらいます。授業での発表も評価の対象となります。
履修条件・注意事項	毎週課題を読んでこなければ意味がありません。予習は必修です。わかる範囲で読んできて下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	日本語の勉強にも、歴史の勉強にもなります。それぞれの本の、おおまかな概要を知ろうと努力して下さい。予習として２時間、ネットで構いませんから内容と大筋を調べてきて下さい。あとは授業で確認し、ハイライト、大切なところを漫画で紹介します。復習は自分がこれを漫画にするならどのような点を大切に漫画化するかを自分なりに考えてレポートを提出してもらいます。２時間程度の復習の時間を確保して下さい。
オフィスアワー	水曜日の３限です。２号館６Ｆの研究室です。

授業計画		担当者
第１回	古事記	平見勇雄
第２回	落窪物語	平見勇雄
第３回	源氏物語　前半	平見勇雄
第４回	源氏物語　後半	平見勇雄
第５回	和泉式部日記	平見勇雄
第６回	堤中納言物語	平見勇雄
第７回	今昔物語	平見勇雄
第８回	平家物語　前半	平見勇雄
第９回	平家物語　後半	平見勇雄
第１０回	とはずがたり	平見勇雄
第１１回	吾妻鏡	平見勇雄
第１２回	徒然草	平見勇雄
第１３回	太平記	平見勇雄
第１４回	御伽草子	平見勇雄
第１５回	前期のまとめ	平見勇雄
第１６回	試験	平見勇雄

教科書

教・書籍名１	日本の古典	教・出版社名１	
教・著者名１	有名漫画家およそ３０人合作	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習A	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-312

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	古代オリエント、ギリシャ、ローマならびに初期中世から現代までの西洋音楽を総覧することが主題である。調性になれた我々の耳には異質に聞こえる古い時代の音楽から、調性が生まれて急速に多様化した近代の音楽、あるいは現代音楽までを一望のもとにおさめることで、学生は豊富な音楽資源を将来の芸術制作に動員できるようになる。
授業概要	最近研究が進んだ古代や中世の音楽や、調性が生まれて以降の膨大な数の音楽作品から重要な作品を選び出してこれを聴取し、最新の情報を踏まえて解説する。またyoutubeを駆使することで、驚くほど多様な作品群に接することになる。また折にふれて与えられた課題について指名された学生は発表をおこない、ほかの学生はこれに対して論評を求められる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題発表(50%)、試験(50%)
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	評価のための課題については次回授業で講評によりフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。また予告された音楽作品をyoutubeで聴取すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	古代世界の音楽	山本
第２回	三和音以前の中世音楽	山本
第３回	ルネサンス音楽	山本
第４回	エリザベス朝の音楽	山本
第５回	モンテヴェルディ	山本
第６回	ヘンデル	山本
第７回	バッハ	山本

第８回	グルックとモーツァルト	山本
第９回	ベートーヴェンとシューベルト	山本
第１０回	ロッシーニ	山本
第１１回	シューマンとブラームス	山本
第１２回	ワーグナーとブルックナー	山本
第１３回	マーラーとR.シュトラウス	山本
第１４回	戦間期ドイツの音楽と映画音楽	山本
第１５回	総括	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習A			担当者	今村　俊介		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-312		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	3年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、4年次卒業研究に向けて、映像作品企画を実現するため、一連の様々なプロセスである、予算の立て方、事業計画、制作、広報等を調査研究を行うことで、基礎的な能力を身につけ、作品を自分の表現として制作できるようになる応用技法を身につけることができる。 アニメーション制作におけるデジタル技術の理解とソフトウェア活用によるの画像作成および画像処理の応用スキルを身につけ、効果的な作品作成を行うための実践的な知識と技法を修得できる。また、必要に応じて代表的な3DCGソフトウェアの応用概念を学び、卒業研究に向けて3DCG作品作成過程の導入とすることができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「映像作品制作におけるコンピュータリテラシー」と「課題理解能力」である。
授業概要	アニメーション制作のデジタル化、3DCGソフトウェアの技法、立体的なキャラクターデザインの具体的な造形ポイントと動きのプログラムパターン作成などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題の進捗に応じてチェックとフォローアップを行う。最終成果物についてコメントを付記する。
履修条件・注意事項	卒業研究に向けての土台を設計する段階なので、政策課題の方向性を確立すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アニメーション制作に関する書籍やネットの情報を参照し、研究課題のテーマに沿って予習復習をおこなう。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて月曜4限に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	今村
第２回	3年次春期の研究課題の方向性確認	今村
第３回	3年次春期の研究課題作成の必要条件設定	今村
第４回	3年次春期の課題制作スケジュール設定	今村
第５回	3年次春期の課題制作開始（1）	今村
第６回	3年次春期の課題制作開始（2）	今村
第７回	3年次春期の課題制作開始（3）	今村
第８回	3年次春期の課題制作中間確認	今村
第９回	3年次春期の課題制作中間確認参考資料提示	今村
第１０回	3年次春期の課題制作中間確認による修正(1)	今村
第１１回	3年次春期の課題制作中間確認による修正(2)	今村
第１２回	3年次春期の課題制作中間確認による修正(3)	今村
第１３回	3年次春期の課題制作中間確認による修正チェック(1)	今村
第１４回	3年次春期の課題制作中間確認による修正チェック(2)	今村

第１５回	3年次春期の課題制作中間確認による修正チェック(3)と春期工程のまとめ	今村	
第１６回	春期制作課題試験	今村	
教科書			
教・書籍名１	各自の政策課題に応じて必要資料をPDFで配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習B			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-313		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	清水ゼミでは、映像作品の歴史的研究、作家論・作品論的研究を行うと同時に、映像作品の設計図と呼ばれるシナリオの制作および研究を大きな目標としている。 この「実践演習B」では、韓国・台湾の映画史を日本映画との関わりの中で概観し、考察する。そうすることで、学生は東アジアの映像の歴史の中の現在を知り、そこにおける日本映画のの位置づけについても理解できるようになる。
授業概要	韓国・台湾の映画史に関する複数の文献を読みながら、学生はそれぞれ分担された対象の箇所を事前に調べ、授業においてその発表を行うことになる。学生は映像についてのレポートの書き方・調べ方を学ぶとともに、卒業論文のテーマを探す機会にもなるであろう。
アクティブラーニングの内容	プレゼンテーション
評価方法と割合	この授業では、授業への積極的な参加態度（40%）、プレゼンテーション（30%）、レポート提出（30%）などを合計し、総合的に評価を行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	レポートの提出や課題の発表がなされない場合は、評価不能となり単位認定ができないので特に注意すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	レポートの提出や課題発表のためには、当然のことながら予習・復習が必須である。予習と復習に要する時間は、それぞれ毎週２時間程度である。
オフィスアワー	月曜2限目と火曜2限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	東アジアの映画について	清水光二
第２回	1990年代の韓国映画	清水光二
第３回	2000年代の韓国映画	清水光二
第４回	韓国映画の現在	清水光二
第５回	映画にみる韓国と日本	清水光二
第６回	リメイク作品から考える日本と韓国	清水光二
第７回	1950年代の台湾映画	清水光二
第８回	1960年代の台湾映画	清水光二
第９回	1970年代の台湾映画	清水光二
第１０回	1980年代の台湾映画	清水光二
第１１回	「非情都市」を考える	清水光二
第１２回	ニューシネマ期の台湾映画	清水光二
第１３回	ポスト・ニューシネマ期の台湾映画	清水光二
第１４回	台湾映画の中のエスニック	清水光二
第１５回	学生の課題発表	清水光二
第１６回	レポート試験	清水光二

教科書			
教・書籍名１	適宜、プリント配布。	教・出版社名１	

教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	韓国映画100史　その誕生からグローバル展開まで	参・出版社名１	明石書店
参・著者名１	チョン・ジョンファ	参・ＩＳＢＮ１	978-4-7503-4467-6
参・書籍名２	台湾映画のすべて	参・出版社名2	丸善株式会社
参・著者名2	戸張東夫	参・ＩＳＢＮ2	4-621-06106-2

授業科目名	実践演習B			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-313		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	○	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	春学期からの継続として、「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」をテーマにおき、実際にアニメーション製作に使われた企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等を使って製作の流れを引き続き理解する事を行う。学生が実際の作品での展開を調べる事で、プロデューサーが何を考え、展開を進めるかを学習する事でプロデュースの意味を理解する事を学生自身が理解する能力を持つ事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての勤務経験を元に、春学期からの継続として、私の今までプロデュースした作品群の企画書やシナリオ、絵コンテ、設定等の資料を引き続き使う事でアニメーション製作の流れを理解させ、新たな作品・キャラクター展開のイメージを学生に作成させる事に主眼をおく。その上で現行の作品での展開を元に学生自身がプロデュースの行える事を目指す。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	テーマ「日本でのアニメーション文化の成り立ちを理解する事」の到達度について、知識および能力を計るために、定期試験結果や授業での発表等を通じて総合的に評価する。具体的には、知識修得状況を把握するための定期試験（４０％）、会話能力を判定するための課題発表（３０％）、授業中の学びの程度を判定するため、グループ・ディスカッションへの積極的な参加態度（３０％）を合計して総合評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	履修にあたっては、毎回課題を出すので、次回の授業時に提出（または発表）すること。授業中は受講内容に積極的に関心と問題意識を持って受講すること。各回のテーマについて基礎知識・情報を事前に予習を行ない、また、講義後には聴講した内容について毎回、自ら出来る範囲で調べ理解を深めるよう復習を行うこと。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデユーサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて、水曜日3限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	ゼミナール運営に関するルール及び諸注意の説明	井上

第２回	研究課題の再確認	井上
第３回	研究内容の分析	井上
第４回	資料収集	井上
第５回	資料分析	井上
第６回	ゼミ生同士の討論	井上
第７回	研究内容の打ち合わせ	井上
第８回	中間まとめ	井上
第９回	研究発表準備	井上
第１０回	中間発表	井上
第１１回	結果の再考察	井上
第１２回	研究作成	井上
第１３回	研究発表準備	井上
第１４回	研究発表	井上
第１５回	総括	井上
第１６回	単位認定試験	井上

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習B			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-313		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は、「自主制作」をテーマとし、アニメーションなどを中心に制作研究を行うことで、基礎的な能力を身につけ、作品を自分の表現として制作できるようになる。選択肢として3DCGやクレイアニメなども視野に入れながら制作を行う。具体的な技法として手描きを中心に進めるが、ペンタブレットによる描画も選択肢に入れる。必要な知識と技術を修得し、同時に自主制作のための資料収集を行い、実験的な自主制作作品の制作を到達目標とする。
授業概要	卒業制作までの今後の制作計画を立て、必要な技術を身につけることが大変重要になる。自分にあった技法を探すために様々な技法に挑戦し、コンピューターのソフトの使用方法を含めた自主制作の能力を身につける。各自が自主的に学習して制作した内容を持ち寄って討論する形で学習を進める。手描きの能力を高めながら実写合成などの技法にも幅を持って取り組む。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、アニメーション文化研究に基づいて表現できる能力を身につけることを目的としていることから、研究態度（30%）、研究内容（30%）、単位認定試験　（40%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	卒業研究につながる演習であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。自分の研究ノートを作成し、計画表とあわせて、アニメーションに関する学習が積み上げられるように準備することが重要である。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、彫刻家、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アニメーションに関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。 美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、年間計画	前嶋英輝
第２回	研究概要、企画、イメージボード	前嶋英輝
第３回	絵コンテ作成・・・プロット提示	前嶋英輝
第４回	絵コンテ作成・・・プロット編集	前嶋英輝
第５回	キャラクター設定、原画作成	前嶋英輝
第６回	中間発表（企画修正と資料確認）	前嶋英輝
第７回	制作管理確認（配布資料）	前嶋英輝
第８回	制作ステップ確認と作画	前嶋英輝
第９回	制作ステップ確認と動画チェック	前嶋英輝
第１０回	中間発表準備	前嶋英輝
第１１回	中間発表（進行確認と討論）	前嶋英輝
第１２回	中間発表を受けての全体的修正	前嶋英輝

第１３回	制作ステップ確認と編集	前嶋英輝	
第１４回	制作ステップ確認と仕上げ	前嶋英輝	
第１５回	最終確認と研究発表準備	前嶋英輝	
第１６回	作品提出	前嶋英輝	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢN2	
参考書			
参・書籍名１	After Effects for アニメーション	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ新社
参・著者名１	大平幸輝	参・ＩＳＢＮ１	978-4-86100-699-9
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢN2	

授業科目名	実践演習B			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-313		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	△	ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	○	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	情報倫理学の基本的な考え方を広く習得することがテーマである。 情報倫理学分野に関する知識を習得するとともに、論理的・合理的に思考できる基礎的能力を涵養する。 到達目標は、下記のことができるようになることである。 １）情報倫理学の基本的なテーマにどのようなものがあるか理解できる。 ２）情報倫理学の基本的なテーマについてどのような倫理的論点があるか理解できる。 ３）身の回りの問題に引き付けて、情報倫理学の基本的論点について考察できるようになる。 ただし、受講者の関心により変更することがある。
授業概要	Himma and Tavani(2008)The Handbook of Information and Computer Ethics, Wileyの章立てにしたがって、情報倫理学の基本的なテーマを解説し、その倫理的論点を考察する。英語の読解力があることが望ましいが、毎回簡単なレジュメを配布するので、とくに高度な読解力は必要としない。レジュメの概説後、教員と参加者で倫理的論点について議論を行い、理由・根拠を持った考察を行えるように訓練する。学期最後に、今学期紹介した基本的テーマ・倫理的論点のなかから興味のあるものを選び、2000文字程度のレポートを作成する。 ただし、受講者の関心により変更することがある。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	演習課題（発表等）への取り組み（受講態度）を30%、演習内における自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、講義内容にかかわる教員からの質問への回答を20%の重みづけで評価する。また、課題等の提出物20%、レポートの成績を30%として最終的に総合評価を行う。これらの4つの評価をバランスよく得ていることを単位認定（到達目標）の判断基準とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業課題（提出レポート）に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	遅刻・欠席の際には事前連絡をすること。発表・討論に積極的に取り組まないと演習は成立しません。 授業計画の内容は、理解度の状況に応じて変更になることがあります。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：教科書・配布資料の指定する箇所を事前に読んでくること。また、論文作成のための準備のため、実際に論文の一部等を書いてもらいます。約2時間。 復習：演習で学んだことをもとに、実際に論文の一部を書いてみる、文献などの調査を行うなどの実践的な活動を要します。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 春学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

授業計画		担当者
第１回	イントロダクション	大谷
第２回	インターネット上の情報に対する責任	大谷
第３回	バーチャルリアリティとコンピュータシミュレーション	大谷
第４回	遺伝情報：認識論的問題と倫理的問題	大谷
第５回	サイバー紛争の倫理	大谷
第６回	倫理的リスク評価の実践的メカニズム	大谷

第７回	インターネットの規制とガバナンス	大谷
第８回	情報過負荷	大谷
第９回	迷惑メール（スパムメール）	大谷
第１０回	剽窃の問題	大谷
第１１回	知的財産権：オンラインファイル共有の法的・道徳的挑戦	検閲と表現へのアクセス
第１２回	大谷	コンピュータ倫理のジェンダー問題
第１３回	デジタルデバイド	大谷
第１４回	間文化的情報倫理	大谷
第１５回	まとめ	大谷
第１６回	レポート試験	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	改訂新版　情報倫理入門	参・出版社名１	アイケイコーポレーション
参・著者名１	土屋俊監修、大谷卓史編著、江口聡、喜多千草、永崎研宣、村上祐子、坪井雅史、川口嘉奈子、吉永敦征、川口由起子著	参・ＩＳＢＮ１	4874923240
参・書籍名２	AIの倫理学	参・出版社名2	丸善出版
参・著者名2	クーケルバーグ著、直江清隆訳者代表	参・ＩＳＢＮ2	978-4621305881

授業科目名	実践演習B			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-313		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	○	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は「自らの表現スタイルを確立する」ことをテーマとする。 自分の研究テーマを設定し、これまでに学修したことを総合して研究をまとめる。 作品制作による研究を行う場合は、技法やスタイルだけでなく主題構造を構築し、 十分に深めながら表現できる能力を身につける。 論文による研究を行う場合は、関心のあるテーマを選択し、先行研究を十分行った上で 明確な結論を引き出す能力を身につけることができる。 学生は、専門知識を確実におさえ、様々なジャンルやメディアに広く関心を持ち続けることで、 個性を生かした作品を完成できる。
授業概要	卒業研究を視野に、様々な表現について研究し、そこから選択した手法に基づき作品を制作する。 作品は可能な限り多数制作しポートフォリオの充実を目指す。 手法についてはアニメーションや立体物を含む広範な表現形式から選択する。 毎週の進捗状況に合わせて、プレゼンテーションを含む全体討議による発表を行い、 年間の制作進行表を作ってそのタイムスケジュールにそって自己管理しながら作品制作を進める。 この授業は、アニメーター、デザイナーとしてキャラクター、アニメ、イラストレーション等の ビジュアルデザイン制作を行った実務経験のある教員が担当する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、作家的主題の確立と、自らの世界観に基づいて表現できる能力を身につける ことを目的としていることから、研究態度（10%）、課題作品（40%）、単位認定作品（50%） の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。 ポートフォリオや作品などの課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら 指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	各回講評を行い作品ごとにフィードバックを行う。
履修条件・注意事項	１）卒業研究につながる演習であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。２）共同研究を行う場合、分担が明確に示せることを条件とする。３）基本的なソフトウェアの操作に習熟できていることを条件とする。
実務経験のある教員	該当する　内容　1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、美術学校での講師経験のある教員が15回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アート表現に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について 予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	佐々木研究室（1267）で火曜日2限にオフィスアワーを設けている。 Teams上で随時質問相談を受け付けている。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション	佐々木洋

第２回	ポートフォリオ要件定義	佐々木洋
第３回	就職と作品	佐々木洋
第４回	ポートフォリオ作成計画	佐々木洋
第５回	素材の仮配置	佐々木洋
第６回	不足技法リストアップ	佐々木洋
第７回	不足技法対策	佐々木洋
第８回	進捗確認と討議	佐々木洋
第９回	中間発表	佐々木洋
第１０回	分析と批評	佐々木洋
第１１回	フェルミ推定	佐々木洋
第１２回	作家性の自己確認	佐々木洋
第１３回	立ち位置を考える	佐々木洋
第１４回	最終確認と研究発表準備	佐々木洋
第１５回	単位認定作品講評	佐々木洋
第１６回		

教科書			
教・書籍名１	配布資料　適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習B	担当者	平見　勇雄
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-313

必修・選択	選択	単位数	2単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	留学生も多いことから日本の歴史を知る意味でも日本の古典をまんがで読んでいきます。テーマは日本の文化を漫画を通して知り理解につなげることです。到達目標は日本の文化を深く理解していくことです。学生はこの講義を受けることで、単に有名な名前の物語の表面的なことだけでなく、日本人ももしかしたら知らないかもしれない物語を知ることができるようになります。
授業概要	以下、漫画となっている日本の古典を漫画で呼んでいきます。とは言っても、すべてを知ることはできないので、それぞれのハイライトを取り上げてプリントを配布します。おそらく背景となる日本の歴史も若干学びながらの授業になります。時に、学生に発表してもらい、自分の国にも同じような物語があるのかどうか、他の学生にも教えてもらいます。物語をたくさん知ることで自分の中の引き出しが増え、創作の際のヒントがたくさんあると思います。
アクティブラーニングの内容	グループワーク
評価方法と割合	どの程度毎週真剣に与えられた課題を読んでくるかで評価します。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	その都度、簡単なまとめを出してもらいます。授業での発表も評価の対象となります。
履修条件・注意事項	毎週課題を読んでこなければ意味がありません。予習は必修です。わかる範囲で読んできて下さい。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	日本語の勉強にも、歴史の勉強にもなります。それぞれの本の、おおまかな概要を知ろうと努力して下さい。有名なものばかりです。まずは予習に２時間程度、ネットで構いませんからどのような内容なのかを把握して下さい。授業でおよその内容、また最も有名なところ、大切なところを指摘しますから、それを復習として再度詳しく読んでまとめて下さい。およそ２時間程度の復習が求められます。
オフィスアワー	水曜日の３限です。都合の悪い人は知らせて下さい。場所は２号館６Ｆです。

	授業計画	担当者
第１回	信長公記	平見勇雄
第２回	三河物語	平見勇雄
第３回	好色五人女	平見勇雄
第４回	奥の細道	平見勇雄
第５回	葉穏	平見勇雄
第６回	心中天網島	平見勇雄
第７回	雨月物語	平見勇雄
第８回	東海道中膝栗毛	平見勇雄
第９回	浮世床	平見勇雄
第１０回	春色梅児誉美	平見勇雄
第１１回	怪談	平見勇雄
第１２回	春学期、秋学期のまとめ１	平見勇雄
第１３回	春学期　秋学期のまとめ２	平見勇雄
第１４回	春学期　秋学期のまとめ３	平見勇雄
第１５回	特に後期のまとめ	平見勇雄
第１６回	レポート試験	平見勇雄

教科書

教・書籍名１	日本の古典	教・出版社名１	
教・著者名１	有名漫画家およそ３０人合作	教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習B	担当者	山本　敦之
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年	ナンバリング	AN-AN-3-313

必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	映画技法の確立期から現代にいたるまでの重要な映像作家の作品群を総覧することが主題である。当然、単にストーリーを追うだけの素人的見方ではなく、制作者の立場を想像しながら、作品を分析する。これにより学生は、膨大な名作群を自分の映像制作に動員できるようになる(暗示引用なども含む)。
授業概要	近代に生まれた映画という媒体によって膨大な数の作品が作られてきたが、これらの作品群から重要な作品を選び出してこれを鑑賞し、解説する。youtubeを駆使することで、かつては見ることが困難だった多くの作品を見ることになる。またこれらの作品群についての研究も膨大なものがあり、これらの中から精選していくつかのものを紹介する。学生はこれらの学習を通じて、映像作品をこれまでになく分析的に見ることができるようになる。また折にふれて与えられた課題について指名された学生は発表をおこない、ほかの学生はこれに対して論評を求められる。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	課題発表(50%)、試験(50%)
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題については次回授業で講評によりフィードバックする。
履修条件・注意事項	毎回プリントを配布するので、ファイルブックを用意しておくこと。また予告された映画をyoutubeで聴取すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	D.W.グリフィスと映画文法	山本
第２回	エイゼンシュタイン	山本
第３回	ドイツ表現主義映画	山本
第４回	ジョン・フォード	山本
第５回	ハワード・ホークス	山本
第６回	ヒチコック	山本
第７回	オーソン・ウェルズ	山本

第８回	黒澤明	山本
第９回	小津安二郎	山本
第１０回	溝口健二	山本
第１１回	成瀬己喜男	山本
第１２回	フィルム・ノワール	山本
第１３回	ヌーヴェルヴァーグ	山本
第１４回	キューブリック	山本
第１５回	タルコフスキー	山本
第１６回	定期試験	山本

教科書			
教・書籍名１	配布資料	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	実践演習B			担当者	今村　俊介		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 3年			ナンバリング	AN-AN-3-313		
必修・選択	必修	単位数	2単位	時間数	30	授業形態	講義と演習
年次	3年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、4年次卒業研究に向けて、映像作品企画を実現するため、一連の様々なプロセスである、予算の立て方、事業計画、制作、広報等を調査研究を行うことで、基礎的な能力を身につけ、作品を自分の表現として制作できるようになる応用技法を身につけることができる。 アニメーション制作におけるデジタル技術の理解とソフトウェア活用によるの画像作成および画像処理の応用スキルを身につけ、効果的な作品作成を行うための実践的な知識と技法を修得できる。また、必要に応じて代表的な3DCGソフトウェアの応用概念を学び、卒業研究に向けて3DCG作品作成過程の導入とすることができる。 本講義のラーニングアウトカムズは「画像処理におけるコンピュータリテラシー」と「課題理解能力」である。
授業概要	アニメーション制作のデジタル化、3DCGソフトウェアの技法、立体的なキャラクターデザインの具体的な造形ポイントと動きのプログラムパターン作成などについて学習する。 講義の内容に対応してパソコンを使用して適宜演習を行う。 講義の最終回に全体のまとめを行い、課題作成試験を行う。
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30%、課題等の提出物30%、試験40%、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題の進捗に応じてチェックとフォローアップを行う。最終成果物についてコメントを付記する。
履修条件・注意事項	卒業研究に向けての土台を確定する段階なので、制作課題の方向性を確定すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	提出した自分の研究計画を進捗に応じて修正し、修正した計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アニメーション制作に関する書籍やネットの情報を参照し、研究課題のテーマに沿って予習復習をおこなう。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて火曜4限に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	今村
第２回	3年次秋期の研究課題の方向性確認	今村
第３回	3年次秋期の研究課題作成の必要条件設定	今村
第４回	3年次秋期の課題制作スケジュール設定	今村
第５回	3年次秋期の課題制作開始（1）	今村
第６回	3年次秋期の課題制作開始（2）	今村
第７回	3年次秋期の課題制作開始（3）	今村
第８回	3年次秋期の課題制作中間確認	今村
第９回	3年次秋期の課題制作中間確認参考資料提示	今村
第１０回	3年次秋期の課題制作中間確認による修正(1)	今村
第１１回	3年次秋期の課題制作中間確認による修正(2)	今村
第１２回	3年次秋期の課題制作中間確認による修正(3)	今村
第１３回	3年次秋期の課題制作中間確認による修正チェック(1)	今村
第１４回	3年次秋期の課題制作中間確認による修正チェック(2)	今村

第１５回	3年次秋期の課題制作中間確認による修正チェック(3)と秋期工程のまとめ	今村	
第１６回	秋期制作課題試験	今村	
教科書			
教・書籍名１	各自の政策課題に応じて必要資料をPDFで配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究A			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 4年			ナンバリング	AN-AN-4-314		
必修・選択	必修	単位数	4単位	時間数	60	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、これまでに学んだすべての知識と技術を基に、学部学修の総仕上げとして卒業研究を完成させる。 シナリオを含む作品制作による研究を行う場合は、自らテーマを選択し十分にそれを考察した上で、様々な技法を活用し表現できる能力を身につける。 論文による研究を行う場合は、関心のあるテーマを選択し、先行研究を十分に調査した上で自身の明確な結論を引き出す能力を身につける。 専門知識を確実におさえ、様々なジャンルやメディアに広く関心を持ち続けることで、アニメーションを表現として捉え、作品を文化として考えながら研究を完成させることを、学生の到達目標とする。
授業概要	卒業論文（制作も含む）では、それぞれがテーマを見つけ、資料収集を行い、シナリオ制作や絵コンテと作業を進めることになる。自らのオリジナル作品の映像化を目指す場合は、ゼミ担当者だけでなく、実技の教員とも相談しながら実施する必要がある。毎週進捗状況を合同で確認すると共に、プレゼンテーションを含む発表会を随時行う。年間の制作・研究進行表を作り、そのタイムスケジュールにそって自己管理しながら授業内容を進める。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	この科目では、アニメーション文化研究に基づいて表現できる能力を身につけることを目的としていることから、研究態度（30%）、研究内容（50%）、プレゼンテーション（20%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	１）卒業論文（制作）であるから、すべての作業は基本的には個人で行うものとし、各自授業での発表のために毎日予習復習を行うことが必要である。２）共同研究（制作）を行う場合、各人の分担が明確に示せることを条件とする。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	卒業研究は決まった授業時間の中だけでは、到底完成出来るものではない。教員と相談しながら、とにかくひたすら時間を掛けながら作業を進めるしかない。授業前の予習としては、教員に作業の進捗状況を簡潔に報告できるように準備しておくこと。復習としては、教員との対話の中で得たものをどのように作業の中で実現するかを熟慮すること。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜２限目と火曜２限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	研究倫理に基づく責任ある研究活動について	清水光二
第２回	オリエンテーション	清水光二
第３回	研究目的・概要の発表	清水光二
第４回	研究目的・概要の発表	清水光二
第５回	企画・構成	清水光二
第６回	企画・構成	清水光二
第７回	企画・構成の修正	清水光二
第８回	企画・構成の修正	清水光二
第９回	シナリオハンティング・資料収集	清水光二
第１０回	シナリオハンティング・資料収集	清水光二

第１１回	中間発表①（企画修正と資料確認）	清水光二
第１２回	中間発表①（企画修正と資料確認）	清水光二
第１３回	制作・作成工程の確認	清水光二
第１４回	制作・作成工程の確認	清水光二
第１５回	シナリオ提出、論文企画案の提出	清水光二
第１６回	シナリオ提出、論文企画案の提出	清水光二
第１７回	制作工程の確認と修正	清水光二
第１８回	制作工程の確認と修正	清水光二
第１９回	中間発表準備、論文作成開始	清水光二
第２０回	中間発表準備、論文作成開始	清水光二
第２１回	中間発表②（進行確認と討論）	清水光二
第２２回	中間発表②（進行確認と討論）	清水光二
第２３回	ロケハン、論文推敲	清水光二
第２４回	ロケハン、論文推敲	清水光二
第２５回	撮影	清水光二
第２６回	撮影	清水光二
第２７回	編集、録音	清水光二
第２８回	編集、録音	清水光二
第２９回	研究発表準備	清水光二
第３０回	研究発表準備	清水光二
第３１回	研究発表	清水光二
第３２回	研究発表	清水光二

教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜プリントを配布）。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	アニメ・シナリオライターへの道!	参・出版社名１	リットーミュージック
参・著者名１	藤田 伸三	参・ＩＳＢＮ１	484563287X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究A			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 4年			ナンバリング	AN-AN-4-314		
必修・選択	必修	単位数	4単位	時間数	60	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	卒業研究テーマを設定し、学生が学問的な基本的概念を正しく使ったうえで、先行文献やデータに依拠し、説得力があり、かつ論理的な議論構成の卒業論文を完成させることを到達目標とする。 卒業論文を作成する事により １．学問的な基本的概念を正しく理解し、使用できるようになる。 ２．先行文献やデータに依拠し、正しく参照・引用できるようになる。 ３．説得力があり、かつ論理的な議論構成の文章を書けるようになる。 以上を習得する事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての実務経験元に、アニメーションを中心にコンテンツ全体から卒業研究テーマを決定し、資料・データの収集・分析、構成、執筆まで総合的に指導する。教員との対話を通じて、学問的な基本概念や先行文献の調査法、論文の議論構成の仕方を理解するとともに、実際に自分自身でその理解に基づいて作業を行なっていく。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	受講態度（20%）と課題提出状況（20%)、卒業論文（60%）で評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	授業時間内だけで卒業論文を作成することは不可能である。授業で学習したこと，体験したこと，指摘されたことなどをもとに，各準備とペース配分が必要である。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて水曜日３限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス及び研究論理に基づく責任ある研究活動	井上

第２回	テーマの検討（研究目的から）	井上
第３回	テーマの検討（研究内容から）	井上
第４回	テーマの検討（研究方法から）	井上
第５回	グループ討議　テーマ相互評価	井上
第６回	先行研究１　資料の検索・収集１論文	井上
第７回	先行研究２　資料の検索・収集２文献	井上
第８回	先行研究３　資料の検索・収集３新聞雑誌他	井上
第９回	個別指導１　資料の整理	井上
第１０回	個別指導２　資料の分析と考察	井上
第１１回	グループ討議　これまでの取り組み意見交換	井上
第１２回	個別指導３　研究の方向性検討	井上
第１３回	個別指導４　研究の方法検討	井上
第１４回	グループ討議　相互評価	井上
第１５回	中間まとめ確認	井上
第１６回	中間まとめ提出	井上
第１７回	論文作成計画１　論文の形式	井上
第１８回	論文作成計画２　目的	井上
第１９回	論文作成計画３　アウトライン	井上
第２０回	グループ討議　進行経過発表	井上
第２１回	グループ討議　論文概要決定	井上
第２２回	個別指導５　論文執筆	井上
第２３回	個別指導６　論文執筆	井上
第２４回	論文執筆	井上
第２５回	個別指導７　論文執筆	井上
第２６回	個別指導８　論文執筆	井上
第２７回	中間発表	井上
第２８回	個別指導９　論文推敲	井上
第２９回	個別指導１０　論文推敲	井上
第３０回	プレゼンテーション検討	井上
第３１回	プレゼンテーション確認	井上
第３２回	論文発表・提出	井上

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究A			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 4年			ナンバリング	AN-AN-4-314		
必修・選択	必修	単位数	4単位	時間数	60	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は、「アニメーションを自主制作できるようになる」ことをテーマとする。自分の研究テーマを設定し、これまでに学修したことを総合して研究をまとめることができる。作品制作による研究を行う場合は、技法やスタイルだけでなく自分が関心を持っているものでテーマを選択し、十分に深めながら表現できる能力を身につける。論文による研究を行う場合は、関心のあるテーマを選択し、先行研究を十分行った上で明確な結論を引き出す能力を身につける。 学生は、専門知識を確実におさえ、様々なジャンルやメディアに広く関心を持ち続けることで、アニメーションを表現として捉え、作品を文化として考えながら研究を完成させることを到達目標とする。
授業概要	基本的には、イラストやアニメーション作品を制作する。表現手法については実写合成などの選択も考える。研究テーマを確認し、資料収集や絵コンテを確認した上で、できるかぎり全体イメージが提示できるところまで研究を進める。毎週の進捗状況に合わせて、プレゼンテーションを含む全体討議による発表を行い、年間の制作進行表を作ってそのタイムスケジュールにそって自己管理しながら授業内容を進める。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、アニメーション文化研究に基づいて表現できる能力を身につけることを目的としていることから、研究課題（40%）、単位認定試験　（60%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	１）卒業研究であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。２）共同研究を行う場合、分担が明確に示せることを条件とする。３）アニメーション演習等の学修を十分できていることを条件とする。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、彫刻家、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アニメーションに関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。 美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、年間計画	前嶋英輝
第２回	研究計画の立案	前嶋英輝
第３回	研究概要、企画、イメージボード	前嶋英輝
第４回	イメージボードの制作	前嶋英輝
第５回	絵コンテ作成・プロット提示	前嶋英輝
第６回	絵コンテの制作とPCへの保存	前嶋英輝
第７回	絵コンテ作成・・・プロット確認	前嶋英輝
第８回	演出コンテとVコンテの制作	前嶋英輝
第９回	キャラクター設定、原画作成	前嶋英輝

第１０回	原画の色彩設定	前嶋英輝
第１１回	中間発表（企画修正と資料確認）	前嶋英輝
第１２回	絵コンテ、キャラ表の確認	前嶋英輝
第１３回	制作管理確認（配布資料）	前嶋英輝
第１４回	香盤表の確認	前嶋英輝
第１５回	制作ステップ確認と作画	前嶋英輝
第１６回	原画チェック	前嶋英輝
第１７回	制作ステップ確認と動画チェック	前嶋英輝
第１８回	中割り動画	前嶋英輝
第１９回	中間発表準備	前嶋英輝
第２０回	プレゼンテーション作成	前嶋英輝
第２１回	中間発表（進行確認と討論）	前嶋英輝
第２２回	作品構想と演出のチェック	前嶋英輝
第２３回	中間発表を受けての全体的修正	前嶋英輝
第２４回	制作ステップ確認と編集	前嶋英輝
第２５回	動画チェック	前嶋英輝
第２６回	制作ステップ確認と仕上げ	前嶋英輝
第２７回	色彩設計と仕上げ	前嶋英輝
第２８回	最終確認と研究発表準備	前嶋英輝
第２９回	エフェクトと編集	前嶋英輝
第３０回	エフェクトと編集	前嶋英輝
第３１回	作品提出	前嶋英輝
第３２回	作品鑑賞と討論	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	After Effects for アニメーション　EXPERT	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ新社
参・著者名１	大平幸輝	参・ＩＳＢＮ１	978-4-86100-845-0
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究A			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 4年			ナンバリング	AN-AN-4-314		
必修・選択	必修	単位数	4単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	各自の関心に沿った卒業論文を仕上げる。学問的な基本的概念を正しく使ったうえで、先行文献やデータに依拠し、説得力があり、かつ論理的な議論構成の卒業論文を完成させることを目指す。　とくに、下記の3つのことができるようになることを到達目標とする。 １．学問的な基本的概念を正しく理解し、使用できるようになる。 ２．先行文献やデータに依拠し、正しく参照・引用できるようになる。 ３．説得力があり、かつ論理的な議論構成の文章を書けるようになる。
授業概要	卒業論文の執筆指導を行う。テーマ設定、資料・データの収集・分析、構成、執筆まで総合的に指導する。教員との対話を通じて、学問的な基本概念や先行文献の調査法、論文の議論構成の仕方を理解するとともに、実際に自分自身でその理解に基づいて作業を行なっていく。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	卒業論文の準備・作成の積極的取り組みや、準備・作成にかかわる自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、執筆中の論文に関する教員からの質問に対する回答を40%の重みづけで評価する（受講態度）、卒業論文の成績を60％として最終的に総合評価を行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業課題に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	まとまった分量の文章を書くためには、準備とペース配分が必要です。最後になってあわてないようしっかりと準備し、ペースを守って作業を進めましょう。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：教科書・配布資料の指定する箇所を事前に読んでくること。また、論文作成のための準備のため、実際に論文の一部等を書いてもらいます。約2時間。 復習：演習で学んだことをもとに、実際に論文の一部を書いてみる、文献などの調査を行うなどの実践的な活動を要します。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

	授業計画	担当者
第１回	卒業論文テーマ検討	大谷
第２回	卒業論文テーマ検討	大谷
第３回	研究倫理について	大谷
第４回	研究倫理について	大谷
第５回	卒業論文調査・執筆計画作成	大谷
第６回	卒業論文調査・執筆	大谷
第７回	計画作成先行文献調査（１）　百科事典等参考書	大谷
第８回	計画作成先行文献調査（１）　百科事典等参考書	大谷
第９回	先行文献調査（２）　二次文献	大谷
第１０回	先行文献調査（２）　二次文献	大谷
第１１回	先行文献調査（３）　一次文献	大谷

第１２回	先行文献調査（３）　一次文献	大谷
第１３回	調査計画詳細作成	大谷
第１４回	調査計画詳細作成	大谷
第１５回	文献・聞き取り調査等（１）　調査準備	大谷
第１６回	文献・聞き取り調査等（１）　調査準備	大谷
第１７回	文献・聞き取り調査等（２）　調査実施	大谷
第１８回	文献・聞き取り調査等（２）　調査実施	大谷
第１９回	文献・聞き取り調査等（３）　調査報告	大谷
第２０回	文献・聞き取り調査等（３）　調査報告	大谷
第２１回	文献・聞き取り調査等（４）　調査再実施	大谷
第２２回	文献・聞き取り調査等（４）　調査再実施	大谷
第２３回	聞き取り調査等（５）　調査再報告	大谷
第２４回	聞き取り調査等（５）　調査再報告	大谷
第２５回	卒論全体構成検討	大谷
第２６回	卒論全体構成検討	大谷
第２７回	中間発表準備　スライド作成・練習	大谷
第２８回	中間発表準備　スライド作成・練習	大谷
第２９回	まとめ	大谷
第３０回	まとめ	大谷
第３１回	第一次中間発表	大谷
第３２回	第一次中間発表	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１	デジタルゲーム研究入門	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	小林信重	参・ＩＳＢＮ１	978-4623086924
参・書籍名２	マンガ・アニメで論文・レポートを書く	参・出版社名2	ミネルヴァ書房
参・著者名2	山田奨治	参・ＩＳＢＮ2	978-4623079421

授業科目名	卒業研究A			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 4年			ナンバリング	AN-AN-4-314		
必修・選択	必修	単位数	4単位	時間数	60	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は「自らの表現スタイルを確立する」ことをテーマとする。 自分の研究テーマを設定し、これまでに学修したことを総合して研究をまとめる。 作品制作による研究を行う場合は、技法やスタイルだけでなく主題構造を構築し、 十分に深めながら表現できる能力を身につける。 論文による研究を行う場合は、関心のあるテーマを選択し、先行研究を十分行った上で 明確な結論を引き出す能力を身につけることができる。 学生は、専門知識を確実におさえ、様々なジャンルやメディアに広く関心を持ち続けることで、 作品を文化として考えながら研究を完成できる。
授業概要	卒業制作の制作計画を立て、様々な表現について研究し、そこから選択した手法に基づき作品を制作する。作品は可能な限り多数制作しポートフォリオの充実も目指す。 手法についてはアニメーションや立体物を含む広範な表現形式から選択する。 毎週の進捗状況に合わせて、プレゼンテーションを含む全体討議による発表を行い、 年間の制作進行表を作ってそのタイムスケジュールにそって自己管理しながら授業内容を進める。 この授業は、アニメーター、デザイナーとしてキャラクター、アニメ、イラストレーション等の ビジュアルデザイン制作を行った実務経験のある教員が担当する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、作家的主題の確立と、自らの世界観に基づいて表現できる能力を身につける ことを目的としていることから、研究態度（10%）、研究内容（20%）、単位認定作品（70%） の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。 ポートフォリオや作品などの課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら 指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題はオリエンテーション時に個別に提示され、 講評時間を設け各個に解説する。
履修条件・注意事項	１）卒業研究であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。 ２）共同研究を行う場合、分担が明確に示せることを条件とする。 ３）基本的なソフトウェアの操作に習熟できていることを条件とする。
実務経験のある教員	該当する　内容　1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、美術学校での講師経験のある教員が32回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アート表現に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について 予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	水曜5限 （2号館 267研究室）をオフィスアワーとする。 またTeams上での質問は随時受け付けている。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション 制作内容検討	佐々木　洋

第２回	制作内容決定	佐々木　洋
第３回	ポートフォリオ要件定義	佐々木　洋
第４回	ポートフォリオ作成計画	佐々木　洋
第５回	就職と作品 デッサンを考える	佐々木　洋
第６回	不足技法リストアップ-1 描いてこなかったモチーフ	佐々木　洋
第７回	不足技法リストアップ-2 描きたくないモチーフ	佐々木　洋
第８回	技法補強-1 空間について	佐々木　洋
第９回	不足技法対策-2 アニメーションについて	佐々木　洋
第１０回	不足技法対策-2 アニメーションについて	佐々木　洋
第１１回	技法補強-4 レイアウトと主題	佐々木　洋
第１２回	技法補強-5 レイアウトと作劇	佐々木　洋
第１３回	進捗確認と討議	佐々木　洋
第１４回	基本技術の確認-1 遠近法	佐々木　洋
第１５回	基本技術の確認-2 人体構造	佐々木　洋
第１６回	基本技術の確認-3 平面構成	佐々木　洋
第１７回	中間発表/講評	佐々木　洋
第１８回	就職と作品-2 クロッキー	佐々木　洋
第１９回	分析と批評-1 古典との対峙	佐々木　洋
第２０回	分析と批評-3 名作を改修する-1 改修点設定	佐々木　洋
第２１回	分析と批評-4 名作を改修する-2 改修プラン	佐々木　洋
第２２回	分析と批評-4 名作を改修する-3 改修-ラフ	佐々木　洋
第２３回	分析と批評-5 名作を改修する-3 実作作業	佐々木　洋
第２４回	作家性の自己確認 受け手に帰属する	佐々木　洋
第２５回	作家性の自己確認 時代に帰属する	佐々木　洋
第２６回	作家性の自己確認 生活への帰属	佐々木　洋
第２７回	クリーターの暮らし	佐々木　洋
第２８回	趣味としてのアート	佐々木　洋
第２９回	ポートフォリオ質疑 作品制作質疑	佐々木　洋
第３０回	制作状況確認	佐々木　洋

第３１回	専門職を選ぶ 様々なアートの分野	佐々木　洋	
第３２回	最終確認と研究発表準備	佐々木　洋	
教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究A			担当者	平見　勇雄		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 4年			ナンバリング	AN-AN-4-314		
必修・選択	選択	単位数	4単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	応用演習、実践演習でやってきたことをもとに、各自それぞれの題材で卒業制作に向かって指導、および中間発表をそれぞれ行ってもらいます。テーマは学生によって違っていますが、最終的に卒業制作を発表できることが到達目標です。学生は締め切り間近になって慌てることなく、誰に対しても恥ずかしくないような内容にするため、４月には卒業までに何をやるのか、その計画書を作ってもらいます。
授業概要	４月の最初の授業で、自分の希望を全員に語ってもらいます。そして月ごとの年間目標を作ってもらい、最後の週にそれぞれ発表してもらいます。このゼミではシナリオや論文を卒業制作の目標にしていますから、プレゼンが、文章を作ってもらっての発表ということになります。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	どのくらい真面目に日頃から取り組んでいるか、そして最後に提出してもらう作品が評価となります。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	中間発表を月ごとに行いますが、その際の指導がフィードバックになります。
履修条件・注意事項	休まずに年間通して少しずつやることです。短期間に集中してやるのではなく、ある程度の余裕を持って制作に取り組むことが必要です。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	基本的にゼミは発表の場でしかありません。その授業のときに自宅でやってくることが何よりも大切です。自分でしっかりと目標をぶれることなく取り組んで下さい。予習、復習にそれぞれ２時間程度は確保してください。
オフィスアワー	水曜日の３限、２号館６Ｆの研究室です。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　一年間の予定の確認	平見勇雄
第２回	今月の目標の発表	平見勇雄
第３回	各自がやることの発表　一人目	平見勇雄
第４回	二人目の学生の発表	平見勇雄
第５回	三人目の学生の発表	平見勇雄
第６回	学生たちとのディスカッション	平見勇雄
第７回	第二回目の中間報告　一人目	平見勇雄
第８回	卒業制作にヒントになるもの（題材を膨らませる工夫）	平見勇雄
第９回	第二回目の中間報告　二人目	平見勇雄
第１０回	題材を膨らませることができるもの	平見勇雄
第１１回	第三人目の中間発表	平見勇雄
第１２回	題材を膨らませるもの	平見勇雄
第１３回	前期の総復習１	平見勇雄
第１４回	前期の総復習２	平見勇雄
第１５回	前期の総復習３	平見勇雄
第１６回	卒業制作の総まとめ	平見勇雄
第１７回	秋学期のオリエンテーション	平見勇雄
第１８回	夏休みの卒業制作の発表１	平見勇雄
第１９回	夏休みの卒業制作の発表２	平見勇雄
第２０回	夏休みの卒業制作の発表３	平見勇雄

第２１回	卒業制作の仕上げ１		平見勇雄
第２２回	卒業制作の仕上げ２		平見勇雄
第２３回	卒業制作の仕上げ３		平見勇雄
第２４回	先生方に見てもらう発表会		平見勇雄
第２５回	卒業制作の直しの検討会１		平見勇雄
第２６回	卒業制作の直しの検討会２		平見勇雄
第２７回	卒業制作の直しの発表３		平見勇雄
第２８回	最終段階の発表会		平見勇雄
第２９回	卒業制作の評価１		平見勇雄
第３０回	卒業制作の評価２		平見勇雄
第３１回	卒業制作の発表３		平見勇雄
第３２回	提出と評価		平見勇雄
教科書			
教・書籍名１	その都度参考文献を申し上げます。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究A			担当者	山本　敦之		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 4年			ナンバリング	AN-AN-4-314		
必修・選択	必修	単位数	4単位	時間数	60	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	レトリックの教科書と映画表現の教科書を交叉して読むことを軸に、学生の発表、議論、教員による講評によって演習を行なう。言語表現の型と映像表現の型を学んだ上で比較対照をおこない、それらの共通性や独自性への理解を深める。その上で学生は、アニメなどの具体的な作品分析をおこない、それを発表してもらう。このような発表を繰りかえし、その蓄積の上で学生自らが選んだテーマで卒業論文を完成させることを目標とする。
授業概要	隠喩や換喩や提喩といった言葉のあや、空間の演出、画面構成、形状による暗示、編集テクニック、時間の操作、音響効果、場面転換、カメラレンズ、カメラの位置、カメラの移動、照明技法、色の効能などの映像表現のさまざまな技法を交叉して学ぶ。その上で学生自らが選択した作品の分析を行なってもらう。アニメ文化研究で学生の設定したテーマを、複数の作品の分析を通じて論じ、論文を作成する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	論文(100%)。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題については講評によりフィードバックする
履修条件・注意事項	卒論完成までの中間段階で、与えられた課題のみならず、自らの関心に従って文献や映像資料を調べ、発表を行なう。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	研究倫理に基づく責任ある研究活動	山本
第２回	隠喩と映像	山本
第３回	換喩	山本
第４回	換喩と映像	山本
第５回	提喩	山本
第６回	提喩と映像	山本
第７回	誇張法	山本
第８回	誇張法と映像	山本
第９回	列叙法	山本
第１０回	列叙法と映像	山本
第１１回	緩叙法	山本
第１２回	緩叙法と映像	山本
第１３回	黙説あるいは中断	山本
第１４回	黙説あるいは中断と映像、未決とサスペンス	山本
第１５回	ためらい	山本

第１６回	転喩	山本
第１７回	転喩と映像	山本
第１８回	対比	山本
第１９回	対比と映像	山本
第２０回	対義結合と逆説	山本
第２１回	諷喩	山本
第２２回	諷喩と映像	山本
第２３回	反語	山本
第２４回	反語と映像	山本
第２５回	暗示引用	山本
第２６回	暗示引用と映像	山本
第２７回	トポスとは	山本
第２８回	さまざまなトポス	山本
第２９回	映像表現におけるトポス	山本
第３０回	西洋文藝におけるレトリック的伝統	山本
第３１回	日本文藝におけるレトリック	山本
第３２回	卒業論文中間発表会	山本

教科書			
教・書籍名１	レトリック感覚	教・出版社名１	講談社
教・著者名１	佐藤信夫	教・ＩＳＢＮ１	9784061590298
教・書籍名２	レトリック認識	教・出版社名2	講談社
教・著者名2	佐藤信夫	教・ＩＳＢＮ2	9784061590434

参考書			
参・書籍名１	映画表現の教科書	参・出版社名１	フィルムアート社
参・著者名１	ジェニファー・ヴァン・シル	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8459-1292-6
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究A			担当者	今村　俊介		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 4年			ナンバリング	AN-AN-4-314		
必修・選択	必修	単位数	4単位	時間数	60	授業形態	講義と演習
年次	4年	開講期	2022年度春学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、4年次卒業研究発表に向けて、映像作品企画を実現するため、一連の様々な制作プロセスを確認しつつ、最終完成に向けてスケジュール調整を管理しつつ制作実践を行う能力を身につけ、作品を自分の表現として完成できる実践技法を身につけることができる。 アニメーション制作におけるデジタル技術の理解とソフトウェア活用によるの画像作成および画像処理の実践スキルを身につけ、完成度の高い作品作成を行うための実践的な知識と技法を修得できる。また、必要に応じて代表的な3DCGソフトウェアの実践概念を学び、卒業研究発表に向けて実務的な能力を涵養できる。 本講義のラーニングアウトカムズは「卒業研究発発表における実務制作」と「課題完遂能力」である。
授業概要	基本的には2Dもしくは3Dのアニメーション作品を制作するが、履修者の研究テーマを尊重する。映像作品である場合、表現手法については実写合成などの選択肢もある。卒業研究Aでは各自テーマを確認し、資料収集や 絵コンテを確認した上で、できるかぎり全体イメージが提示できるところまで研究を進める。毎週の進捗状況に合わせて、プレゼンテーションを含む全体討議に よる発表を行い、年間の制作進行表を作ってそのタイムスケジュールにそって自己管理しながら授業内容を進める
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30％、課題等の提出物30％、試験40％、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題の進捗に応じてチェックとフォローアップを行う。最終成果物についてコメントを付記する。
履修条件・注意事項	卒業研究発表に向けての課題を具体的に制作進展する段階なので、制作課題の方向性を確定すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	最終的な研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作の完成を授業以外で十分時間をかけて進める。 卒業研究発表に関する書籍やネットの情報を参照し、研究課題のテーマに沿って予習復習をおこなう。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて月曜4限に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	今村
第２回	4年次春期の研究課題の方向性確認	今村
第３回	4年次春期の研究課題作成の必要条件設定	今村
第４回	4年次春期の課題制作計画設定	今村
第５回	研究概要　企画	今村
第６回	プロット・シナリオ提示	今村
第７回	プロット・シナリオ確認	今村
第８回	キャラクター設計	今村
第９回	中間確認	今村
第１０回	制作内容確認	今村
第１１回	制作内容修正	今村
第１２回	制作進捗確認	今村
第１３回	制作進捗修正	今村
第１４回	中間発表準備　発表用課題	今村

第１５回	中間発表準備　プレゼンテーション	今村
第１６回	中間発表	今村
第１７回	全体的修正	今村
第１８回	春期研究発表準備　プロット・シナリオ調整	今村
第１９回	春期研究発表準備　キャラクター調整	今村
第２０回	春期研究発表準備　テクスチャ調整	今村
第２１回	春期研究発表準備　レイアウト調整	今村
第２２回	春期研究発表準備　ビジュアルデザイン調整	今村
第２３回	春期研究発表準備　アニメーション調整	今村
第２４回	春期研究発表準備　音響調整	今村
第２５回	春期研究発表準備　撮影調整	今村
第２６回	春期研究発表準備　編集調整	今村
第２７回	春期研究発表準備　全体調整	今村
第２８回	春期研究発表準備　プリレンダリング出力	今村
第２９回	春期研究発表準備　出力状況確認・調整	今村
第３０回	春期研究発表準備　発表用レンダリング	今村
第３１回	春期研究発表準備　最終チェック	今村
第３２回	春期期末課題発表試験	今村

教科書			
教・書籍名１	各自の政策課題に応じて必要資料をPDFで配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究B			担当者	清水　光二		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 4年			ナンバリング	AN-AN-4-315		
必修・選択	必修	単位数	4単位	時間数	60	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	○	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	△	ＤＰ８．学科項目	○

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、これまでに学んだすべての知識と技術を基に、学部学修の総仕上げとして卒業研究を完成させる。 シナリオを含む作品制作による研究を行う場合は、自らテーマを選択し十分にそれを考察した上で、様々な技法を活用し表現できる能力を身につける。 論文による研究を行う場合は、関心のあるテーマを選択し、先行研究を十分に調査した上で自身の明確な結論を引き出す能力を身につける。 専門知識を確実におさえ、様々なジャンルやメディアに広く関心を持ち続けることで、アニメーションを表現として捉え、作品を文化として考えながら研究を完成させることを、学生の到達目標とする。
授業概要	卒業論文（制作も含む）では、それぞれがテーマを見つけ、資料収集を行い、シナリオ制作や絵コンテと作業を進めることになる。自らのオリジナル作品の映像化を目指す場合は、ゼミ担当者だけでなく、実技の教員とも相談しながら実施する必要がある。毎週進捗状況を合同で確認すると共に、プレゼンテーションを含む発表会を随時行う。年間の制作・研究進行表を作り、そのタイムスケジュールにそって自己管理しながら授業内容を進める。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	この科目では、アニメーション文化研究に基づいて表現できる能力を身につけることを目的としていることから、研究態度（30%）、研究内容（50%）、プレゼンテーション（20%）の割合によって評価を行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	提出物は原則翌週の授業でフィードバックするので、必ず見直しをしておくこと。
履修条件・注意事項	１）卒業論文（制作）であるから、すべての作業は基本的には個人で行うものとし、各自授業での発表のために毎日予習復習を行うことが必要である。２）共同研究（制作）を行う場合、各人の分担が明確に示せることを条件とする。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	卒業研究は決まった授業時間の中だけでは、到底完成出来るものではない。教員と相談しながら、とにかくひたすら時間を掛けながら作業を進めるしかない。授業前の予習としては、教員に作業の進捗状況を簡潔に報告できるように準備しておくこと。復習としては、教員との対話の中で得たものをどのように作業の中で実現するかを熟慮すること。
オフィスアワー	個人研究室にて、月曜２限目と火曜２限目に実施。

	授業計画	担当者
第１回	研究倫理に基づく責任ある研究活動について	清水光二
第２回	オリエンテーション	清水光二
第３回	研究目的・概要の発表	清水光二
第４回	研究目的・概要の発表	清水光二
第５回	企画・構成	清水光二
第６回	企画・構成	清水光二
第７回	企画・構成の修正	清水光二
第８回	企画・構成の修正	清水光二
第９回	シナリオハンティング・資料収集	清水光二
第１０回	シナリオハンティング・資料収集	清水光二
第１１回	中間発表①（企画修正と資料確認）	清水光二

第１２回	中間発表①（企画修正と資料確認）	清水光二
第１３回	制作工程の確認	清水光二
第１４回	制作工程の確認	清水光二
第１５回	シナリオ提出、論文企画案の提出	清水光二
第１６回	シナリオ提出、論文企画案の提出	清水光二
第１７回	制作工程の確認と修正	清水光二
第１８回	制作工程の確認と修正	清水光二
第１９回	中間発表準備、論文作成開始	清水光二
第２０回	中間発表準備、論文作成開始	清水光二
第２１回	中間発表②（進行確認と討論）	清水光二
第２２回	中間発表②（進行確認と討論）	清水光二
第２３回	ロケハン、論文推敲	清水光二
第２４回	ロケハン、論文推敲	清水光二
第２５回	撮影	清水光二
第２６回	撮影	清水光二
第２７回	編集、録音	清水光二
第２８回	編集、録音	清水光二
第２９回	研究発表準備	清水光二
第３０回	研究発表準備	清水光二
第３１回	研究発表	清水光二
第３２回	研究発表	清水光二

教科書			
教・書籍名１	使用しない（適宜プリントを配布）。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	アニメ・シナリオライターへの道!	参・出版社名１	リットーミュージック
参・著者名１	藤田 伸三	参・ＩＳＢＮ１	484563287X
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究B			担当者	井上　博明		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 4年			ナンバリング	AN-AN-4-315		
必修・選択	必修	単位数	4単位	時間数	60	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	◎	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動	◎	ＤＰ６．課題解決力	◎	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	◎

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／８．働きがいも経済成長も／９．産業と技術革新の基盤をつくろう／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１６．平和と公正をすべての人に／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	卒業研究テーマを設定し、学生が学問的な基本的概念を正しく使ったうえで、先行文献やデータに依拠し、説得力があり、かつ論理的な議論構成の卒業論文を完成させることを到達目標とする。 卒業論文を作成する事により １．学問的な基本的概念を正しく理解し、使用できるようになる。 ２．先行文献やデータに依拠し、正しく参照・引用できるようになる。 ３．説得力があり、かつ論理的な議論構成の文章を書けるようになる。 以上を習得する事が出来る。
授業概要	今までのプロデューサーとしての実務経験元に、アニメーションを中心にコンテンツ全体から卒業研究テーマを決定し、資料・データの収集・分析、構成、執筆まで総合的に指導する。教員との対話を通じて、学問的な基本概念や先行文献の調査法、論文の議論構成の仕方を理解するとともに、実際に自分自身でその理解に基づいて作業を行なっていく。 （プロデュース作品「王立宇宙軍」「メモリーズ」「パーフェクトブルー」「天地無用」、イベント運営「世界ＳＦ大会」等多数）
アクティブラーニングの内容	反転授業／ディスカッション／ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習／フィールドワーク
評価方法と割合	受講態度（20%）と課題提出状況（20%)、卒業論文（60%）で評価する。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/URL./anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題レポートは採点をして授業でフィードバックするので見直しておくこと。
履修条件・注意事項	授業時間内だけで卒業論文を作成することは不可能である。授業で学習したこと，体験したこと，指摘されたことなどをもとに，各準備とペース配分が必要である。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：井上博明 1979年より手塚プロダクションで制作進行に従事、その後、マジックバスでの制作デスク勤務を経て、CGやデジタルペイントでのアニメ制作に注力した制作会社エムケイに転職。プロデューサーになる。ガイナックスの設立に参加する。その後AICのプロデューサーを経て、吉備国際大学アニメーション文化学科教授に就任。 （代表プロデュース作品/「王立宇宙軍」、「メモリーズ」、「パーフェクトブルー」、「天地無用！」。他に第17回SFファンジン大賞で「柴野拓美賞」を受賞。「第65回世界SF大会/第46回日本SF大会 Nippon2007」の実行委員長も務めた。）
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。これを次回授業で確認する。
オフィスアワー	１４号館６階１４６０３個人研究室にて水曜日３限目に実施。

授業計画		担当者
第１回	ガイダンス及び研究論理に基づく責任ある研究活動	井上

第２回	テーマの検討（研究目的から）	井上
第３回	テーマの検討（研究内容から）	井上
第４回	テーマの検討（研究方法から）	井上
第５回	グループ討議　テーマ相互評価	井上
第６回	先行研究１　資料の検索・収集１論文	井上
第７回	先行研究２　資料の検索・収集２文献	井上
第８回	先行研究３　資料の検索・収集３新聞雑誌他	井上
第９回	個別指導１　資料の整理	井上
第１０回	個別指導２　資料の分析と考察	井上
第１１回	グループ討議　これまでの取り組み意見交換	井上
第１２回	個別指導３　研究の方向性検討	井上
第１３回	個別指導４　研究の方法検討	井上
第１４回	グループ討議　相互評価	井上
第１５回	中間まとめ確認	井上
第１６回	中間まとめ提出	井上
第１７回	論文作成計画１　論文の形式	井上
第１８回	論文作成計画２　目的	井上
第１９回	論文作成計画３　アウトライン	井上
第２０回	グループ討議　進行経過発表	井上
第２１回	グループ討議　論文概要決定	井上
第２２回	個別指導５　論文執筆	井上
第２３回	個別指導６　論文執筆	井上
第２４回	論文執筆	井上
第２５回	個別指導７　論文執筆	井上
第２６回	個別指導８　論文執筆	井上
第２７回	中間発表	井上
第２８回	個別指導９　論文推敲	井上
第２９回	個別指導１０　論文推敲	井上
第３０回	プレゼンテーション検討	井上
第３１回	プレゼンテーション確認	井上
第３２回	論文発表・提出	井上

教科書			
教・書籍名１	使用しない（必要に応じプリントを配布する）	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究B			担当者	前嶋　英輝		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 4年			ナンバリング	AN-AN-4-315		
必修・選択	必修	単位数	4単位	時間数	60	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／８．働きがいも経済成長も／１０．人や国の不平等をなくそう／１２．つくる責任・つかう責任／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は、「アニメーションを自主制作できるようになる」ことをテーマとする。自分の研究テーマを設定し、これまでに学修したことを総合して研究をまとめることができる。作品制作による研究を行う場合は、技法やスタイルだけでなく自分が関心を持っているものでテーマを選択し、十分に深めながら表現できる能力を身につける。論文による研究を行う場合は、関心のあるテーマを選択し、先行研究を十分行った上で明確な結論を引き出す能力を身につける。 学生は、専門知識を確実におさえ、様々なジャンルやメディアに広く関心を持ち続けることで、アニメーションを表現として捉え、作品を文化として考えながら研究を完成させることを到達目標とする。
授業概要	基本的には、イラストやアニメーション作品を制作する。表現手法については実写合成などの選択も考える。研究テーマを確認し、資料収集や絵コンテを確認した上で、できるかぎり全体イメージが提示できるところまで研究を進める。毎週の進捗状況に合わせて、プレゼンテーションを含む全体討議による発表を行い、年間の制作進行表を作ってそのタイムスケジュールにそって自己管理しながら授業内容を進める。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション
評価方法と割合	この科目では、アニメーション文化研究に基づいて表現できる能力を身につけることを目的としていることから、研究課題（40%）、単位認定試験　（60%）の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	学生が提出した課題は、授業時間中に上映しながら教員がコメントする形でフィードバックする。
履修条件・注意事項	１）卒業研究であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。２）共同研究を行う場合、分担が明確に示せることを条件とする。３）アニメーション演習等の学修を十分できていることを条件とする。
実務経験のある教員	該当する　／　内容：高等学校において美術の授業を担当した実務経験を持ち、彫刻家、全国美術公募展の審査員である教員が担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アニメーションに関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について予習復習をおこなう。 美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	２号館６階の前嶋研究室において、毎週月曜日５時限目をオフィスアワーの時間とする。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション、年間計画	前嶋英輝
第２回	研究計画の立案	前嶋英輝
第３回	研究概要、企画、イメージボード	前嶋英輝
第４回	イメージボードの制作	前嶋英輝
第５回	絵コンテ作成・プロット提示	前嶋英輝
第６回	絵コンテの制作とPCへの保存	前嶋英輝
第７回	絵コンテ作成・・・プロット確認	前嶋英輝
第８回	演出コンテとVコンテの制作	前嶋英輝
第９回	キャラクター設定、原画作成	前嶋英輝

第１０回	原画の色彩設定	前嶋英輝
第１１回	中間発表（企画修正と資料確認）	前嶋英輝
第１２回	絵コンテ、キャラ表の確認	前嶋英輝
第１３回	制作管理確認（配布資料）	前嶋英輝
第１４回	香盤表の確認	前嶋英輝
第１５回	制作ステップ確認と作画	前嶋英輝
第１６回	原画チェック	前嶋英輝
第１７回	制作ステップ確認と動画チェック	前嶋英輝
第１８回	中割り動画	前嶋英輝
第１９回	中間発表準備	前嶋英輝
第２０回	プレゼンテーション作成	前嶋英輝
第２１回	中間発表（進行確認と討論）	前嶋英輝
第２２回	作品構想と演出のチェック	前嶋英輝
第２３回	中間発表を受けての全体的修正	前嶋英輝
第２４回	制作ステップ確認と編集	前嶋英輝
第２５回	動画チェック	前嶋英輝
第２６回	制作ステップ確認と仕上げ	前嶋英輝
第２７回	色彩設計と仕上げ	前嶋英輝
第２８回	最終確認と研究発表準備	前嶋英輝
第２９回	エフェクトと編集	前嶋英輝
第３０回	エフェクトと編集	前嶋英輝
第３１回	作品提出	前嶋英輝
第３２回	作品鑑賞と討論	前嶋英輝

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	After Effects for アニメーション　EXPERT	参・出版社名１	ビー・エヌ・エヌ新社
参・著者名１	大平幸輝	参・ＩＳＢＮ１	978-4-86100-845-0
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究B			担当者	大谷　卓史		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 4年			ナンバリング	AN-AN-4-315		
必修・選択	必修	単位数	4単位	時間数	30	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	各自の関心に沿った卒業論文を仕上げる。学問的な基本的概念を正しく使ったうえで、先行文献やデータに依拠し、説得力があり、かつ論理的な議論構成の卒業論文を完成させることを目指す。とくに、学生が次のことができるようになることを到達目標とする。 １．学問的な基本的概念を正しく理解し、使用できるようになる。 ２．先行文献やデータに依拠し、正しく参照・引用できるようになる。 ３．説得力があり、かつ論理的な議論構成の文章を書けるようになる。
授業概要	卒業論文の執筆指導を行う。テーマ設定、資料・データの収集・分析、構成、執筆まで総合的に指導する。教員との対話を通じて、学問的な基本概念や先行文献の調査法、論文の議論構成の仕方を理解するとともに、実際に自分自身でその理解に基づいて作業を行なっていく。
アクティブラーニングの内容	
評価方法と割合	卒業論文の準備・作成の積極的取り組みや、準備・作成にかかわる自主的な質問・発言やディスカッションへの積極的な参加態度、執筆中の論文に関する教員からの質問に対する回答を40%の重みづけで評価する（受講態度）、卒業論文の成績を60%として最終的に総合評価を行う。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	授業課題に関しては、次回授業でコメントシート（シャトルカード）や、授業内での言及・コメントなどによって（原則課題回答者名は匿名）、フィードバックする。
履修条件・注意事項	まとまった分量の文章を書くためには、準備とペース配分が必要です。最後になってあわてないようしっかりと準備し、ペースを守って作業を進めましょう。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	予習：教科書・配布資料の指定する箇所を事前に読んでくること。また、論文作成のための準備のため、実際に論文の一部等を書いてもらいます。約2時間。 復習：演習で学んだことをもとに、実際に論文の一部を書いてみる、文献などの調査を行うなどの実践的な活動を要します。約2時間。
オフィスアワー	春学期：毎週木曜日4時限目、14617研究室（大谷研究室） 秋学期：毎週水曜日3時限目、14617研究室（大谷研究室）

	授業計画	担当者
第１回	夏季休暇中の調査結果報告	大谷
第２回	夏季休暇中の調査結果報告	大谷
第３回	卒論全体構成の見直し	大谷
第４回	卒論全体構成の見直し	大谷
第５回	卒論序論準備	大谷
第６回	卒論序論準備	大谷
第７回	卒論序論執筆	大谷
第８回	卒論序論執筆	大谷
第９回	卒論序論再検討・執筆	大谷
第１０回	卒論序論再検討・執筆	大谷
第１１回	卒論執筆状況報告	大谷
第１２回	卒論執筆状況報告	大谷
第１３回	追加調査の検討	大谷

第１４回	追加調査の検討	大谷
第１５回	卒論執筆状況再報告	大谷
第１６回	卒論執筆状況再報告	大谷
第１７回	卒論全体構成の整理	大谷
第１８回	卒論全体構成の整理	大谷
第１９回	第二次中間発表準備	大谷
第２０回	第二次中間発表準備	大谷
第２１回	第二次中間発表	大谷
第２２回	第二次中間発表	大谷
第２３回	第一次原稿提出	大谷
第２４回	第一次原稿提出	大谷
第２５回	第一次原稿検討	大谷
第２６回	第一次原稿検討	大谷
第２７回	第二次原稿提出	大谷
第２８回	第二次原稿提出	大谷
第２９回	卒論最終確認	大谷
第３０回	卒論最終確認	大谷
第３１回	卒論発表会	大谷
第３２回	卒論発表会	大谷

教科書			
教・書籍名１		教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	

参考書			
参・書籍名１	デジタルゲーム研究入門	参・出版社名１	ミネルヴァ書房
参・著者名１	小林信重	参・ＩＳＢＮ１	978-4623086924
参・書籍名２	マンガ・アニメで論文・レポートを書く	参・出版社名2	ミネルヴァ書房
参・著者名2	山田奨治	参・ＩＳＢＮ2	978-4623079421

授業科目名	卒業研究B			担当者	佐々木　洋		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 4年			ナンバリング	AN-AN-4-315		
必修・選択	必修	単位数	4単位	時間数	60	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに／５．ジェンダー平等を実現しよう／１７．パートナーシップで目標を達成しよう
到達目標	学生は「自らの表現スタイルを確立する」ことをテーマとする。 自分の研究テーマを設定し、これまでに学修したことを総合して研究をまとめる。 作品制作による研究を行う場合は、技法やスタイルだけでなく主題構造を構築し、 十分に深めながら表現できる能力を身につける。 論文による研究を行う場合は、関心のあるテーマを選択し、先行研究を十分行った上で 明確な結論を引き出す能力を身につけることができる。 学生は、専門知識を確実におさえ、様々なジャンルやメディアに広く関心を持ち続けることで、 作品を文化として考えながら研究を完成できる。
授業概要	卒業制作の制作計画を立て、様々な表現について研究し、そこから選択した手法に基づき作品を制作する。作品は可能な限り多数制作しポートフォリオの充実も目指す。 手法についてはアニメーションや立体物を含む広範な表現形式から選択する。 毎週の進捗状況に合わせて、プレゼンテーションを含む全体討議による発表を行い、 年間の制作進行表を作ってそのタイムスケジュールにそって自己管理しながら授業内容を進める。 この授業は、アニメーター、デザイナーとしてキャラクター、アニメ、イラストレーション等の ビジュアルデザイン制作を行った実務経験のある教員が担当する。
アクティブラーニングの内容	その他のアクティブラーニング（複合的なもの等）
評価方法と割合	この科目では、作家的主題の確立と、自らの世界観に基づいて表現できる能力を身につける ことを目的としていることから、研究態度（10%）、研究内容（20%）、単位認定作品（70%） の割合によって評価を行う。詳しい評価内容については、最初の授業で説明する。 ポートフォリオや作品などの課題については、評価すると同時に、個々に結果を伝えながら 指導を行い、フィードバックして学習の積み重ねの資料とする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題はオリエンテーション時に個別に提示され、 講評時間を設け各個に解説する。
履修条件・注意事項	１）卒業研究であるから、基本的に個人研究とし、授業での発表のために毎日予習復習としての研究を行うことが必要である。 ２）共同研究を行う場合、分担が明確に示せることを条件とする。 ３）基本的なソフトウェアの操作に習熟できていることを条件とする。
実務経験のある教員	該当する　内容　1979年から2018年までのアニメーション美術、デザイン、イラストレーションの商業作品制作経験及び後進指導、美術学校での講師経験のある教員が32回を担当する。
事前学習・事後学習とその時間	自分の研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作を授業以外で十分時間をかけて進める。 アート表現に関する書籍やネットの情報を参照し、授業のテーマに沿った内容について 予習復習をおこなう。美術館などに鑑賞に出かけることも重要である。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	水曜5限 （2号館 267研究室）をオフィスアワーとする。 またTeams上での質問は随時受け付けている。

授業計画		担当者
第１回	オリエンテーション 制作状況確認	佐々木　洋

第２回	作品制作と質疑 講義-空間構成	佐々木　洋
第３回	作品制作と質疑 講義-空間構成と移動する視線	佐々木　洋
第４回	作品制作と質疑 講義-空間構成とユニバーサルデザイン	佐々木　洋
第５回	作品制作と質疑 講義-デッサンの見せ方	佐々木　洋
第６回	作品制作と質疑 講義-デッサンの演出テクニック	佐々木　洋
第７回	作品制作と質疑 講義-クロッキー	佐々木　洋
第８回	作品制作と質疑 講義-平面デザイン	佐々木　洋
第９回	作品制作と質疑 講義-平面デザイン-エディトリアル	佐々木　洋
第１０回	作品制作と質疑 講義-平面デザイン-エディトリアルとタイポグラフィー	佐々木　洋
第１１回	作品制作と質疑 講義-平面デザイン-エディトリアルと印刷	佐々木　洋
第１２回	作品制作と質疑 講義-平面デザイン-エディトリアルとイラストレーション	佐々木　洋
第１３回	進捗確認と討議	佐々木　洋
第１４回	作品制作と質疑 講義-クロッキー2 その重要性	佐々木　洋
第１５回	作品制作と質疑 講義-クロッキーとアニメーション	佐々木　洋
第１６回	作品制作と質疑 講義-トレスの意義と技術	佐々木　洋
第１７回	中間発表/講評	佐々木　洋
第１８回	作品制作と質疑 講義-顔面の立体	佐々木　洋
第１９回	作品制作と質疑 講義-顔面の立体-表情と文化	佐々木　洋
第２０回	作品制作と質疑 講義-顔面の立体-解剖所見	佐々木　洋
第２１回	作品制作と質疑 講義-表情という文脈	佐々木　洋
第２２回	娯楽としてのアートワーク	佐々木　洋
第２３回	娯楽としてのアートワーク-SNS	佐々木　洋
第２４回	言語としての絵画	佐々木　洋
第２５回	制作経過発表と質疑 仕様確認	佐々木　洋
第２６回	制作経過発表と質疑	佐々木　洋
第２７回	制作経過発表と質疑-2 バリエーション実験	佐々木　洋
第２８回	ポートフォリオの作り方-最終確認	佐々木　洋
第２９回	ポートフォリオ質疑 郵送の仕方	佐々木　洋
第３０回	制作状況確認	佐々木　洋
第３１回	専門職を選ぶ 様々なアートの分野	佐々木　洋
第３２回	研究発表	佐々木　洋

教科書			
教・書籍名１	適宜プリントなどを配布する。予習復習も配布プリントによって行う。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究B			担当者	平見　勇雄		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 4年			ナンバリング	AN-AN-4-315		
必修・選択	選択	単位数	4単位	時間数	３０	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能		ＤＰ２．情報の活用		ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考		ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力		ＤＰ７．自己効力感		ＤＰ８．学科項目	

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	応用演習、実践演習でやってきたことをもとに、各自それぞれの題材で卒業制作に向かって指導、および中間発表をそれぞれ行ってもらいます。テーマは学生によって違っていますが、最終的に卒業制作を発表できることが到達目標です。学生は締め切り間近になって慌てることなく、誰に対しても恥ずかしくないような内容にするため、４月には卒業までに何をやるのか、その計画書を作ってもらいます。
授業概要	４月の最初の授業で、自分の希望を全員に語ってもらいます。そして月ごとの年間目標を作ってもらい、最後の週にそれぞれ発表してもらいます。このゼミではシナリオや論文を卒業制作の目標にしていますから、プレゼンが、文章を作ってもらっての発表ということになります。
アクティブラーニングの内容	グループワーク／プレゼンテーション
評価方法と割合	どのくらい真面目に日頃から取り組んでいるか、そして最後に提出してもらう作品が評価となります。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	中間発表を月ごとに行いますが、その際の指導がフィードバックになります。
履修条件・注意事項	休まずに年間通して少しずつやることです。短期間に集中してやるのではなく、ある程度の余裕を持って制作に取り組むことが必要です。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	基本的にゼミは発表の場でしかありません。その授業のときに自宅でやってくることが何よりも大切です。自分でしっかりと目標をぶれることなく取り組んで下さい。予習、復習にそれぞれ２時間程度は確保してください。
オフィスアワー	水曜日の３限、２号館６Ｆの研究室です。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション　一年間の予定の確認	平見勇雄
第２回	今月の目標の発表	平見勇雄
第３回	各自がやることの発表　一人目	平見勇雄
第４回	二人目の学生の発表	平見勇雄
第５回	三人目の学生の発表	平見勇雄
第６回	学生たちとのディスカッション	平見勇雄
第７回	第二回目の中間報告　一人目	平見勇雄
第８回	卒業制作にヒントになるもの（題材を膨らませる工夫）	平見勇雄
第９回	第二回目の中間報告　二人目	平見勇雄
第１０回	題材を膨らませることができるもの	平見勇雄
第１１回	第三人目の中間発表	平見勇雄
第１２回	題材を膨らませるもの	平見勇雄
第１３回	前期の総復習１	平見勇雄
第１４回	前期の総復習２	平見勇雄
第１５回	前期の総復習３	平見勇雄
第１６回	卒業制作の総まとめ	平見勇雄
第１７回	秋学期のオリエンテーション	平見勇雄
第１８回	夏休みの卒業制作の発表１	平見勇雄
第１９回	夏休みの卒業制作の発表２	平見勇雄
第２０回	夏休みの卒業制作の発表３	平見勇雄

第２１回	卒業制作の仕上げ１		平見勇雄
第２２回	卒業制作の仕上げ２		平見勇雄
第２３回	卒業制作の仕上げ３		平見勇雄
第２４回	先生方に見てもらう発表会		平見勇雄
第２５回	卒業制作の直しの検討会１		平見勇雄
第２６回	卒業制作の直しの検討会２		平見勇雄
第２７回	卒業制作の直しの発表３		平見勇雄
第２８回	最終段階の発表会		平見勇雄
第２９回	卒業制作の評価１		平見勇雄
第３０回	卒業制作の評価２		平見勇雄
第３１回	卒業制作の発表３		平見勇雄
第３２回	提出と評価		平見勇雄
教科書			
教・書籍名１	その都度参考文献を申し上げます。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究B			担当者	山本　敦之		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 4年			ナンバリング	AN-AN-4-315		
必修・選択	必修	単位数	4単位	時間数	60	授業形態	演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	○
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	○	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	レトリックの教科書と映画表現の教科書を交叉して読むことを軸に、学生の発表、議論、教員による講評によって演習を行なう。言語表現の型と映像表現の型を学んだ上で比較対照をおこない、それらの共通性や独自性への理解を深める。その上で学生は、アニメなどの具体的な作品分析をおこない、それを発表してもらう。このような発表を繰りかえし、その蓄積の上で学生自らが選んだテーマで卒業論文を完成させることを目標とする。
授業概要	隠喩や換喩や提喩といった言葉のあや、空間の演出、画面構成、形状による暗示、編集テクニック、時間の操作、音響効果、場面転換、カメラレンズ、カメラの位置、カメラの移動、照明技法、色の効能などの映像表現のさまざまな技法を交叉して学ぶ。その上で学生自らが選択した作品の分析を行なってもらう。アニメ文化研究で学生の設定したテーマを、複数の作品の分析を通じて論じ、論文を作成する。
アクティブラーニングの内容	ディスカッション／プレゼンテーション
評価方法と割合	論文(100%)。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題については講評によりフィードバックする
履修条件・注意事項	卒論完成までの中間段階で、与えられた課題のみならず、自らの関心に従って文献や映像資料を調べ、発表を行なう。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	事前に次回講義を受講するための課題を出すので、それについての予習をすること(2時間程度)。また、配布プリントと板書にもとづき復習してノートブックに要点を記入すること (2時間程度)。
オフィスアワー	月曜5限257研究室

	授業計画	担当者
第１回	空間演出：X軸方向	山本
第２回	空間演出：Y軸方向	山本
第３回	空間演出：斜線	山本
第４回	空間演出：Z軸方向	山本
第５回	画面構成：注目を導く	山本
第６回	画面構成：不均衡	山本
第７回	画面構成：均衡	山本
第８回	画面構成：方向感覚	山本

第９回	画面構成：サイズの利用	山本
第１０回	形状による暗示：円	山本
第１１回	形状による暗示：線	山本
第１２回	形状による暗示：三角形	山本
第１３回	形状による暗示：長方形	山本
第１４回	形状による暗示：有機的な形と幾何学的な形	山本
第１５回	モンタージュ	山本
第１６回	アセンブリ ミザンセーヌ インターカット 分割画面 ディゾルヴ スマッシュカット	山本
第１７回	アセンブリ	山本
第１８回	ミザンセーヌ	山本
第１９回	インターカット	山本
第２０回	分割画面	山本
第２１回	ディゾルヴ	山本
第２２回	スマッシュカット	山本
第２３回	時間操作:ペース変化,時間のコントラスト	山本
第２４回	時間操作:時間の引き延ばし	山本

第２５回	時間操作：ファストモーション	山本
第２６回	フラッシュバック・フォワード	山本
第２７回	時間操作：ストップモーション	山本
第２８回	カメラ位置：クロースアップ	山本
第２９回	カメラ位置：ハイアングル	山本
第３０回	カメラ位置：ローアングル	山本
第３１回	ハイローコンビネーション	山本
第３２回	卒業論文発表会	山本

教科書			
教・書籍名１	レトリック感覚	教・出版社名１	講談社
教・著者名１	佐藤信夫	教・ＩＳＢＮ１	9784061590298
教・書籍名２	レトリック認識	教・出版社名2	講談社
教・著者名2	佐藤信夫	教・ＩＳＢＮ2	9784061590434
参考書			
参・書籍名１	映画表現の教科書	参・出版社名１	フィルムアート社
参・著者名１	ジェニファー・ヴァン・シル	参・ＩＳＢＮ１	978-4-8459-1292-6
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	

授業科目名	卒業研究B			担当者	今村　俊介		
配当学科・研究科	2018～ 2019年度 吉備国際大学 アニメ文化 アニメ文化 4年			ナンバリング	AN-AN-4-315		
必修・選択	必修	単位数	4単位	時間数	60	授業形態	講義と演習
年次	4年	開講期	2022年度秋学期	曜日・時限	集中講義		

ディプロマポリシー対応項目							
ＤＰ１．知識・技能	◎	ＤＰ２．情報の活用	△	ＤＰ３.主体的な学びと論理的な思考	◎	ＤＰ４．コミュニケーション・表現力	△
ＤＰ５．グローバルな視野と地域貢献活動		ＤＰ６．課題解決力	△	ＤＰ７．自己効力感	◎	ＤＰ８．学科項目	△

ＳＤＧｓ関連項目	４．質の高い教育をみんなに
到達目標	学生は、4年次卒業研究発表に向けて、映像作品企画を実現するため、一連の様々な制作プロセスを確認しつつ、最終完成に向けてスケジュール調整を管理しつつ制作実践を行う能力を身につけ、作品を自分の表現として完成できる実践技法を身につけることができる。 アニメーション制作におけるデジタル技術の理解とソフトウェア活用によるの画像作成および画像処理の実践スキルを身につけ、完成度の高い作品作成を行うための実践的な知識と技法を修得できる。また、必要に応じて代表的な3DCGソフトウェアの実践概念を学び、卒業研究発表に向けて実務的な能力を涵養できる。 本講義のラーニングアウトカムズは「卒業研究発発表における実務制作」と「課題完遂能力」である。
授業概要	基本的には2Dもしくは3Dのアニメーション作品を制作するが、履修者の研究テーマを尊重する。映像作品である場合、表現手法については実写合成などの選択肢もある。卒業研究Bでは各自テーマを再確認し、資料収集や 絵コンテを再確認した上で、卒業研究発表会で完成作品が提示できるところまで研究を進める。毎週の進捗状況に合わせて、プレゼンテーションを含む全体討議に よる発表を行い、年間の制作進行表を作ってそのタイムスケジュールにそって自己管理しながら授業内容を進める
アクティブラーニングの内容	実習
評価方法と割合	発言やディスカッションへの積極的な参加態度30％、課題等の提出物30％、試験40％、による総合評価。なお、評価のために実施した課題等については、授業でフィードバックする。
ルーブリック評価	/uprx/anime.pdf
課題や試験のフィードバック方法	課題の進捗に応じてチェックとフォローアップを行う。最終成果物についてコメントを付記する。
履修条件・注意事項	卒業研究発表に向けての課題を具体的に制作進展する段階なので、制作課題の方向性を確定すること。
実務経験のある教員	該当しない　内容
事前学習・事後学習とその時間	最終的な研究計画を提出し、計画に沿って研究・制作の完成を授業以外で十分時間をかけて進める。 卒業研究発表に関する書籍やネットの情報を参照し、研究課題のテーマに沿って予習復習をおこなう。 1コマ毎の授業に予習 2 時間、復習 2 時間が必要である。
オフィスアワー	14号館6階研究室にて火曜4限に実施。

	授業計画	担当者
第１回	オリエンテーション	今村
第２回	4年次秋期の研究課題の方向性確認	今村
第３回	4年次秋期の研究課題作成の必要条件設定	今村
第４回	4年次秋期の課題制作計画設定	今村
第５回	研究概要　企画確認	今村
第６回	プロット・シナリオ確認	今村
第７回	プロット・シナリオ最終修正	今村
第８回	キャラクター設計確認	今村
第９回	秋期中間確認	今村
第１０回	制作内容最終確認	今村
第１１回	制作内容最終修正	今村
第１２回	制作進捗最終確認	今村
第１３回	制作進捗最終修正	今村
第１４回	中間発表準備　発表用課題最終確認	今村

第１５回	中間発表準備　プレゼンテーション確認	今村
第１６回	秋期中間発表	今村
第１７回	全体的最終修正	今村
第１８回	秋期研究発表準備　シナリオ最終調整	今村
第１９回	秋期研究発表準備　キャラクター最終調整	今村
第２０回	秋期研究発表準備　テクスチャ最終調整	今村
第２１回	秋期研究発表準備　レイアウト最終調整	今村
第２２回	秋期研究発表準備　画面効果最終調整	今村
第２３回	秋期研究発表準備　アニメーション最終調整	今村
第２４回	秋期研究発表準備　音響最終調整	今村
第２５回	秋期研究発表準備　撮影最終調整	今村
第２６回	秋期研究発表準備　編集最終調整	今村
第２７回	秋期研究発表準備　全体最終調整	今村
第２８回	秋期研究発表準備　プリレンダリング出力	今村
第２９回	秋期研究発表準備　出力状況最終確認・調整	今村
第３０回	秋期研究発表準備　発表用レンダリング出力	今村
第３１回	秋期研究発表準備　最終チェック	今村
第３２回	卒業研究発表会	今村

教科書			
教・書籍名１	各自の政策課題に応じて必要資料をPDFで配信する。	教・出版社名１	
教・著者名１		教・ＩＳＢＮ１	
教・書籍名２		教・出版社名2	
教・著者名2		教・ＩＳＢＮ2	
参考書			
参・書籍名１		参・出版社名１	
参・著者名１		参・ＩＳＢＮ１	
参・書籍名２		参・出版社名2	
参・著者名2		参・ＩＳＢＮ2	